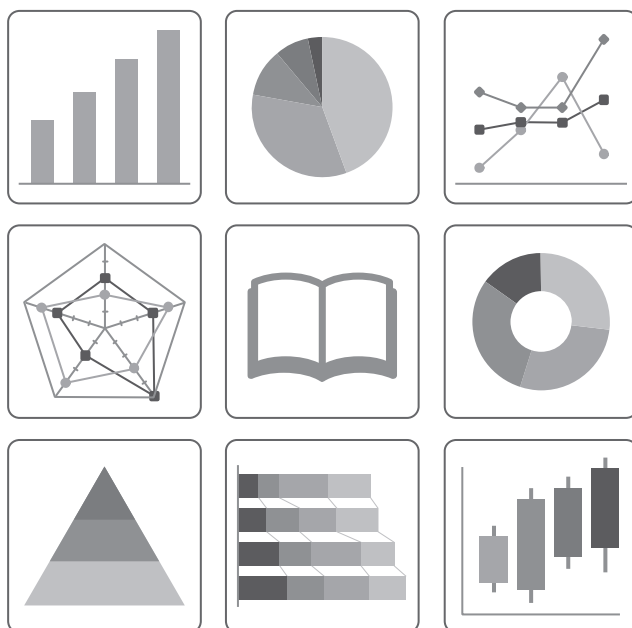


小平市の 教育に関するアンケート調査 調査結果報告書



令和4年3月

小平市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
1	小・中学生	3
	(1) あなたと家庭について	3
	(2) パソコンやタブレットなどを利用した学習について	25
	(3) 日常生活（中学生は試験期間前を除く）について	26
	(4) 学校生活について	31
	(5) あなた自身のお考えについて	63
	(6) 地域とのつながりについて	81
2	小・中学生の保護者	91
	(1) 回答者属性・あなたのお子さんについて	91
	(2) 小平市の教育について	106
	(3) 地域のことについて	137
	(4) 家庭教育について	141
3	5歳児童の保護者	146
	(1) 回答者属性	146
	(2) お子さんの教育について	148
	(3) 地域のことについて	159
	(4) 家庭教育について	165
4	小・中学校の教員	170
	(1) 回答者属性	170
	(2) 小平市の教育について	172
	(3) 小平市の教育施策や教育事業について	214
	(4) 学校教育と地域との連携について	247

5	市民	252
	(1) 回答者属性	252
	(2) 生涯学習（学習活動）や公民館・図書館の利用について	254
	(3) 小平市の学校教育について	279
	(4) 地域のことについて	287
	(5) 小平市の今後の生涯学習（学習活動）のあり方について	297
Ⅲ	調査結果のまとめ	304
	アンケート調査票	311

I 調査の概要

1 調査の目的

平成 29 年度に改訂した計画に掲げる数値目標の達成状況の確認及び令和 4 年度に策定する新たな小平市教育振興基本計画の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

- (1) 小学校 3 年生、小学校 6 年生、中学校 1 年生、中学校 3 年生：全校から学校の任意で各学年 1 クラスずつ選定
- (2) 小・中学生の保護者：(1) の児童・生徒の保護者
- (3) 5 歳児童の保護者：市内の保育園、幼稚園に通う小平市在住の全ての 5 歳児童の保護者
- (4) 小・中学校の教員：常勤の全教員
- (5) 18 歳以上の市民：小平市在住の 18 歳以上の市民から無作為抽出

3 調査期間

令和 3 年 10 月 19 日から令和 3 年 11 月 19 日

5 歳児童の保護者

令和 3 年 10 月 19 日から令和 3 年 11 月 12 日


4 調査方法

- (1) 小学校 3 年生、小学校 6 年生、中学校 1 年生、中学校 3 年生：学校を通じて直接配付回収
- (2) 小・中学生の保護者：(1) を通じて直接配付回収
- (3) 5 歳児童の保護者：市内の園を通じて直接配付回収
- (4) 小・中学校の教員：学校を通じて直接配付回収
- (5) 市民：郵送配付回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
小・中学生	1,801 通	1,721 通	95.6%
小・中学生の保護者	1,801 通	1,428 通	79.3%
5 歳児童の保護者	1,604 通	1,124 通	70.1%
小・中学校の教員	789 通	699 通	88.6%
市民	2,000 通	776 通	38.8%

6 調査結果の表示方法

- 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- 回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

II 調査結果

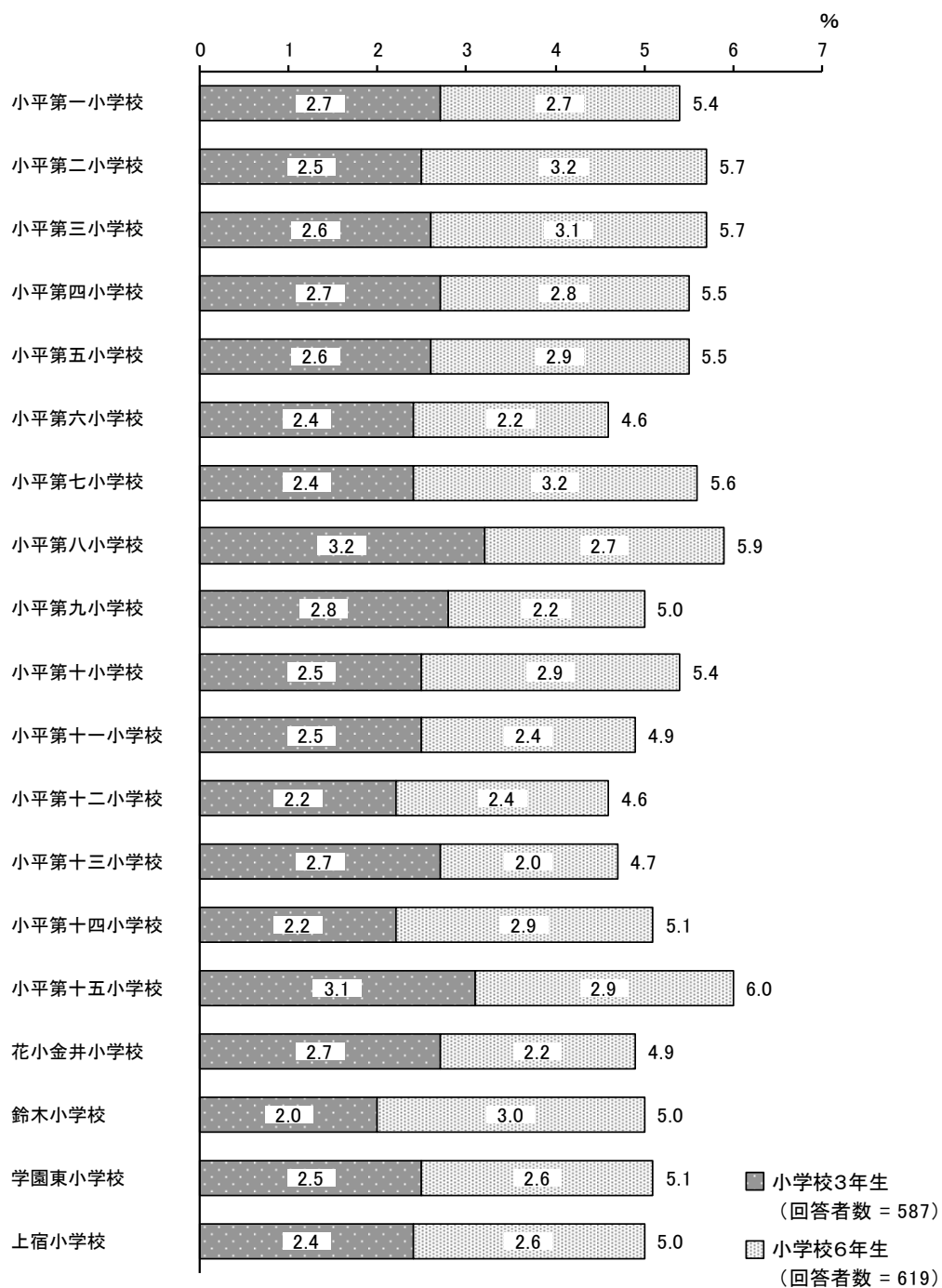
1 小・中学生

(1) あなたと家庭について

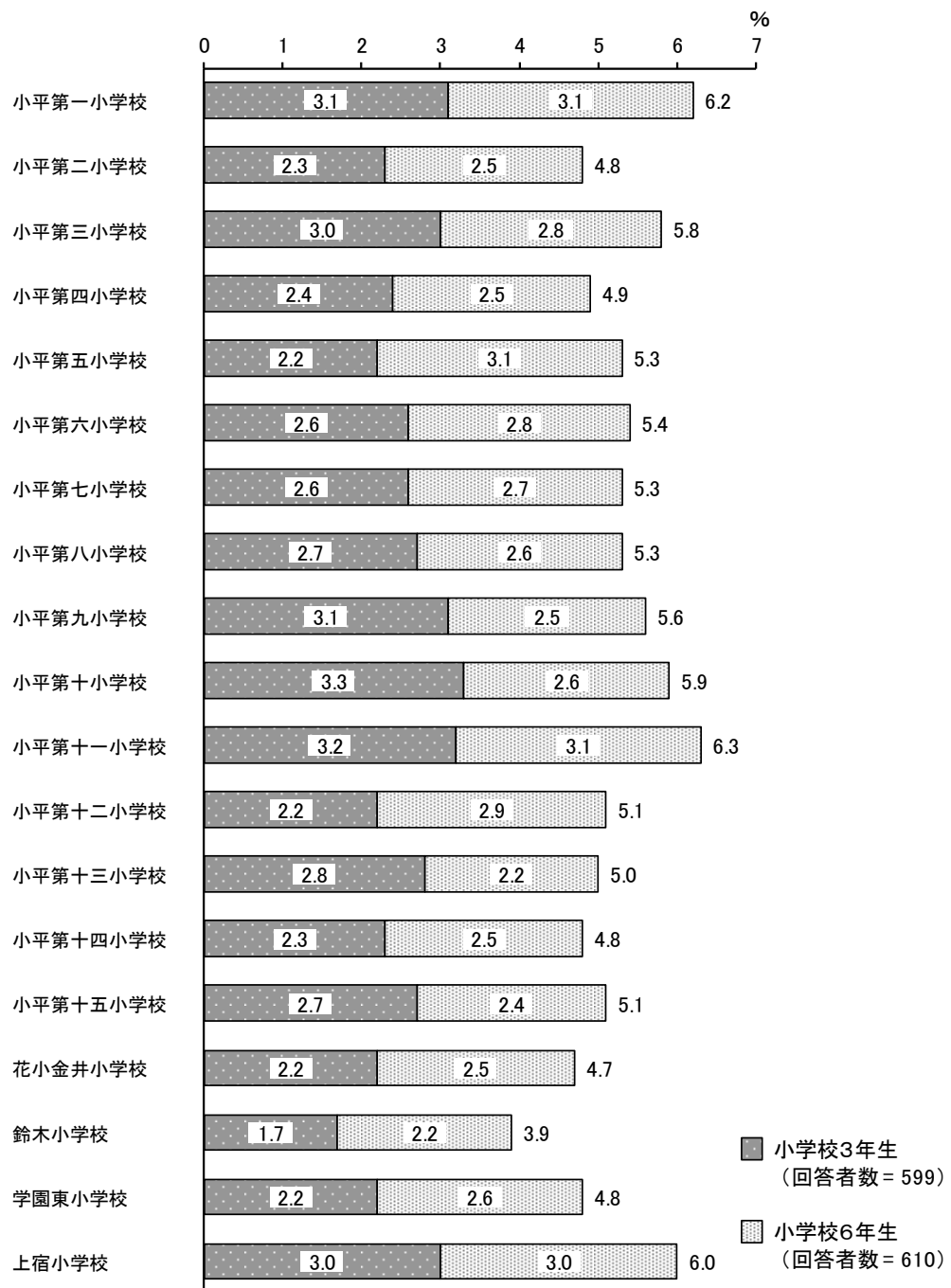
問1 あなたの学校を教えてください。(1つに〇)

問2 あなたの学年を教えてください。(1つに〇)

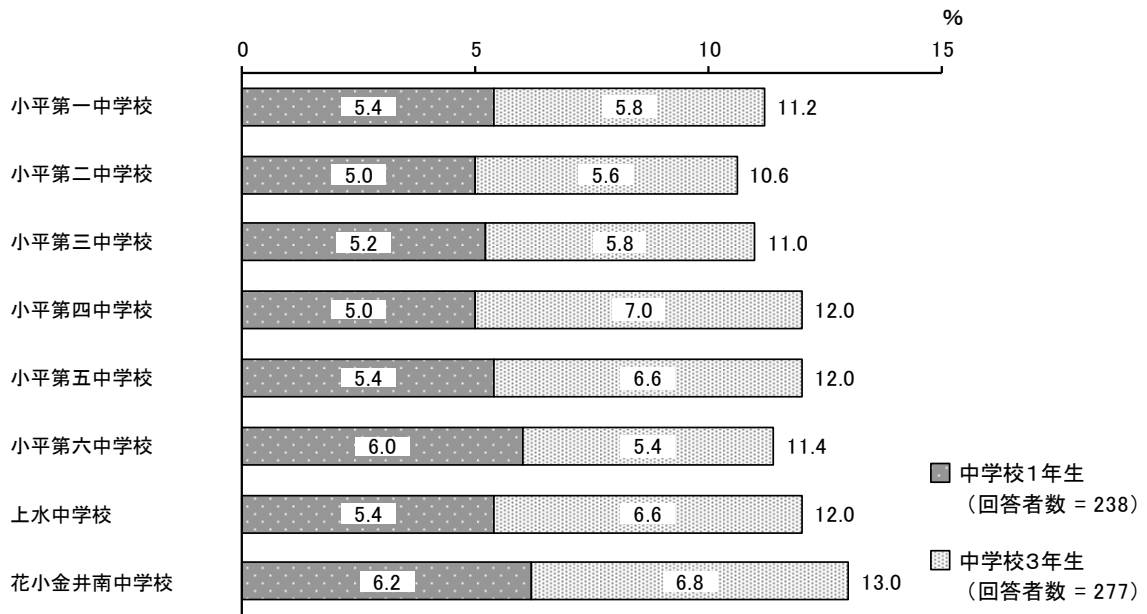
【小学校】



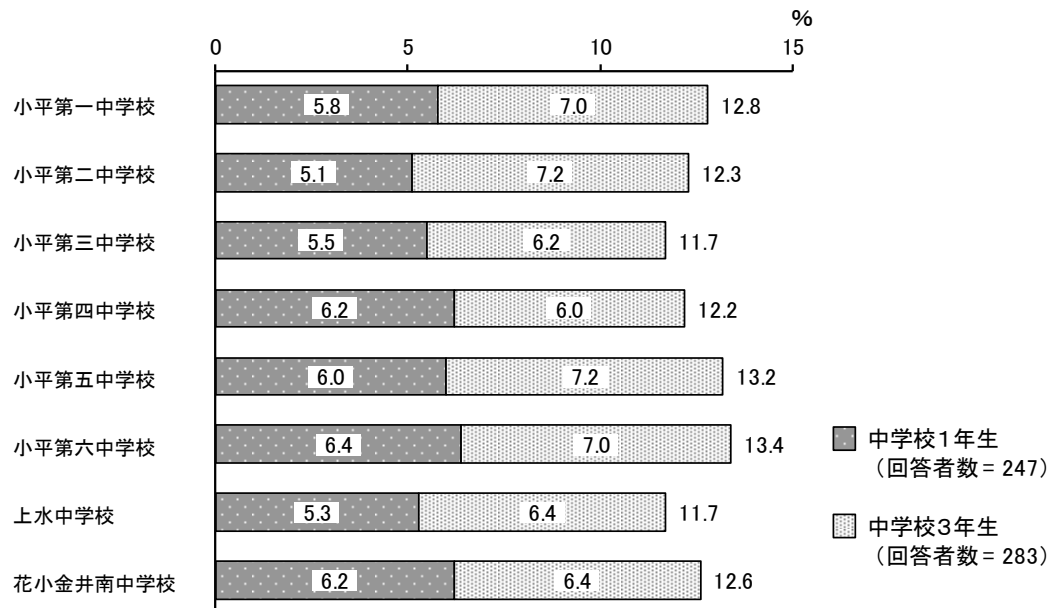
【平成 28 年度調査 小学校】



【中学校】



【平成 28 年度調査 中学校】

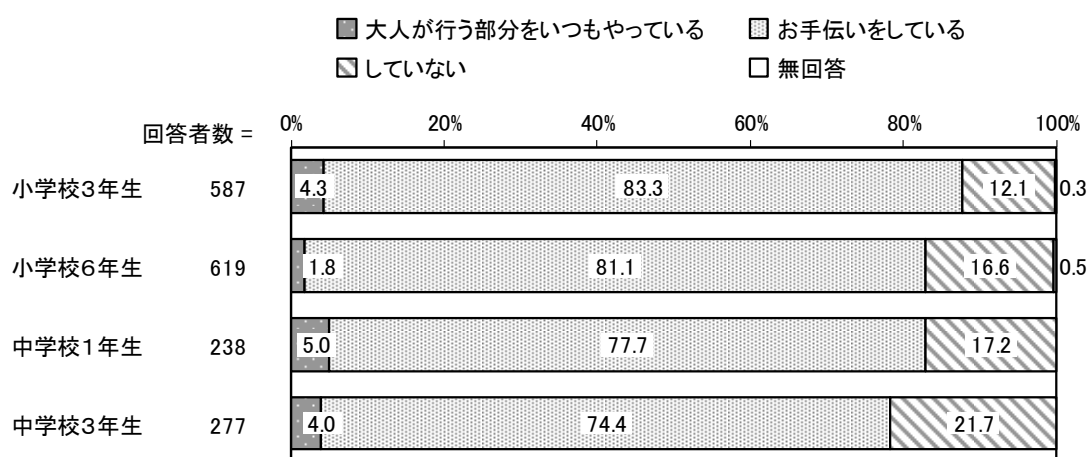


問3 【答えられる方のみお答えください】
あなたは、誰と一緒に住んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

単位：%

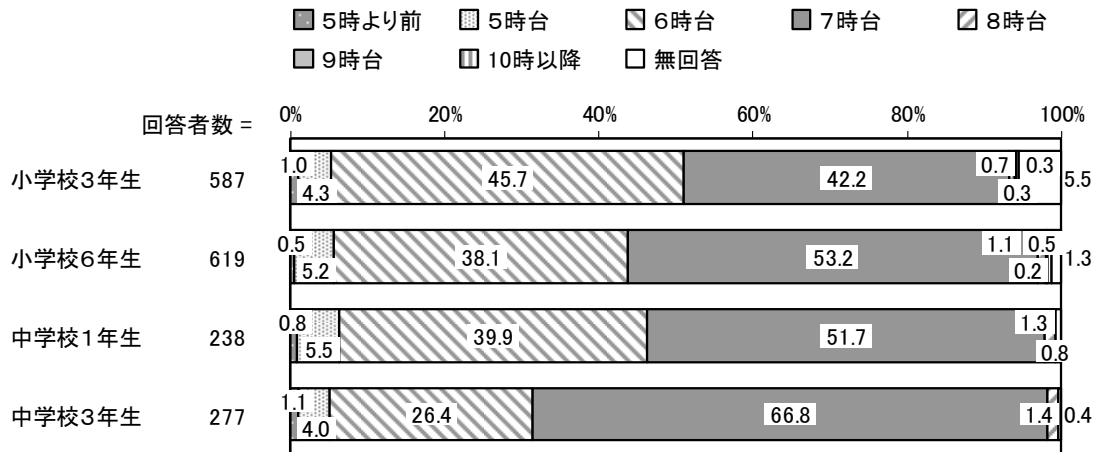
区分	回答者数 (件)	父親	母親	兄弟姉妹	祖父	祖母	その他	無回答
小学校3年生	587	92.7	97.8	78.7	4.9	8.2	4.9	0.7
小学校6年生	619	85.9	97.6	81.6	4.7	7.4	6.6	0.8
中学校1年生	238	86.1	97.5	80.7	5.9	10.1	5.9	0.4
中学校3年生	277	88.4	96.8	79.8	5.8	8.7	9.4	0.7

問4 親や祖父母、兄弟姉妹などの身の回りのお世話や買い物・料理・そうじ・せんたくなどを大人に代わって行っていますか。(1つに○)

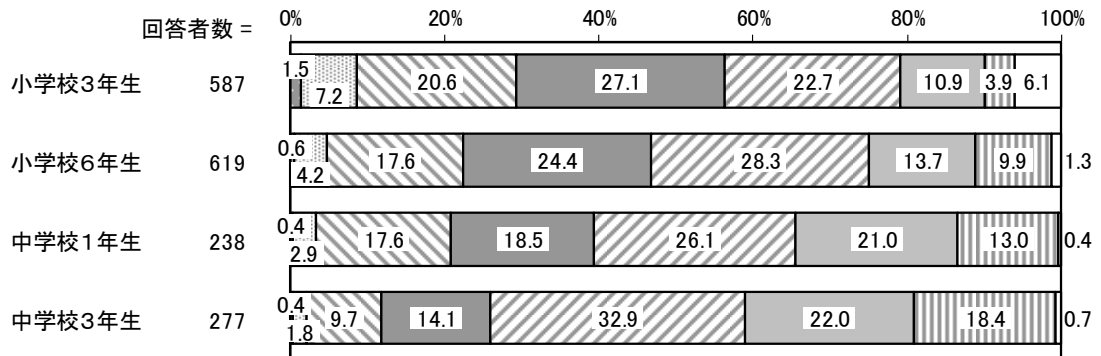


問5-1 あなたは、いつも何時ごろに起きていますか。

平日の起床時間

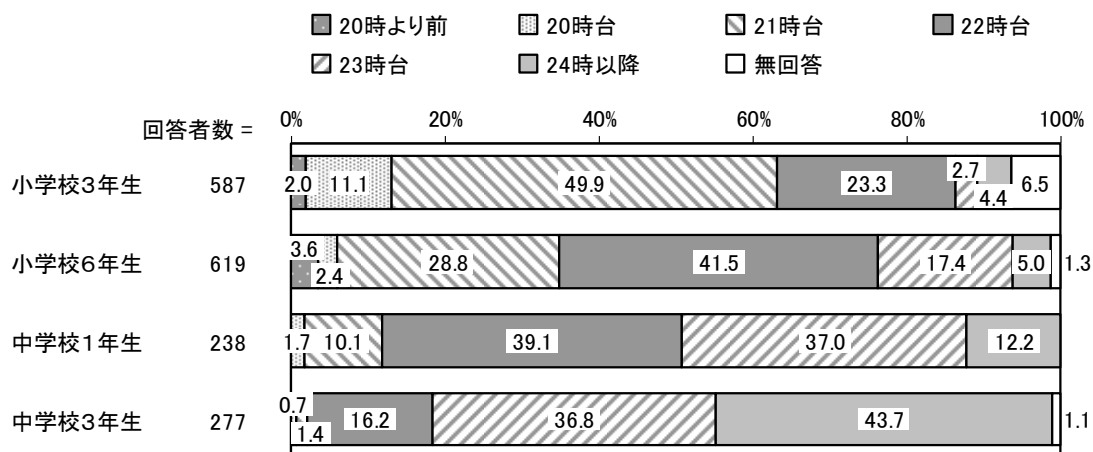


休日の起床時間

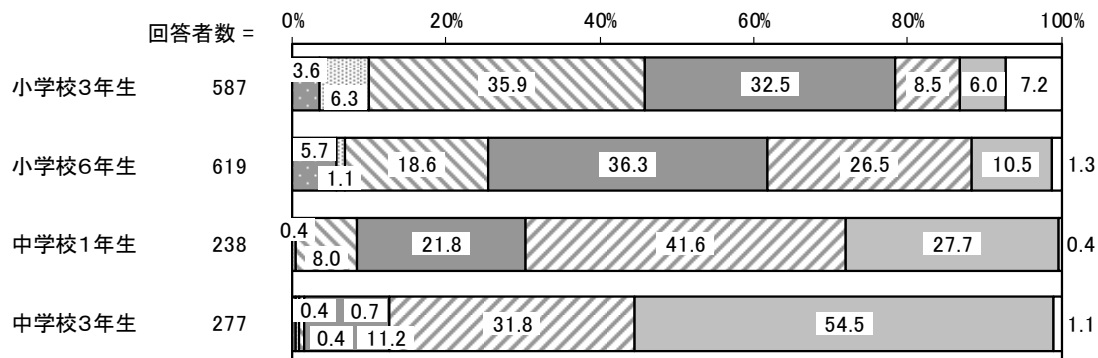


5-2 あなたは、いつも何時ごろに寝ていますか。

平日の就寝時間



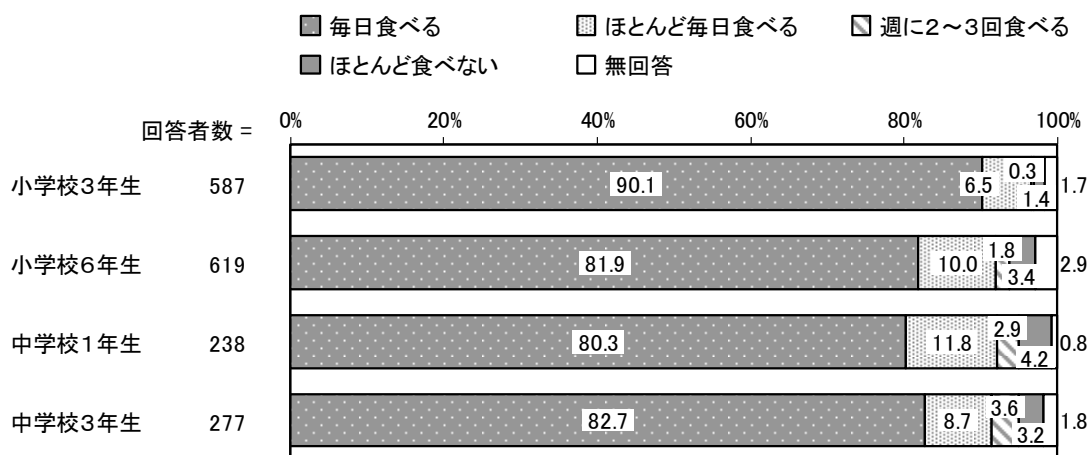
休日の就寝時間



問6 学校に行く前に朝ご飯を食べますか。(1つに○)

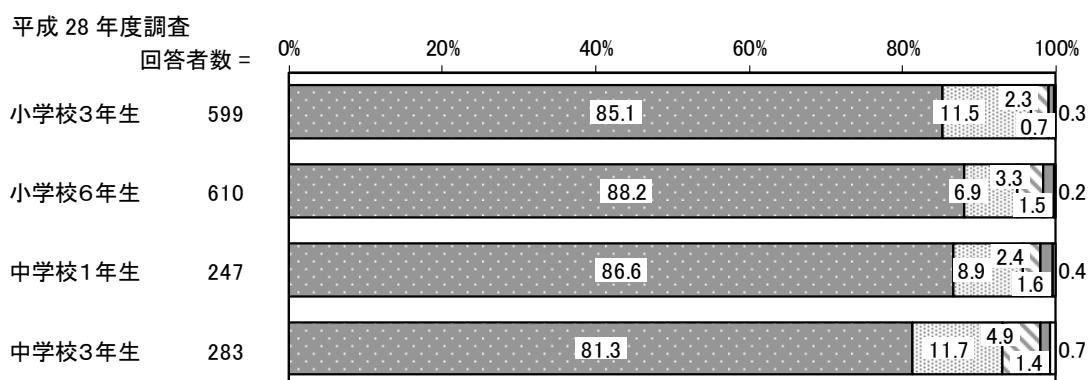
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で「毎日食べる」の割合が高くなっています。



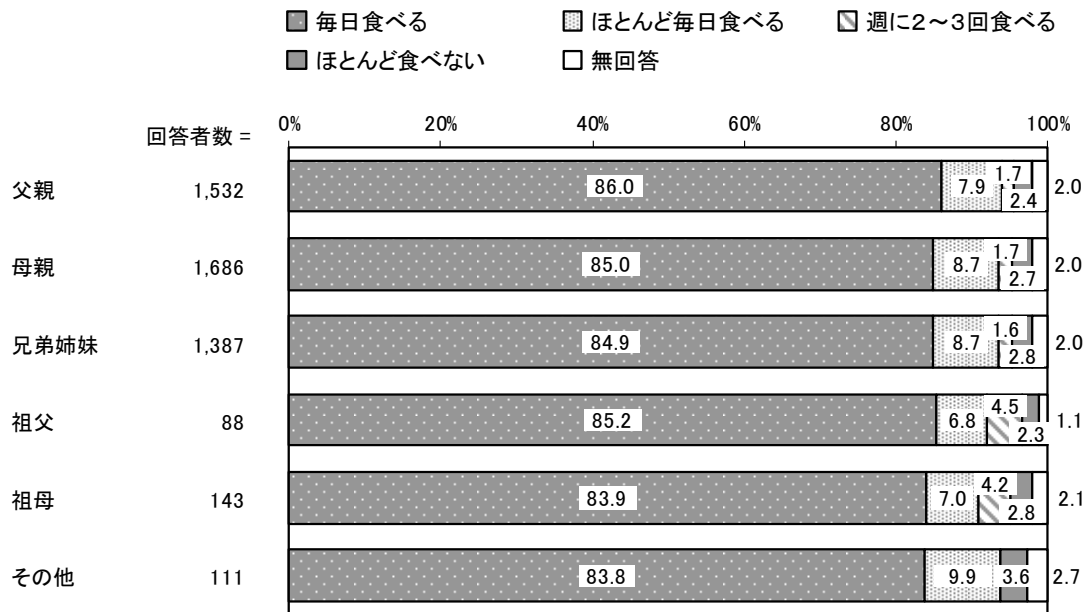
【平成28年度調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、小学校3年生で「毎日食べる」の割合が増加しています。一方、小学校6年生、中学校1年生で「毎日食べる」の割合が減少しています。



【家族構成別（小学校3年生、小学校6年生、中学校1年生、中学校3年生）】

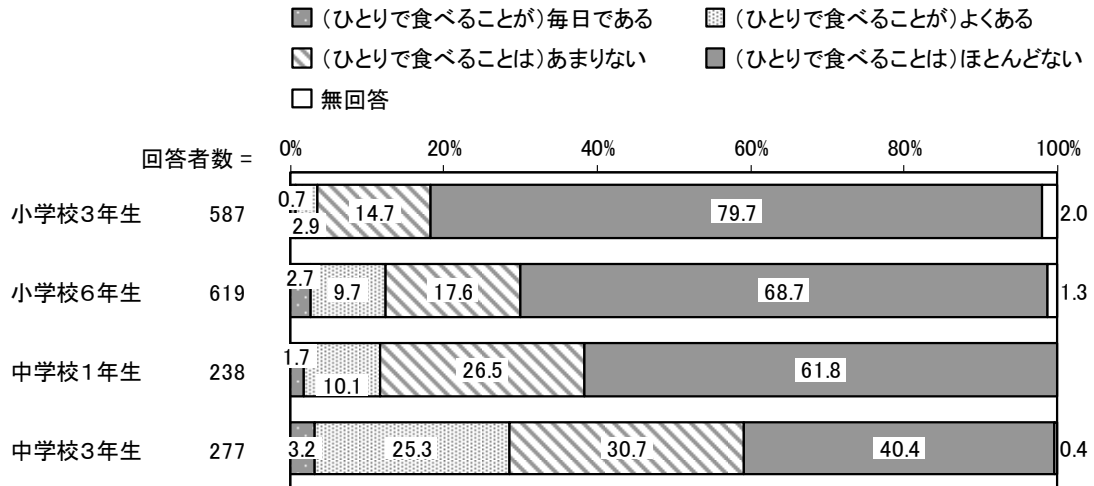
家族構成別でみると、大きな差異はみられません。



問7 ひとりで夕ご飯を食べることがありますか。(1つに○)

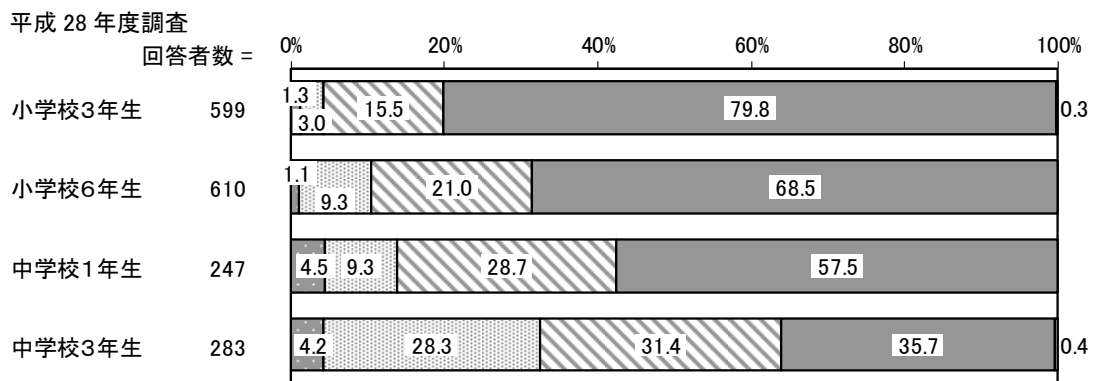
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で「(ひとりで食べることに) 毎日である」と「(ひとりで食べることに) よくある」をあわせた“ある”の割合が高くなっています。



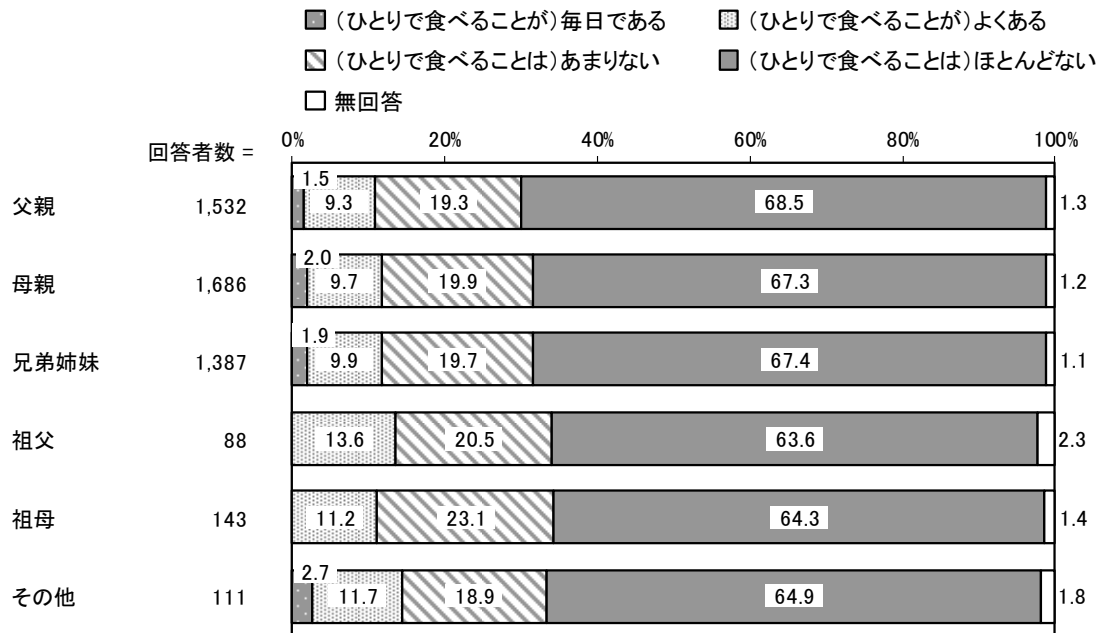
【平成28年度調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【家族構成別（小学校3年生、小学校6年生、中学校1年生、中学校3年生）】

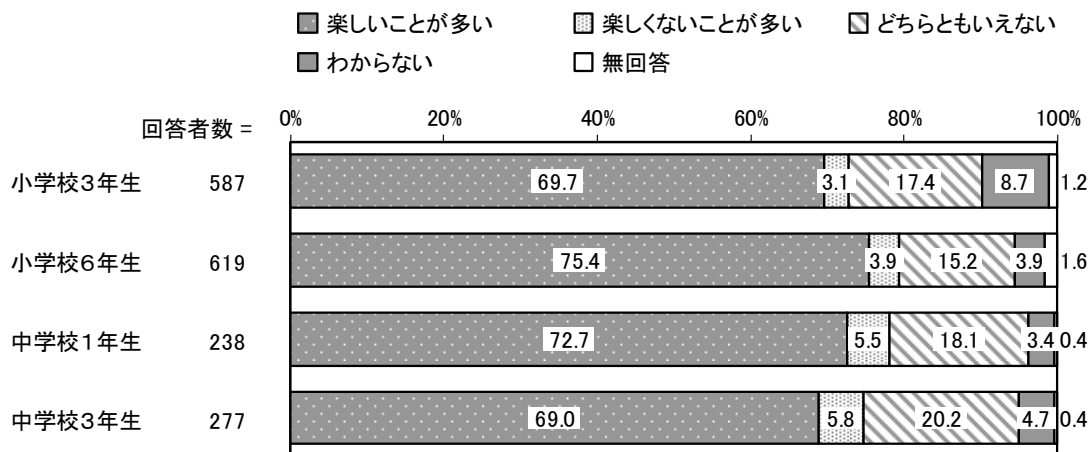
家族構成別でみると、大きな差異はみられません。



問8-1 あなたは、家にいると楽しいことが多いですか。それとも楽しくないことが多いですか。(1つに○)

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で「楽しいことが多い」の割合が高くなっています。



【小学校3年生のみの設問】

問7-2 上のしつ問のように答えたのは、どうしてですか。
(答えづらい場合は、問8に進んでください。)

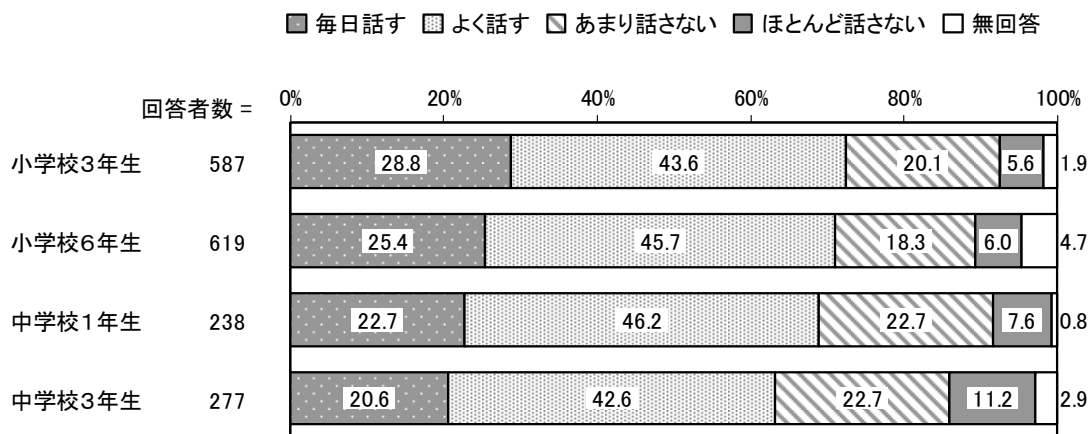
主な意見

- ・遊べるから。
 - ・家族といるから。
 - ・ゲームができるから。
- など

問9 学校であったことや友だちのことなどを家族に話しますか。(1つに○)

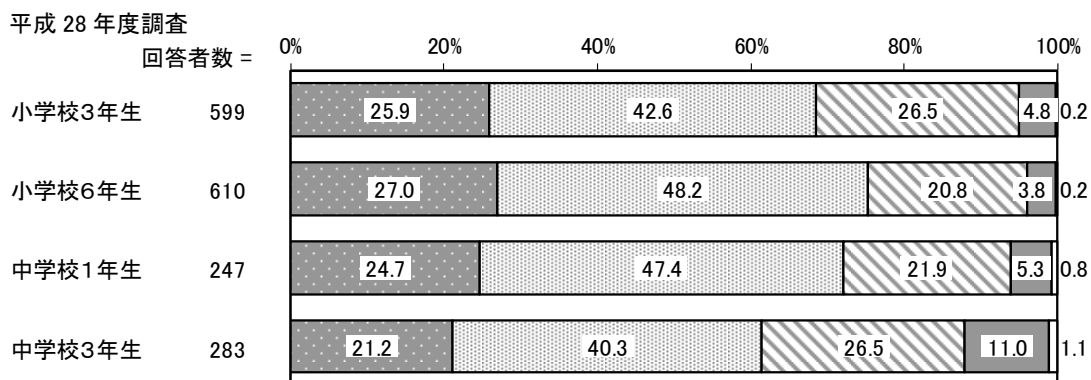
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で「毎日話す」と「よく話す」をあわせた“話す”の割合が高くなっています。一方、中学校3年生で「あまり話さない」と「ほとんど話さない」をあわせた“話さない”の割合が高くなっています。



【平成28年度調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。

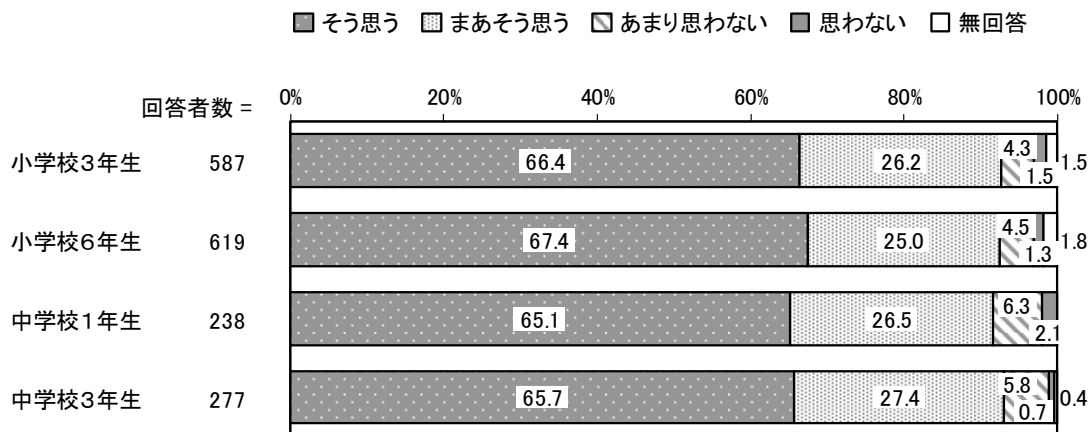


問 10 家族についてどう思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

よく話を聞いてくれる

【学年別】

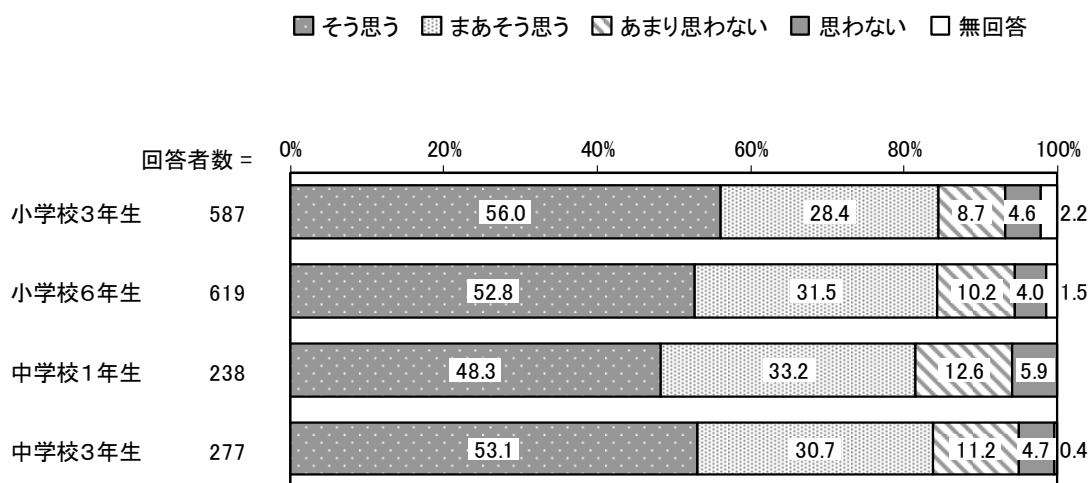
学年別でみると、大きな差異はみられません。



いっしょに出かけたり遊んだりしてくれる

【学年別】

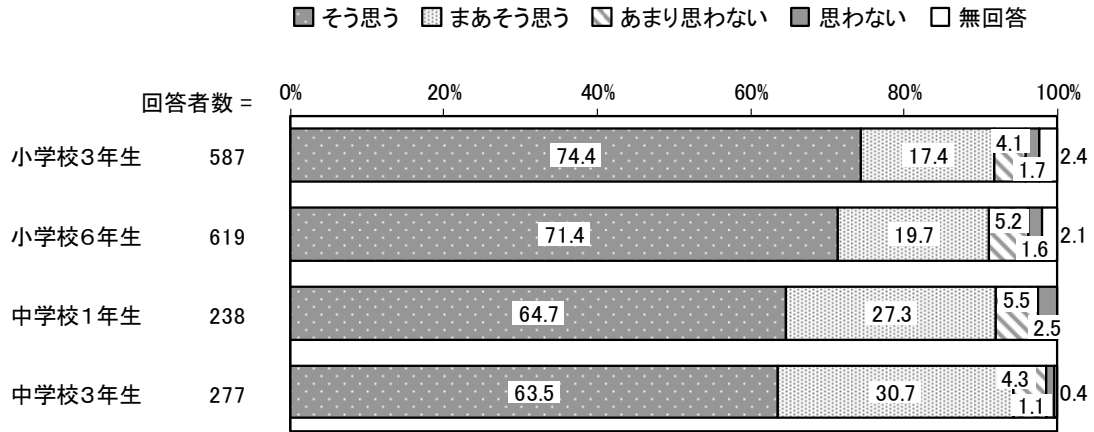
学年別でみると、他に比べ、中学校1年生で「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“思わない”の割合が高くなっています。



こまったときに助けてくれる

【学年別】

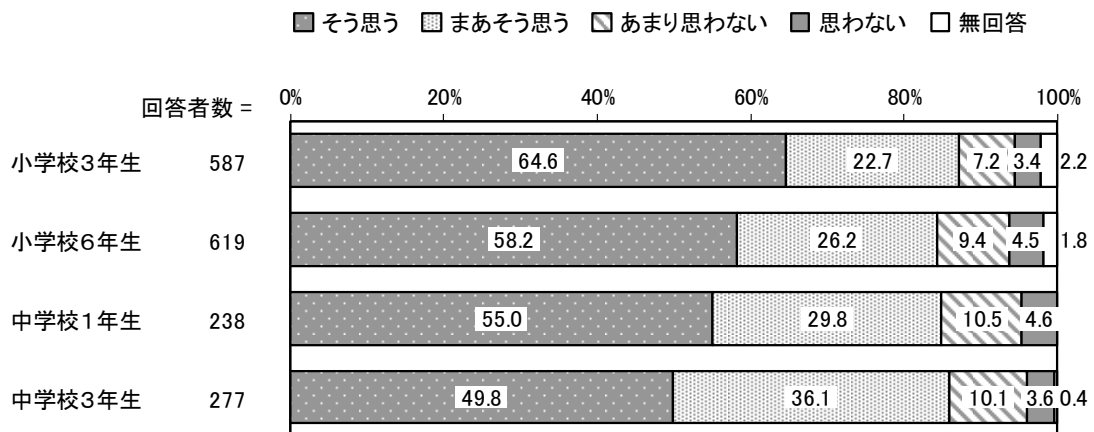
学年別でみると、大きな差異はみられません。



自分のことをわかってくれる

【学年別】

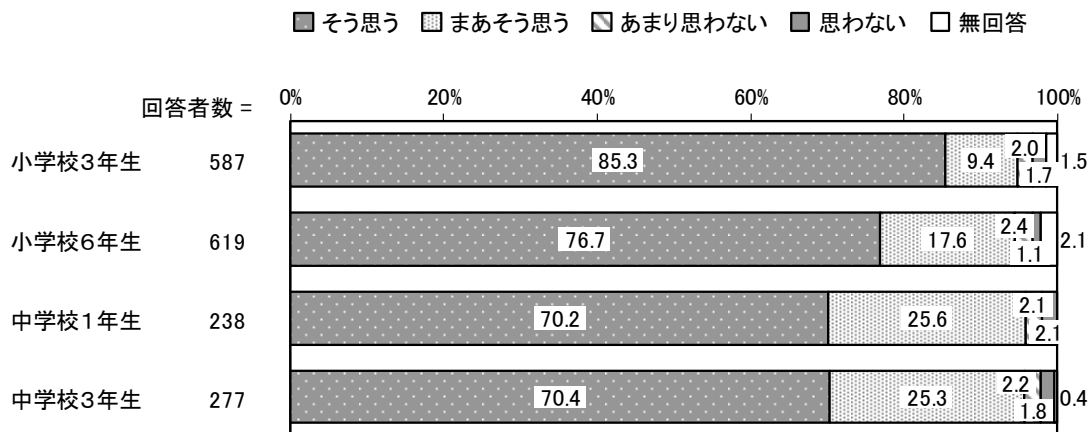
学年別でみると、大きな差異はみられません。



家族は自分を大切にしてくれる

【学年別】

学年別でみると、大きな差異はみられません。



問 11 あなたは、家族の人と、防犯・安全のためにどのようなことを行っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で「出かけるときはどこへ誰と行くのか話をする」「夜遅い時間に外に出ない」「一人で行動しないようにする」「友だちと登校・下校するようにしている」「地域・近所の人と顔見知りになる・あいさつをする」「防犯ブザーをもつ」「こども110番のいえの場所を確認している」の割合が、小学校6年生で「犯罪や事件のニュースの話をする」の割合が高くなっています。

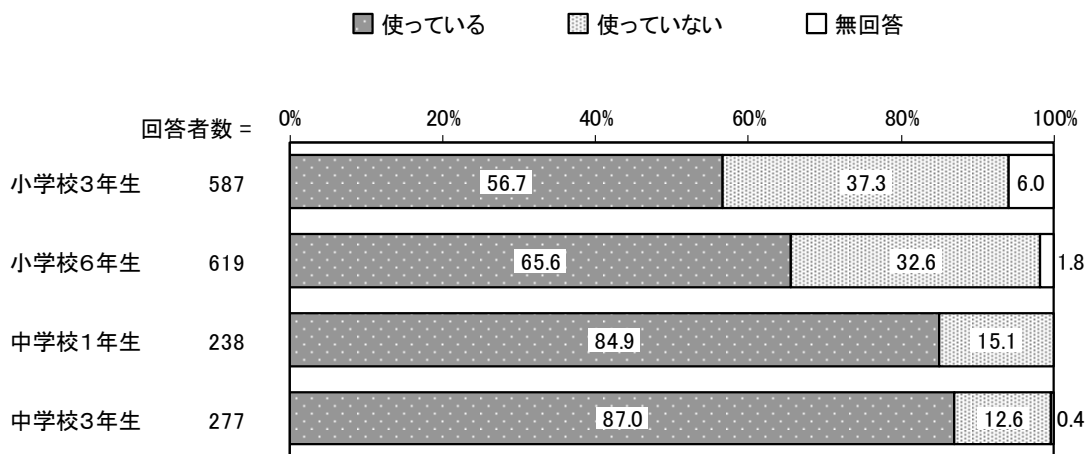
単位：%

区分	回答者数(件)	出かけるときはどこへ誰と行くのか話をする	夜遅い時間に外に出ない	犯罪や事件のニュースの話をする	一人で行動しないようにする	友だちと登校・下校するようにしている	不審者情報など犯罪や事件の情報収集する	地域・近所の人と顔見知りになる・あいさつをする	防犯ブザーをもつ	こども110番のいえの場所を確認している	その他	何もしていない	わからない	無回答
小学校3年生	587	78.4	76.3	31.9	52.3	60.8	16.7	56.4	50.4	34.8	5.8	1.2	0.5	0.5
小学校6年生	619	74.5	63.0	37.8	22.6	53.8	20.4	42.5	28.9	24.6	7.4	2.7	2.4	1.9
中学校1年生	238	71.4	60.1	34.5	17.6	41.6	17.2	37.4	4.6	11.8	3.4	4.2	2.9	—
中学校3年生	277	66.1	47.3	35.0	8.3	43.0	11.9	35.0	3.2	5.4	2.5	7.9	3.6	1.1

問 12- 1 携帯電話やスマートフォンを使っていますか。(1つに○)

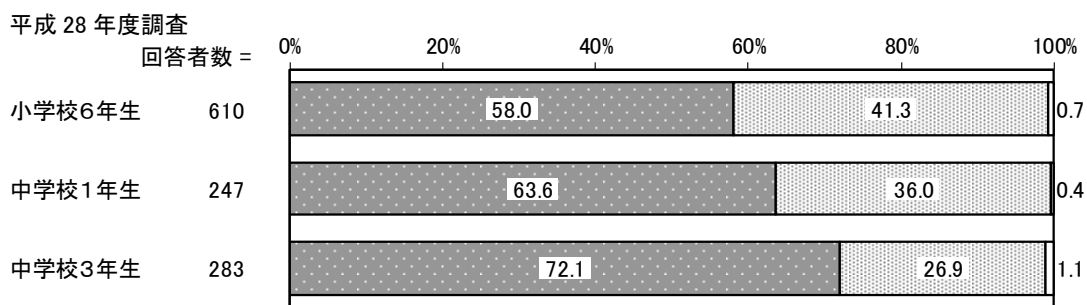
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学校1年生、中学校3年生で「使っている」の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、小学校 6 年生、中学校 1 年生、中学校 3 年生で「使っている」の割合が増加しています。



※平成 28 年度は小学校 3 年生に設問がありませんでした。

問 12- 2 【問 12- 1で、「1」に○をつけたときに教えてください】

携帯電話やスマートフォンを使っていてあてはまったことがあるのはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

【学年別】

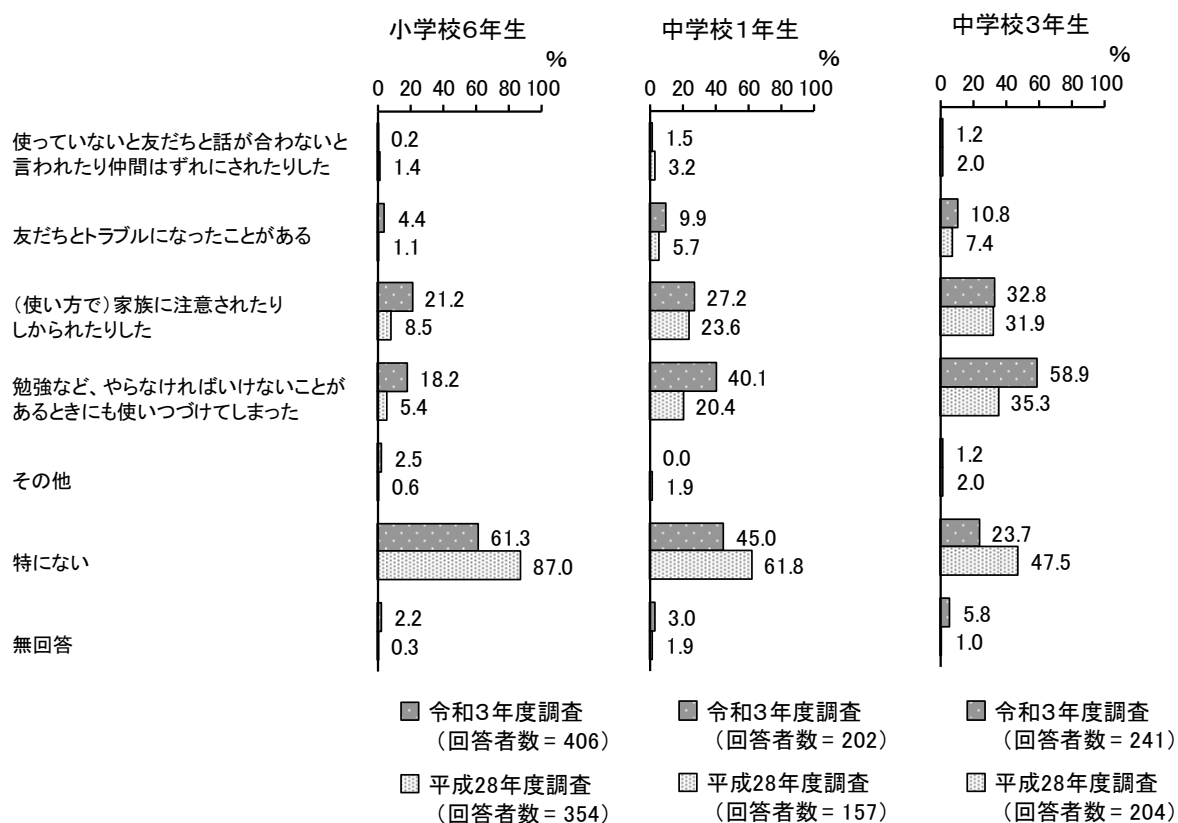
学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で「(使い方) 家族に注意されたりしかられたりした」「勉強など、やらなければいけないことがあるときにも使いつづけてしまった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	使っていないと友だちと話が合わないと言われたり仲間はずれにされたりした	友だちとトラブルになったことがある	(使い方) 家族に注意されたりしかられたりした	勉強など、やらなければいけないことがあるときにも使いつづけてしまった	その他	特になし	無回答
小学校3年生	333	4.2	3.0	11.4	6.9	3.3	72.1	5.7
小学校6年生	406	0.2	4.4	21.2	18.2	2.5	61.3	2.2
中学校1年生	202	1.5	9.9	27.2	40.1	—	45.0	3.0
中学校3年生	241	1.2	10.8	32.8	58.9	1.2	23.7	5.8

【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、小学校 6 年生で「(使い方) 家族に注意されたりしかなかったりした」「勉強など、やらなければいけないことがあるときにも使いつづけてしまった」の割合が、中学校 1 年生、中学校 3 年生で「勉強など、やらなければいけないことがあるときにも使いつづけてしまった」の割合が、増加しています。



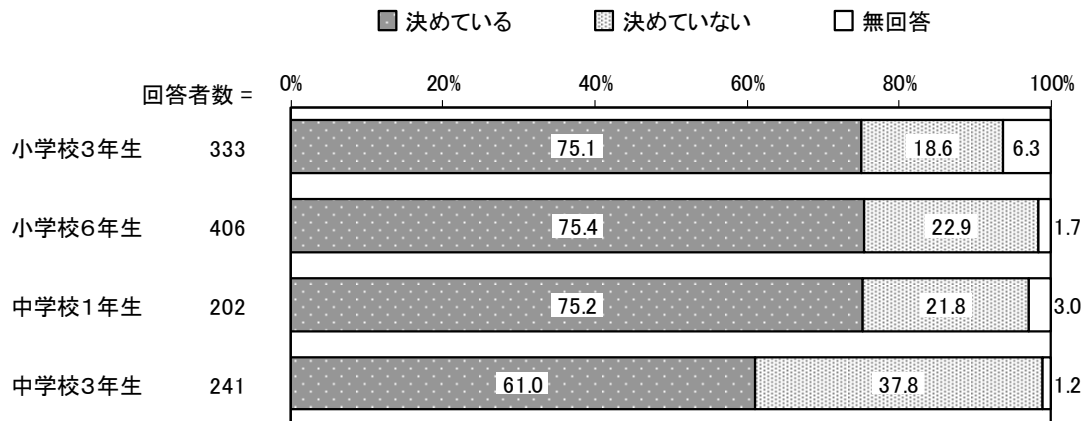
※前回調査に小学校 3 年生はありませんでした。

問 12- 3 【問 12- 1 で、「1」に○をつけたときに教えてください】

あなたは、携帯電話やスマートフォンを使用するときのルールを家族と決めていま
すか。(1つに○)

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で「決めていない」の割合が高くなっています。

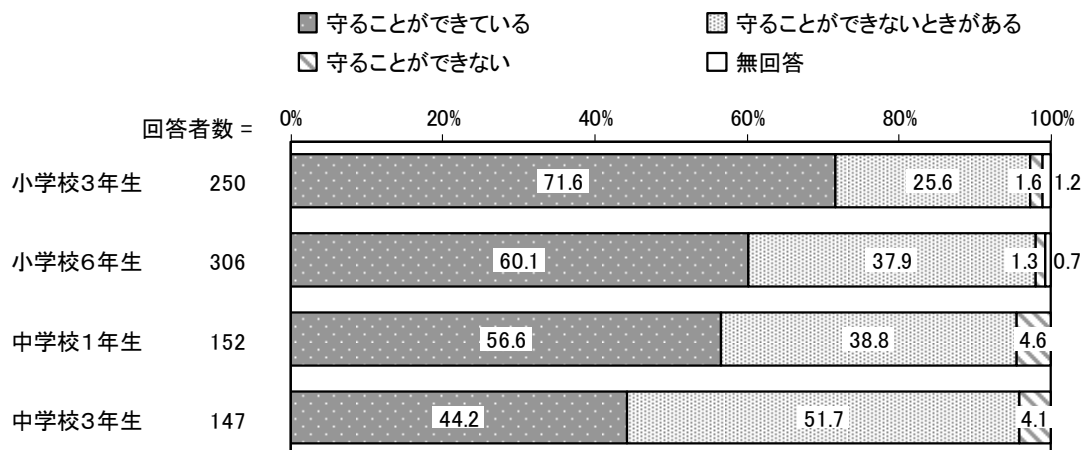


問 12- 4 【問 12- 3 で、「1」に○をつけたときに教えてください】

あなたは、携帯電話やスマートフォンを使用するときのルールを守っていますか。
(1つに○)

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で「守ることができている」の割合が、中学校3年
生で「守ることができないときがある」の割合が高くなっています。



問 13- 1 学校以外で塾（家庭教師を含む）や通信教材、またインターネットなどで授業を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で「通信教材」の割合が、中学校3年生で「塾（家庭教師を含む）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	塾 (家庭教師を含む)	インターネットでの 動画の授業	通信教材	受けていない	無回答
小学校3年生	587	23.7	6.8	21.6	46.5	7.7
小学校6年生	619	39.9	6.6	18.9	39.9	2.3
中学校1年生	238	40.8	8.0	18.5	37.8	1.7
中学校3年生	277	80.1	7.6	7.6	14.8	—

問 13- 2 【問 13- 1で、「1」～「3」に○をつけたときに答えてください】
塾（家庭教師を含む）や通信教材、またインターネットで授業を受けるのはどうしてですか。（あてはまるものすべてに○）

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学校1年生、中学校3年生で「学校の授業だけでは足りないから」の割合が、中学校3年生で「受験のため」の割合が高くなっています。

単位：%

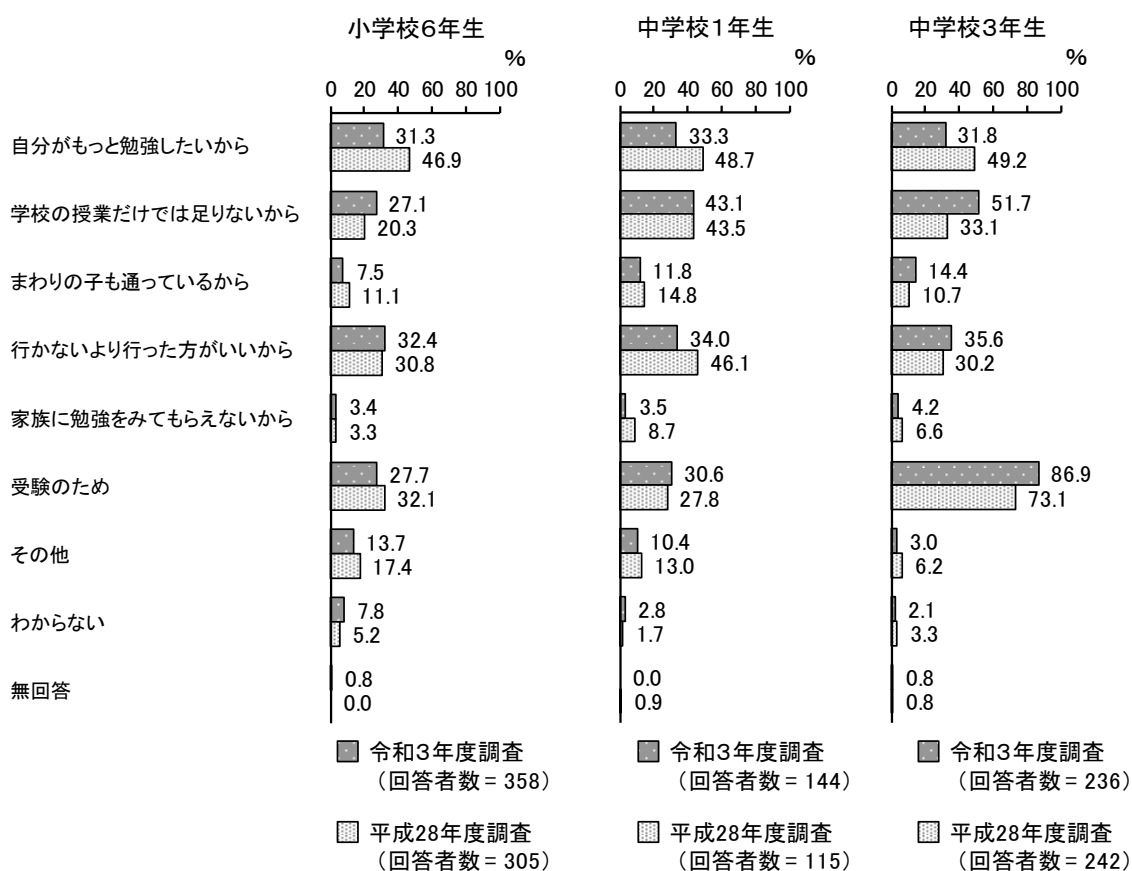
区分	回答者数（件）	自分をもっと勉強したいから	学校の授業だけでは足りないから	まわりの子も通っているから	行かないより行った方がいいから	家族に勉強をみてもらえないから	受験のため	その他	わからない	無回答
小学校3年生	269	38.7	25.7	10.4	23.0	4.8	22.7	11.2	14.5	3.0
小学校6年生	358	31.3	27.1	7.5	32.4	3.4	27.7	13.7	7.8	0.8
中学校1年生	144	33.3	43.1	11.8	34.0	3.5	30.6	10.4	2.8	—
中学校3年生	236	31.8	51.7	14.4	35.6	4.2	86.9	3.0	2.1	0.8

【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、小学 6 年生では、「学校の授業だけでは足りないから」の割合が増加しています。一方、「自分をもっと勉強したいから」の割合が減少しています。

中学 1 年生では、「自分をもっと勉強したいから」「行かないより行った方がいいから」の割合が減少しています。

中学 3 年生では、「学校の授業だけでは足りないから」「行かないより行った方がいいから」「受験のため」の割合が増加しています。一方、「自分をもっと勉強したいから」の割合が減少しています。



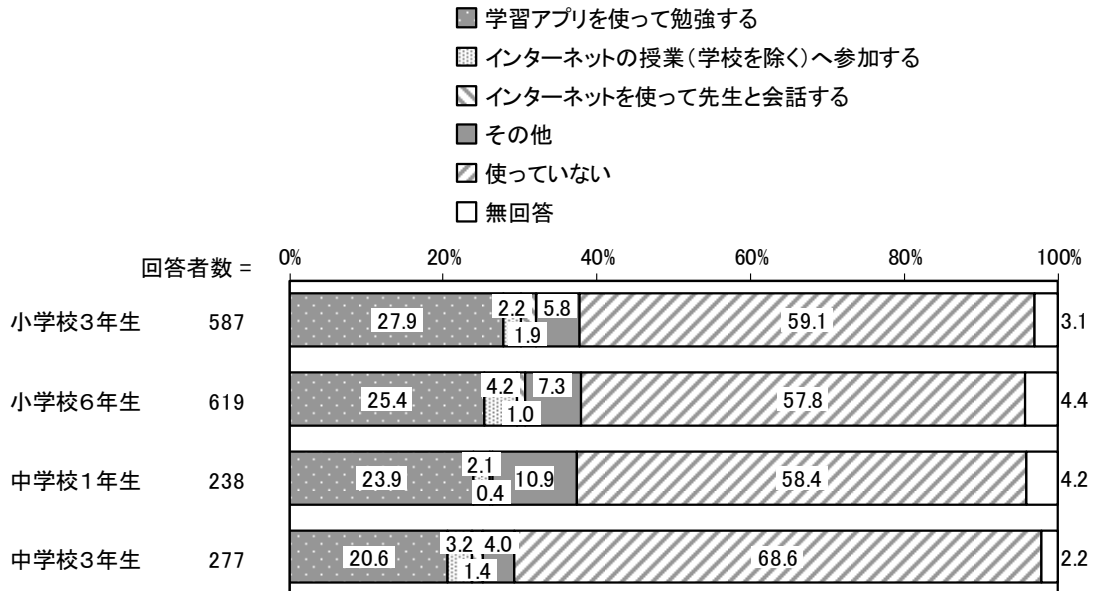
※前回調査に小学校 3 年生はありませんでした。

(2) パソコンやタブレットなどを利用した学習について

問14 あなたは、家でパソコンやタブレットなどを使って自分で学習をしていますか。
(1つに○)

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で「学習アプリを使って勉強する」の割合が、中学校3年生で「使っていない」の割合が高くなっています。

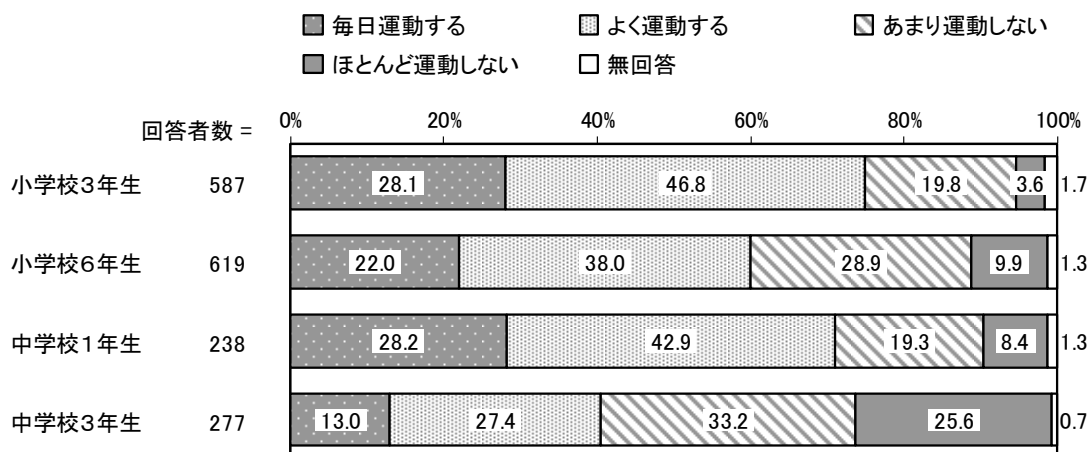


(3) 日常生活（中学生は試験期間前を除く）について

問 15 学校の授業以外で運動しますか。（1つに○）
 ※クラブ活動、習い事、友だちとの遊びも入ります。

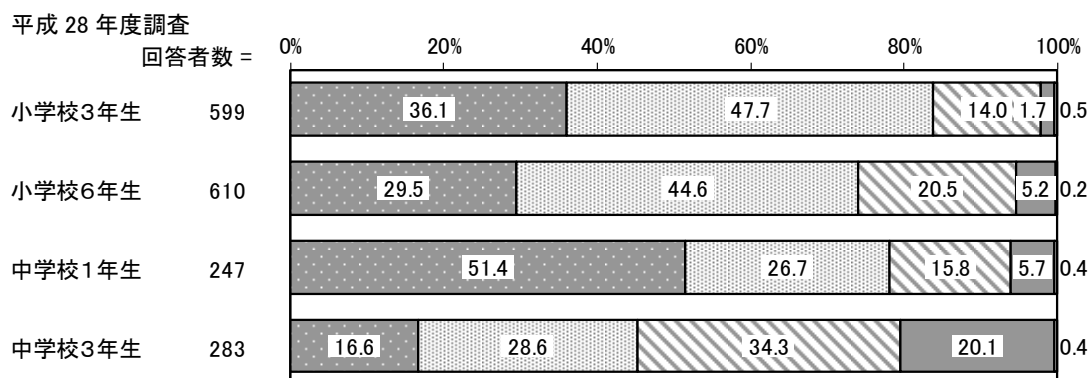
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生、中学校1年生で「毎日運動する」と「よく運動する」をあわせた“運動する”の割合が、中学校3年生で「あまり運動しない」と「ほとんど運動しない」をあわせた“運動しない”の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

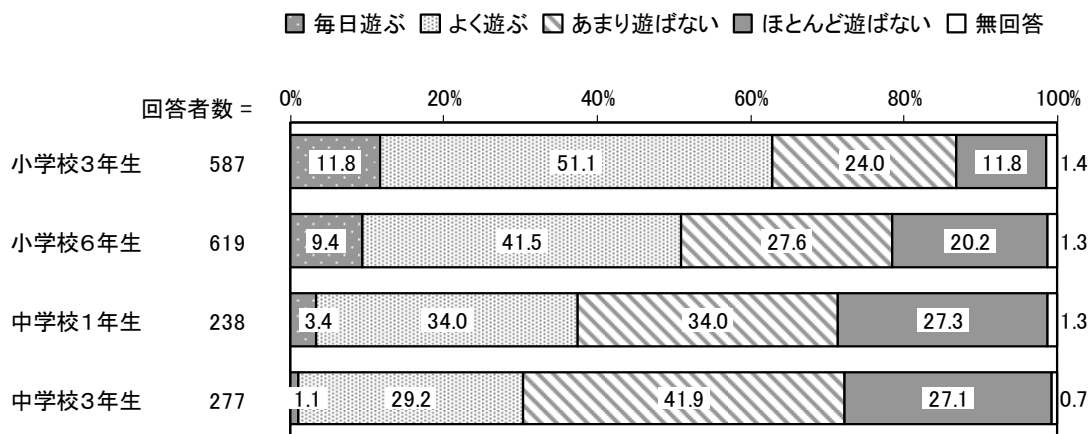
平成 28 年度調査と比較すると、小学校 3 年生、小学校 6 年生、中学校 1 年生で“運動する”の割合が減少しています。



問 16 放課後や休みの日に友だちと遊びますか。(1つに○)

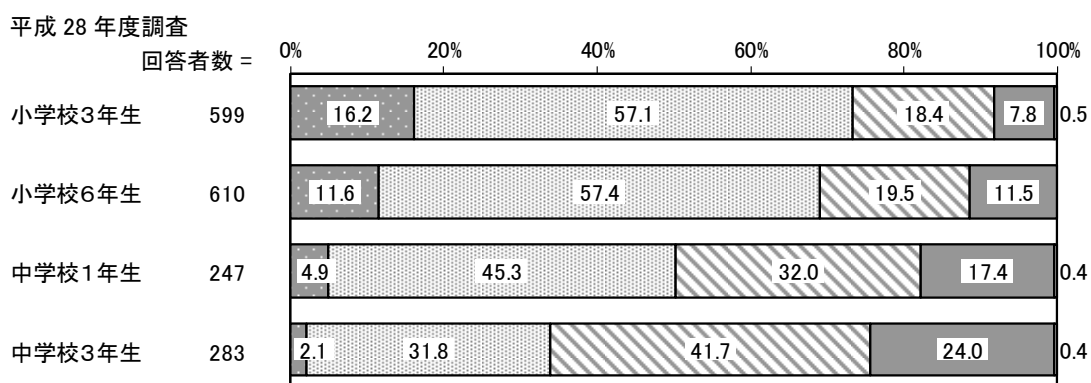
【学年別】

学年別でみると、学年が低くなるにつれ「毎日遊ぶ」と「よく遊ぶ」をあわせた“遊ぶ”の割合が高くなっています。一方、学年が高くなるにつれ「あまり遊ばない」と「ほとんど遊ばない」をあわせた“遊ばない”の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

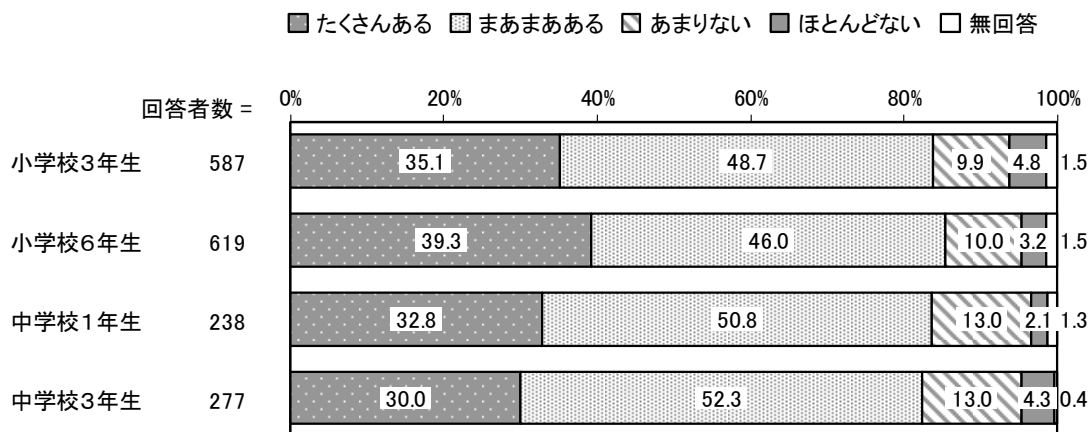
平成 28 年度調査と比較すると、小学校 3 年生、小学校 6 年生、中学校 1 年生で“遊ぶ”の割合が減少しています。



問 17 ふだん、好きなことをしたり、ゆっくり過ごしたりする時間がありますか。
(1つに○)

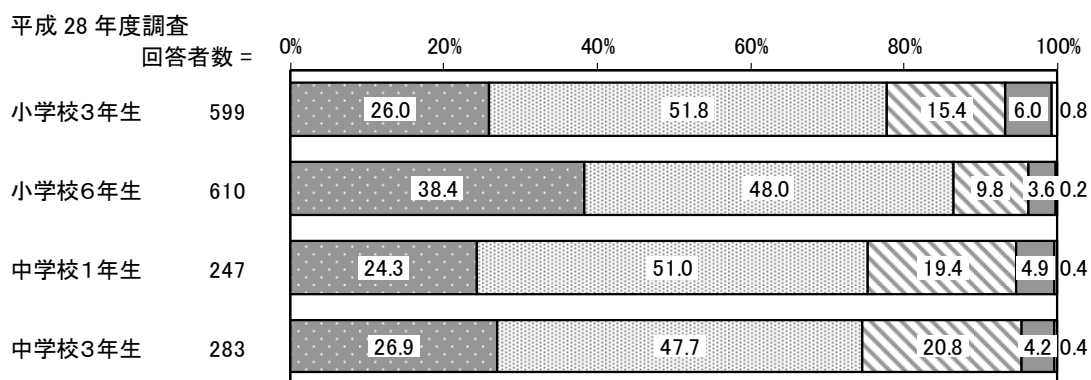
【学年別】

学年別でみると、大きな差異はみられません。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、小学校 3 年生、中学校 1 年生、中学校 3 年生で「たくさんある」と「まあまあある」をあわせた“ある”の割合が増加しています。

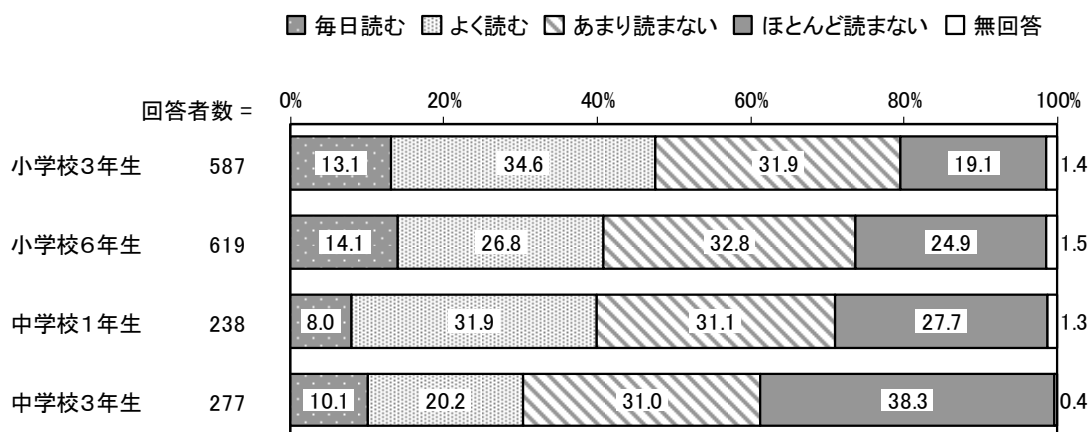


問 18 学校以外で本を読みますか。(1つに○)

※教科書、参考書、マンガ、雑誌は入りません。

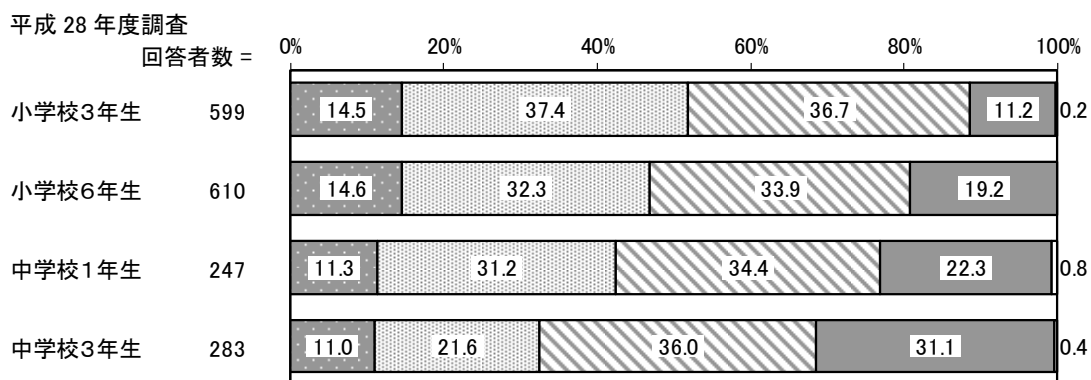
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で「毎日読む」と「よく読む」をあわせた“読む”の割合が、中学校3年生で「あまり読まない」と「ほとんど読まない」をあわせた“読まない”の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

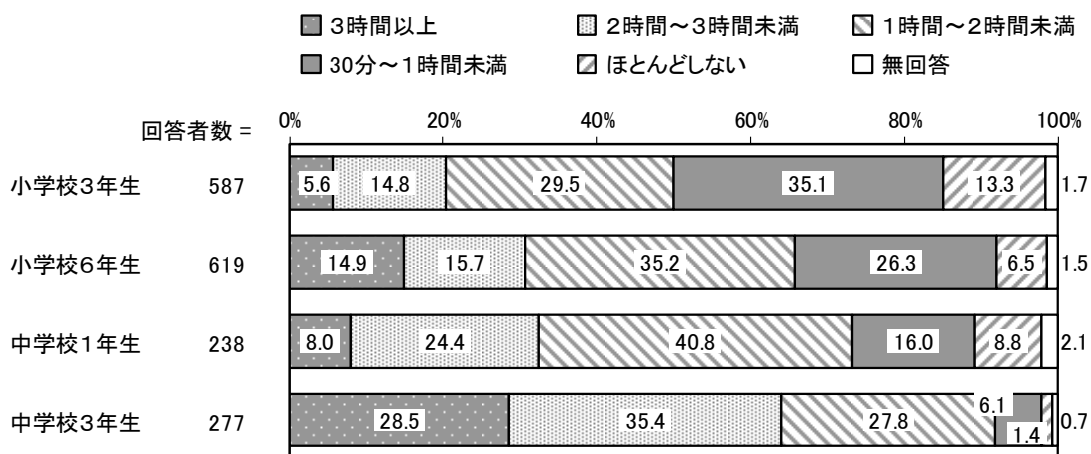
平成 28 年度調査と比較すると、小学校 6 年生で“読む”の割合が減少しています。



問 19 学校の授業時間以外に1日にどれくらい学習しますか。(1つに○)
 ※宿題や塾、家庭教師に教わっている時間も入ります。

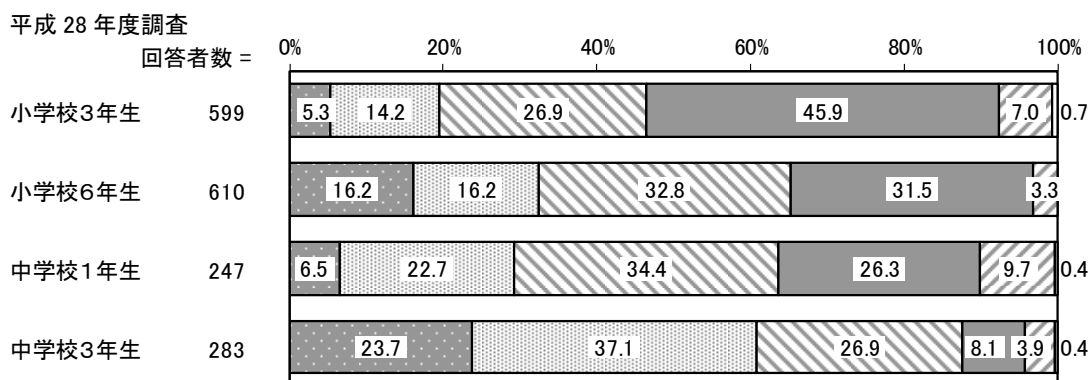
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で「3時間以上」「2時間～3時間未満」の割合が、中学校1年生で「1時間～2時間未満」の割合が高くなっています。また、学年が低くなるにつれ「30分～1時間未満」の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、中学校 1 年生で「1 時間～2 時間未満」の割合が増加しています。一方、小学校 3 年生、小学校 6 年生、中学校 1 年生で「30 分～1 時間未満」の割合が減少しています。



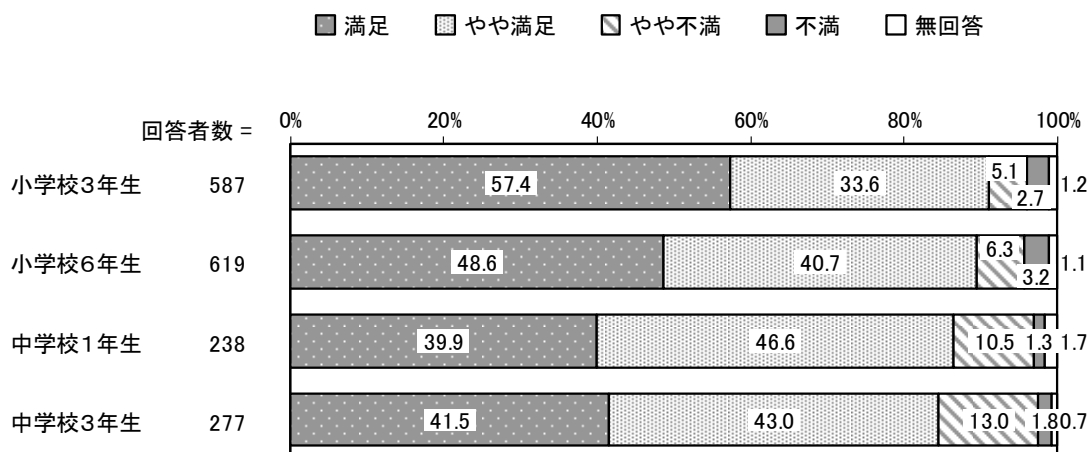
(4) 学校生活について

問 20 学校生活について、どのように感じていますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

授業

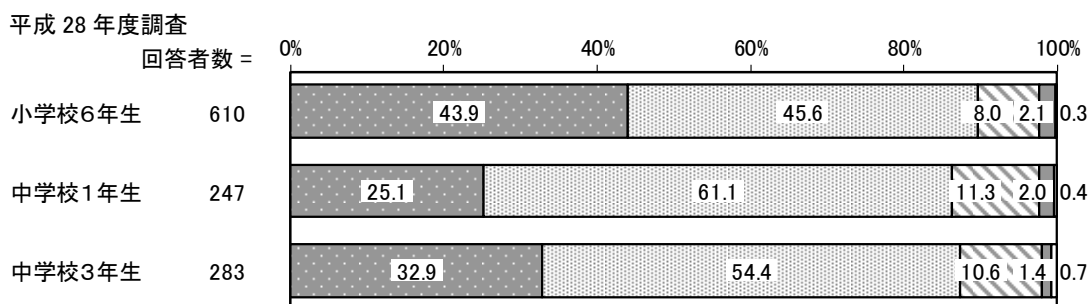
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が、中学校3年生で「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。

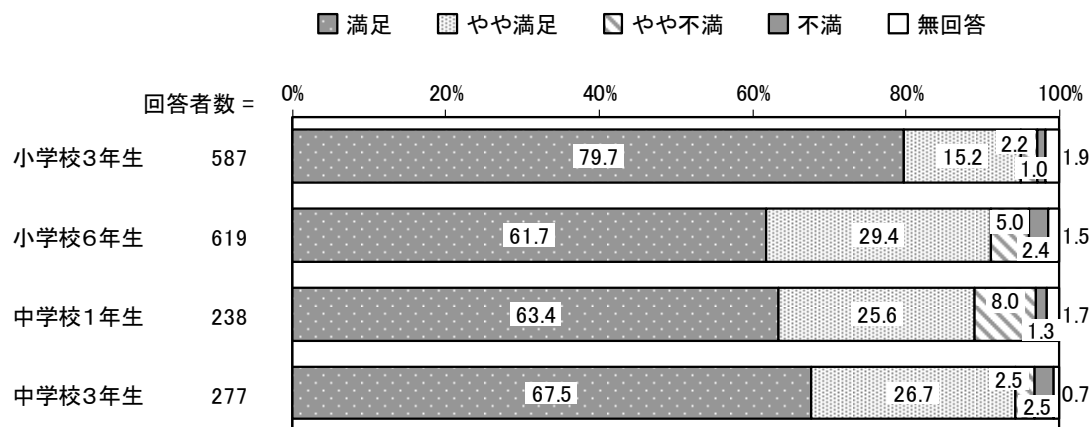


※前回調査に小学校3年生はありませんでした。

休み時間

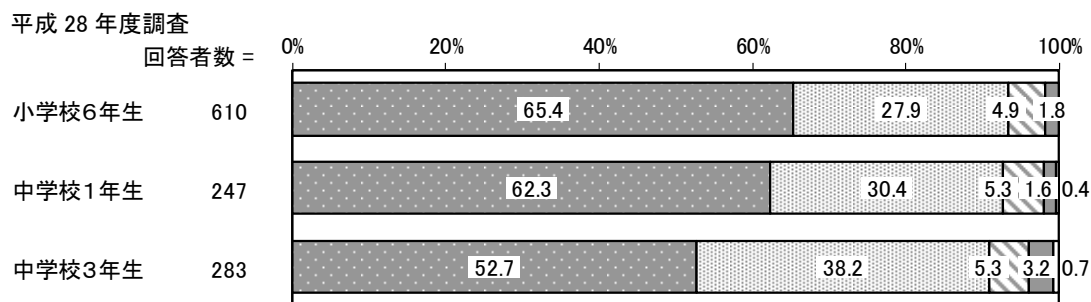
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生、中学校3年生で“満足”の割合が、中学校1年生で“不満”の割合が高くなっています。



【平成28年度調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。

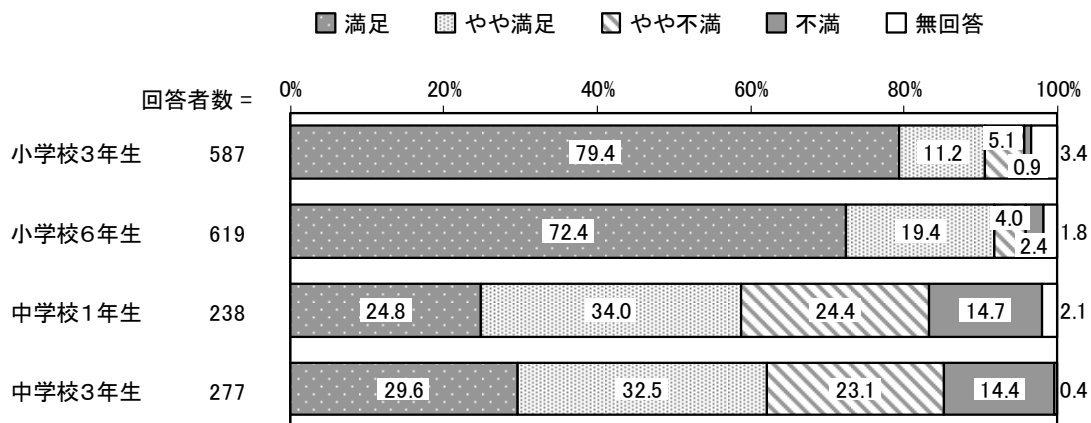


※前回調査に小学校3年生はありませんでした。

給食

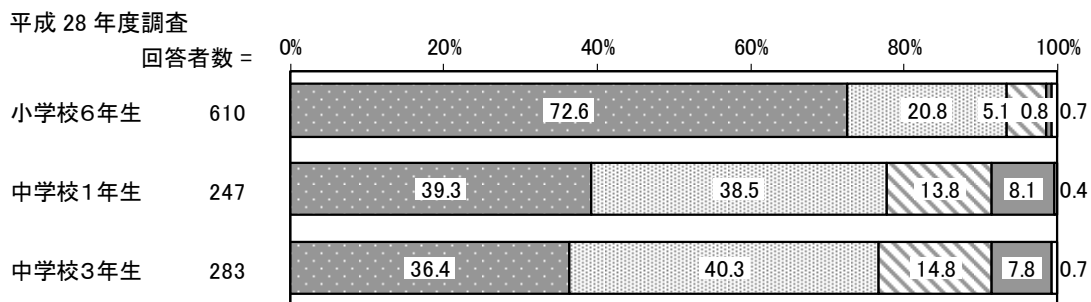
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生、小学校6年生で“満足”の割合が、中学校1年生、中学校3年生で“不満”の割合が高くなっています。



【平成28年度調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、中学校1年生、中学校3年生で“不満”の割合が増加しています。

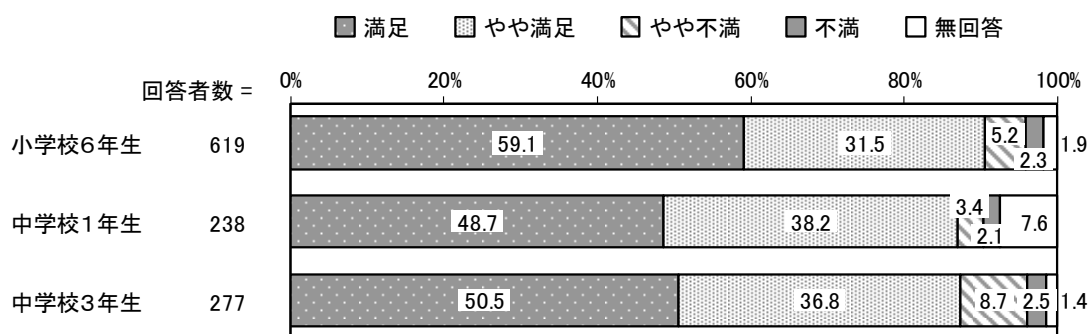


※前回調査に小学校3年生はありませんでした。

委員会活動

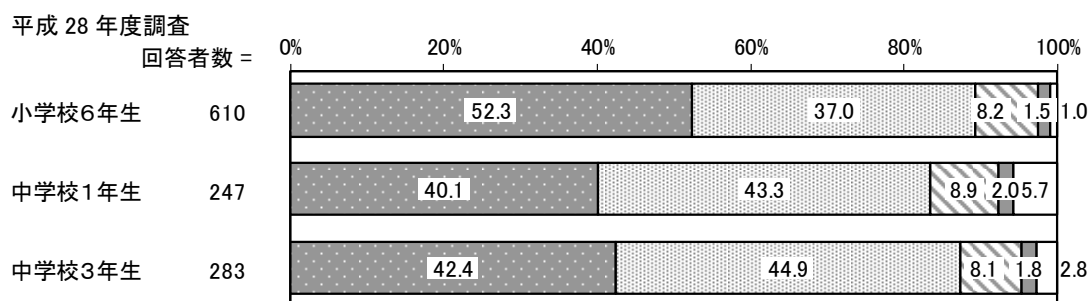
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で“不満”の割合が高くなっています。



【平成28年度調査との比較】

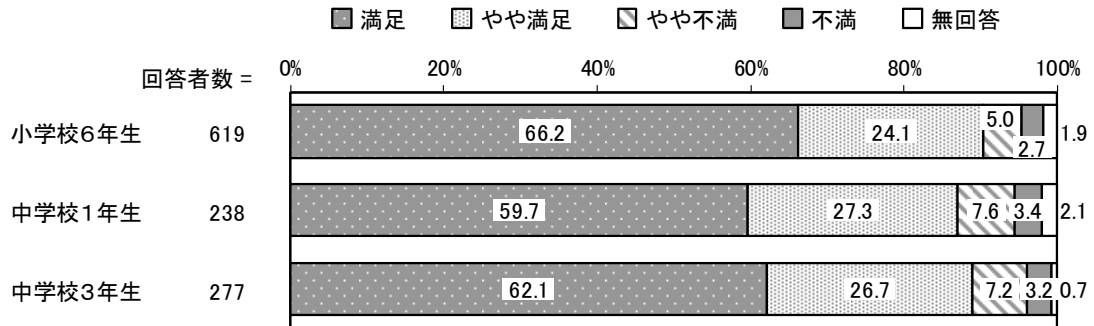
平成28年度調査と比較すると、中学校1年生で“不満”の割合が減少しています。



クラブ活動・部活動

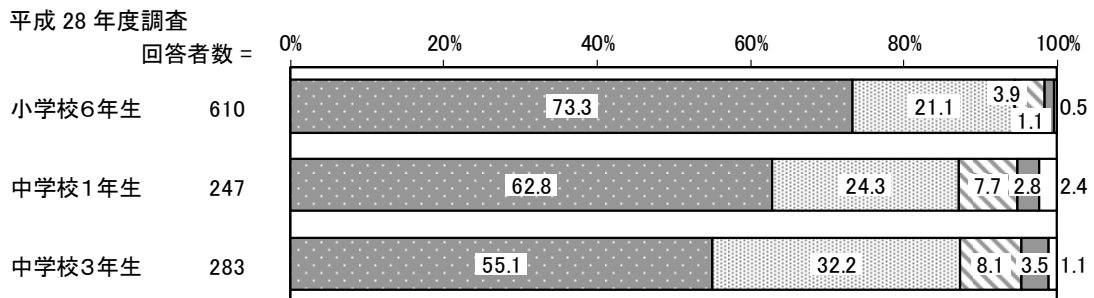
【学年別】

学年別でみると、大きな差異はみられません。



【平成 28 年度調査との比較】

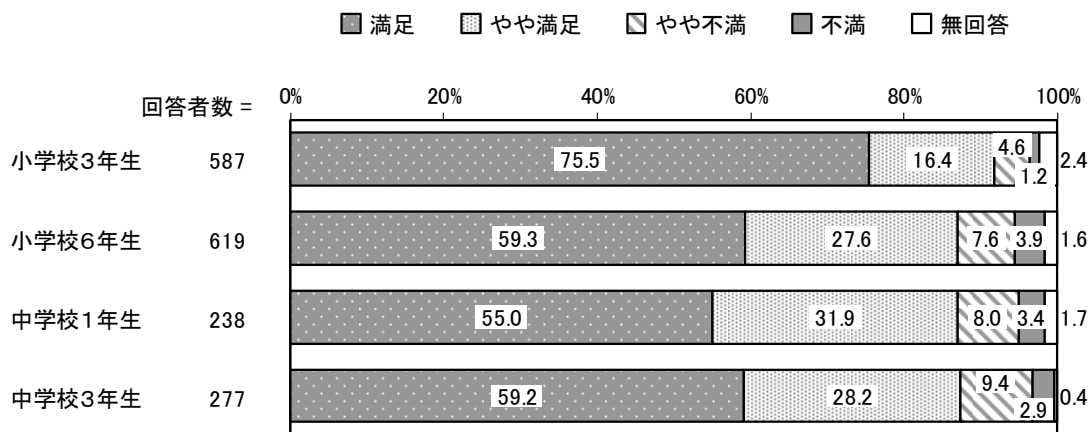
平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



運動会、文化祭などの行事

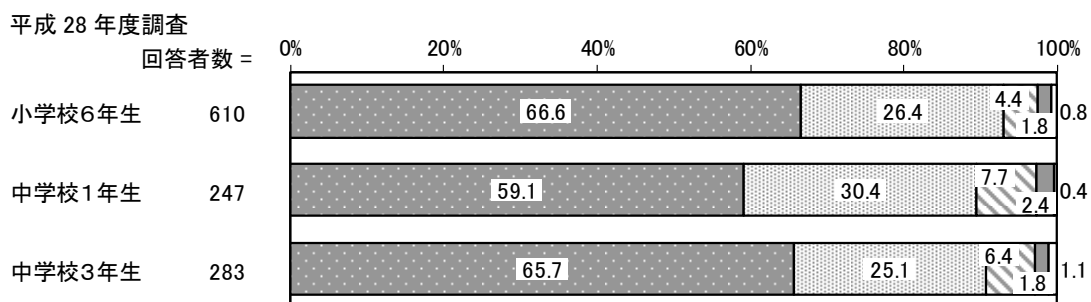
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で“満足”の割合が、小学校6年生、中学校1年生、中学校3年生で“不満”の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、小学校 6 年生で“不満”の割合が増加しています。

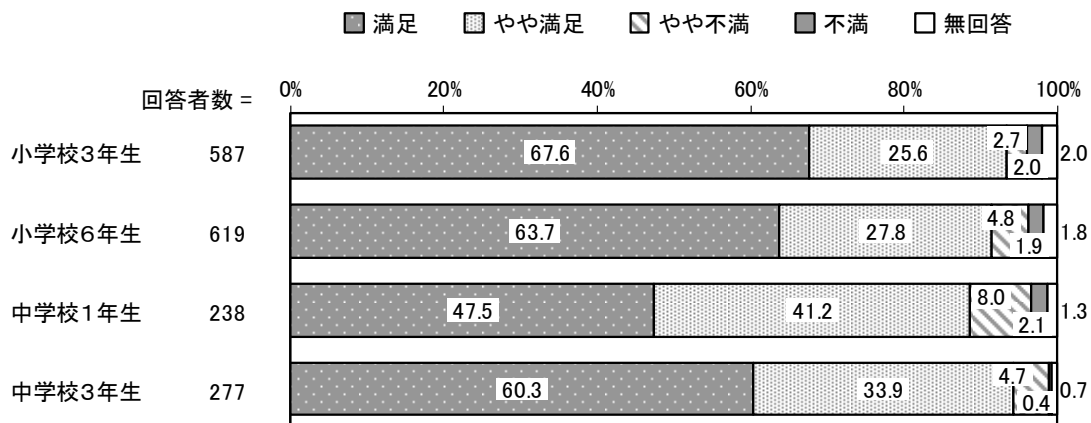


※前回調査に小学校3年生はありませんでした。

担任の先生との関係

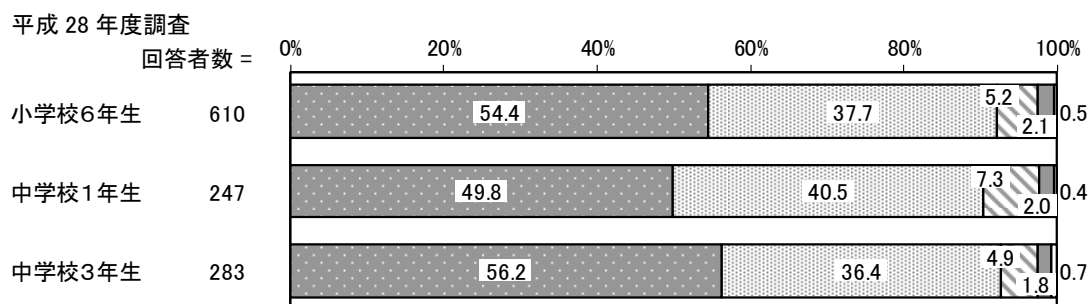
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生、小学校6年生、中学校3年生で“満足”の割合が、中学校1年生で“不満”の割合が高くなっています。



【平成28年度調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。

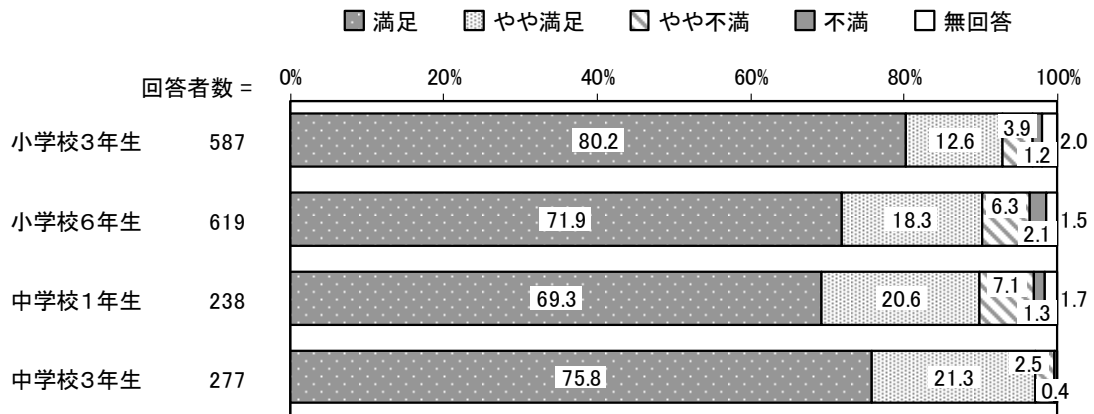


※前回調査に小学校3年生はありませんでした。

友だちとの関係

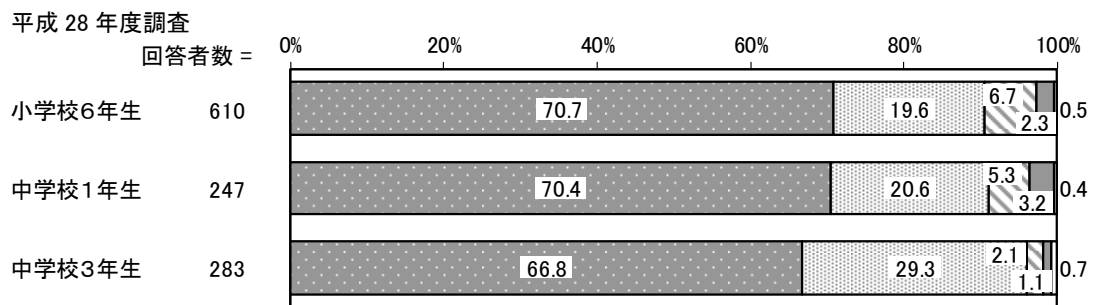
【学年別】

学年別で見ると、他に比べ、中学校3年生で“満足”の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。

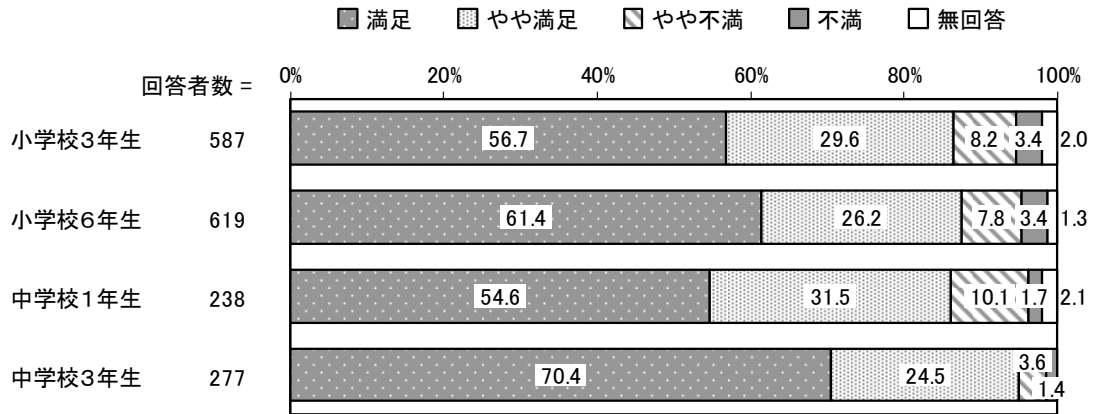


※前回調査に小学校3年生はありませんでした。

クラスの雰囲気

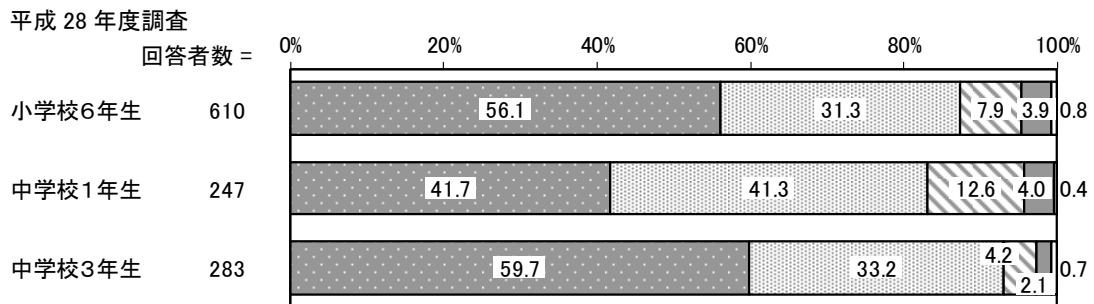
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で“満足”の割合が、小学校3年生、小学校6年生、中学校1年生で“不満”の割合が高くなっています。



【平成28年度調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。

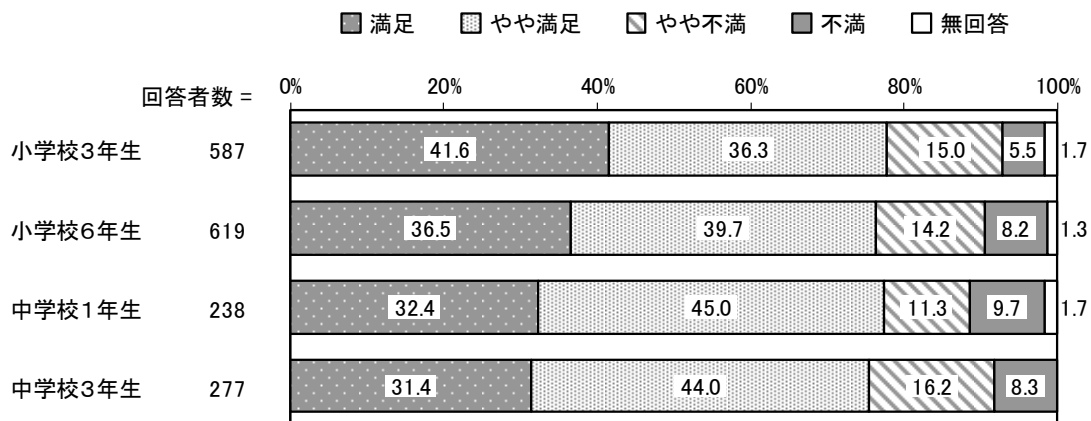


※前回調査に小学校3年生はありませんでした。

校舎や教室のきれいさ

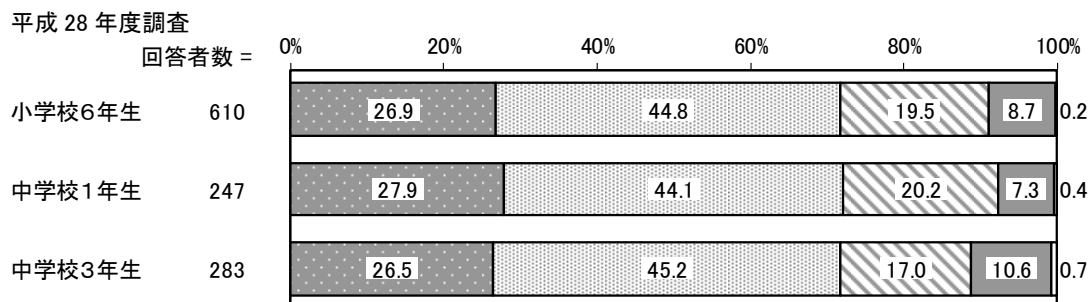
【学年別】

学年別でみると、大きな差異はみられません。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、小学校 6 年生、中学校 1 年生で“不満”の割合が減少しています。



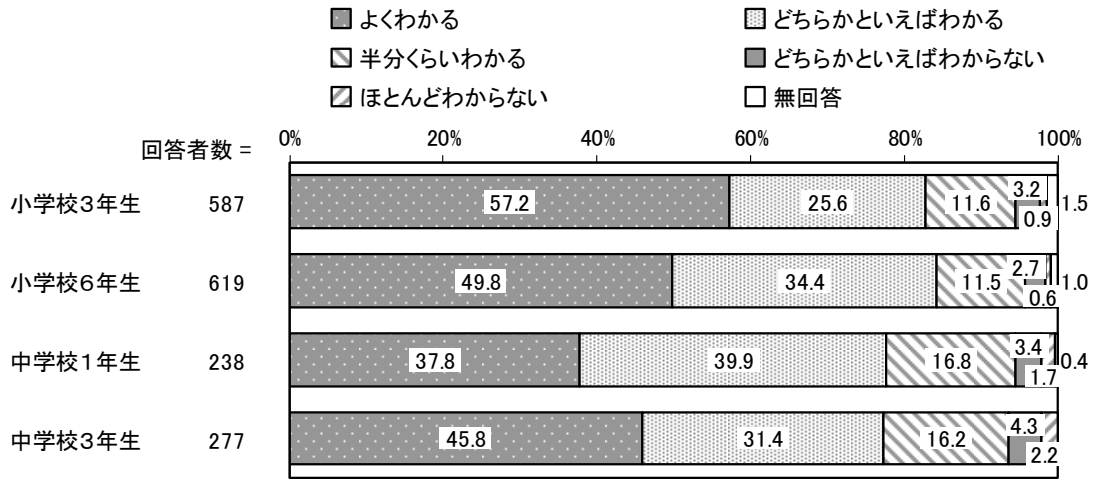
※前回調査に小学校 3 年生はありませんでした。

問 21- 1 学校の授業がわかりますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

国語

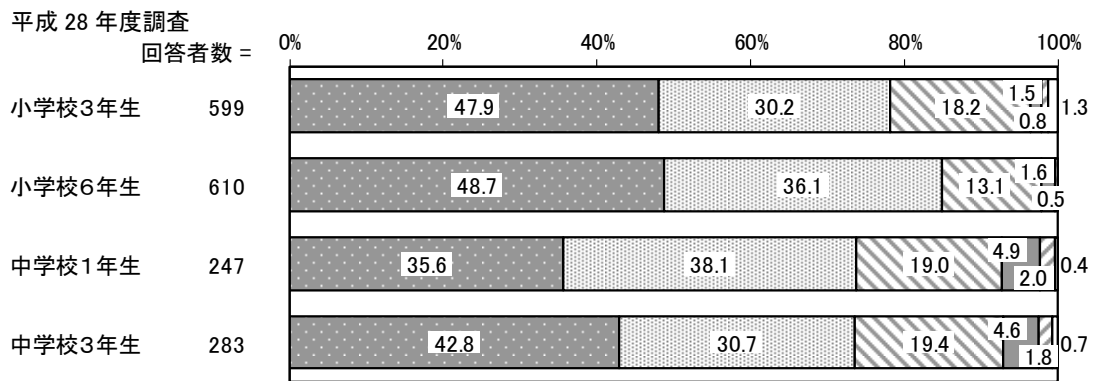
【学年別】

学年別でみると、大きな差異はみられません。



【平成 28 年度調査との比較】

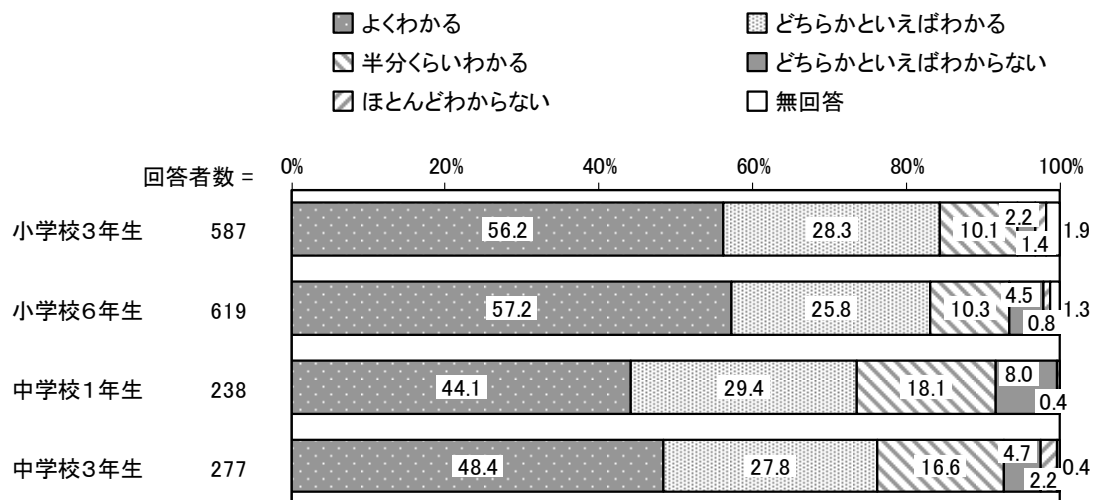
平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



社会

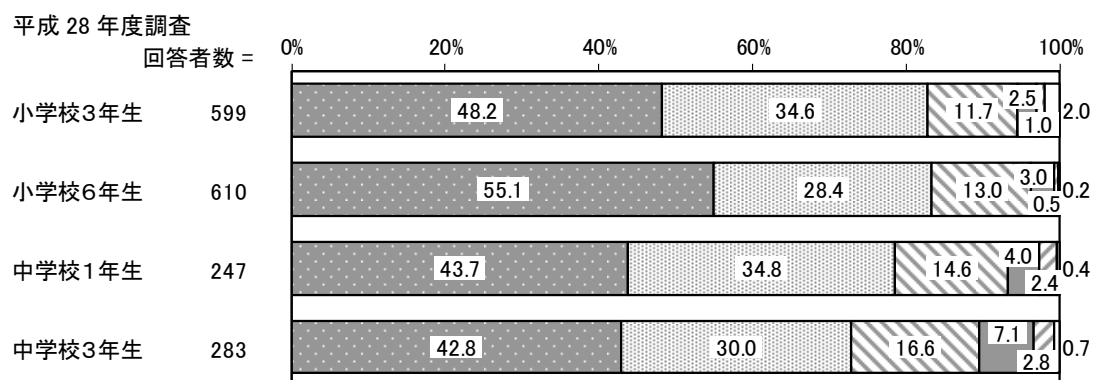
【学年別】

学年別でみると、大きな差異はみられません。



【平成 28 年度調査との比較】

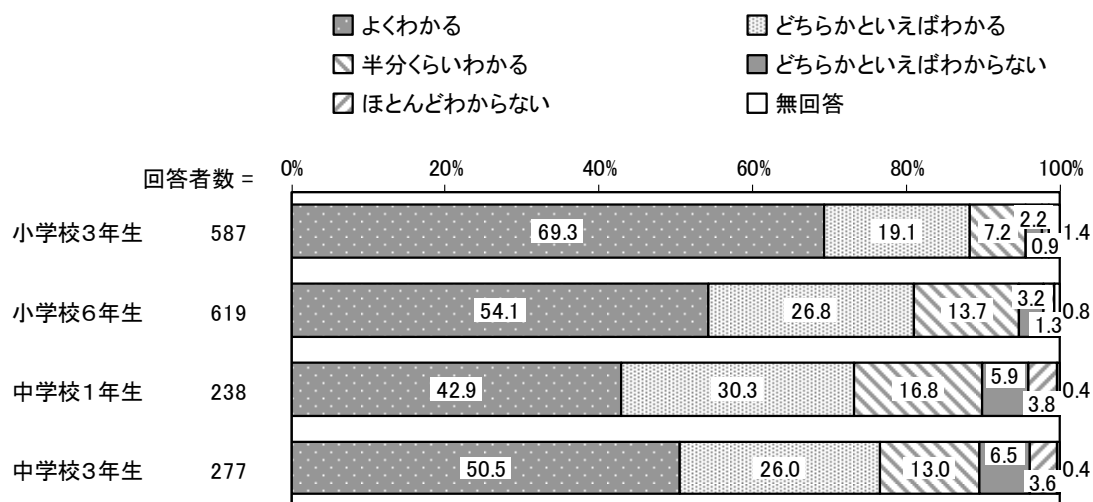
平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



算数・数学

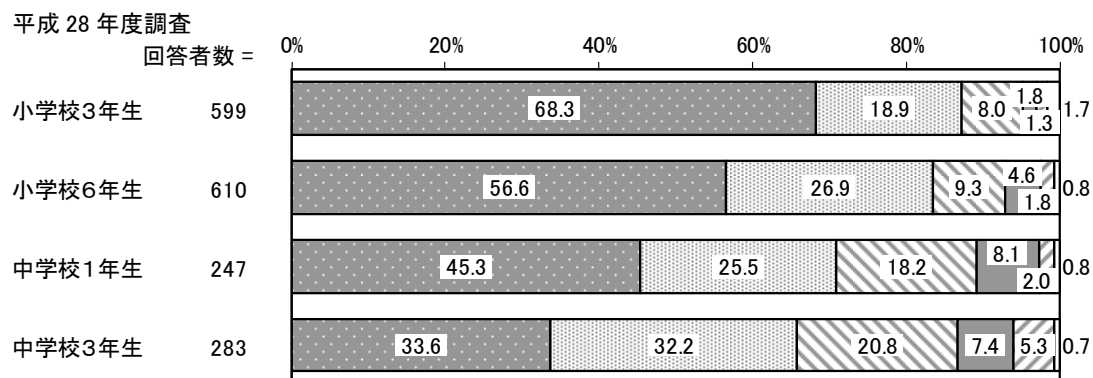
【学年別】

学年別でみると、小学校3年生、小学校6年生で「よくわかる」と「どちらかといえばわかる」「半分くらいわかる」をあわせた“わかる”の割合が高くなっています。また、中学校1年生、中学校3年生で「どちらかといえばわからない」と「ほとんどわからない」をあわせた“わからない”の割合が高くなっています。



【平成28年度調査との比較】

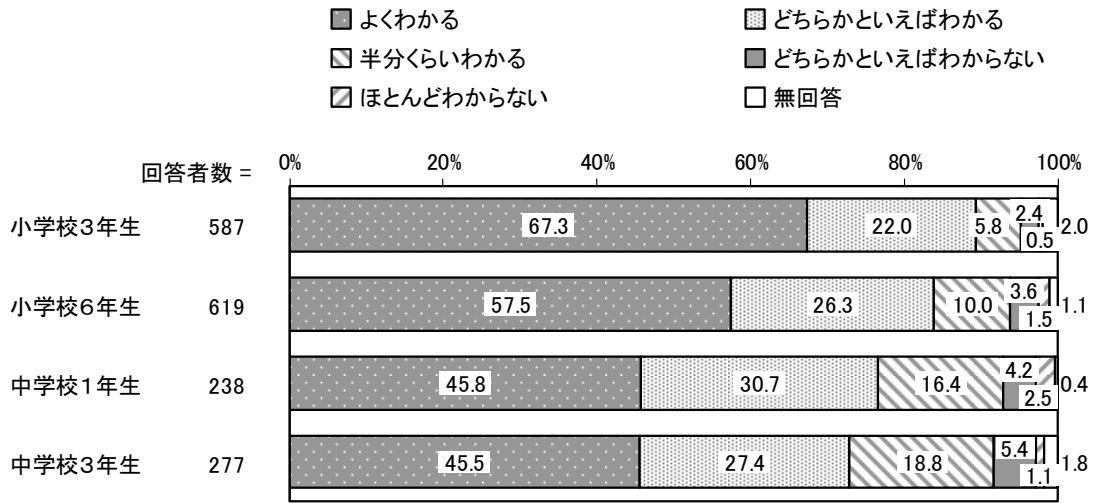
平成28年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



理科

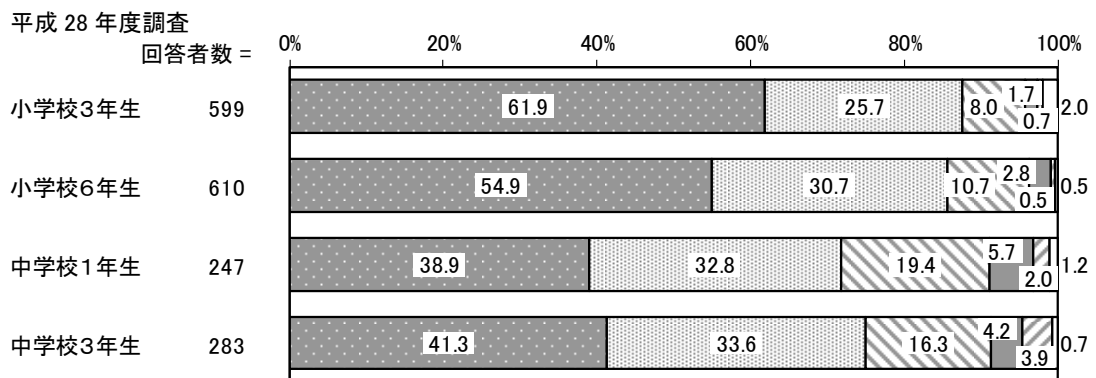
【学年別】

学年別でみると、大きな差異はみられません。



【平成 28 年度調査との比較】

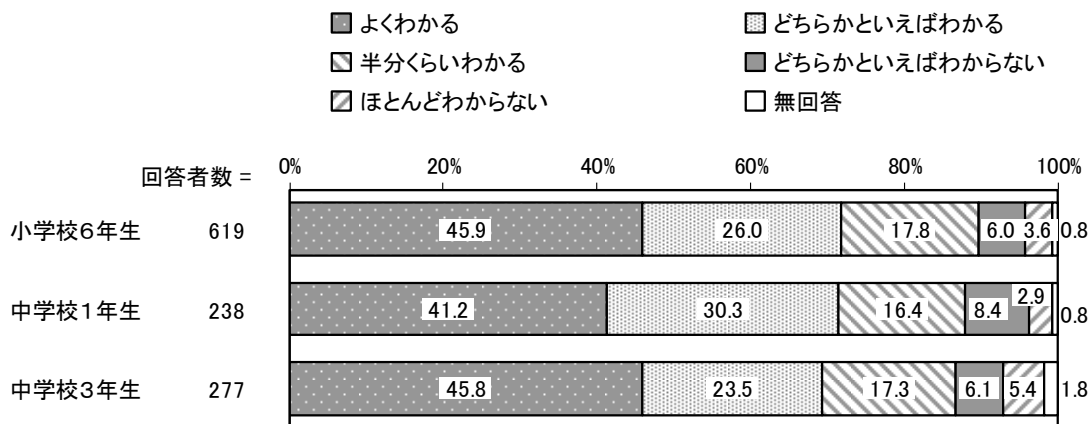
平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



英語

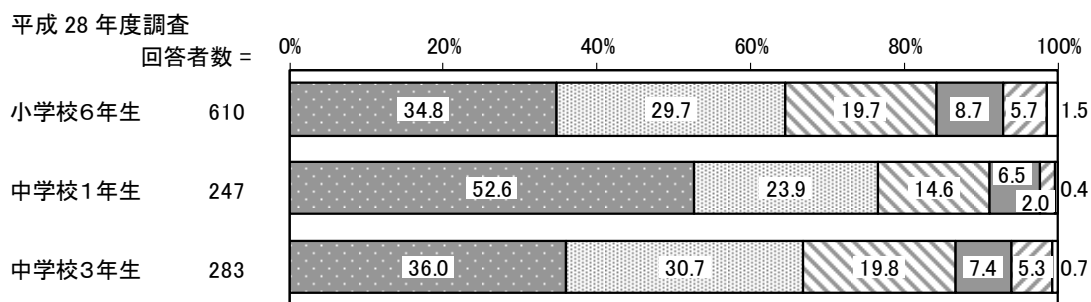
【学年別】

学年別でみると、大きな差異はみられません。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、小学校 6 年生で“わかる”の割合が増加しています。

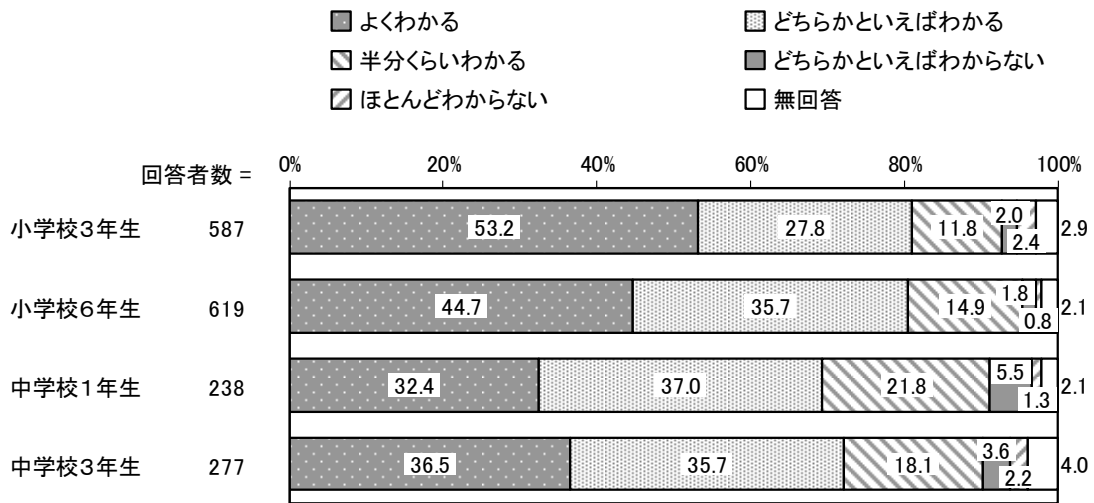


※前回調査に小学校 3 年生はありませんでした。

全体的に

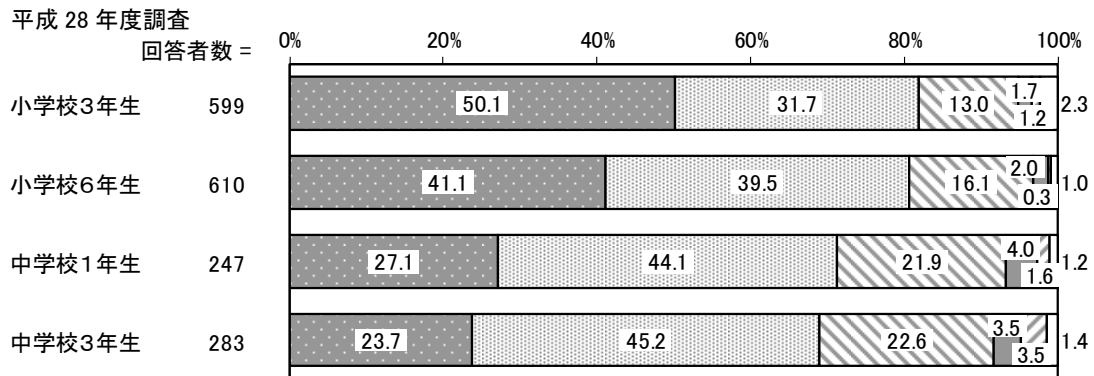
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で“わかる”の割合が高くなっています。



【平成28年度調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



問 21- 2 【問 21- 1で、表の中に1 つでも「どちらかといえばわからない」、「ほとんどわからない」に○をつけたときに教えてください】
授業がわからない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生、中学校1年生で「授業の進み方が速いから」の割合が、中学校3年生で「先生の説明がわかりにくいから」「前の学年で学習したことがわかっていないから」の割合が高くなっています。また、中学校1年生で「宿題をしていないから」「家で勉強をしていないから」「勉強が苦手だから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	授業の進み方が速いから	授業がむずかしいから	先生の説明がわかりにくいから	宿題をしていないから	家で勉強をしていないから	勉強が苦手だから	前の学年で学習したことがわかっていないから	その他	理由はない	無回答
小学校3年生	54	27.8	51.9	20.4	3.7	18.5	53.7	11.1	3.7	9.3	3.7
小学校6年生	111	19.8	45.0	21.6	2.7	18.9	53.2	17.1	9.9	3.6	4.5
中学校1年生	57	29.8	52.6	21.1	12.3	35.1	77.2	19.3	14.0	—	—
中学校3年生	65	21.5	55.4	41.5	7.7	21.5	60.0	33.8	16.9	1.5	—

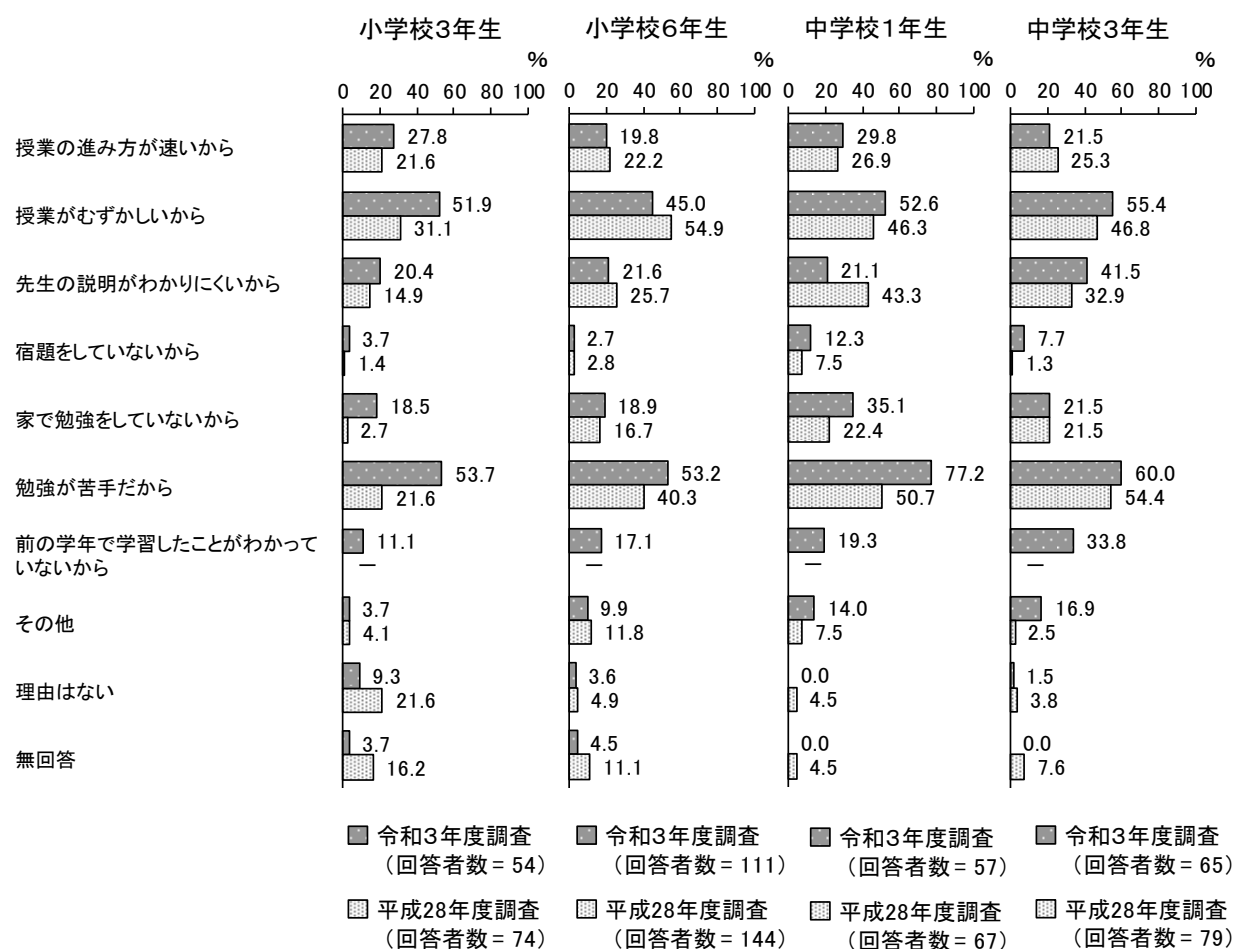
【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、小学校 3 年生で「授業の進み方が速いから」「授業がむずかしいから」「先生の説明がわかりにくいから」「勉強が苦手だから」の割合が増加しています。

小学校 6 年生では「勉強が苦手だから」の割合が増加しています。一方、「授業がむずかしいから」の割合が減少しています。

中学校 1 年生では「授業がむずかしいから」「勉強が苦手だから」の割合が増加しています。一方、「先生の説明がわかりにくいから」の割合が減少しています。

中学校 3 年生では「授業がむずかしいから」「先生の説明がわかりにくいから」「宿題をしていないから」「勉強が苦手だから」の割合が増加しています。



※平成 28 年度に「前の学年で学習したことがわかっていないから」の選択肢はありませんでした。

問 22- 1 【小学校 6 年生、または中学校 1 年生だけ、教えてください。】

【小学校 6 年生の場合】 中学校に入学した後に、心配なことは何ですか。

【中学校 1 年生の場合】 中学に入学した後に、とまどったことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校 6 年生で「授業の内容や進め方」「先生との関係」「部活動」「友だち関係」「先輩・後輩関係」の割合が、中学校 1 年生で「定期試験」の割合が高くなっています。

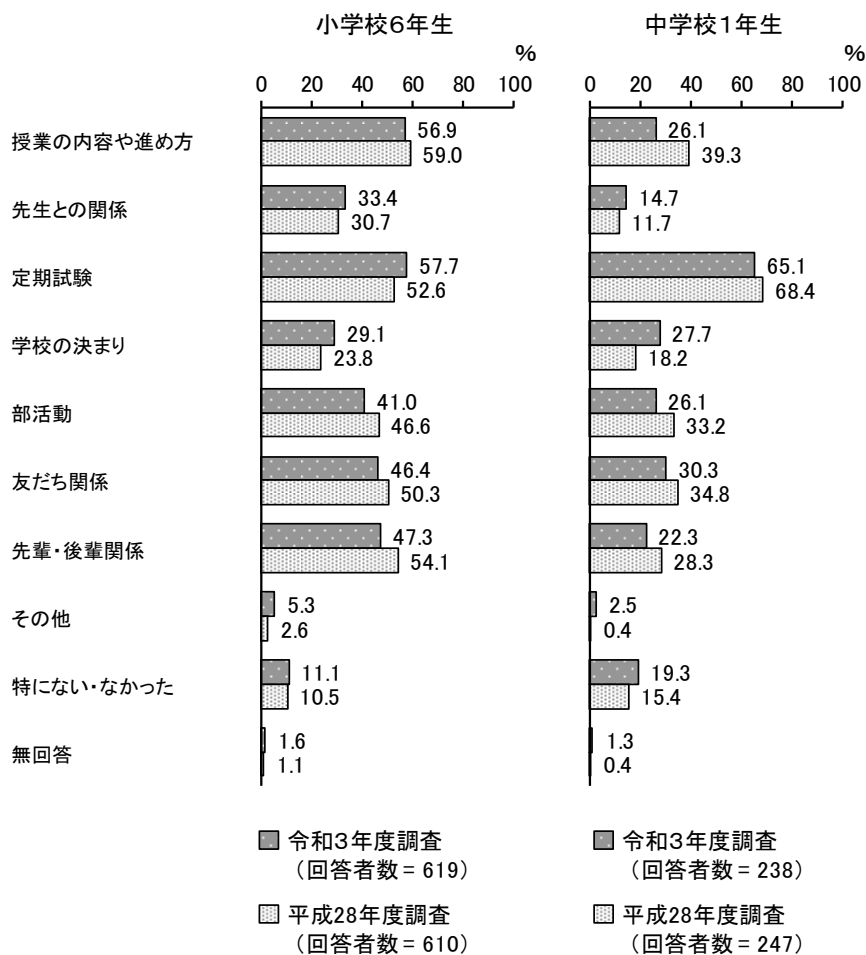
単位：%

区分	回答者数 (件)	授業の内容や進め方	先生との関係	定期試験	学校の決まり	部活動	友だち関係	先輩・後輩関係	その他	特にない・なかった	無回答
小学校6年生	619	56.9	33.4	57.7	29.1	41.0	46.4	47.3	5.3	11.1	1.6
中学校1年生	238	26.1	14.7	65.1	27.7	26.1	30.3	22.3	2.5	19.3	1.3

【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、小学校 6 年生で「定期試験」「学校の決まり」の割合が増加しています。一方、「部活動」「先輩・後輩関係」の割合が減少しています。

中学校 1 年生では「学校の決まり」の割合が増加しています。一方、「授業の内容や進め方」「部活動」「先輩・後輩関係」の割合が減少しています。



問 22- 2 【問 22- 1で、「9」に○をつけたときに教えてください】
 心配でない（なかった）理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で「中学校に見学に行ったり、交流している（していた）から」「先生から中学校の話を聞いている（聞いていた）から」の割合が、中学校1年生で「兄や姉が中学校に通っている（通っていた）／兄や姉から中学校の話を聞いている（聞いていた）から」の割合が高くなっています。

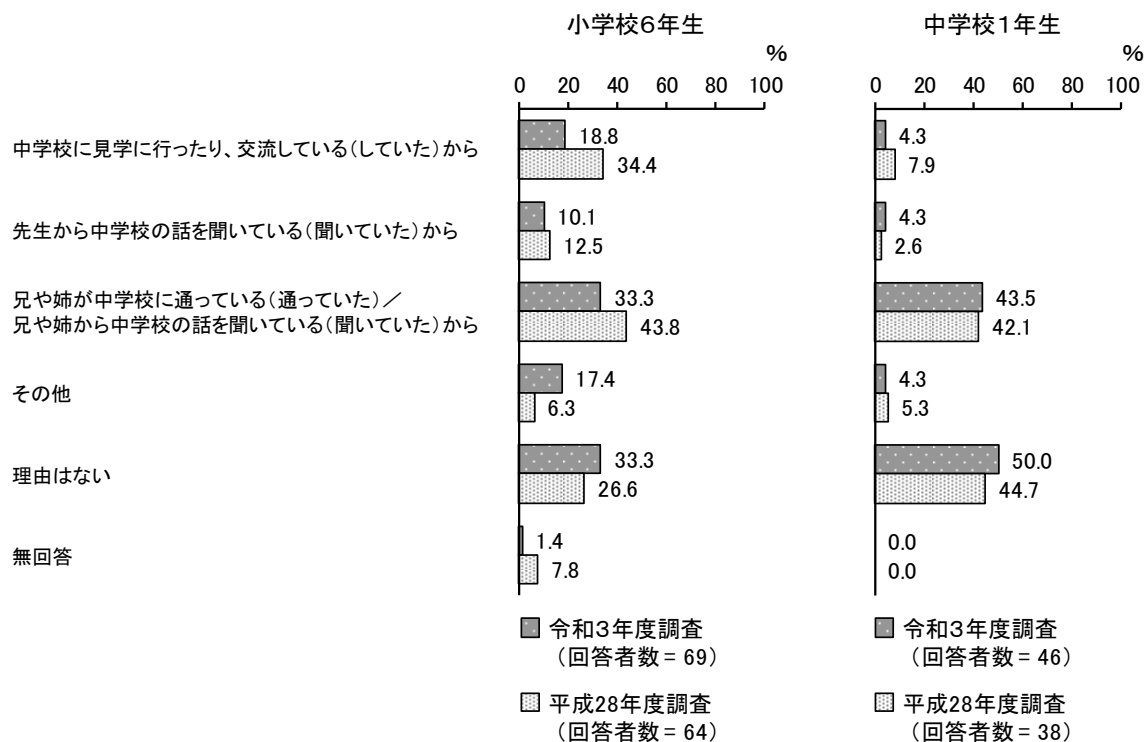
単位：％

区分	回答者数（件）	中学校に見学に行ったり、交流している（していた）から	先生から中学校の話を聞いている（聞いていた）から	兄や姉が中学校に通っている（通っていた）／兄や姉から中学校の話を聞いている（聞いていた）から	その他	理由はない	無回答
小学校6年生	69	18.8	10.1	33.3	17.4	33.3	1.4
中学校1年生	46	4.3	4.3	43.5	4.3	50.0	—

【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、小学校 6 年生で「中学校に見学に行ったり、交流している（していた）から」「兄や姉が中学校に通っている（通っていた）／兄や姉から中学校の話を聞いている（聞いていた）から」の割合が減少しています。

中学校 1 年生では大きな差異はみられません。

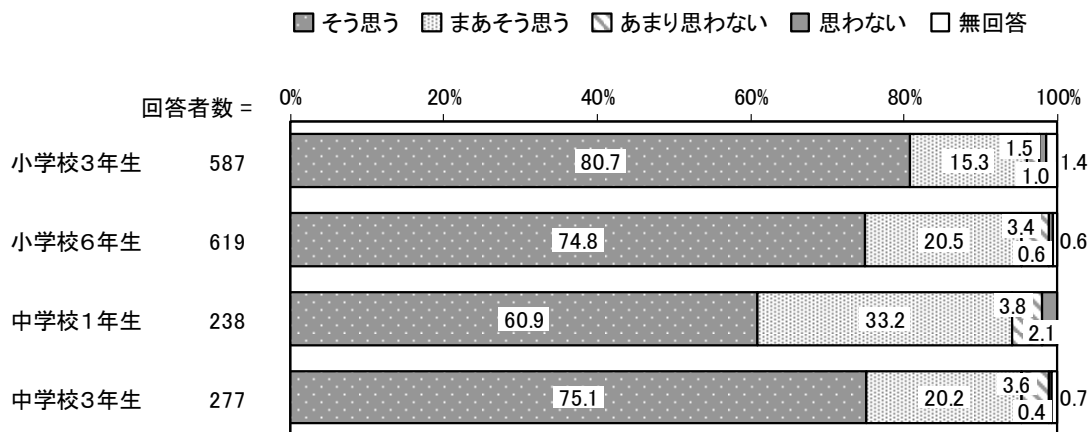


問 23 担任の先生についてどう思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

一生懸命である

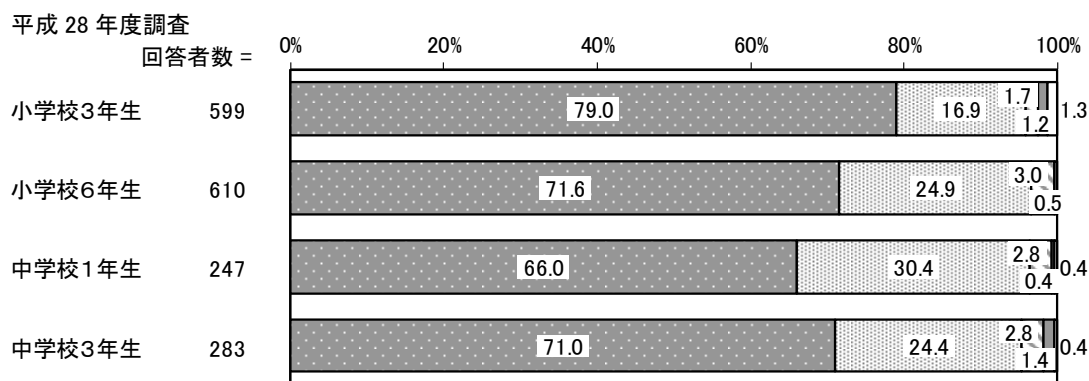
【学年別】

学年別でみると、大きな差異はみられません。



【平成 28 年度調査との比較】

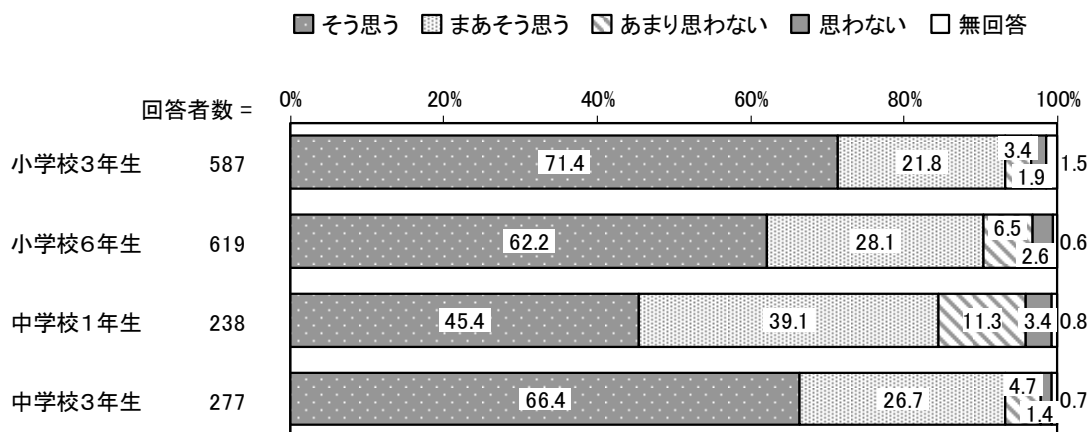
平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



相談に乗ってくれる

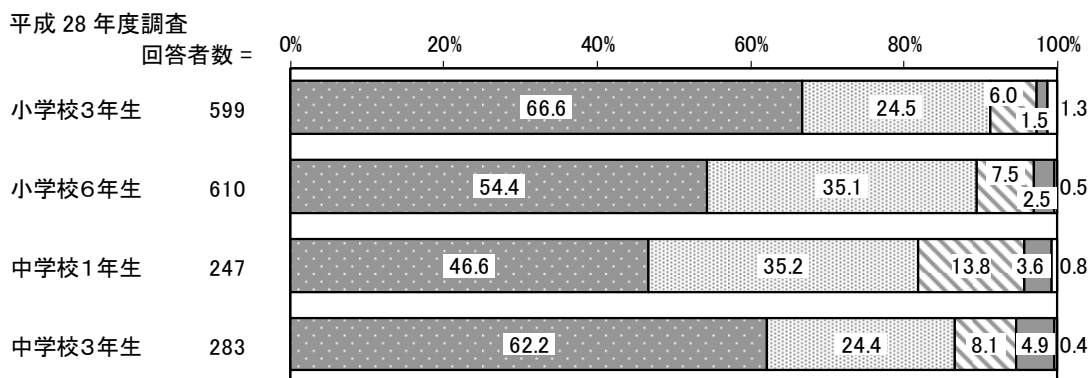
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生、中学校3年生で「そう思う」と「まあそう思う」をあわせた“思う”の割合が、中学校1年生で「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“思わない”の割合が高くなっています。



【平成28年度調査との比較】

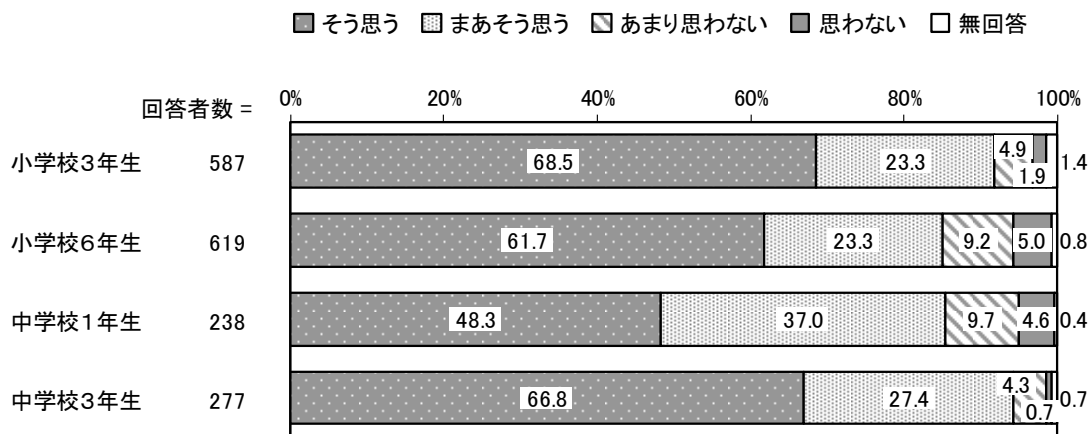
平成28年度調査と比較すると、中学校3年生で“思う”の割合が増加しています。



みんなに平等に接してくれる

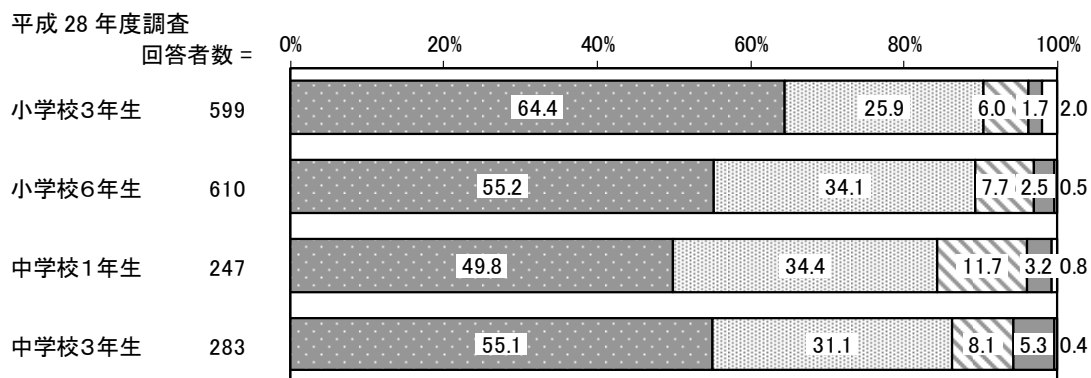
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で“思う”の割合が、小学校6年生、中学校1年生で“思わない”の割合が高くなっています。



【平成28年度調査との比較】

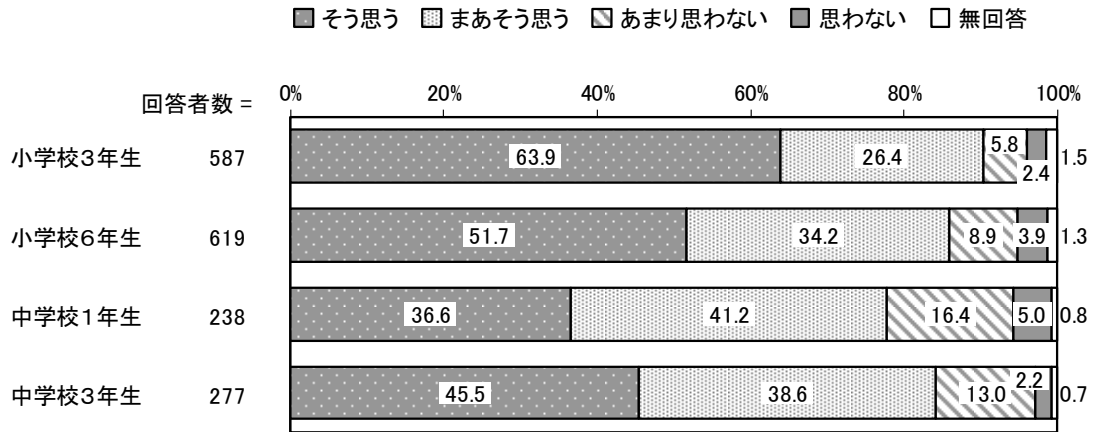
平成28年度調査と比較すると、中学校3年生で“思う”の割合が増加しています。



自分のことをわかってくれる

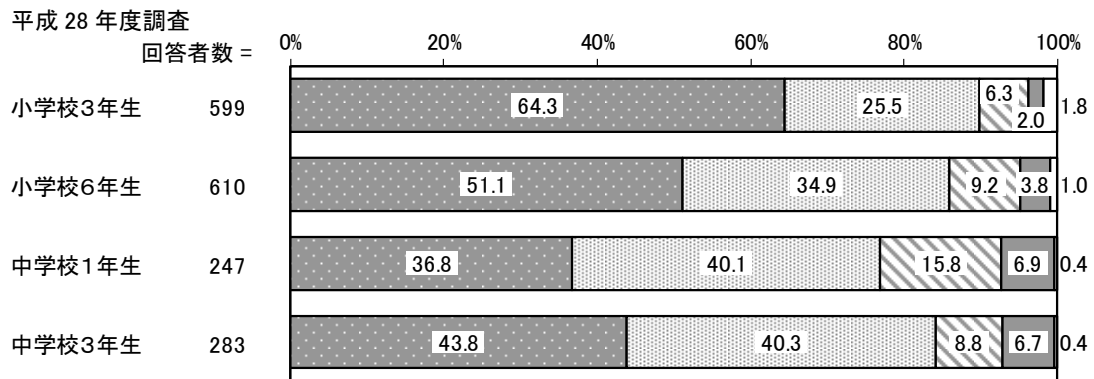
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で“思う”の割合が、中学校1年生で“思わない”の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。

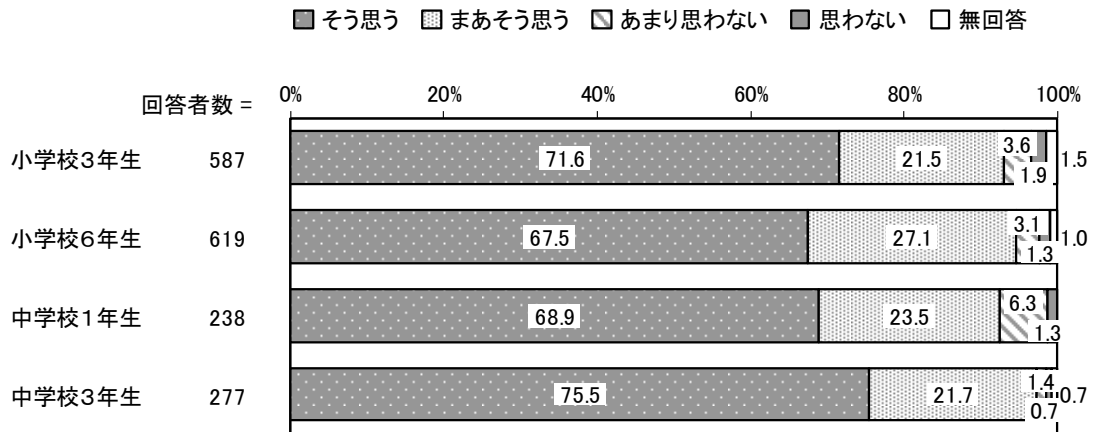


問 24 学校の友だちについてどう思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

よく話を聞いてくれる

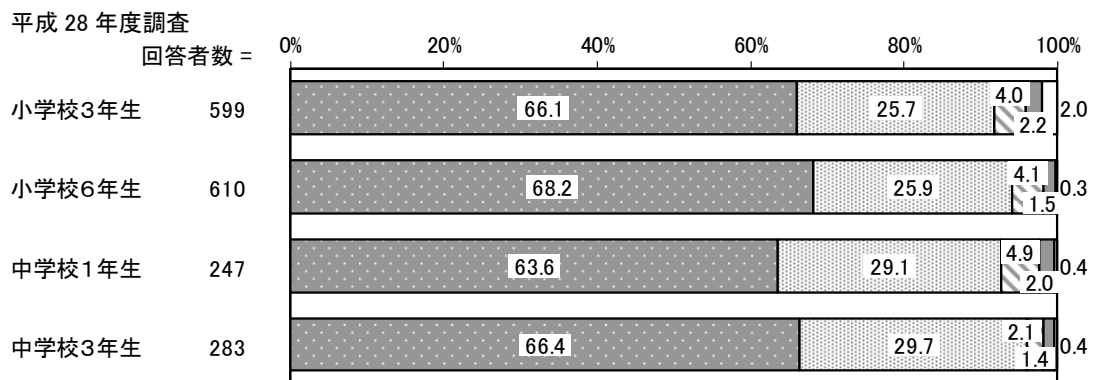
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で“思う”の割合が、中学校1年生で“思わない”の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

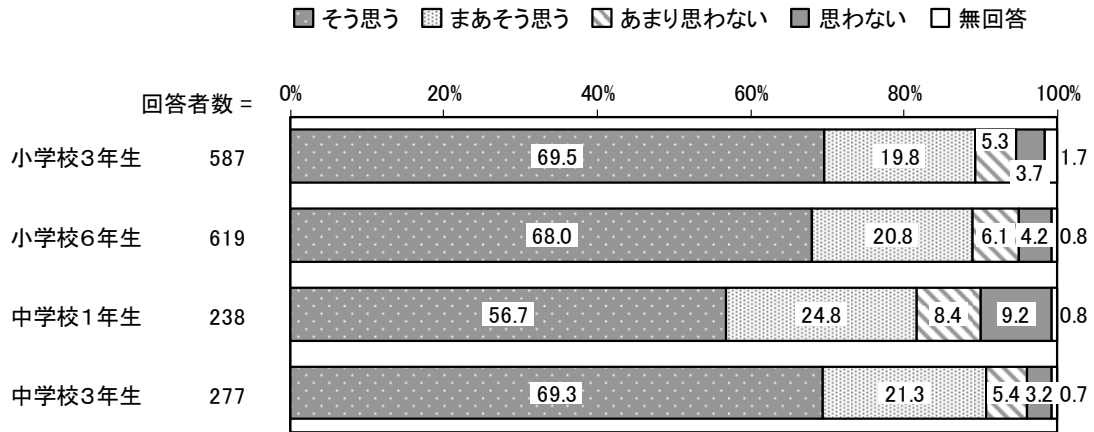
平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



いっしょに出かけたり遊んだりしてくれる

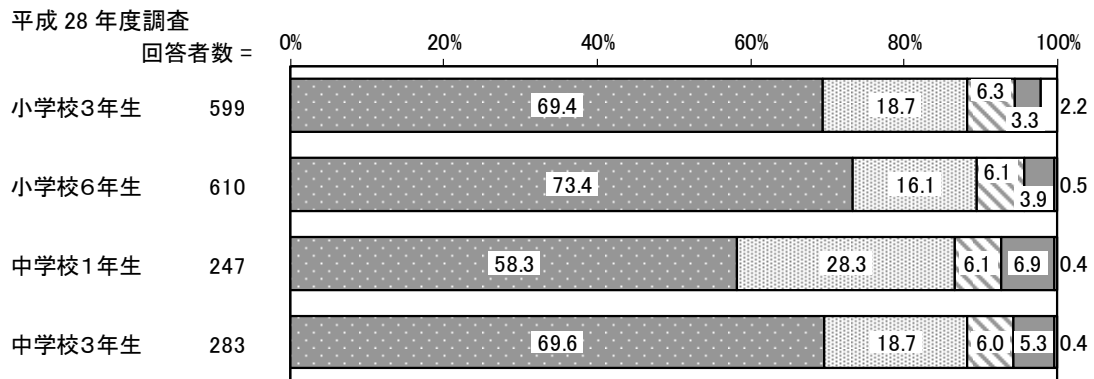
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生、小学校6年生、中学校3年生で“思う”の割合が、中学校1年生で“思わない”の割合が高くなっています。



【平成28年度調査との比較】

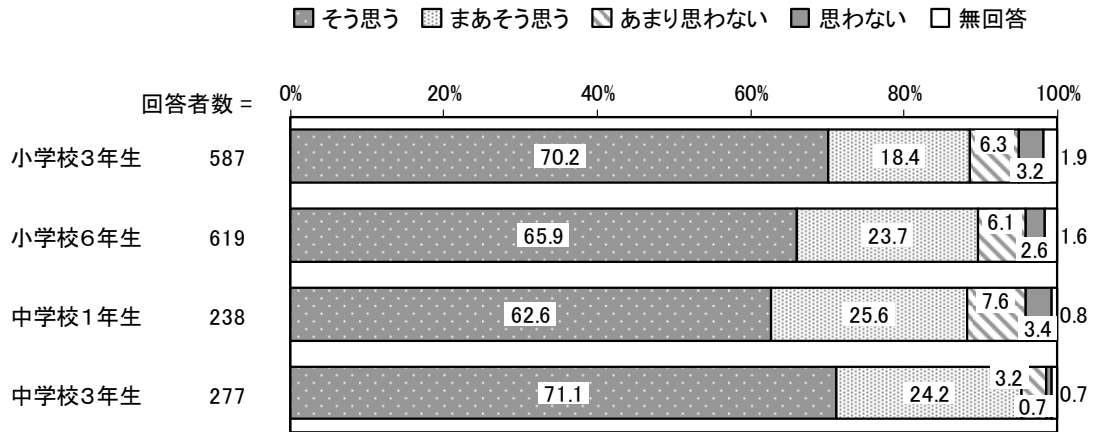
平成28年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



こまったときには助けてくれる

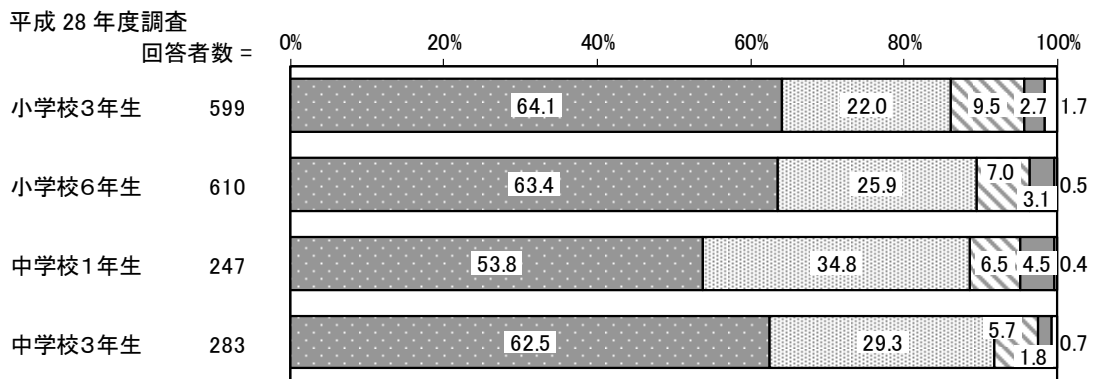
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で“思う”の割合が、中学校1年生で“思わない”の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

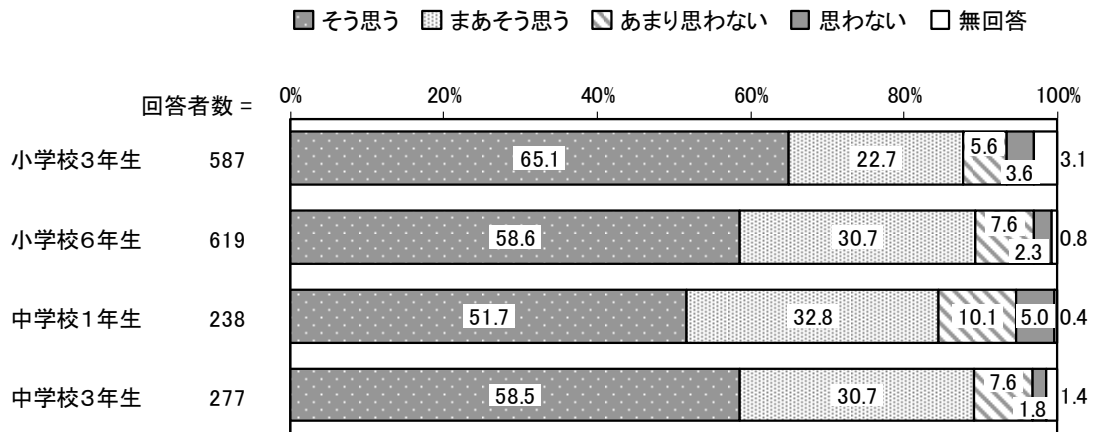
平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



自分のことをわかってくれる

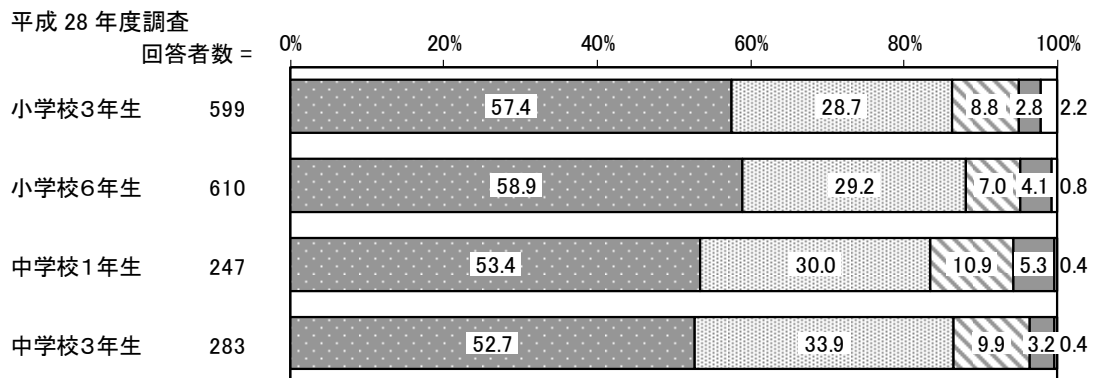
【学年別】

学年別で見ると、他に比べ、中学校1年生で“思わない”の割合が高くなっています。



【平成28年度調査との比較】

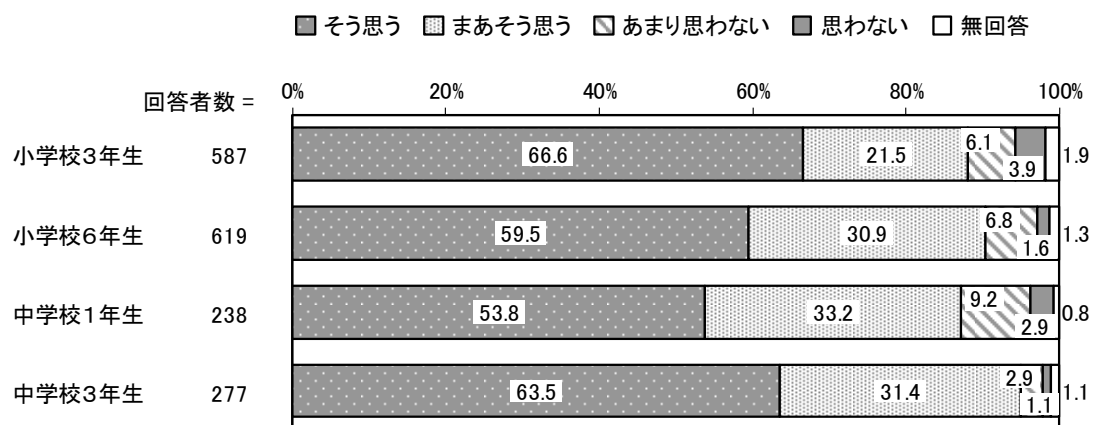
平成28年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



友だちは自分を大切にしてくれる

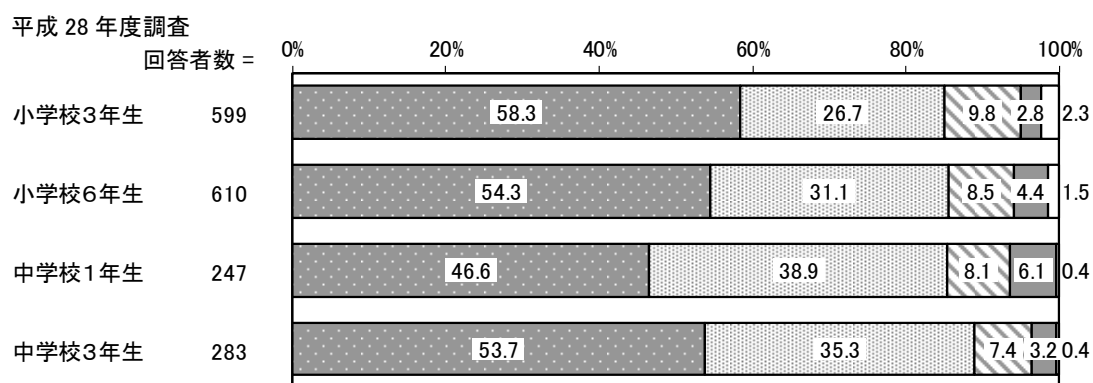
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で“思う”の割合が、小学校3年生、中学校1年生で“思わない”の割合が高くなっています。



【平成28年度調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、小学校6年生、中学校3年生で“思う”の割合が増加しています。



問 25 あなたは、学校に対してどのようなことを望みますか。(主なもの3つまで○)

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で「やってはいけないことを、しっかり注意してほしい」「悩みや意見をじっくり聞いてほしい」「授業に関して専門的な知識を教えてください」「健康な生活のすごし方を教えてください」の割合が、中学校3年生で「わかりやすい授業をしてほしい」「モラルやマナーについて、手本となってほしい」「夢や目標を持つための手伝いを行い、その実現の支援をしてほしい」「みんなに公平にかかわってほしい」の割合が高くなっています。また、中学校1年生、中学校3年生で「パソコン・タブレットを利用するなどこれからの社会に合わせた授業をしてほしい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	やってはいけないことを、しっかり注意してほしい	わかりやすい授業をしてほしい	モラルやマナーについて、手本となってほしい	夢や目標を持つための手伝いを行い、その実現の支援をしてほしい	悩みや意見をじっくり聞いてほしい	授業に関して専門的な知識を教えてください
小学校3年生	587	44.5	30.7	10.9	17.0	20.1	25.2
小学校6年生	619	28.9	25.5	9.0	17.6	15.8	20.0
中学校1年生	238	22.3	39.1	9.7	15.5	16.0	17.2
中学校3年生	277	15.9	46.6	13.7	23.5	11.6	13.4

区分	みんなに公平にかかわってほしい	パソコン・タブレットを利用するなどこれからの社会に合わせた授業をしてほしい	健康な生活のすごし方を教えてください	わからない	その他	無回答
小学校3年生	20.1	20.6	18.7	11.8	4.3	2.6
小学校6年生	20.5	24.2	6.6	12.9	7.6	9.7
中学校1年生	26.1	31.5	7.1	11.3	5.5	7.6
中学校3年生	33.2	30.0	6.1	7.9	5.1	9.4

(5) あなた自身のお考えについて

問 26- 1 あなたが悩んでいることや、不安に思っていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で「学習のこと」「将来のこと」の割合が、小学校3年生で「悩みや不安はない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	家族のこと	友だちのこと	学校のこと	学習のこと	塾や習い事のこと	将来のこと	健康や体のこと	その他	悩みや不安はない	無回答
小学校3年生	587	5.1	15.3	6.8	6.5	4.6	15.0	9.0	1.2	55.0	6.8
小学校6年生	619	9.9	19.4	9.7	18.4	12.9	33.1	16.2	2.1	37.5	2.3
中学校1年生	238	8.8	18.1	14.7	45.4	14.3	37.0	10.9	2.5	26.5	1.7
中学校3年生	277	11.9	14.8	11.6	51.3	8.7	58.5	15.9	4.3	20.6	1.4

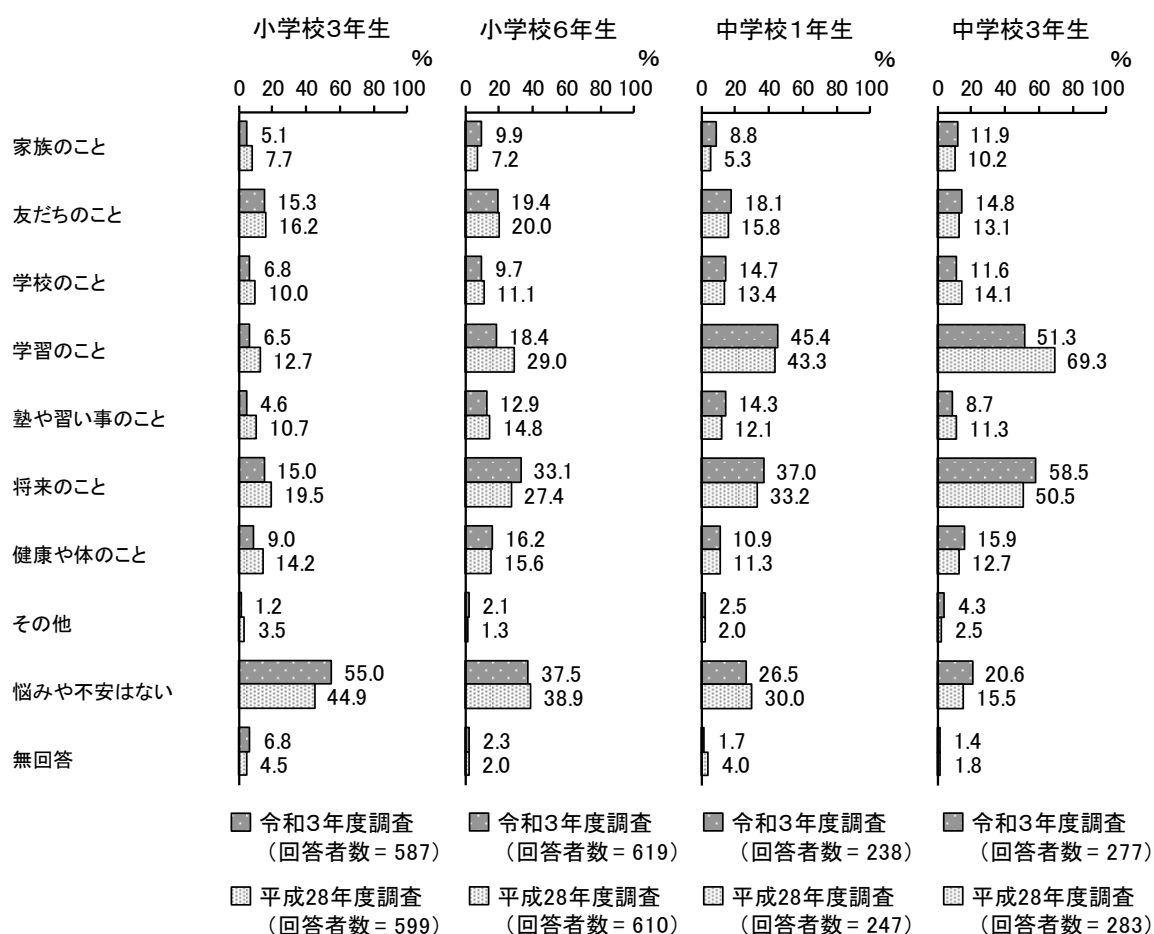
【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、小学校 3 年生で「悩みや不安はない」の割合が増加しています。一方、「学習のこと」「塾や習い事のこと」「健康や体のこと」の割合が減少しています。

小学校 6 年生では「将来のこと」の割合が増加しています。一方、「学習のこと」の割合が減少しています。

中学校 1 年生では大きな差異はみられません。

中学校 3 年生では「将来のこと」「悩みや不安はない」の割合が増加しています。一方、「学習のこと」の割合が減少しています。



問 26- 2 【問 26- 1で、「1」～「8」に○をつけたときに答えてください】
 あなたは悩みや不安があるとき、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で「学校の先生」の割合が、中学校1年生で「兄弟姉妹」の割合が高くなっています。また、中学校3年生で「友だち」「塾や習い事の先生」「自分で解決する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	親	兄弟姉妹	祖父や祖母、いとこなど	友だち	先輩・後輩	学校の先生	近所の人	塾や習い事の先生	学校のスクールカウンセラー	電話相談	S (LINEなど)	インターネットやSNS	自分で解決する	その他	相談できる人がいない	無回答
小学校3年生	224	66.1	18.8	11.2	31.7	4.0	18.8	4.0	4.9	3.6	3.1	0.9	15.2	0.9	4.0	4.9	
小学校6年生	373	65.7	19.3	6.4	42.4	1.1	15.5	1.1	4.8	3.8	1.6	3.8	38.6	4.0	4.8	2.4	
中学校1年生	171	67.8	22.2	7.0	42.7	2.9	10.5	0.6	7.6	4.7	0.6	7.6	40.4	1.8	4.7	0.6	
中学校3年生	216	59.3	13.4	5.6	55.6	2.3	13.4	—	24.5	1.4	—	7.9	46.3	3.2	3.7	—	

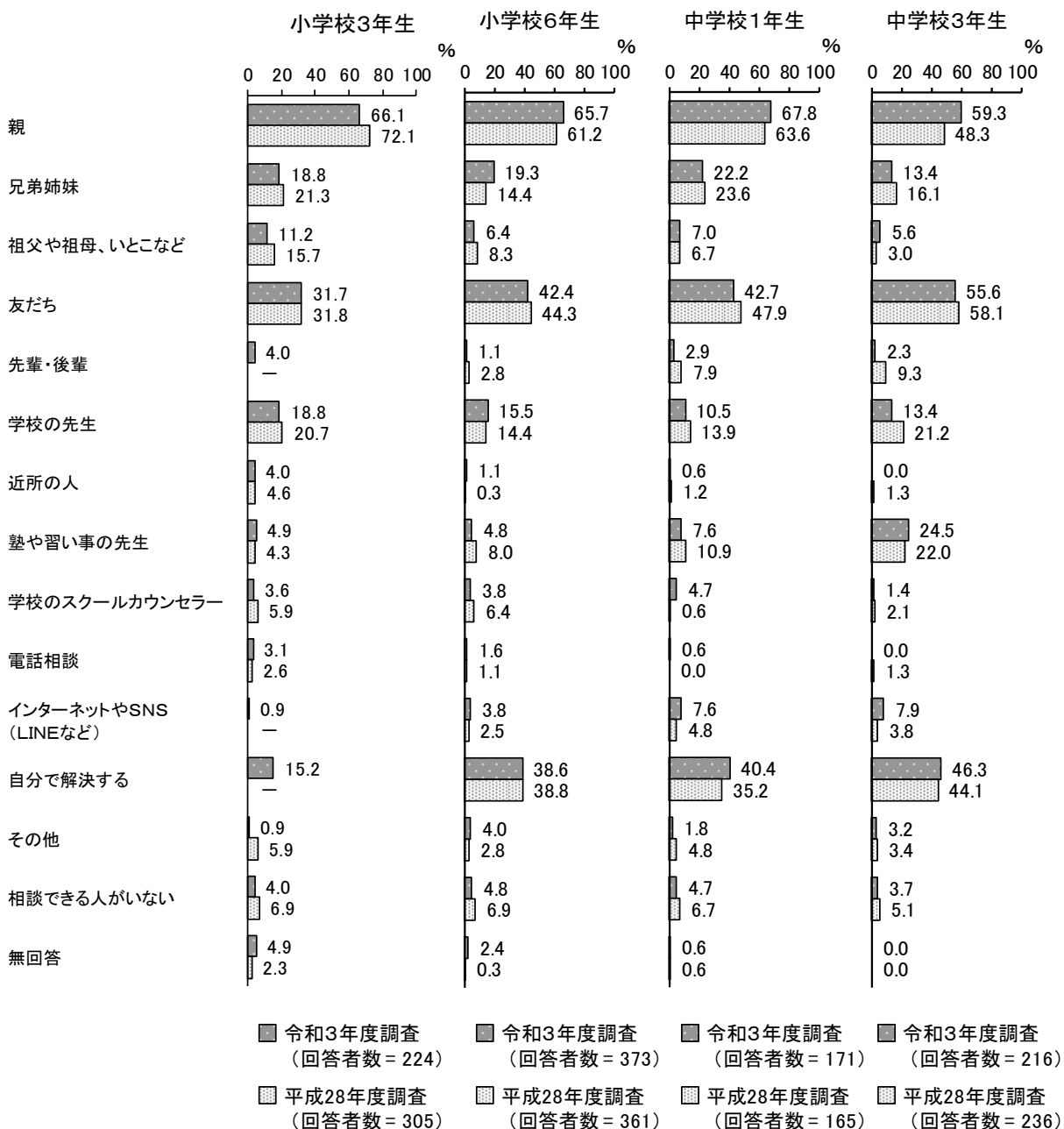
【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、小学校 3 年生で「親」の割合が減少しています。

小学校 6 年生では大きな差異はみられません。

中学校 1 年生では「自分で解決する」の割合が増加しています。一方、「友だち」「先輩・後輩」の割合が減少しています。

中学校 3 年生では「親」の割合が増加しています。一方、「先輩・後輩」「学校の先生」の割合が減少しています。

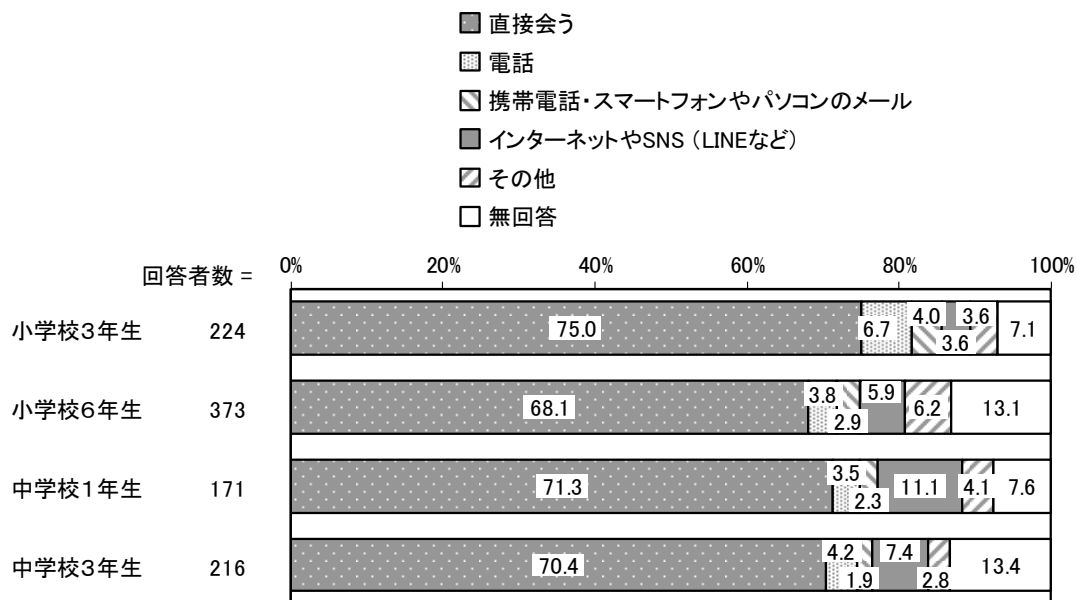


※平成 28 年度の小学校 3 年生に「先輩・後輩」「インターネットやSNS (LINEなど)」「自分で解決する」の選択肢はありませんでした。

問 26- 3 【問 26- 1で、「1」～「8」に○をつけたときに教えてください】
 自分の悩みを相談する方法として、最もよいと思うのは何ですか。（1つに○）

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で「直接会う」の割合が、中学校1年生で「インターネットやSNS（LINEなど）」の割合が高くなっています。

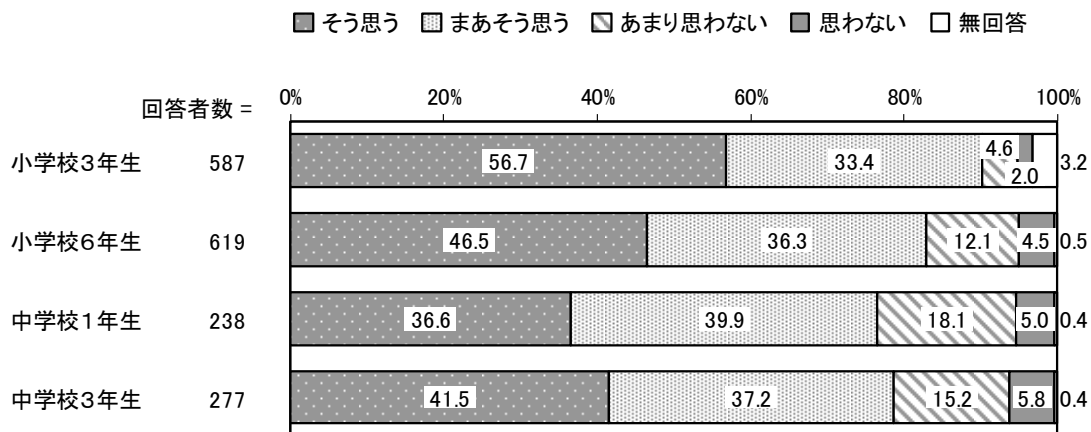


問 27 自分についてどう思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

良いところや得意なことがある

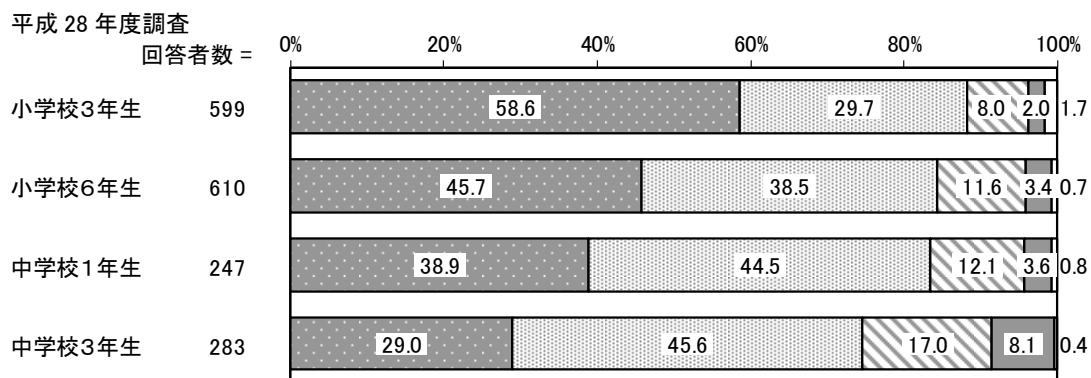
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で「そう思う」と「まあそう思う」をあわせた“思う”の割合が、中学校1年生、中学校3年生で「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“思わない”の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

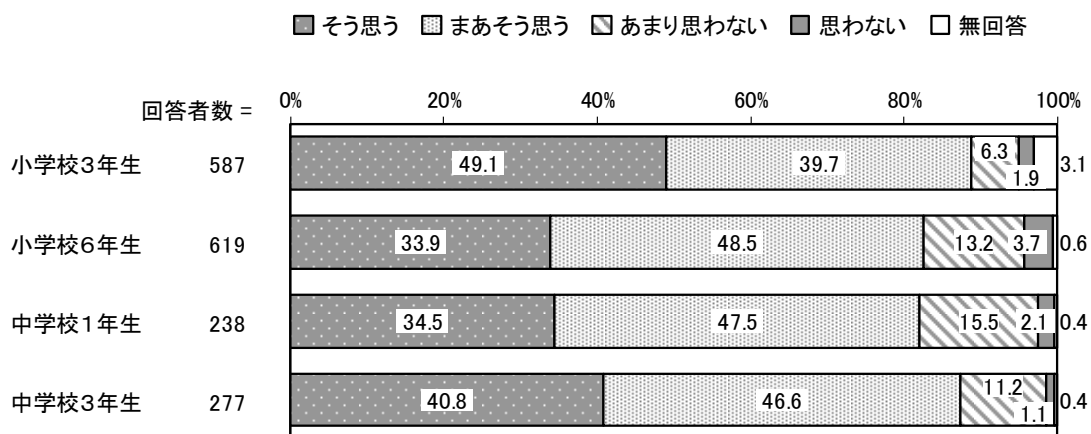
平成 28 年度調査と比較すると、中学校 1 年生で“思う”の割合が減少しています。



友だちなど他の人にやさしくしている

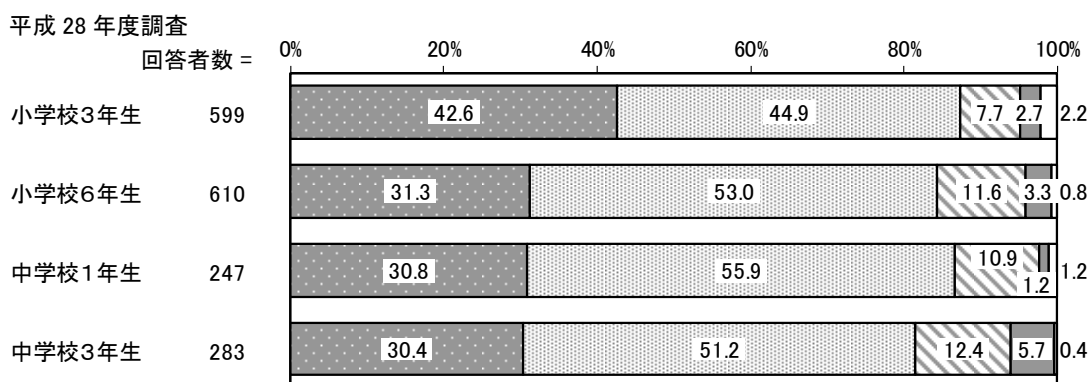
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生、中学校3年生で“思う”の割合が、小学校6年生、中学校1年生で“思わない”の割合が高くなっています。



【平成28年度調査との比較】

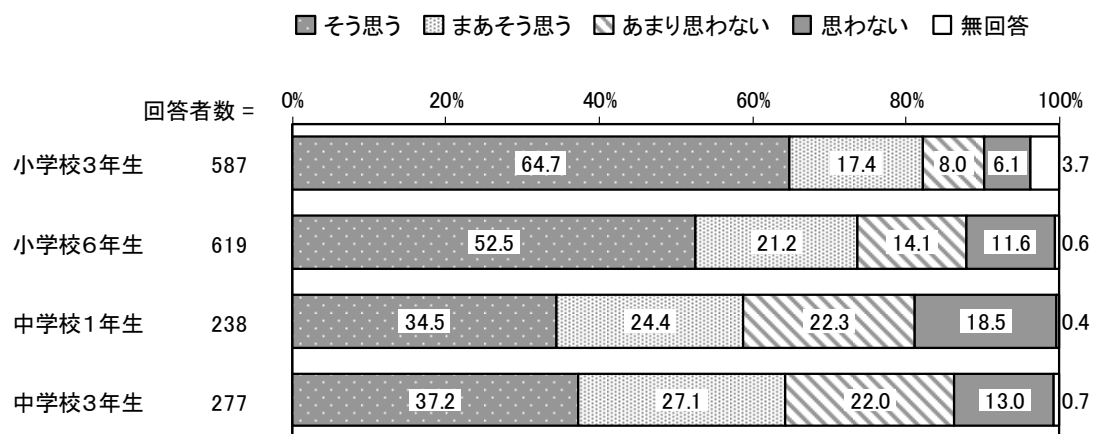
平成28年度調査と比較すると、中学校3年生で“思う”の割合が増加しています。一方、中学校1年生では“思わない”の割合が増加しています。



将来の夢や目標がある

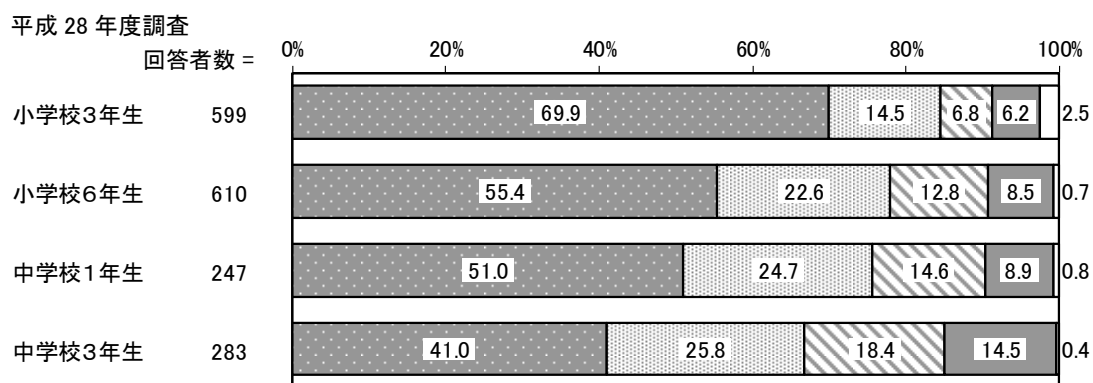
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で“思う”の割合が、中学校1年生で“思わない”の割合が高くなっています。



【平成28年度調査との比較】

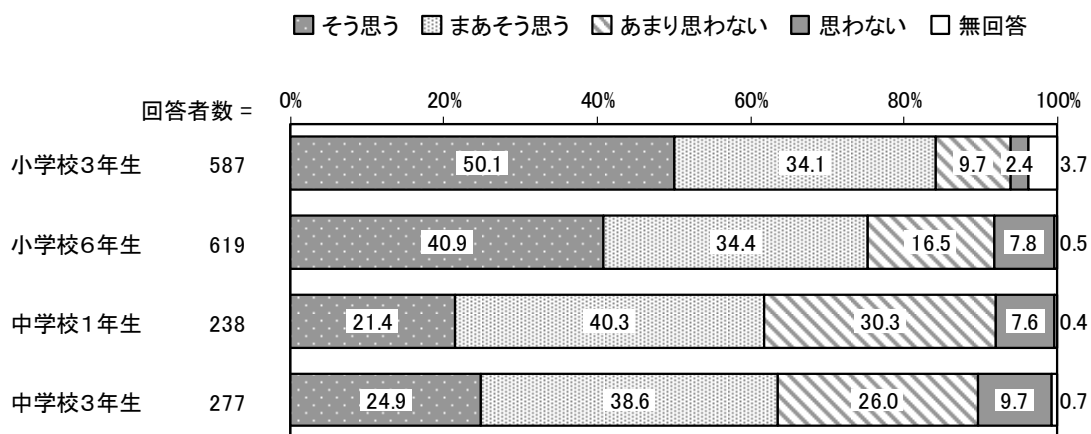
平成28年度調査と比較すると、中学校1年生で“思う”の割合が減少しています。



努力している

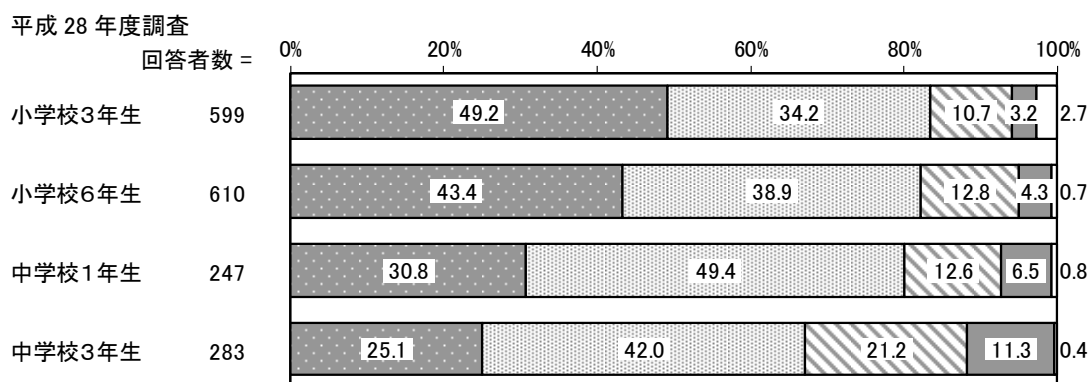
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で“思う”の割合が、中学校1年生、中学校3年生で“思わない”の割合が高くなっています。



【平成28年度調査との比較】

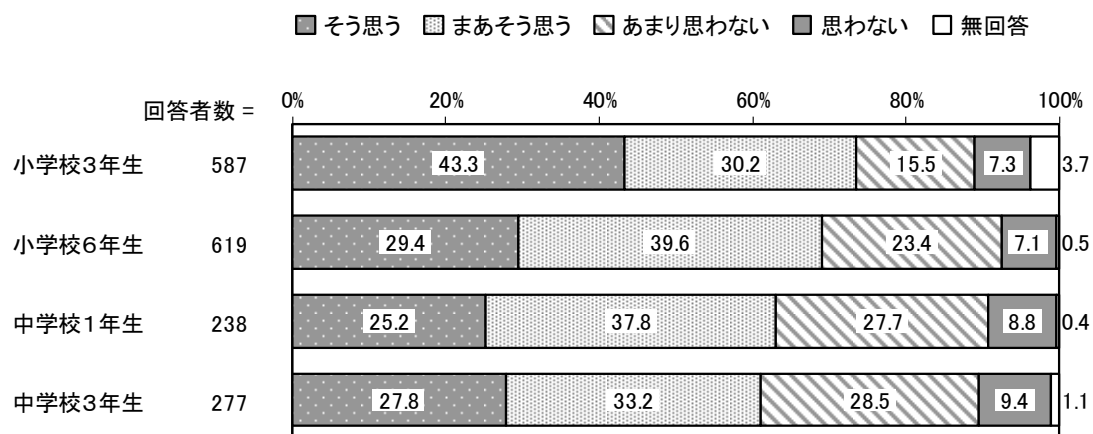
平成28年度調査と比較すると、小学校6年生、中学校1年生で“思う”の割合が減少しています。



我慢強い

【学年別】

学年別で見ると、他に比べ、小学校3年生で“思う”の割合が、中学校1年生、中学校3年生で“思わない”の割合が高くなっています。



【平成28年度調査との比較】

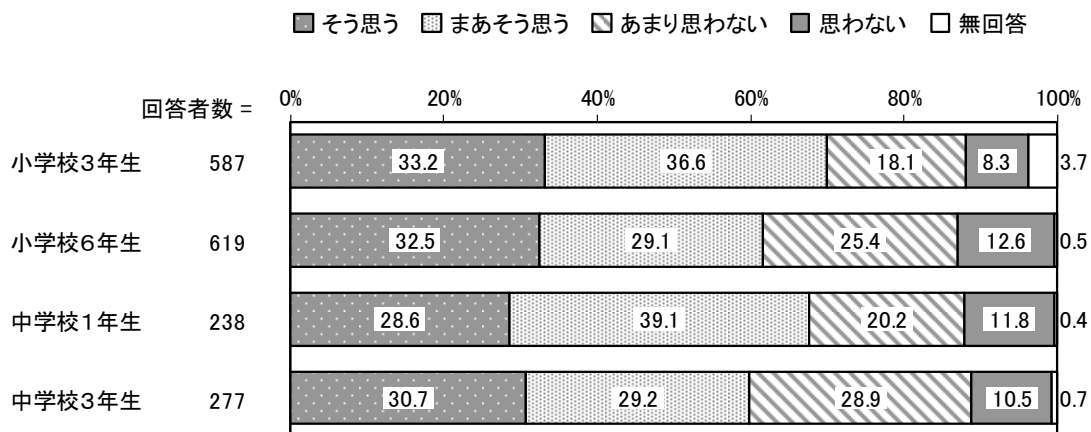
平成28年度調査と比較すると、中学校1年生、中学校3年生で“思う”の割合が減少しています。



自分の意見を言える

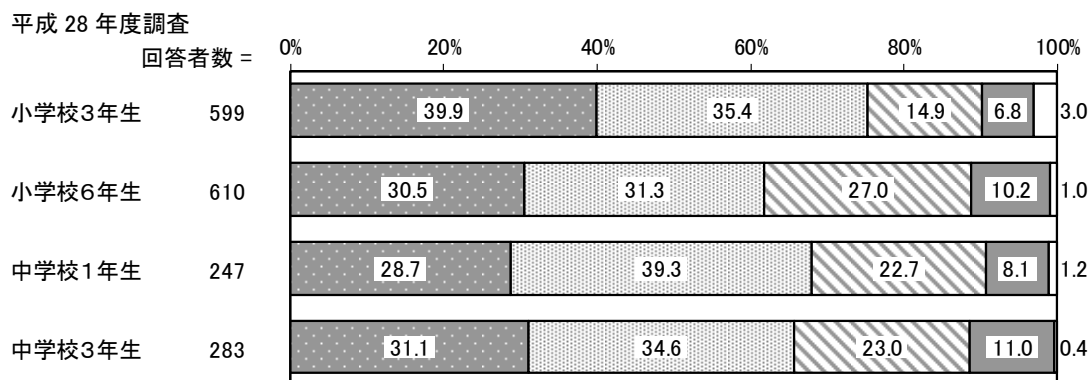
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生、中学校1年生で“思う”の割合が、小学校6年生、中学校3年生で“思わない”の割合が高くなっています。



【平成28年度調査との比較】

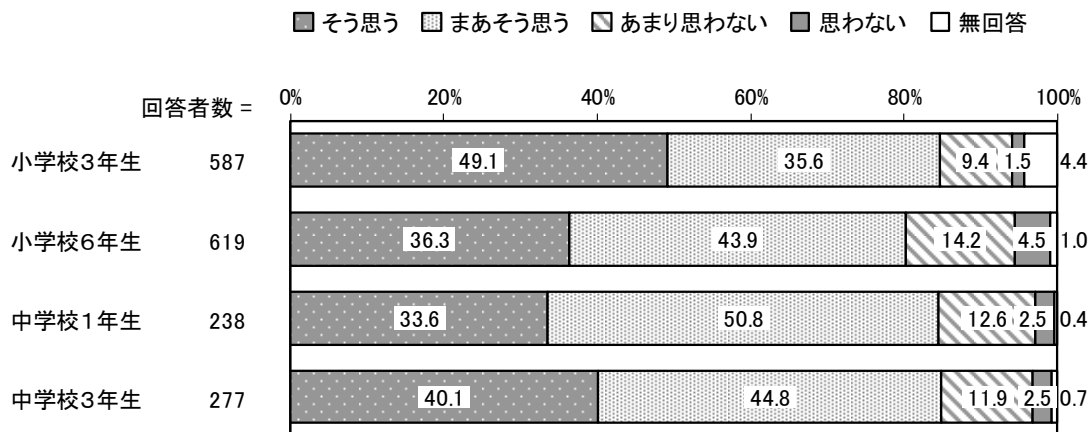
平成28年度調査と比較すると、小学校3年生、中学校3年生で“思う”の割合が減少しています。



約束や決まりを守る

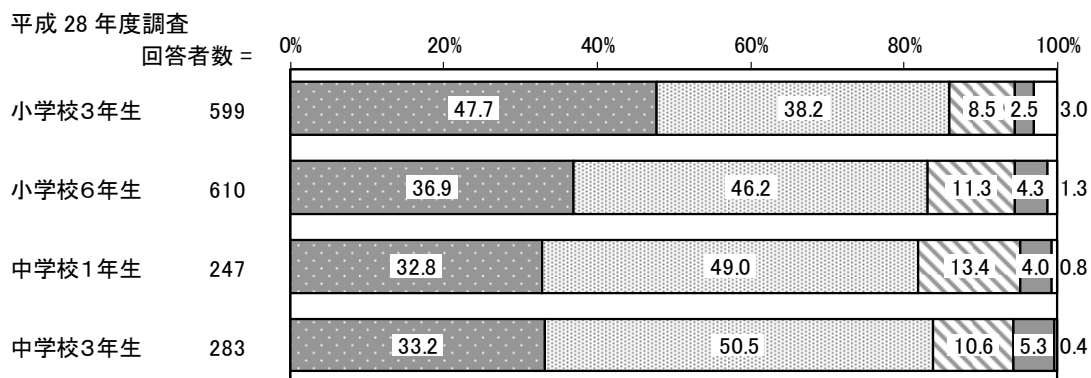
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で“思わない”の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

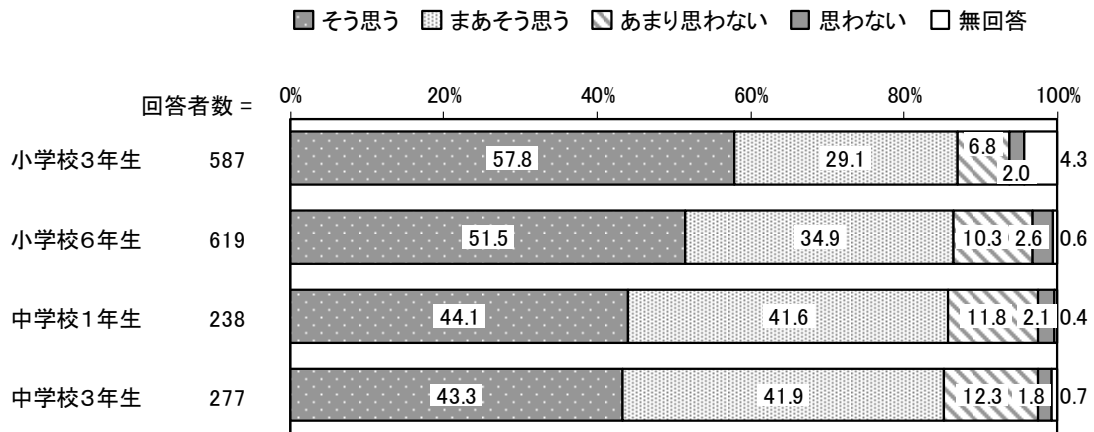
平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



自分でできることはしている

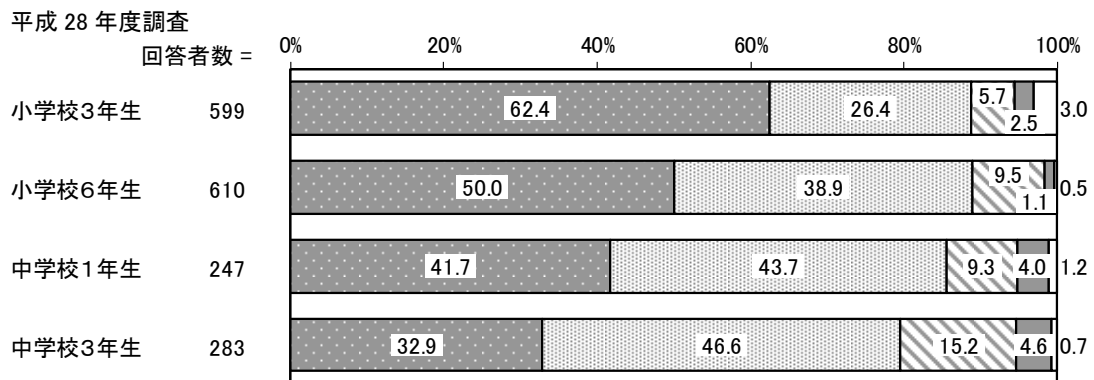
【学年別】

学年別で見ると、他に比べ、中学校3年生で“思わない”の割合が高くなっています。



【平成28年度調査との比較】

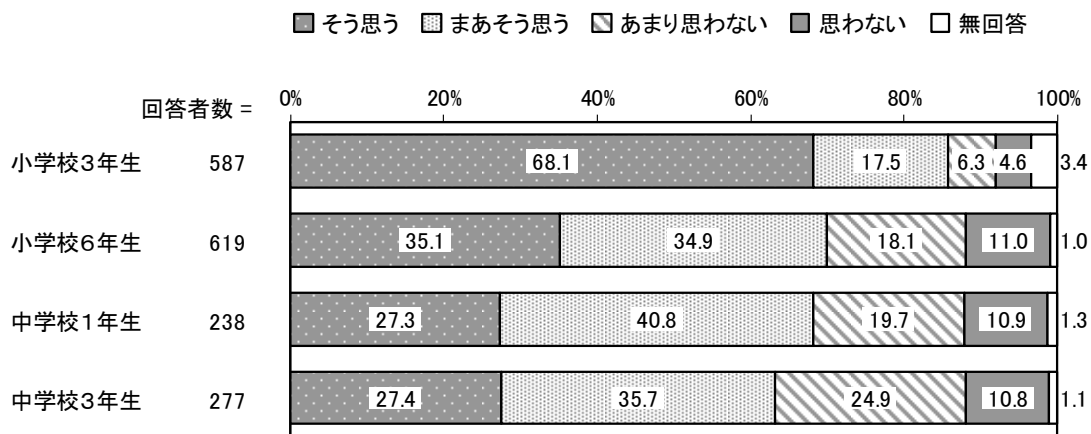
平成28年度調査と比較すると、中学校3年生で“思う”の割合が増加しています。



自分を大切な存在だと思う

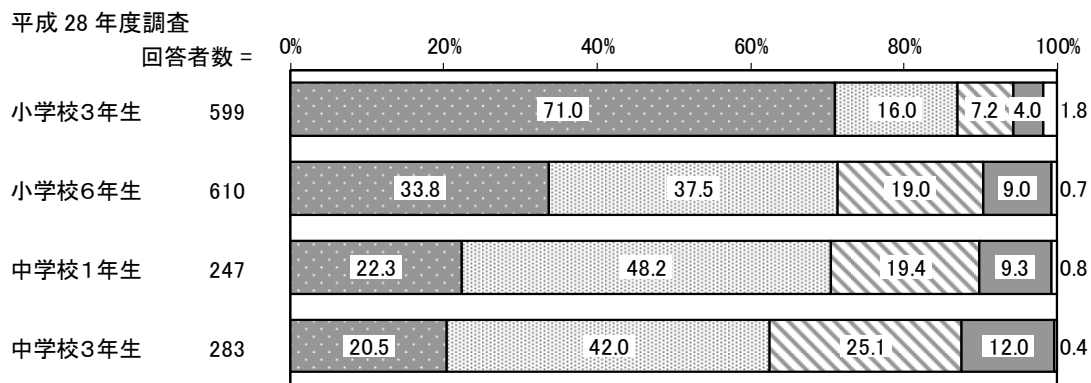
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で“思う”の割合が、中学校3年生で“思わない”の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

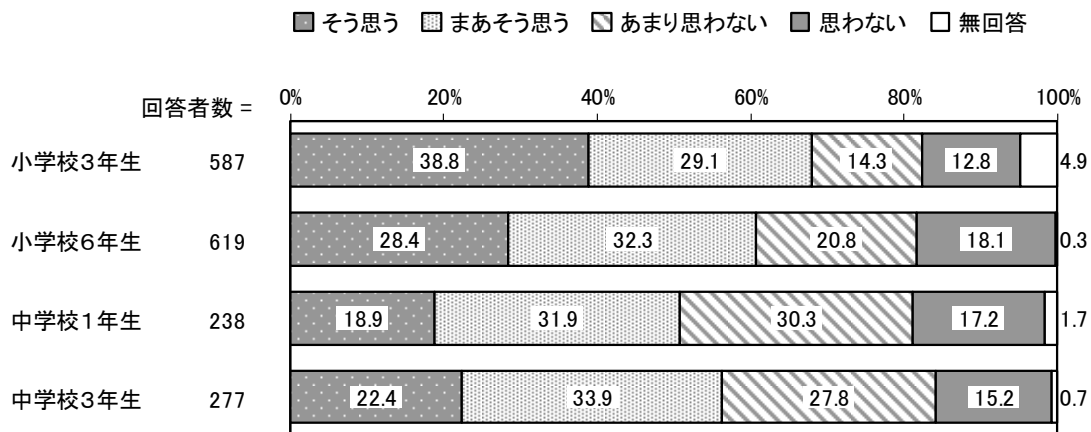
平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



自分のことが好きだ<新規項目>

【学年別】

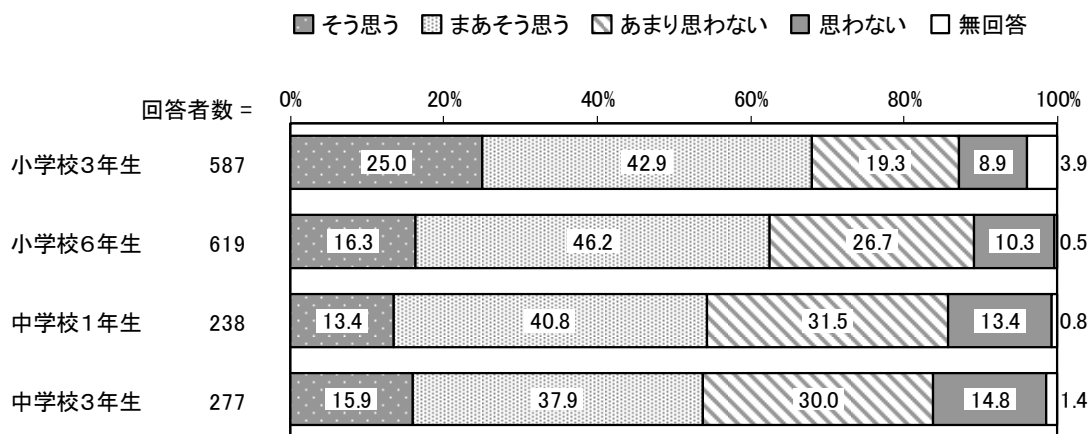
学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で“思う”の割合が、中学校1年生で“思わない”の割合が高くなっています。



周りの役に立っている<新規項目>

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で“思う”の割合が、中学校1年生、中学校3年生で“思わない”の割合が高くなっています。



問 28 どんな人になりたいですか。(あてはまるもの3つまでに○)

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で「勉強ができる」「運動・スポーツができる」「友だちがたくさんいる」の割合が、中学校3年生で「自分の意見がはっきり言える」「最後まであきらめずに取り組むことができる(困難なことにもくじけない)」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	勉強ができる	運動・スポーツができる	友だちがたくさんいる	自分の意見がはっきり言える	最後まであきらめずに取り組むことができる(困難なことにもくじけない)	まわりの人にやさしくすることができ
小学校3年生	587	58.1	51.3	38.2	16.2	28.1	38.2
小学校6年生	619	36.0	31.3	26.7	19.9	32.3	40.5
中学校1年生	238	42.9	29.8	26.5	19.7	29.0	39.1
中学校3年生	277	37.5	25.6	27.4	28.5	40.1	39.7

区分	ルールや決まりを守る事ができる	人や社会の役に立つことができる	その他	わからない	特にない	無回答
小学校3年生	15.5	18.7	2.6	0.9	1.2	3.1
小学校6年生	9.7	33.6	4.5	1.9	2.7	11.1
中学校1年生	8.0	29.0	2.5	2.5	3.4	13.0
中学校3年生	12.6	34.7	4.7	1.1	1.8	9.0

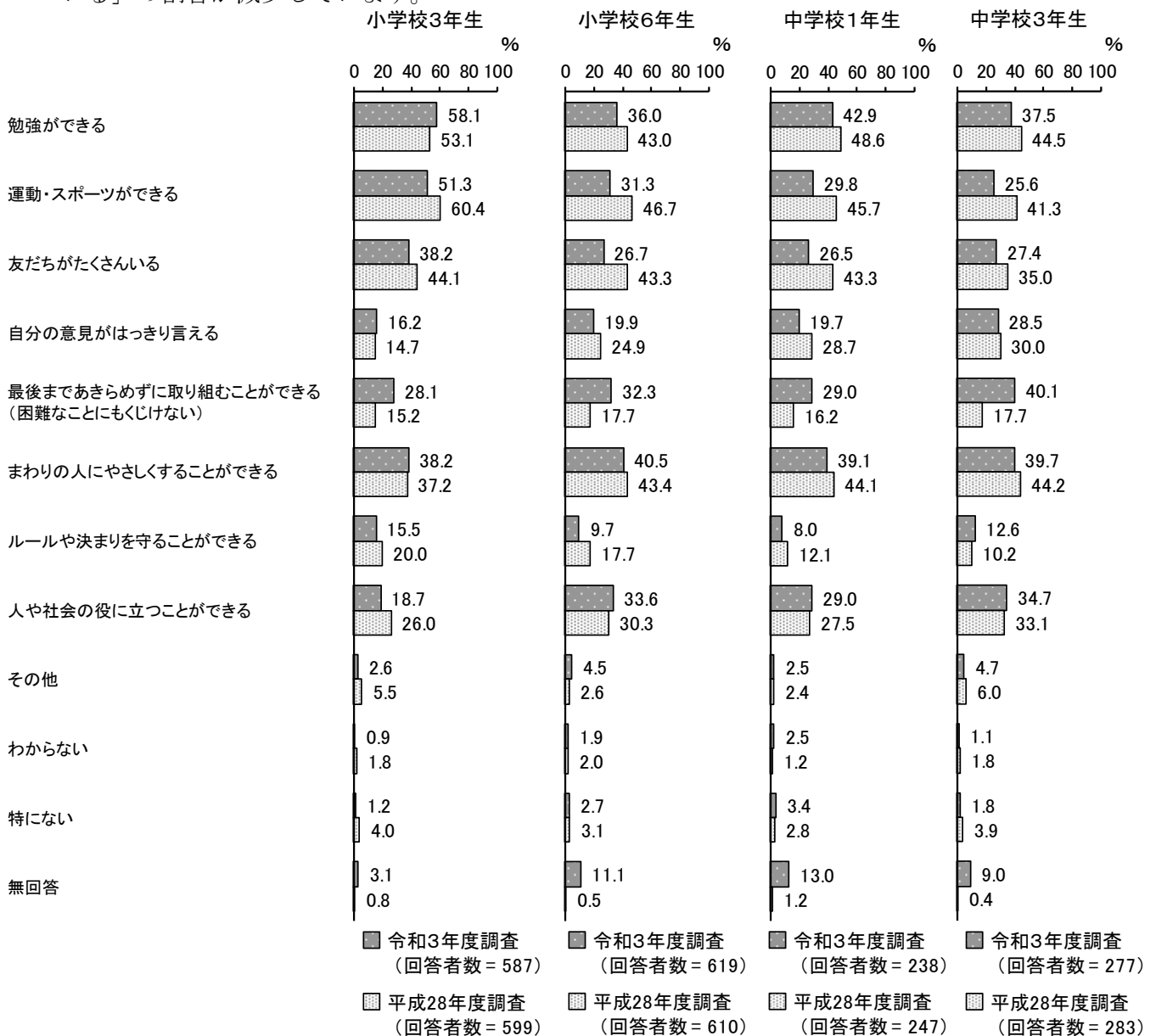
【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、小学校 3 年生で「勉強ができる」「最後まであきらめずに取り組むことができる（困難なことにもくじけない）」の割合が増加しています。一方、「運動・スポーツができる」「友だちがたくさんいる」「ルールや決まりを守ることができる」「人や社会の役に立つことができる」の割合が減少しています。

小学校 6 年生では「最後まであきらめずに取り組むことができる（困難なことにもくじけない）」の割合が増加しています。一方、「勉強ができる」「運動・スポーツができる」「友だちがたくさんいる」「自分の意見がはっきり言える」「ルールや決まりを守ることができる」の割合が減少しています。

中学校 1 年生では「最後まであきらめずに取り組むことができる（困難なことにもくじけない）」の割合が増加しています。一方、「勉強ができる」「運動・スポーツができる」「友だちがたくさんいる」「自分の意見がはっきり言える」「まわりの人にやさしくすることができる」の割合が減少しています。

中学校 3 年生では「最後まであきらめずに取り組むことができる（困難なことにもくじけない）」の割合が増加しています。一方、「勉強ができる」「運動・スポーツができる」「友だちがたくさんいる」の割合が減少しています。



問 29 あなたは、将来、どのような仕事（業種）に就きたいですか。
（あてはまるすべてに○）

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で「スポーツ選手」「パン屋、ケーキ屋（ケーキ職人、パティシエ）、花屋」「獣医、動物飼育、ペットショップ、トリマー」の割合が高くなっています。また、学年が上がるにつれて「わからない」の割合が増加しています。

単位：％

区分	回答者数（件）	弁護士、裁判官、検察官	医者、歯科医、薬剤師	看護師、介護福祉士	カウンセラー、臨床心理士	獣医、動物飼育、ペットショップ、トリマー	警察官、消防士、自衛官	幼稚園・保育園の先生（保育士）	学校の先生	大学教授、科学者	パイロット、客室乗務員（フライトアテンダン
小学校3年生	587	9.7	13.3	7.8	1.2	20.3	16.5	16.9	17.2	10.6	5.8
小学校6年生	619	4.8	10.0	5.3	3.1	12.0	4.7	10.2	6.6	6.6	2.7
中学校1年生	238	3.8	8.0	9.2	2.5	6.7	3.4	8.0	10.1	2.9	0.8
中学校3年生	277	2.5	7.6	5.8	3.2	9.4	5.4	7.6	10.1	5.8	3.6

区分	コンピューター関係（システム・エンジニア、プログラマーなど）	建築士、設計士	コック、調理師、栄養士	理容師、美容師	通訳、翻訳家	会社の社長	会社員	公務員	商店主など自営業者	パン屋、ケーキ屋（ケーキ職人、パティシエ）、花屋	自動車整備士、自動車・電車などの運転士
小学校3年生	8.5	8.3	10.2	9.7	1.9	8.0	12.4	3.1	2.7	25.6	7.7
小学校6年生	9.5	8.7	5.8	7.6	2.4	6.0	10.5	6.3	1.9	10.5	1.8
中学校1年生	10.9	4.6	5.0	5.5	4.2	4.2	10.1	10.5	3.8	7.6	2.9
中学校3年生	12.3	4.0	3.2	8.3	4.0	6.1	13.4	14.4	2.9	6.9	2.2

区分	店員、販売員、ウエイター、ウエイトレス	スポーツ選手	歌手、ミュージシャン、俳優、タレント、バンド、芸人、ダンサー	画家、デザイナー、写真家	音楽家、作曲家	作家、アニメ作家、まんが家、映画監督	新聞記者、アナウンサー、キャスター、レポーター、テレビのディレクター	動画投稿者（YouTuberなど）	その他	わからない	無回答
小学校3年生	5.1	31.9	14.7	18.1	13.1	17.4	6.6	25.6	14.7	5.8	3.4
小学校6年生	3.7	20.2	12.1	13.4	5.0	11.8	3.2	16.6	16.5	12.8	1.0
中学校1年生	4.2	17.6	9.2	9.7	6.7	10.5	3.4	11.8	14.7	17.6	0.8
中学校3年生	6.9	10.5	10.5	11.9	5.8	7.9	3.2	6.9	14.8	20.9	1.4

(6) 地域とのつながりについて

問 30 ふだん、あなたは地域の人たちとどのように接していますか。
(あてはまるすべてに○)

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で「会ったときに声をかけたり話をしたりする」「こまったときやなやんでいるときに相談にのってもらう」「スポーツや音楽などをおしえてもらう」の割合が、中学校3年生で「交流するつもりはない」の割合が高くなっています。

単位：％

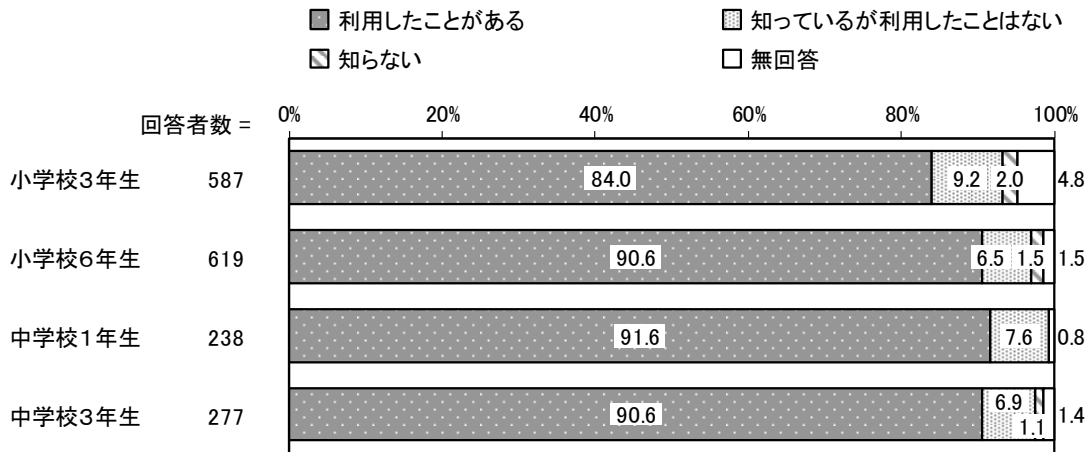
区分	回答者数(件)	会ったときにあいさつをしている	会ったときに声をかけたり話をしたりする	こまったときやなやんでいるときに相談にのってもらう	地域の活動を一緒にする	スポーツや音楽などをおしえてもらう	地域の祭りやイベントで交流している	交流したいが、交流していない	交流するつもりはない	その他	無回答
小学校3年生	587	78.5	35.8	11.6	9.0	11.6	16.9	2.0	5.3	1.7	5.6
小学校6年生	619	77.7	24.1	2.1	6.0	4.0	15.3	7.3	6.6	1.6	1.5
中学校1年生	238	79.0	23.1	0.8	6.3	0.8	13.9	5.5	7.6	1.7	2.1
中学校3年生	277	76.9	23.1	1.4	3.6	0.7	7.6	7.2	10.5	1.4	2.9

問 31 次の中であてはまるものは何ですか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

図書館

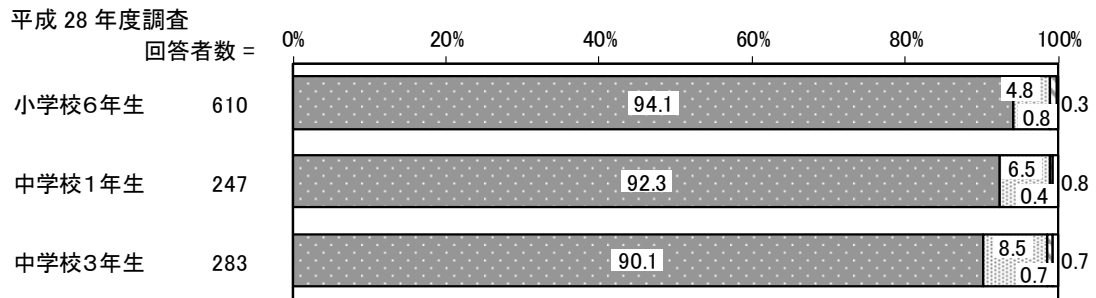
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で「知っているが利用したことはない」の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。

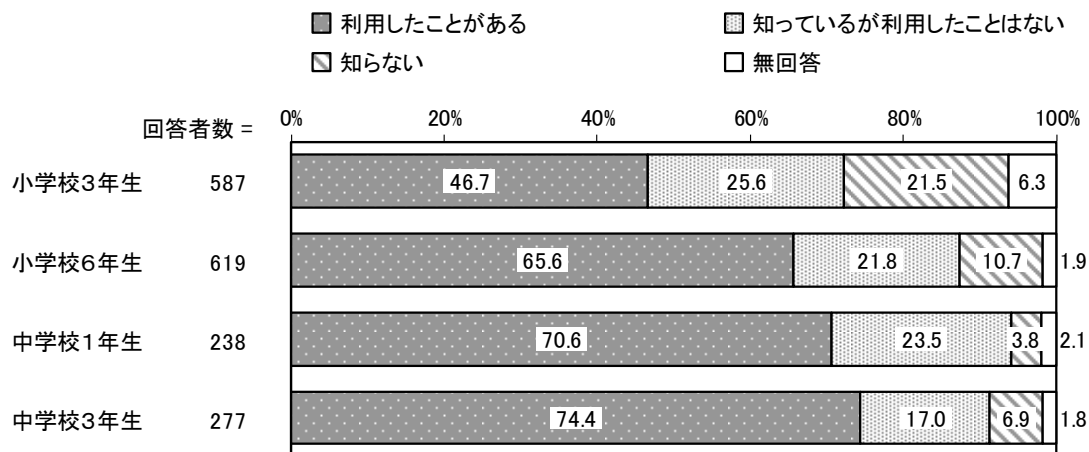


※前回調査に小学校3年生はありませんでした。

公民館

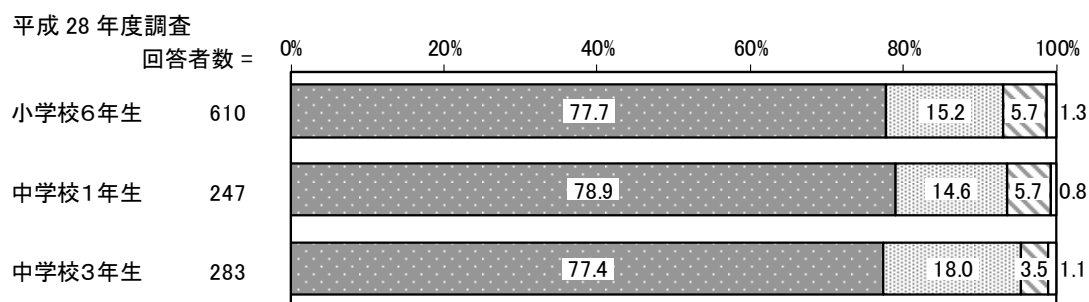
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校6年生、中学校1年生、中学校3年生で「利用したことがある」の割合が、小学校3年生で「知らない」の割合が高くなっています。



【平成28年度調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、小学校6年生、中学校1年生で「利用したことがある」の割合が減少しています。一方、「知っているが利用したことはない」の割合が増加しています。

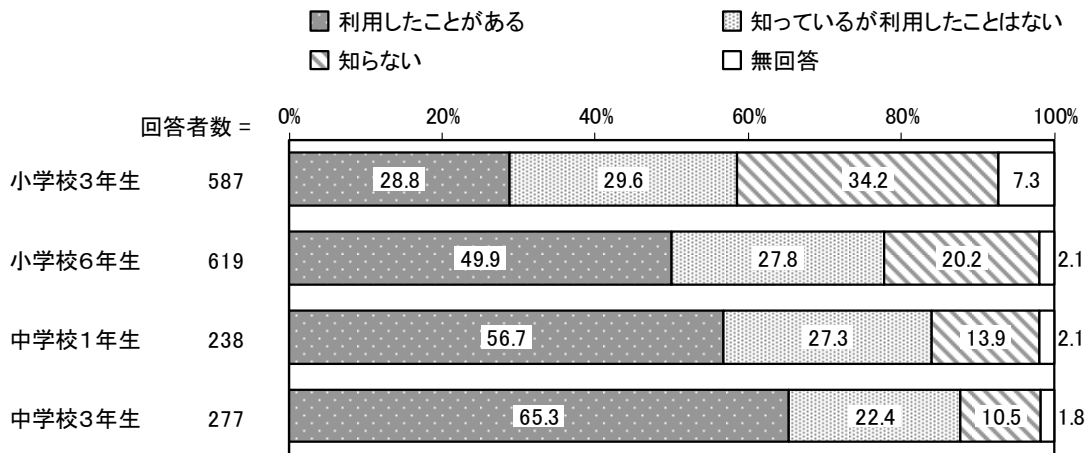


※前回調査に小学校3年生はありませんでした。

市民総合体育館などの体育施設

【学年別】

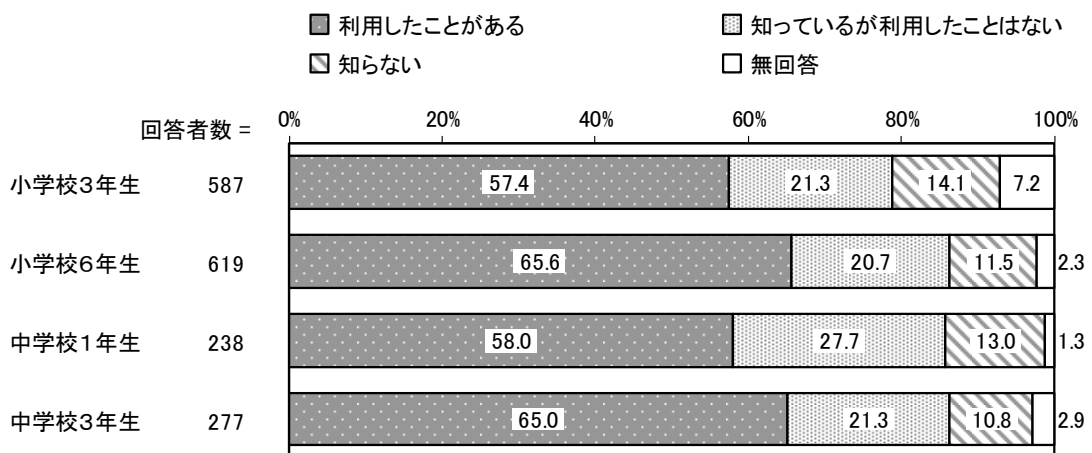
学年別でみると、学年が高くなるにつれ「利用したことがある」の割合が高くなっています。



児童館・子ども広場

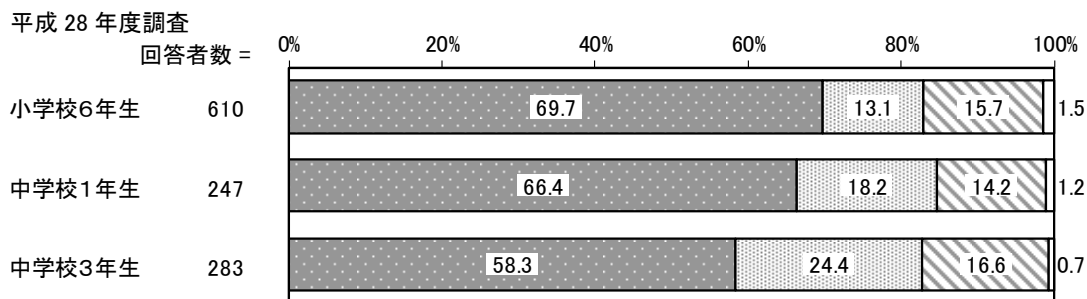
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校6年生、中学校3年生で「利用したことがある」の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、中学校 1 年生で「利用したことがある」の割合が減少しています。また、中学校 3 年生で「知らない」の割合が減少しています。一方、小学校 6 年生、中学校 1 年生で「知っているが利用したことはない」の割合が増加しています。また、中学校 3 年生で「利用したことがある」の割合が増加しています。

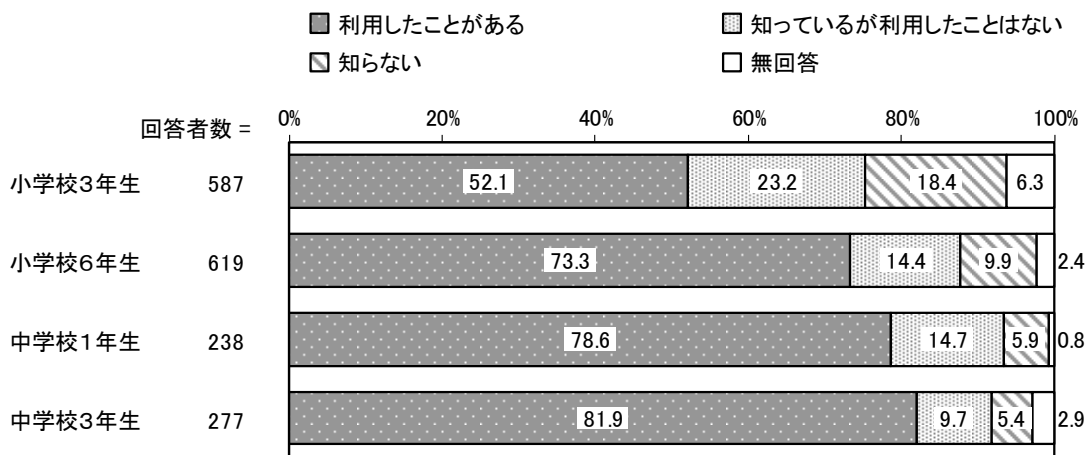


※前回調査に小学校 3 年生はありませんでした。

地域センター

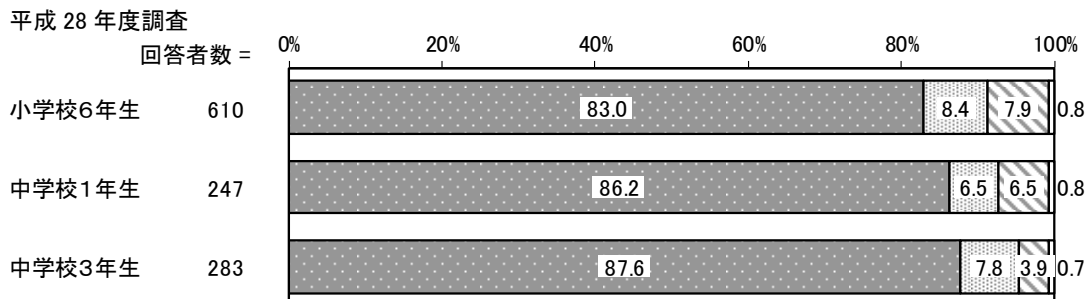
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校 6 年生、中学校 1 年生、中学校 3 年生で「利用したことがある」の割合が、小学校 3 年生で「知っているが利用したことはない」「知らない」の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、小学校 6 年生、中学校 1 年生、中学校 3 年生で「利用したことがある」の割合が減少しています。

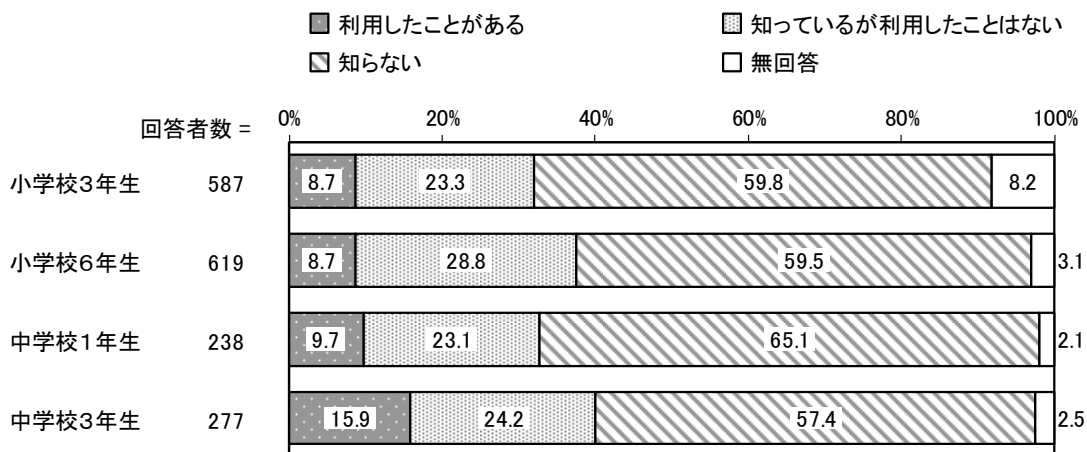


※前回調査に小学校 3 年生はありませんでした。

平櫛田中彫刻美術館

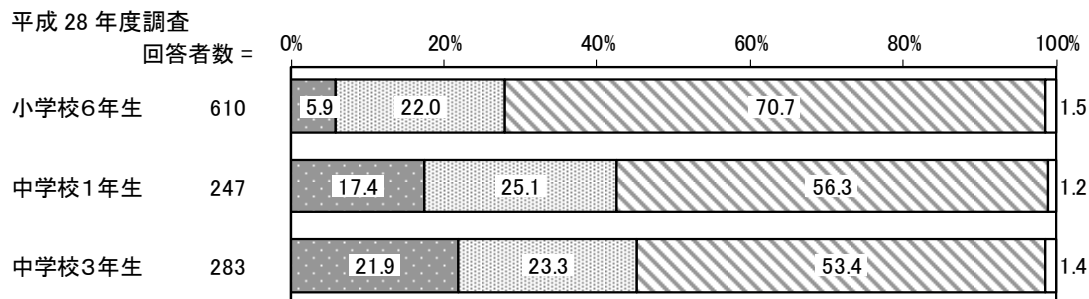
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学校 3 年生で「利用したことがある」の割合が、小学校 6 年生で「知っているが利用したことはない」の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、中学校 1 年生、中学校 3 年生で「利用したことがある」の割合が減少しています。また、小学校 6 年生で「知らない」の割合が減少しています。一方、小学校 6 年生で「知っているが利用したことはない」の割合が増加しています。

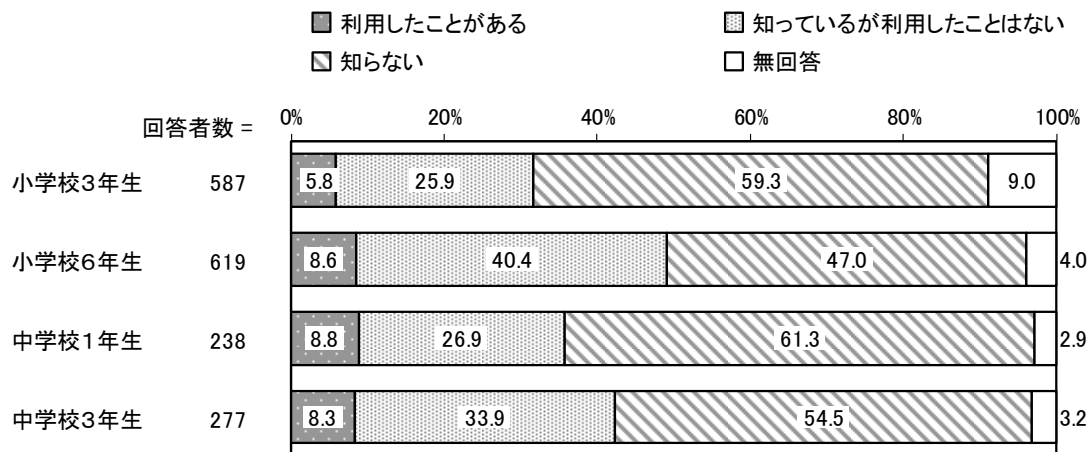


※前回調査に小学校 3 年生はありませんでした。

鈴木遺跡資料館

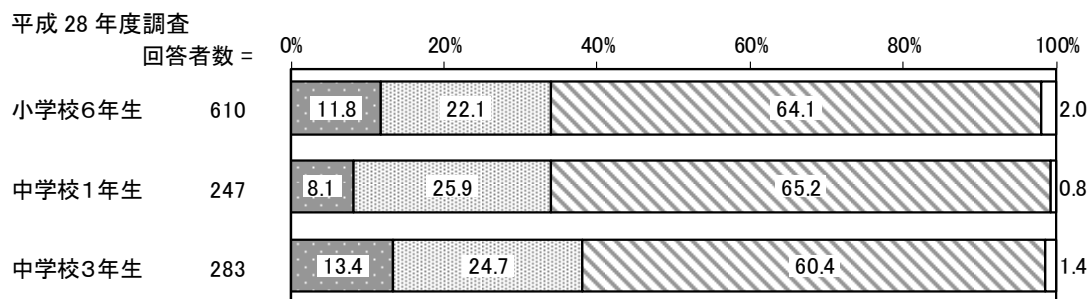
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校 6 年生で「知っているが利用したことはない」の割合が、小学校 3 年生、中学校 1 年生で「知らない」の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、小学校 6 年生、中学校 3 年生で「知っているが利用したことはない」の割合が増加しています。一方、小学校 6 年生、中学校 3 年生で「知らない」の割合が減少しています。

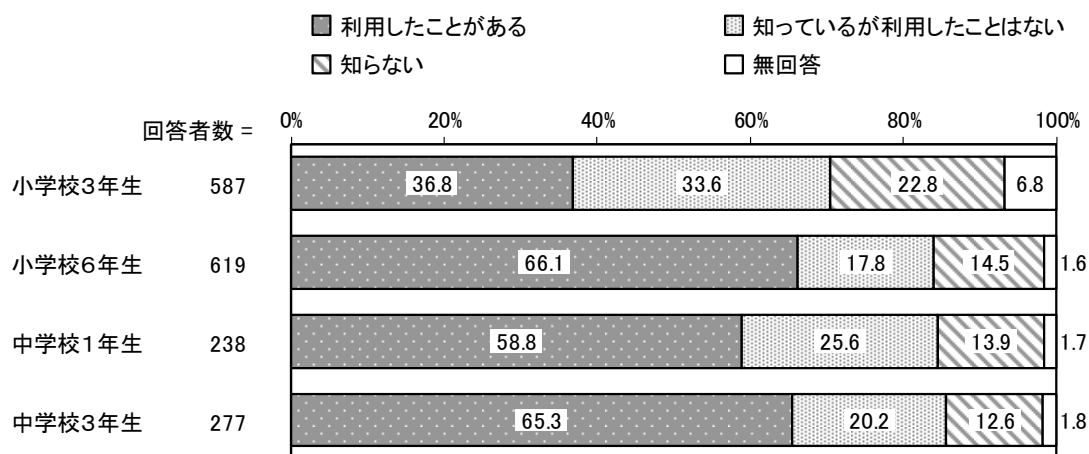


※前回調査に小学校 3 年生はありませんでした。

小平ふるさと村

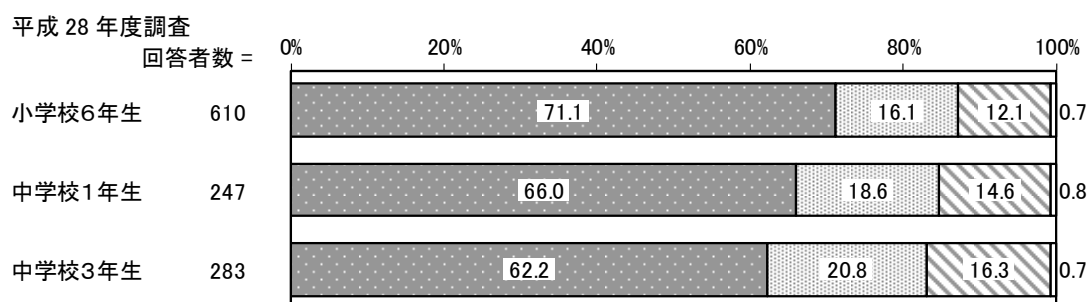
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校 6 年生、中学校 1 年生、中学校 3 年生で「利用したことがある」の割合が、小学校 3 年生で「知っているが利用したことはない」「知らない」の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、小学校 6 年生、中学校 1 年生で「利用したことがある」の割合が減少しています。一方、中学校 1 年生で「知っているが利用したことはない」の割合が増加しています。



※前回調査に小学校 3 年生はありませんでした。

問 32 【中学校 1 年生、または中学校 3 年生だけ、教えてください。】

あなたは、これから、若者（29 歳ぐらいまでの人）のために小平市にどんなことをしてほしいと思いますか。（あてはまるもの 3 つまでに○）

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学校 1 年生で「悩みを相談できる場や機会を増やす」の割合が高くなっています。

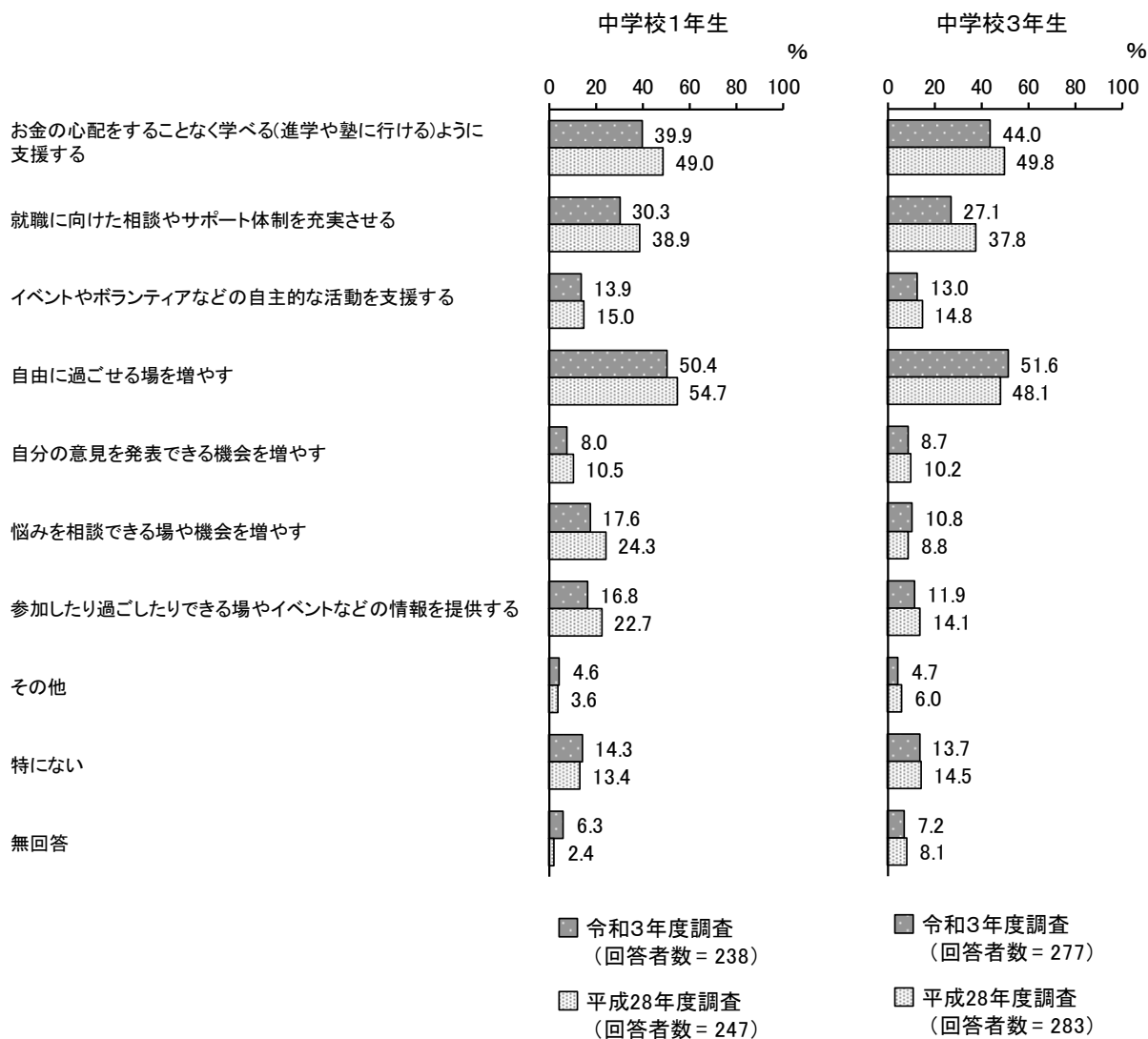
位：%

区分	回答者数（件）	学や塾に行ける（進） お金の心配をすることなく学べる（進） 学や塾に行ける）ように支援する	就職に向けた相談やサポート体制を充実させる	就活動を支援する	イベントやボランティアなどの自主的な活動を支援する	自由に過ごせる場を増やす	自分の意見を発表できる機会を増やす	悩みを相談できる場や機会を増やす	参加したり過ごしたりできる場やイベントなどの情報を提供する	その他	特にない	無回答
中学校1年生	238	39.9	30.3	13.9	50.4	8.0	17.6	16.8	4.6	14.3	6.3	
中学校3年生	277	44.0	27.1	13.0	51.6	8.7	10.8	11.9	4.7	13.7	7.2	

【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、中学校 1 年生で「お金の心配をすることなく学べる(進学や塾に行ける)ように支援する」「就職に向けた相談やサポート体制を充実させる」「悩みを相談できる場や機会を増やす」「参加したり過ごしたりできる場やイベントなどの情報を提供する」の割合が減少しています。

中学校 3 年生では「お金の心配をすることなく学べる(進学や塾に行ける)ように支援する」「就職に向けた相談やサポート体制を充実させる」の割合が減少しています。

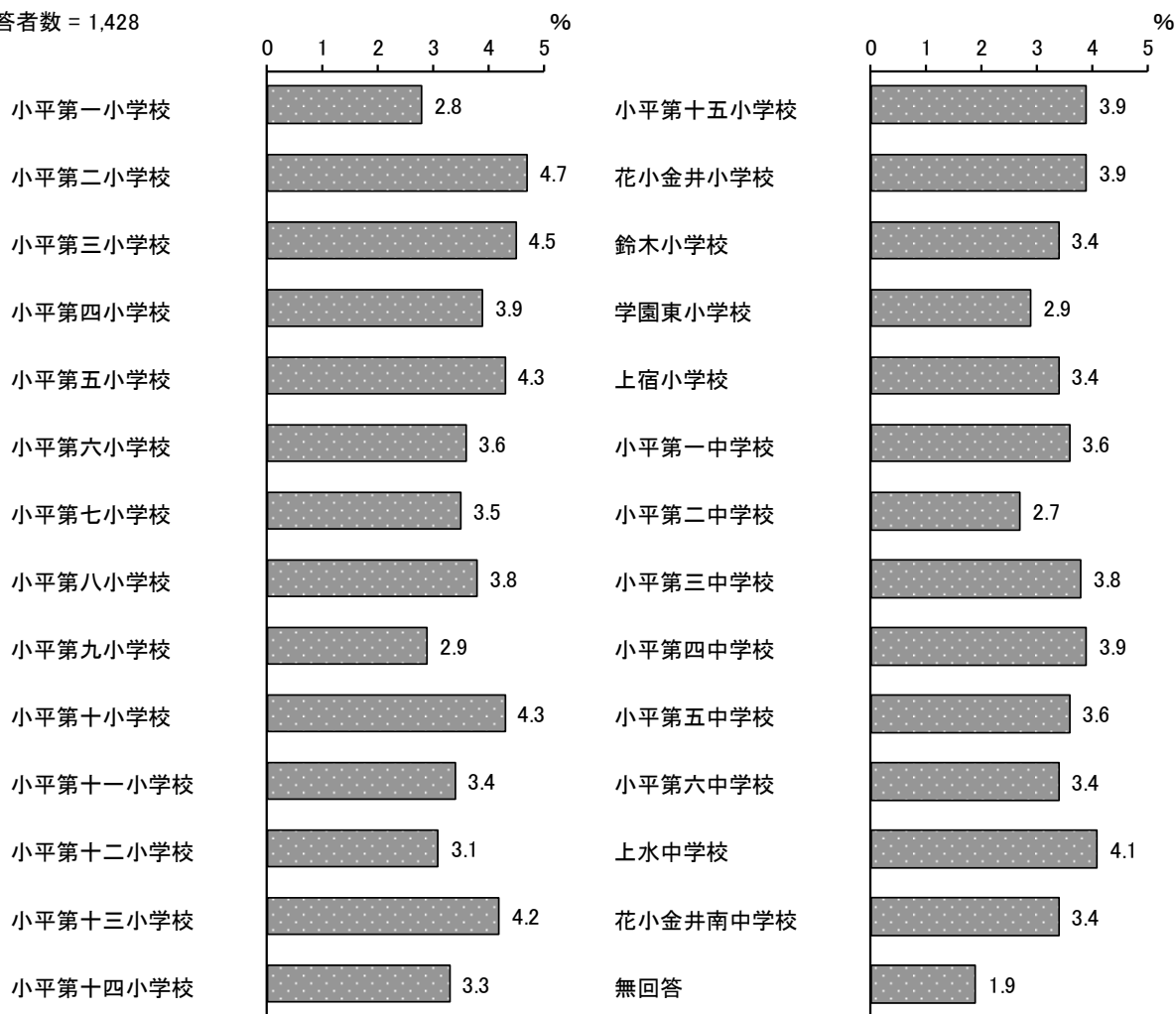


2 小・中学生の保護者

(1) 回答者属性・あなたのお子さんについて

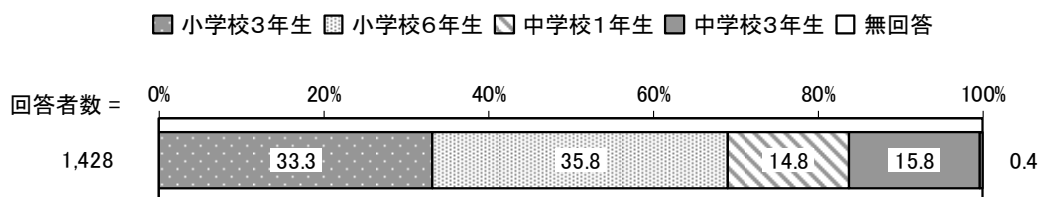
問1 お子さんが通っている学校はどちらですか。(1つに〇)

回答者数 = 1,428



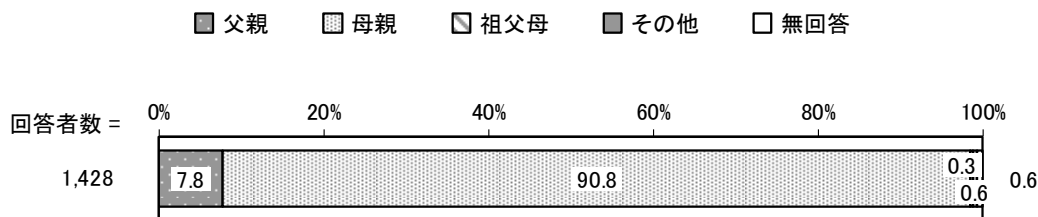
問2 お子さんの学年を教えてください。(1つに〇)

「小学校6年生」の割合が35.8%と最も高く、次いで「小学校3年生」の割合が33.3%、「中学校3年生」の割合が15.8%となっています。



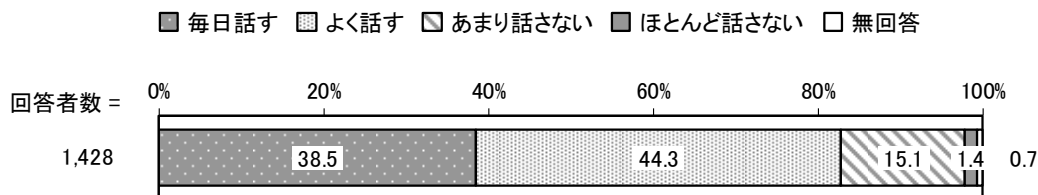
問3 お子さんとあなたの続柄（関係）を教えてください。（1つに○）

「母親」の割合が90.8%と最も高くなっています。



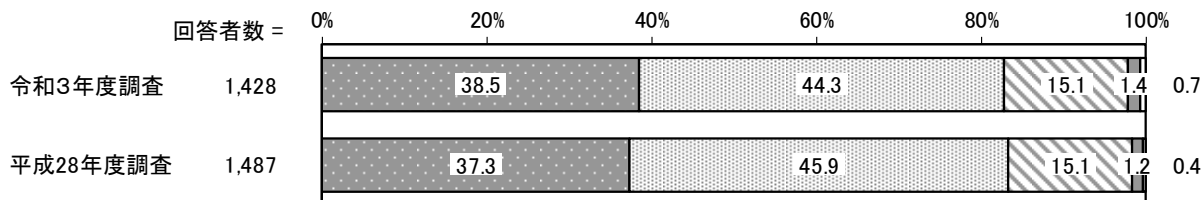
問4 お子さんと、学校や友人のことなどについて話しますか。（1つに○）

「毎日話す」「よく話す」をあわせた“話す”の割合が82.8%と最も高く、「あまり話さない」「ほとんど話さない」をあわせた“話さない”の割合が16.5%となっています。



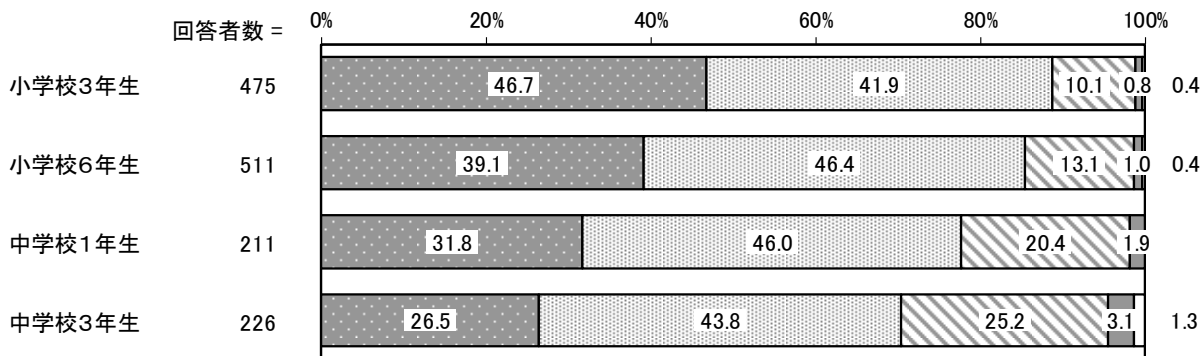
【平成28年度調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



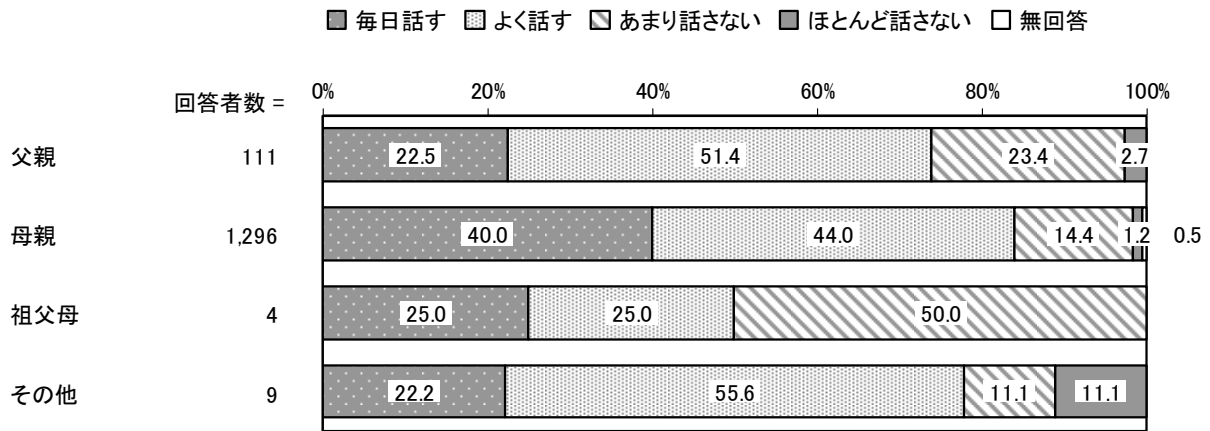
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で“話す”の割合が、中学校3年生で“話さない”の割合が高くなっています。



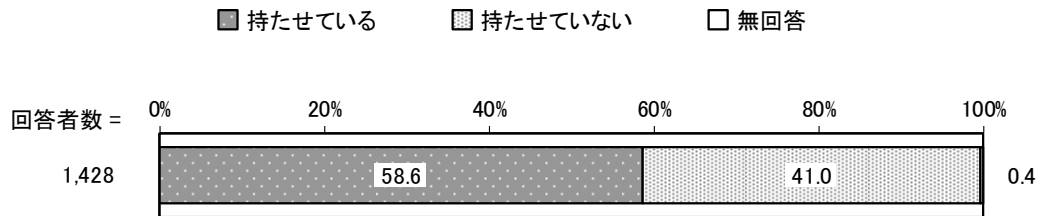
【続柄別】

続柄別でみると、他に比べ、母親で“話す”の割合が高くなっています。



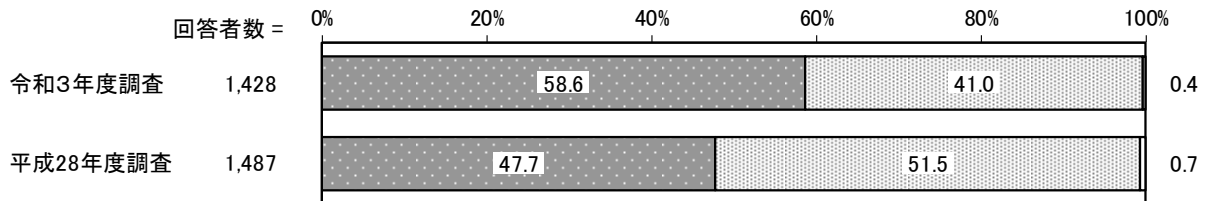
問5-1 お子さんに携帯電話やスマートフォンを持たせていますか。(1つに○)

「持たせている」の割合が58.6%、「持たせていない」の割合が41.0%となっています。



【平成28年度調査との比較】

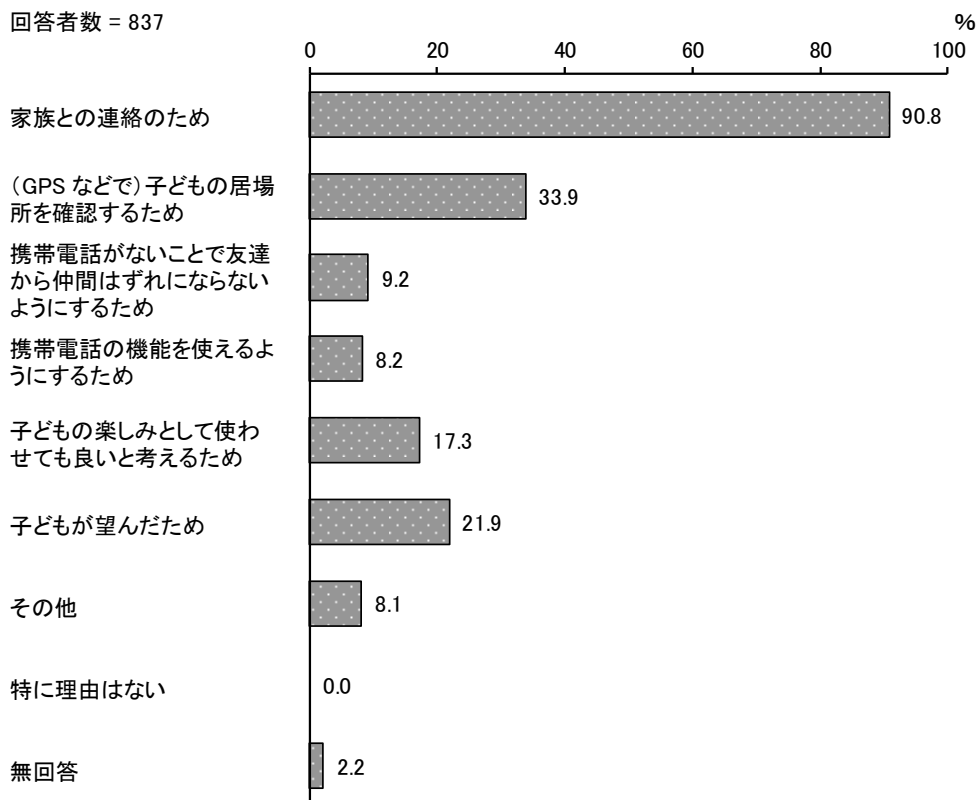
平成28年度調査と比較すると、「持たせている」の割合が増加しています。一方、「持たせていない」の割合が減少しています。



問5-2 【問5-1で「1」に○をつけたときに教えてください】お子さんに携帯電話やスマートフォン持たせている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

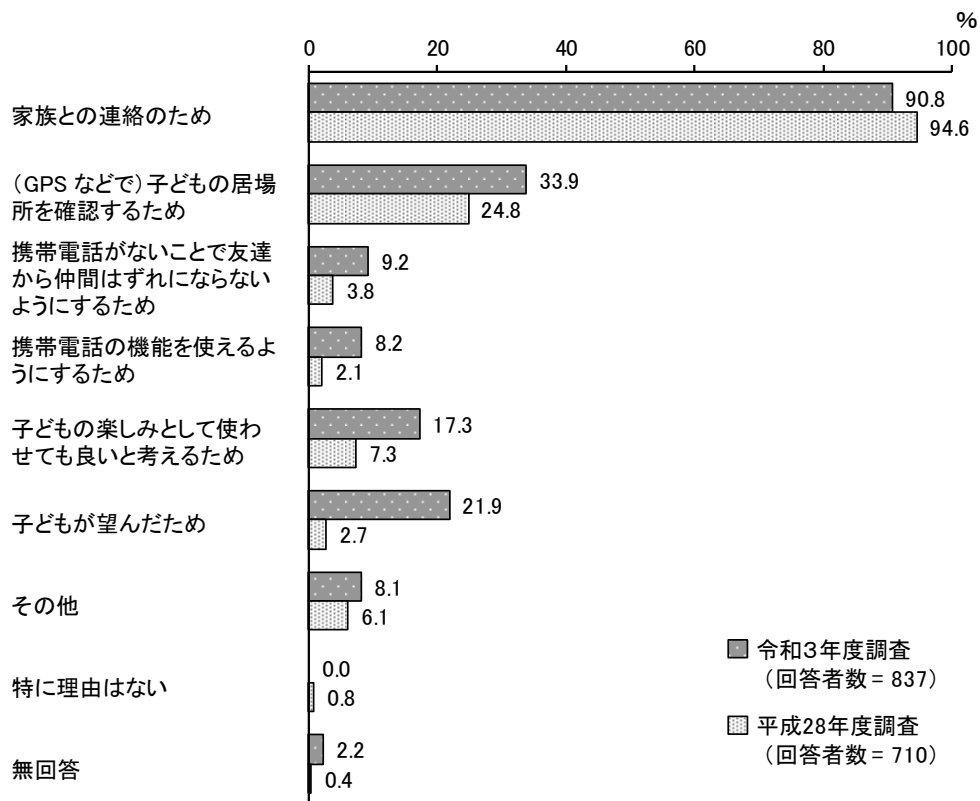
「家族との連絡のため」の割合が90.8%と最も高く、次いで「(GPSなどで)子どもの居場所を確認するため」の割合が33.9%、「子どもが望んだため」の割合が21.9%となっています。

回答者数 = 837



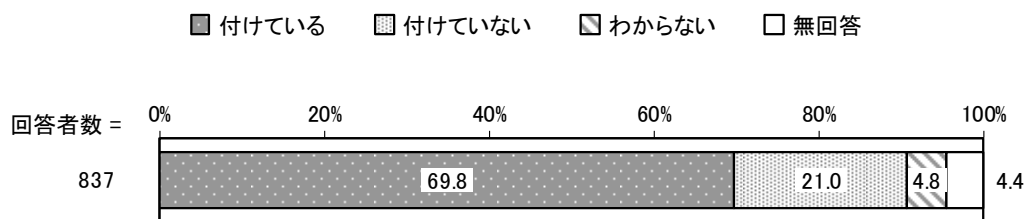
【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「(GPS など) 子どもの居場所を確認するため」「携帯電話がないことで友達から仲間はずれにならないようにするため」「携帯電話の機能を使えるようにするため」「子どもの楽しみとして使わせても良いと考えるため」「子どもが望んだため」の割合が増加しています。



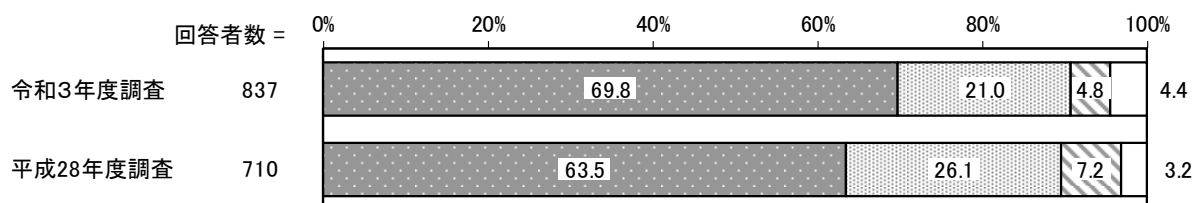
問5-3 【問5-1で「1」に○をつけたときに教えてください】お子さんの携帯電話やスマートフォンに、フィルタリング機能を付けていますか。(1つに○)

「付けている」の割合が69.8%と最も高く、次いで「付けていない」の割合が21.0%となっています。



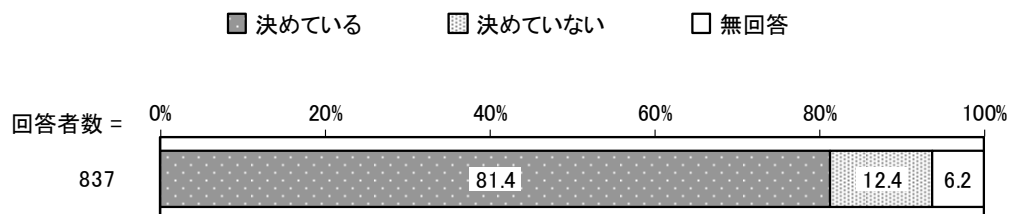
【平成28年度調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、「付けている」の割合が増加しています。一方、「付けていない」の割合が減少しています。



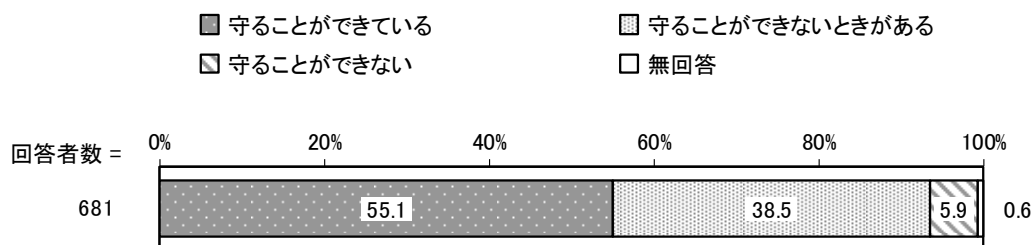
問5-4 【問5-1で「1」に○をつけたときに教えてください】使用にあたって、お子さんとのルールや約束を決めていますか。(1つに○)

「決めている」の割合が81.4%、「決めていない」の割合が12.4%となっています。



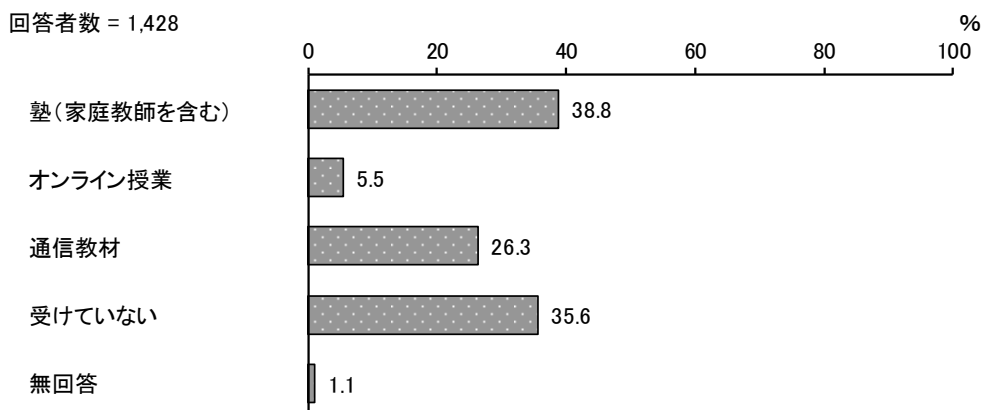
問5-5 【問5-4で「1」に○をつけたときに教えてください】お子さんは、ルールや約束を守っていますか。(1つに○)

「守ることができている」の割合が55.1%と最も高く、次いで「守ることができないときがある」の割合が38.5%となっています。



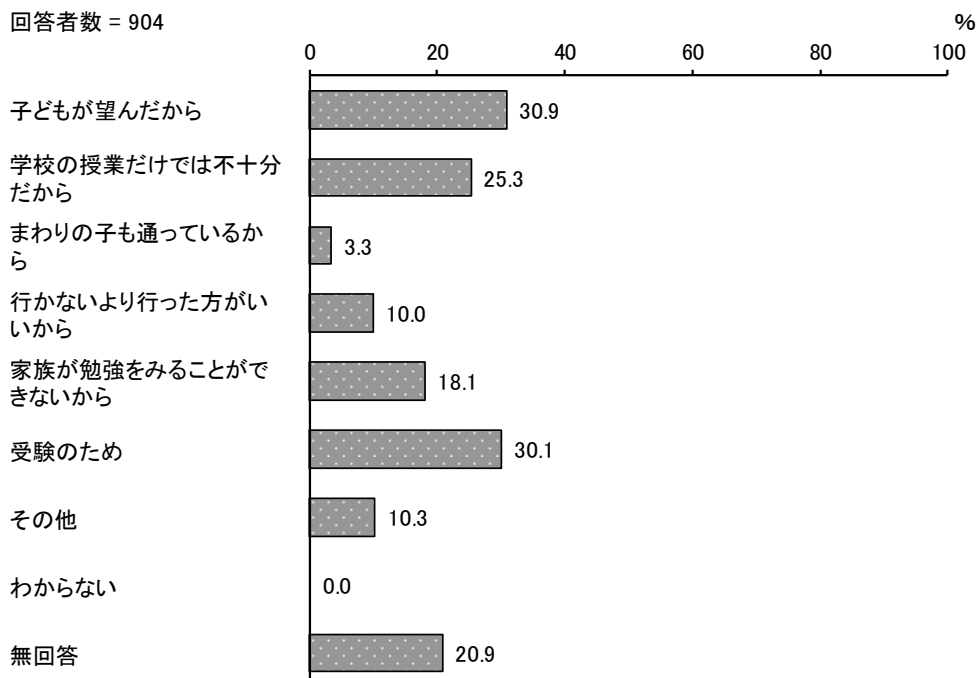
問6-1 お子さんは、学校以外で塾（家庭教師を含む）や通信教材、またオンラインなどで授業を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

「塾(家庭教師を含む)」の割合が38.8%と最も高く、次いで「受けていない」の割合が35.6%、「通信教材」の割合が26.3%となっています。



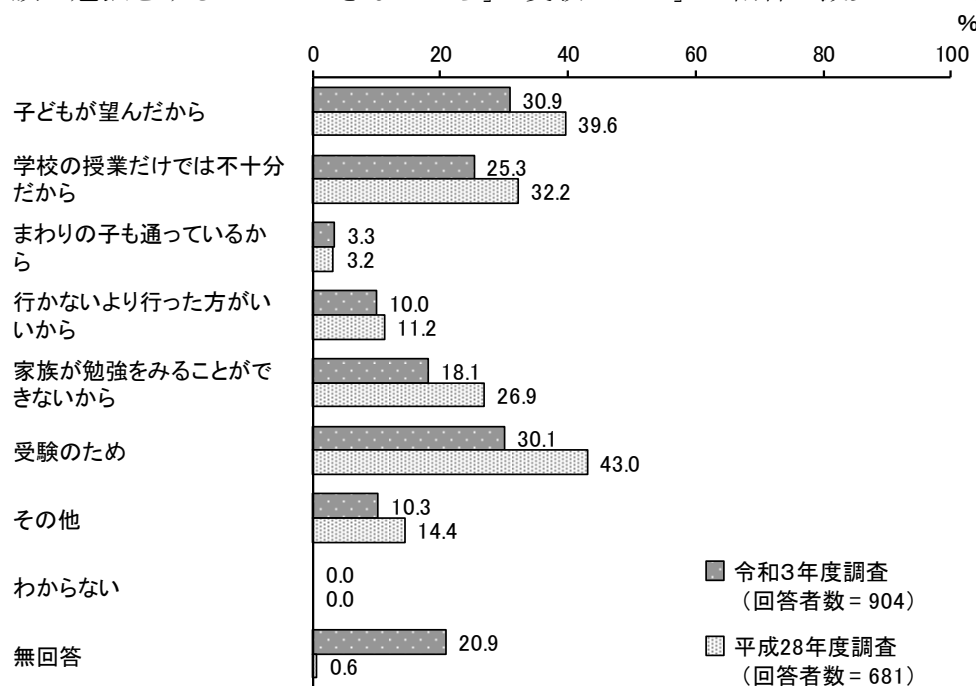
問6-2 【問6-1で、「1」～「3」と回答したときに教えてください】それはどうしてですか。(あてはまるものすべてに○)

「子どもが望んだから」の割合が30.9%と最も高く、次いで「受験のため」の割合が30.1%、「学校の授業だけでは不十分だから」の割合が25.3%となっています。



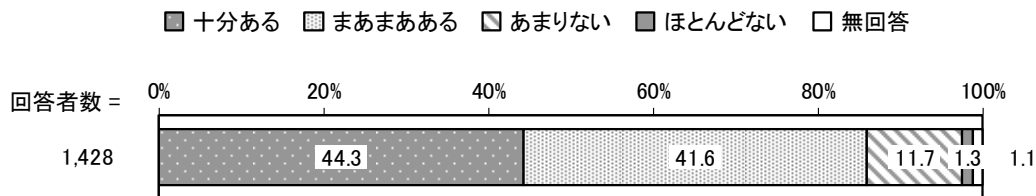
【平成28年度調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、「子どもが望んだから」「学校の授業だけでは不十分だから」「家族が勉強をみることができないから」「受験のため」の割合が減少しています。



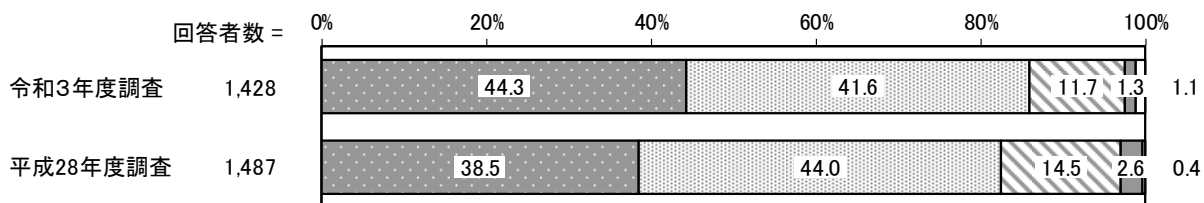
問7 お子さんには、普段、好きなことをしたり、ゆっくり過ごしたりする時間がありますか。(1つに○)

「十分ある」と「まあまあある」をあわせた“ある”の割合が85.9%と最も高く、「あまりない」と「ほとんどない」をあわせた“ない”の割合が13.0%となっています。



【平成28年度調査との比較】

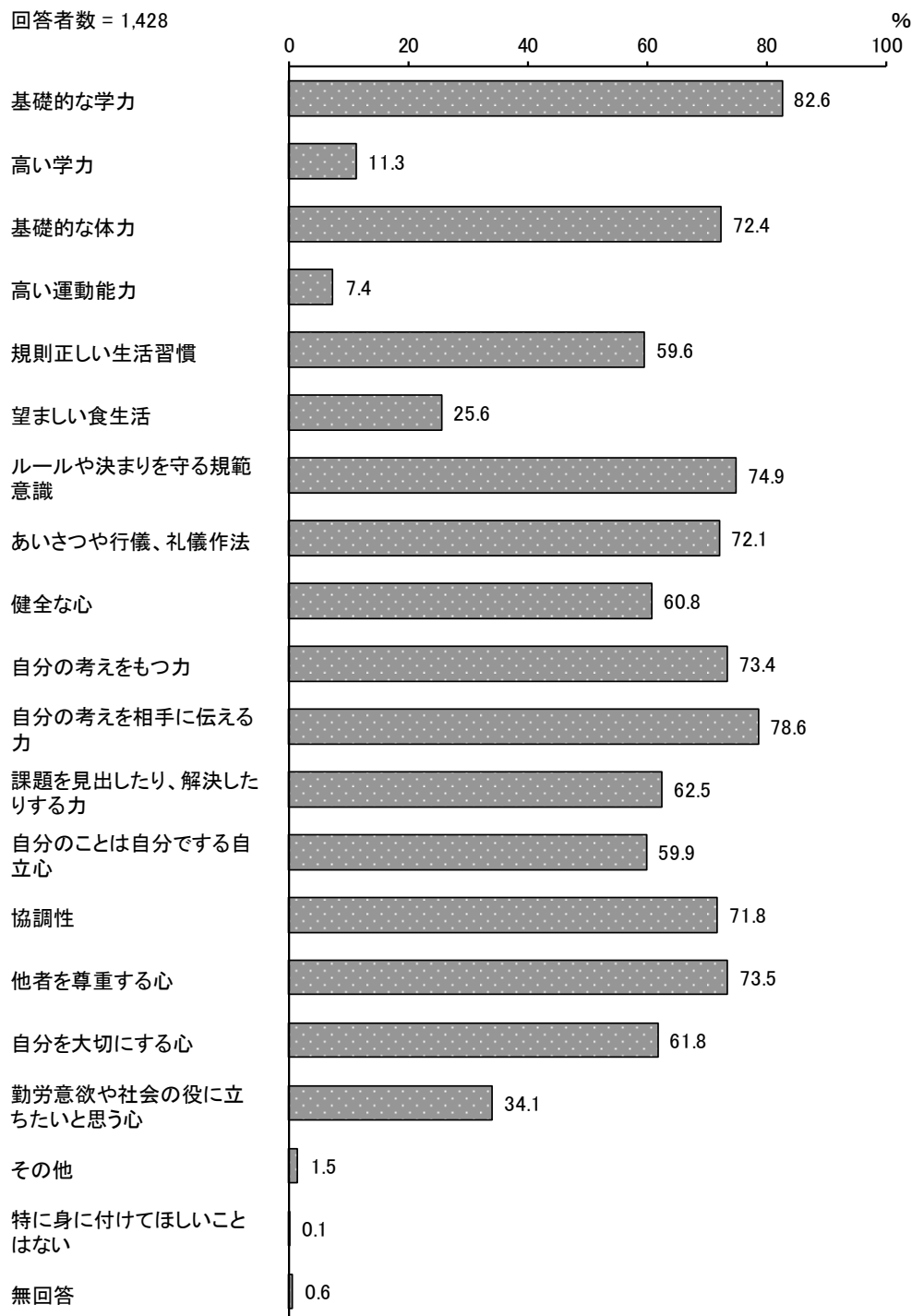
平成28年度調査と比較すると、「十分ある」の割合が増加しています。



問8 お子さんに学校で身に付けてほしいと望むことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

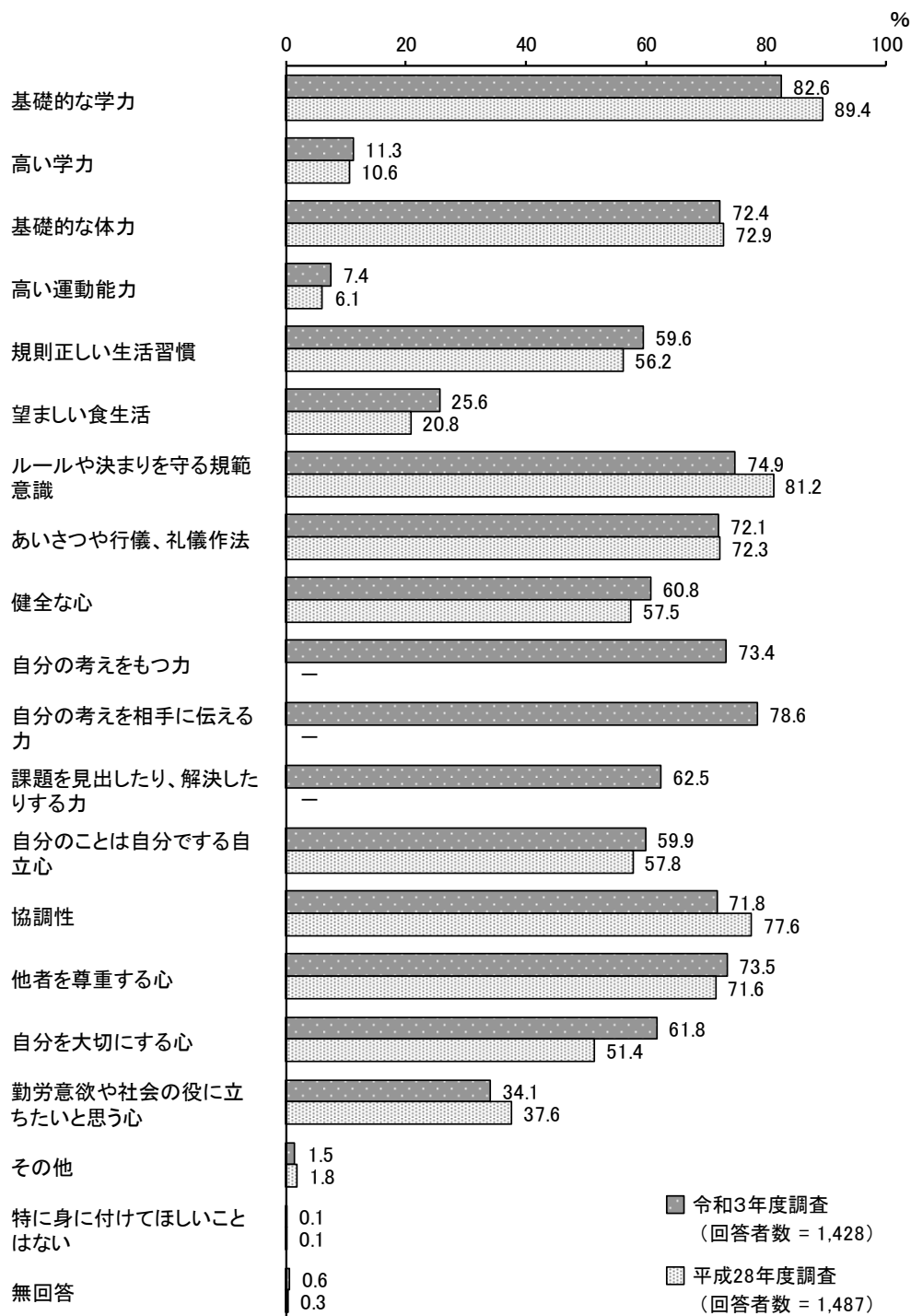
「基礎的な学力」の割合が82.6%と最も高く、次いで「自分の考えを相手に伝える力」の割合が78.6%、「ルールや決まりを守る規範意識」の割合が74.9%となっています。

回答者数 = 1,428



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「自分を大切にする心」の割合が増加しています。一方、「基礎的な学力」「ルールや決まりを守る規範意識」「協調性」の割合が減少しています。

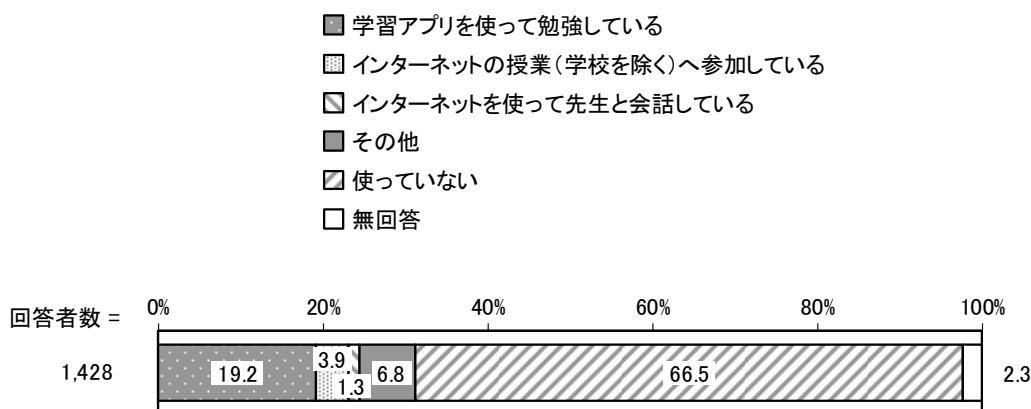


※前回調査に「自分の考えをもつ力」「自分の考えを相手に伝える力」「課題を見出したり、解決したりする力」の選択肢はありませんでした。

問9 お子さんは、家庭でパソコンやタブレットなどを使って自主学習をしていますか。(1つに○)

※自主学習とは、自分で学習内容を決めて学習することを指します。

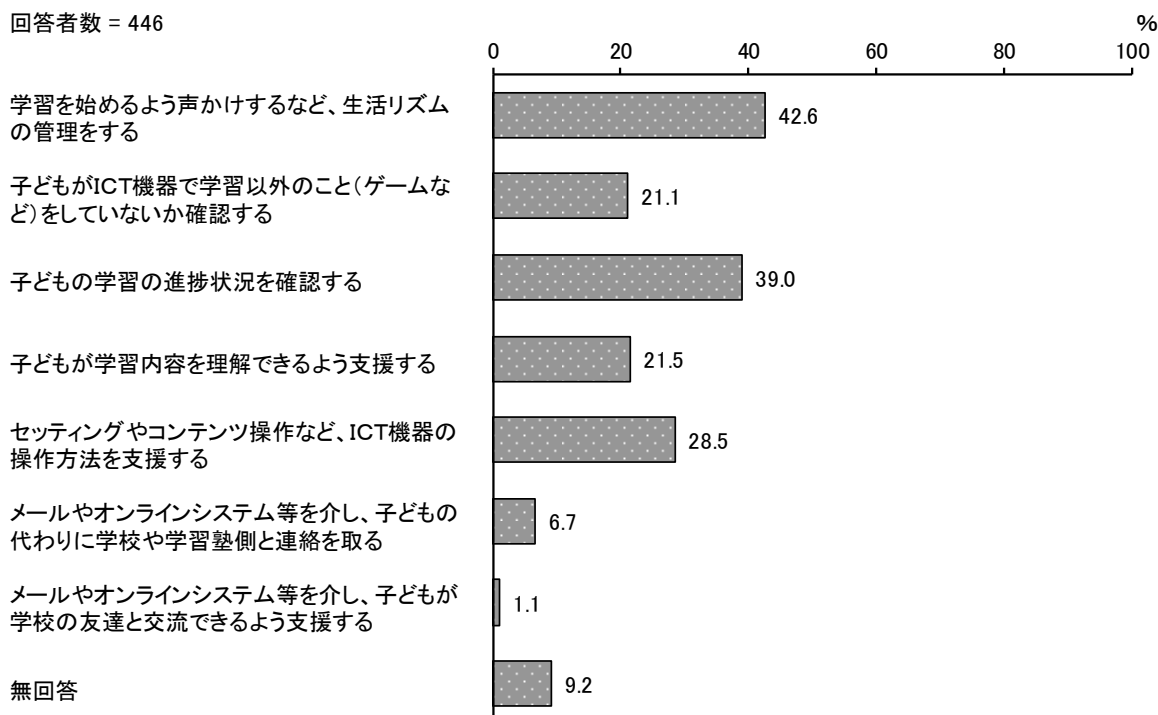
「使っていない」の割合が66.5%と最も高く、次いで「学習アプリを使って勉強している」の割合が19.2%となっています。



問10 お子さんがパソコンやタブレットなどを用いた学習を行う時にあなたが実施していることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「学習を始めるよう声かけするなど、生活リズムの管理をする」の割合が42.6%と最も高く、次いで「子どもの学習の進捗状況を確認する」の割合が39.0%、「セッティングやコンテンツ操作など、ICT機器の操作方法を支援する」の割合が28.5%となっています。

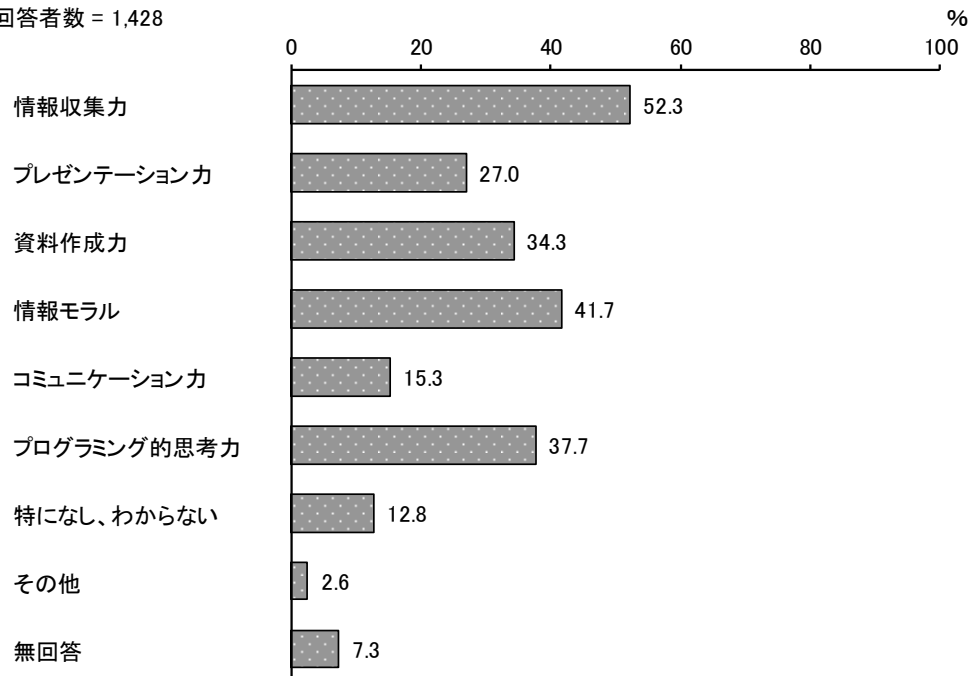
回答者数 = 446



問11 お子さんにパソコンやタブレットなどを用いた学習によって身に付けさせたい力は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

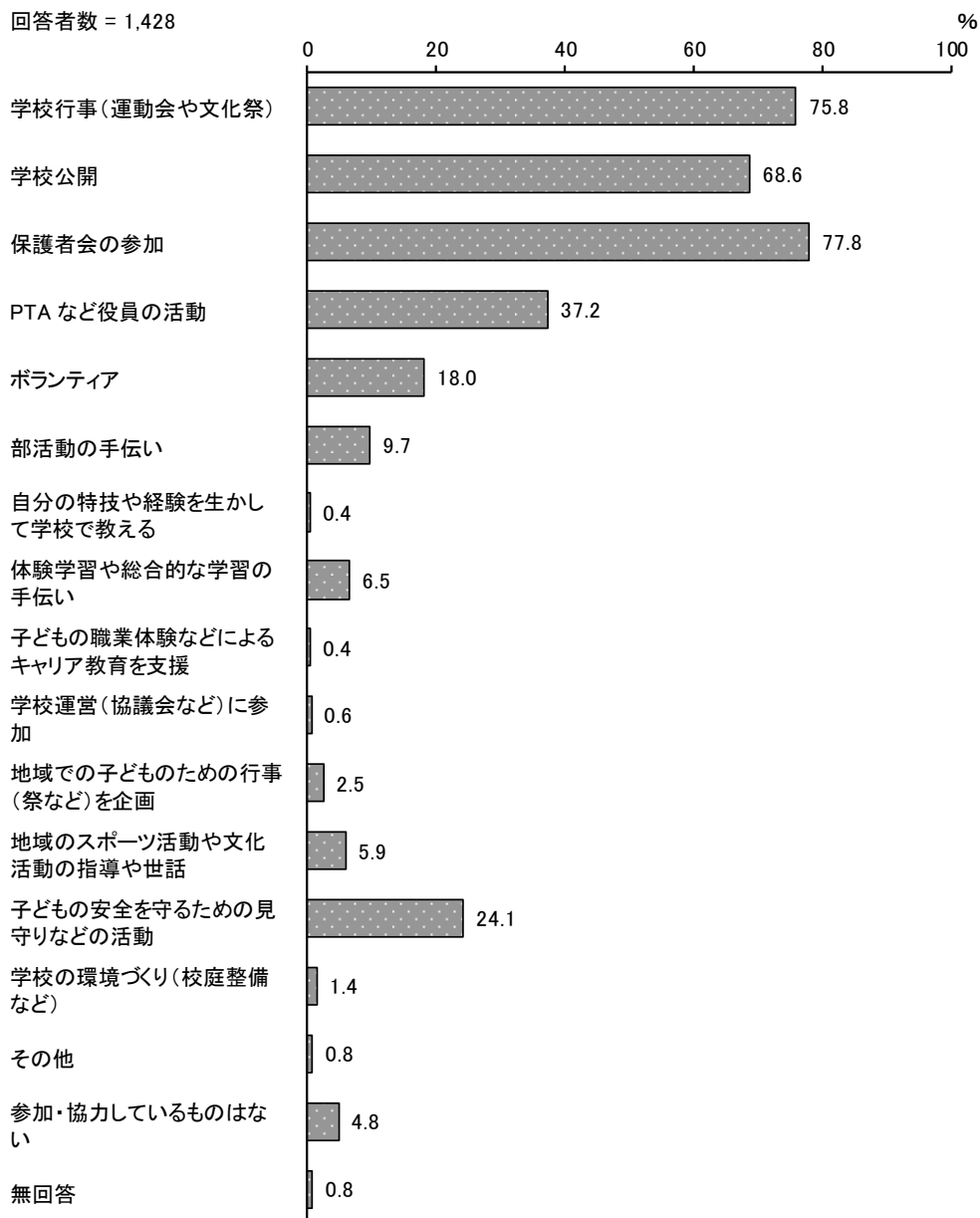
「情報収集力」の割合が52.3%と最も高く、次いで「情報モラル」の割合が41.7%、「プログラミング的思考力」の割合が37.7%となっています。

回答者数 = 1,428



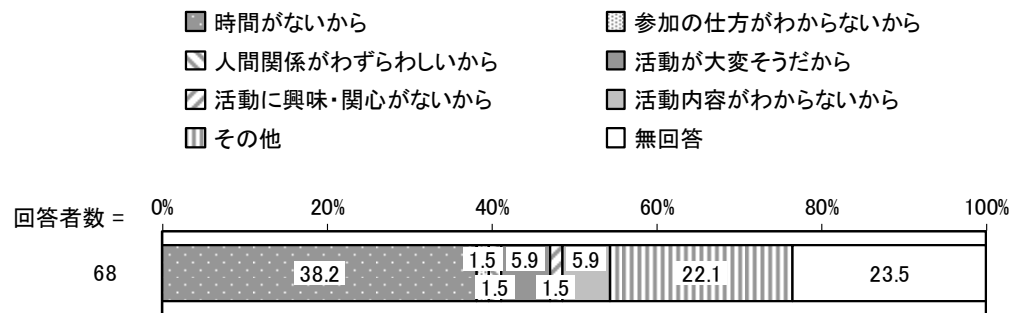
問 12- 1 次の活動のうち、あなたが参加や協力していることは何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

「保護者会の参加」の割合が 77.8%と最も高く、次いで「学校行事（運動会や文化祭）」の割合が 75.8%、「学校公開」の割合が 68.6%となっています。



問 12- 2 【問 12- 1 で、「16」に○をつけたときに教えてください】あなたが、活動に参加できない、またはしない理由はなんですか。（最もあてはまるもの1つに○）

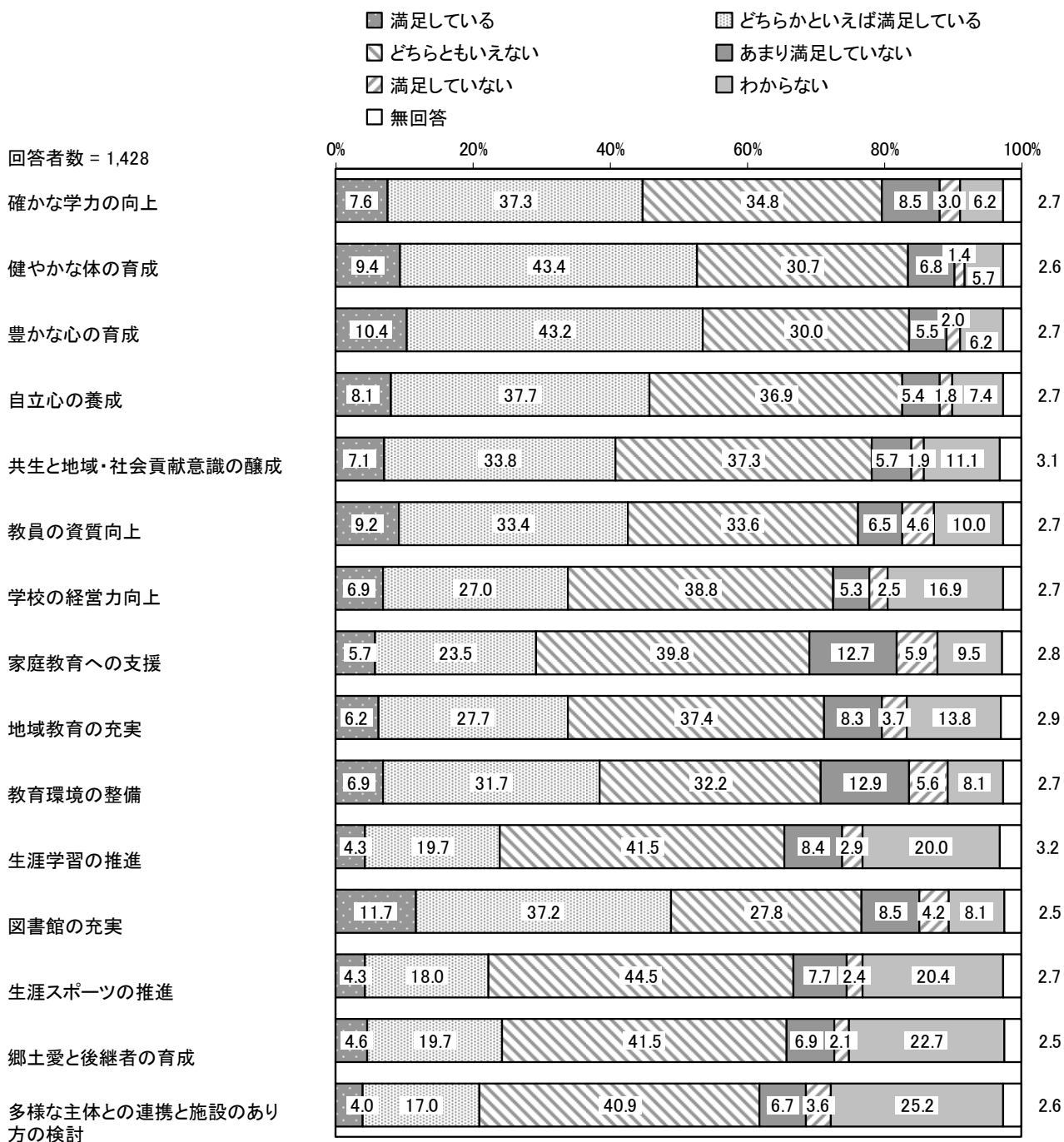
「時間がないから」の割合が 38.2%と最も高くなっています。



(2) 小平市の教育について

問 13 小平市では、小平市教育振興基本計画において、小平市の教育の課題を解決し、目標を達成するための方策を 15 の基本的施策にまとめています。次の教育施策や教育事業について、あなたは、現在の小平市の取組に満足していますか。
(1～15 の各項目について、あてはまるものに、それぞれ 1 つだけ〇)

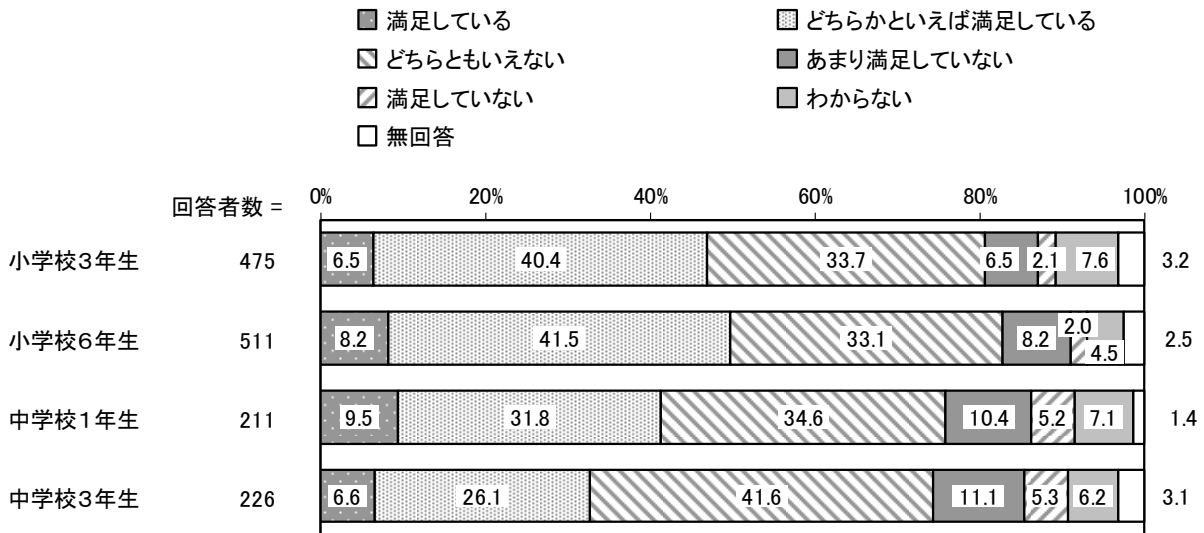
「健やかな体の育成」「豊かな心の育成」「図書館の充実」で「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた“満足している”の割合が高くなっています。



1 確かな学力の向上

【学年別】

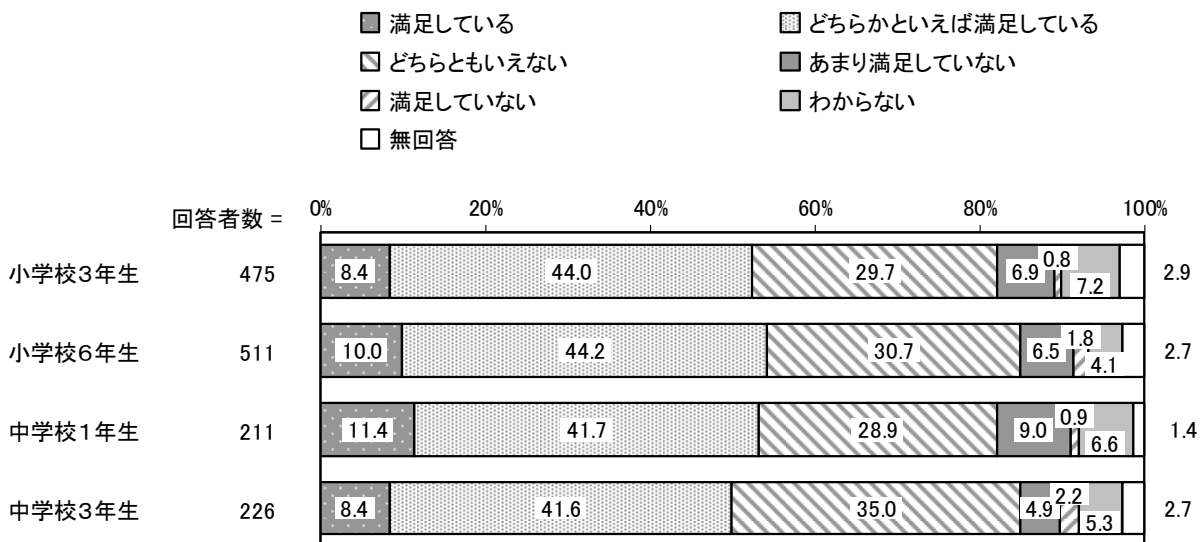
学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で“満足している”の割合が、中学校1年生、中学校3年生で“満足していない”の割合が高くなっています。



2 健やかな体の育成

【学年別】

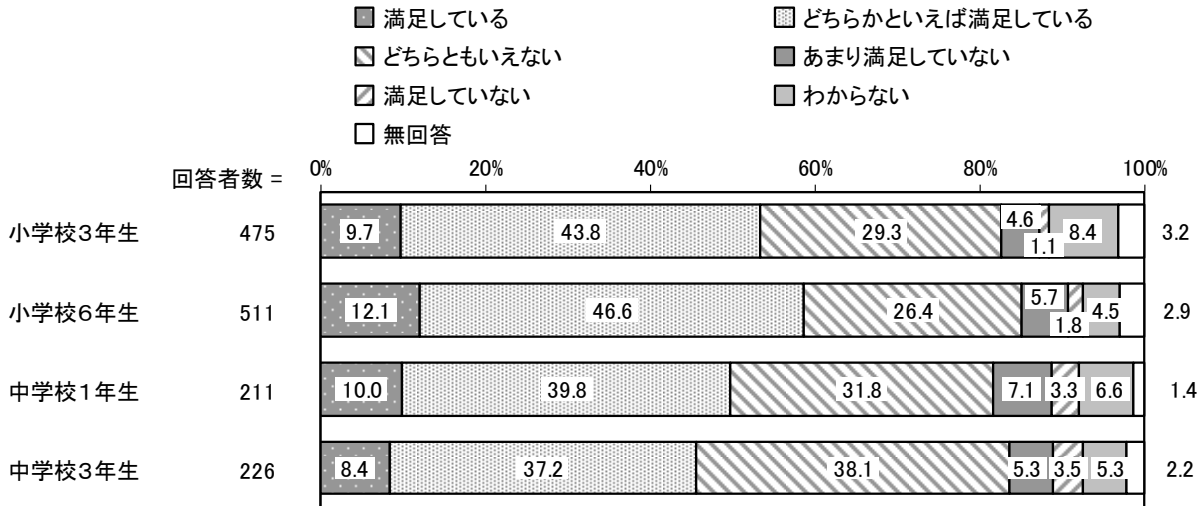
学年別でみると、大きな差異はみられません。



3 豊かな心の育成

【学年別】

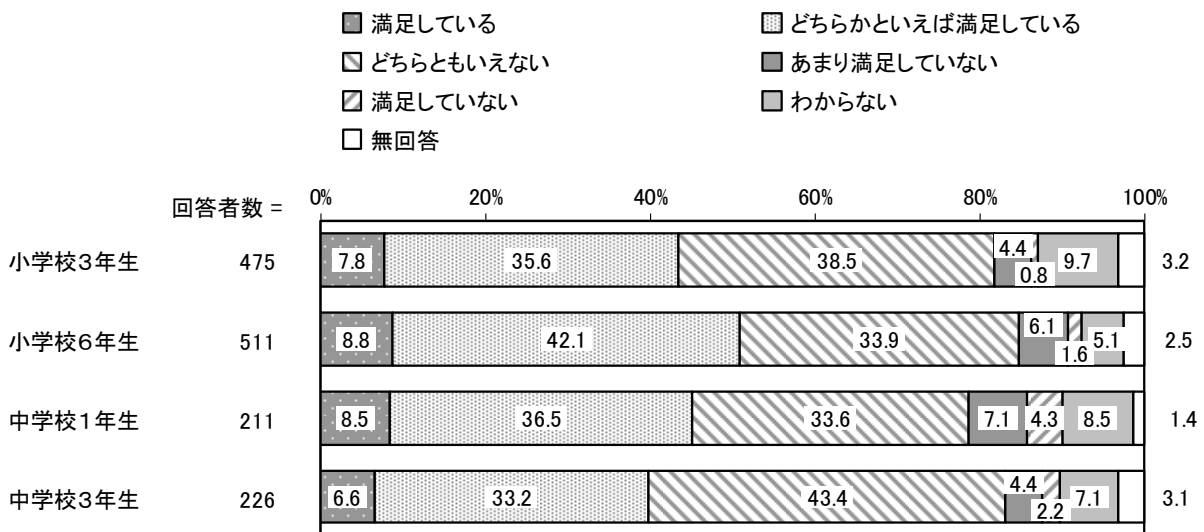
学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で“満足している”の割合が、中学校3年生で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



4 自立心の養成

【学年別】

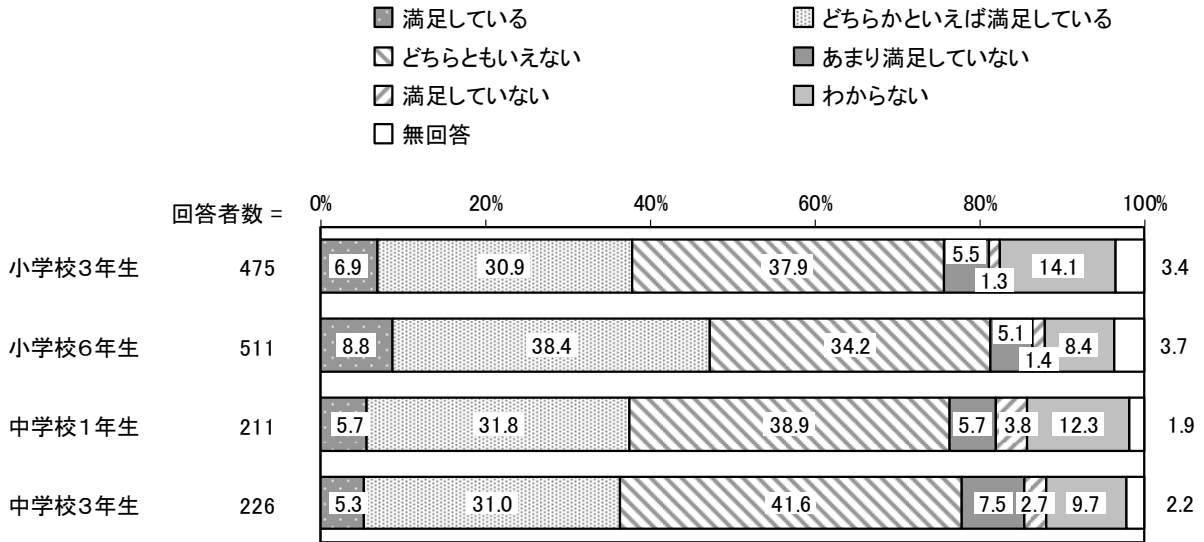
学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で“満足している”の割合が、中学校3年生で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。また、中学校1年生で“満足していない”の割合が高くなっています。



5 共生と地域・社会貢献意識の醸成

【学年別】

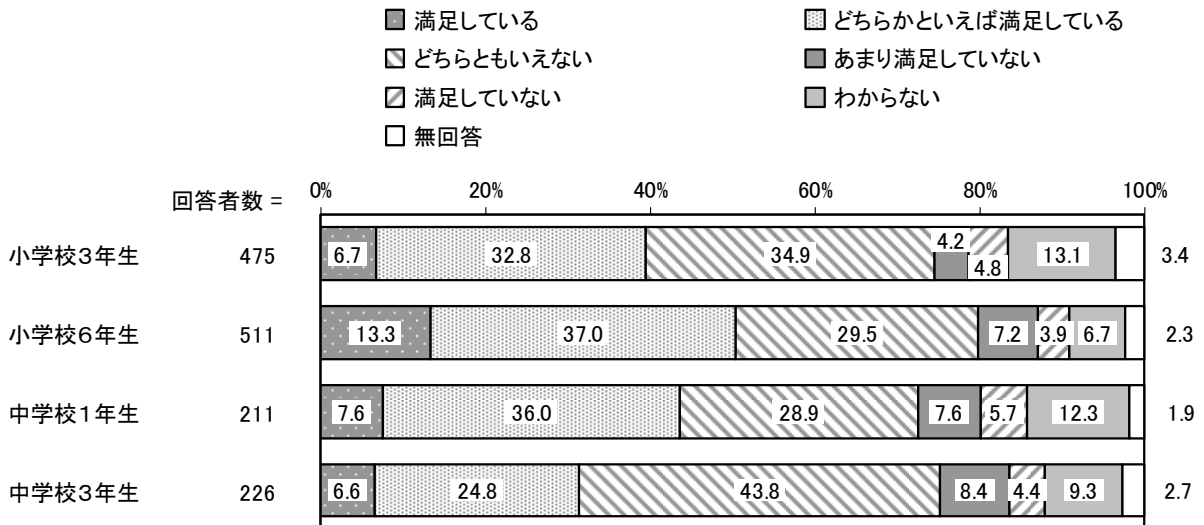
学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で“満足している”の割合が、中学校3年生で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



6 教員の資質向上

【学年別】

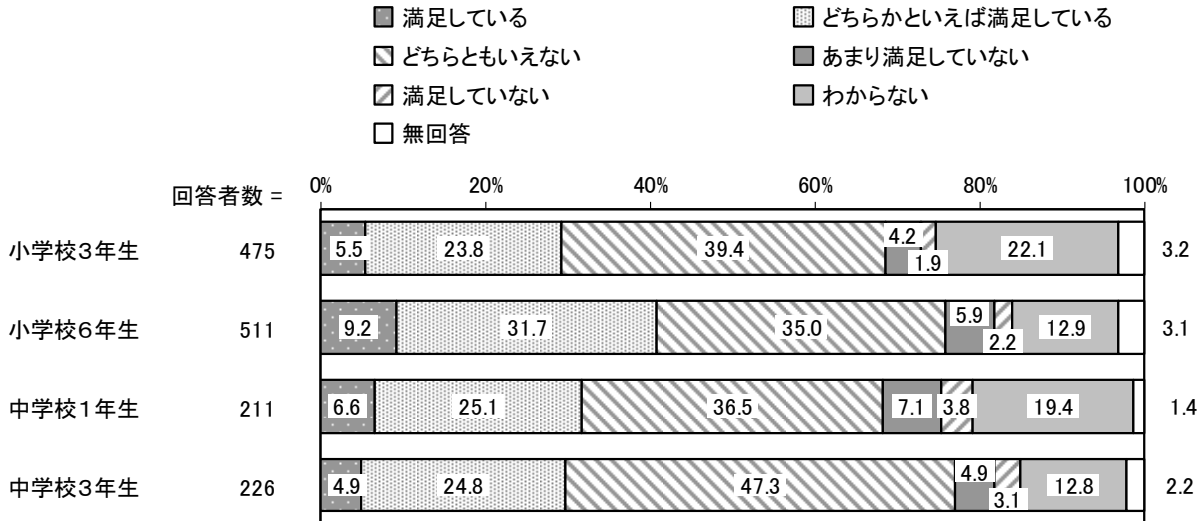
学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で“満足している”の割合が、中学校3年生で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。また、中学校1年生で“満足していない”の割合が高くなっています。



7 学校の経営力向上

【学年別】

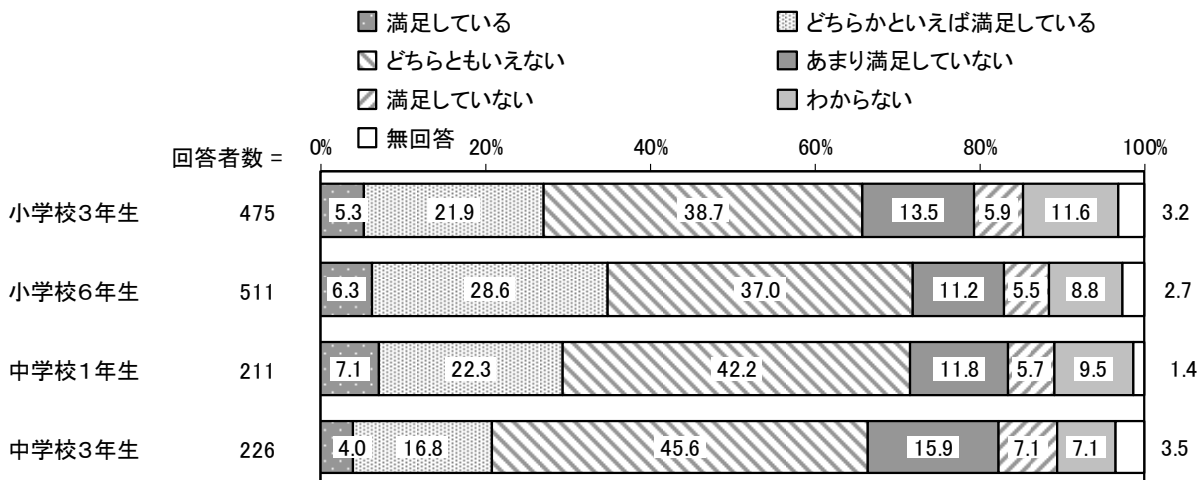
学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で「どちらともいえない」の割合が、小学校6年生で“満足している”の割合が高くなっています。また、小学校3年生で「わからない」の割合が高くなっています。



8 家庭教育への支援

【学年別】

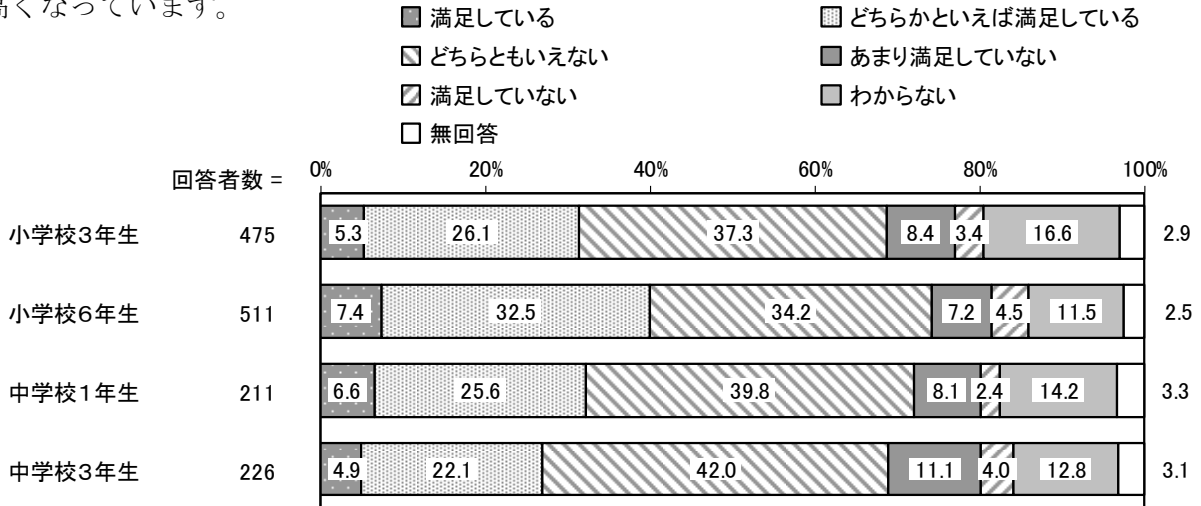
学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で“満足している”の割合が高くなっています。また、中学校3年生で「どちらともいえない」「満足していない」の割合が高くなっています。



9 地域教育の充実

【学年別】

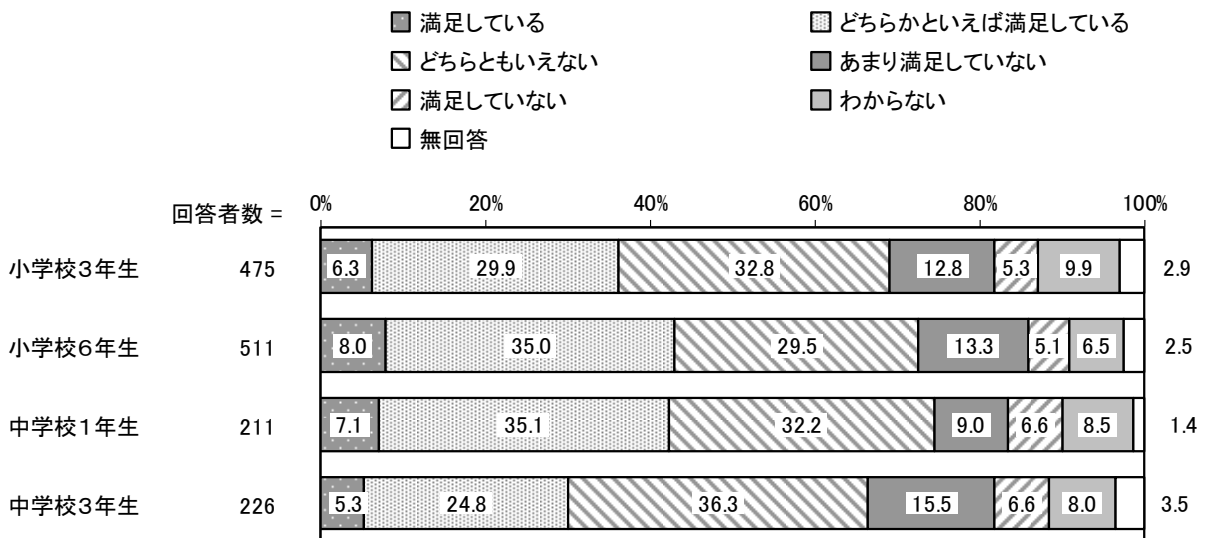
学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で“満足している”の割合が、中学校3年生で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。また、小学校3年生で「わからない」の割合が高くなっています。



10 教育環境の整備

【学年別】

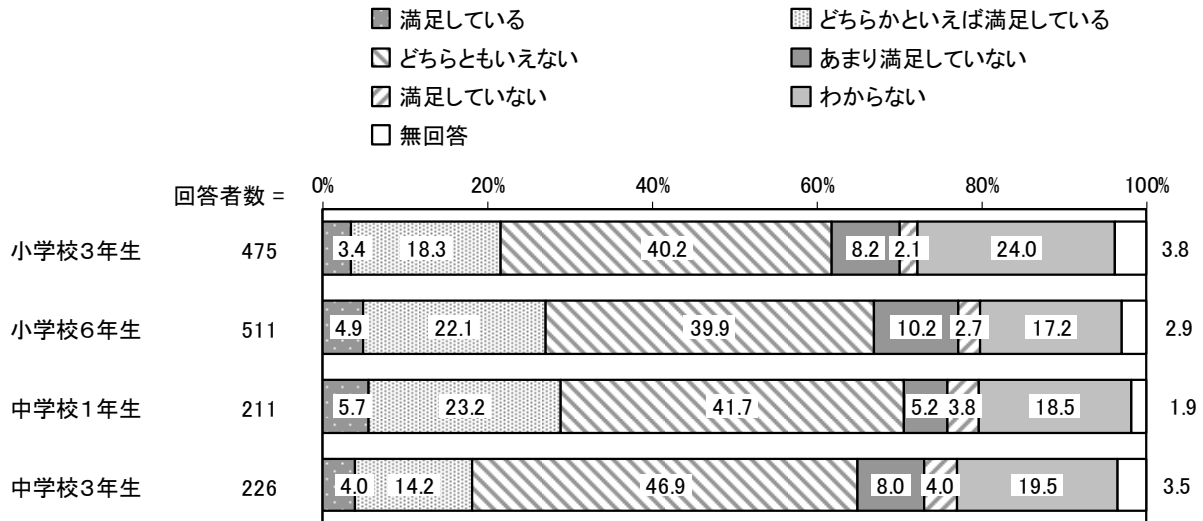
学年別でみると、他に比べ、小学校6年生、中学校1年生で“満足している”の割合が、中学校3年生で「どちらともいえない」「満足していない」の割合が高くなっています。



11 生涯学習の推進

【学年別】

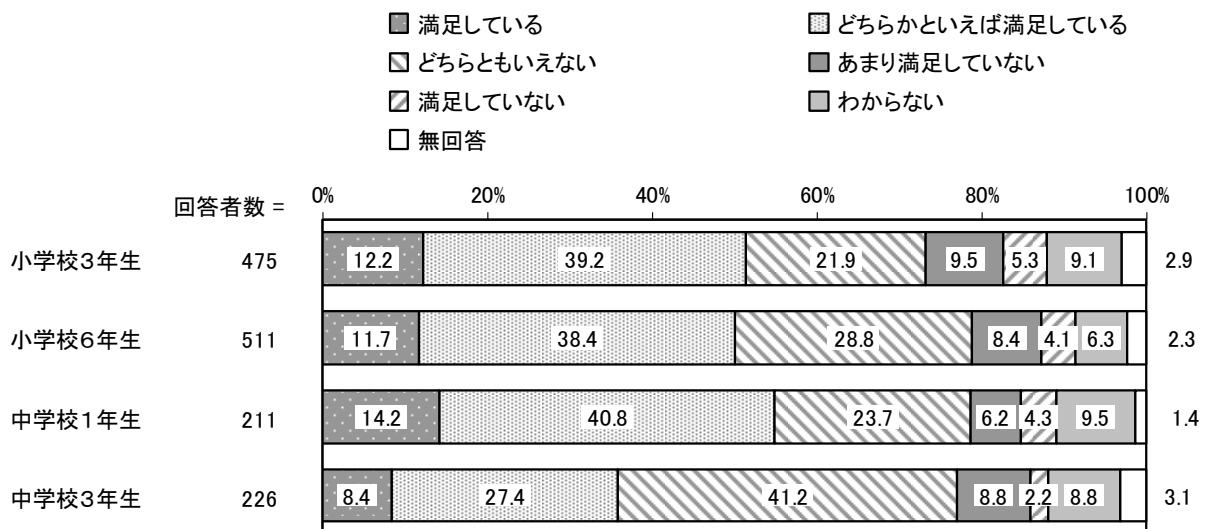
学年別で見ると、他に比べ、中学校1年生で“満足している”の割合が、中学校3年生で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。また、小学校3年生で「わからない」の割合が高くなっています。



12 図書館の充実

【学年別】

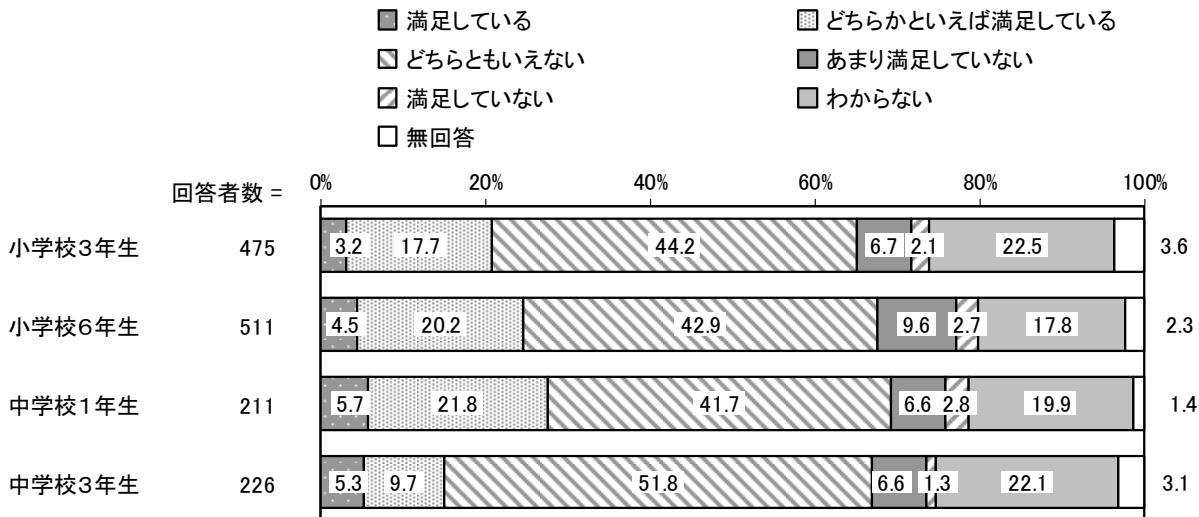
学年別で見ると、他に比べ、中学校3年生で「どちらともいえない」の割合が、中学校1年生で“満足している”の割合が高くなっています。



13 生涯スポーツの推進

【学年別】

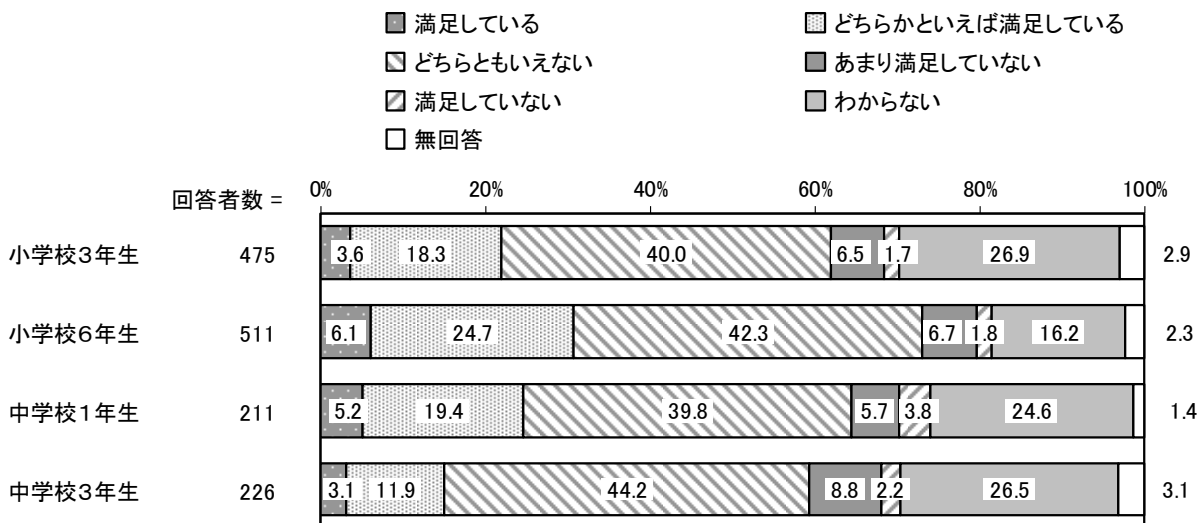
学年別でみると、他に比べ、中学校1年生で“満足している”の割合が、中学校3年生で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



14 郷土愛と後継者の育成

【学年別】

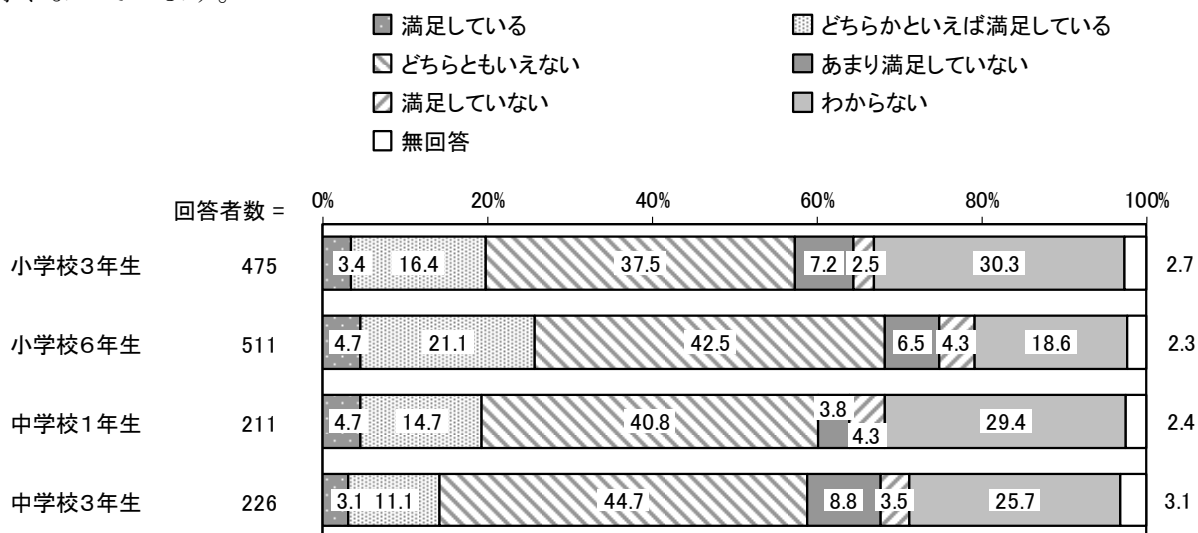
学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で“満足している”の割合が、小学校3年生、中学校3年生で「わからない」の割合が高くなっています。



15 多様な主体との連携と施設のあり方の検討

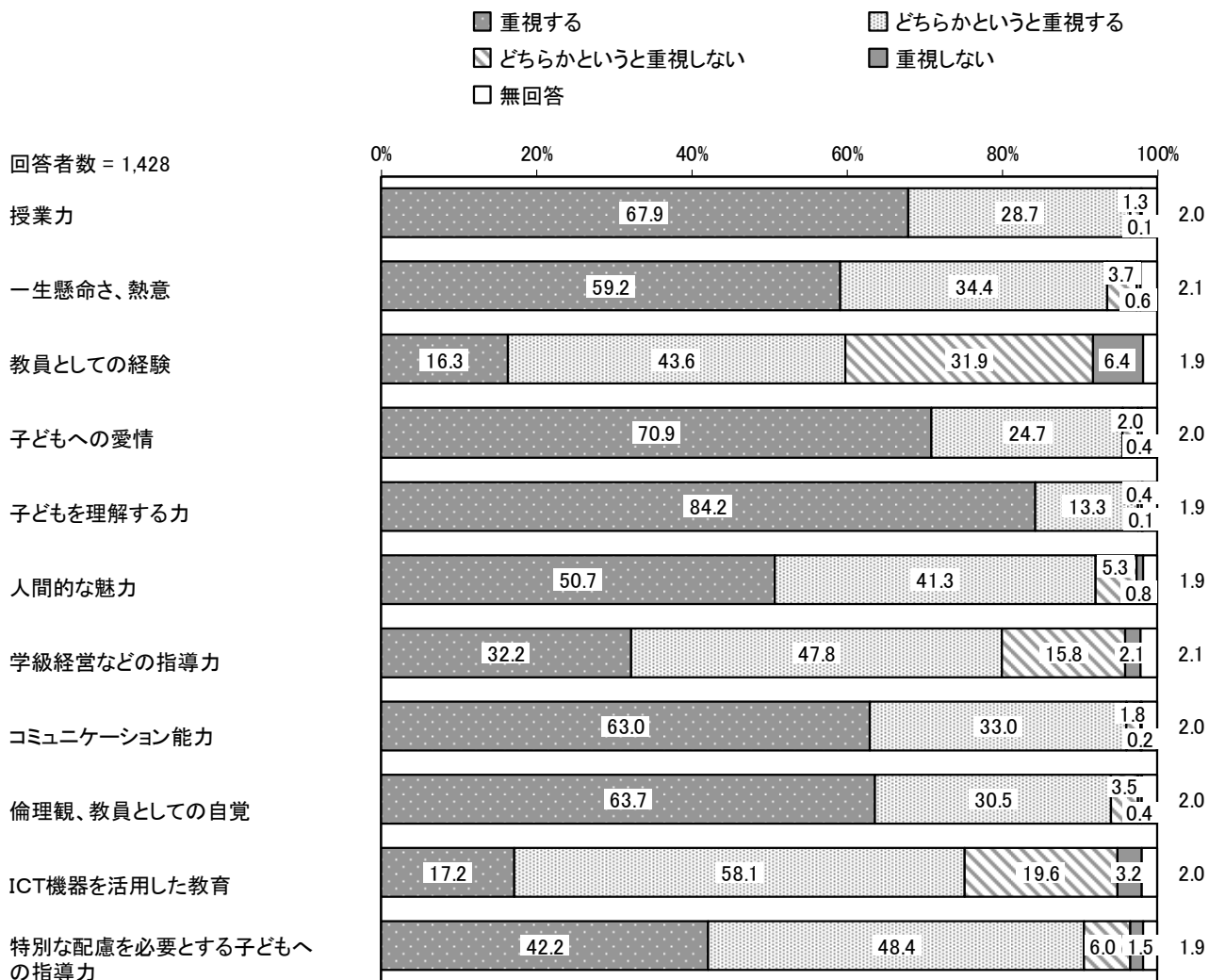
【学年別】

学年別で見ると、他に比べ、小学校3年生で「わからない」の割合が、小学校6年生で“満足している”の割合が高くなっています。また、中学校3年生で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



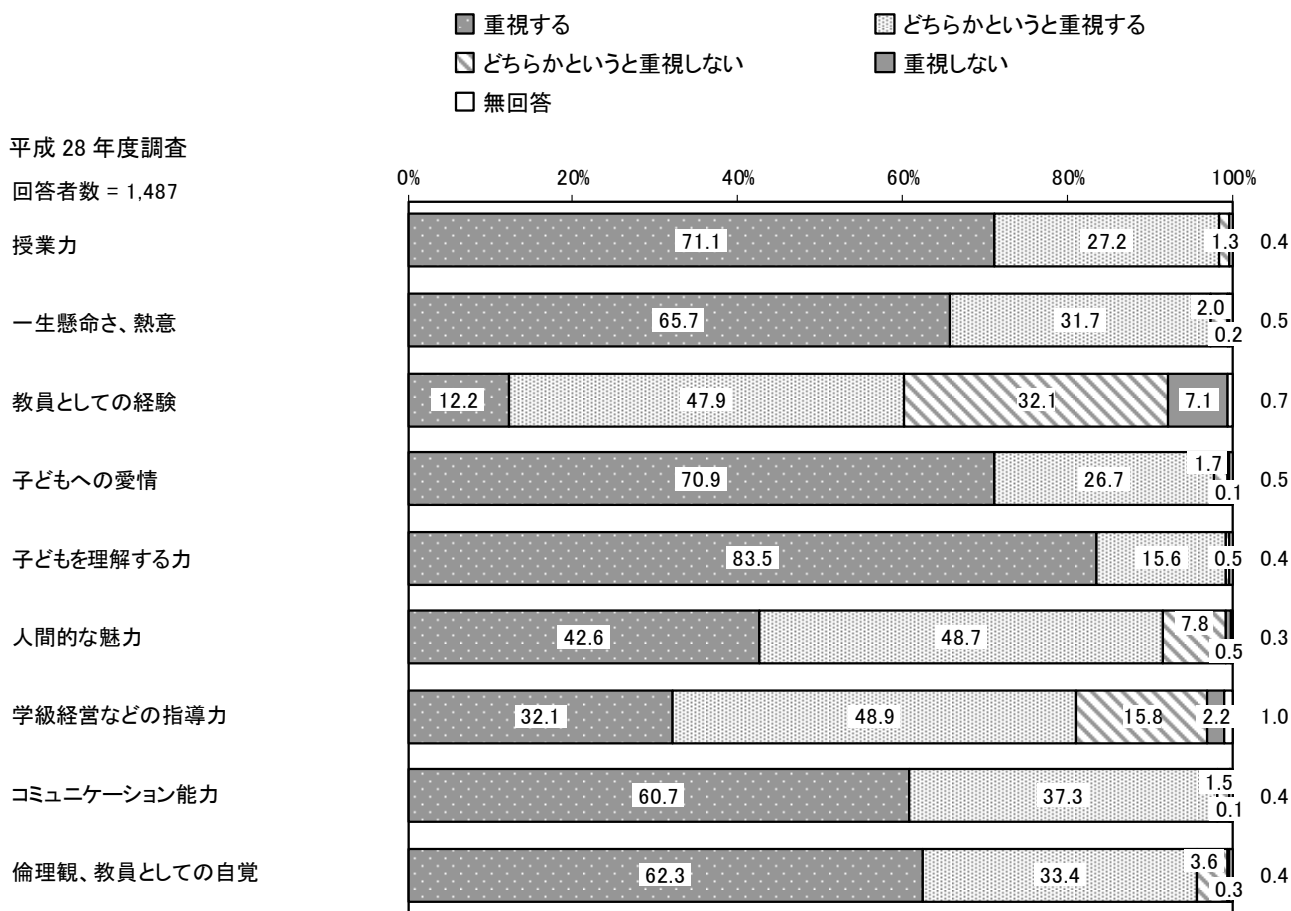
問 14 学校の先生について、何を重視しますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

「授業力」「子どもへの愛情」「子どもを理解する力」「コミュニケーション能力」で「重視する」と「どちらかという重視する」をあわせた“重視する”の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、すべての項目で大きな差異はみられません。

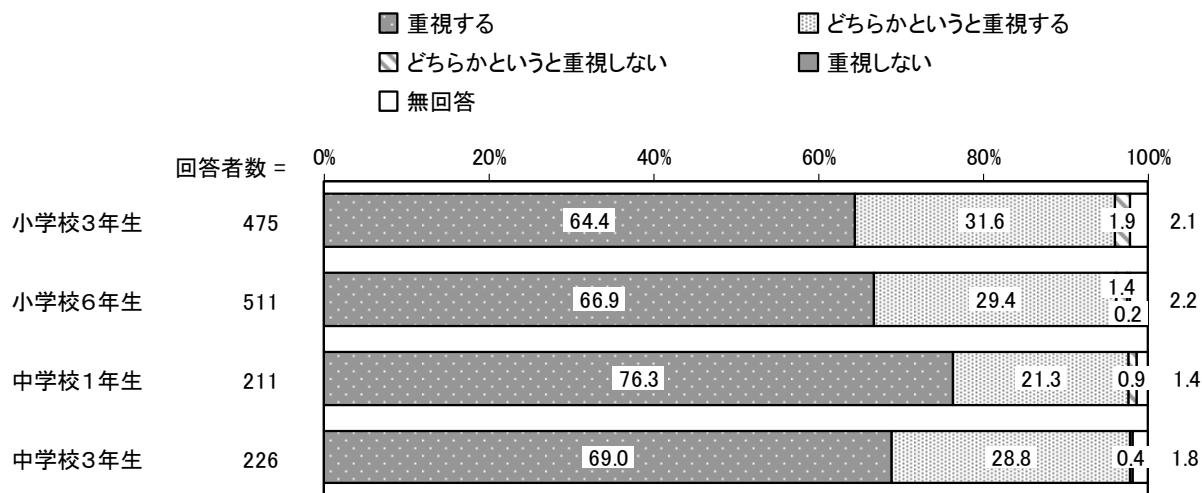


※前回調査に「ICT機器を活用した教育」「特別な配慮を必要とする子どもへの指導力」の項目はありませんでした。

授業力

【学年別】

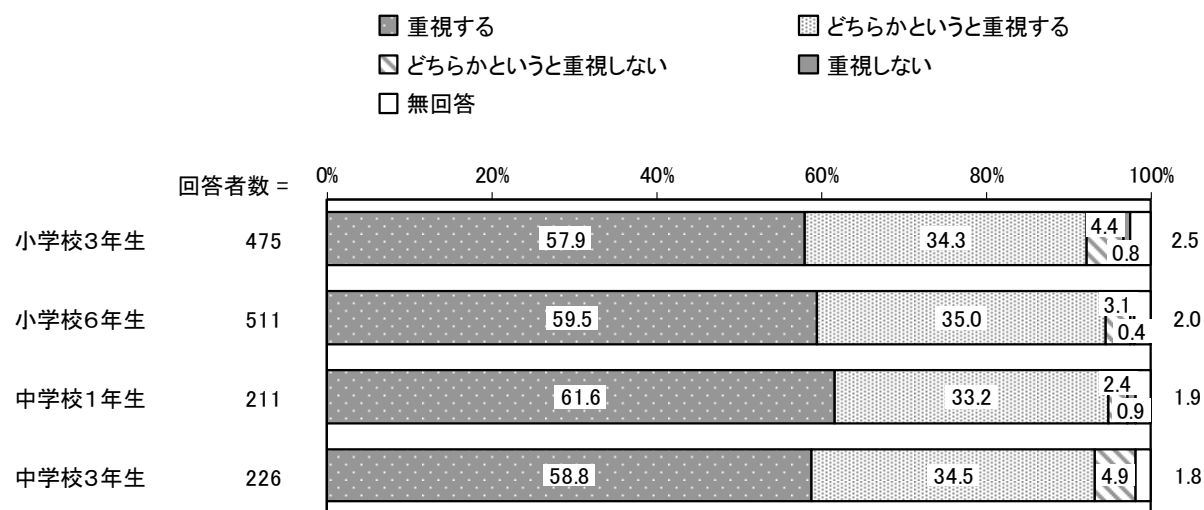
学年別でみると、大きな差異はみられません。



一生懸命さ、熱意

【学年別】

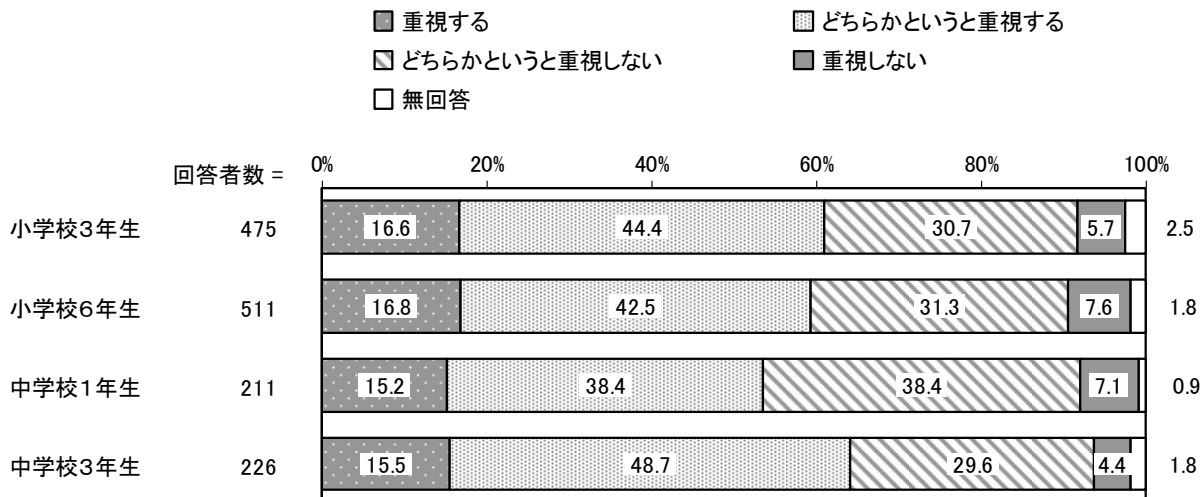
学年別でみると、大きな差異はみられません。



教員としての経験

【学年別】

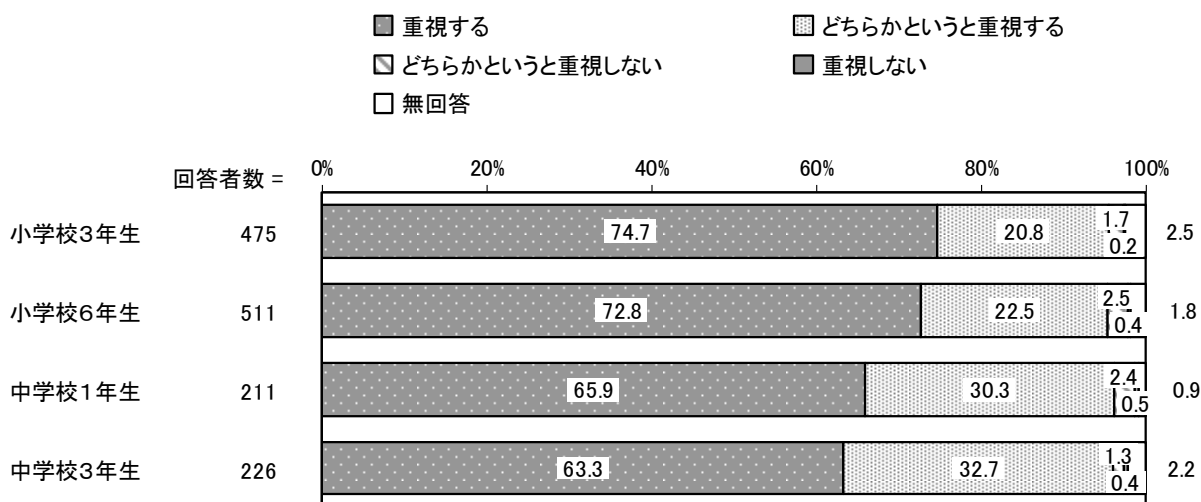
学年別でみると、他に比べ、中学校1年生で“重視しない”の割合が、中学校3年生で“重視する”の割合が高くなっています。



子どもへの愛情

【学年別】

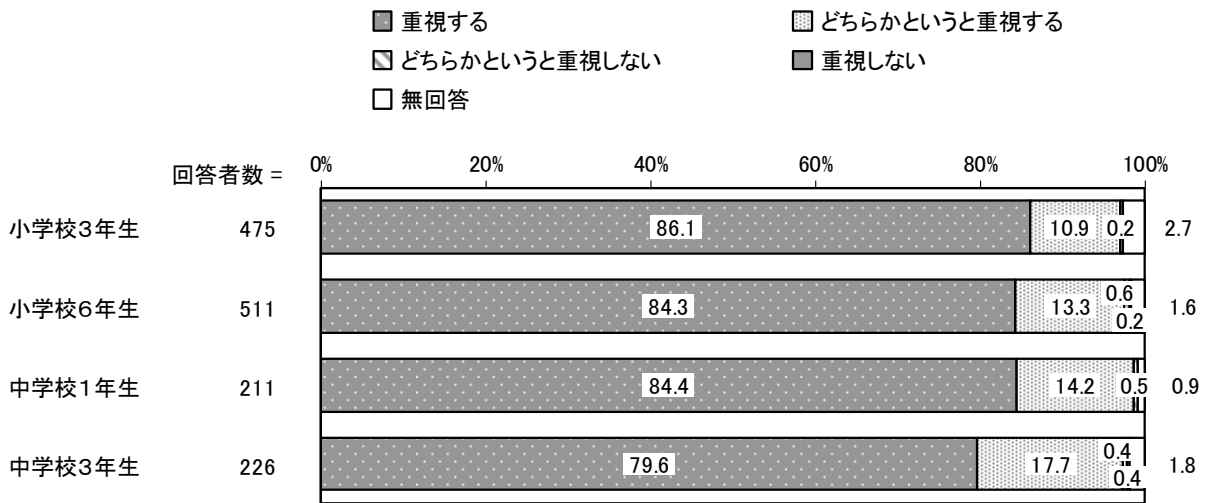
学年別でみると、大きな差異はみられません。



子どもを理解する力

【学年別】

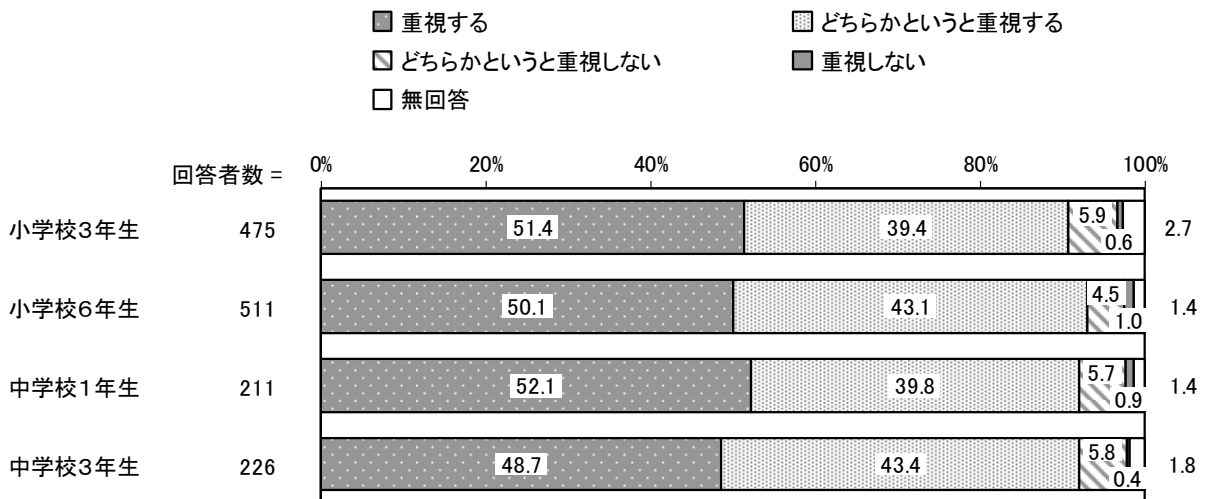
学年別でみると、大きな差異はみられません。



人間的な魅力

【学年別】

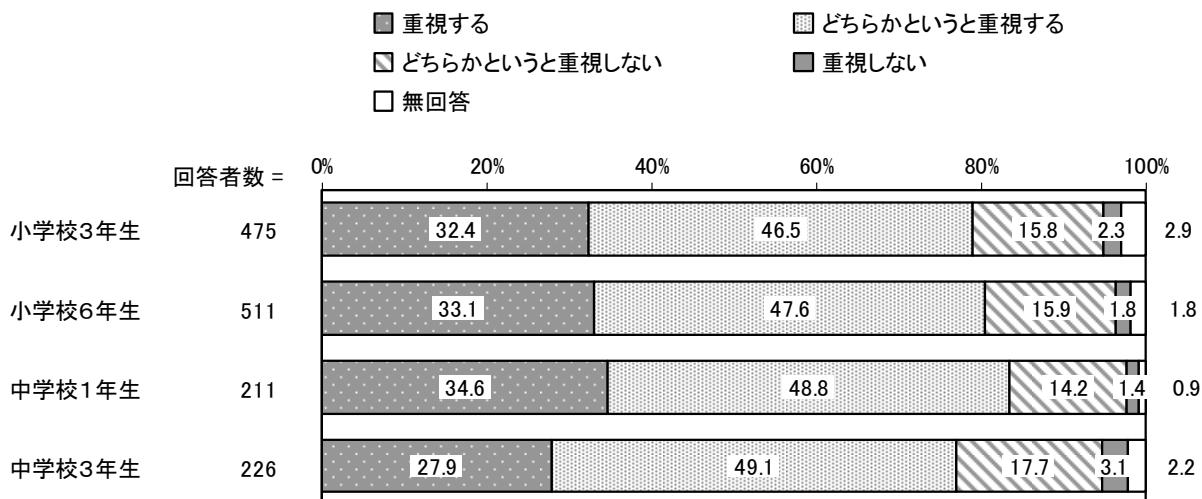
学年別でみると、大きな差異はみられません。



学級経営などの指導力

【学年別】

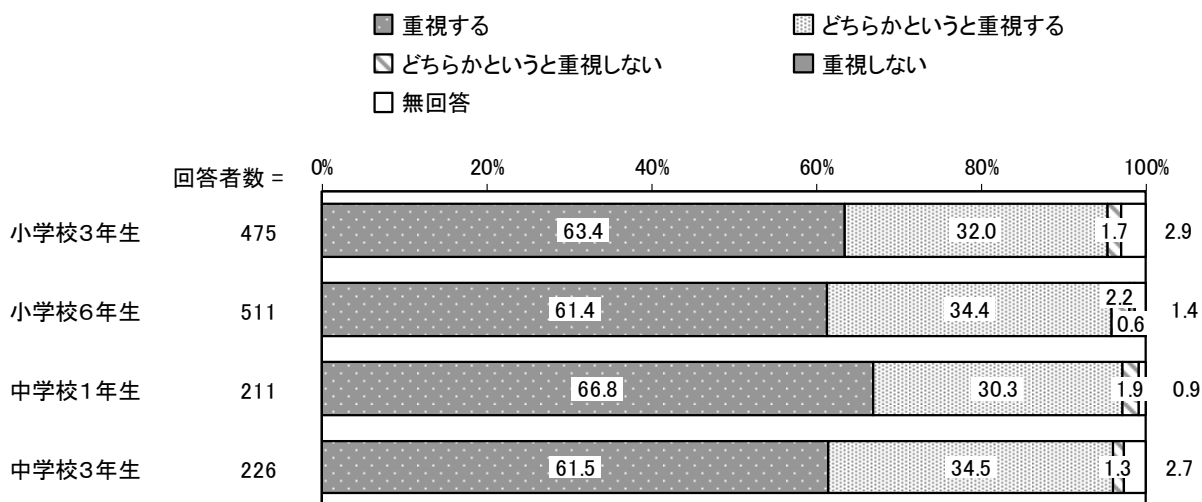
学年別でみると、他に比べ、中学校1年生で“重視する”の割合が、中学校3年生で“重視しない”の割合が高くなっています。



コミュニケーション能力

【学年別】

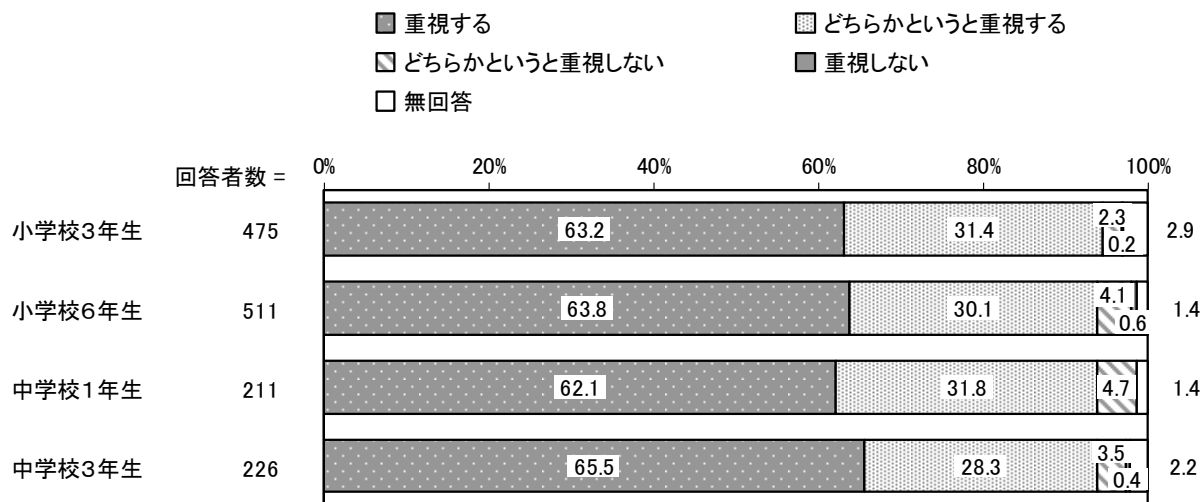
学年別でみると、大きな差異はみられません。



倫理観、教員としての自覚

【学年別】

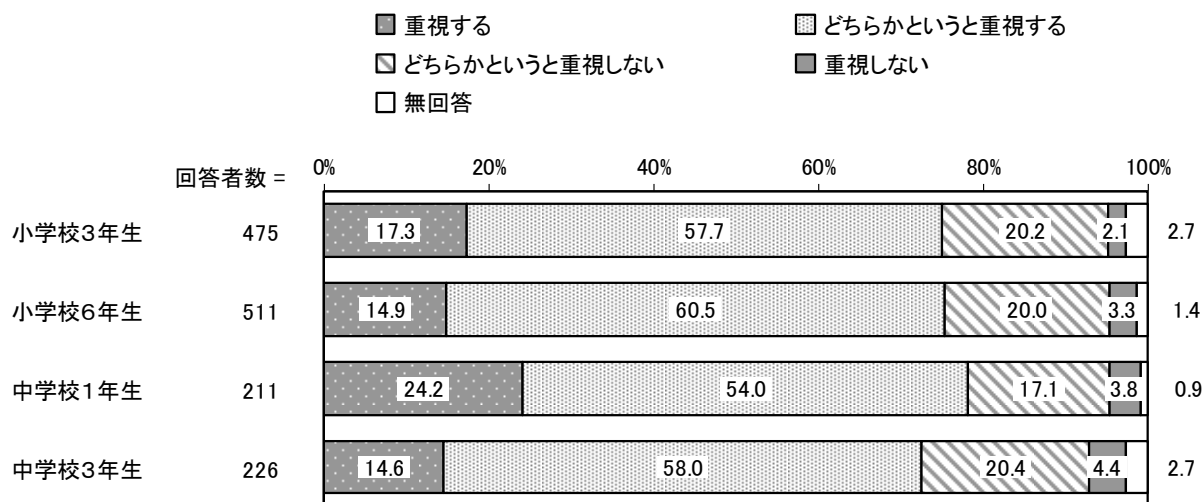
学年別でみると、大きな差異はみられません。



ICT機器を活用した教育

【学年別】

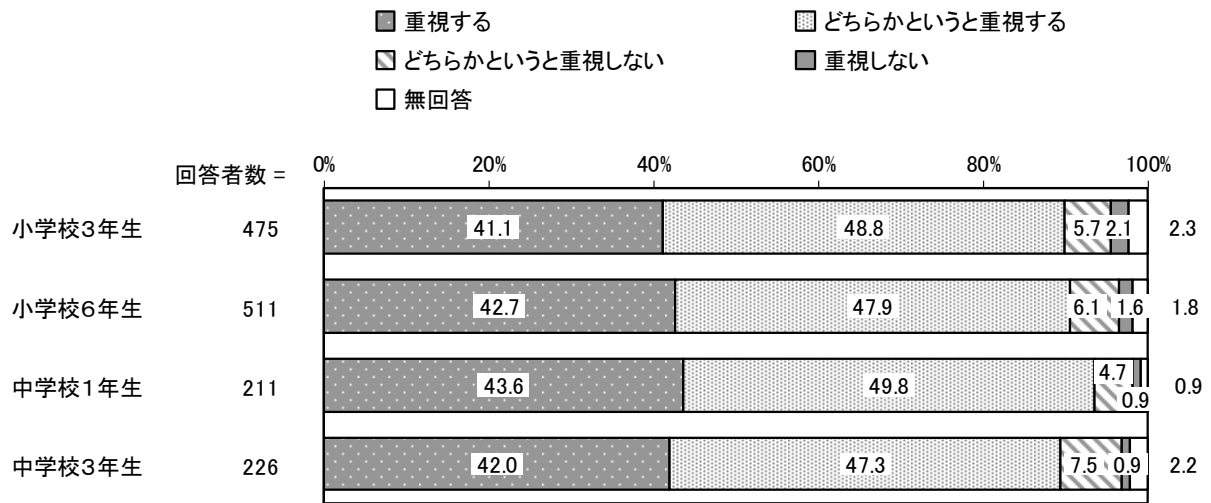
学年別でみると、中学校1年生で“重視する”の割合が高くなっています。



特別な配慮を必要とする子どもへの指導力

【学年別】

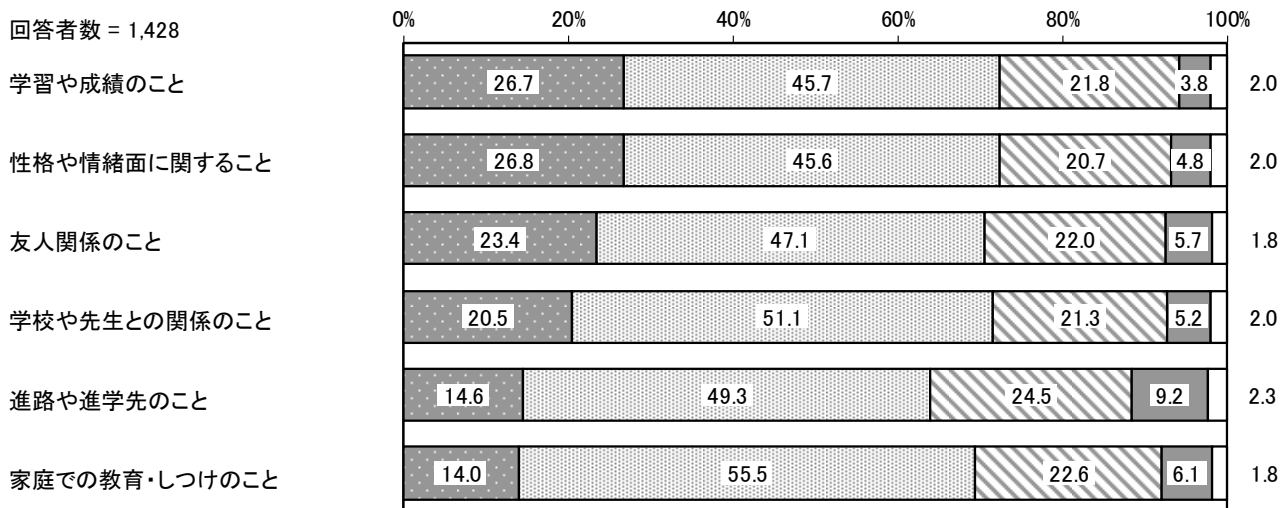
学年別でみると、大きな差異はみられません。



問 15 あなたは、お子さんに関する次のことで、学校の先生とコミュニケーションが取れていると思いますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

「学習や成績のこと」「性格や情緒面に関すること」で「そう思う」の割合が、「家庭での教育やしつけのこと」で「今のままでよい」の割合が高くなっています。また、「進路や進学先のこと」で「思わない」の割合が高くなっています。

■ そう思う ■ いまのままでよい ■ あまり思わない ■ 思わない □ 無回答

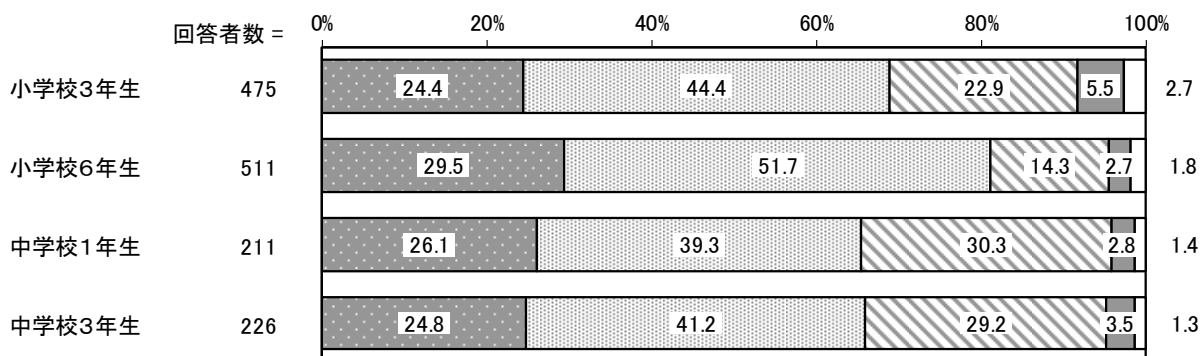


学習や成績のこと

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学校1年生で「あまり思わない」の割合が、小学校6年生で「いまのままでよい」の割合が高くなっています。

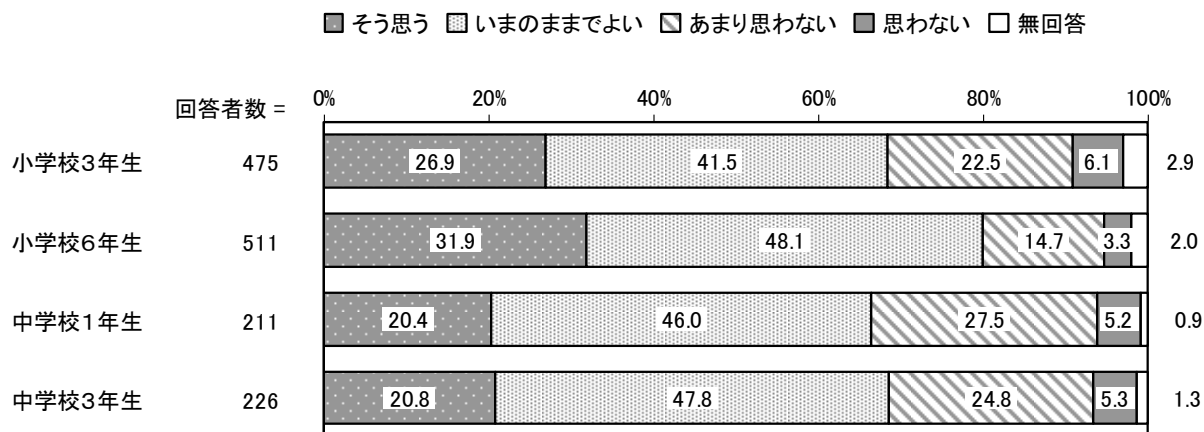
■ そう思う ■ いまのままでよい ■ あまり思わない ■ 思わない □ 無回答



性格や情緒面に関すること

【学年別】

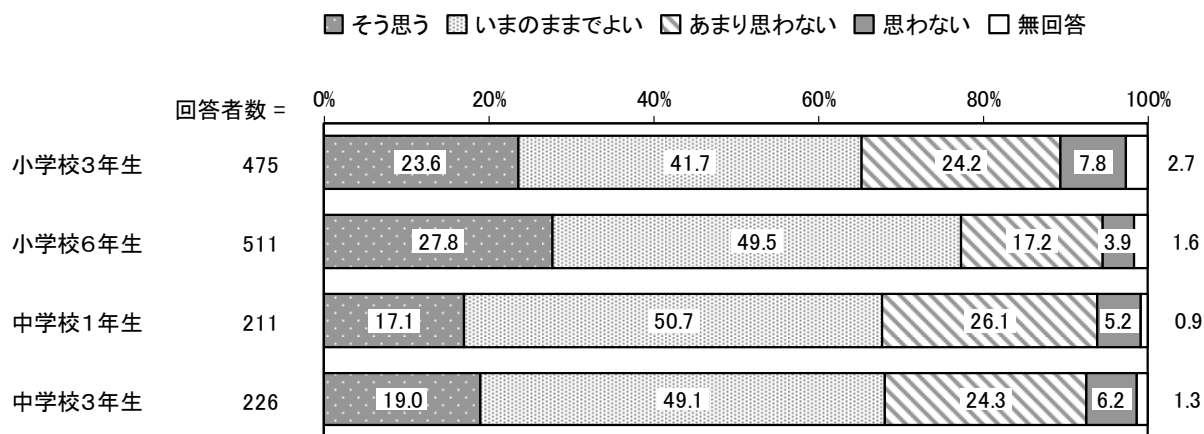
学年別で見ると、他に比べ、中学校1年生で「あまり思わない」の割合が、小学校6年生で「そう思う」の割合が高くなっています。



友人関係のこと

【学年別】

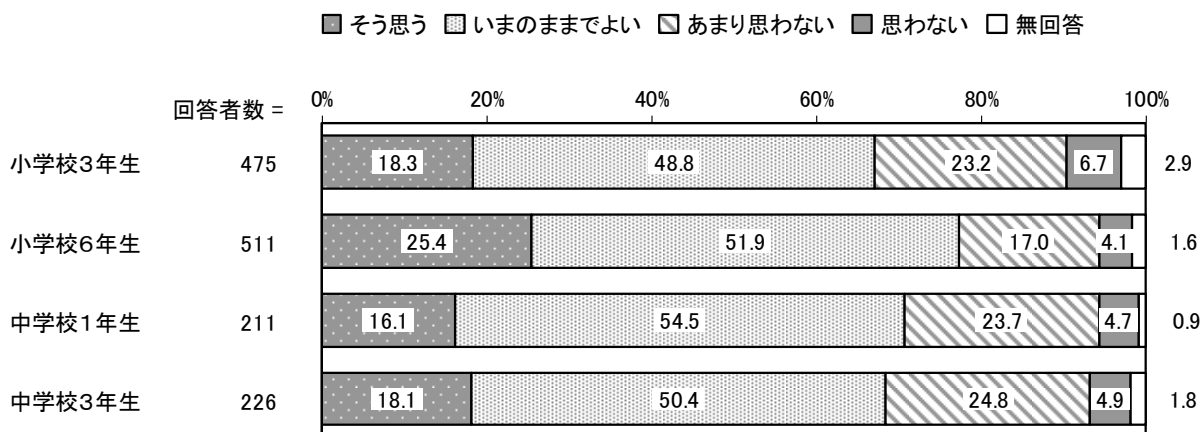
学年別で見ると、他に比べ、小学校6年生で「そう思う」の割合が、中学校1年生で「あまり思わない」の割合が高くなっています。



学校や先生との関係のこと

【学年別】

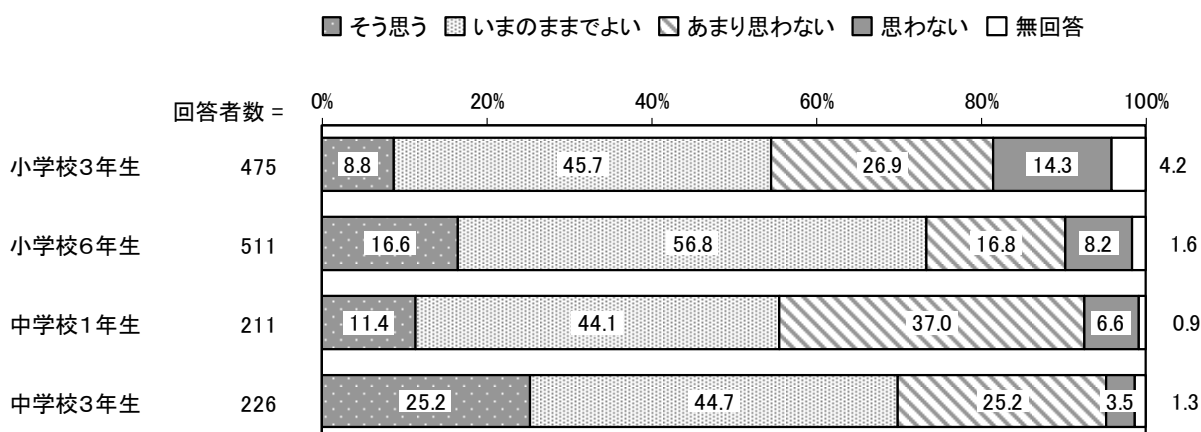
学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で「そう思う」の割合が、中学校3年生で「あまり思わない」の割合が高くなっています。また、中学校1年生で「いまのままでよい」の割合が高くなっています。



進路や進学先のこと

【学年別】

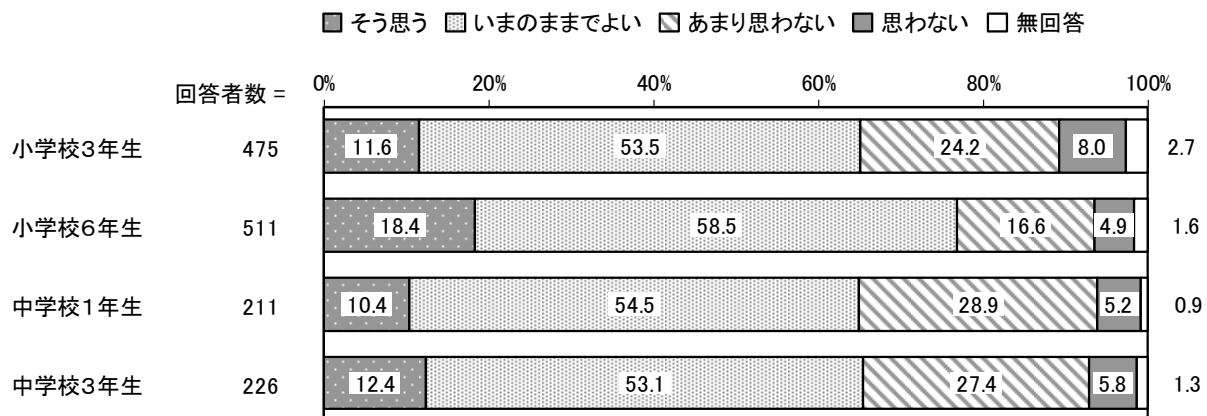
学年別でみると、他に比べ、中学校1年生で「あまり思わない」の割合が、中学校3年生で「そう思う」の割合が高くなっています。また、小学校6年生で「いまのままでよい」の割合が、小学校3年生で「思わない」の割合が高くなっています。



家庭での教育・しつけのこと

【学年別】

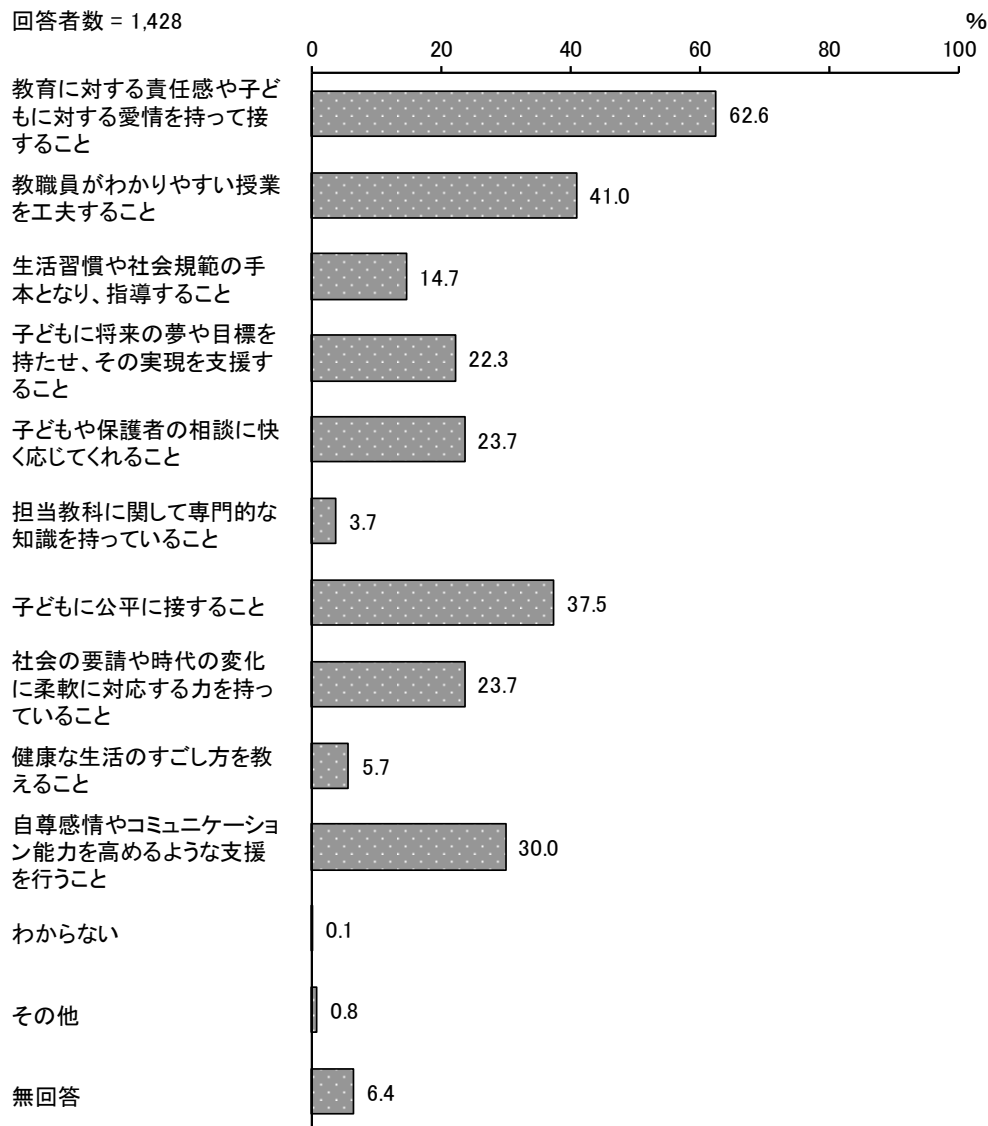
学年別でみると、他に比べ、中学校1年生で「あまり思わない」の割合が、小学校6年生で「そう思う」の割合が高くなっています。



問 16 あなたは、学校に対してどのようなことを望みますか。(主なものを3つまで○)

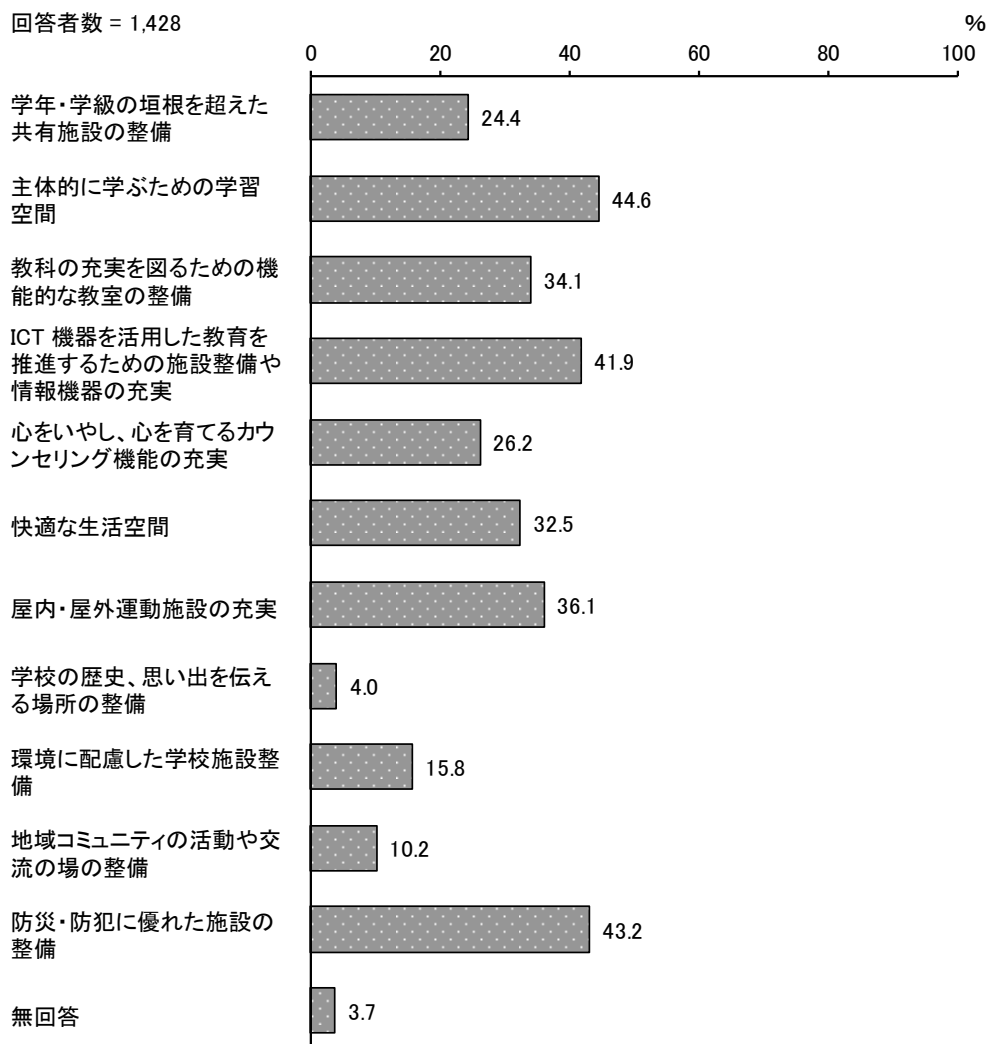
「教育に対する責任感や子どもに対する愛情を持って接すること」の割合が 62.6%と最も高く、次いで「教職員がわかりやすい授業を工夫すること」の割合が 41.0%、「子どもに公平に接すること」の割合が 37.5%となっています。

回答者数 = 1,428



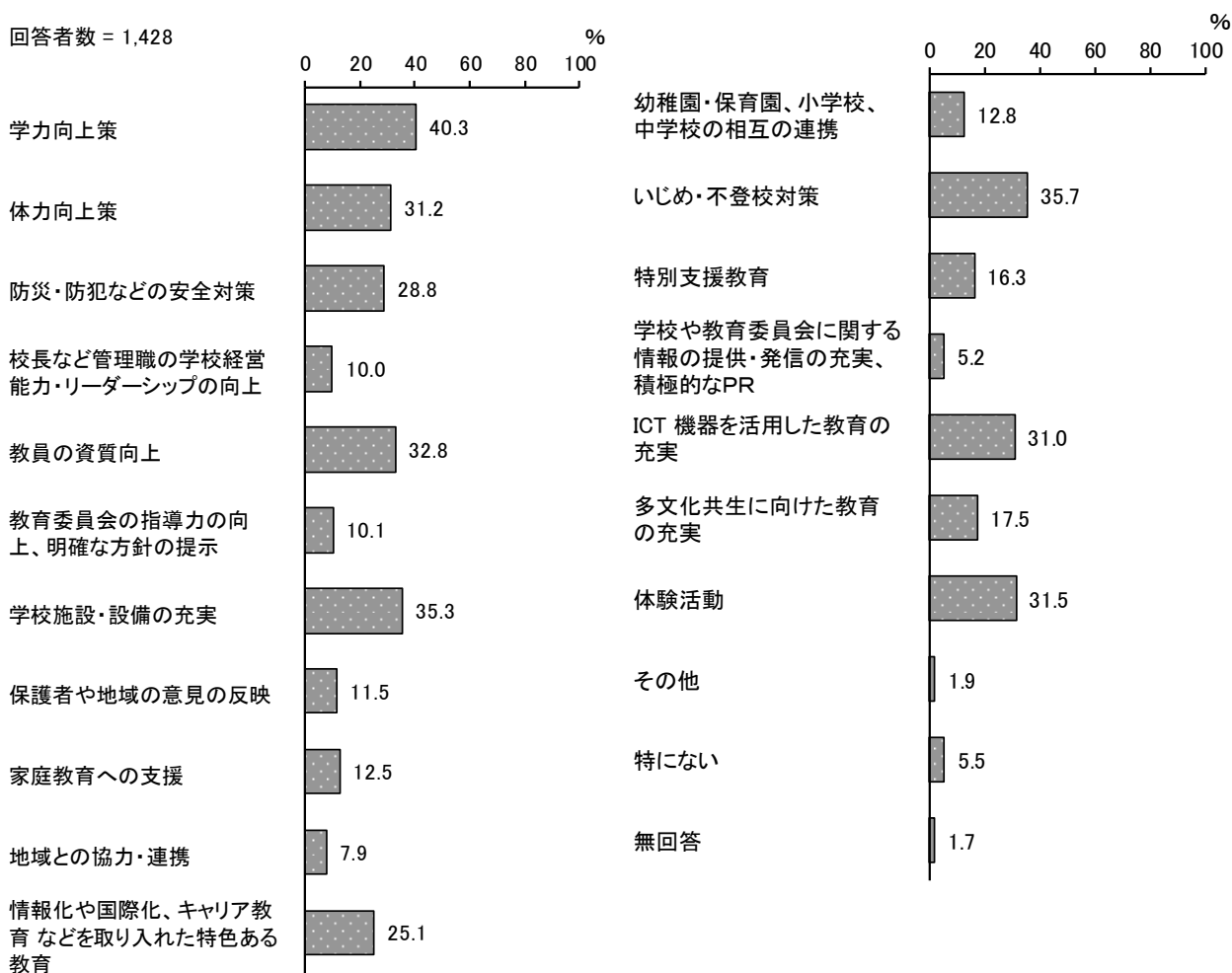
問 17 学校の教育環境について、特に充実・改善してほしいものは何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

「主体的に学ぶための学習空間」の割合が44.6%と最も高く、次いで「防災・防犯に優れた施設の整備」の割合が43.2%、「ICT 機器を活用した教育を推進するための施設整備や情報機器の充実」の割合が41.9%となっています。



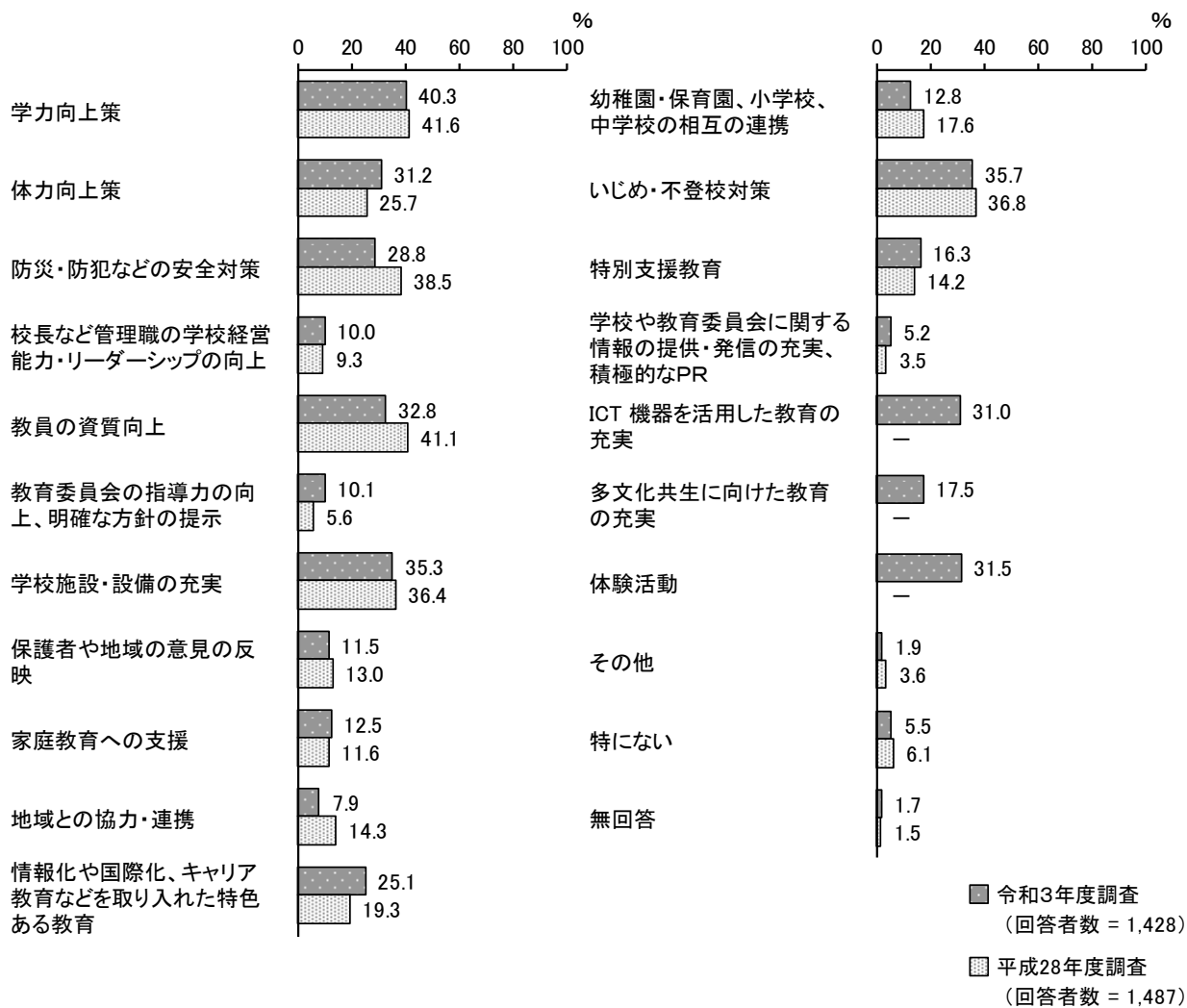
問 18 小平市の学校教育で特に力を入れる必要があると思うことは何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

「学力向上策」の割合が40.3%と最も高く、次いで「いじめ・不登校対策」の割合が35.7%、「学校施設・設備の充実」の割合が35.3%となっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「体力向上策」「情報化や国際化、キャリア教育などを取り入れた特色ある教育」の割合が増加しています。一方、「防災・防犯などの安全対策」「教員の資質向上」「地域との協力・連携」の割合が減少しています。



※前回調査に「ICT 機器を活用した教育の充実」「多文化共生に向けた教育の充実」「体験活動」の選択肢はありませんでした。

問 19 次の小平市の教育施策や事業について、力を入れる必要があると思いますか。
 ((中学校のみ) 中学生のお子さんがある場合に、それぞれあてはまるもの
 1つに○)

「学習補助員の配置」で「そう思う」の割合が、「学校公開」で「いまのままでよい」の割合が高くなっています。また、「学校施設の開放」で「思わない」の割合が高くなっています。

■ そう思う ■ いまのままでよい ■ あまり思わない ■ 思わない □ 無回答

回答者数 = 437

学習補助員の配置

学校公開

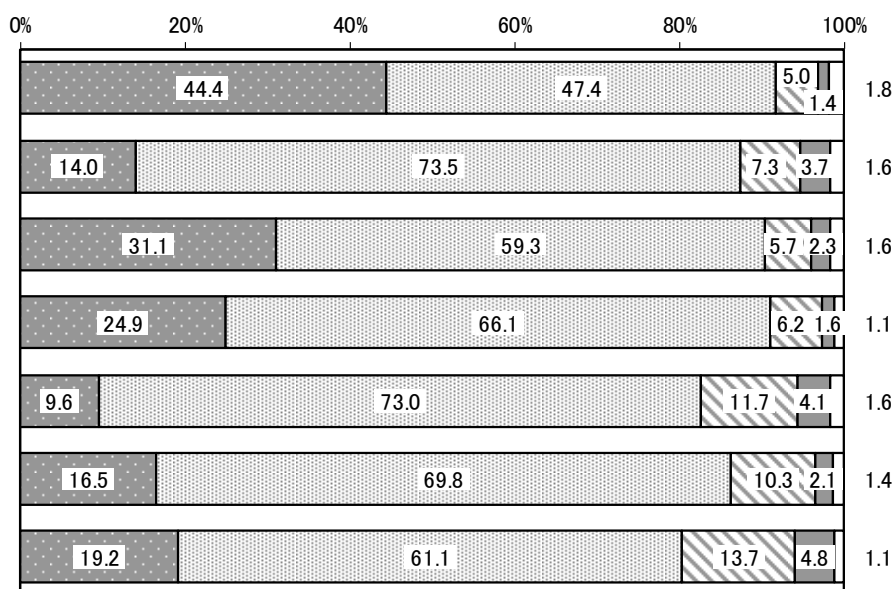
体験活動(自然体験、スキー教室)

(中学校のみ) 部活動

地域住民等のボランティアの活用

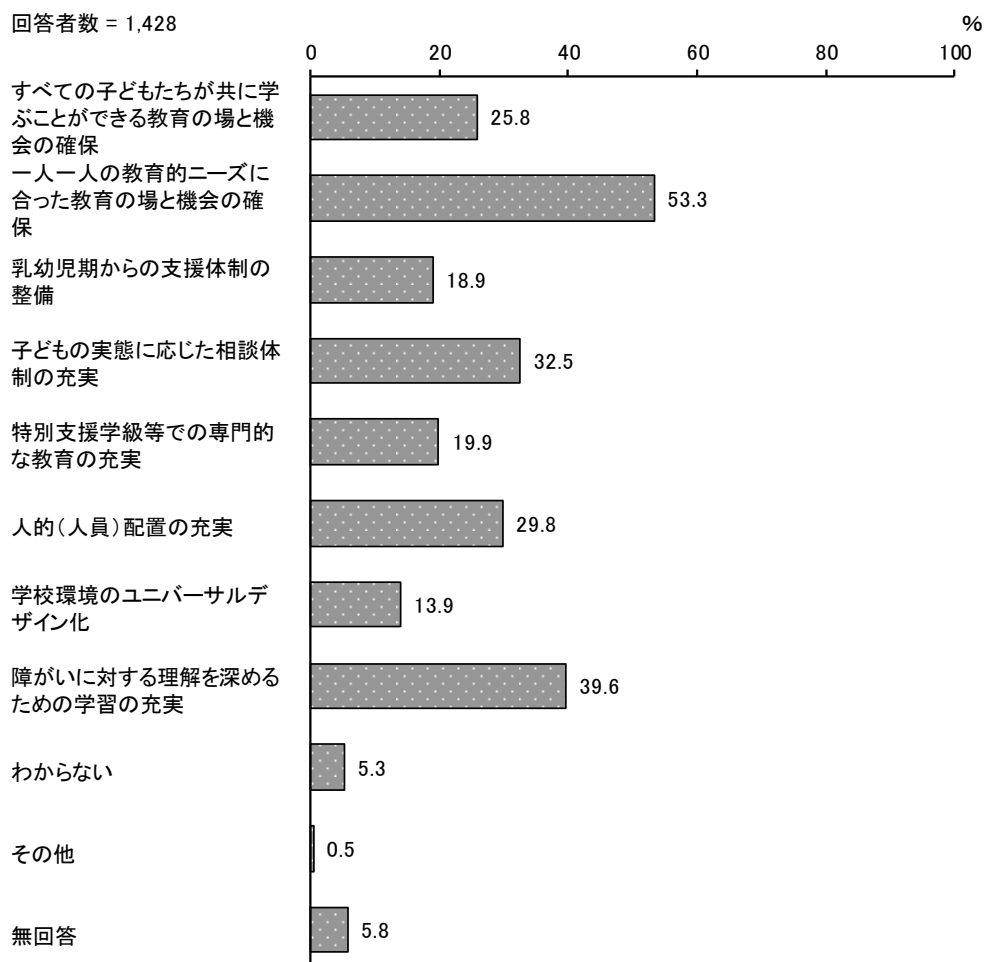
放課後子ども教室・放課後学習教室

学校施設の開放



問 20 あなたは、特別支援教育の充実のためにどのような取組が必要だと思いますか。
(主なもの3つまで○)

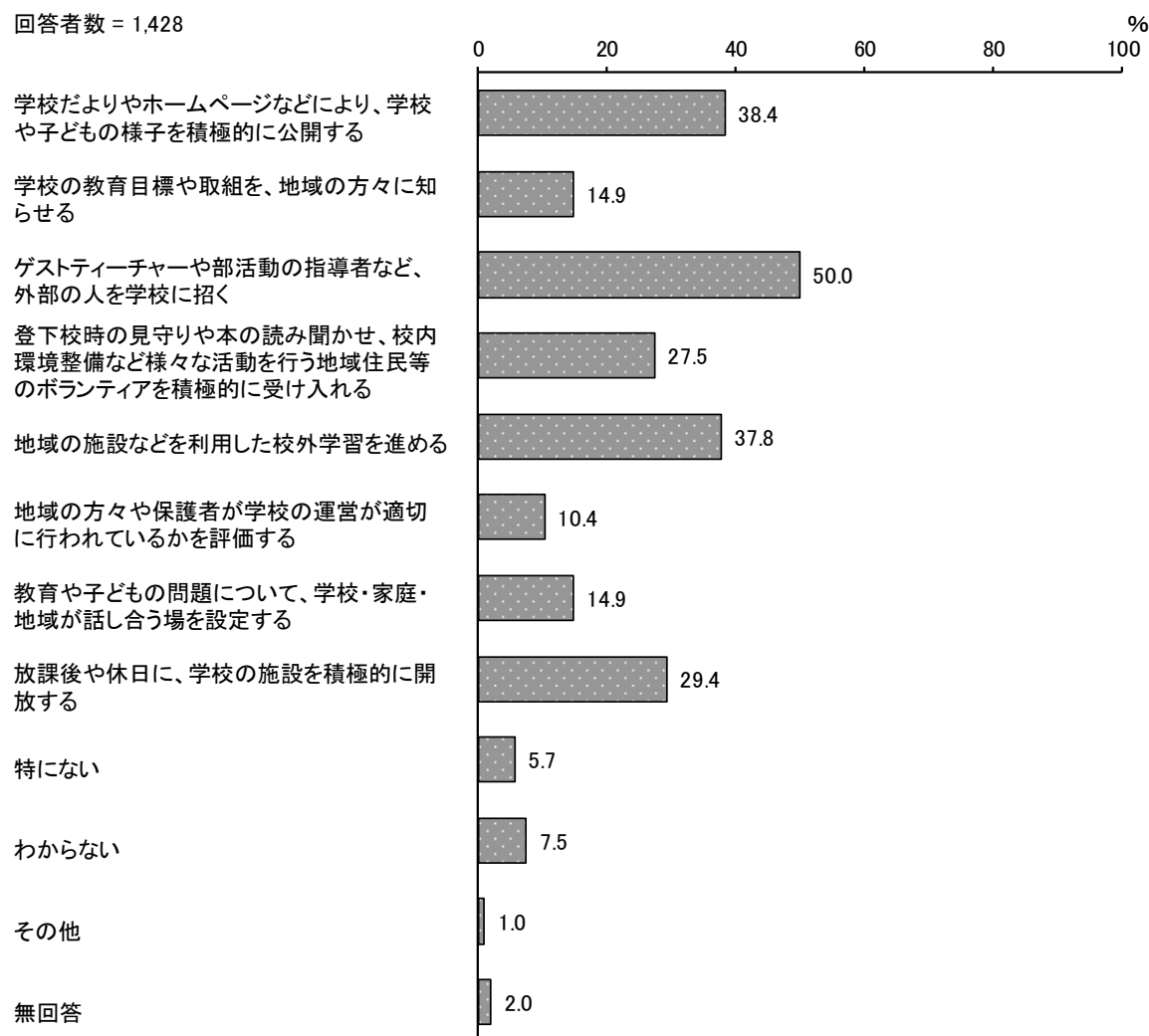
「一人一人の教育的ニーズに合った教育の場と機会の確保」の割合が53.3%と最も高く、次いで「障がいに対する理解を深めるための学習の充実」の割合が39.6%、「子どもの実態に応じた相談体制の充実」の割合が32.5%となっています。



問 21 小平市では、「コミュニティ・スクール」の取組をはじめ、「地域に開かれた学校づくり」の実現に向けた取組が進められています。「地域に開かれた学校づくり」に向け、どのような取組が必要だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

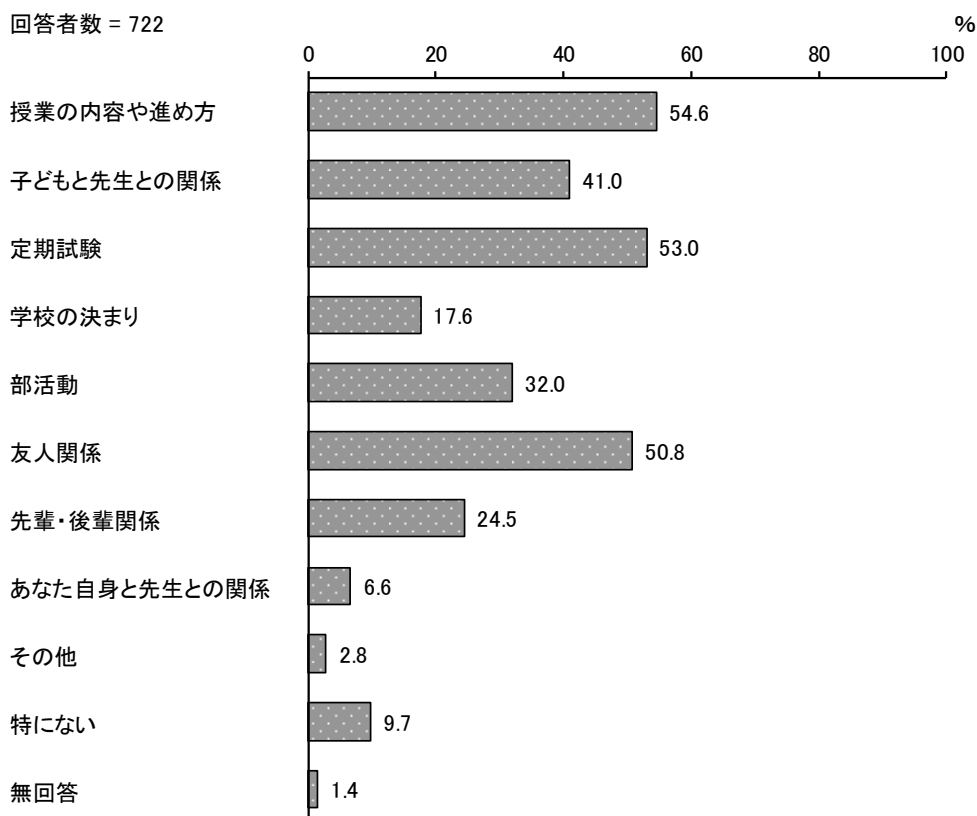
「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する」の割合が 38.4%、「地域の施設などを利用した校外学習を進める」の割合が 37.8%となっています。

回答者数 = 1,428



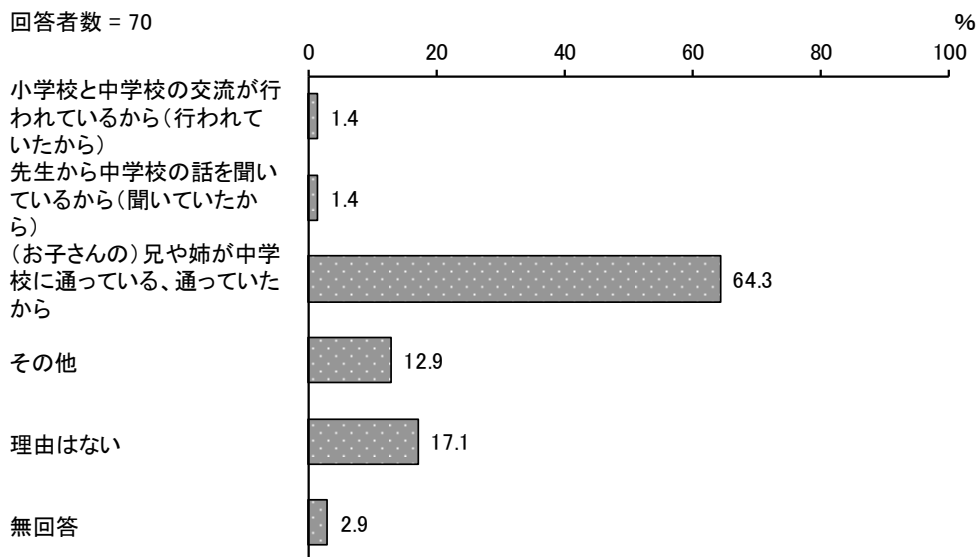
問 22- 1 【小学校 6 年生の場合】中学校に入学した後に心配なことは何ですか。【中学校 1 年生の場合】中学校に入学した後に、とまどったことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「授業の内容や進め方」の割合が 54.6%と最も高く、次いで「定期試験」の割合が 53.0%、「友人関係」の割合が 50.8%となっています。



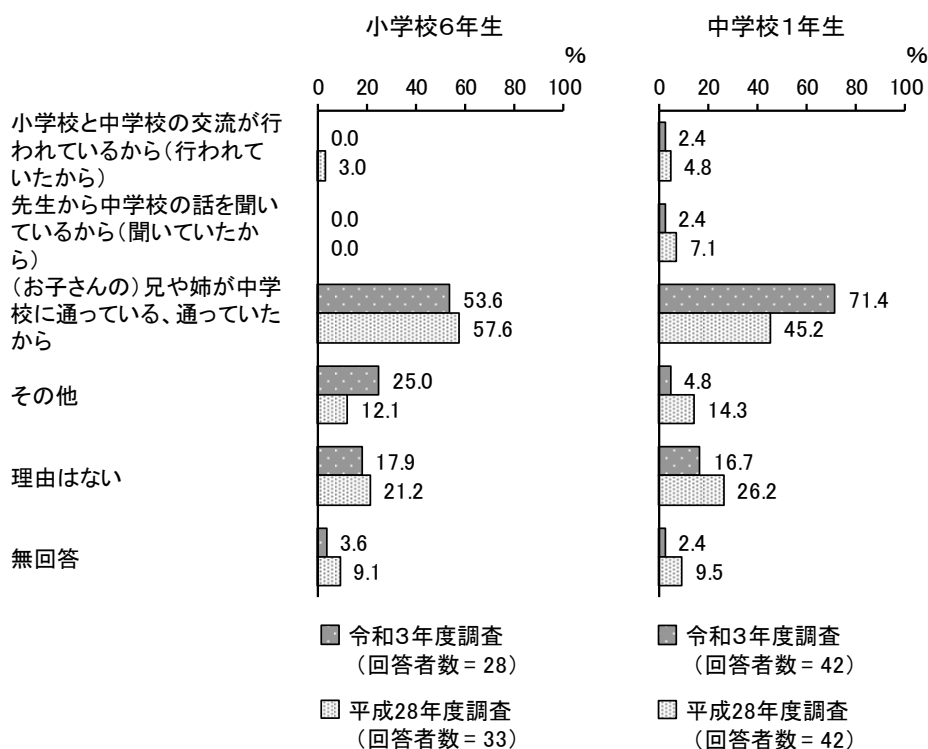
問 22- 2 【問 22- 1 で、「10」に○をつけたときに教えてください】心配なこと、またはとまどったことがなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「(お子さんの) 兄や姉が中学校に通っている、通っていたから」の割合が 64.3%と最も高く、次いで「理由はない」の割合が 17.1%となっています。



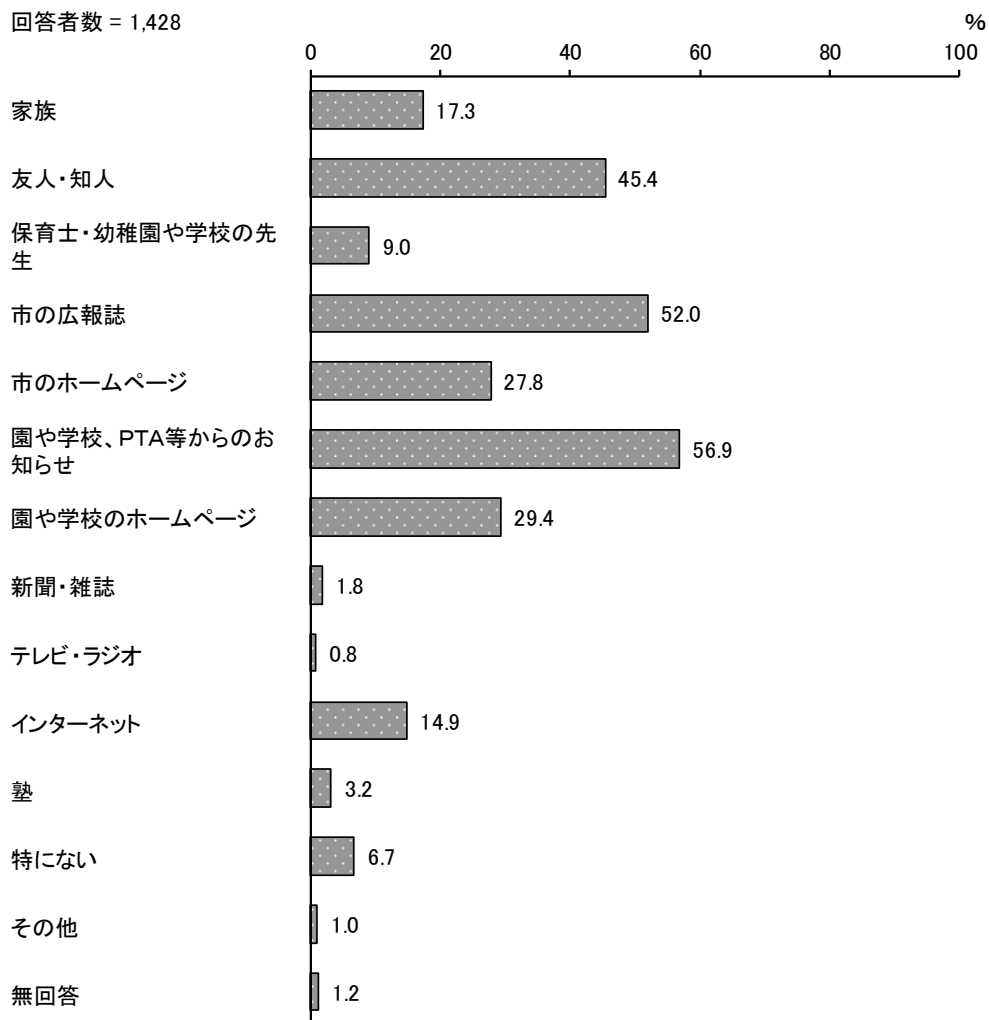
【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、中学校 1 年生で「(お子さんの) 兄や姉が中学校に通っている、通っていたから」の割合が増加しています。



問 23 あなたは、小平市の教育や子育てに関する情報をどこで得ていますか。
 (あてはまるものすべてに○)

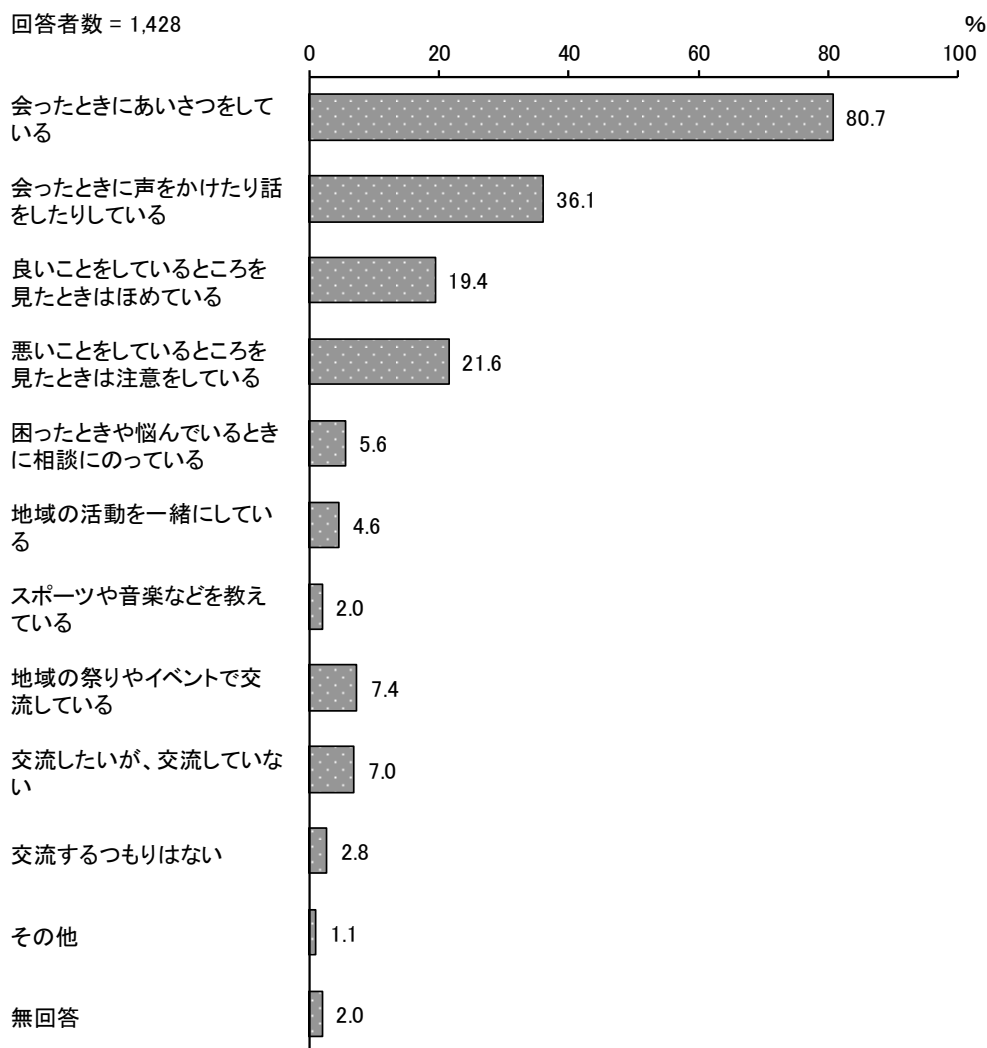
「園や学校、PTA等からのお知らせ」の割合が56.9%と最も高く、次いで「市の広報誌」の割合が52.0%、「友人・知人」の割合が45.4%となっています。



(3) 地域のことについて

問 24 普段、あなたは地域の子どもとどのように接していますか。
(あてはまるすべてに○)

「会ったときにあいさつをしている」の割合が 80.7%と最も高く、次いで「会ったときに声をかけたり話をしたりしている」の割合が 36.1%、「悪いことをしているところを見たときは注意をしている」の割合が 21.6%となっています。



【学校別】

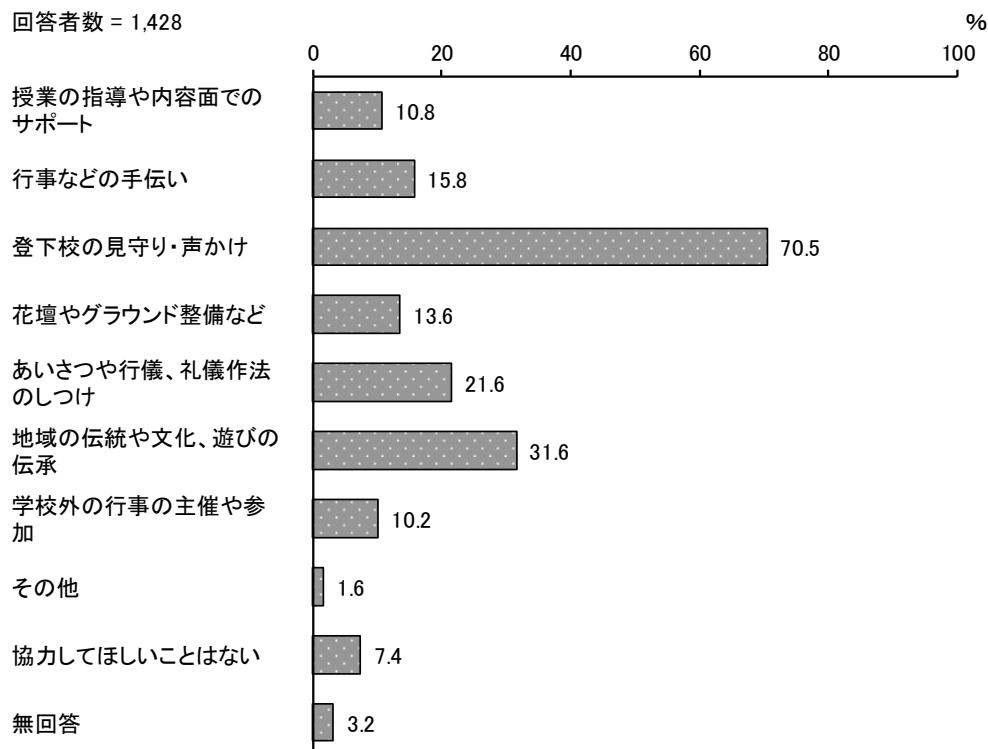
学校別でみると、他に比べ、学園東小学校で「会ったときに声をかけたり話をしたりしている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	会ったときにあいさつをしている	会ったときに声をかけたり話をしたりしている	会ったときに声をかけたり話をしたりしている	良いことをしているところを見たときはほめている	悪いことをしているところを見たときは注意をしている	困ったときや悩んでいるときに相談にのっている	地域の活動を一緒にしている	スポーツや音楽などを教えている	地域の祭りやイベントで交流している	交流したいが、交流していない	交流するつもりはない	その他	無回答
小平第一小学校	40	92.5	40.0	15.0	25.0	7.5	15.0	2.5	17.5	—	—	—	—	2.5
小平第二小学校	67	88.1	41.8	20.9	25.4	9.0	4.5	3.0	4.5	4.5	1.5	—	—	—
小平第三小学校	64	78.1	43.8	26.6	23.4	7.8	6.3	—	3.1	9.4	1.6	1.6	1.6	1.6
小平第四小学校	56	89.3	35.7	19.6	23.2	5.4	7.1	3.6	8.9	3.6	3.6	—	—	3.6
小平第五小学校	61	75.4	36.1	13.1	29.5	6.6	3.3	—	4.9	11.5	—	—	—	1.6
小平第六小学校	51	90.2	41.2	17.6	15.7	5.9	2.0	3.9	3.9	—	2.0	—	—	3.9
小平第七小学校	50	72.0	34.0	24.0	26.0	4.0	2.0	—	12.0	10.0	2.0	4.0	—	—
小平第八小学校	54	83.3	35.2	24.1	18.5	5.6	9.3	5.6	9.3	3.7	1.9	1.9	3.7	3.7
小平第九小学校	41	78.0	36.6	14.6	19.5	4.9	2.4	—	9.8	7.3	7.3	—	—	—
小平第十小学校	62	85.5	41.9	21.0	21.0	6.5	—	1.6	4.8	3.2	—	1.6	3.2	3.2
小平第十一小学校	48	81.3	45.8	22.9	16.7	4.2	—	2.1	6.3	10.4	—	2.1	—	—
小平第十二小学校	44	81.8	50.0	27.3	27.3	6.8	9.1	4.5	4.5	2.3	4.5	2.3	2.3	2.3
小平第十三小学校	60	80.0	41.7	26.7	28.3	15.0	8.3	1.7	8.3	5.0	3.3	1.7	1.7	1.7
小平第十四小学校	47	87.2	42.6	25.5	21.3	6.4	6.4	—	10.6	6.4	2.1	—	—	—
小平第十五小学校	56	76.8	32.1	23.2	21.4	1.8	3.6	1.8	3.6	10.7	7.1	3.6	1.8	1.8
花小金井小学校	55	78.2	27.3	14.5	29.1	1.8	1.8	1.8	7.3	7.3	9.1	1.8	—	—
鈴木小学校	49	83.7	30.6	16.3	22.4	2.0	4.1	2.0	8.2	8.2	4.1	—	—	2.0
学園東小学校	41	82.9	58.5	24.4	22.0	2.4	7.3	4.9	14.6	4.9	2.4	—	—	2.4
上宿小学校	48	83.3	47.9	25.0	33.3	12.5	—	2.1	8.3	6.3	—	2.1	—	—
小平第一中学校	51	68.6	27.5	11.8	19.6	2.0	5.9	3.9	11.8	7.8	9.8	—	—	3.9
小平第二中学校	38	68.4	21.1	10.5	15.8	—	2.6	—	2.6	10.5	5.3	—	—	5.3
小平第三中学校	54	75.9	22.2	9.3	11.1	3.7	1.9	—	3.7	13.0	—	1.9	1.9	1.9
小平第四中学校	56	75.0	23.2	17.9	17.9	3.6	5.4	1.8	1.8	10.7	—	1.8	3.6	3.6
小平第五中学校	51	86.3	41.2	19.6	15.7	7.8	2.0	—	3.9	3.9	3.9	—	—	2.0
小平第六中学校	49	81.6	30.6	12.2	14.3	2.0	2.0	—	10.2	8.2	2.0	—	—	2.0
上水中学校	59	76.3	18.6	13.6	15.3	1.7	1.7	3.4	10.2	10.2	3.4	—	—	3.4
花小金井南中学校	49	87.8	32.7	16.3	16.3	4.1	6.1	2.0	12.2	6.1	2.0	2.0	—	—

問 25 学校の教育活動や地域活動について、あなたが地域の方に協力してほしいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「登下校の見守り・声かけ」の割合が70.5%と最も高く、次いで「地域の伝統や文化、遊びの伝承」の割合が31.6%、「あいさつや行儀、礼儀作法のしつけ」の割合が21.6%となっています。



【学校別】

学校別でみると、他に比べ、小平第二小学校で「登下校の見守り・声かけ」の割合が、小平第四小学校で「地域の伝統や文化、遊びの伝承」の割合が高くなっています。

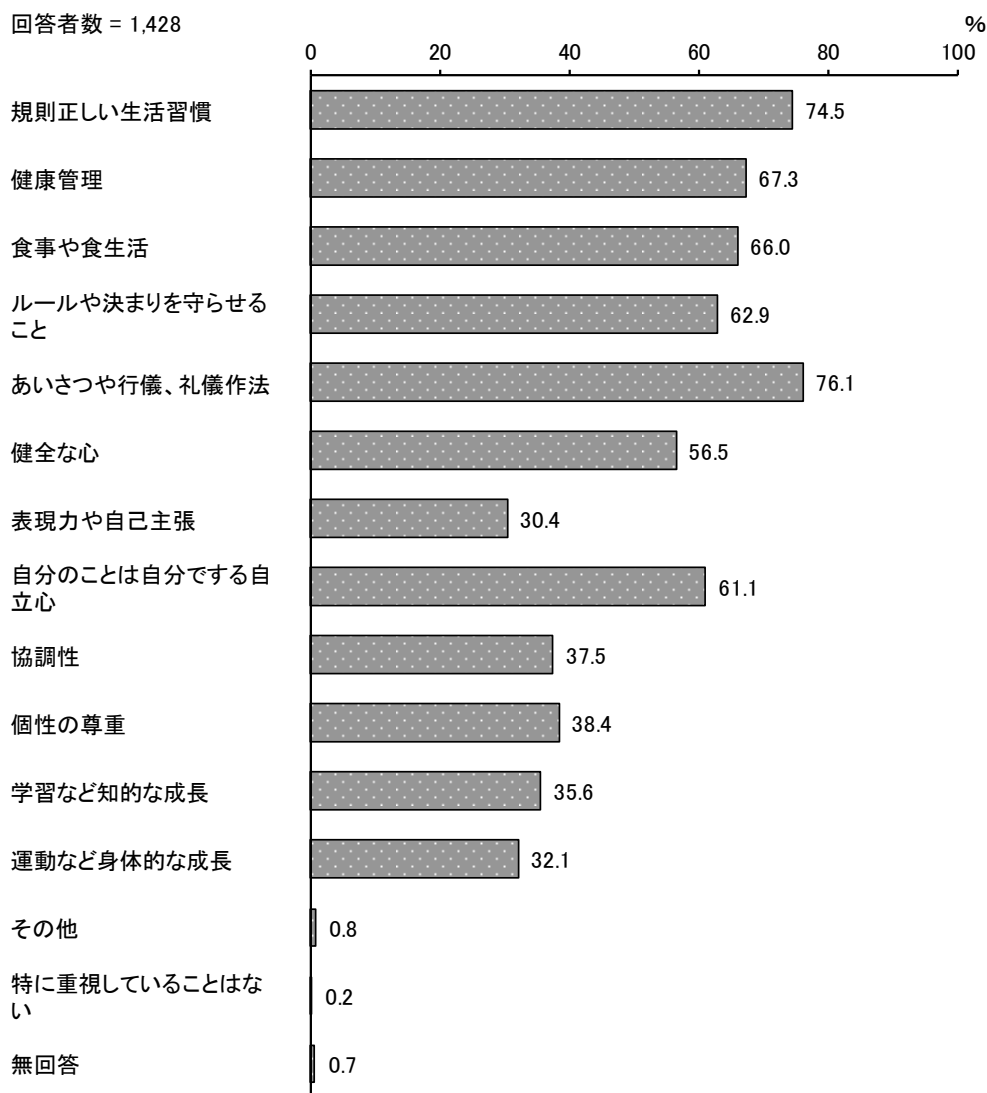
単位：％

区分	回答者数(件)	授業の指導や内容でのサポート	行事などの手伝い	登下校の見守り・声かけ	花壇やグラウンド整備など	あいさつや行儀、礼作法のしつけ	地域の伝統や文化、遊びの伝承	学校外の行事の主催や参加	その他	協力してほしいことはない	無回答
小平第一小学校	40	10.0	27.5	75.0	12.5	22.5	40.0	27.5	—	2.5	7.5
小平第二小学校	67	11.9	13.4	89.6	14.9	17.9	34.3	10.4	1.5	3.0	—
小平第三小学校	64	9.4	20.3	75.0	21.9	26.6	43.8	14.1	3.1	4.7	1.6
小平第四小学校	56	16.1	10.7	73.2	12.5	17.9	51.8	10.7	1.8	3.6	3.6
小平第五小学校	61	11.5	11.5	68.9	13.1	21.3	36.1	16.4	1.6	6.6	1.6
小平第六小学校	51	17.6	13.7	70.6	9.8	21.6	33.3	11.8	2.0	5.9	2.0
小平第七小学校	50	14.0	18.0	76.0	24.0	26.0	34.0	12.0	4.0	4.0	—
小平第八小学校	54	7.4	14.8	68.5	13.0	20.4	33.3	9.3	—	7.4	7.4
小平第九小学校	41	12.2	24.4	70.7	7.3	22.0	34.1	7.3	2.4	4.9	2.4
小平第十小学校	62	1.6	14.5	80.6	11.3	27.4	22.6	11.3	—	3.2	8.1
小平第十一小学校	48	16.7	14.6	66.7	12.5	22.9	39.6	4.2	—	10.4	2.1
小平第十二小学校	44	4.5	11.4	75.0	13.6	18.2	29.5	9.1	—	9.1	2.3
小平第十三小学校	60	18.3	11.7	78.3	20.0	21.7	35.0	10.0	—	8.3	1.7
小平第十四小学校	47	8.5	14.9	74.5	19.1	25.5	38.3	8.5	—	4.3	2.1
小平第十五小学校	56	14.3	12.5	66.1	19.6	28.6	37.5	10.7	1.8	1.8	3.6
花小金井小学校	55	7.3	18.2	61.8	14.5	7.3	27.3	5.5	—	16.4	1.8
鈴木小学校	49	2.0	18.4	73.5	8.2	24.5	24.5	10.2	4.1	8.2	6.1
学園東小学校	41	12.2	14.6	70.7	14.6	24.4	43.9	12.2	2.4	7.3	—
上宿小学校	48	10.4	20.8	72.9	12.5	27.1	31.3	14.6	2.1	8.3	2.1
小平第一中学校	51	11.8	3.9	60.8	7.8	19.6	19.6	5.9	2.0	19.6	3.9
小平第二中学校	38	13.2	13.2	55.3	7.9	13.2	13.2	5.3	2.6	10.5	2.6
小平第三中学校	54	14.8	18.5	64.8	22.2	16.7	27.8	11.1	—	7.4	5.6
小平第四中学校	56	10.7	25.0	58.9	17.9	16.1	25.0	5.4	1.8	10.7	5.4
小平第五中学校	51	3.9	21.6	76.5	5.9	21.6	25.5	5.9	2.0	5.9	2.0
小平第六中学校	49	10.2	14.3	57.1	10.2	22.4	18.4	4.1	—	12.2	4.1
上水中学校	59	15.3	11.9	66.1	6.8	28.8	22.0	11.9	1.7	5.1	3.4
花小金井南中学校	49	6.1	14.3	67.3	8.2	16.3	26.5	8.2	6.1	10.2	2.0

(4) 家庭教育について

問 26- 1 家庭教育で重視していることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「あいさつや行儀、礼儀作法」の割合が76.1%と最も高く、次いで「規則正しい生活習慣」の割合が74.5%、「健康管理」の割合が67.3%となっています。



【続柄別】

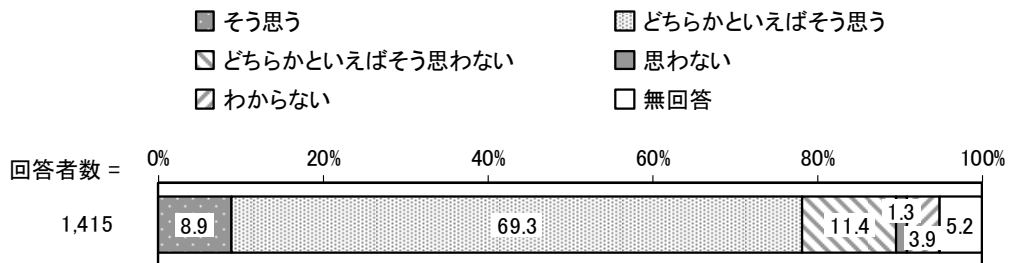
続柄別でみると、他に比べ、母親で「規則正しい生活習慣」「あいさつや行儀、礼儀作法」「健康管理」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	規則正しい生活習慣	健康管理	食事や食生活	守らせること	ルールや決まりを	儀作法	あいさつや行儀、礼	健全な心	表現力や自己主張	自分のことは自分でする自立心	協調性	個性の尊重	長	学習など知的な成長	運動など身体的な	その他	特に重視していることはない	無回答
父親	111	68.5	52.3	59.5	57.7	70.3	45.0	33.3	64.0	39.6	30.6	40.5	34.2	0.9	1.8	—	—	—	
母親	1296	74.9	68.7	66.6	63.5	76.7	57.6	30.2	60.9	37.3	39.1	35.6	32.4	0.8	0.1	0.8	—	—	
祖父母	4	100.0	50.0	75.0	50.0	25.0	25.0	25.0	75.0	50.0	50.0	25.0	—	—	—	—	—	—	
その他	9	88.9	66.7	66.7	22.2	77.8	55.6	22.2	44.4	44.4	44.4	—	—	—	—	—	—	—	

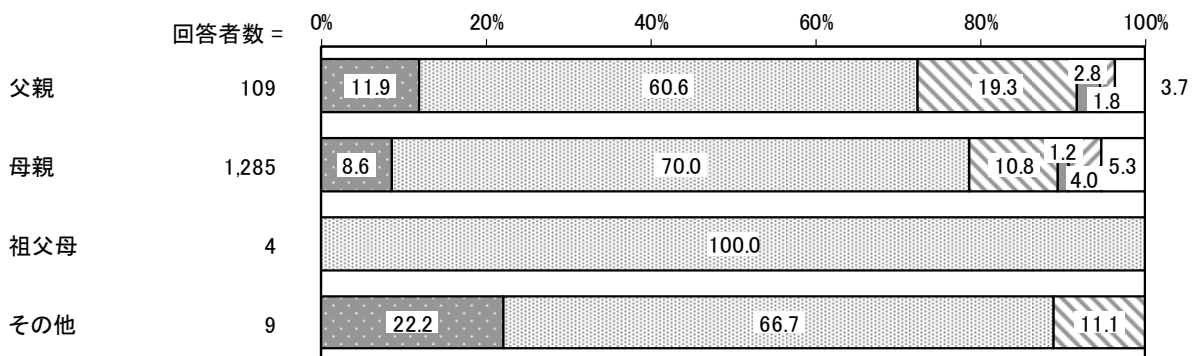
問 26- 2 【問 26- 1で、「1」～「13」に○をつけたときに教えてください】ご家庭でそれをできていると思いますか。(1つに○)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が 78.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が 12.7%となっています。



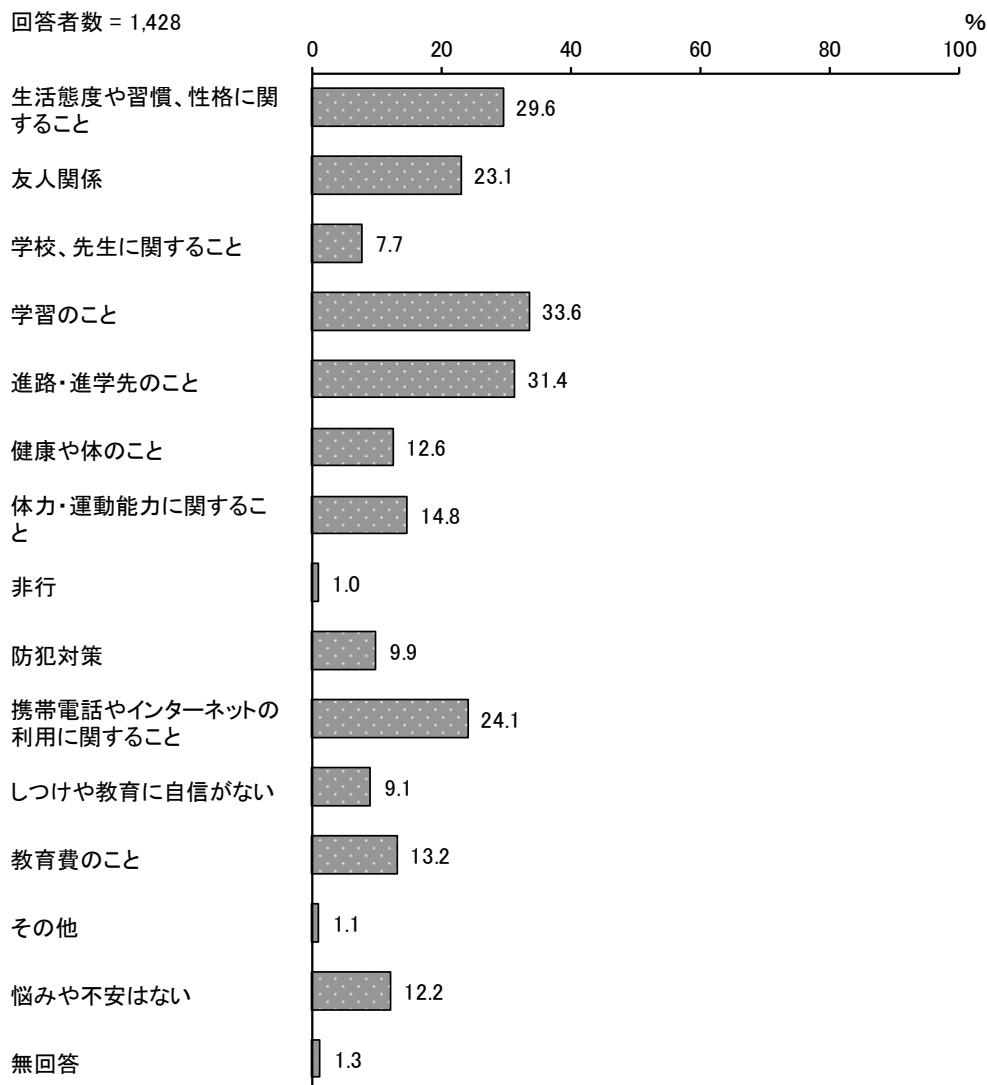
【続柄別】

続柄別でみると、他に比べ、父親で“そう思わない”の割合が、母親で“そう思う”の割合が高くなっています。



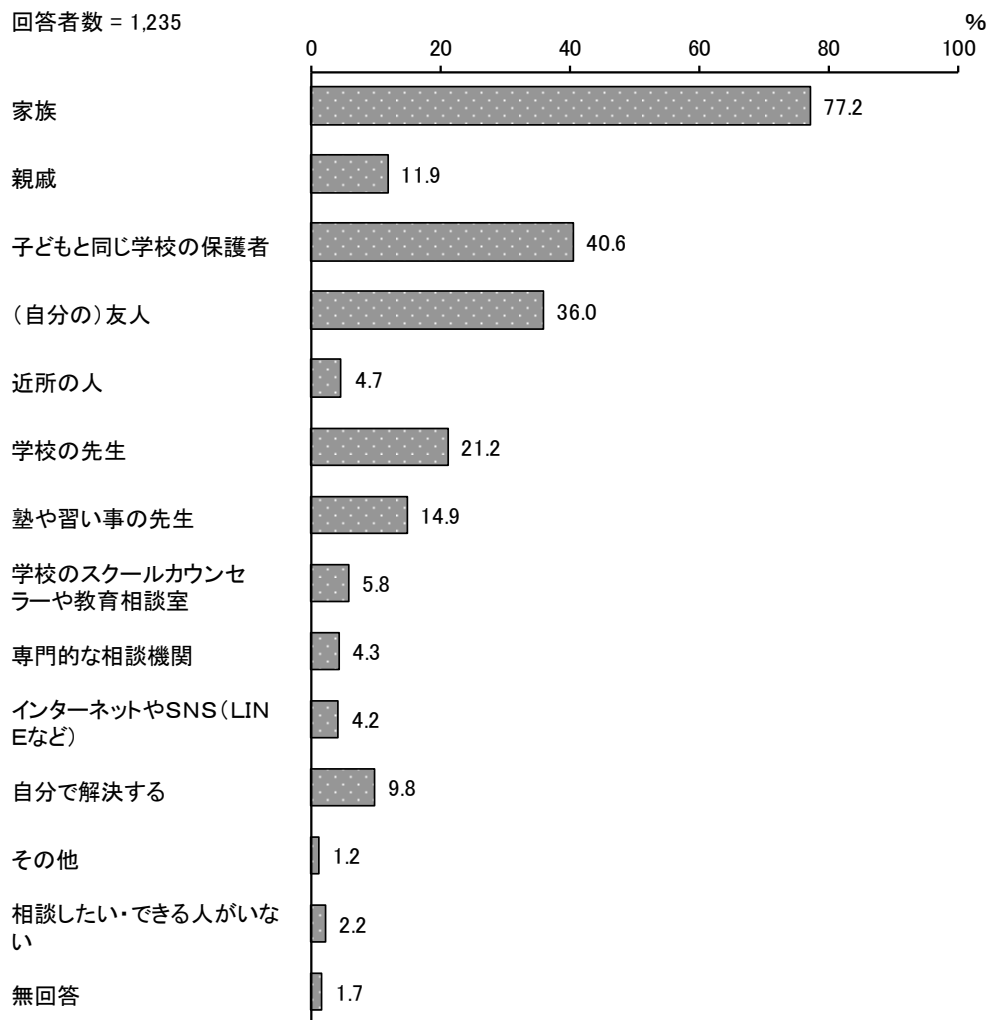
問 27- 1 お子さんのことで、悩んでいることや不安に思っていることは何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

「学習のこと」の割合が 33.6%と最も高く、次いで「進路・進学先のこと」の割合が 31.4%、
 「生活態度や習慣、性格に関すること」の割合が 29.6%となっています。



問 27- 2 【問 27- 1で、「1」～「13」に○をつけたときに教えてください】 悩みや不安を誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

「家族」の割合が 77.2%と最も高く、次いで「子どもと同じ学校の保護者」の割合が 40.6%、「(自分の)友人」の割合が 36.0%となっています。



自由記述（小中学生の保護者）

有効回答数 1428 票中 330 票に回答がありました。

意見要望の多いものを以下に掲載します。（1 票の中に複数の項目にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 330 件より多くなっています）。

項目	件数
教育内容について	
オンライン授業、ICTを活用してほしい	43
学力向上に力を入れてほしい	15
体験活動を充実させてほしい	9
学力以外の教育に力を入れてほしい	7
特色ある学校・教育を推進してほしい	7
教員等について	
教員の指導・育成、支援が必要である	29
教員の多忙化の解消	16
教育行政について	
情報が欲しい	14
学校間の差をなくしてほしい	8
少人数制について	6
その他（教育行政）	40
放課後の過ごし方について	
遊び場を確保してほしい	14
子どもの居場所づくりについて	5
子どもたちへの対応について	
いじめ・不登校対策をしっかり行ってほしい	18
困っている家庭の支援（ネグレクトなど）を行う	6
感染症について	30
安全・安心に関することについて	16
学校設備について	16
特別支援教育について	14
家庭・地域との連携について	13
登下校の安全対策について	10
保護者と教員の連携（PTA 等）について	11
図書館について	9
給食について	11
性の多様性について	4
スクールカウンセラーについて	5
現状への感謝などについて	29
調査について	11
その他	13
総数	429

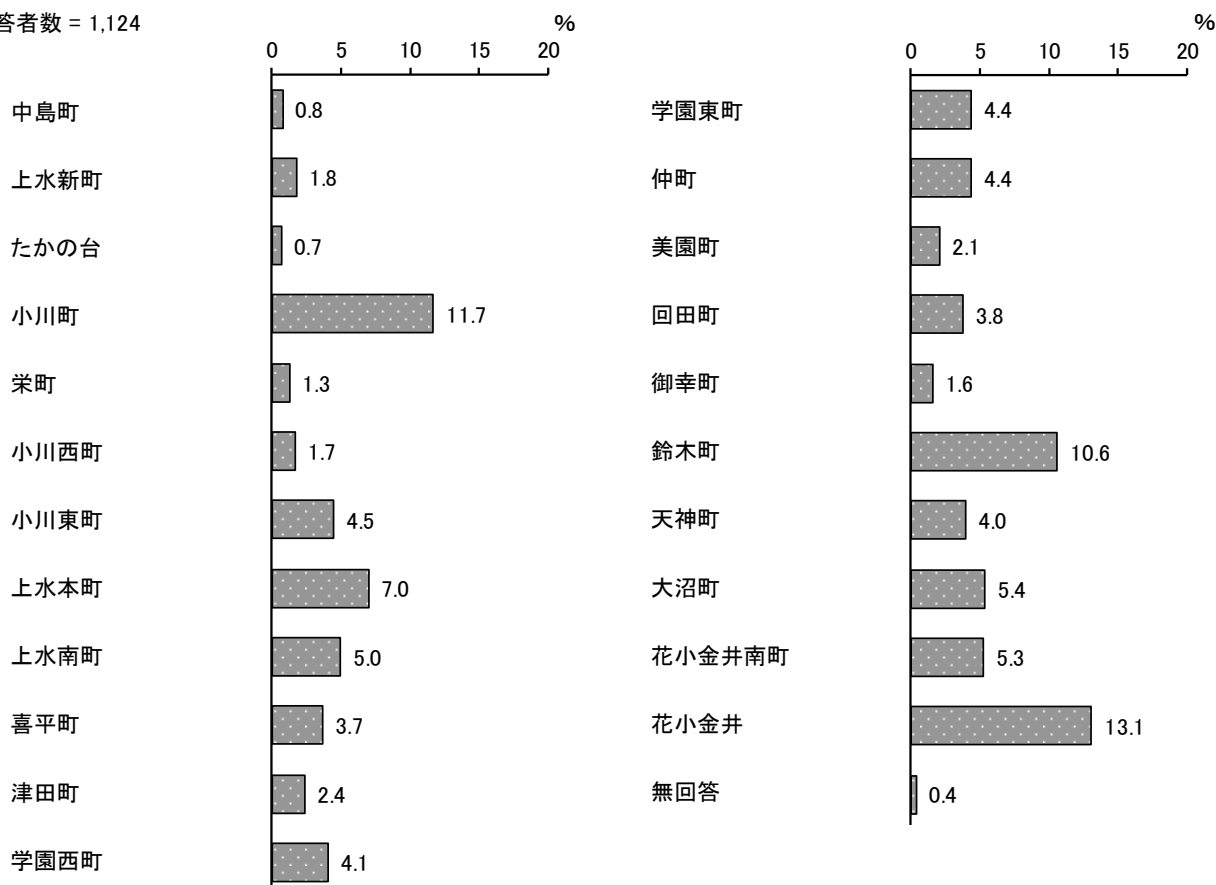
3 5歳児童の保護者

(1) 回答者属性

問1 あなたのお住まいはどちらですか。(1つに○)

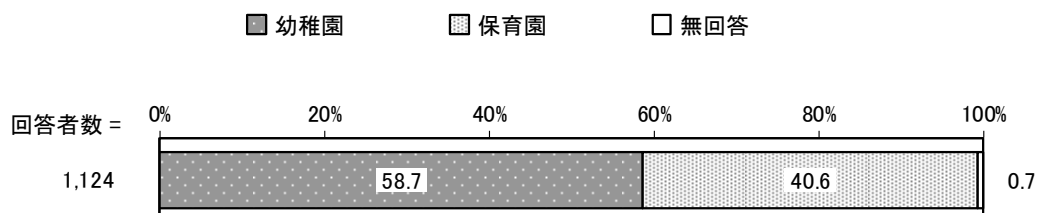
「花小金井」の割合が13.1%と最も高く、次いで「小川町」の割合が11.7%、「鈴木町」の割合が10.6%となっています。

回答者数 = 1,124



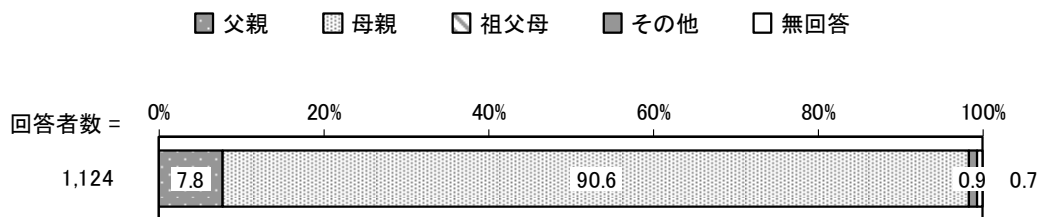
問2 お子さんが通っているのは幼稚園・保育園のどちらですか。(1つに○)

「幼稚園」の割合が58.7%、「保育園」の割合が40.6%となっています。



問3 お子さんとあなたの続柄（関係）を教えてください。（1つに○）

「母親」の割合が90.6%と最も高くなっています。

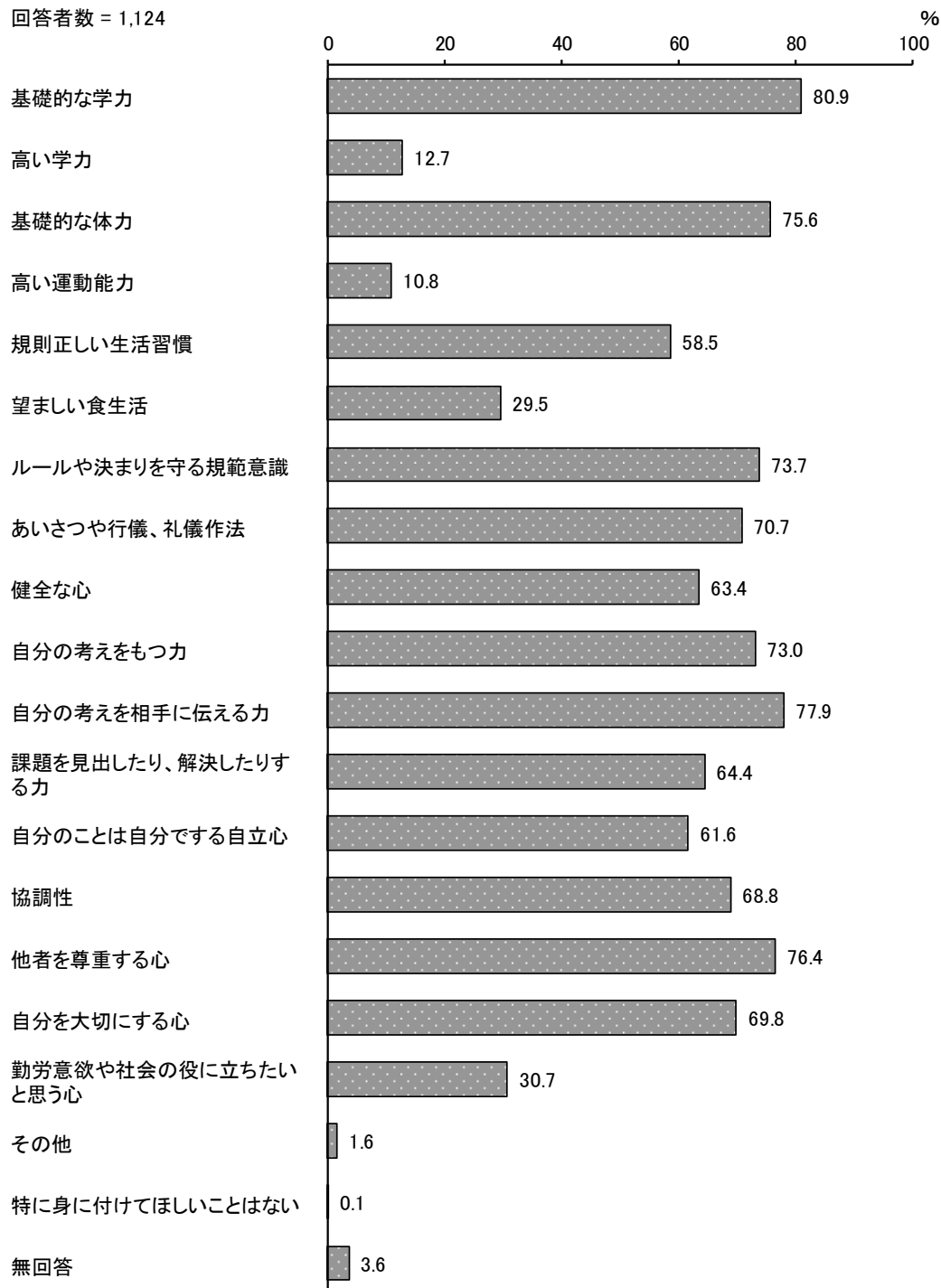


(2) お子さんの教育について

問4 お子さんに学校で身に付けてほしいと望むことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

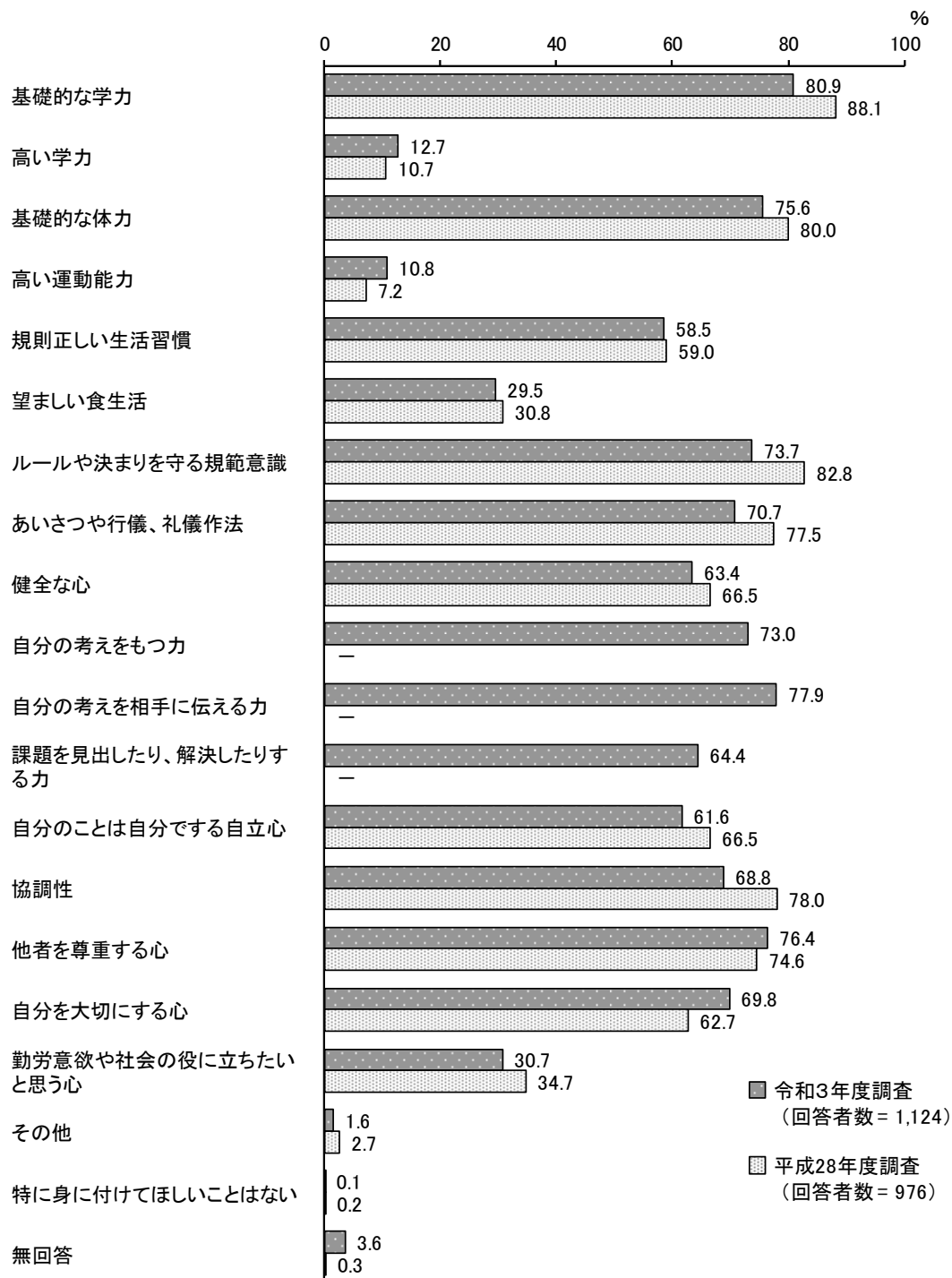
「基礎的な学力」の割合が80.9%と最も高く、次いで「自分の考えを相手に伝える力」の割合が77.9%、「他者を尊重する心」の割合が76.4%となっています。

回答者数 = 1,124



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「自分を大切にする心」の割合が増加しています。一方、「基礎的な学力」「ルールや決まりを守る規範意識」「あいさつや行儀、礼儀作法」「協調性」の割合が減少しています。

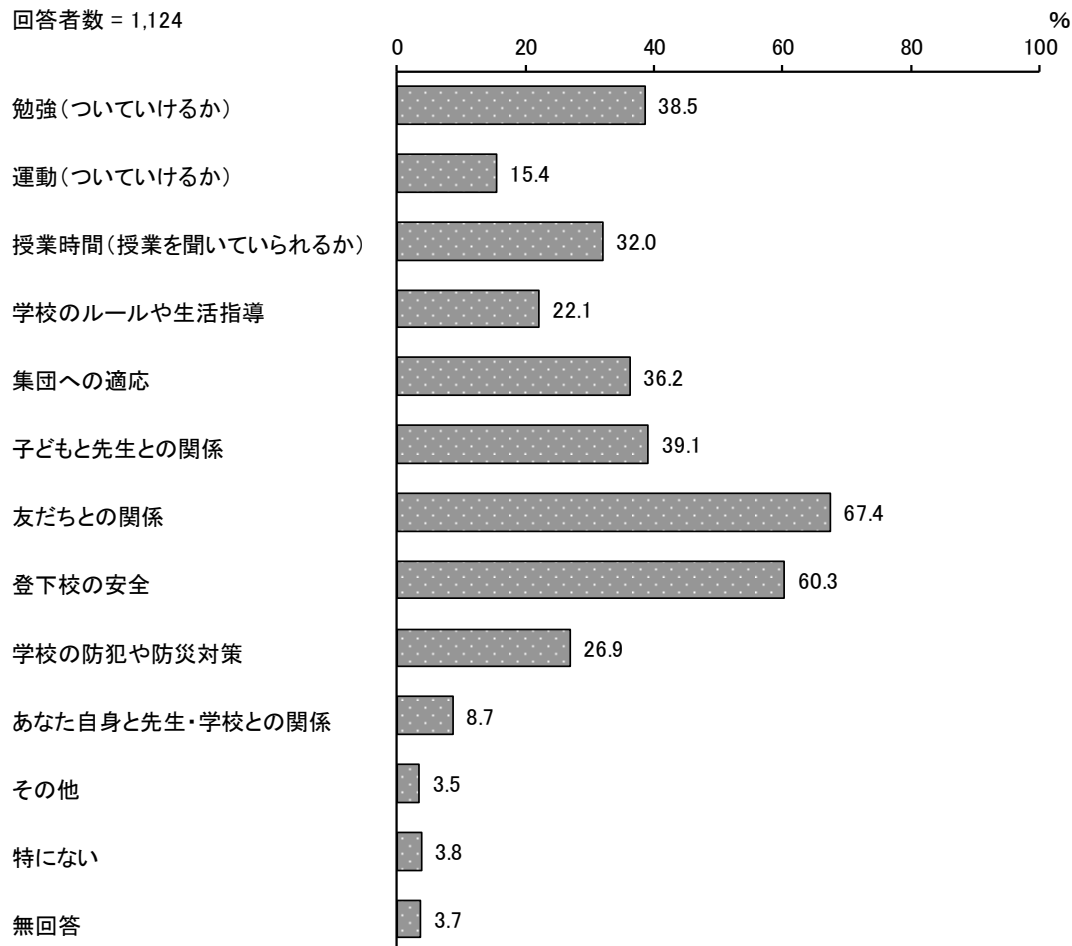


※前回調査に「自分の考えをもつ力」「自分の考えを相手に伝える力」「課題を見出したり、解決したりする力」の選択肢はありませんでした。

問5-1 お子さんが小学校に入学した後に、心配なことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

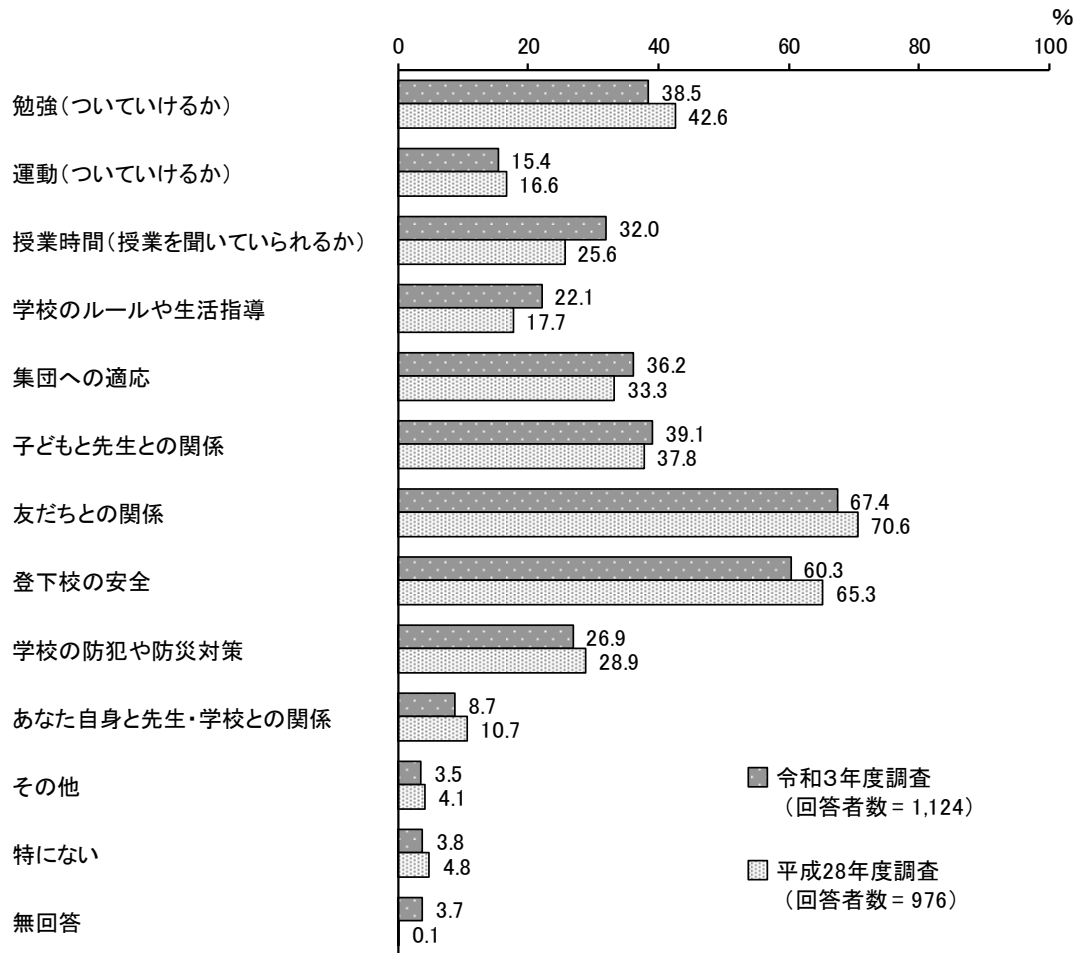
「友だちとの関係」の割合が67.4%と最も高く、次いで「登下校の安全」の割合が60.3%、「子どもと先生との関係」の割合が39.1%となっています。

回答者数 = 1,124



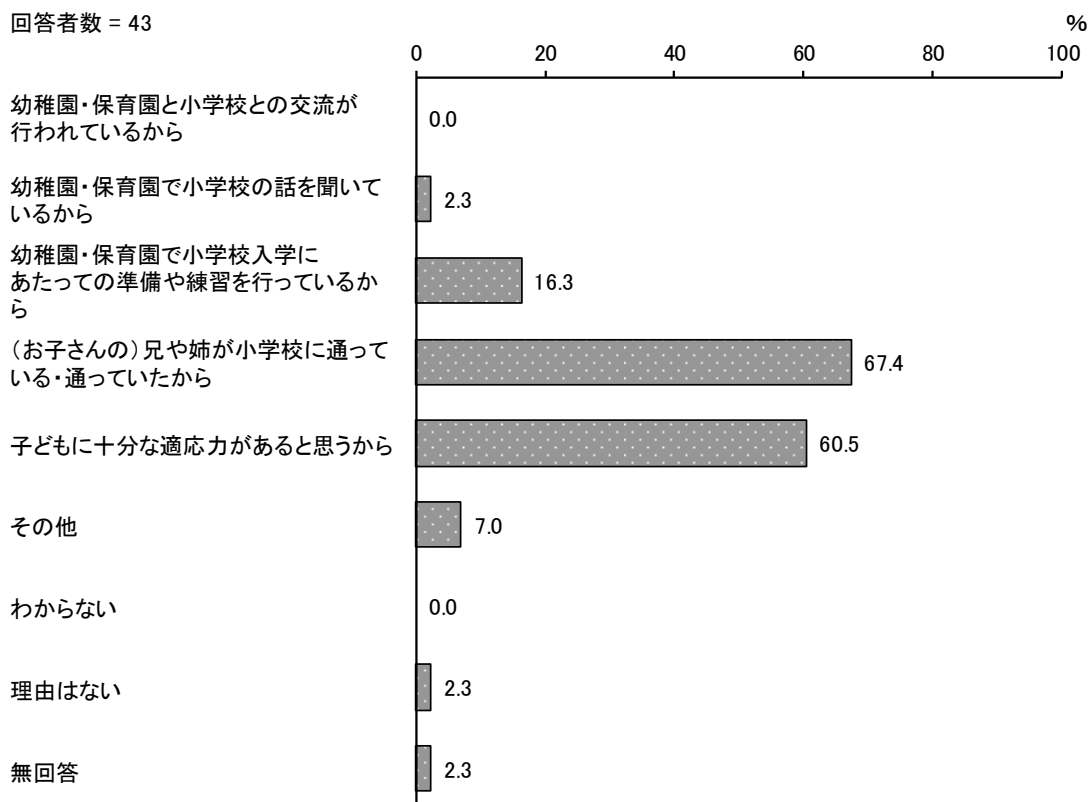
【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「授業時間（授業を聞いていられるか）」の割合が増加しています。一方、「登下校の安全」の割合が減少しています。



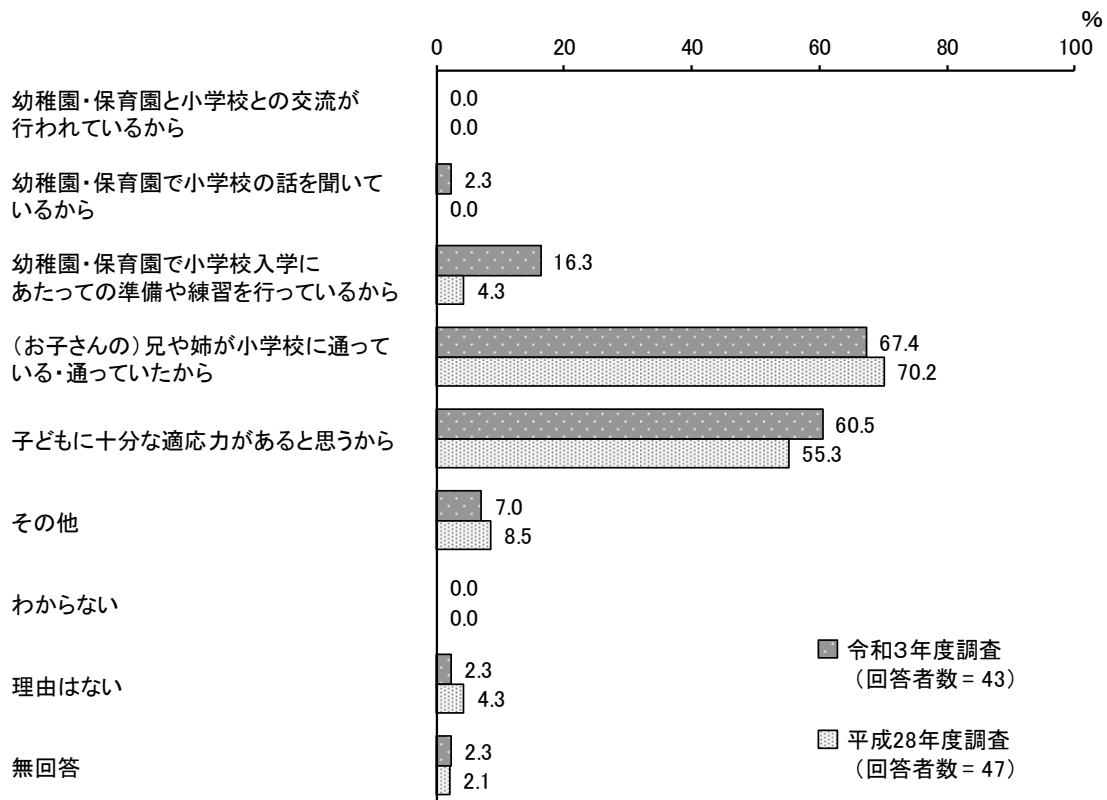
問5-2 【問5-1で「12」に○をつけたときに教えてください】心配でない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「(お子さんの)兄や姉が小学校に通っている・通っていたから」の割合が67.4%と最も高く、次いで「子どもに十分な適応力があると思うから」の割合が60.5%、「幼稚園・保育園で小学校入学にあたっての準備や練習を行っているから」の割合が16.3%となっています。



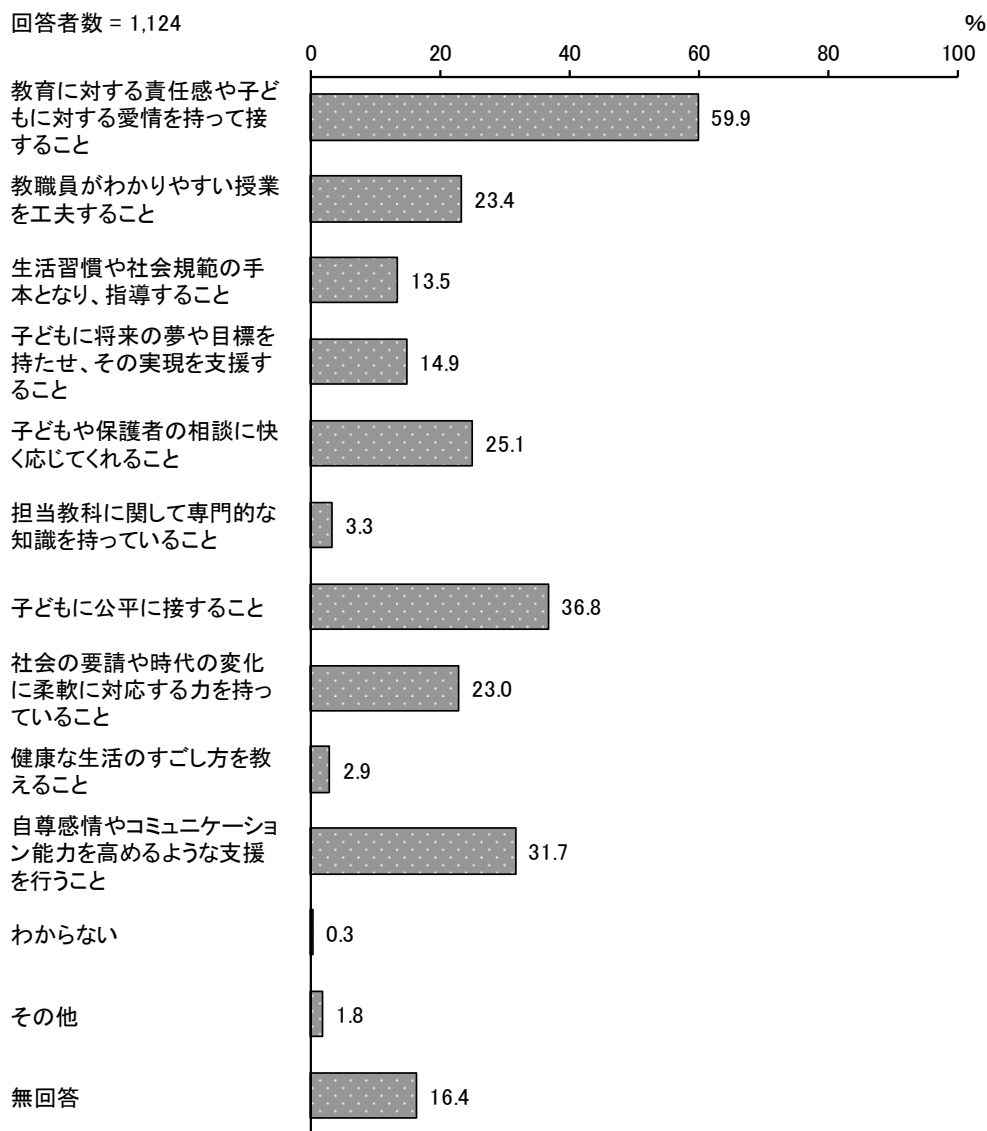
【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「幼稚園・保育園で小学校入学にあたっての準備や練習を行っているから」「子どもに十分な適応力があると思うから」の割合が増加しています。



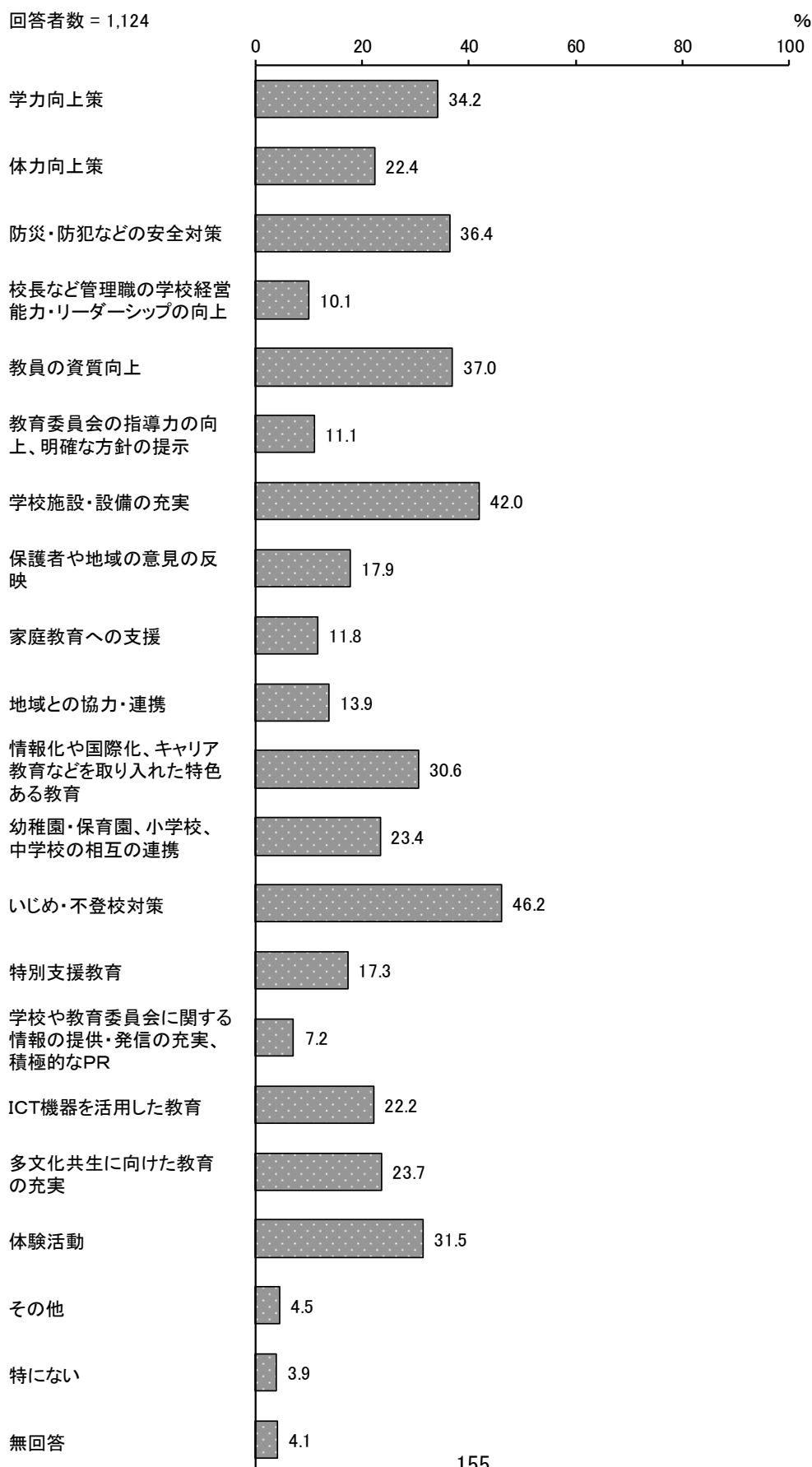
問6 あなたは、学校に対してどのようなことを望みますか。(主なもの3つまで○)

「教育に対する責任感や子どもに対する愛情を持って接すること」の割合が59.9%と最も高く、次いで「子どもに公平に接すること」の割合が36.8%、「自尊感情やコミュニケーション能力を高めるような支援を行うこと」の割合が31.7%となっています。



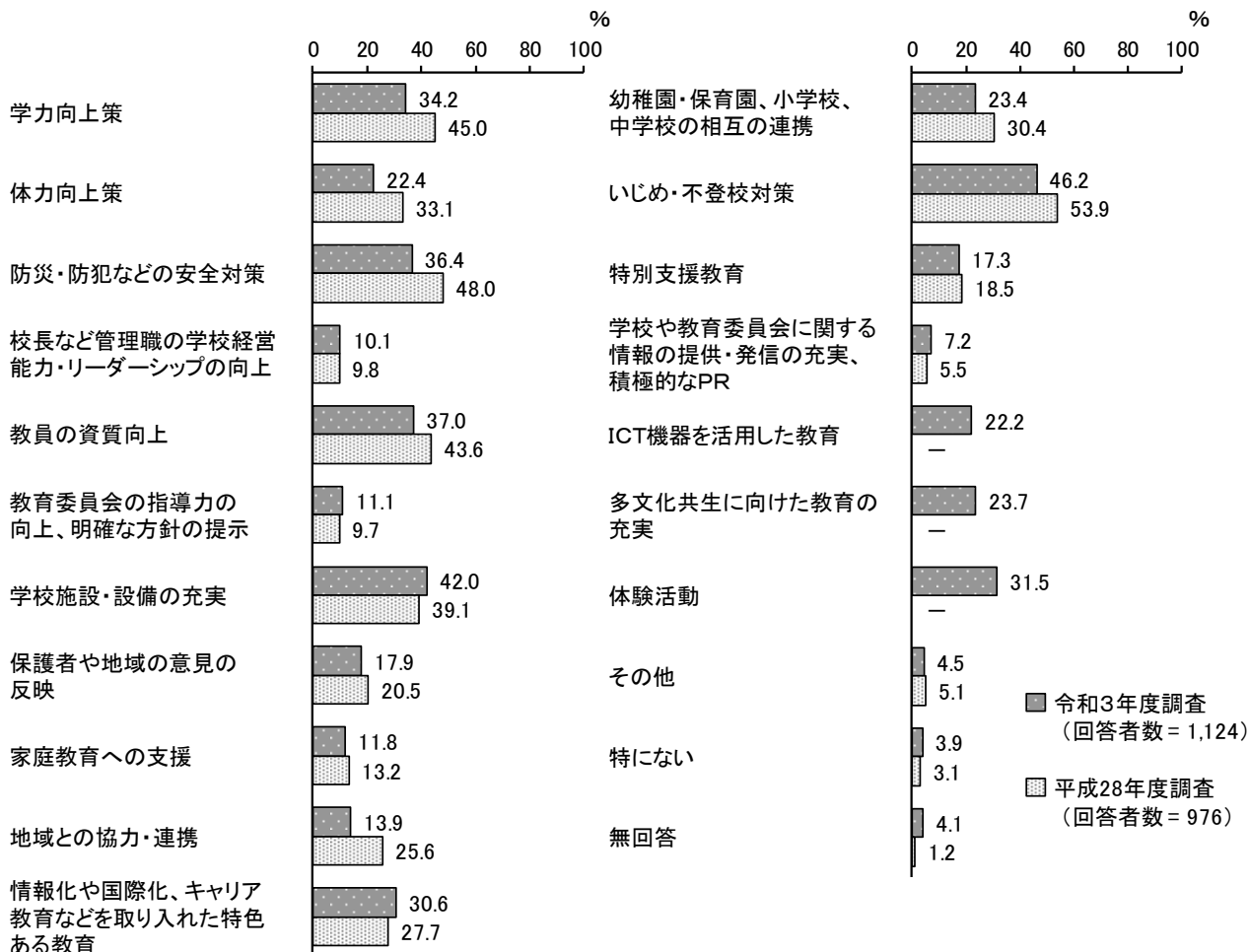
問7 小平市の学校教育で特に力を入れる必要があると思うことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「いじめ・不登校対策」の割合が46.2%と最も高く、次いで「学校施設・設備の充実」の割合が42.0%、「教員の資質向上」の割合が37.0%となっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「学力向上策」「体力向上策」「防災・防犯などの安全対策」「教員の資質向上」「地域との協力・連携」「幼稚園・保育園、小学校、中学校の相互の連携」「いじめ・不登校対策」の割合が減少しています。

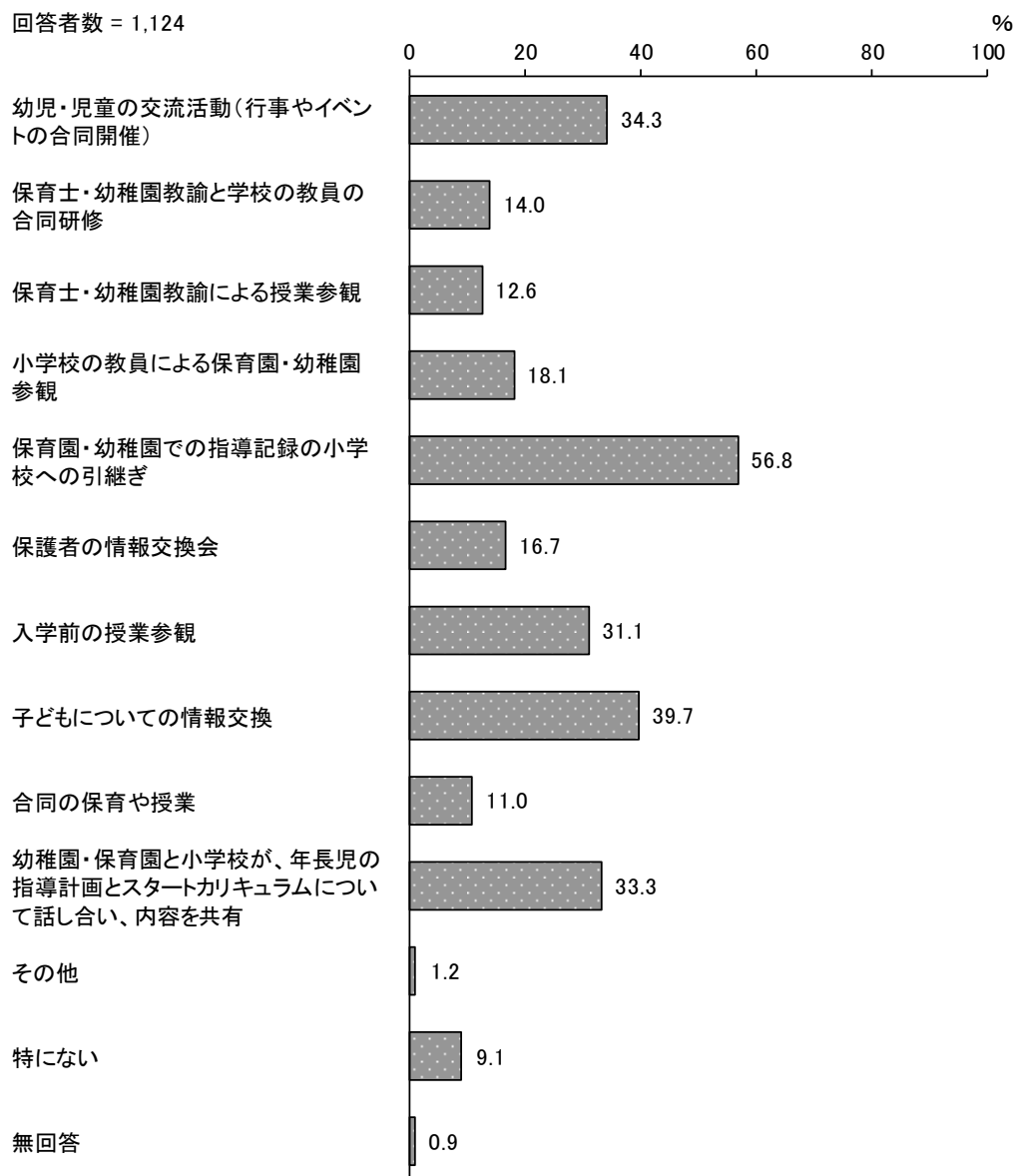


※前回調査に「ICT機器を活用した教育」「多文化共生に向けた教育の充実」「体験活動」の選択肢はありませんでした。

問8 あなたが、幼稚園・保育園と小学校との交流で必要と感じることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

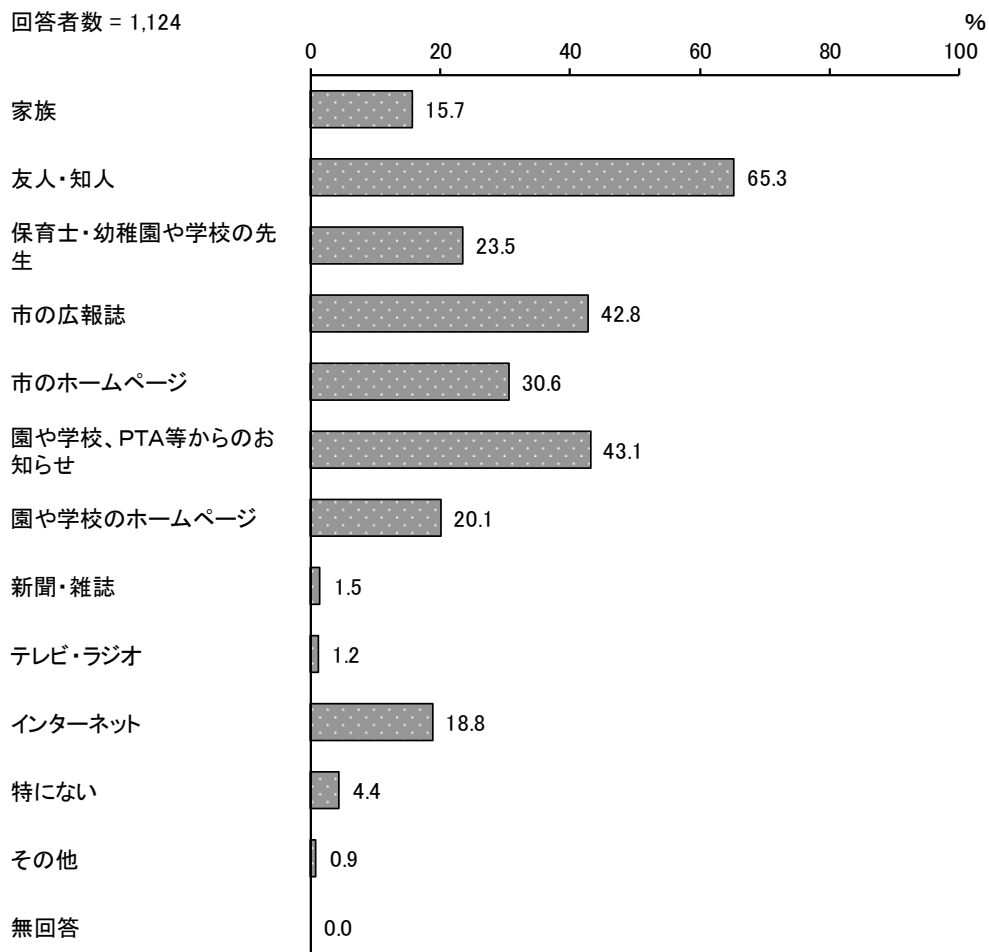
「保育園・幼稚園での指導記録の小学校への引継ぎ」の割合が56.8%と最も高く、次いで「子どもについての情報交換」の割合が39.7%、「幼児・児童の交流活動（行事やイベントの合同開催）」の割合が34.3%となっています。

回答者数 = 1,124



問9 あなたは、小平市の教育や子育てに関する情報をどこで得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

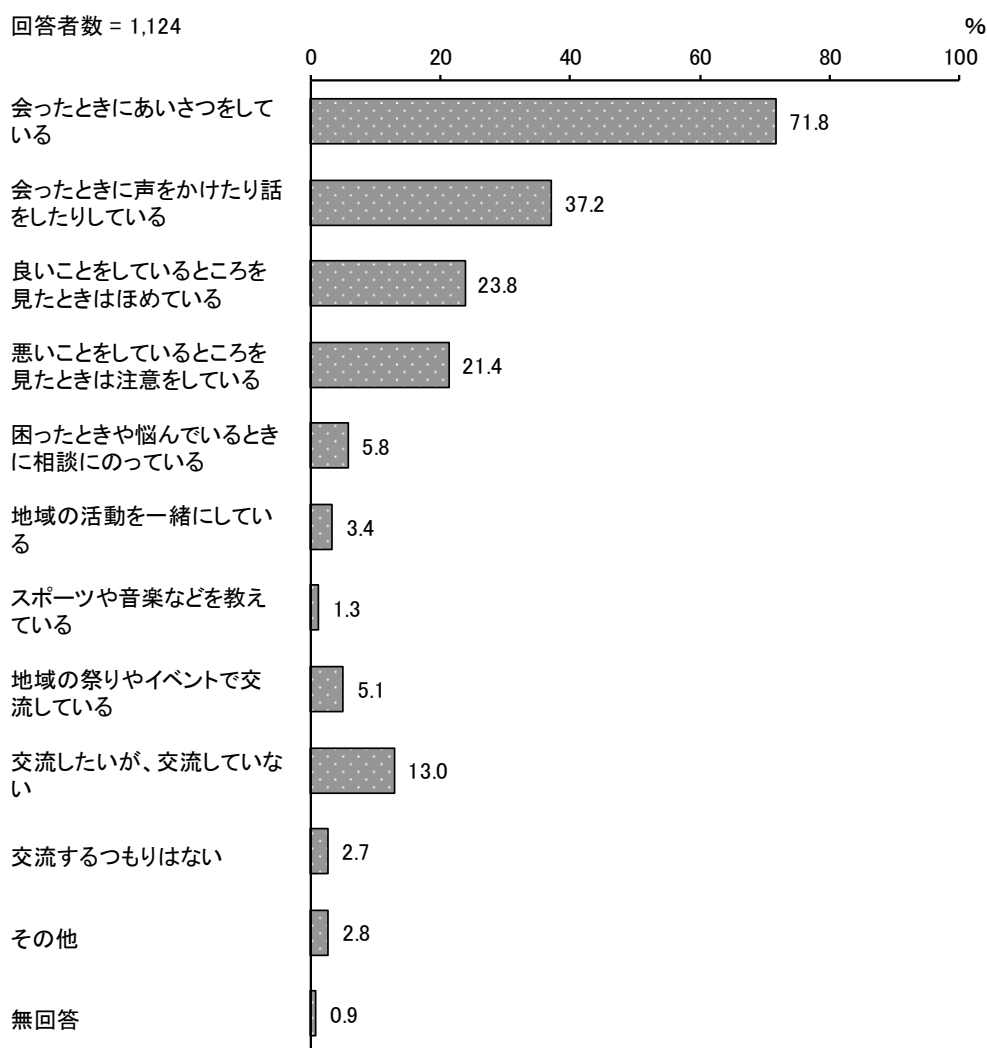
「友人・知人」の割合が65.3%と最も高く、次いで「園や学校、PTA等からのお知らせ」の割合が43.1%、「市の広報誌」の割合が42.8%となっています。



(3) 地域のことについて

問 10 普段、あなたは地域の子どもとどのように接していますか。
(あてはまるすべてに○)

「会ったときにあいさつをしている」の割合が71.8%と最も高く、次いで「会ったときに声をかけたり話をしたりしている」の割合が37.2%、「良いことをしているところを見たときはほめている」の割合が23.8%となっています。



【居住区別】

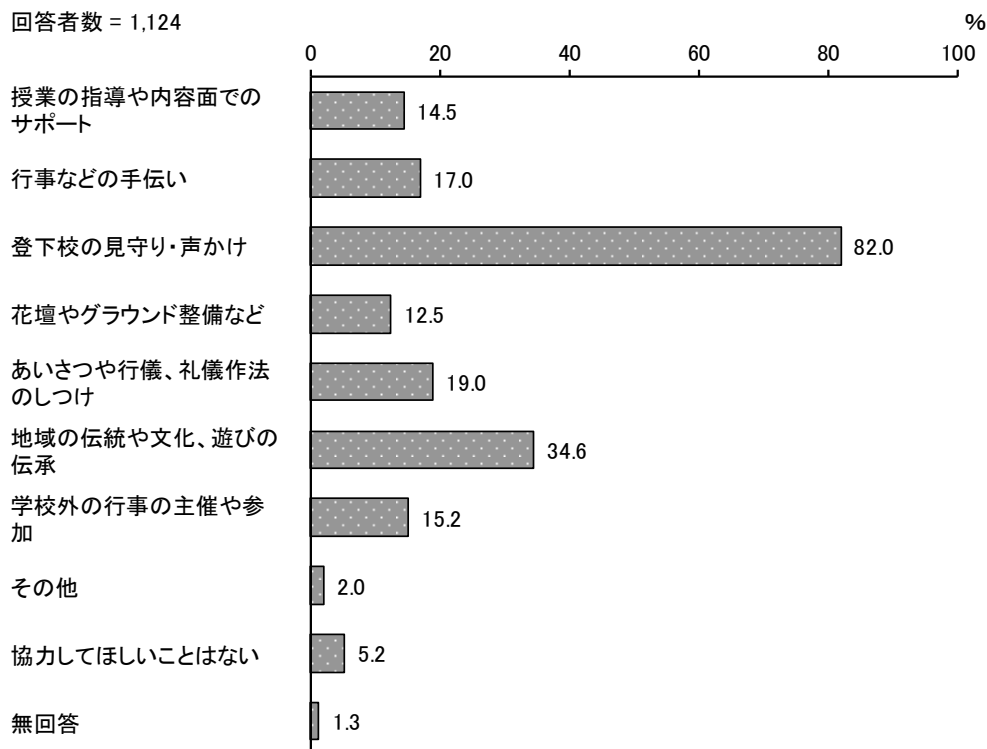
居住区別でみると、他に比べ、中島町で「会ったときに声をかけたり話をしたりしている」「良いことをしているところを見たときはほめている」の割合が、上水新町で「悪いことをしているところを見たときは注意をしている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	会ったときにあいさつをしている	会ったときに声をかけたり話をしたりしている	良いことをしているところを見たときはほめている	悪いことをしているところを見たときは注意をしている	困ったときや悩んでいるときに相談にのっている	地域の活動を一緒にしている	スポーツや音楽などを教えている	地域の祭りやイベントで交流している	交流したいが、交流していない	交流するつもりはない	その他	無回答
中島町	9	66.7	66.7	44.4	22.2	11.1	—	—	—	11.1	—	—	—
上水新町	20	85.0	40.0	40.0	40.0	5.0	10.0	—	10.0	—	—	5.0	—
たかの台	8	62.5	25.0	—	—	—	—	—	—	25.0	12.5	—	—
小川町	132	73.5	41.7	25.0	25.0	6.8	3.8	1.5	3.0	9.1	2.3	4.5	0.8
栄町	15	53.3	26.7	20.0	13.3	—	—	—	—	13.3	—	6.7	6.7
小川西町	19	73.7	42.1	42.1	36.8	5.3	—	—	—	10.5	—	—	5.3
小川東町	51	84.3	47.1	21.6	35.3	5.9	13.7	2.0	3.9	9.8	3.9	—	—
上水本町	79	70.9	32.9	20.3	20.3	6.3	3.8	3.8	3.8	15.2	2.5	1.3	—
上水南町	56	66.1	42.9	21.4	17.9	1.8	5.4	1.8	3.6	19.6	1.8	—	1.8
喜平町	42	76.2	14.3	11.9	14.3	4.8	2.4	—	7.1	16.7	2.4	2.4	—
津田町	27	74.1	48.1	33.3	22.2	11.1	—	—	3.7	11.1	—	—	—
学園西町	46	58.7	32.6	19.6	10.9	2.2	—	—	2.2	21.7	6.5	4.3	2.2
学園東町	49	71.4	34.7	22.4	14.3	2.0	2.0	—	2.0	18.4	2.0	2.0	—
仲町	49	73.5	46.9	28.6	26.5	4.1	2.0	—	6.1	6.1	2.0	8.2	—
美園町	24	75.0	29.2	8.3	12.5	4.2	—	—	8.3	16.7	—	—	—
回田町	43	83.7	34.9	32.6	25.6	9.3	7.0	—	9.3	9.3	2.3	—	—
御幸町	18	77.8	33.3	38.9	22.2	11.1	5.6	5.6	11.1	16.7	—	—	—
鈴木町	119	71.4	30.3	21.0	18.5	5.0	2.5	3.4	5.0	11.8	4.2	5.9	—
天神町	45	73.3	46.7	31.1	31.1	6.7	2.2	2.2	4.4	8.9	4.4	2.2	—
大沼町	61	59.0	23.0	19.7	14.8	1.6	3.3	1.6	3.3	16.4	3.3	6.6	3.3
花小金井南町	60	71.7	38.3	16.7	11.7	6.7	3.3	1.7	6.7	13.3	3.3	—	1.7
花小金井	147	71.4	42.2	26.5	25.2	8.8	2.0	—	8.8	12.9	2.0	1.4	1.4

問 11 学校の教育活動や地域活動について地域に協力してほしいことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「登下校の見守り・声かけ」の割合が82.0%と最も高く、次いで「地域の伝統や文化、遊びの
伝承」の割合が34.6%、「あいさつや行儀、礼儀作法のしつけ」の割合が19.0%となっています。



【居住区別】

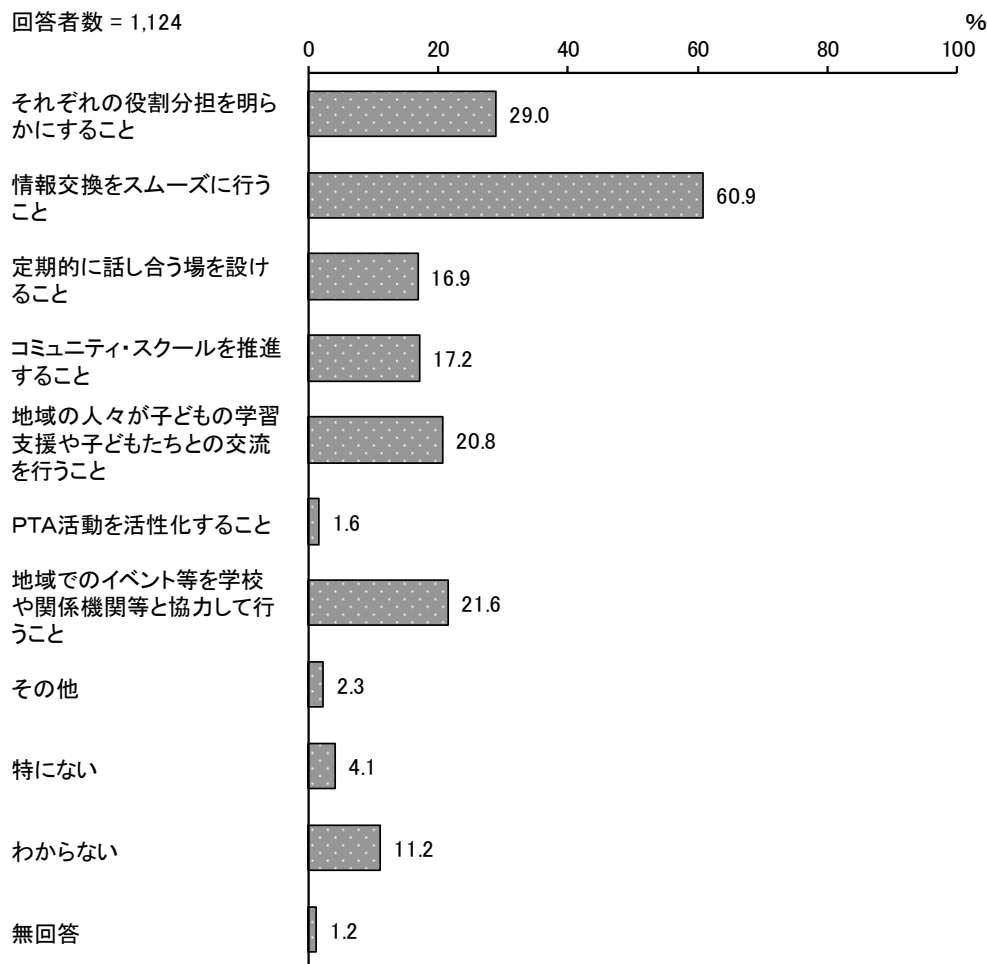
居住区別でみると、他に比べ、たかの台で「花壇やグラウンド整備など」の割合が、美園町で「学校外の行事の主催や参加」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	授業の指導や内容でのサポート	行事などの手伝い	登下校の見守り・声かけ	花壇やグラウンド整備など	あいさつや行儀、礼作法のしつけ	地域の伝統や文化、遊びの伝承	学校外の行事の主催や参加	その他	協力してほしいことはない	無回答
中島町	9	—	11.1	88.9	22.2	33.3	44.4	22.2	—	—	—
上水新町	20	15.0	15.0	90.0	5.0	25.0	40.0	5.0	—	—	—
たかの台	8	12.5	37.5	100.0	37.5	25.0	25.0	12.5	—	—	—
小川町	132	10.6	14.4	79.5	12.1	27.3	37.1	10.6	3.0	4.5	1.5
栄町	15	26.7	6.7	86.7	20.0	6.7	40.0	13.3	—	6.7	6.7
小川西町	19	31.6	21.1	73.7	21.1	26.3	31.6	21.1	—	10.5	—
小川東町	51	17.6	19.6	80.4	19.6	21.6	43.1	11.8	—	9.8	—
上水本町	79	7.6	19.0	91.1	8.9	17.7	32.9	11.4	1.3	3.8	—
上水南町	56	16.1	12.5	91.1	7.1	8.9	26.8	16.1	1.8	—	1.8
喜平町	42	11.9	11.9	81.0	4.8	11.9	31.0	9.5	—	4.8	—
津田町	27	25.9	11.1	96.3	11.1	29.6	33.3	18.5	—	—	—
学園西町	46	10.9	17.4	87.0	10.9	13.0	39.1	21.7	2.2	4.3	2.2
学園東町	49	14.3	20.4	79.6	16.3	16.3	36.7	24.5	2.0	2.0	—
仲町	49	14.3	32.7	87.8	18.4	20.4	49.0	20.4	—	6.1	2.0
美園町	24	8.3	16.7	79.2	8.3	20.8	41.7	37.5	—	4.2	—
回田町	43	11.6	14.0	79.1	11.6	20.9	27.9	11.6	2.3	9.3	—
御幸町	18	11.1	16.7	72.2	16.7	27.8	22.2	5.6	5.6	16.7	—
鈴木町	119	16.8	15.1	78.2	15.1	16.8	30.3	16.0	3.4	7.6	0.8
天神町	45	22.2	11.1	80.0	6.7	22.2	22.2	6.7	2.2	11.1	—
大沼町	61	8.2	18.0	82.0	9.8	21.3	31.1	9.8	4.9	3.3	1.6
花小金井南町	60	13.3	15.0	80.0	11.7	13.3	45.0	20.0	3.3	1.7	5.0
花小金井	147	19.0	19.7	76.9	12.2	16.3	33.3	18.4	1.4	6.1	2.7

問 12 あなたが、学校・家庭・地域の連携のために必要だと思うことは何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

「情報交換をスムーズに行うこと」の割合が 60.9%と最も高く、次いで「それぞれの役割分担を明らかにすること」の割合が 29.0%、「地域でのイベント等を学校や関係機関等と協力して行うこと」の割合が 21.6%となっています。



【居住区別】

居住区別で見ると、他に比べ、たかの台で「それぞれの役割分担を明らかにすること」「地域でのイベント等を学校や関係機関等と協力して行うこと」の割合が、中島町で「情報交換をスムーズに行うこと」の割合が高くなっています。

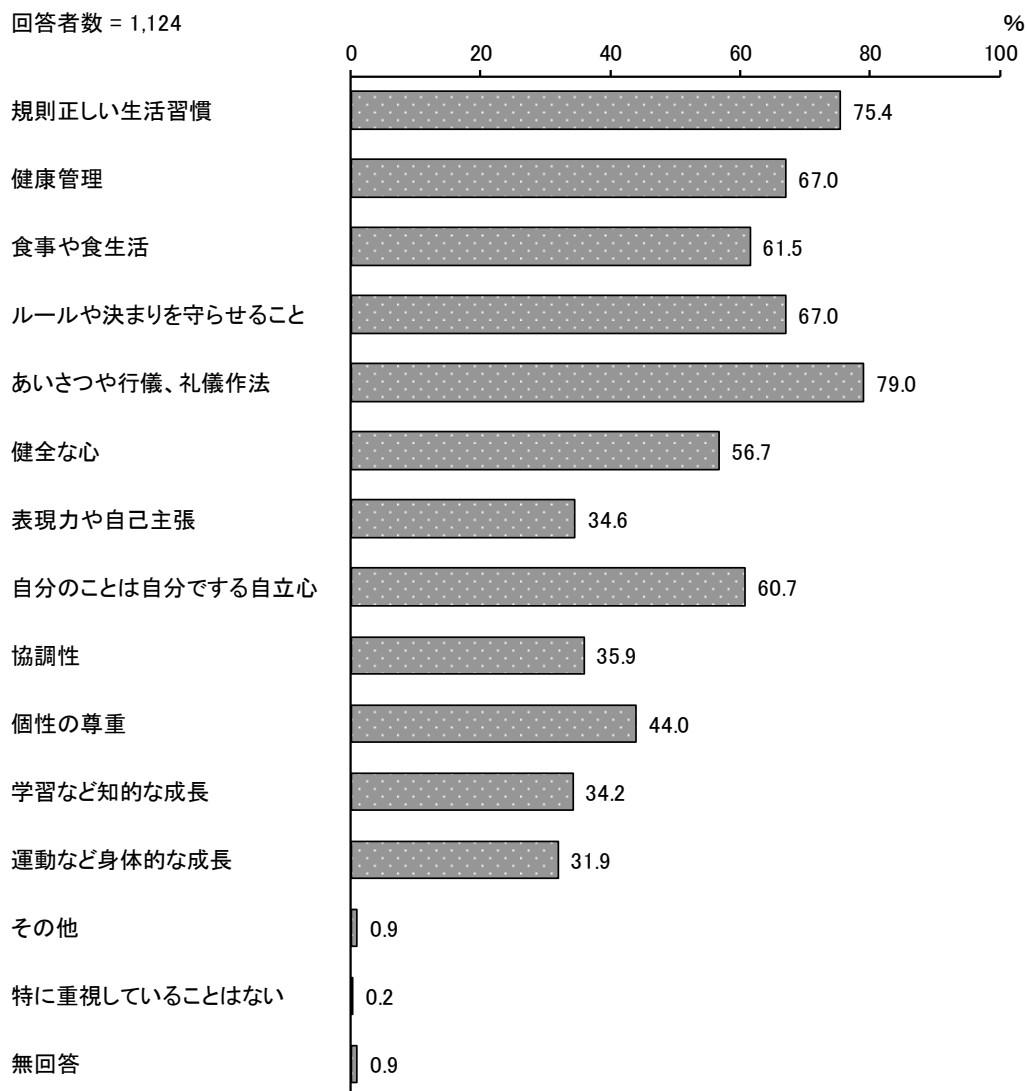
単位：％

区分	回答者数(件)	それぞれの役割分担を明らかにすること	情報交換をスムーズに行うこと	定期的に話し合う場を設けること	コミュニティ・スクール※1を推進すること	地域の人々が子どもたちの学習支援や子どもたちとの交流を行うこと	PTA活動を活性化すること	地域でのイベント等を学校や関係機関等と協力して行うこと	その他	特にない	わからない	無回答
中島町	9	22.2	77.8	11.1	—	11.1	—	22.2	—	11.1	—	11.1
上水新町	20	30.0	70.0	20.0	15.0	20.0	5.0	—	—	10.0	5.0	—
たかの台	8	75.0	62.5	12.5	12.5	25.0	—	50.0	—	—	—	—
小川町	132	32.6	56.8	20.5	16.7	18.2	0.8	22.7	2.3	3.8	12.1	1.5
栄町	15	20.0	40.0	6.7	13.3	20.0	—	13.3	—	6.7	26.7	6.7
小川西町	19	36.8	52.6	21.1	21.1	26.3	10.5	—	5.3	5.3	—	—
小川東町	51	37.3	62.7	29.4	23.5	21.6	2.0	19.6	2.0	3.9	9.8	—
上水本町	79	24.1	60.8	21.5	21.5	12.7	1.3	16.5	2.5	10.1	11.4	—
上水南町	56	17.9	57.1	10.7	21.4	12.5	—	19.6	5.4	—	23.2	1.8
喜平町	42	33.3	54.8	16.7	11.9	14.3	2.4	19.0	—	4.8	16.7	2.4
津田町	27	22.2	70.4	18.5	18.5	14.8	—	22.2	—	—	7.4	3.7
学園西町	46	37.0	58.7	26.1	10.9	26.1	—	23.9	2.2	4.3	13.0	—
学園東町	49	28.6	61.2	12.2	14.3	26.5	2.0	26.5	2.0	2.0	10.2	—
仲町	49	18.4	65.3	20.4	24.5	26.5	2.0	36.7	—	4.1	6.1	2.0
美園町	24	29.2	54.2	16.7	25.0	25.0	—	29.2	4.2	8.3	4.2	—
回田町	43	37.2	48.8	14.0	11.6	20.9	4.7	18.6	4.7	7.0	23.3	—
御幸町	18	16.7	66.7	11.1	27.8	22.2	5.6	5.6	5.6	5.6	11.1	—
鈴木町	119	28.6	62.2	16.8	16.0	21.0	3.4	20.2	1.7	3.4	12.6	0.8
天神町	45	24.4	55.6	11.1	11.1	15.6	—	24.4	—	2.2	20.0	2.2
大沼町	61	32.8	68.9	13.1	11.5	18.0	1.6	24.6	3.3	—	6.6	3.3
花小金井南町	60	23.3	58.3	11.7	8.3	28.3	—	31.7	3.3	5.0	10.0	1.7
花小金井	147	30.6	67.3	13.6	21.8	25.9	0.7	19.7	2.7	3.4	5.4	0.7

(4) 家庭教育について

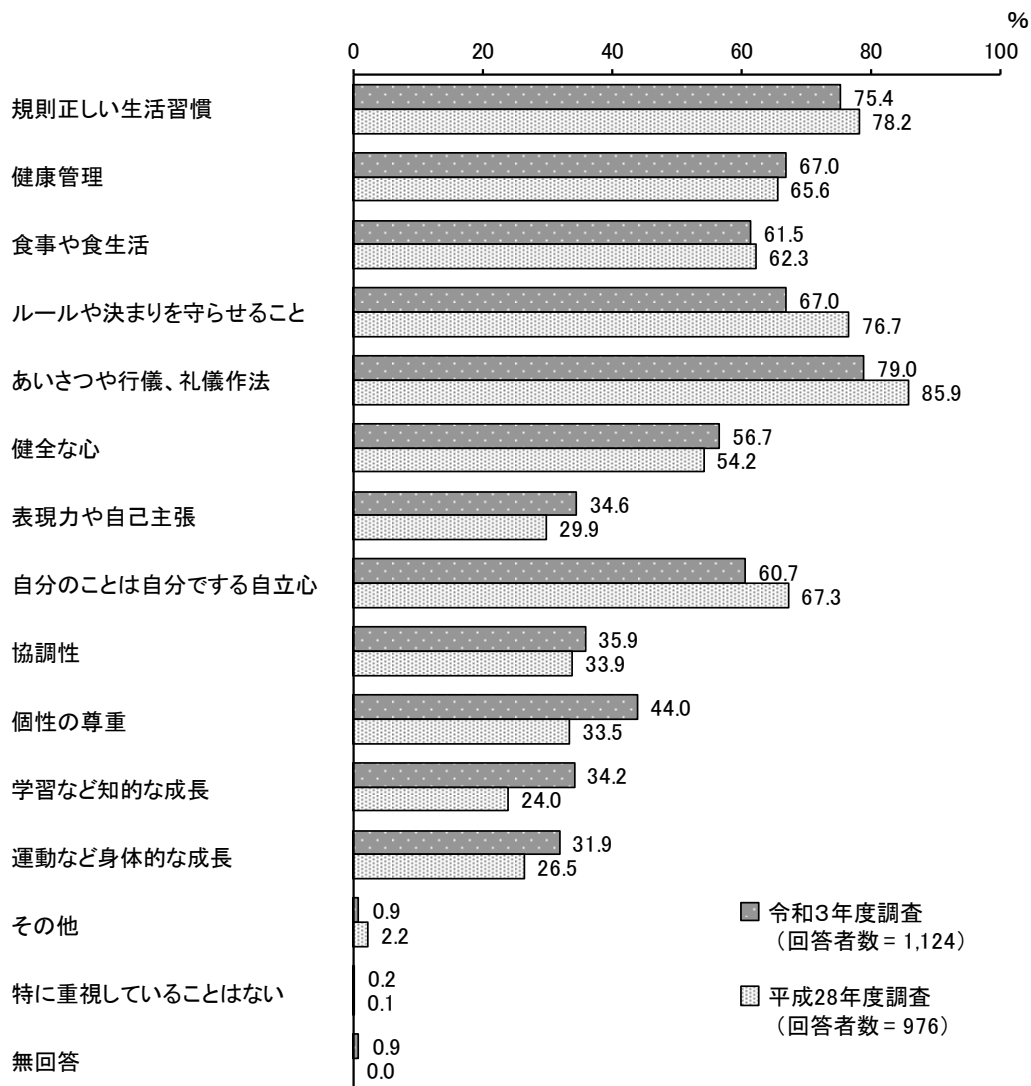
問 13-1 家庭教育で重視していることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「あいさつや行儀、礼儀作法」の割合が79.0%と最も高く、次いで「規則正しい生活習慣」の割合が75.4%、「健康管理」、「ルールや決まりを守らせること」の割合が67.0%となっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「個性の尊重」「学習など知的な成長」「運動など身体的な成長」の割合が増加しています。一方、「ルールや決まりを守らせること」「あいさつや行儀、礼儀作法」「自分のことは自分とする自立心」の割合が減少しています。



【保育園・幼稚園別】

保育園・幼稚園別でみると、保育園に比べ、幼稚園で「規則正しい生活習慣」「ルールや決まりを守らせること」「健全な心」「自分のことは自分とする自立心」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	規則正しい生活習慣	健康管理	食事や食生活	ルールや決まりを守らせること	あいさつや行儀、礼儀作法	健全な心	表現力や自己主張	自分のことは自分とする自立心	協調性	個性の尊重	学習など知的な成長	運動など身体的な成長	その他	特に重視していることはない	無回答
幼稚園	660	78.6	68.0	62.4	69.8	80.9	59.1	34.4	63.0	36.7	43.5	35.3	33.9	0.8	0.3	0.8
保育園	456	70.6	65.6	59.9	62.9	76.1	52.9	34.6	57.0	35.3	44.7	32.9	29.4	1.1	—	1.1

【続柄別】

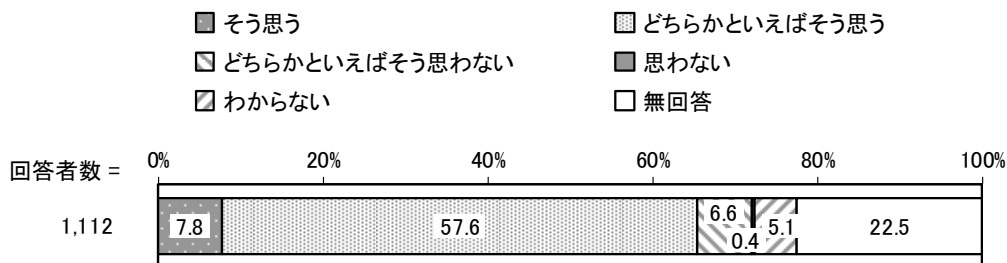
続柄別でみると、他に比べ、父親で「学習など知的な成長」「運動など身体的な成長」の割合が、母親で「規則正しい生活習慣」「健康管理」「あいさつや行儀、礼儀作法」高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	規則正しい生活習慣	健康管理	食事や食生活	ルールや決まりを守らせること	あいさつや行儀、礼儀作法	健全な心	表現力や自己主張	自分のことは自分とする自立心	協調性	個性の尊重	学習など知的な成長	運動など身体的な成長	その他	特に重視していることはない	無回答
父親	88	70.5	54.5	53.4	68.2	70.5	50.0	36.4	53.4	39.8	37.5	48.9	40.9	—	—	1.1
母親	1018	75.6	68.1	62.2	67.2	79.8	57.2	34.5	61.5	35.8	44.6	33.3	31.4	1.0	0.2	0.9
祖父母	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	10	90.0	60.0	60.0	50.0	70.0	60.0	10.0	30.0	30.0	40.0	—	10.0	—	—	—

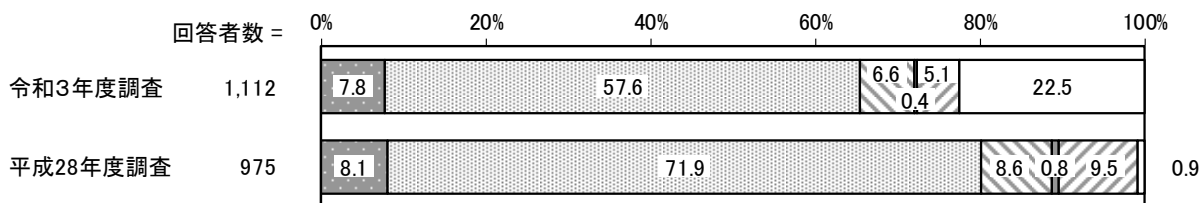
問 13- 2 【問 13- 1で「1」～「13」に○をつけたときに教えてください】
ご家庭でそれをできていると思いますか。（1つに○）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が 65.4%、「どちらかといえばそう思わない」と「思わない」をあわせた“思わない”の割合が 7.0%となっています。



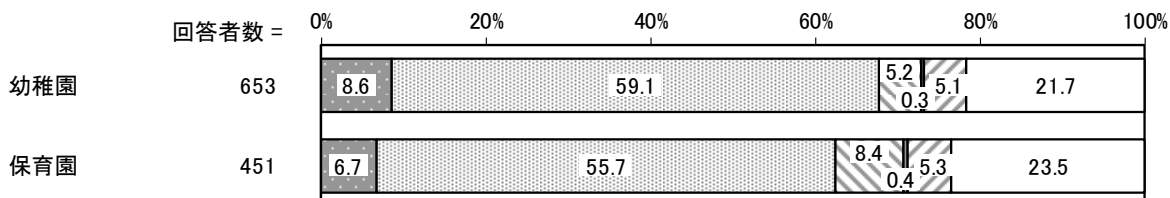
【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、“そう思う”の割合が減少しています。



【保育園・幼稚園別】

保育園・幼稚園別で見ると、保育園に比べ、幼稚園で“そう思う”の割合が高くなっています。



自由記述（5歳児童の保護者）

有効回答数 1124 票中 318 票に回答がありました。

意見要望の多いものを以下に掲載します。（1票の中に複数の項目にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は318件より多くなっています）。

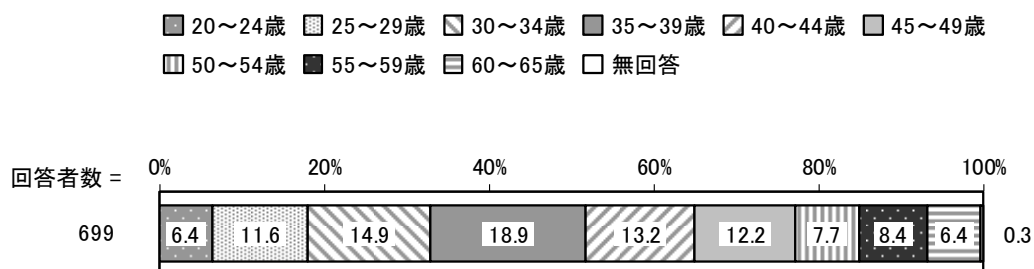
項目	件数
教育内容について	
オンライン授業、ICTを活用してほしい	31
学力以外の教育に力を入れてほしい	22
体験活動を充実させてほしい	13
学力向上に力を入れてほしい	12
特色ある学校・教育を推進してほしい	8
教員等について	
教員の指導・育成、支援が必要である	20
教員の多忙化の解消	15
教育行政について	
情報が欲しい	29
学校間の差をなくして欲しい	12
その他（教育行政）	37
放課後の過ごし方について	
子どもの居場所について	13
遊び場を確保してほしい	7
子どもたちへの対応について	
いじめ・不登校対策をしっかりと行ってほしい	11
困っている家庭の支援（ネグレクトなど）を行う	4
保護者と教員の連携（PTA等）について	31
家庭・地域との連携について	22
登下校の安全対策について	20
特別支援教育について	18
感染症について	17
幼保小の連携について	12
学校設備について	12
給食について	8
安全・安心に関することについて	6
現状への感謝など	15
調査について	6
その他	30
総数	431

4 小・中学校の教員

(1) 回答者属性

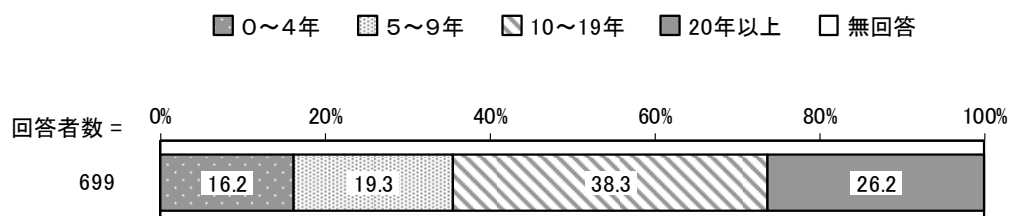
問1 あなたの年齢を教えてください。(1つに〇)

「35～39歳」の割合が18.9%と最も高く、次いで「30～34歳」の割合が14.9%、「40～44歳」の割合が13.2%となっています。



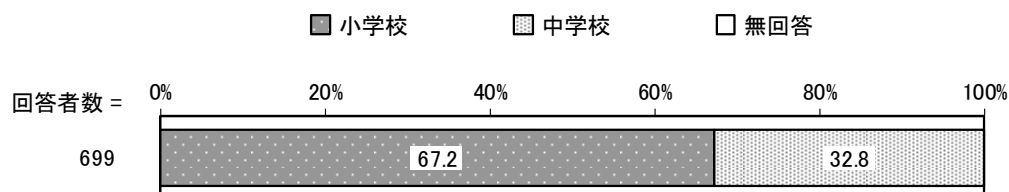
問2 教員としての経験年数を教えてください。(1つに〇)

「10～19年」の割合が38.3%と最も高く、次いで「20年以上」の割合が26.2%、「5～9年」の割合が19.3%となっています。



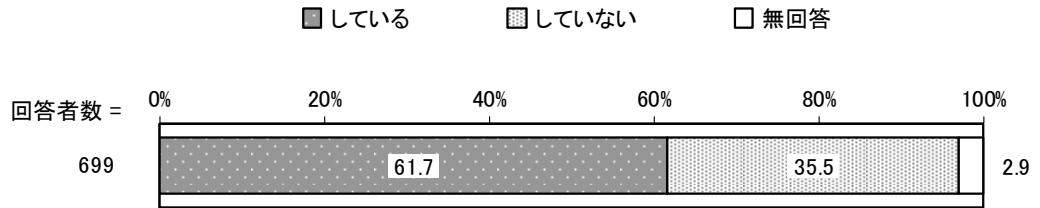
問3 勤務している学校はどちらですか。(1つに〇)

「小学校」の割合が67.2%、「中学校」の割合が32.8%となっています。



問4-1 現在、担任をしていますか。(1つに○)

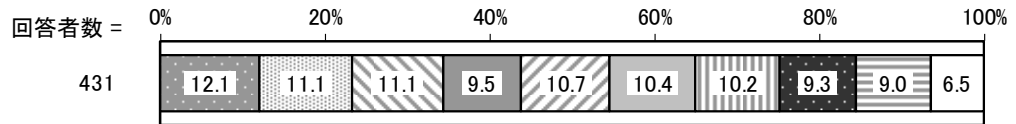
「している」の割合が61.7%、「していない」の割合が35.5%となっています。



問4-2 【問4-1で、「(担任を) している」に○をつけたときに教えてください】
学年は何年生ですか。

「小学校1年生」の割合が12.1%と最も高く、次いで「小学校2年生」、「小学校3年生」の割合が11.1%となっています。

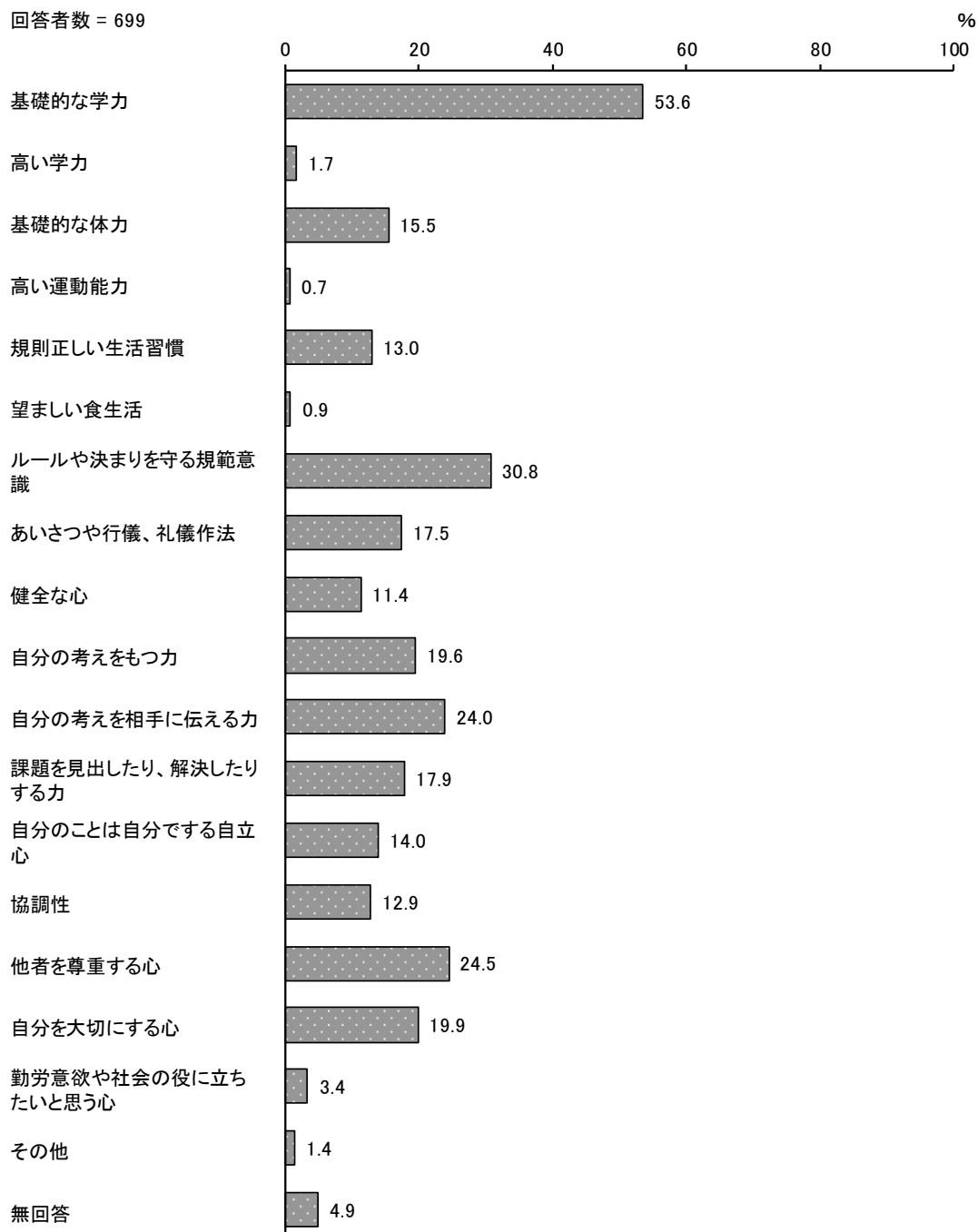
- 小学校1年生
- 小学校2年生
- 小学校3年生
- 小学校4年生
- 小学校5年生
- 小学校6年生
- 中学校1年生
- 中学校2年生
- 中学校3年生
- 無回答



(2) 小平市の教育について

問5 あなたの学校で、あなたが子どもに特に身に付けさせる必要があると思うことはなんですか。(あてはまるもの3つに○)

「基礎的な学力」の割合が53.6%と最も高く、次いで「ルールや決まりを守る規範意識」の割合が30.8%、「他者を尊重する心」の割合が24.5%となっています。



【経験年数別】

経験年数別で見ると、他に比べ、20年以上で「基礎的な学力」の割合が、0～4年で「ルールや決まりを守る規範意識」の割合が高くなっています。また、10～19年で「自分の考えをもつ力」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	基礎的な学力	高い学力	基礎的な体力	高い運動能力	規則正しい生活習慣	望ましい食生活	ルールや決まりを守る 規範意識	あいさつや行儀、 礼儀作法	健全な心
0～4年	113	48.7	1.8	10.6	—	9.7	1.8	46.9	18.6	8.0
5～9年	135	53.3	3.0	17.8	—	14.1	0.7	36.3	22.2	12.6
10～19年	268	50.4	0.7	14.9	1.5	12.7	0.7	25.4	18.7	10.8
20年以上	183	61.7	2.2	17.5	0.5	14.8	0.5	24.6	11.5	13.7

区分	自分の考えをもつ力	自分の考えを相手に 伝える力	課題を見出したり、 解決したりする力	自分のことは自分で する自立心	協調性	他者を尊重する心	自分を大切に する心	勤労意欲や社会の役 に立ちたいと思つ心	その他	無回答
0～4年	18.6	22.1	15.9	18.6	16.8	29.2	20.4	1.8	0.9	2.7
5～9年	14.1	20.0	20.0	12.6	17.0	23.7	17.8	3.7	—	3.7
10～19年	22.8	27.6	16.8	13.8	11.9	24.3	18.7	2.2	3.0	6.3
20年以上	19.7	23.0	19.1	12.6	8.7	22.4	23.0	6.0	0.5	4.9

【小中学校別】

小中学校別でみると、小学校に比べ、中学校で「あいさつや行儀、礼儀作法」の割合が高くなっています。一方、中学校に比べ、小学校で「自分の考えを相手に伝える力」「他者を尊重する心」の割合が高くなっています。

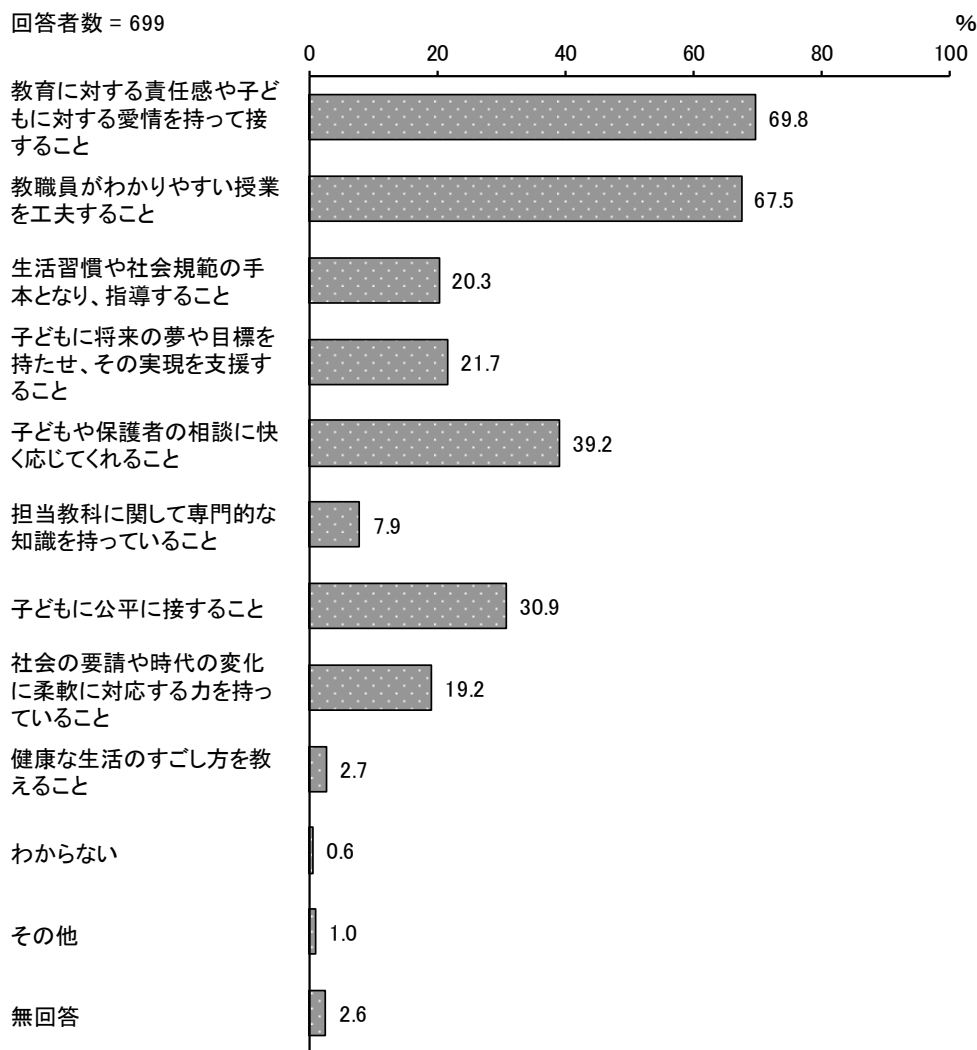
単位：％

区分	回答者数(件)	基礎的な学力	高い学力	基礎的な体力	高い運動能力	規則正しい生活習慣	望ましい食生活	ルールや決まりを守る規範意識	あいさつや行儀、礼儀作法	健全な心
小学校	470	54.7	1.3	15.7	0.2	11.3	1.3	31.5	14.7	9.4
中学校	229	51.5	2.6	14.8	1.7	16.6	—	29.3	23.1	15.7

区分	自分の考えをもつ力	自分の考えを相手に伝える力	課題を見出したり、解決したりする力	自分のことは自分でする自立心	協調性	他者を尊重する心	自分を大切にする心	勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心	その他	無回答
小学校	20.6	27.0	18.3	13.8	14.0	26.2	18.5	2.8	1.3	4.9
中学校	17.5	17.9	17.0	14.4	10.5	21.0	22.7	4.8	1.7	4.8

問6 あなたは、子どもたちや保護者が学校に対してどのようなことを望んでいると思いますか。(主なもの3つまで○)

「教育に対する責任感や子どもに対する愛情を持って接すること」の割合が69.8%と最も高く、次いで「教職員がわかりやすい授業を工夫すること」の割合が67.5%、「子どもや保護者の相談に快く応じてくれること」の割合が39.2%となっています。



【経験年数別】

経験年数別でみると、他に比べ、0～4年で「生活習慣や社会規範の手本となり、指導すること」の割合が、5～9年で「教育に対する責任感や子どもに対する愛情を持って接すること」の割合が高くなっています。また、20年以上で「子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	教育に対する責任感や子どもに対する愛情を持って接すること	教職員がわかりやすい授業を工夫すること	生活習慣や社会規範の手本となり、指導すること	子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること	子どもや保護者の相談に快く応じてくれること	担当教科に関して専門的な知識を持っていること	子どもに公平に接すること	社会の要請や時代の変化に柔軟に対応する力を持っていること	健康な生活のすこし方を教えること	わからない	その他	無回答
0～4年	113	69.0	54.0	34.5	22.1	38.1	3.5	34.5	23.9	2.7	0.9	0.9	1.8
5～9年	135	76.3	68.1	28.1	11.9	36.3	8.9	29.6	22.2	2.2	—	1.5	0.7
10～19年	268	67.5	72.4	13.1	19.0	41.8	7.8	31.7	20.9	3.7	0.4	0.7	3.4
20年以上	183	68.9	68.3	16.4	32.8	38.3	9.8	28.4	11.5	1.6	1.1	1.1	3.3

【小中学校別】

小中学校別でみると、小学校に比べ、中学校で「子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること」の割合が高くなっています。一方、中学校に比べ、小学校で「教育に対する責任感や子どもに対する愛情を持って接すること」「教職員がわかりやすい授業を工夫すること」「子どもや保護者の相談に快く応じてくれること」の割合が高くなっています。

単位：%

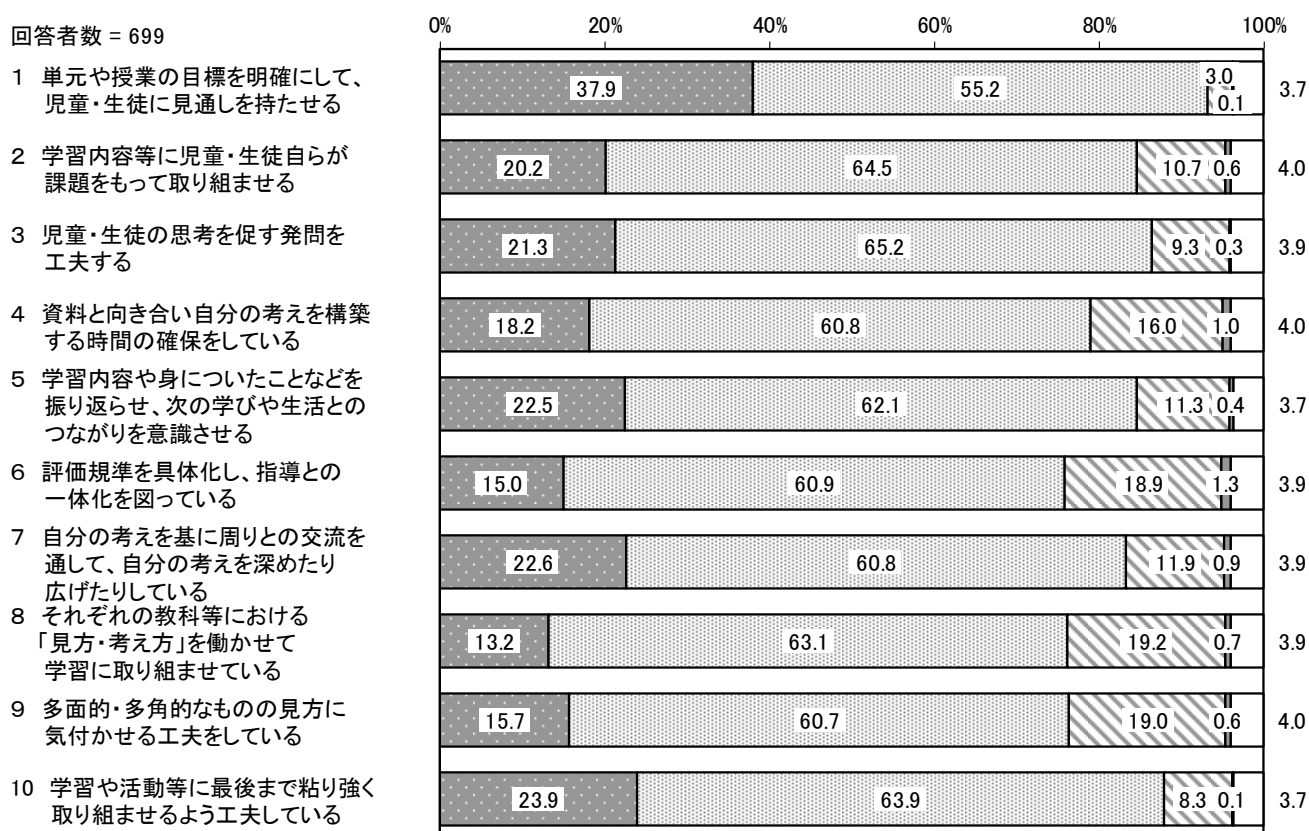
区分	回答者数(件)	教育に対する責任感や子どもに対する愛情を持って接すること	教職員がわかりやすい授業を工夫すること	生活習慣や社会規範の手本となり、指導すること	子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること	子どもや保護者の相談に快く応じてくれること	担当教科に関して専門的な知識を持っていること	子どもに公平に接すること	社会の要請や時代の変化に柔軟に対応する力を持っていること	健康な生活のすこし方を教えること	わからない	その他	無回答
小学校	470	71.5	69.6	20.9	16.2	42.6	6.4	30.4	19.8	1.7	0.4	1.3	2.3
中学校	229	66.4	63.3	19.2	33.2	32.3	10.9	31.9	17.9	4.8	0.9	0.4	3.1

問7 「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、次のことであてはまるものに、それぞれ1つだけ○)

『単元や授業の目標を明確にして、児童・生徒に見通しを持たせる』で「できている」と「どちらかというのできている」をあわせた“できている”の割合が高くなっています。一方、『評価基準を具体化し、指導との一体化を図っている』『それぞれの教科等における「見方・考え方」を働かせて学習に取り組ませている』『多面的・多角的なものの見方に気付かせる工夫をしている』で「どちらかというのできていない」と「できていない」をあわせた“できていない”の割合が高くなっています。

- できている
- ▨ どちらかというのできている
- ▩ どちらかというのできていない
- できていない
- 無回答

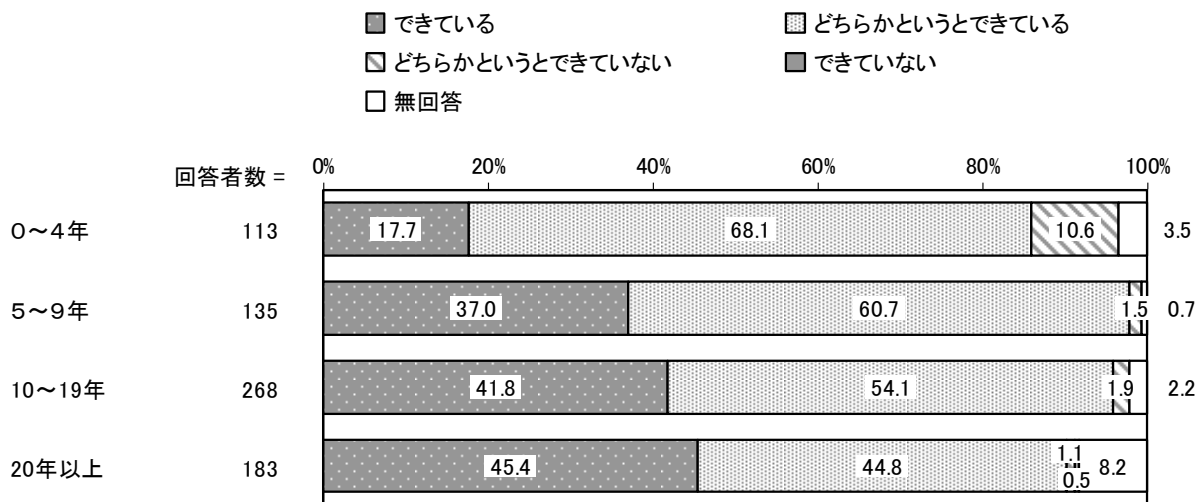
回答者数 = 699



1 単元や授業の目標を明確にして、児童・生徒に見通しを持たせる

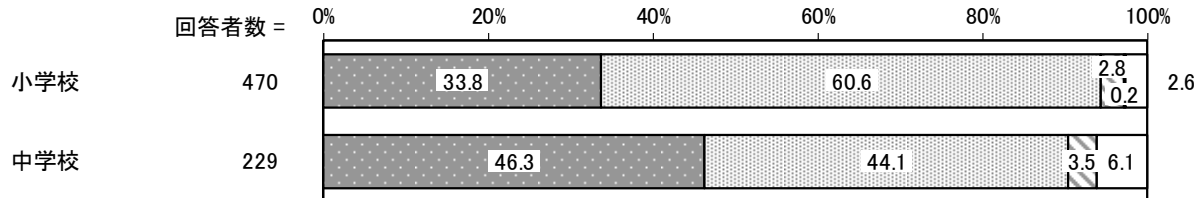
【経験年数別】

経験年数別で見ると、他に比べ、0～4年で“できていない”の割合が高くなっています。



【小中学校別】

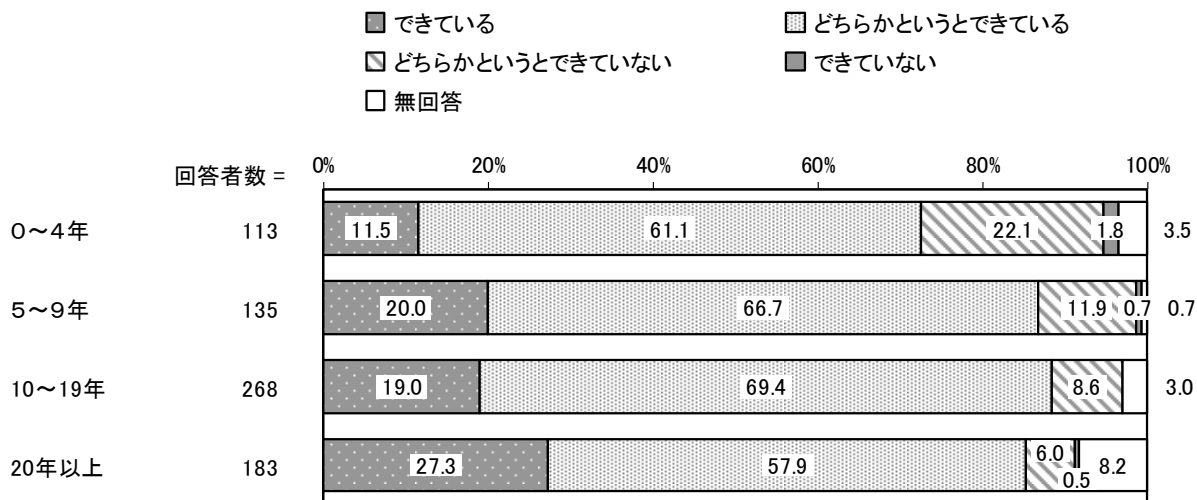
小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



2 学習内容等に児童・生徒自らが課題をもって取り組ませる

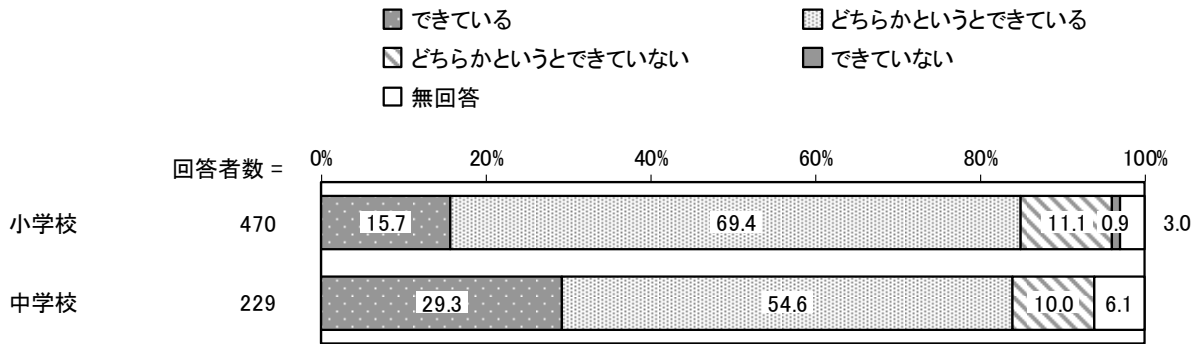
【経験年数別】

経験年数別で見ると、他に比べ、0～4年で“できていない”の割合が高くなっています。



【小中学校別】

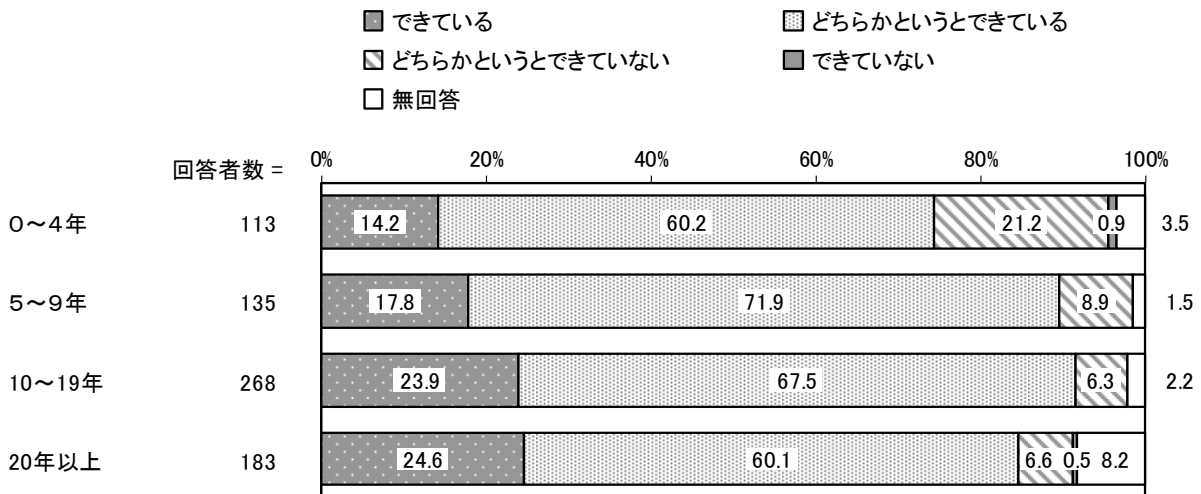
小中学校別でみると、大きな差異はみられません。



3 児童・生徒の思考を促す発問を工夫する

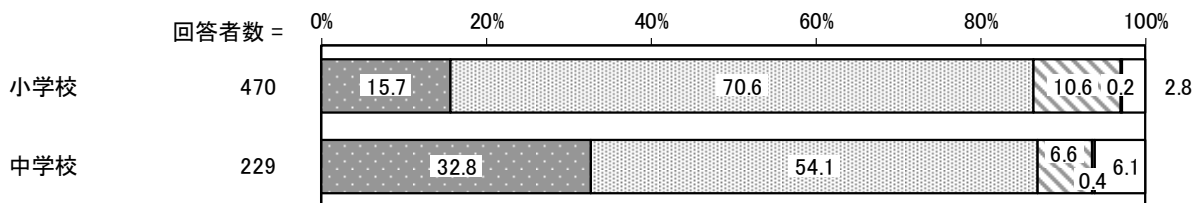
【経験年数別】

経験年数別でみると、他に比べ、0～4年で“できていない”の割合が高くなっています。



【小中学校別】

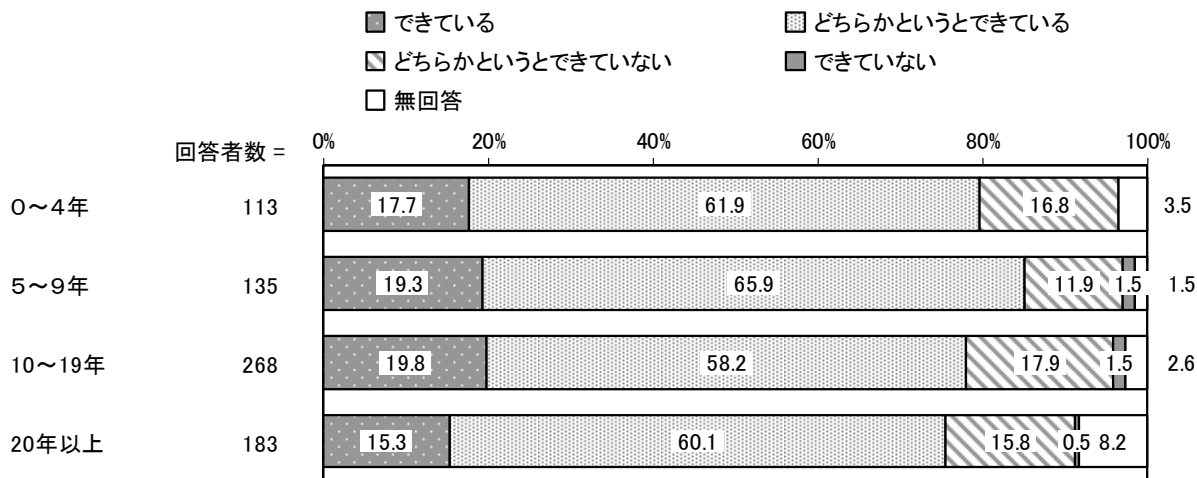
小中学校別でみると、大きな差異はみられません。



4 資料と向き合い自分の考えを構築する時間の確保をしている

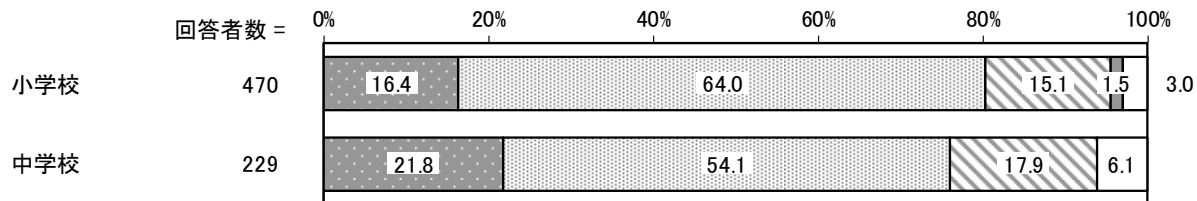
【経験年数別】

経験年数別で見ると、他に比べ、5～9年で“できている”の割合が高くなっています。



【小中学校別】

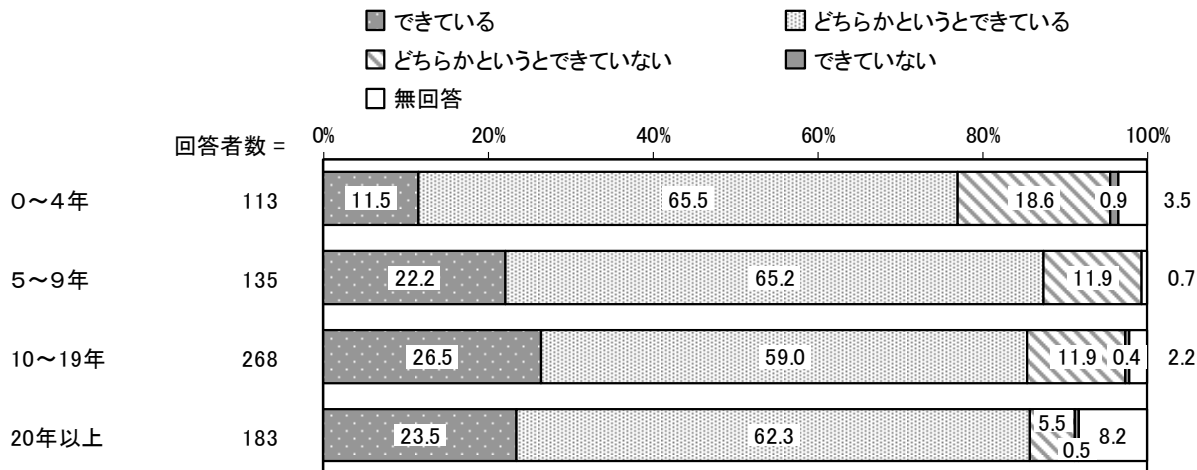
小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



5 学習内容や身についたことなどを振り返らせ、次の学びや生活とのつながりを意識させる

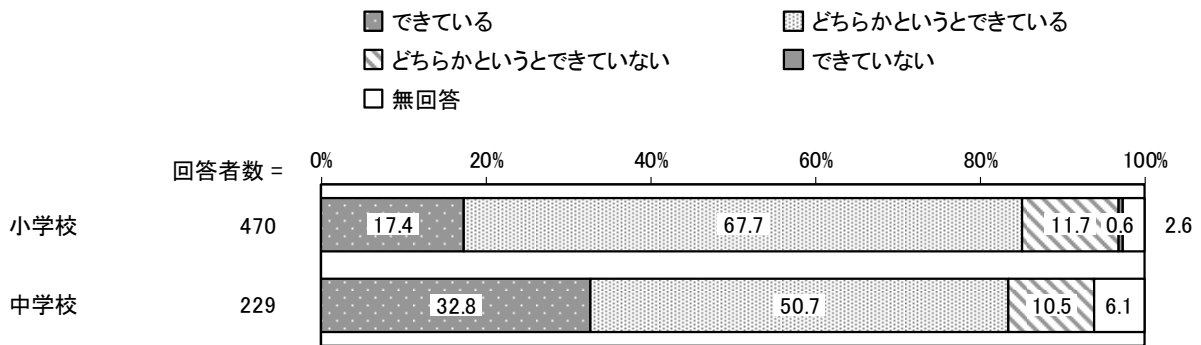
【経験年数別】

経験年数別で見ると、他に比べ、0～4年で“できていない”の割合が高くなっています。



【小中学校別】

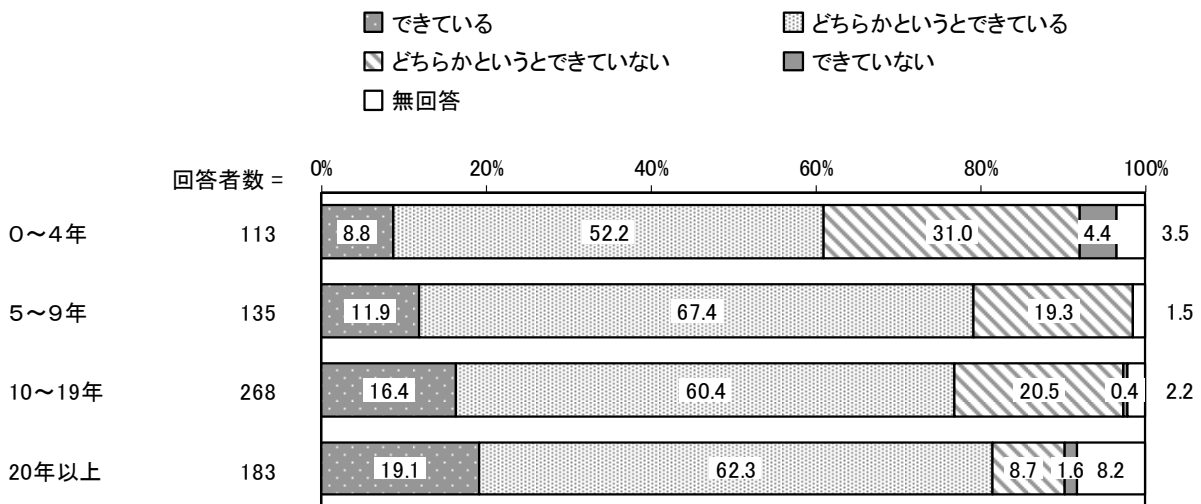
小中学校別でみると、大きな差異はみられません。



6 評価規準を具体化し、指導との一体化を図っている

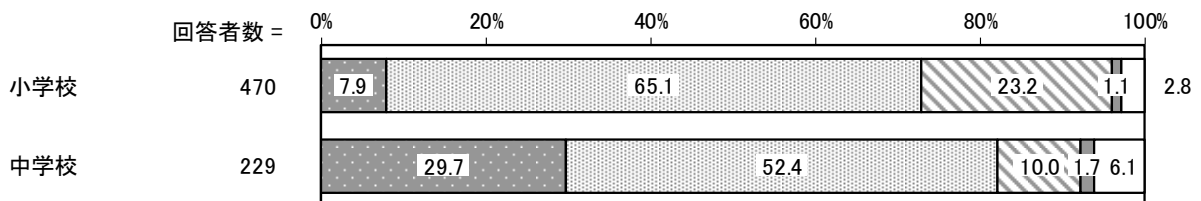
【経験年数別】

経験年数別でみると、他に比べ、0～4年で“できていない”の割合が高くなっています。



【小中学校別】

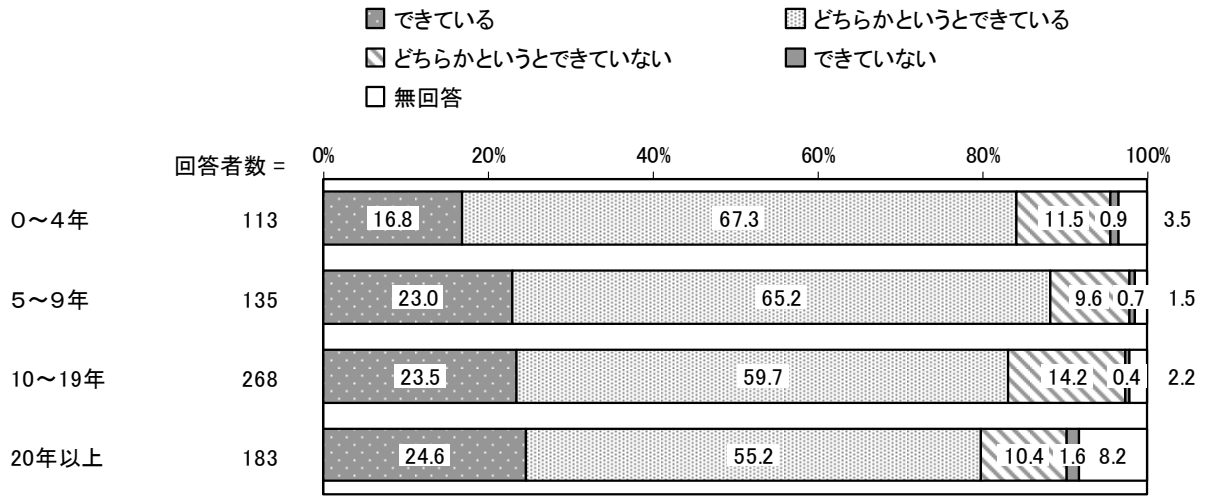
小中学校別でみると、小学校に比べ、中学校で“できている”の割合が高くなっています。



7 自分の考えを基に周りとの交流を通して、自分の考えを深めたり広げたりしている

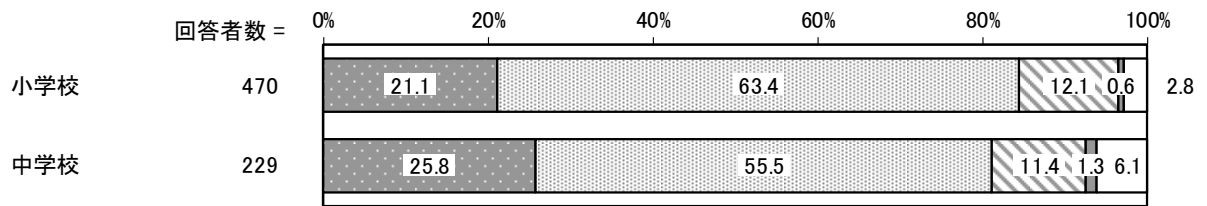
【経験年数別】

経験年数別でみると、他に比べ、5～9年“できている”の割合が高くなっています。



【小中学校別】

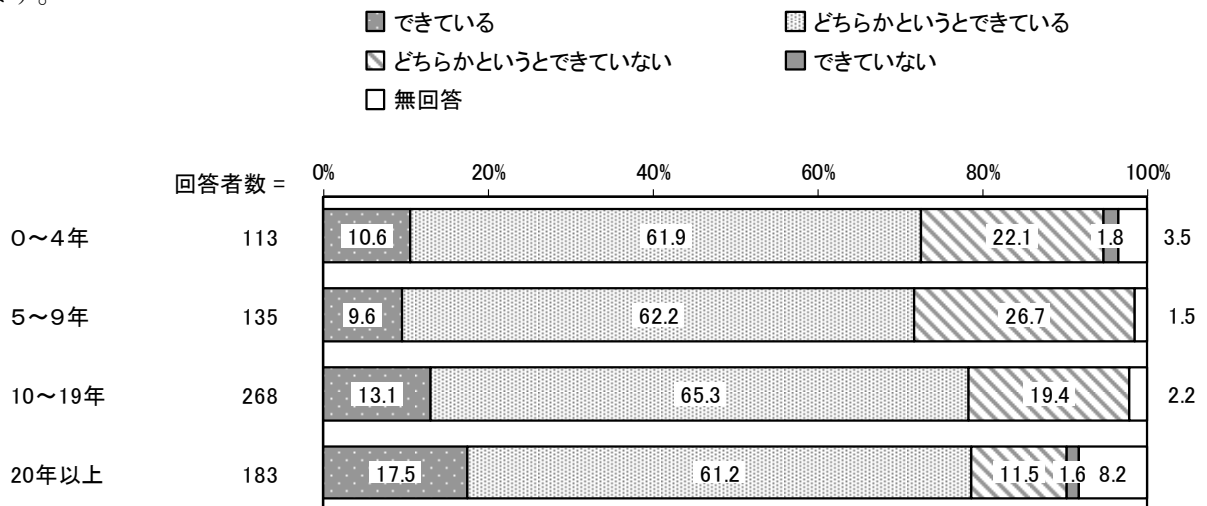
小中学校別でみると、大きな差異はみられません。



8 それぞれの教科等における「見方・考え方」を働かせて学習に取り組ませている

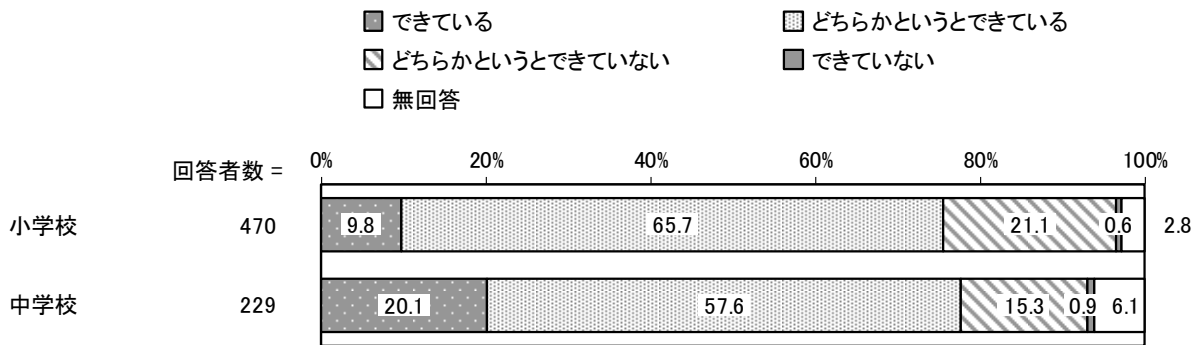
【経験年数別】

経験年数別でみると、他に比べ、10～19年、20年以上で“できている”の割合が高くなっています。



【小中学校別】

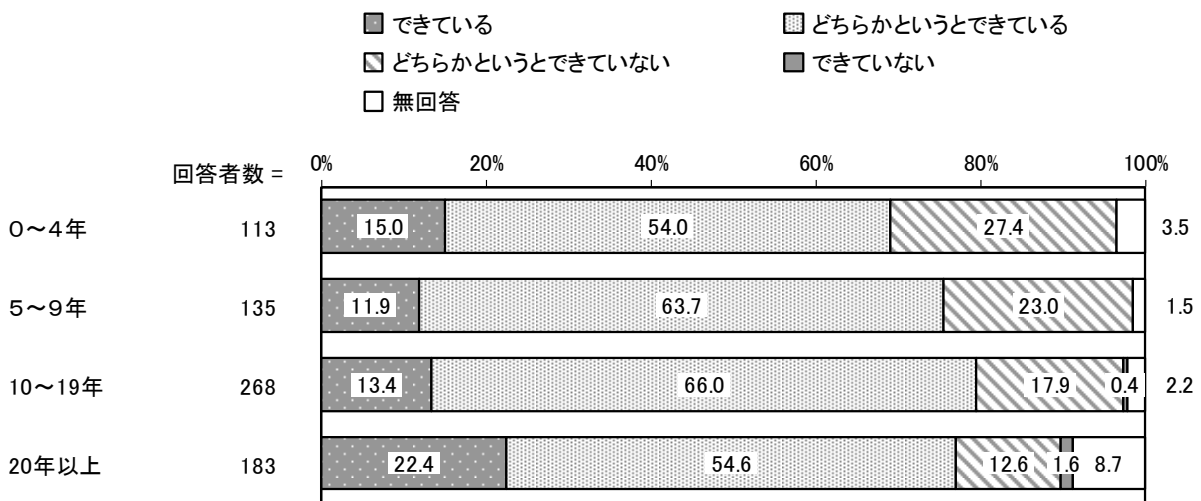
小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で“できていない”の割合が高くなっています。



9 多面的・多角的なものの見方に気付かせる工夫をしている

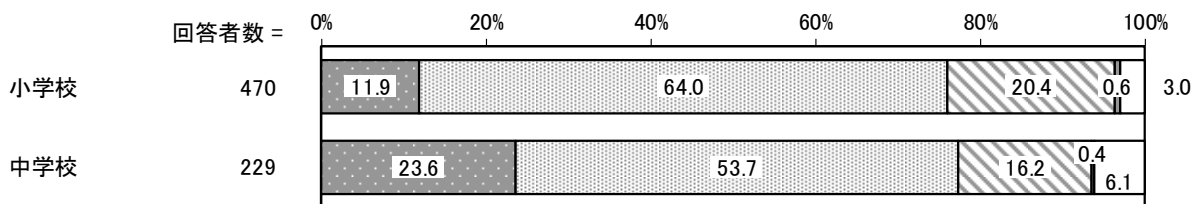
【経験年数別】

経験年数別でみると、大きな差異はみられません。



【小中学校別】

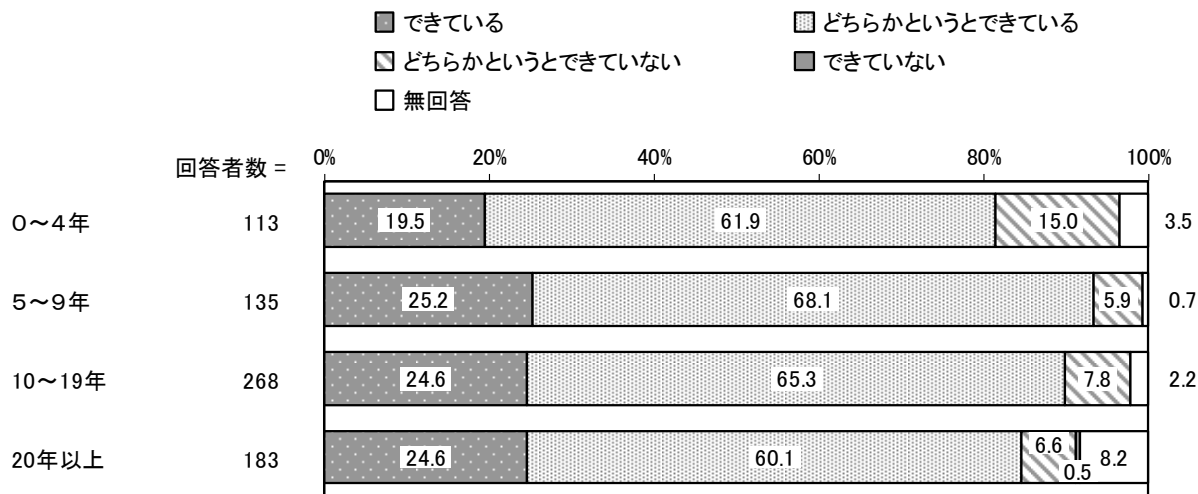
小中学校別でみると、大きな差異はみられません。



10 学習や活動等に最後まで粘り強く取り組ませるよう工夫している

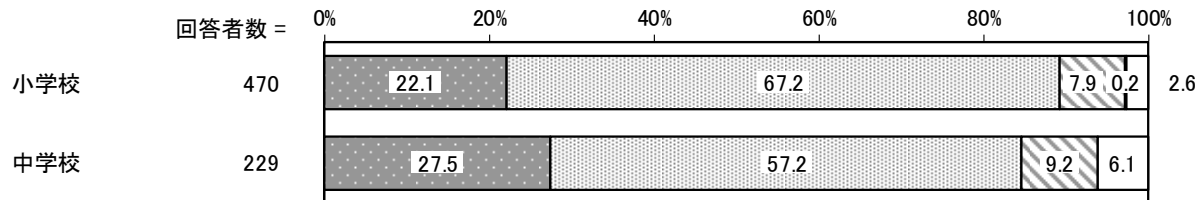
【経験年数別】

経験年数別でみると、他に比べ、5～9年で“できている”の割合が高くなっています。



【小中学校別】

小中学校別でみると、大きな差異はみられません。



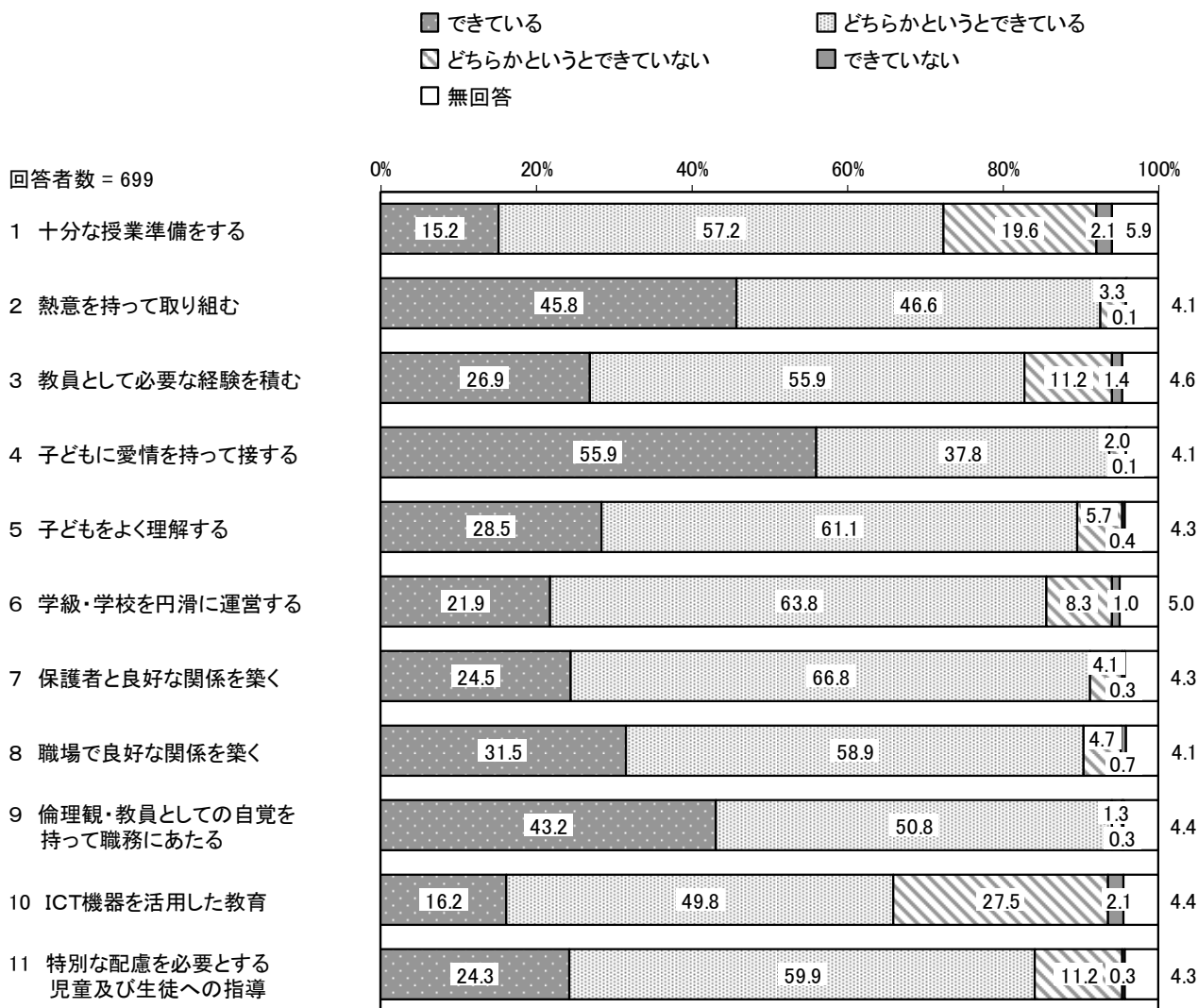
問8 他に「主体的・対話的で深い学び」を実現するために実践していることがありましたらお答えください。

【主な意見】

- ・ グループワーク
- ・ ペア学習やグループ学習
- ・ 課題解決型授業
- ・ ICT教材の活用
- ・ 学習カードの使用
- ・ 話し合い活動の導入
- ・ 一問一答形式の授業展開
- など

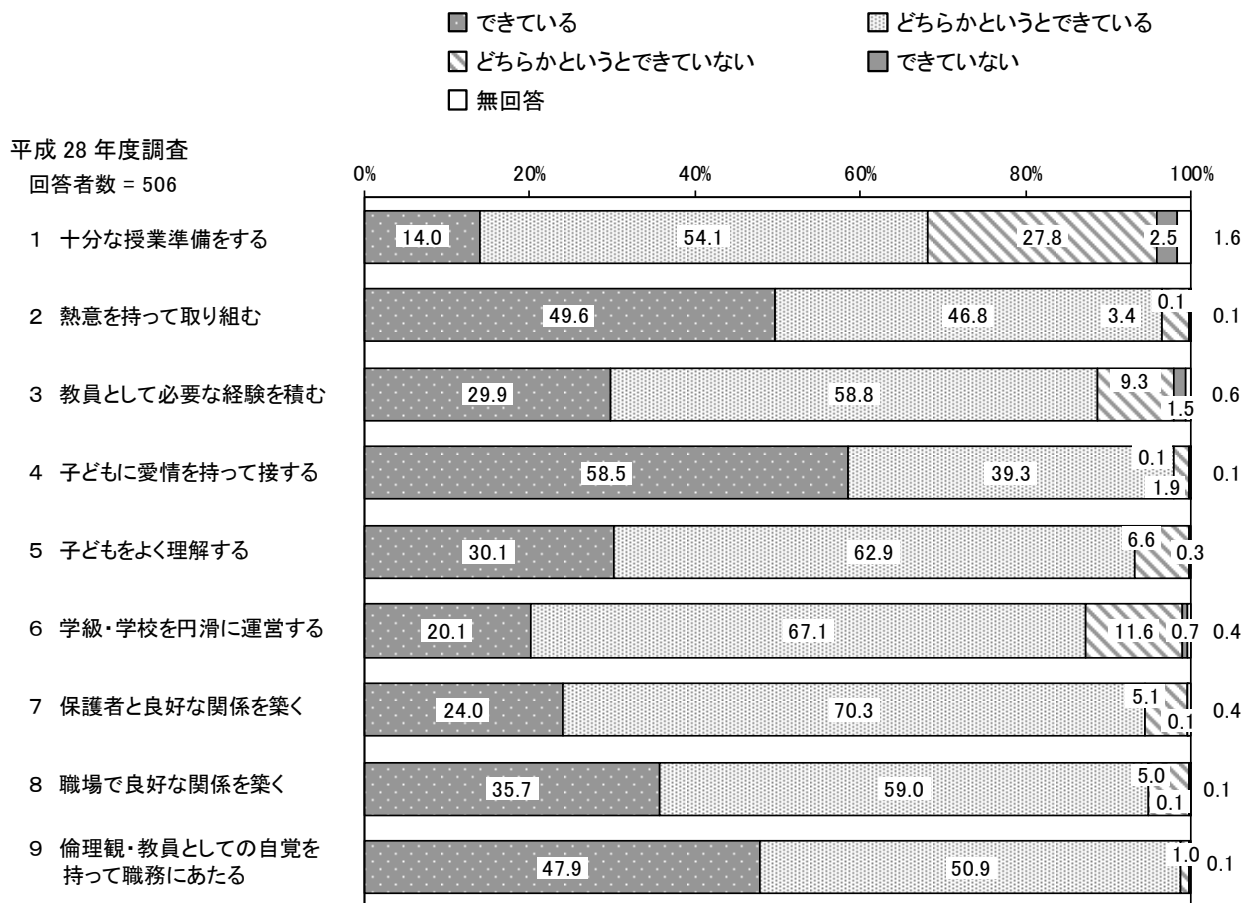
問9 あなたは、次のことについて、どの程度できていると思いますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

『熱意を持って取り組む』『子どもに愛情を持って接する』『倫理観・教員としての自覚を持って職務にあたる』で「できている」と「どちらかというときている」をあわせた“できている”の割合が高くなっています。一方、『十分な授業準備をする』『ICT機器を活用した教育』で「どちらかというときていない」と「できている」をあわせた“できている”の割合が高くなっています。



【平成 28 年度調査との比較】

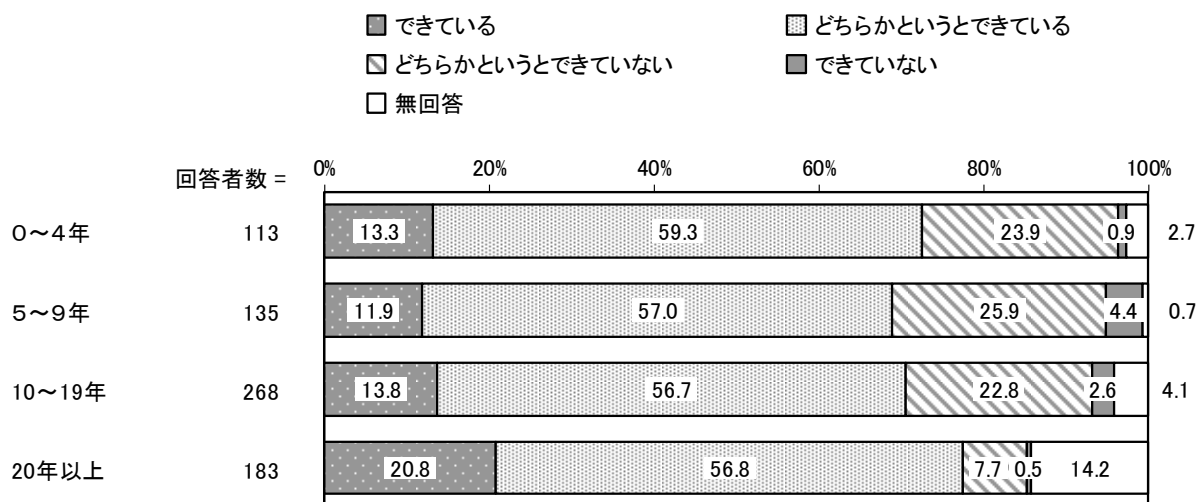
平成 28 年度調査と比較すると、『1 十分な授業準備をする』で“できていない”の割合が減少しています。



1 十分な授業準備をする

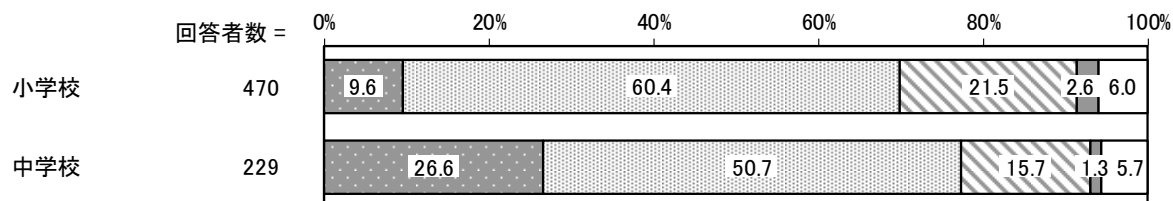
【経験年数別】

経験年数別で見ると、他に比べ、20年以上で“できている”の割合が高くなっています。



【小中学校別】

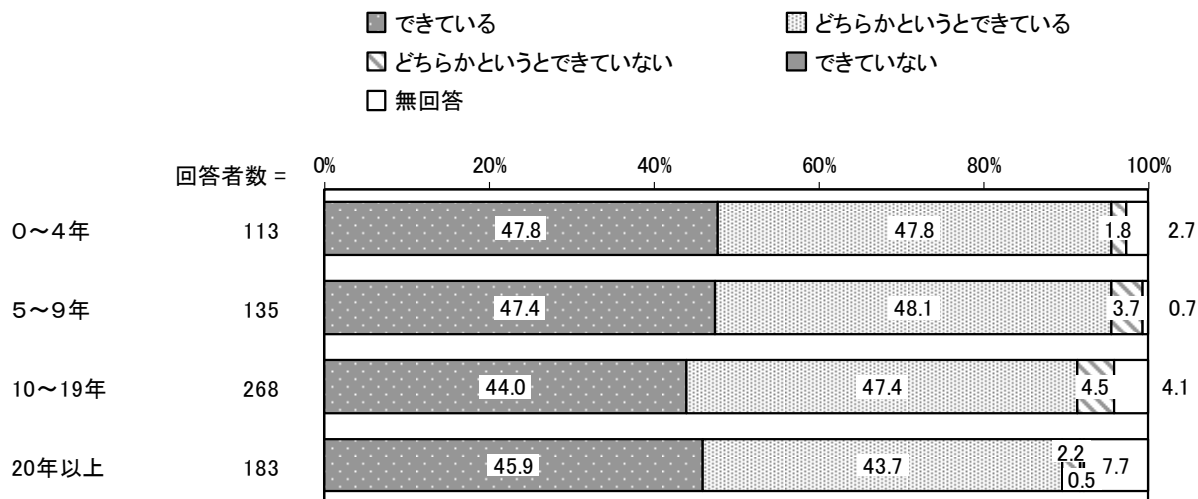
小中学校別で見ると、小学校に比べ、中学校で“できている”の割合が高くなっています。



2 熱意を持って取り組む

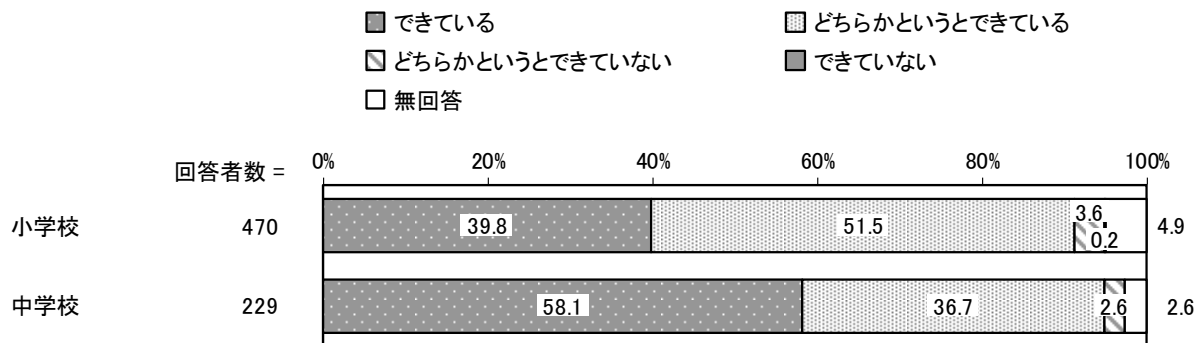
【経験年数別】

経験年数別で見ると、大きな差異はみられません。



【小中学校別】

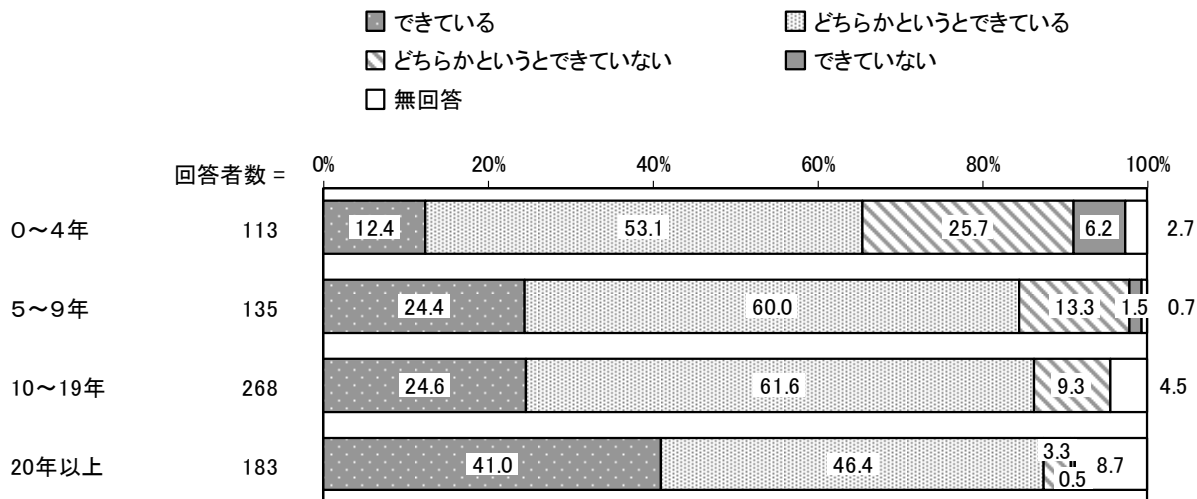
小中学校別でみると、大きな差異はみられません。



3 教員として必要な経験を積む

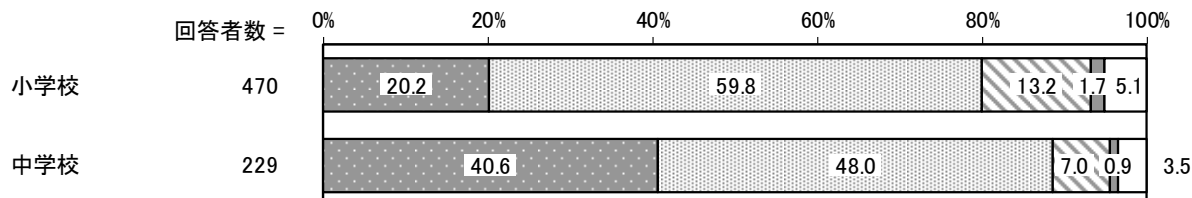
【経験年数別】

経験年数別でみると、他に比べ、0～4年で“できていない”の割合が高くなっています。



【小中学校別】

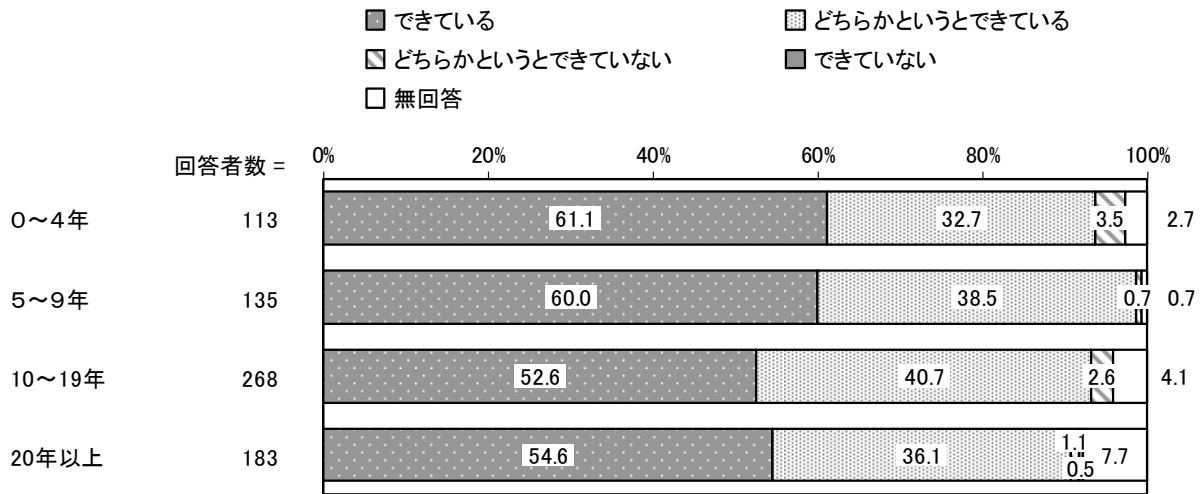
小中学校別でみると、小学校に比べ、中学校で“できている”の割合が高くなっています。



4 子どもに愛情を持って接する

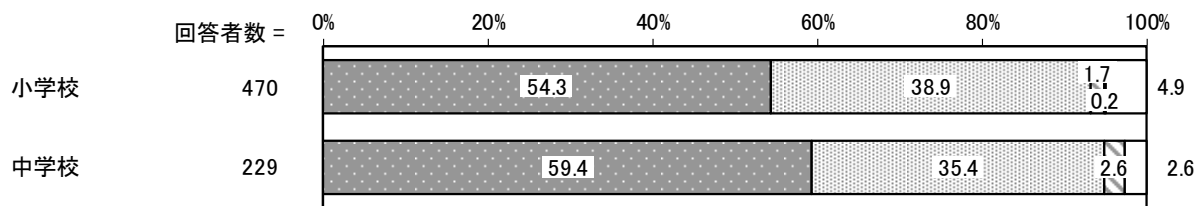
【経験年数別】

経験年数別で見ると、他に比べ、5～9年で“できている”の割合が高くなっています。



【小中学校別】

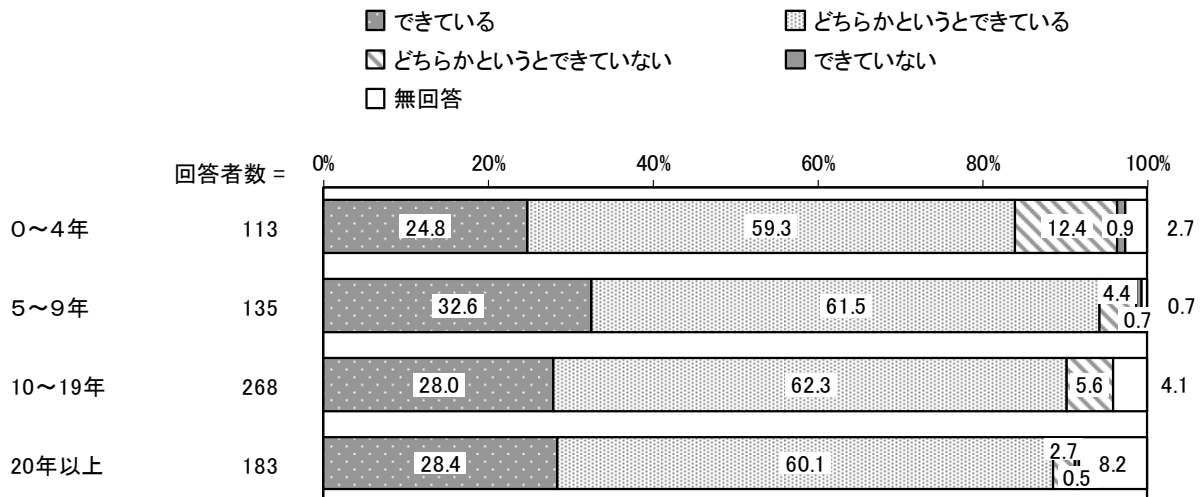
小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



5 子どもをよく理解する

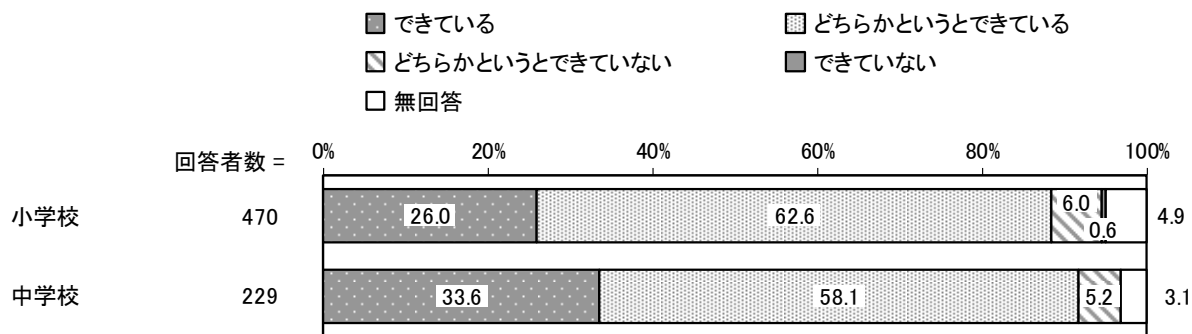
【経験年数別】

経験年数別で見ると、他に比べ、5～9年で“できている”の割合が高くなっています。



【小中学校別】

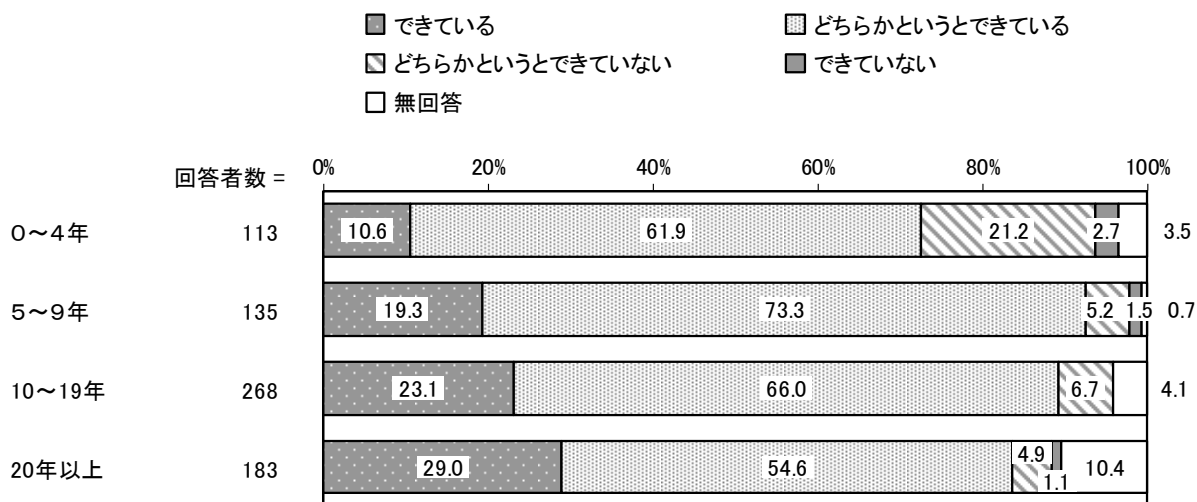
小中学校別でみると、大きな差異はみられません。



6 学級・学校を円滑に運営する

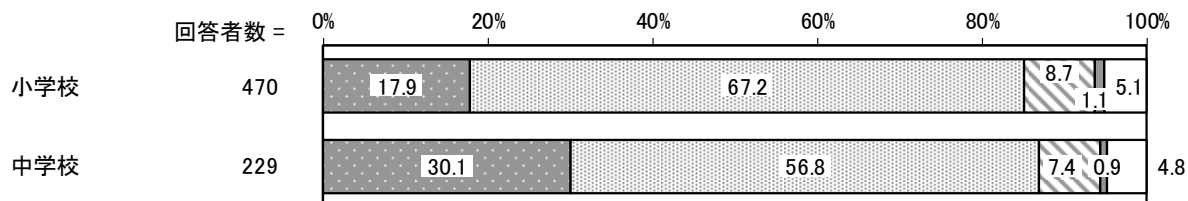
【経験年数別】

経験年数別でみると、他に比べ、5～9年で“できている”の割合が高くなっています。



【小中学校別】

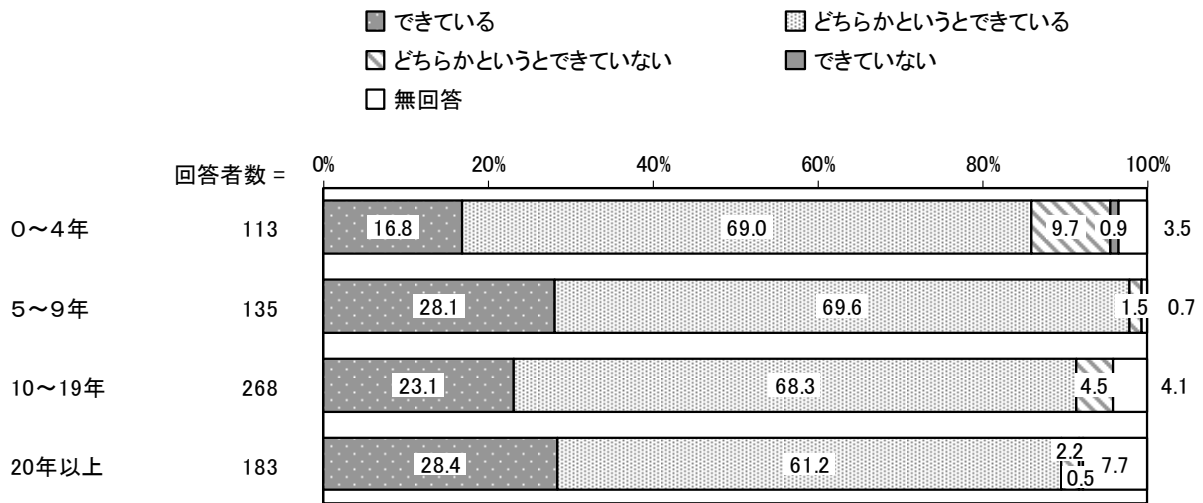
小中学校別でみると、大きな差異はみられません。



7 保護者と良好な関係を築く

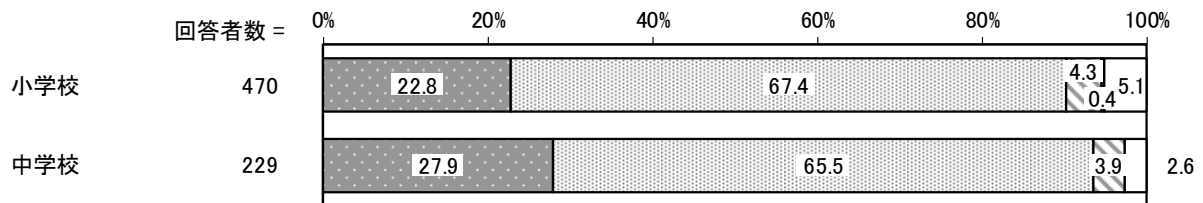
【経験年数別】

経験年数別で見ると、他に比べ、5～9年で“できている”の割合が高くなっています。



【小中学校別】

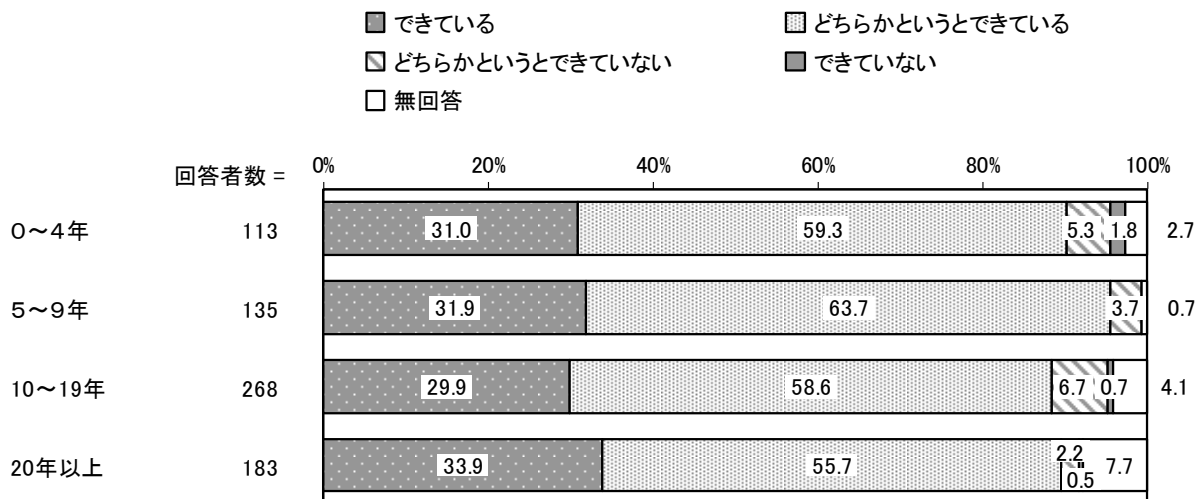
小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



8 職場で良好な関係を築く

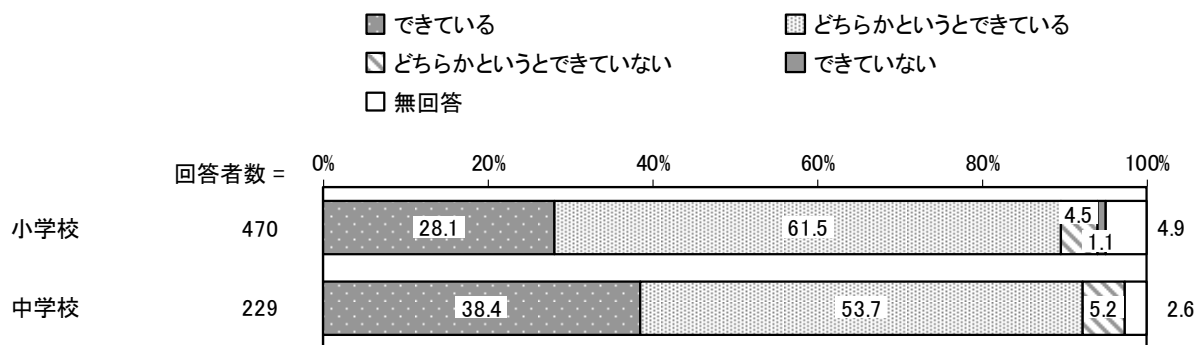
【経験年数別】

経験年数別で見ると、他に比べ、5～9年で“できている”の割合が高くなっています。



【小中学校別】

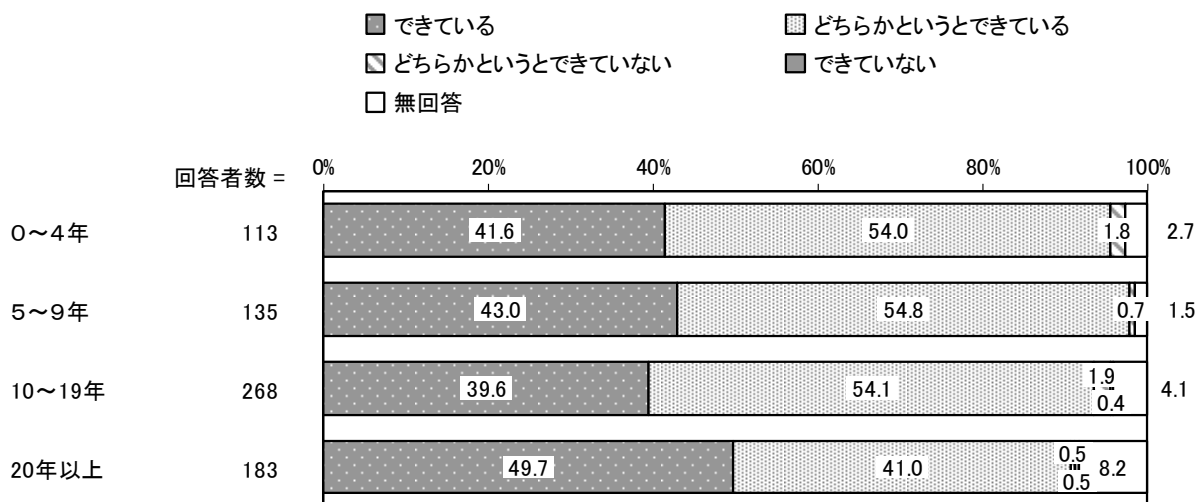
小中学校別でみると、大きな差異はみられません。



9 倫理観・教員としての自覚を持って職務にあたる

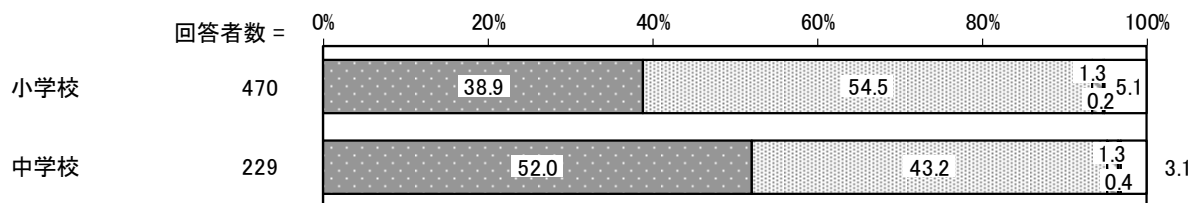
【経験年数別】

経験年数別でみると、大きな差異はみられません。



【小中学校別】

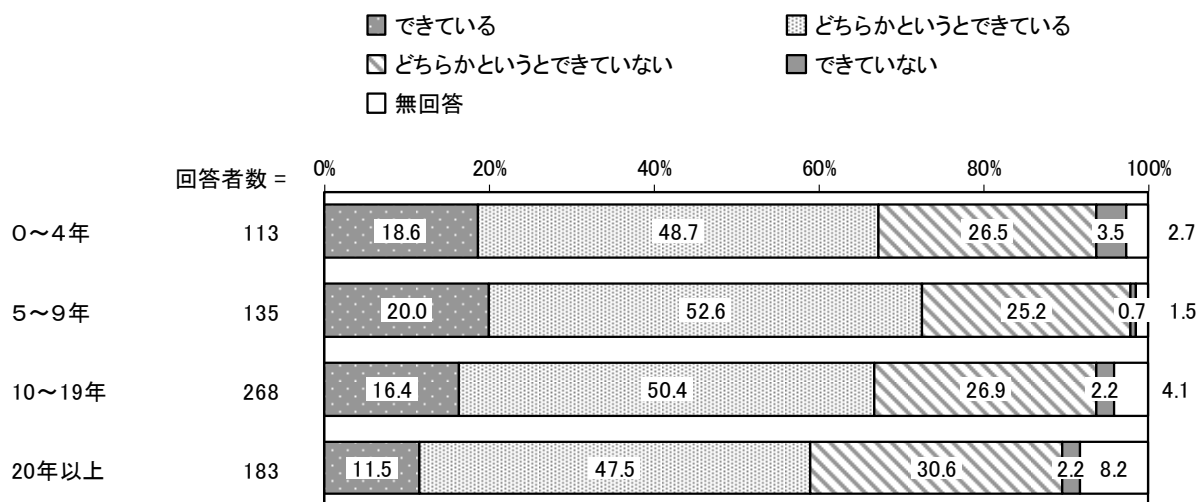
小中学校別でみると、大きな差異はみられません。



10 ICT機器を活用した教育

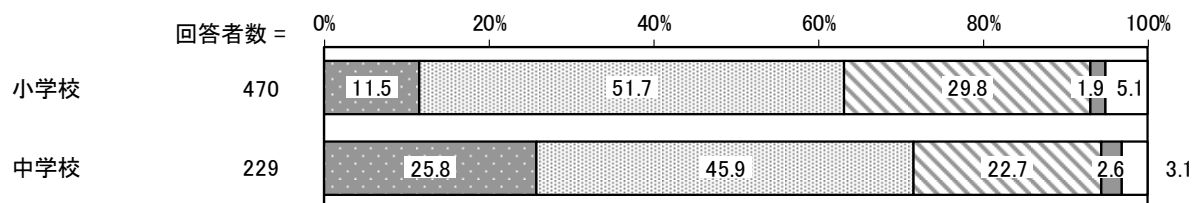
【経験年数別】

経験年数別で見ると、他に比べ、5～9年で“できている”の割合が高くなっています。



【小中学校別】

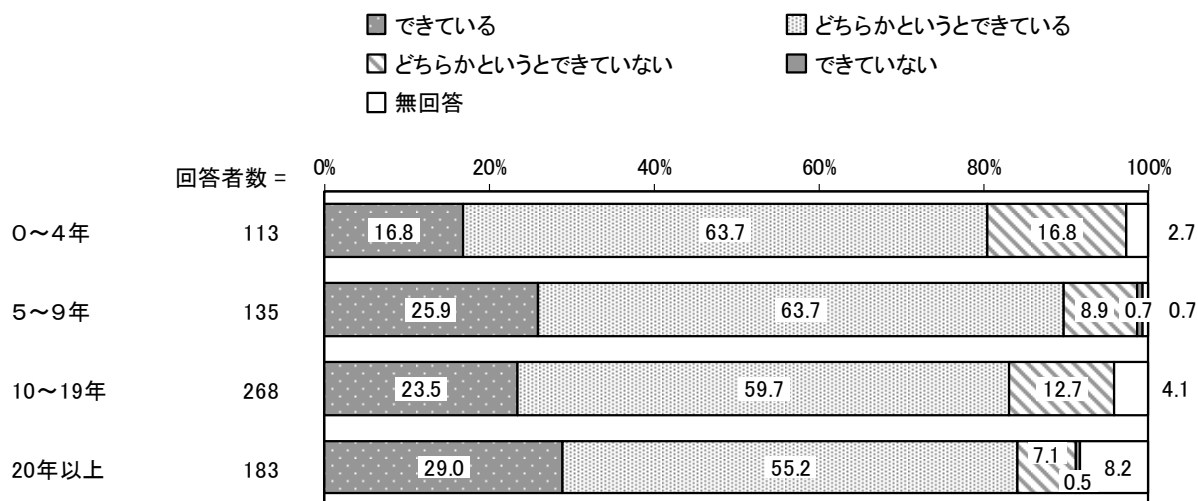
小中学校別で見ると、小学校に比べ、中学校で“できている”の割合が高くなっています。



11 特別な配慮を必要とする児童及び生徒への指導

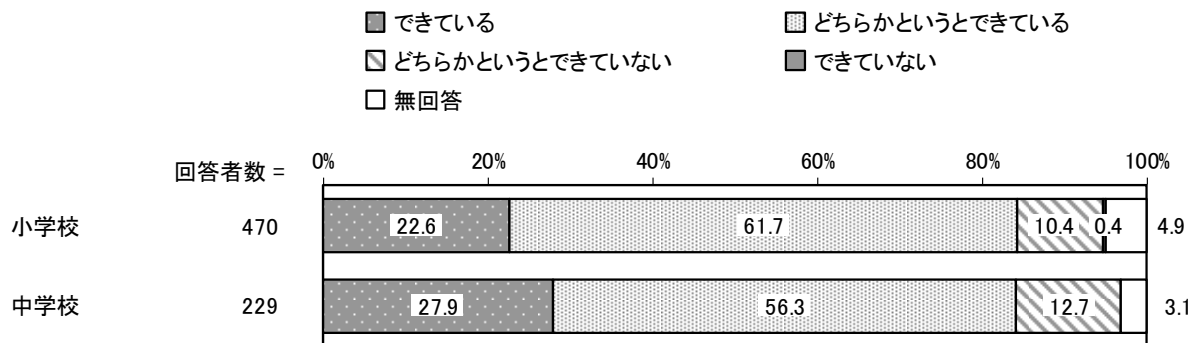
【経験年数別】

経験年数別で見ると、他に比べ、5～9年で“できている”の割合が高くなっています。



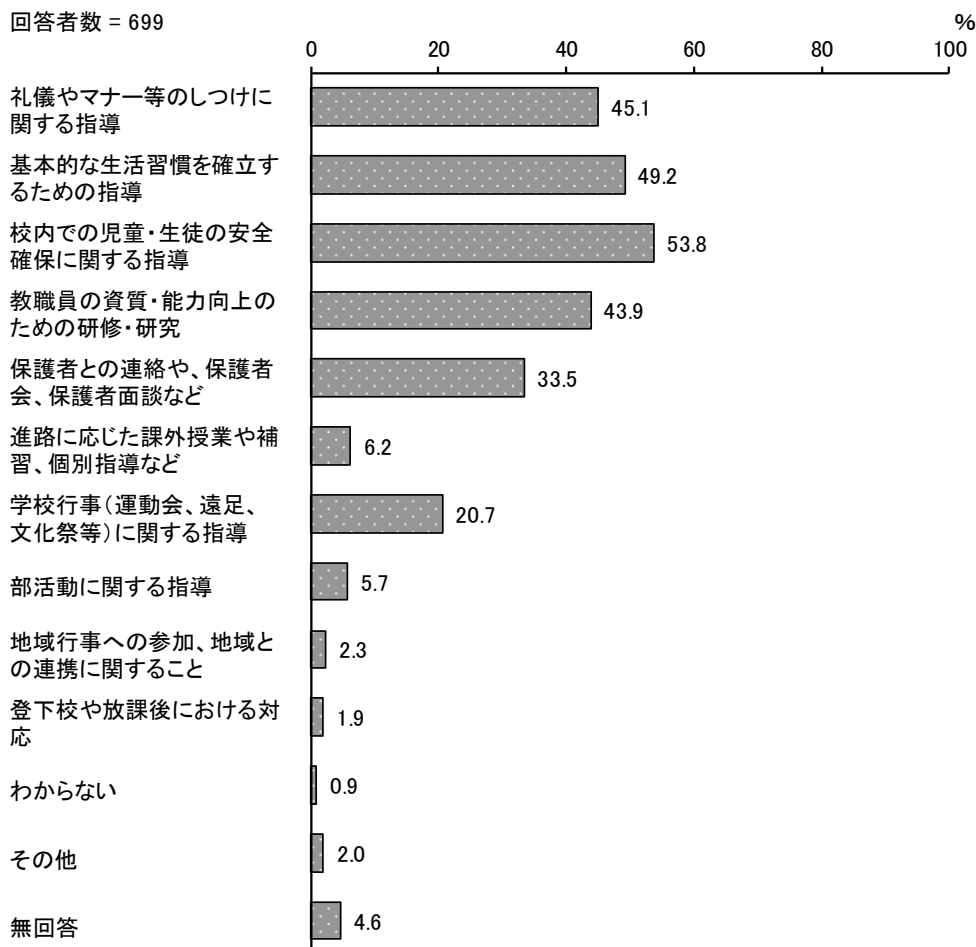
【小中学校別】

小中学校別でみると、大きな差異はみられません。



問 10 あなたは、教職員が授業以外で行っている指導などで、優先すべきものは何だと思いますか。(主なもの3つまで○)

「校内での児童・生徒の安全確保に関する指導」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「基本的な生活習慣を確立するための指導」の割合が 49.2%、「礼儀やマナー等のしつけに関する指導」の割合が 45.1%となっています。



【経験年数別】

経験年数別でみると、他に比べ、0～4年で「礼儀やマナー等のしつけに関する指導」「校内での児童・生徒の安全確保に関する指導」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	礼儀やマナー等のしつけに関する指導	基本的な生活習慣を確立するための指導	校内での児童・生徒の安全確保に関する指導	教職員の資質・能力向上のための研修・研究	保護者との連絡や、保護者会、保護者面談など	進路に応じた課外授業や補習、個別指導など	学校行事(運動会、遠足、文化祭等)に関する指導	部活動に関する指導	地域行事への参加、地域との連携に関する事	登下校や放課後における対応	わからない	その他	無回答
0～4年	113	62.8	53.1	66.4	38.1	28.3	4.4	10.6	8.8	1.8	5.3	—	0.9	2.7
5～9年	135	55.6	47.4	54.1	46.7	32.6	5.2	21.5	3.0	0.7	2.2	0.7	1.5	1.5
10～19年	268	43.3	46.6	50.7	44.8	33.6	6.0	22.8	4.1	2.2	0.7	1.5	3.0	4.9
20年以上	183	29.0	51.9	50.3	44.3	37.2	8.2	23.5	8.2	3.8	1.1	0.5	1.6	7.7

【小中学校別】

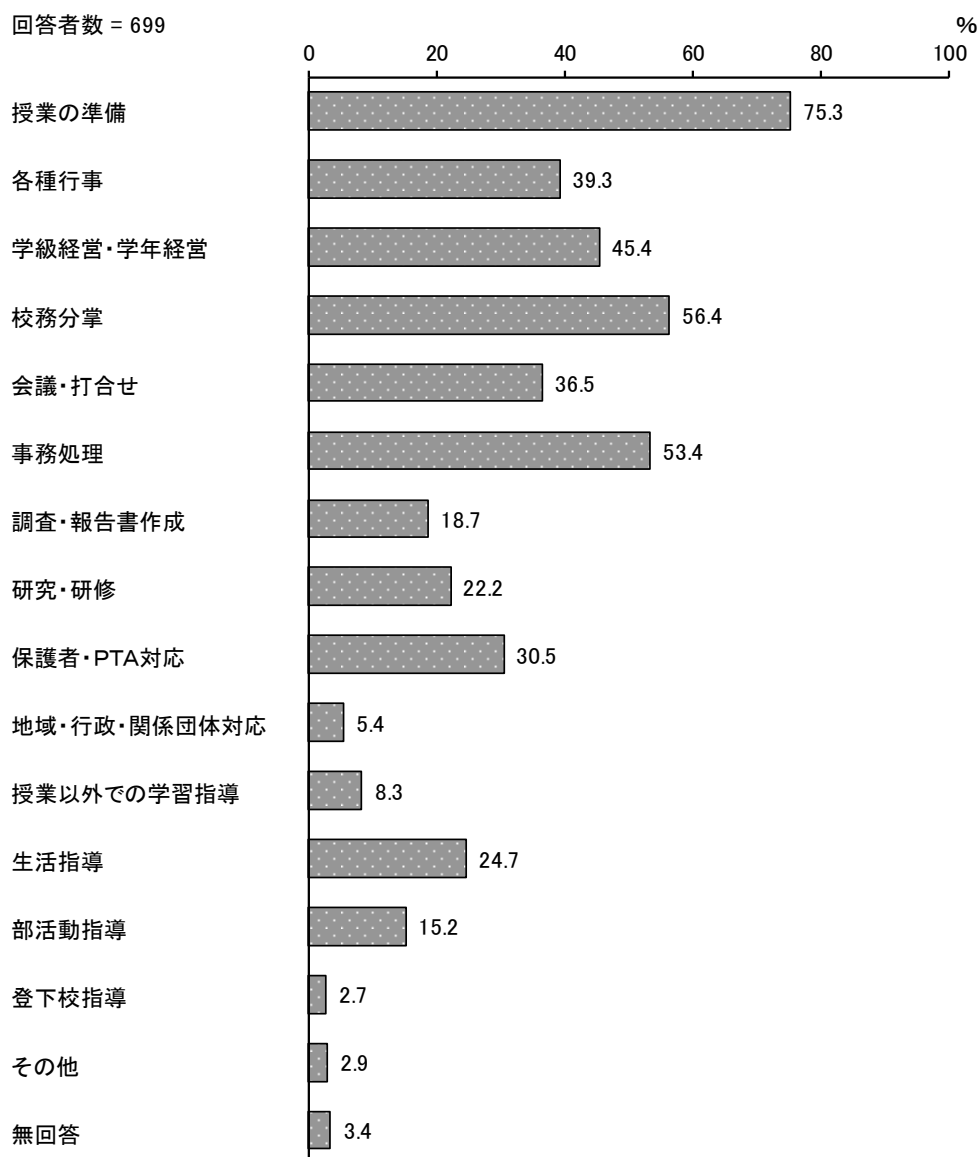
小中学校別でみると、小学校に比べ、中学校で「進路に応じた課外授業や補習、個別指導など」「学校行事(運動会、遠足、文化祭等)に関する指導」の割合が高くなっています。一方、中学校に比べ、小学校で「校内での児童・生徒の安全確保に関する指導」「教職員の資質・能力向上のための研修・研究」「保護者との連絡や、保護者会、保護者面談など」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	礼儀やマナー等のしつけに関する指導	基本的な生活習慣を確立するための指導	校内での児童・生徒の安全確保に関する指導	教職員の資質・能力向上のための研修・研究	保護者との連絡や、保護者会、保護者面談など	進路に応じた課外授業や補習、個別指導など	学校行事(運動会、遠足、文化祭等)に関する指導	部活動に関する指導	地域行事への参加、地域との連携に関する事	登下校や放課後における対応	わからない	その他	無回答
小学校	470	44.3	49.6	56.8	48.5	37.9	2.3	17.4	—	2.1	1.7	0.6	1.9	4.9
中学校	229	46.7	48.5	47.6	34.5	24.5	14.0	27.5	17.5	2.6	2.2	1.3	2.2	3.9

問11 仕事をするうえで時間をかけている業務は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「授業の準備」の割合が75.3%と最も高く、次いで「校務分掌」の割合が56.4%、「事務処理」の割合が53.4%となっています。



【経験年数別】

経験年数別で見ると、他に比べ、0～4年で「授業の準備」の割合が、5～9年で「各種行事」の割合が高くなっています。また、20年以上で「事務処理」「調査・報告書作成」「保護者・PTA対応」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	授業の準備	各種行事	学級経営・学年経営	校務分掌	会議・打合せ	事務処理	調査・報告書作成	研究・研修	保護者・PTA対応	地域・行政・関係団体対応	授業以外での学習指導	生活指導	部活動指導	登下校指導	その他	無回答
0～4年	113	88.5	31.0	49.6	49.6	22.1	43.4	10.6	23.0	21.2	—	9.7	21.2	20.4	1.8	1.8	1.8
5～9年	135	80.0	51.9	47.4	64.4	40.0	54.8	14.1	24.4	31.1	3.0	10.4	28.1	16.3	3.0	2.2	0.7
10～19年	268	74.3	38.4	49.3	60.8	35.8	52.2	16.0	24.3	30.2	2.6	5.6	23.5	13.4	1.9	3.4	3.7
20年以上	183	65.0	36.6	35.5	48.1	43.7	60.1	31.1	16.9	36.1	14.8	9.8	26.2	13.7	4.4	3.3	6.0

【小中学校別】

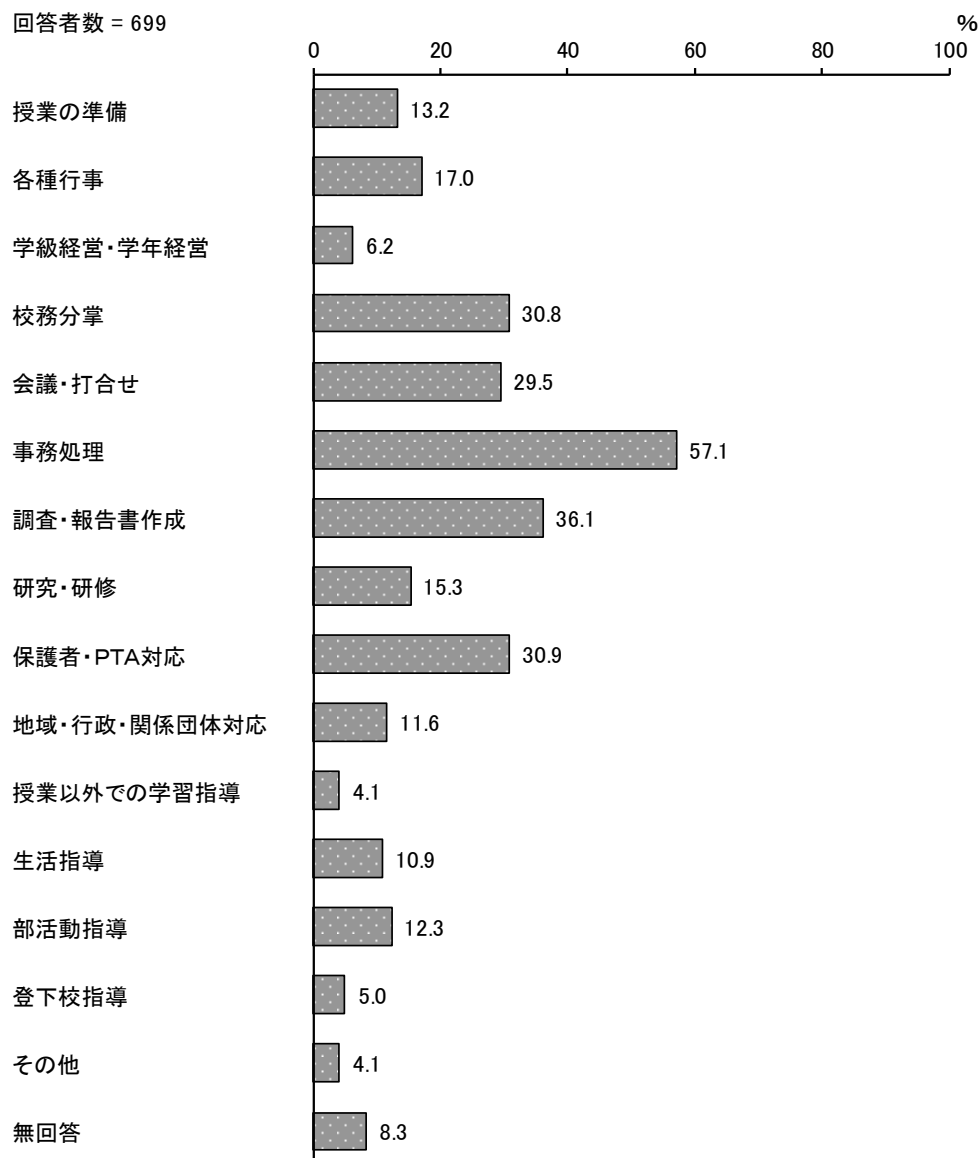
小中学校別で見ると、小学校に比べ、中学校で「各種行事」「授業以外での学習指導」「生活指導」の割合が高くなっています。一方、中学校に比べ、小学校で「会議・打合せ」「研究・研修」「保護者・PTA対応」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	授業の準備	各種行事	学級経営・学年経営	校務分掌	会議・打合せ	事務処理	調査・報告書作成	研究・研修	保護者・PTA対応	地域・行政・関係団体対応	授業以外での学習指導	生活指導	部活動指導	登下校指導	その他	無回答
小学校	470	75.5	37.4	46.6	56.2	40.0	53.2	19.6	27.2	32.3	6.2	5.3	20.0	—	2.8	2.3	4.3
中学校	229	74.7	43.2	42.8	56.8	29.3	53.7	17.0	11.8	26.6	3.9	14.4	34.5	46.3	2.6	3.9	1.7

問12 負担感を感じている業務は、どのような業務ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「事務処理」の割合が57.1%と最も高く、次いで「調査・報告書作成」の割合が36.1%、「保護者・PTA対応」の割合が30.9%となっています。



【経験年数別】

経験年数別でみると、他に比べ、5～9年で「会議・打合せ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	授業の準備	各種行事	学級経営・学年経営	校務分掌	会議・打合せ	事務処理	調査・報告書作成	研究・研修	保護者・PTA対応	地域・行政・関係団体対応	指導	授業以外での学習	生活指導	部活動指導	登下校指導	その他	無回答
0～4年	113	18.6	15.0	8.0	35.4	20.4	44.2	22.1	12.4	22.1	6.2	3.5	8.0	14.2	2.7	4.4	11.5	
5～9年	135	13.3	23.0	4.4	32.6	38.5	60.0	36.3	16.3	33.3	11.9	4.4	11.9	18.5	5.2	3.0	6.7	
10～19年	268	11.2	19.0	6.7	30.2	31.0	62.7	39.9	18.7	32.1	10.8	2.6	10.4	10.8	5.6	6.0	7.5	
20年以上	183	12.6	10.9	5.5	27.3	26.2	54.6	38.8	11.5	32.8	15.8	6.6	12.6	8.7	5.5	2.2	8.7	

【小中学校別】

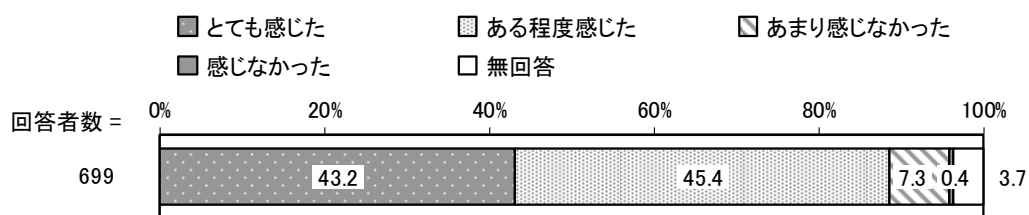
小中学校別でみると、小学校に比べ、中学校で「生活指導」「部活動指導」の割合が高くなっています。一方、中学校に比べ、小学校で「事務処理」「調査・報告書作成」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	授業の準備	各種行事	学級経営・学年経営	校務分掌	会議・打合せ	事務処理	調査・報告書作成	研究・研修	保護者・PTA対応	地域・行政・関係団体対応	指導	授業以外での学習	生活指導	部活動指導	登下校指導	その他	無回答
小学校	470	12.8	17.9	6.2	31.9	30.4	59.8	38.3	16.2	30.9	12.8	3.8	8.5	0.6	5.5	3.4	8.7	
中学校	229	14.0	15.3	6.1	28.4	27.5	51.5	31.4	13.5	31.0	9.2	4.8	15.7	36.2	3.9	5.7	7.4	

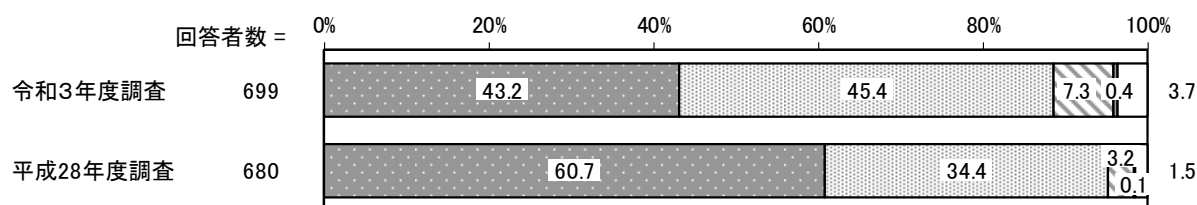
問 13-1 この1年間で、多忙感を感じましたか。(1つに○)

「とても感じた」と「ある程度感じた」をあわせた“感じた”の割合が88.6%、「あまり感じなかった」と「感じなかった」をあわせた“感じなかった”の割合が7.7%となっています。



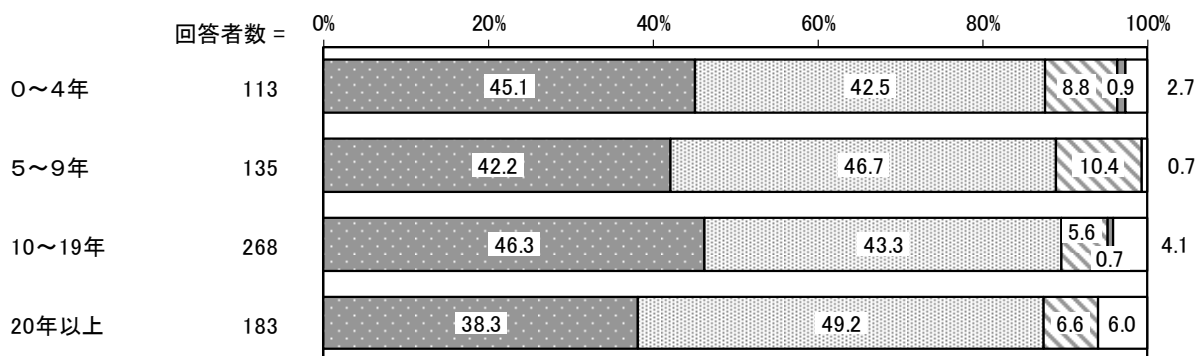
【平成28年度調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、“感じた”の割合が減少しています。



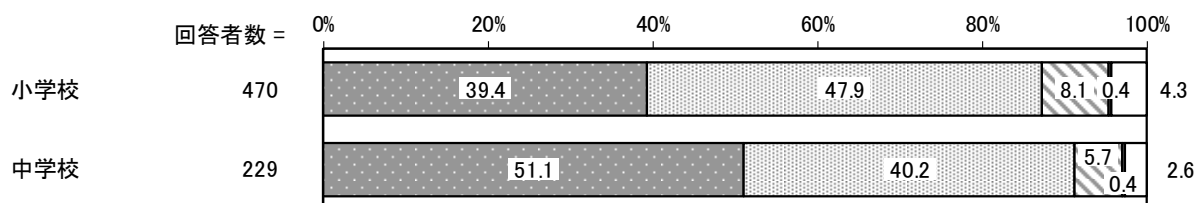
【経験年数別】

経験年数別で見ると、大きな差異はみられません。



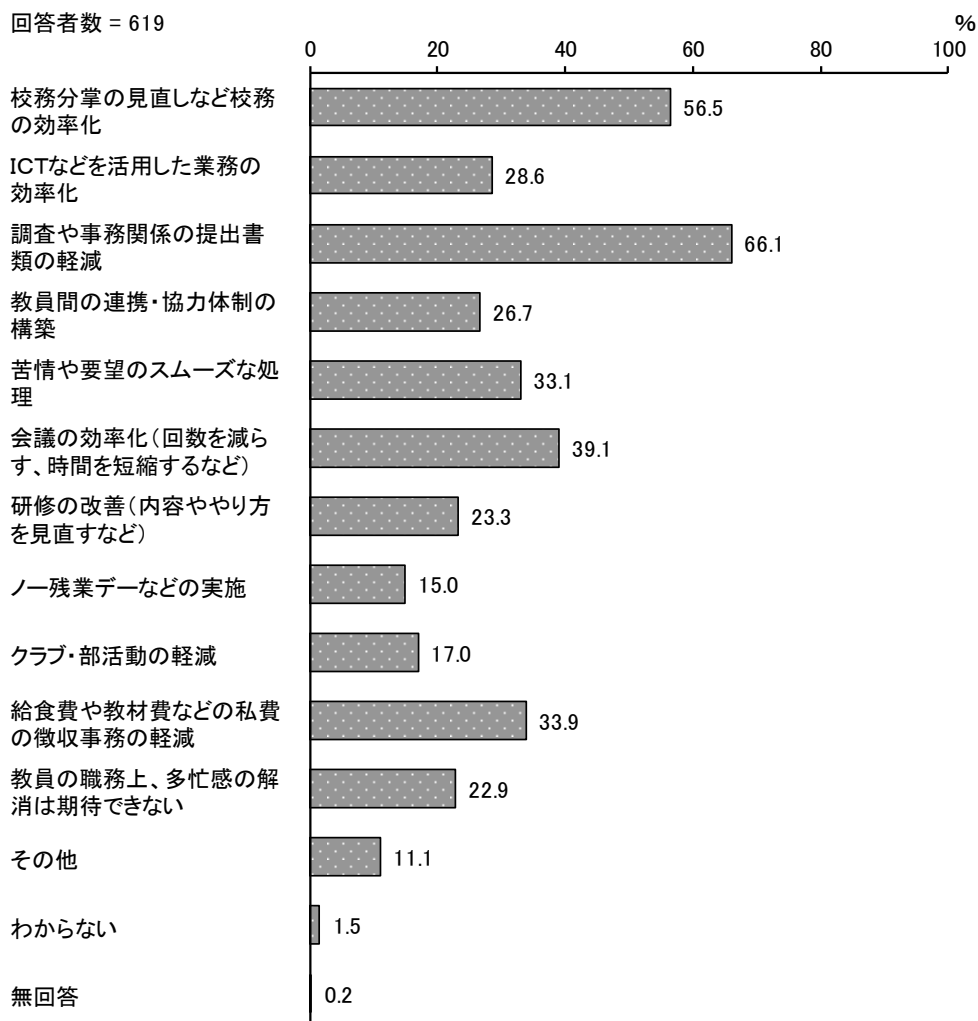
【小中学校別】

小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



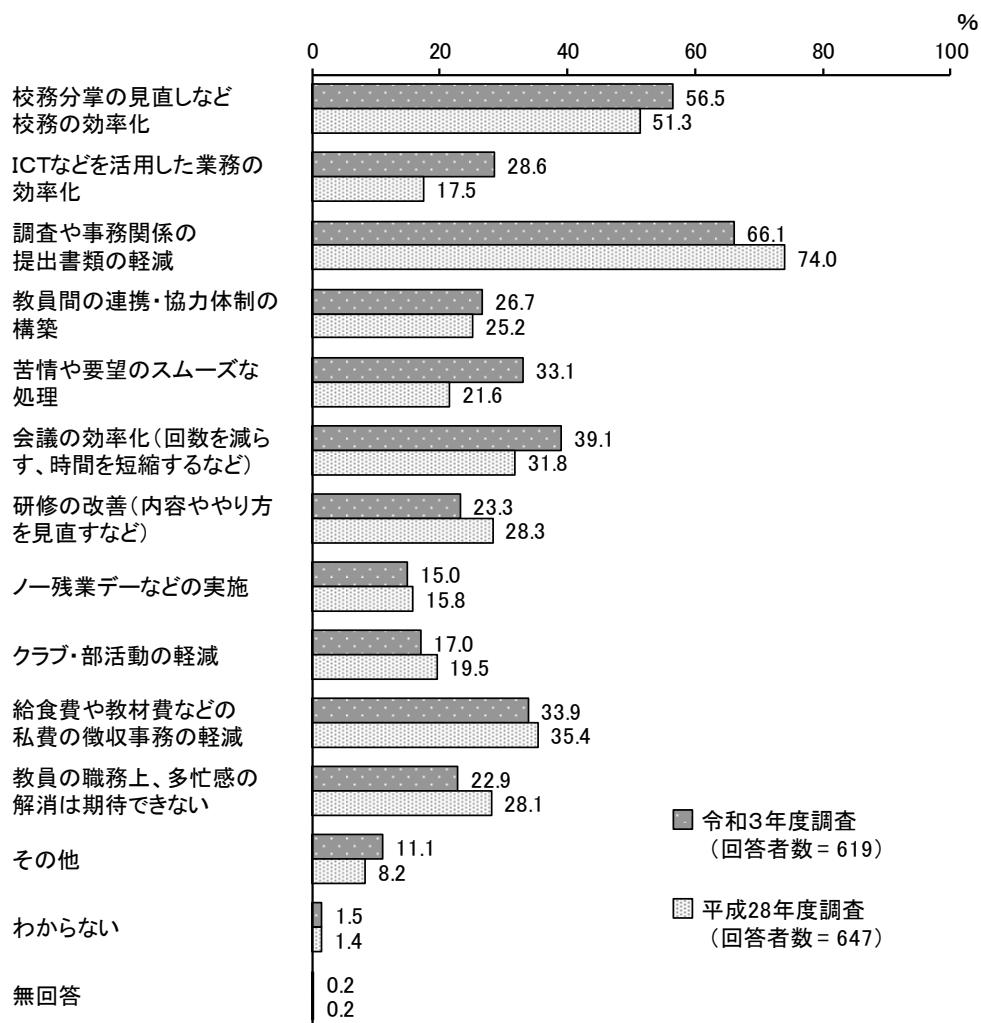
問 13-2 【問 13-1 で、「1」、「2」に○をつけたときに教えてください】
多忙感を解消するために有効だと思うことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「調査や事務関係の提出書類の軽減」の割合が 66.1%と最も高く、次いで「校務分掌の見直しなど校務の効率化」の割合が 56.5%、「会議の効率化(回数を減らす、時間を短縮するなど)」の割合が 39.1%となっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「校務分掌の見直しなど校務の効率化」「ICTなどを活用した業務の効率化」「苦情や要望のスムーズな処理」「会議の効率化（回数を減らす、時間を短縮するなど）」の割合が増加しています。一方、「調査や事務関係の提出書類の軽減」「研修の改善（内容ややり方を見直すなど）」「教員の職務上、多忙感の解消は期待できない」の割合が減少しています。



【経験年数別】

経験年数別でみると、他に比べ、5～9年で「校務分掌の見直しなど校務の効率化」「クラブ・部活動の軽減」の割合が、20年以上で「苦情や要望のスムーズな処理」「給食費や教材費などの私費の徴収事務の軽減」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	校務分掌の見直しなど校務の効率化	ICTなどを活用した業務の効率化	調査や事務関係の提出書類の軽減	教員間の連携・協力体制の構築	苦情や要望のスムーズな処理	会議の効率化（回数を減らす、時間を短縮するなど）	研修の改善（内容ややり方を見直すなど）	ノー残業デーなどの実施	クラブ・部活動の軽減	給食費や教材費などの私費の徴収事務の軽減	教員の職務上、多忙感の解消は期待できない	その他	わからない	無回答
0～4年	99	56.6	32.3	59.6	21.2	23.2	40.4	26.3	20.2	14.1	27.3	20.2	7.1	5.1	—
5～9年	120	64.2	27.5	64.2	28.3	35.8	45.0	27.5	21.7	25.0	30.8	25.8	7.5	—	—
10～19年	240	55.4	28.3	65.8	26.3	29.6	37.5	22.5	11.7	14.6	33.8	23.3	14.2	1.3	—
20年以上	160	52.5	27.5	71.9	29.4	42.5	36.3	19.4	11.9	16.3	40.6	21.9	11.9	0.6	0.6

【小中学校別】

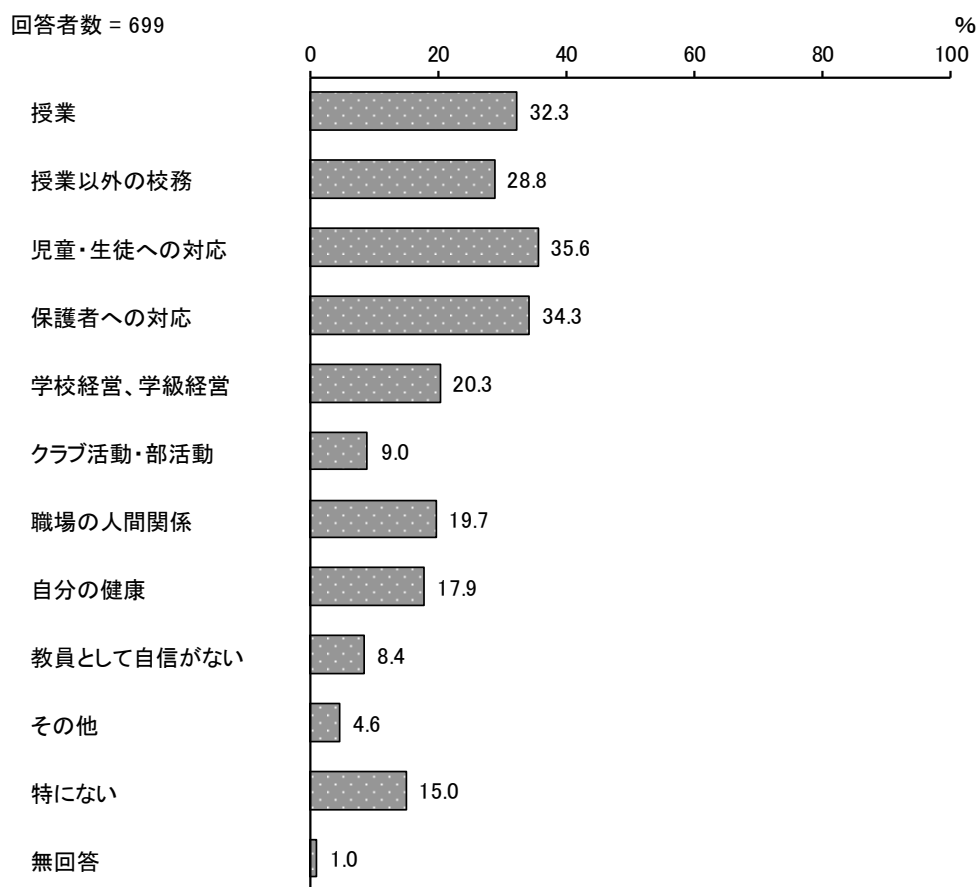
小中学校別でみると、小学校に比べ、中学校で「クラブ・部活動の軽減」の割合が高くなっています。一方、中学校に比べ、小学校で「校務分掌の見直しなど校務の効率化」「調査や事務関係の提出書類の軽減」「苦情や要望のスムーズな処理」「会議の効率化（回数を減らす、時間を短縮するなど）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	校務分掌の見直しなど校務の効率化	ICTなどを活用した業務の効率化	調査や事務関係の提出書類の軽減	教員間の連携・協力体制の構築	苦情や要望のスムーズな処理	会議の効率化（回数を減らす、時間を短縮するなど）	研修の改善（内容ややり方を見直すなど）	ノー残業デーなどの実施	クラブ・部活動の軽減	給食費や教材費などの私費の徴収事務の軽減	教員の職務上、多忙感の解消は期待できない	その他	わからない	無回答
小学校	410	61.0	30.2	68.8	24.9	37.8	43.2	24.4	15.9	4.9	34.4	22.0	10.2	2.0	0.2
中学校	209	47.8	25.4	60.8	30.1	23.9	31.1	21.1	13.4	40.7	33.0	24.9	12.9	0.5	—

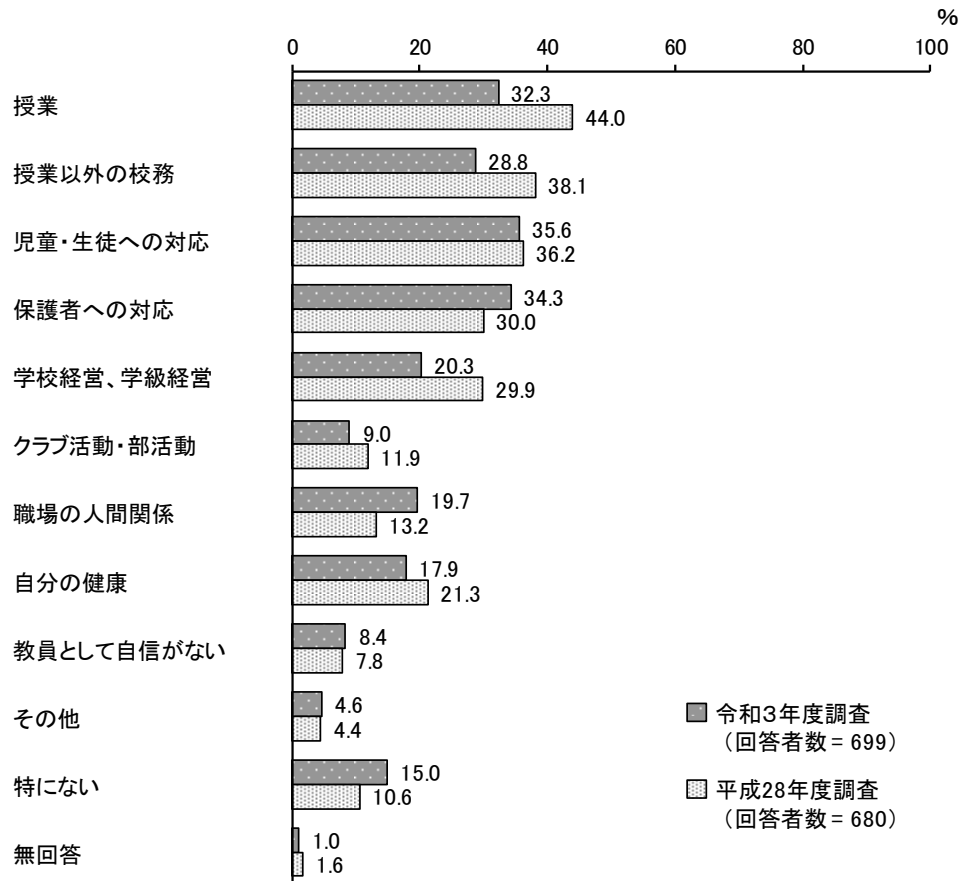
問 14-1 職務上、どのような悩みを持っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「児童・生徒への対応」の割合が35.6%と最も高く、次いで「保護者への対応」の割合が34.3%、「授業」の割合が32.3%となっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「職場の人間関係」の割合が増加しています。一方、「授業」「授業以外の校務」「学校経営、学級経営」の割合が減少しています。



【経験年数別】

経験年数別で見ると、他に比べ、0～4年で「授業」「児童・生徒への対応」「学校経営、学級経営」「教員として自信がない」の割合が高くなっています。また、5～9年で「保護者への対応」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	授業	授業以外の校務	児童・生徒への対応	保護者への対応	学校経営、学級経営	クラブ活動・部活動	職場の人間関係	自分の健康	教員として自信がない	その他	特にない	無回答
0～4年	113	54.9	24.8	51.3	34.5	27.4	11.5	18.6	17.7	19.5	2.7	7.1	0.9
5～9年	135	38.5	37.0	34.1	41.5	21.5	14.1	18.5	13.3	8.9	4.4	15.6	—
10～19年	268	26.9	29.9	34.0	31.0	19.4	7.5	20.9	20.1	8.2	4.1	17.5	1.1
20年以上	183	21.9	23.5	29.5	33.9	16.4	6.0	19.7	18.0	1.6	6.6	15.8	1.6

【小中学校別】

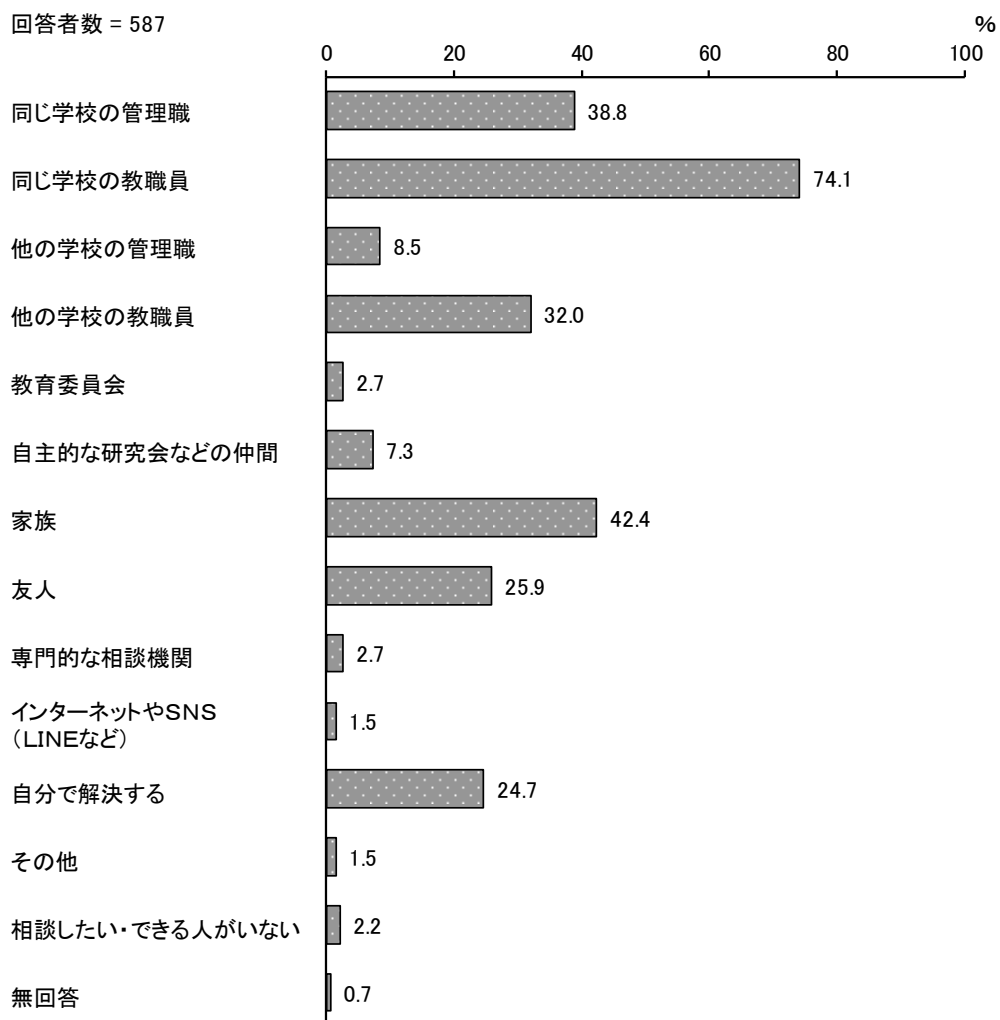
小中学校別で見ると、小学校に比べ、中学校で「クラブ活動・部活動」の割合が高くなっています。一方、中学校に比べ、小学校で「授業」「児童・生徒への対応」「保護者への対応」「学校経営、学級経営」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	授業	授業以外の校務	児童・生徒への対応	保護者への対応	学校経営、学級経営	クラブ活動・部活動	職場の人間関係	自分の健康	教員として自信がない	その他	特にない	無回答
小学校	470	37.9	28.7	41.5	38.3	23.8	1.1	21.1	16.4	8.5	2.8	13.4	0.6
中学校	229	21.0	28.8	23.6	26.2	13.1	25.3	17.0	21.0	8.3	8.3	18.3	1.7

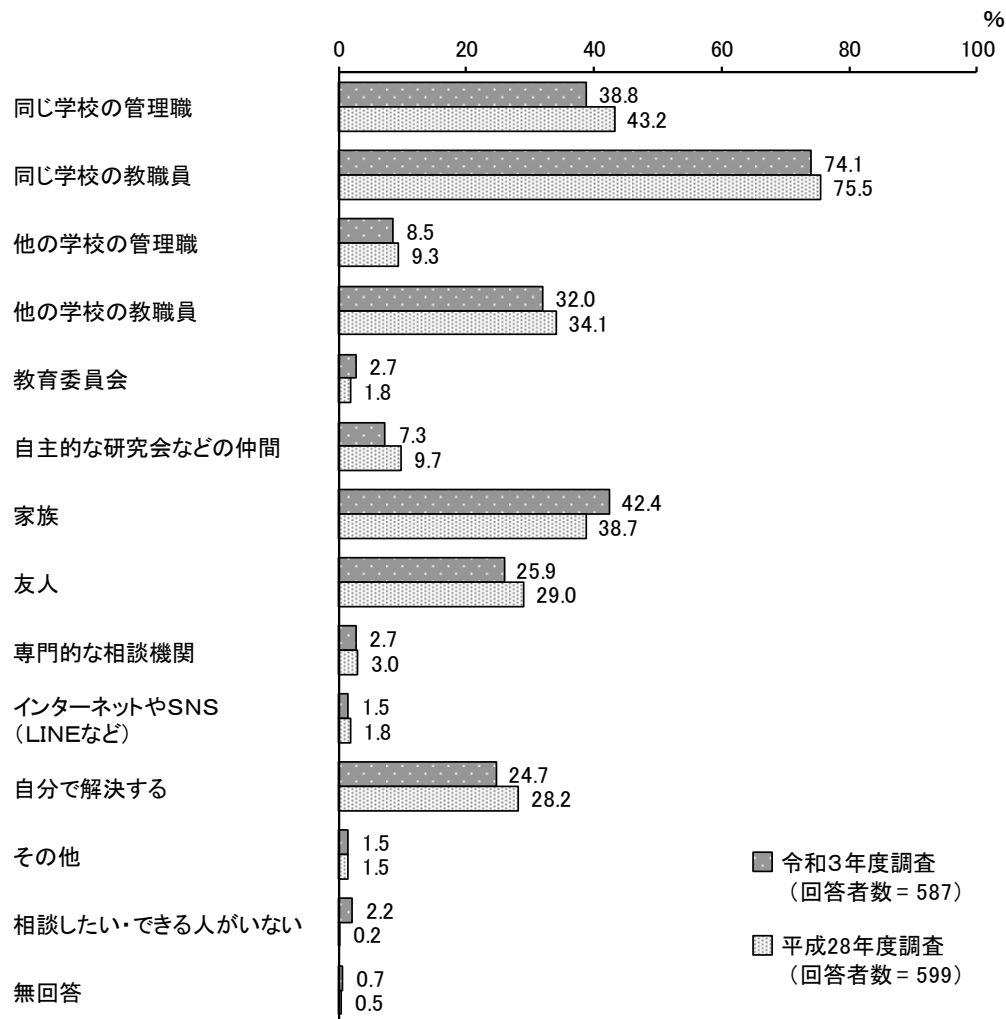
問 14-2 【上の質問で、「1」～「10」に○をつけたときに教えてください】
 悩みを誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

「同じ学校の教職員」の割合が74.1%と最も高く、次いで「家族」の割合が42.4%、「同じ学校の管理職」の割合が38.8%となっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【経験年数別】

経験年数別でみると、他に比べ、0～4年で「友人」の割合が、20年以上で「同じ学校の管理職」「他の学校の管理職」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	同じ学校の管理職	同じ学校の教職員	他の学校の管理職	他の学校の教職員	教育委員会	自主的な研究会などの仲間	家族	友人	専門的な相談機関	インターネットやSNS(LINEなど)	自分で解決する	その他	相談したい・できる人がいない	無回答
0～4年	104	30.8	86.5	1.9	25.0	—	3.8	37.5	45.2	1.9	1.9	26.0	1.0	1.9	—
5～9年	114	34.2	83.3	3.5	39.5	—	7.9	51.8	30.7	0.9	2.6	26.3	0.9	—	—
10～19年	218	38.5	75.2	7.3	36.7	—	8.7	49.1	20.2	2.8	0.9	22.5	1.4	3.2	1.4
20年以上	151	48.3	57.0	18.5	24.5	10.6	7.3	29.1	17.2	4.6	1.3	25.8	2.6	2.6	0.7

【小中学校別】

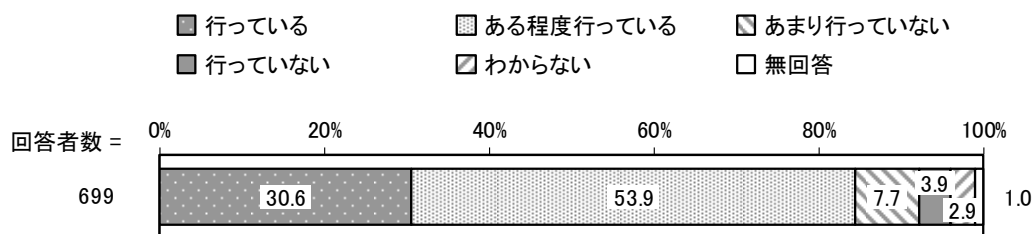
小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で「同じ学校の管理職」「同じ学校の教職員」「家族」「友人」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	同じ学校の管理職	同じ学校の教職員	他の学校の管理職	他の学校の教職員	教育委員会	自主的な研究会などの仲間	家族	友人	専門的な相談機関	インターネットやSNS(LINEなど)	自分で解決する	その他	相談したい・できる人がいない	無回答
小学校	404	41.8	78.0	9.4	33.2	3.2	8.2	47.0	28.5	3.2	2.0	23.3	1.0	1.5	1.0
中学校	183	32.2	65.6	6.6	29.5	1.6	5.5	32.2	20.2	1.6	0.5	27.9	2.7	3.8	—

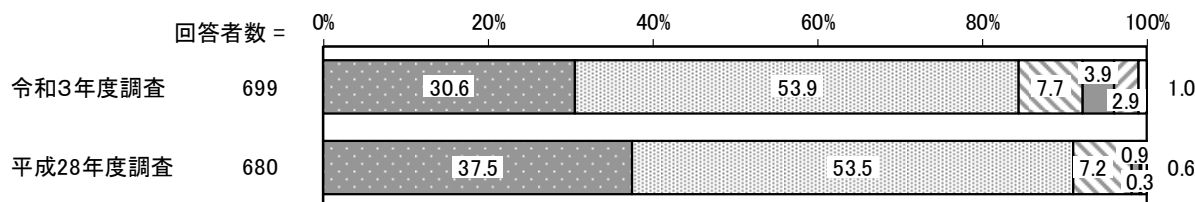
問 15 あなたの学校では、問題や課題に対して、組織的な対応を行っていると思いますか。(1つに○)

「行っている」と「ある程度行っている」をあわせた“行っている”の割合が84.5%、「あまり行っていない」と「行っていない」をあわせた“行っていない”の割合が11.6%、「わからない」の割合が2.9%となっています。



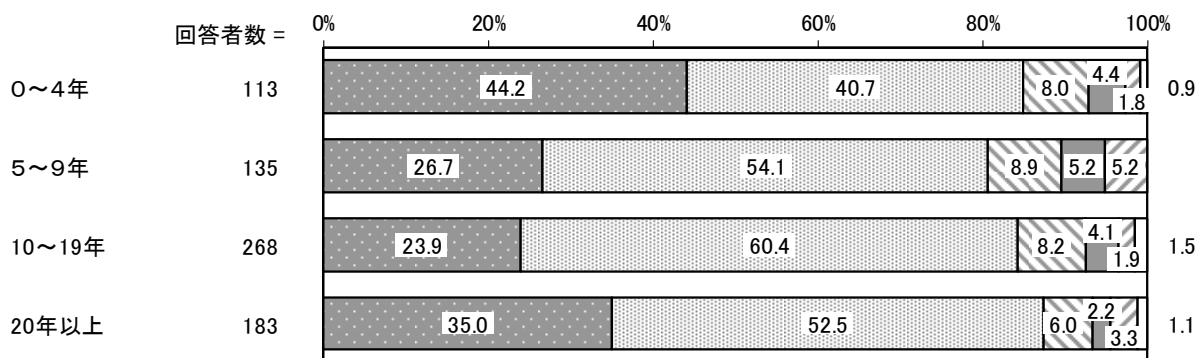
【平成28年度調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、“行っている”の割合が減少しています。



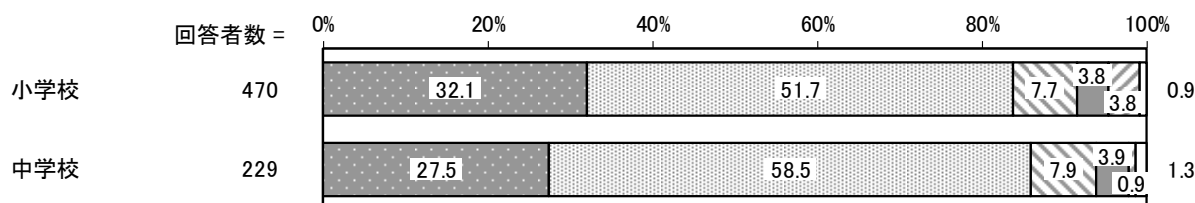
【経験年数別】

経験年数別で見ると、他に比べ、20年以上で“行っている”の割合が高くなっています。



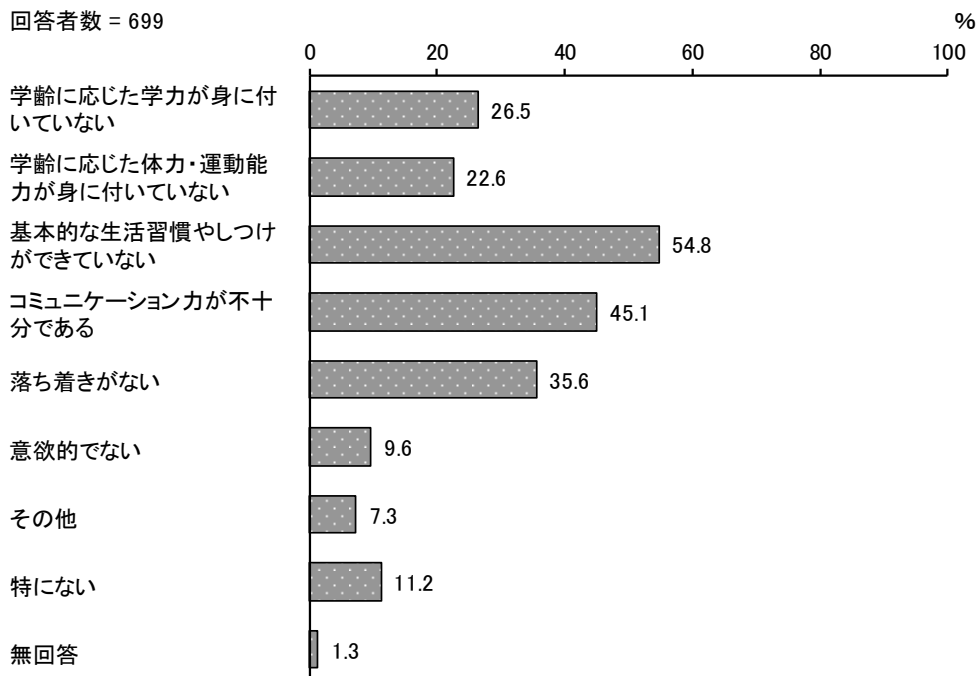
【小中学校別】

小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



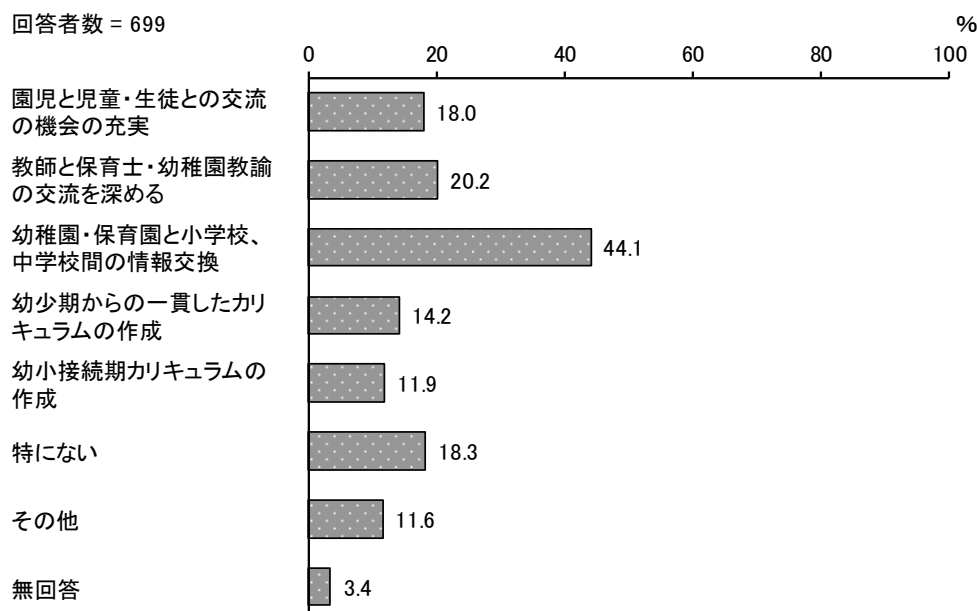
問 16 入学時の児童・生徒の問題について、あてはまることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「基本的な生活習慣やしつけができていない」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「コミュニケーション力が不十分である」の割合が 45.1%、「落ち着きがない」の割合が 35.6%となっています。



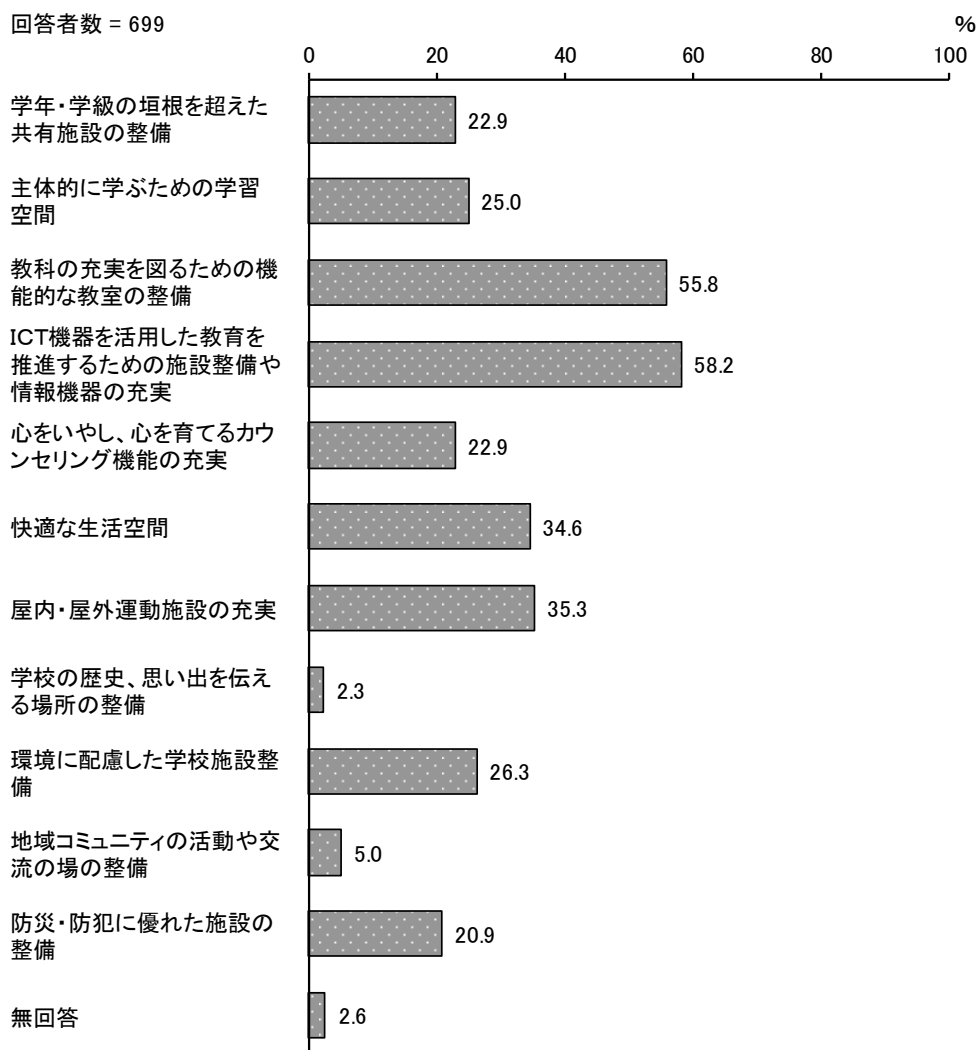
問 17 入学時の児童・生徒の問題に対する有効な対策について、あてはまることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「幼稚園・保育園と小学校、中学校間の情報交換」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「教師と保育士・幼稚園教諭の交流を深める」の割合が 20.2%、「特にない」の割合が 18.3%となっています。



問 18 小平市の教育環境について、特に充実・改善してほしいものは何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

「ICT機器を活用した教育を推進するための施設整備や情報機器の充実」の割合が58.2%と最も高く、次いで「教科の充実を図るための機能的な教室の整備」の割合が55.8%、「屋内・屋外運動施設の充実」の割合が35.3%となっています。



【小中学校別】

小中学校別でみると、小学校に比べ、中学校で「屋内・屋外運動施設の充実」「環境に配慮した学校施設整備」の割合が高くなっています。一方、中学校に比べ、小学校で「学年・学級の垣根を超えた共有施設の整備」「主体的に学ぶための学習空間」「教科の充実を図るための機能的な教室の整備」「ICT機器を活用した教育を推進するための施設整備や情報機器の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

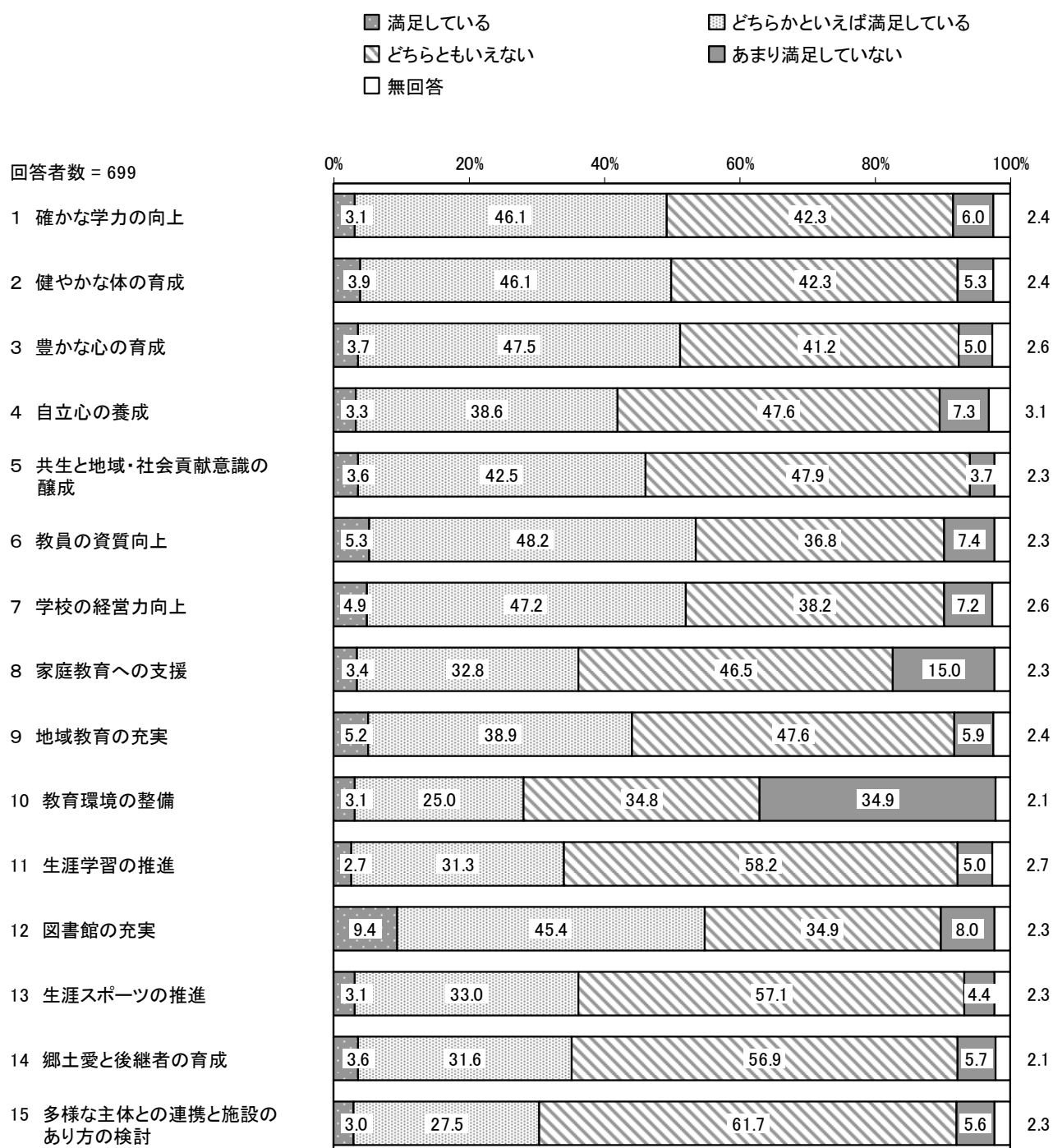
区分	回答者数(件)	学年・学級の垣根を超えた共有施設の整備	主体的に学ぶための学習空間	教科の充実を図るための機能的な教室の整備	ICT機器を活用した教育を推進するための施設整備や情報機器の充実	心をいやし、心を育てるカウンセリング機能の充実	快適な生活空間	屋内・屋外運動施設の充実	学校の歴史、思い出を伝える場所の整備	環境に配慮した学校施設整備	地域コミュニティの活動や交流の場の整備	防災・防犯に優れた施設の整備	無回答
小学校	470	25.3	27.0	57.7	63.2	21.5	32.6	30.4	1.5	23.6	4.9	21.1	1.9
中学校	229	17.9	21.0	52.0	48.0	25.8	38.9	45.4	3.9	31.9	5.2	20.5	3.9

(3) 小平市の教育施策や教育事業について

問 19 次の教育施策や教育事業について、あなたは、現在の小平市の取組に満足していますか【満足度】。また、今後小平市で力を入れて行う必要があると思いますか【重要度】。
 (1～15の各項目について、【満足度】と【重要度】に、それぞれ1つだけ○)

【満足度】

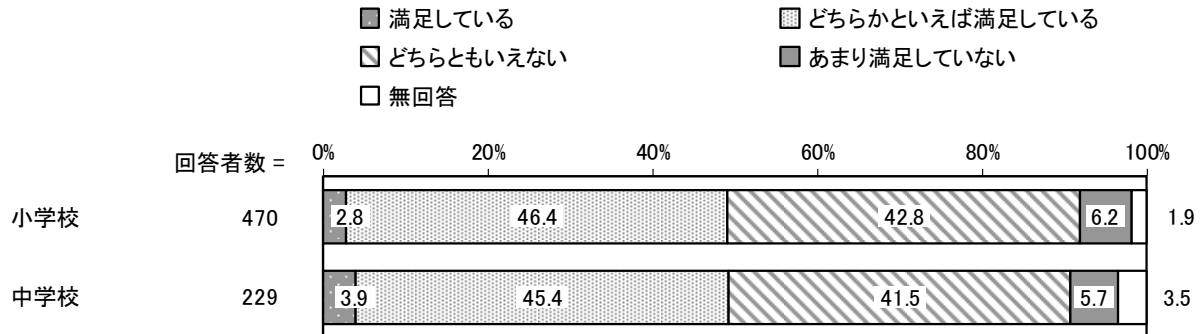
『図書館の充実』で「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が高くなっています。一方、『教育環境の整備』で「あまり満足していない」の割合が高くなっています。



1 確かな学力の向上

【小中学校別】

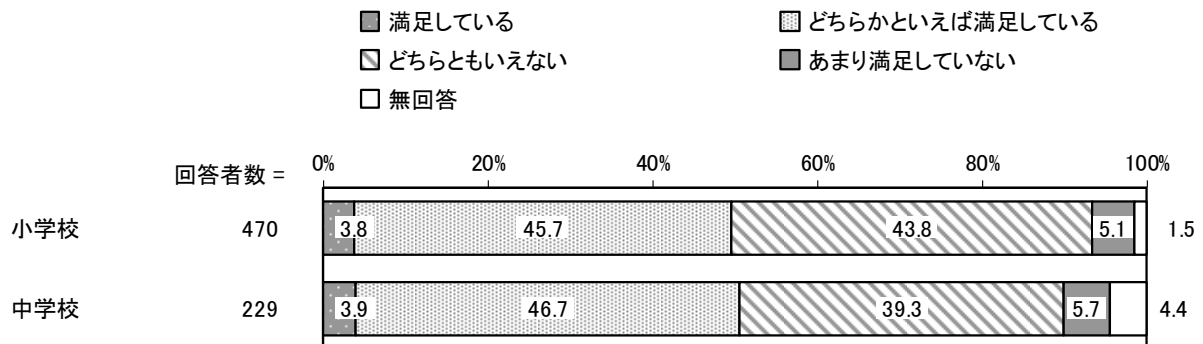
小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



2 健やかな体の育成

【小中学校別】

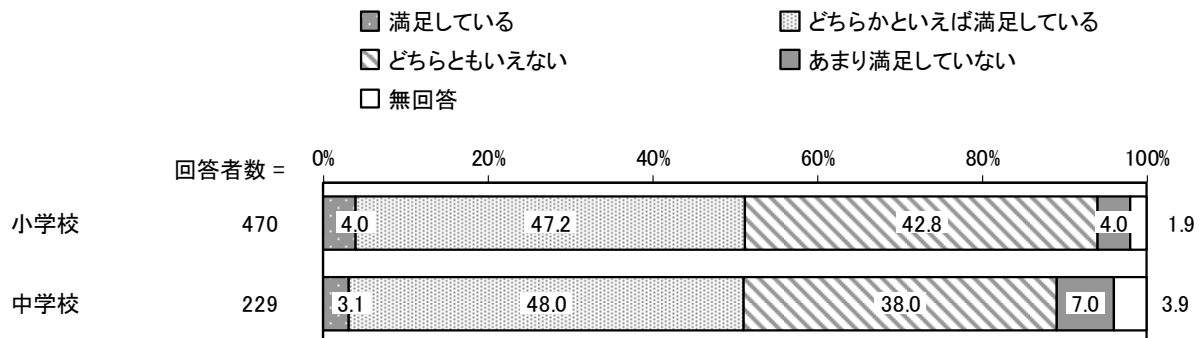
小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



3 豊かな心の育成

【小中学校別】

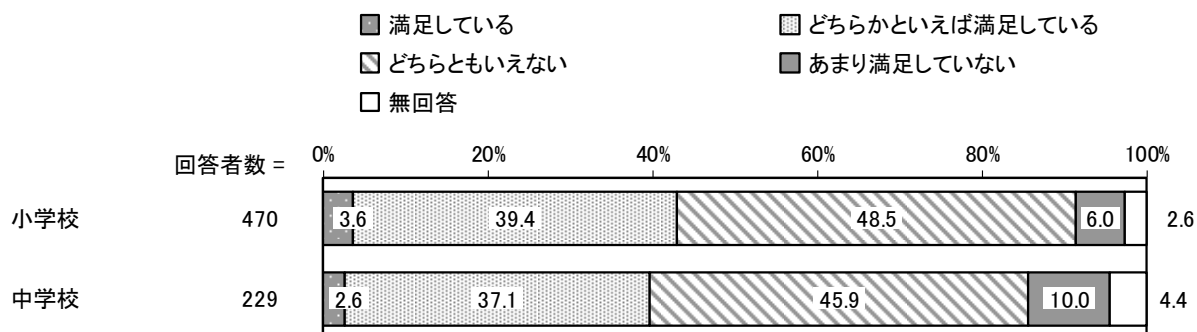
小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



4 自立心の養成

【小中学校別】

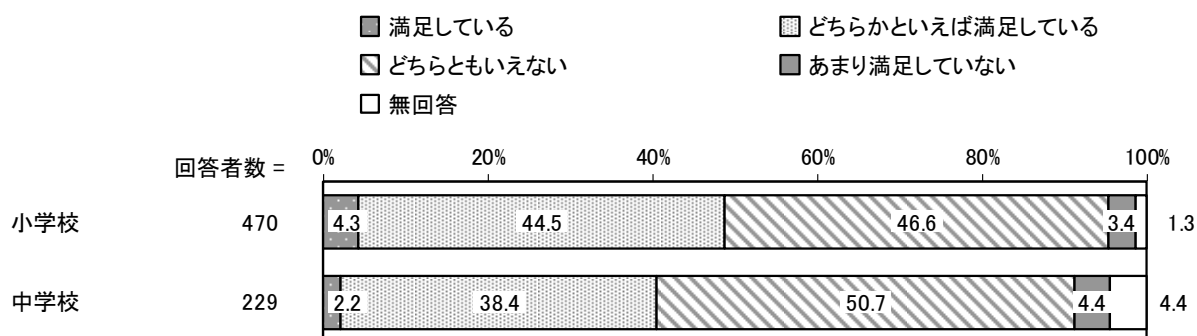
小中学校別でみると、大きな差異はみられません。



5 共生と地域・社会貢献意識の醸成

【小中学校別】

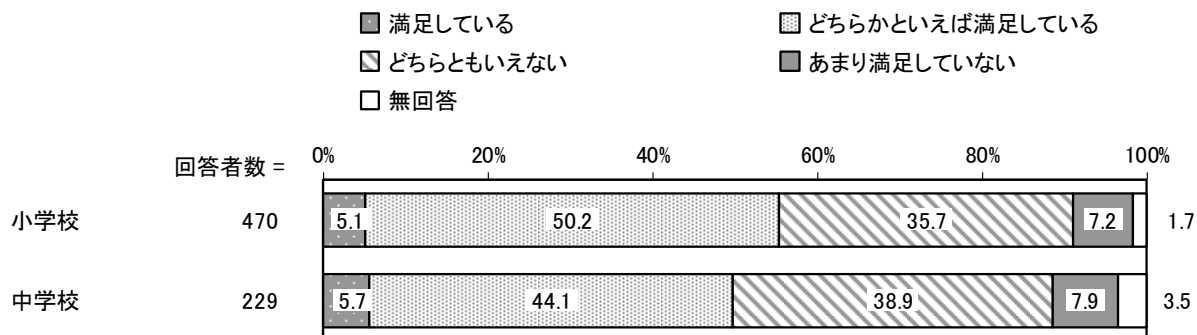
小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で“満足している”の割合が高くなっています。



6 教員の資質向上

【小中学校別】

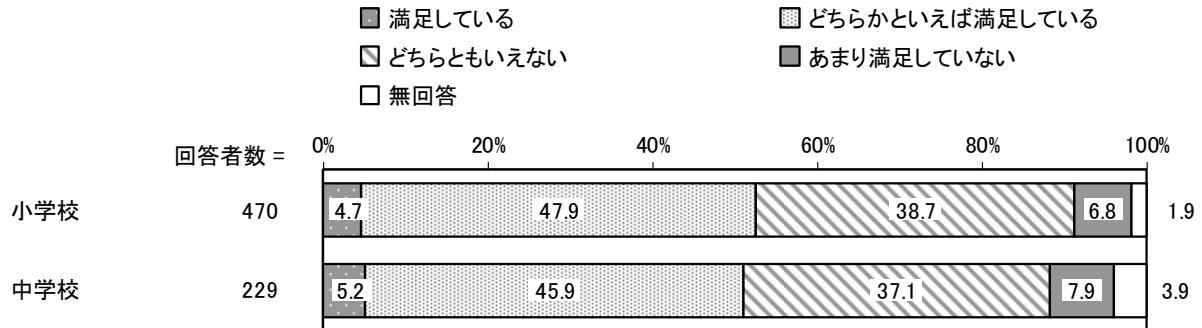
小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で“満足している”の割合が高くなっています。



7 学校の経営力向上

【小中学校別】

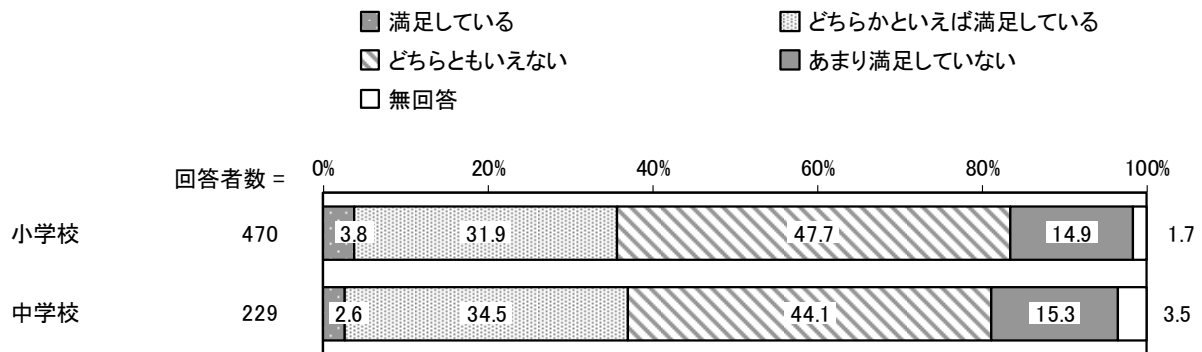
小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



8 家庭教育への支援

【小中学校別】

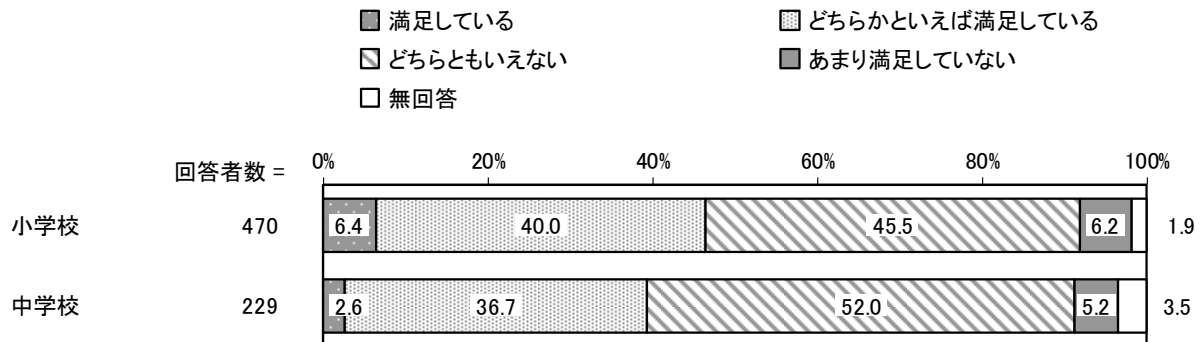
小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



9 地域教育の充実

【小中学校別】

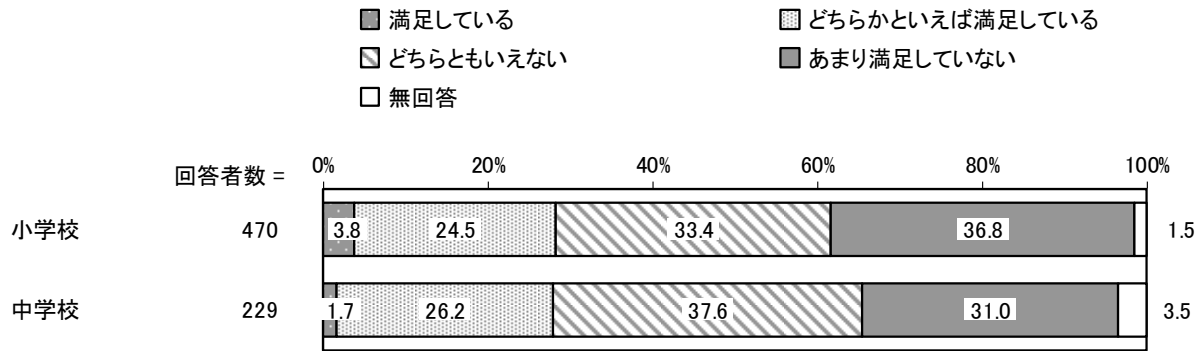
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で“満足している”の割合が高くなっています。



10 教育環境の整備

【小中学校別】

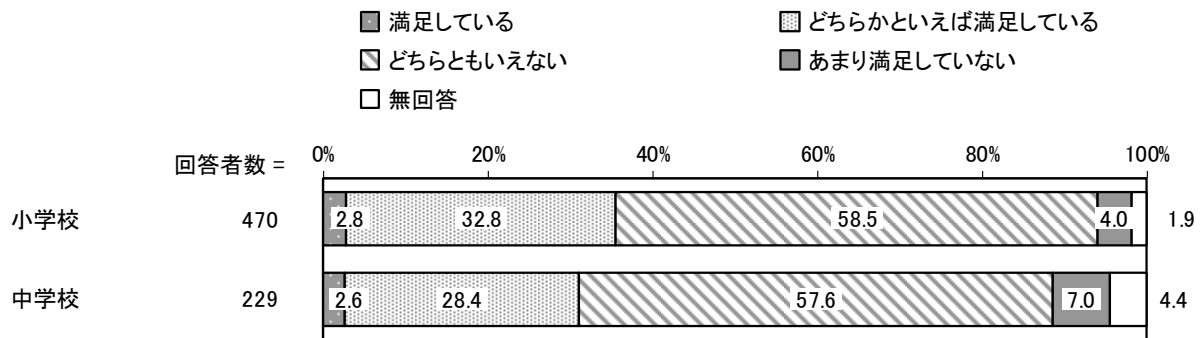
小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で「あまり満足していない」の割合が高くなっています。



11 生涯学習の推進

【小中学校別】

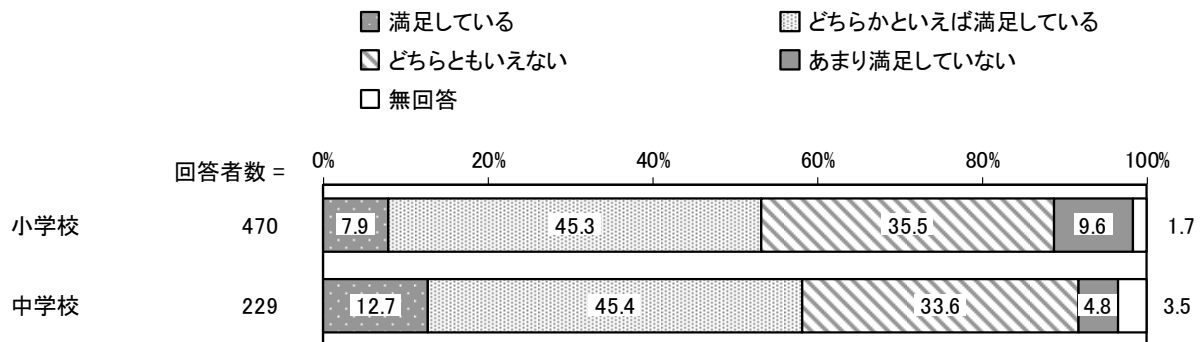
小中学校別でみると、大きな差異はみられません。



12 図書館の充実

【小中学校別】

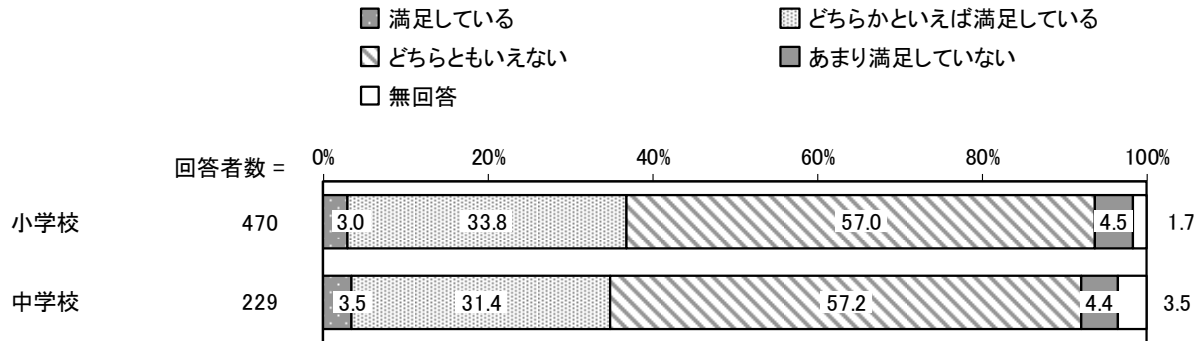
小中学校別でみると、大きな差異はみられません。



13 生涯スポーツの推進

【小中学校別】

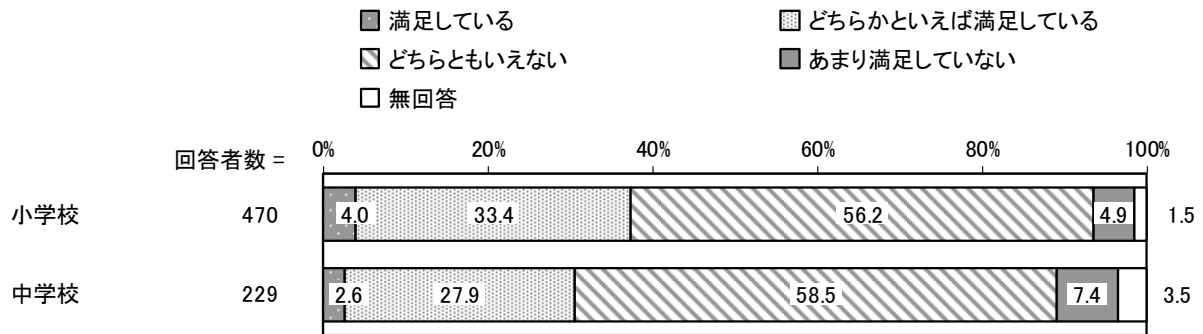
小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



14 郷土愛と後継者の育成

【小中学校別】

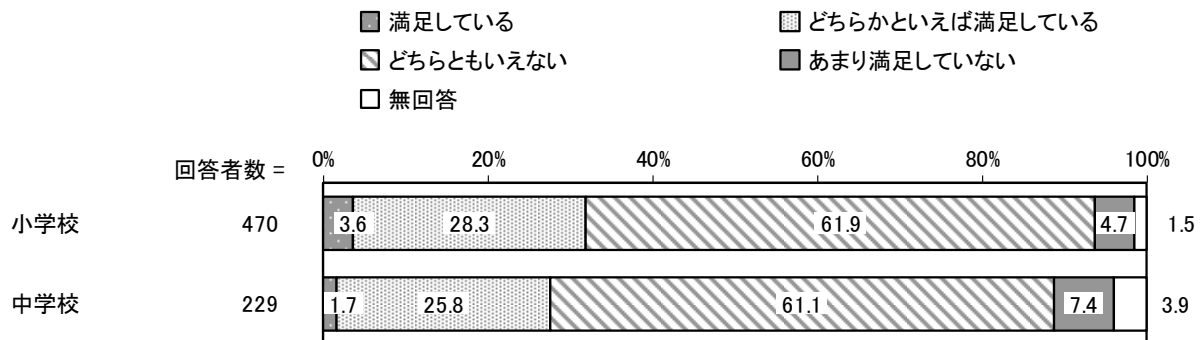
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で“満足している”の割合が高くなっています。



15 多様な主体との連携と施設のあり方の検討

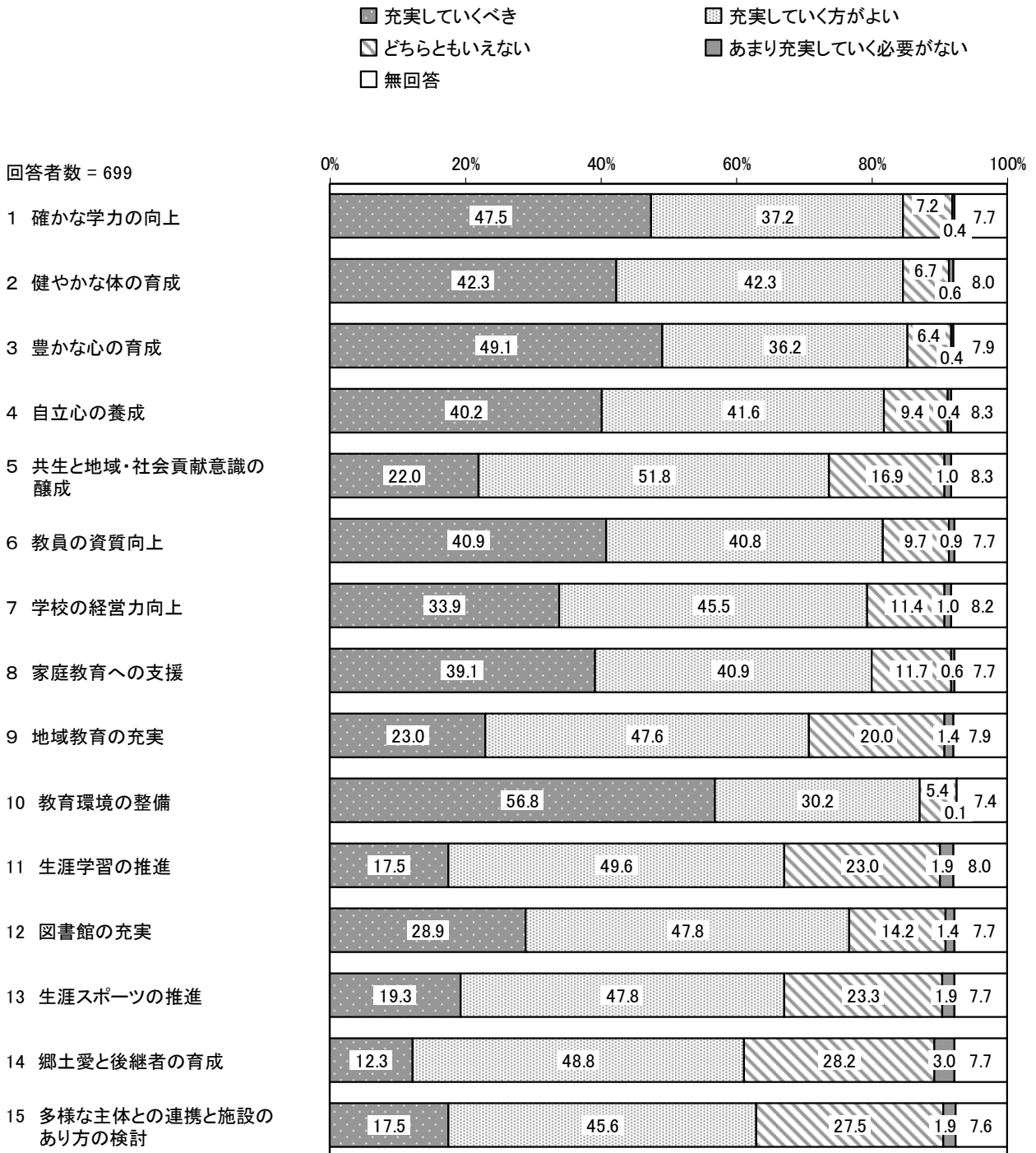
【小中学校別】

小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



【重要度】

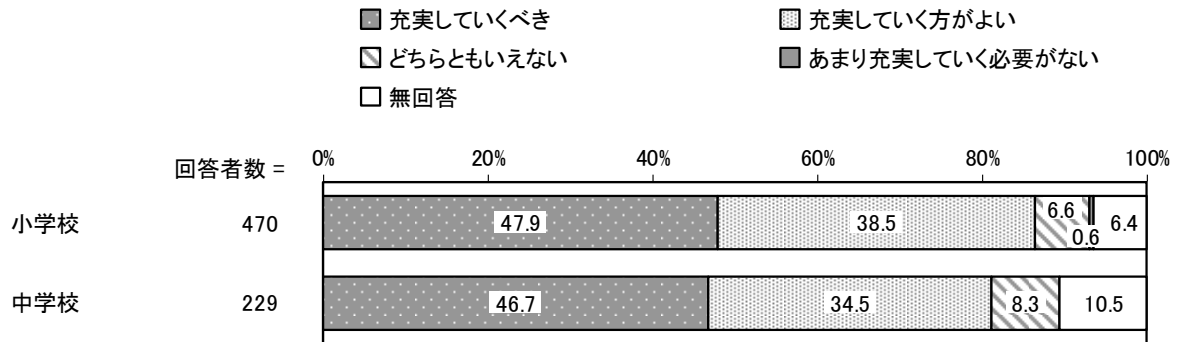
『教育環境の整備』で「充実していくべき」と「充実していく方がよい」をあわせた“充実していくべき”の割合が高くなっています。一方、『郷土愛と後継者の育成』『多様な主体との連携と施設のあり方の検討』で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



1 確かな学力の向上

【小中学校別】

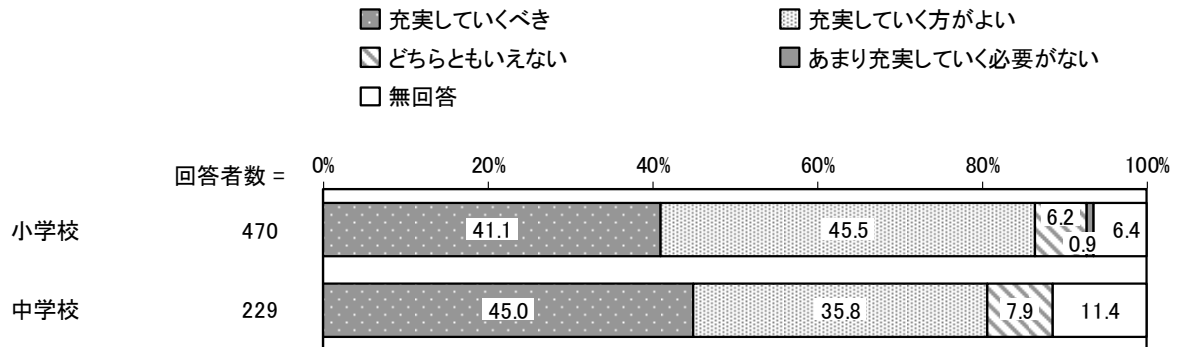
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で“充実していくべき”の割合が高くなっています。



2 健やかな体の育成

【小中学校別】

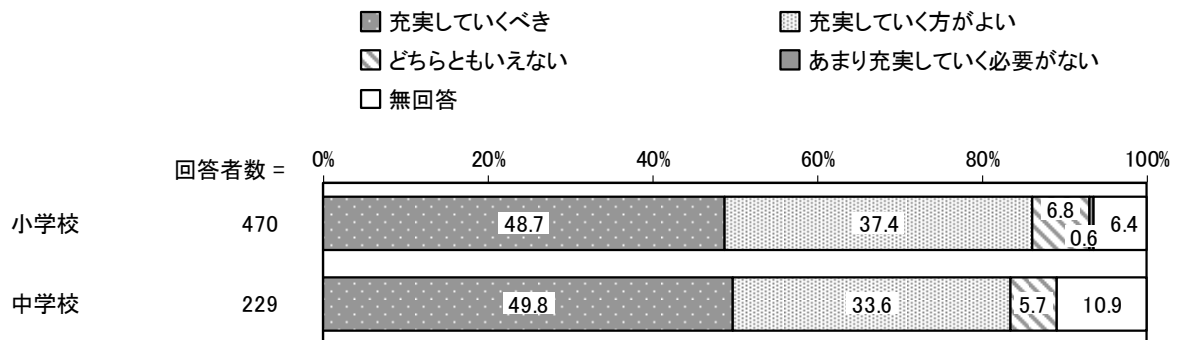
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で“充実していくべき”の割合が高くなっています。



3 豊かな心の育成

【小中学校別】

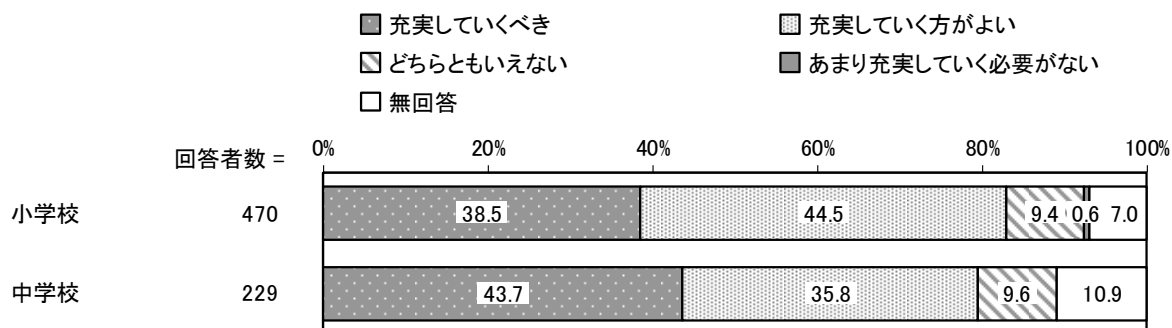
小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



4 自立心の養成

【小中学校別】

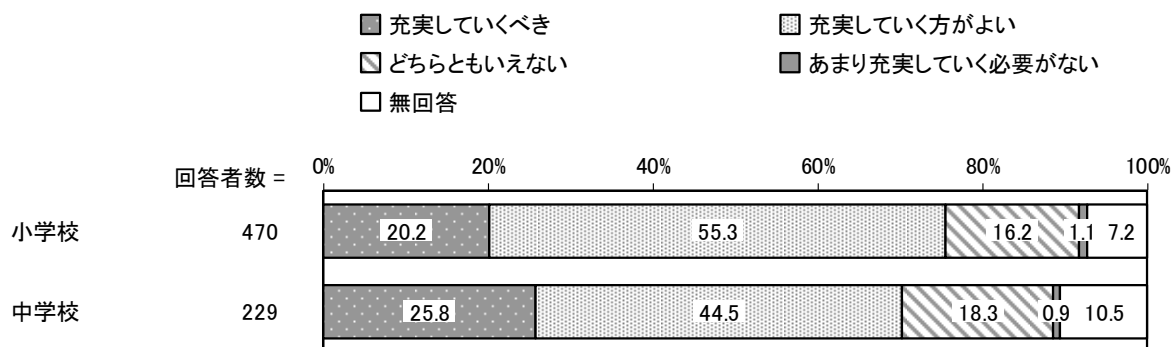
小中学校別でみると、大きな差異はみられません。



5 共生と地域・社会貢献意識の醸成

【小中学校別】

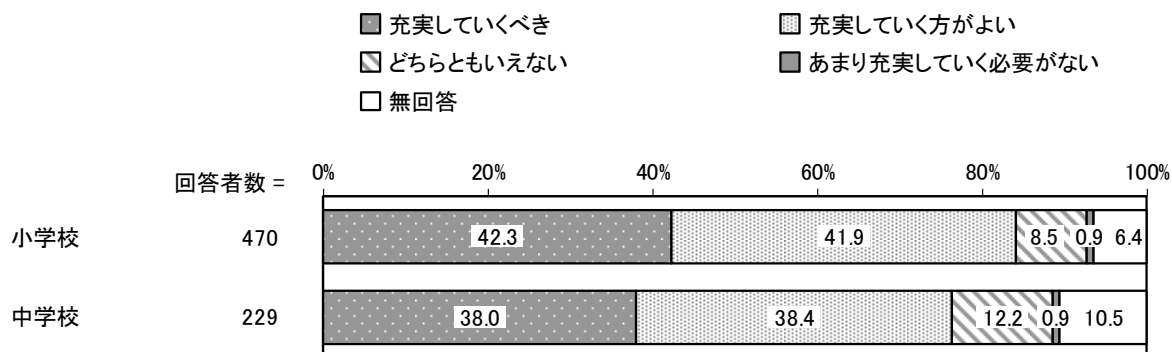
小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で“充実していくべき”の割合が高くなっています。



6 教員の資質向上

【小中学校別】

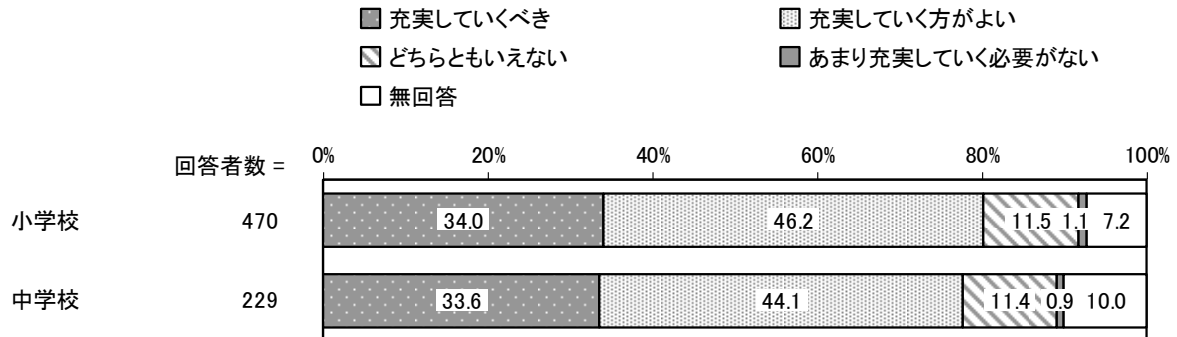
小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で“充実していくべき”の割合が高くなっています。



7 学校の経営力向上

【小中学校別】

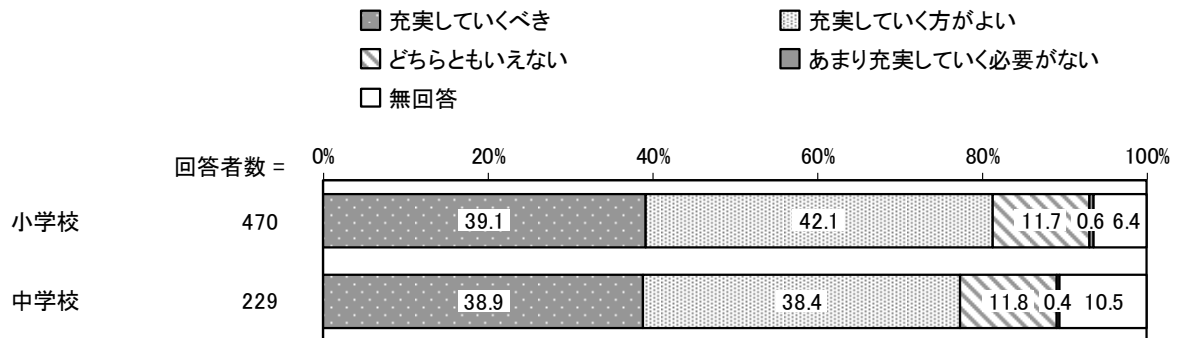
小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



8 家庭教育への支援

【小中学校別】

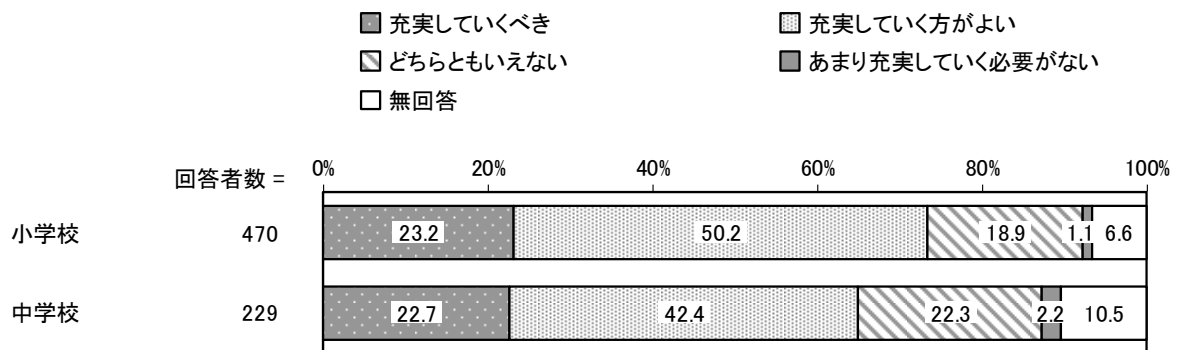
小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



9 地域教育の充実

【小中学校別】

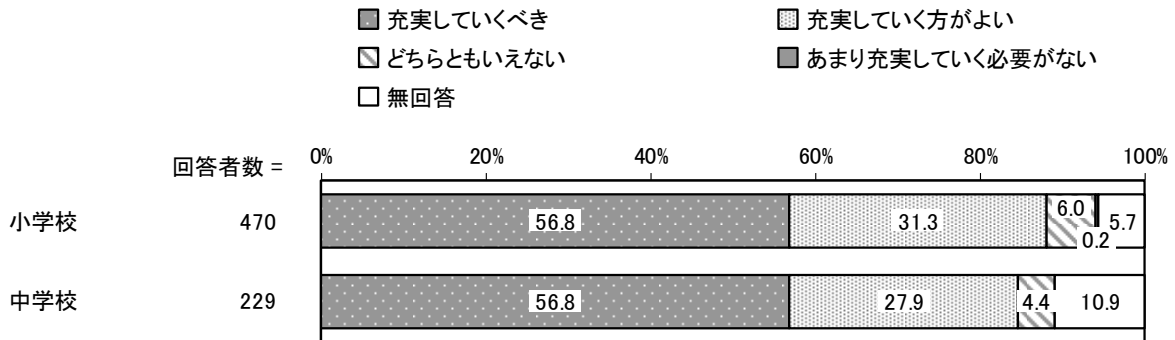
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で“充実していくべき”の割合が高くなっています。



10 教育環境の整備

【小中学校別】

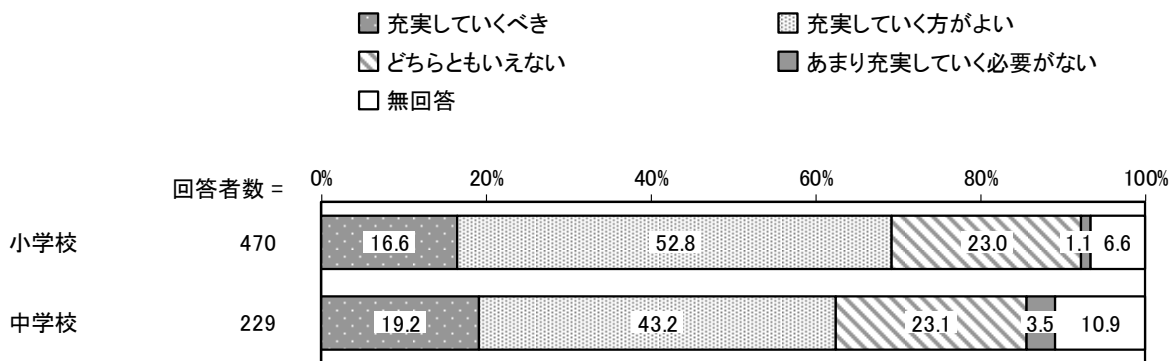
小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



11 生涯学習の推進

【小中学校別】

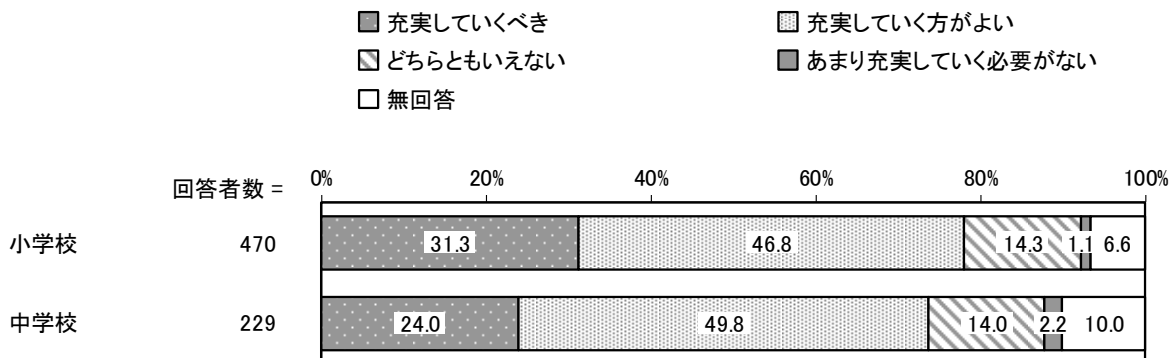
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で“充実していくべき”の割合が高くなっています。



12 図書館の充実

【小中学校別】

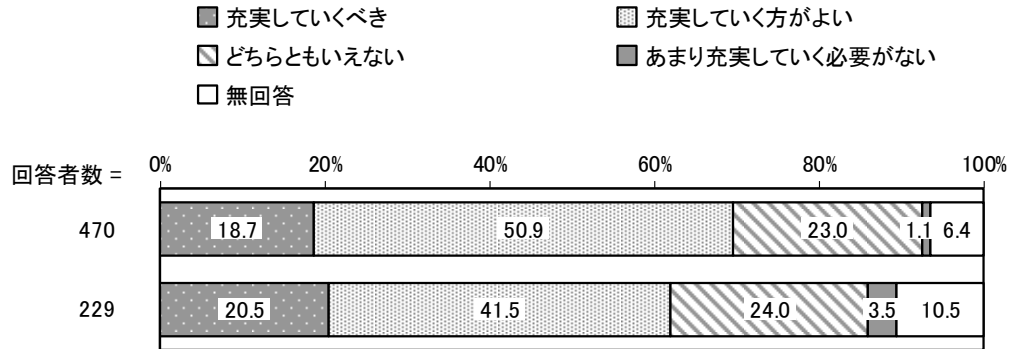
小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



13 生涯スポーツの推進

【小中学校別】

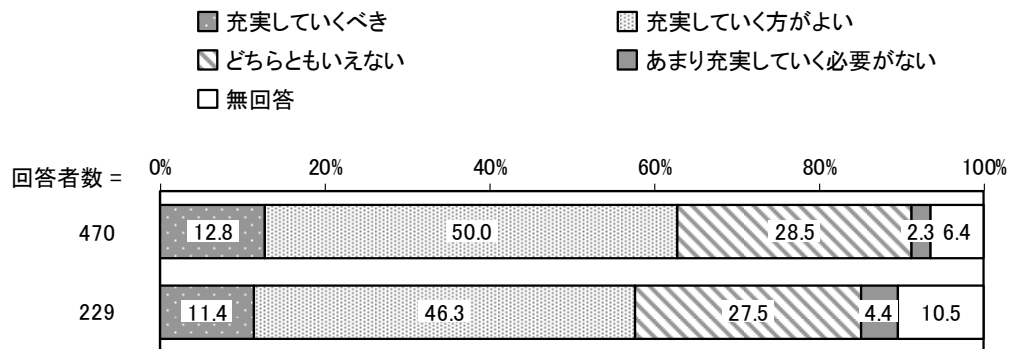
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で“充実していくべき”の割合が高くなっています。



14 郷土愛と後継者の育成

【小中学校別】

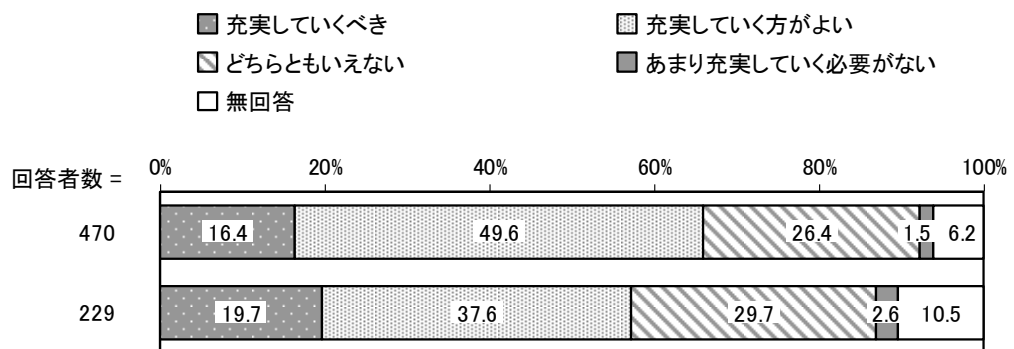
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で“充実していくべき”の割合が高くなっています。



15 多様な主体との連携と施設のあり方の検討

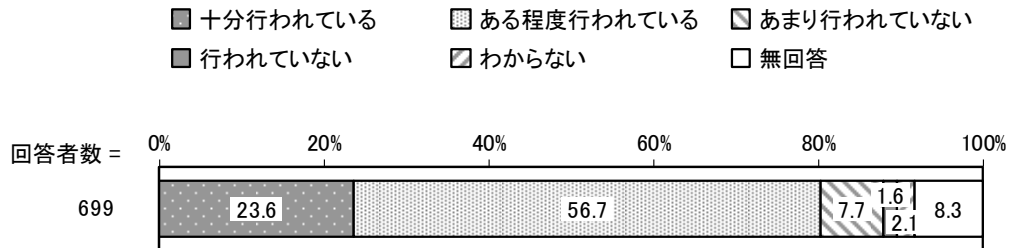
【小中学校別】

小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で“充実していくべき”の割合が高くなっています。



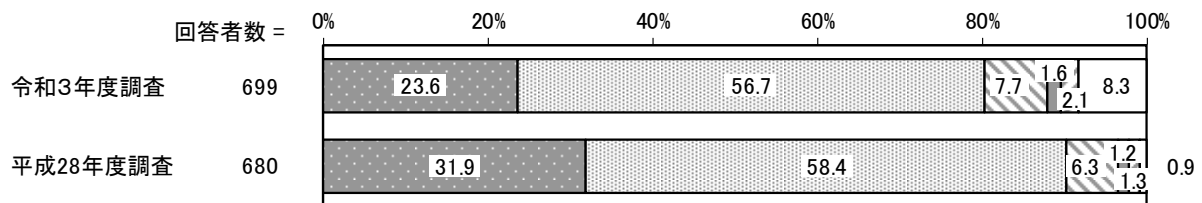
問 20 あなたの学校では、教員としての資質向上のためのOJTが十分行われていますか。(1つに○)

「十分行われている」と「ある程度行われている」をあわせた“行われている”の割合が80.3%、「あまり行われていない」と「行われていない」をあわせた“行われていない”の割合が9.3%、「わからない」の割合が2.1%となっています。



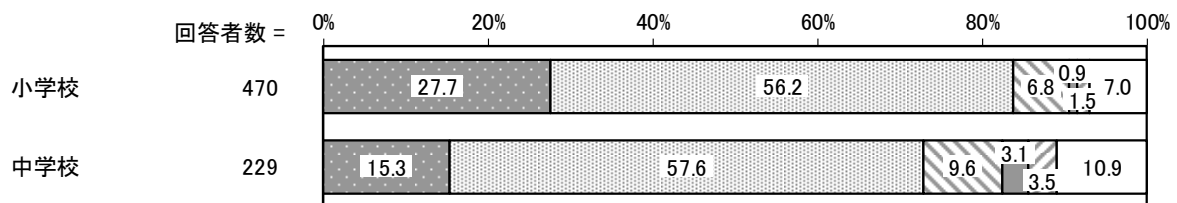
【平成28年度調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、“行われている”の割合が減少しています。



【小中学校別】

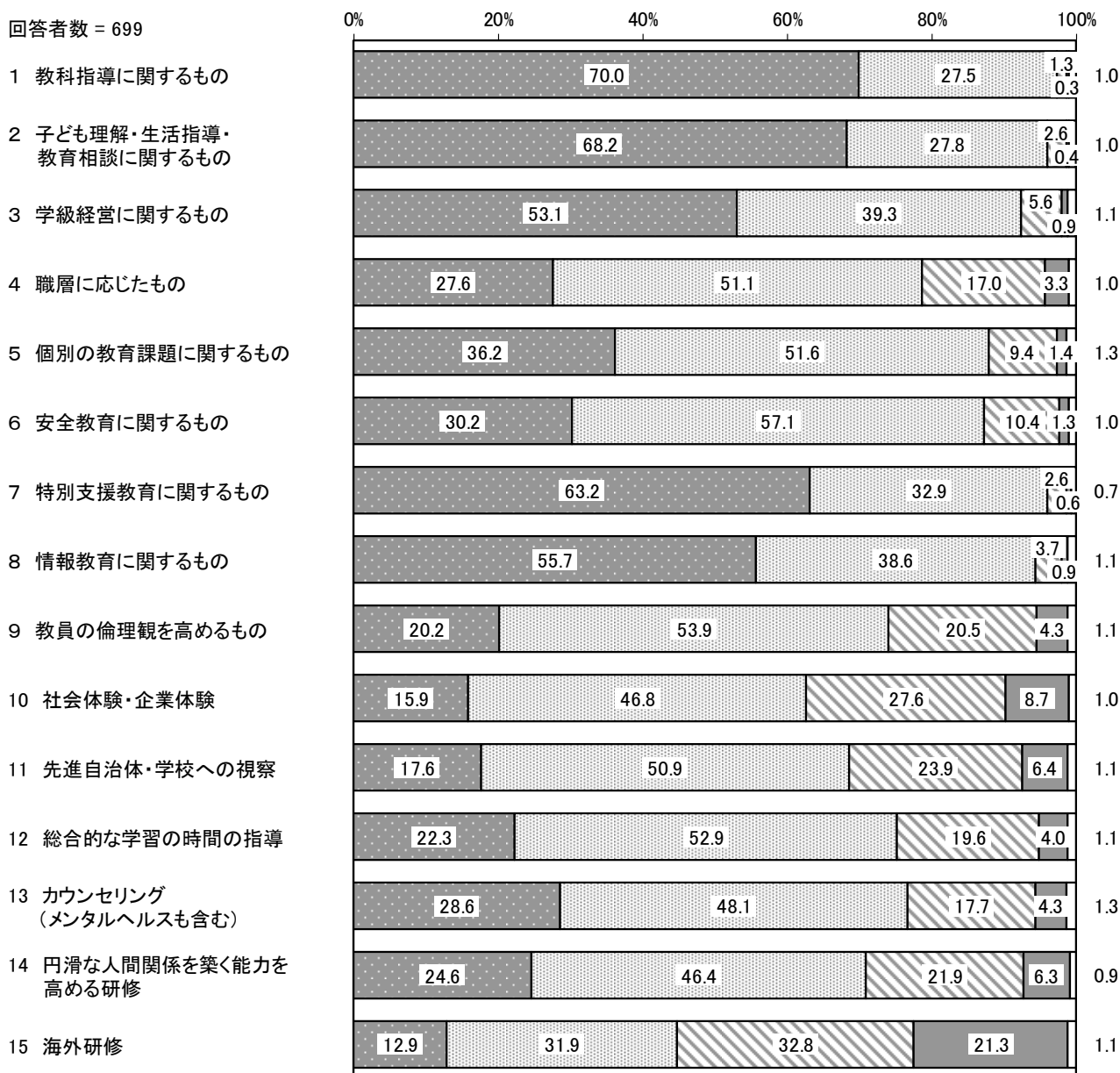
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で“行われている”の割合が高くなっています。



問 21 次の研修について、あてはまることは何ですか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

『教科指導に関するもの』『子ども理解・生活指導・教育相談に関するもの』『特別支援教育に関するもの』『情報教育に関するもの』で「必要だと思う」と「どちらかという必要だと思う」をあわせた“必要だと思う”の割合が高くなっています。一方、『海外研修』で「どちらかという必要だと思わない」と「必要だと思わない」をあわせた“必要だと思わない”の割合が高くなっている。

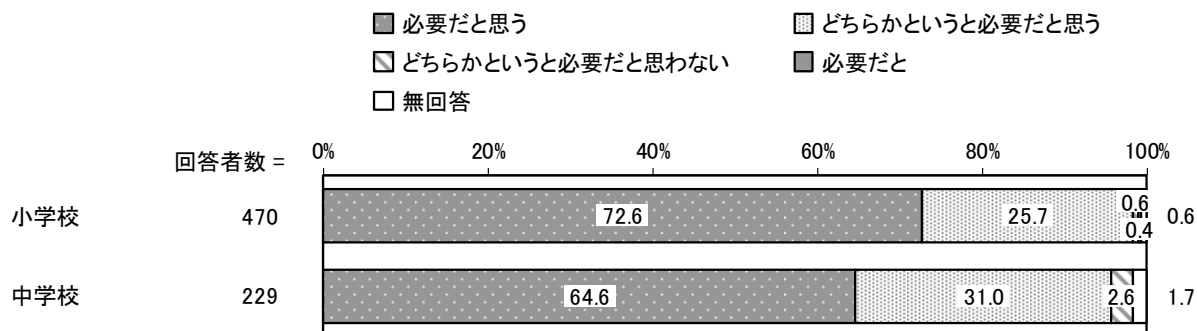
- 必要だと思う
- どちらかという必要だと思う
- どちらかという必要だと思わない
- 必要だと思わない
- 無回答



1 教科指導に関するもの

【小中学校別】

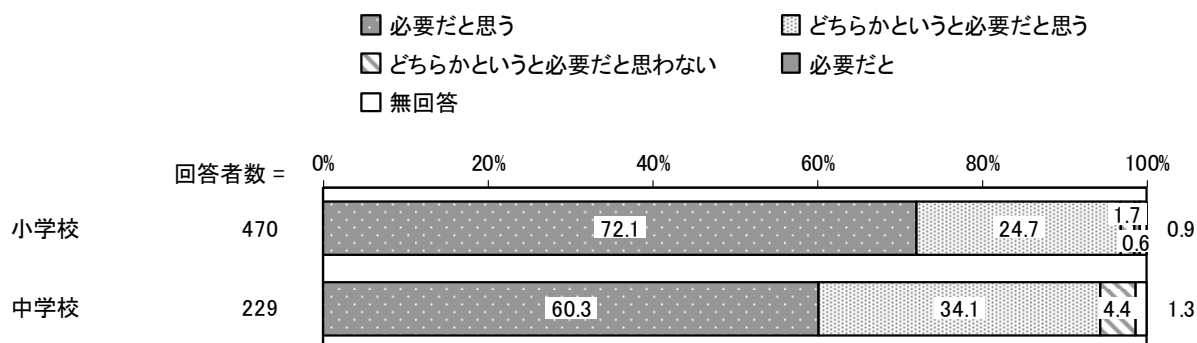
小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



2 子ども理解・生活指導・教育相談に関するもの

【小中学校別】

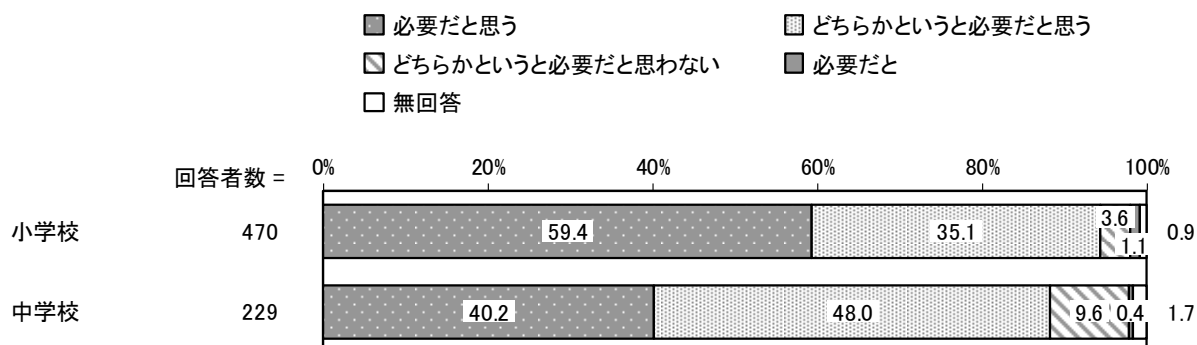
小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



3 学級経営に関するもの

【小中学校別】

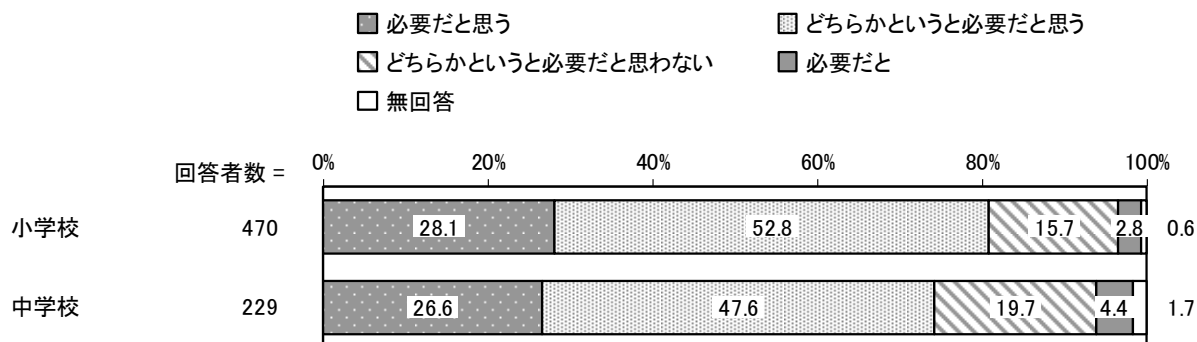
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で“必要だと思う”の割合が高くなっています。



4 職層に応じたもの

【小中学校別】

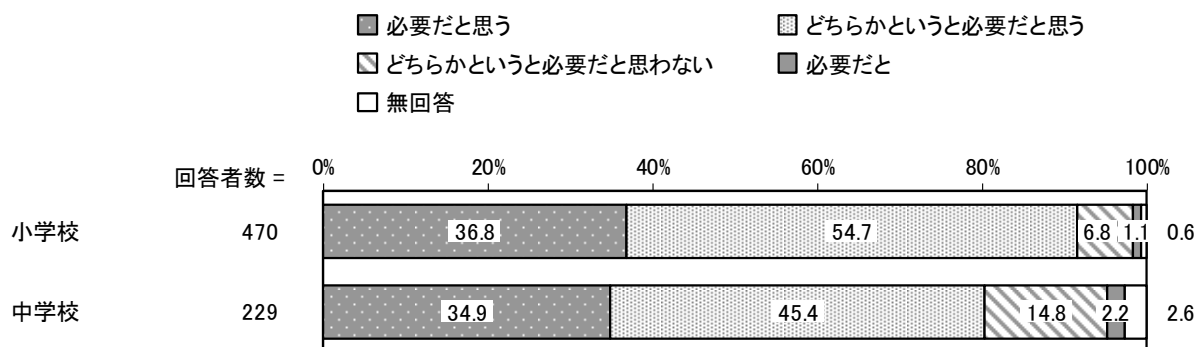
小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で“必要だと思う”の割合が高くなっています。



5 個別の教育課題に関するもの

【小中学校別】

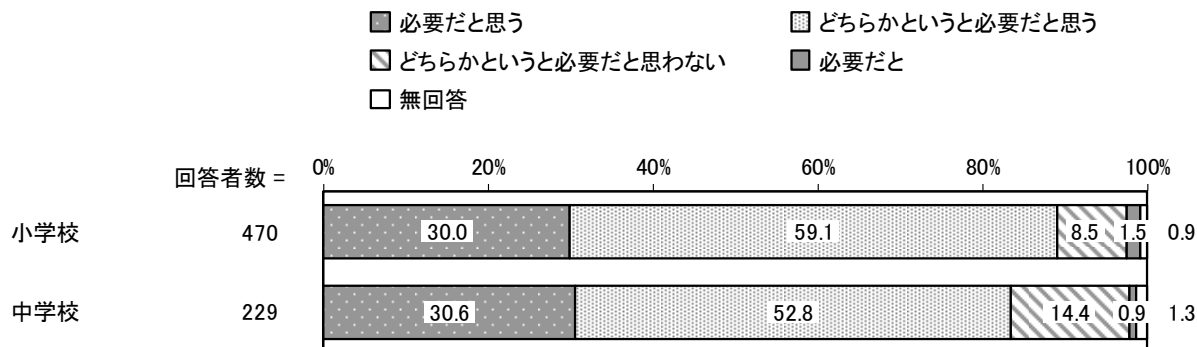
小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で“必要だと思う”の割合が高くなっています。



6 安全教育に関するもの

【小中学校別】

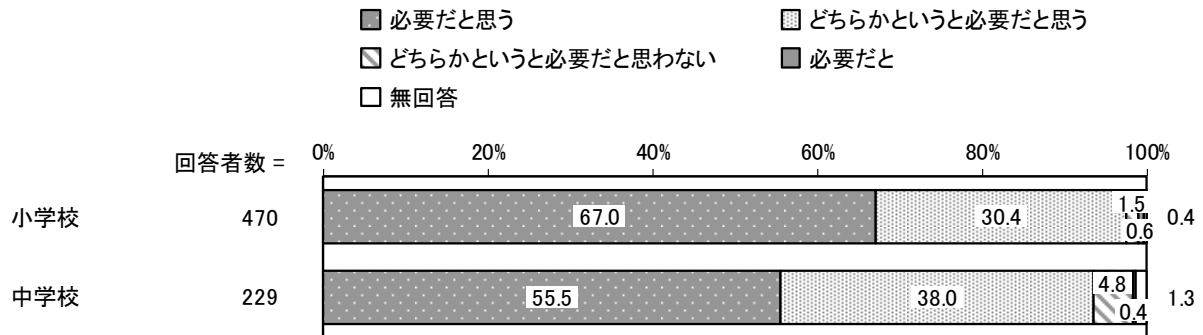
小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で“必要だと思う”の割合が高くなっています。



7 特別支援教育に関するもの

【小中学校別】

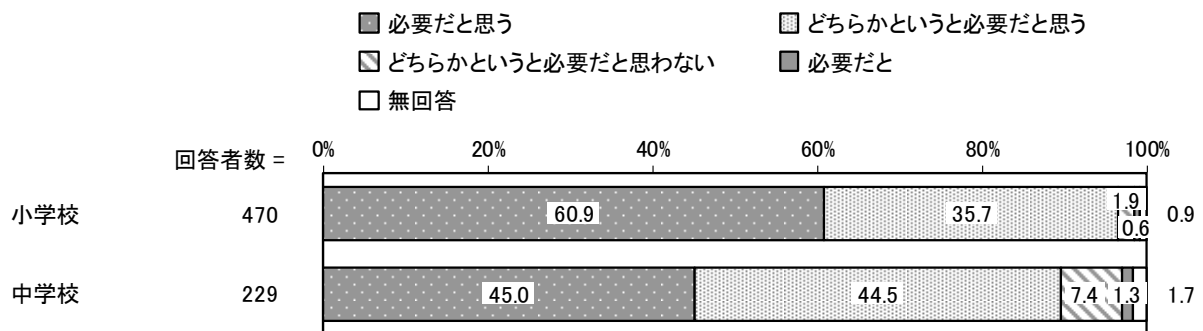
小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



8 情報教育に関するもの

【小中学校別】

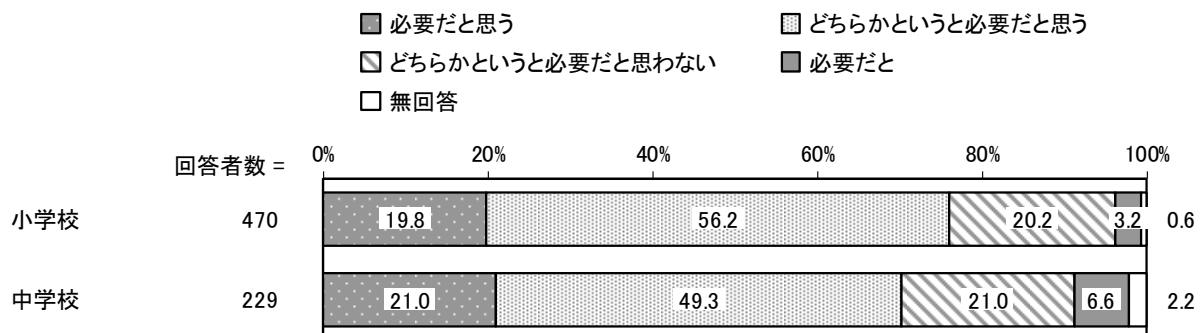
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で“必要だと思う”の割合が高くなっています。



9 教員の倫理観を高めるもの

【小中学校別】

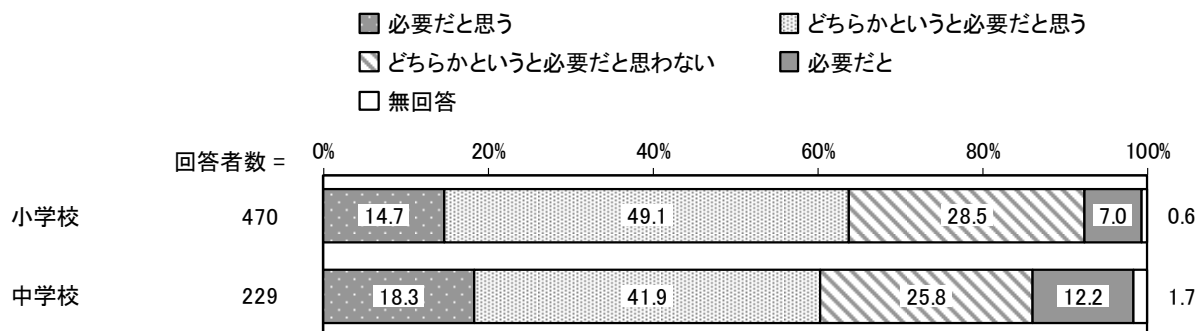
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で“必要だと思う”の割合が高くなっています。



10 社会体験・企業体験

【小中学校別】

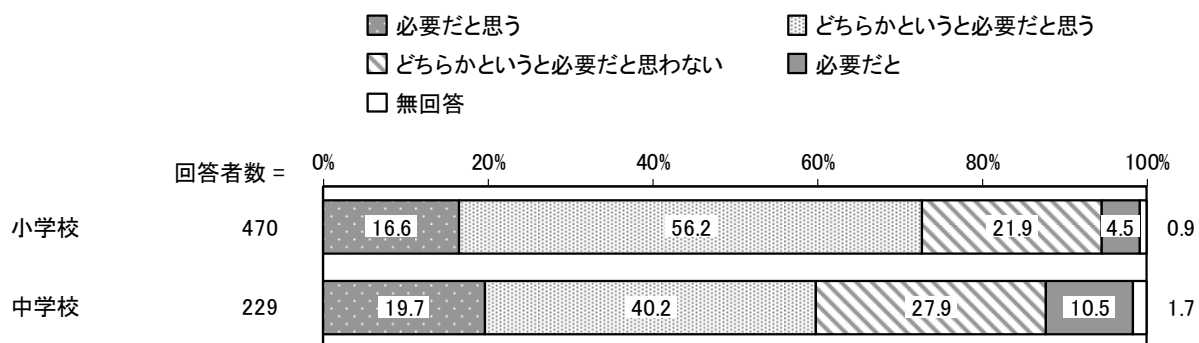
小中学校別でみると、大きな差異はみられません。



11 先進自治体・学校への視察

【小中学校別】

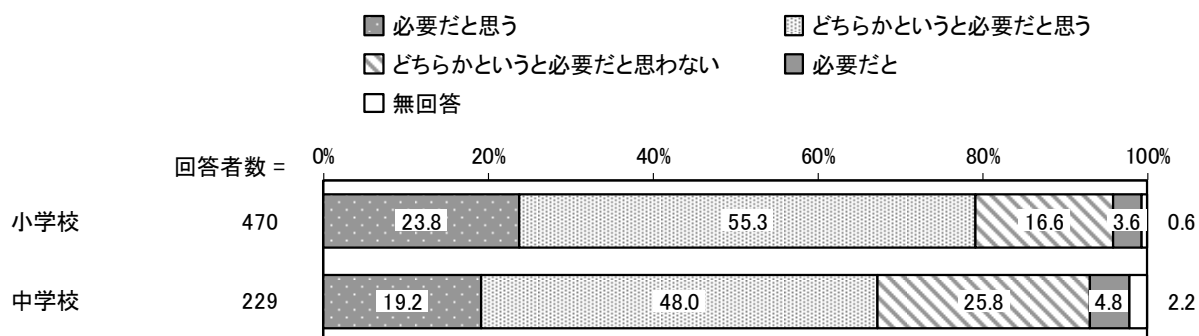
小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で“必要だと思う”の割合が高くなっています。



12 総合的な学習の時間の指導

【小中学校別】

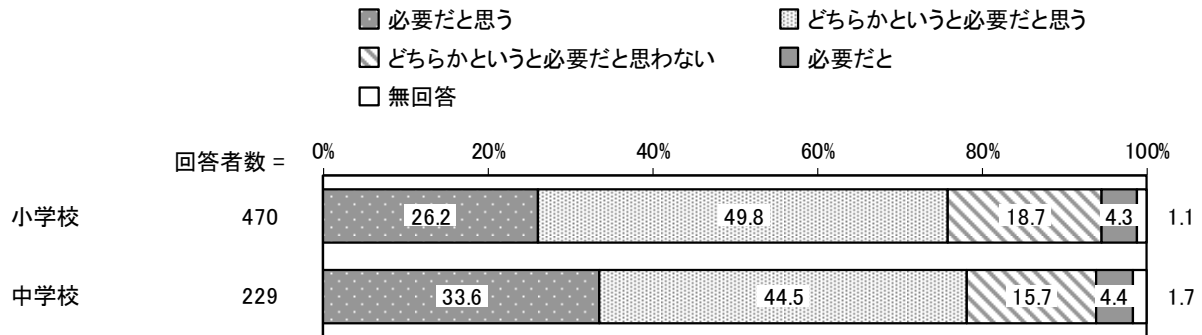
小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で“必要だと思う”の割合が高くなっています。



13 カウンセリング（メンタルヘルスも含む）

【小中学校別】

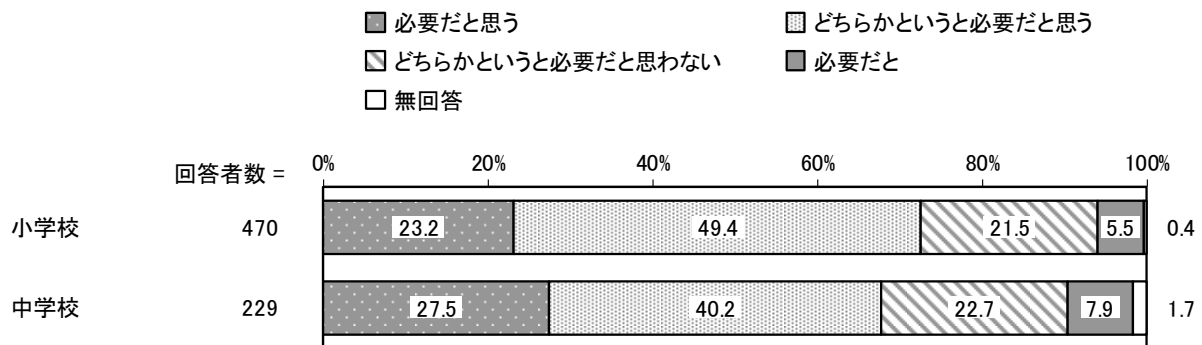
小中学校別でみると、大きな差異はみられません。



14 円滑な人間関係を築く能力を高める研修

【小中学校別】

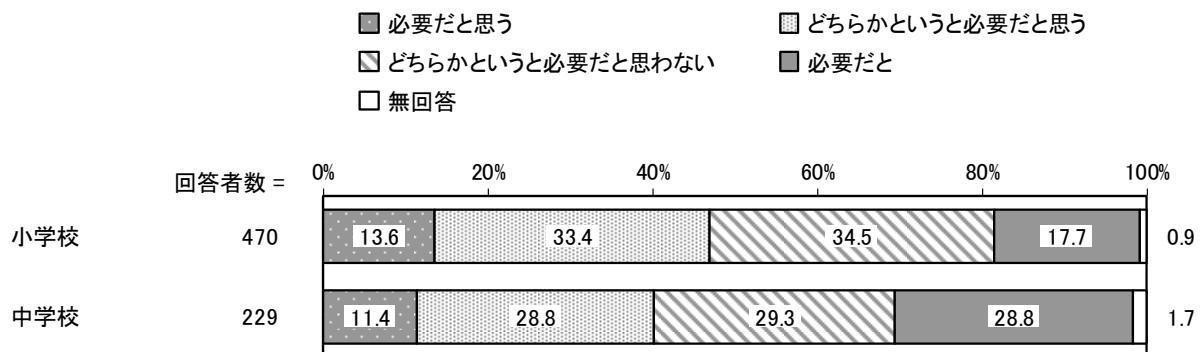
小中学校別でみると、大きな差異はみられません。



15 海外研修

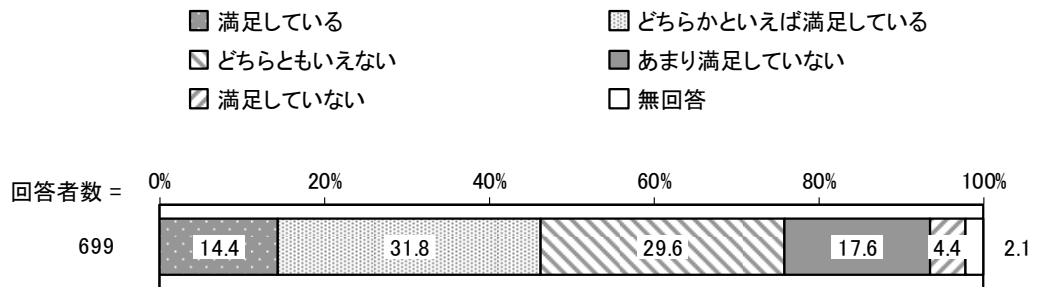
【小中学校別】

小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で“必要だと思う”の割合が高くなっています。



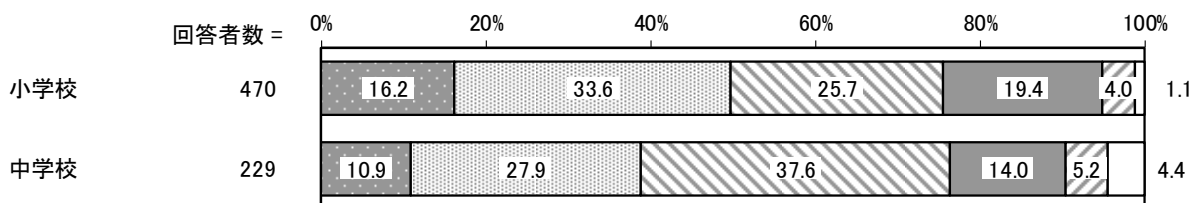
問 22 前設問の各種研修の実施について、現在コロナ禍の中、リモート研修が行われていますが、あなたは、リモートで行う研修内容について満足していますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が46.2%、「どちらともいえない」の割合が29.6%、「あまり満足していない」と「満足していない」をあわせた“満足していない”の割合が22.0%となっています。



【小中学校別】

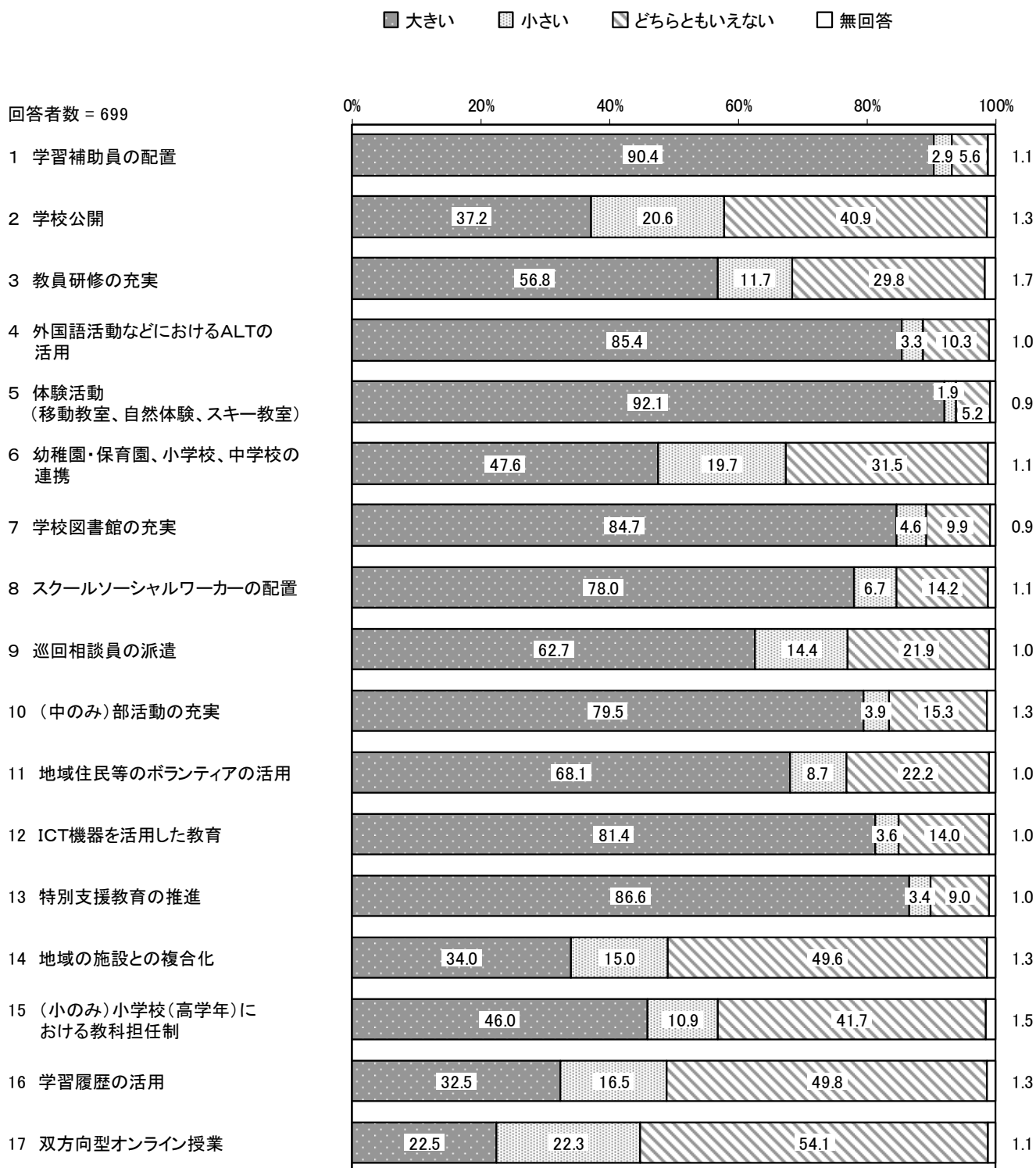
小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で“満足している”の割合が高くなっています。一方、小学校に比べ、中学校で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



問 23 次の教育施策や事業について、あてはまることは何ですか。（（小のみ）は小学校の教員のみ、（中のみ）は中学校の教員のみ、それぞれあてはまるもの1つに○）

子どもへの効果

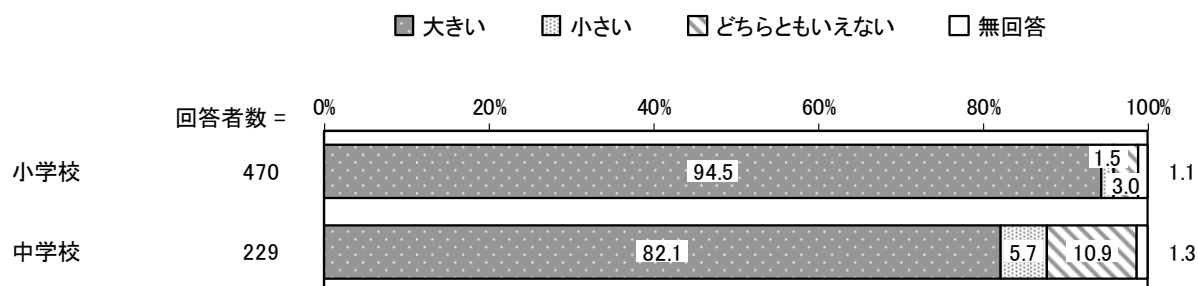
『学習補助員の配置』『体験活動（移動教室、自然体験、スキー教室）で「大きい」の割合が高くなっています。一方、『学校公開』『幼稚園・保育園、小学校、中学校の連携』『双方向型オンライン授業』で「小さい」の割合が高くなっている。



1 学習補助員の配置

【小中学校別】

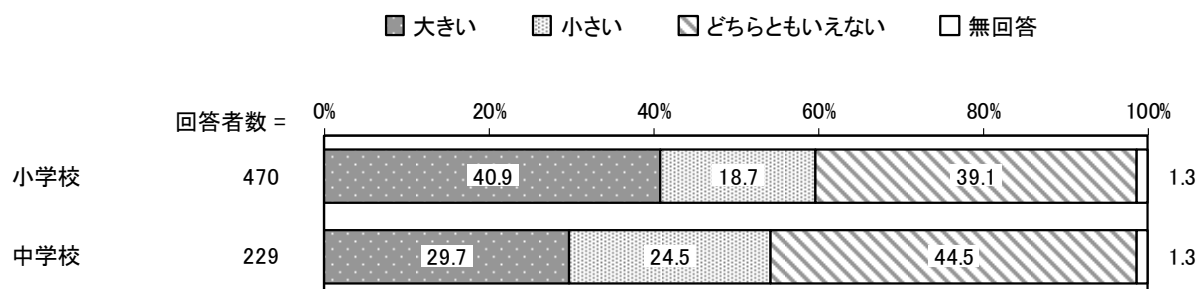
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で「大きい」の割合が高くなっています。



2 学校公開

【小中学校別】

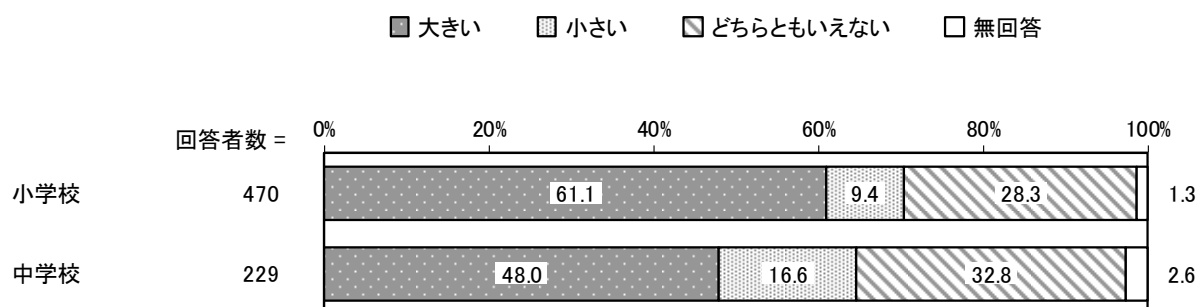
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で「大きい」の割合が高くなっています。



3 教員研修の充実

【小中学校別】

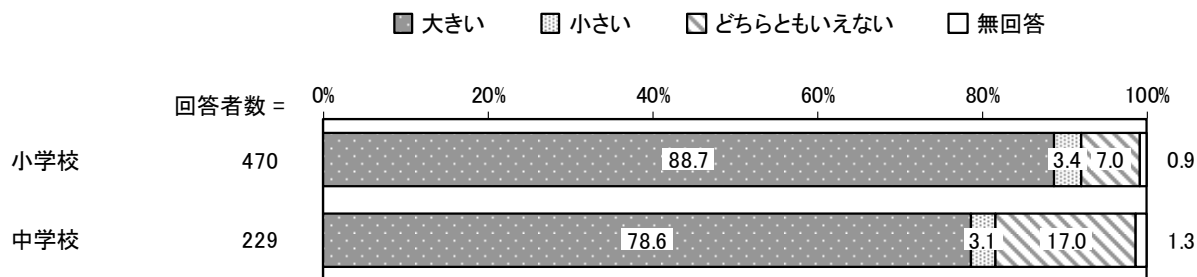
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で「大きい」の割合が高くなっています。



4 外国語活動などにおけるALTの活用

【小中学校別】

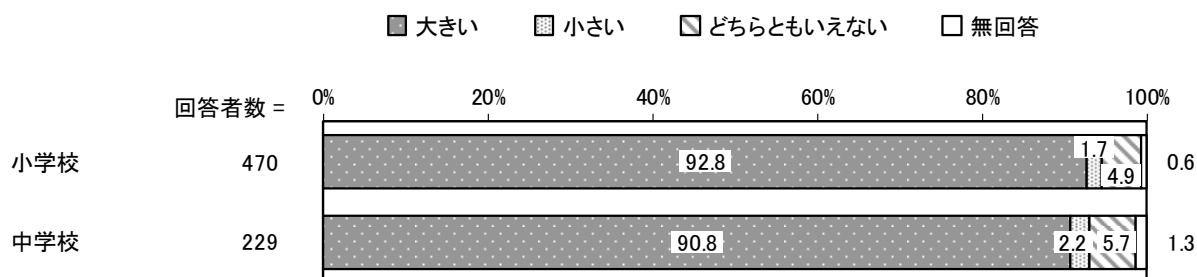
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で「大きい」の割合が高くなっています。



5 体験活動（移動教室、自然体験、スキー教室）

【小中学校別】

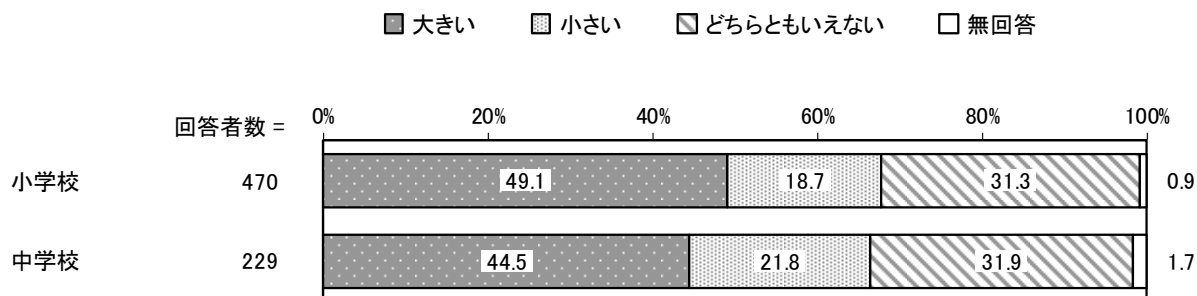
小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



6 幼稚園・保育園、小学校、中学校の連携

【小中学校別】

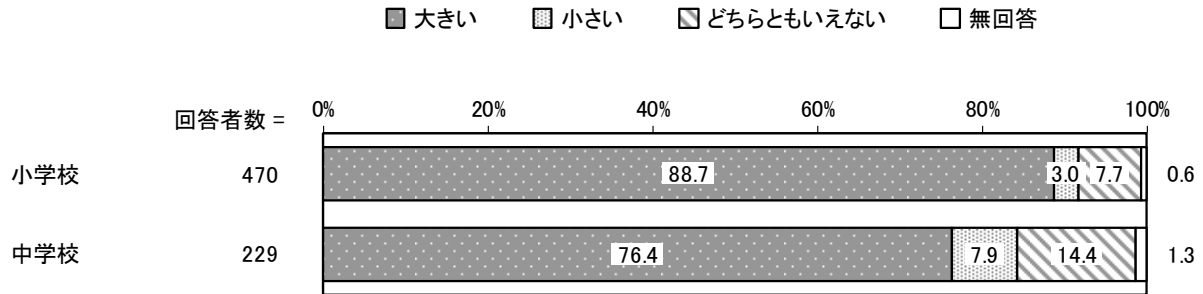
小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



7 学校図書館の充実

【小中学校別】

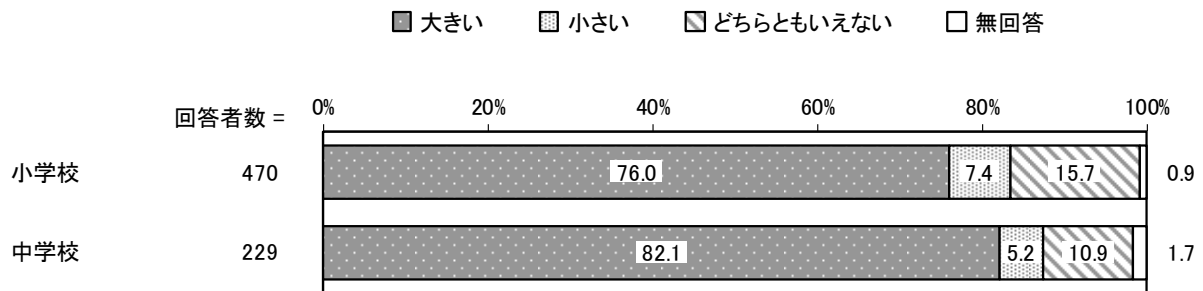
小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で「大きい」の割合が高くなっています。



8 スクールソーシャルワーカーの配置

【小中学校別】

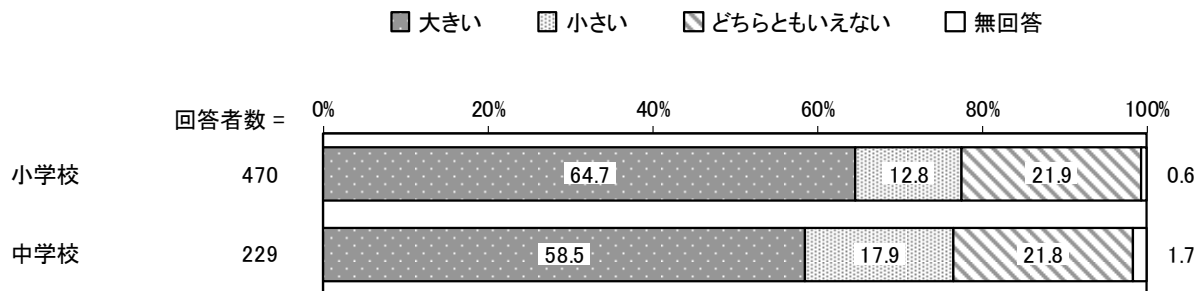
小中学校別でみると、小学校に比べ、中学校で「大きい」の割合が高くなっています。



9 巡回相談員の派遣

【小中学校別】

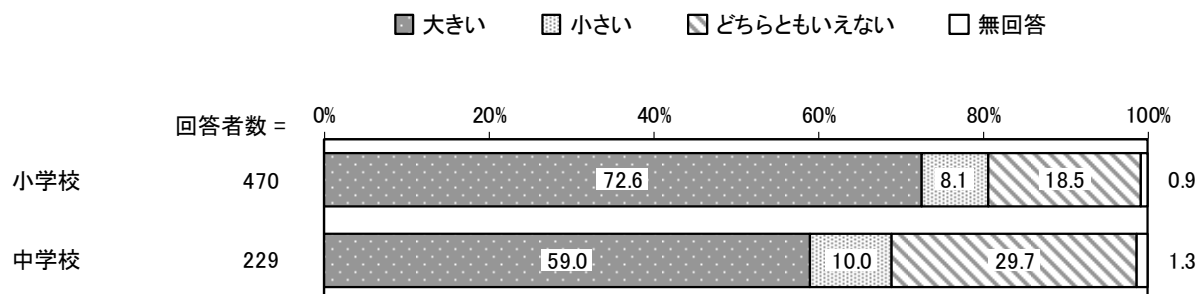
小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で「大きい」の割合が高くなっています。



11 地域住民等のボランティアの活用

【小中学校別】

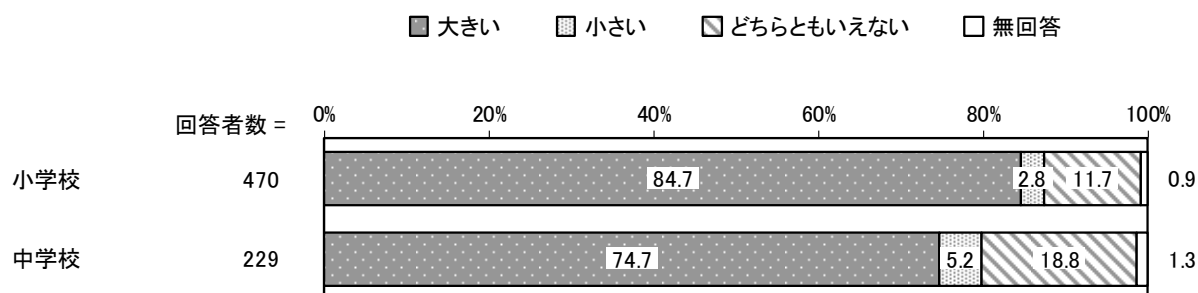
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で「大きい」の割合が高くなっています。



12 ICT機器を活用した教育

【小中学校別】

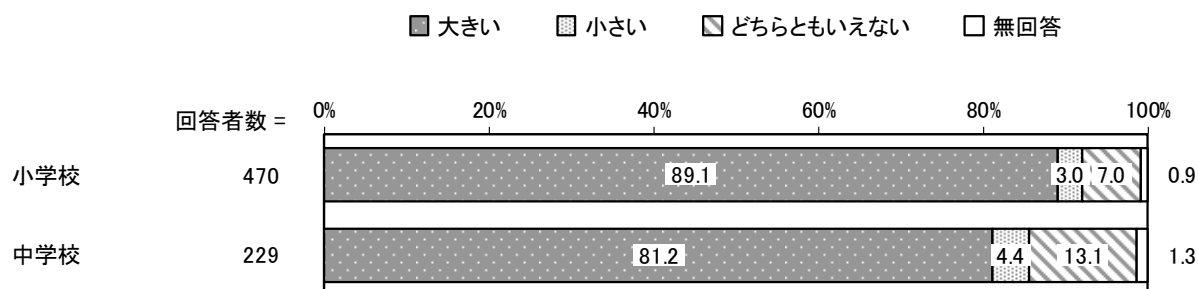
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で「大きい」の割合が高くなっています。



13 特別支援教育の推進

【小中学校別】

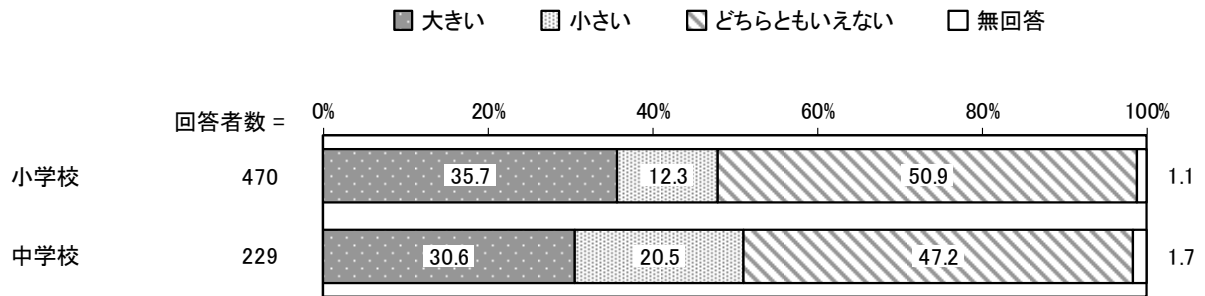
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で「大きい」の割合が高くなっています。



14 地域の施設との複合化

【小中学校別】

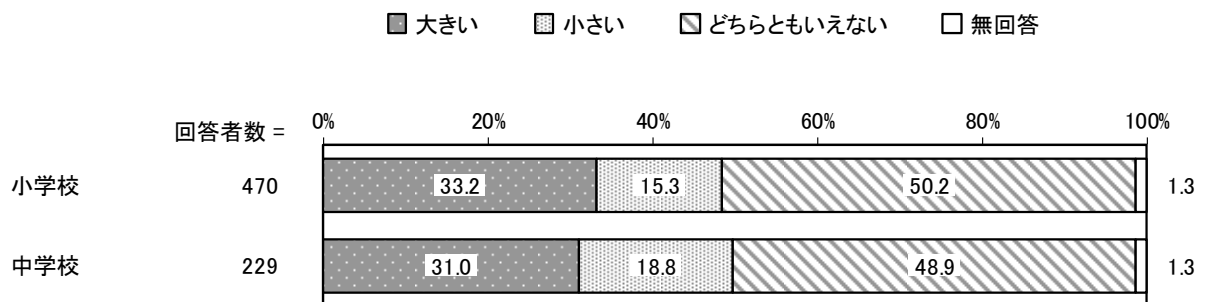
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で「大きい」の割合が高くなっています。



16 学習履歴の活用

【小中学校別】

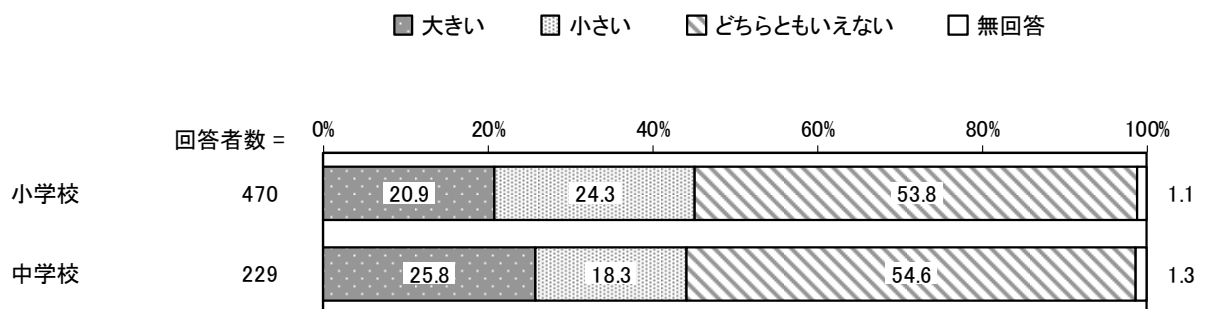
小中学校別で見ると、大きな差異はみられません。



17 双方向型オンライン授業

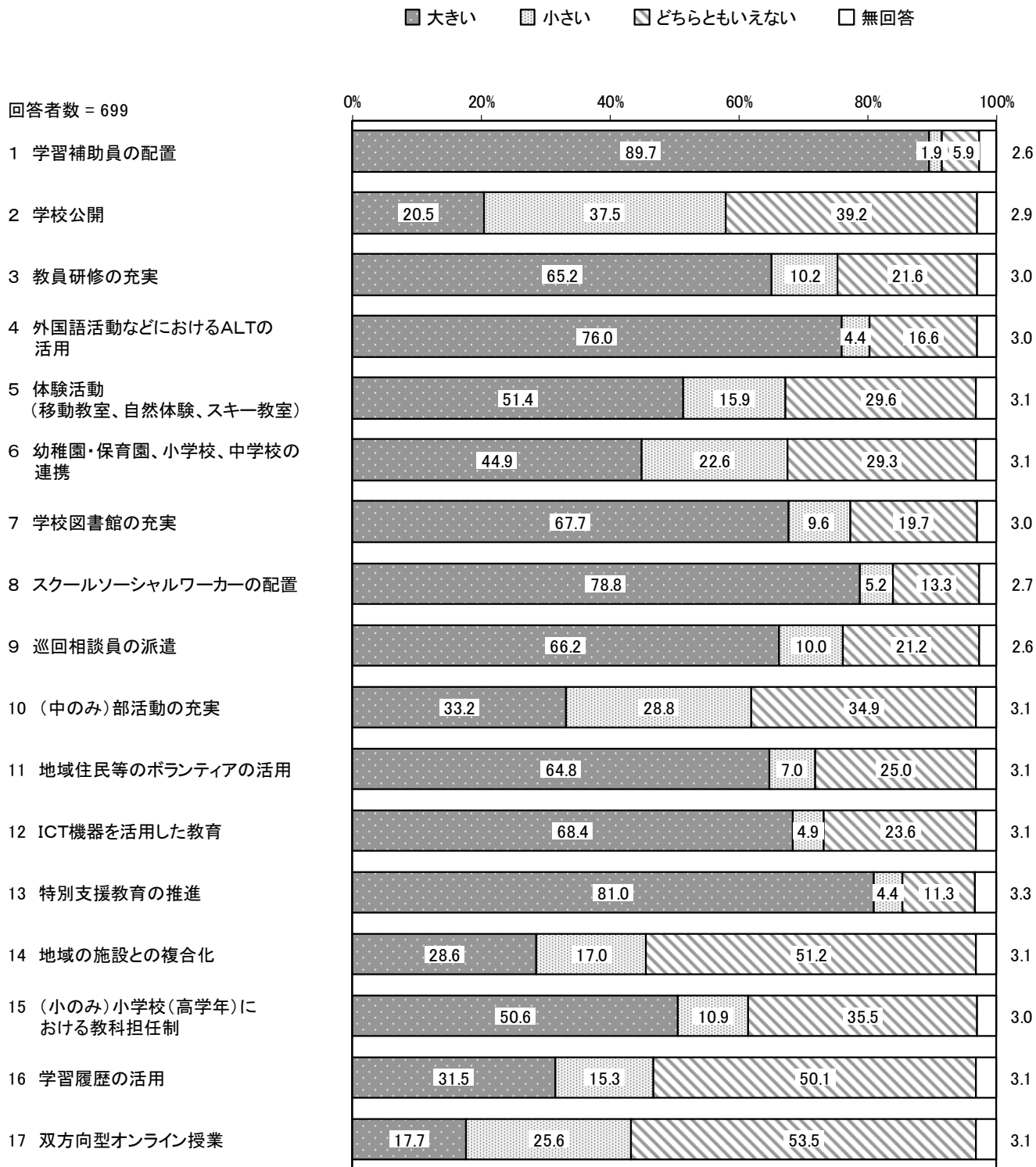
【小中学校別】

小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で「小さい」の割合が高くなっています。



教員へのメリット

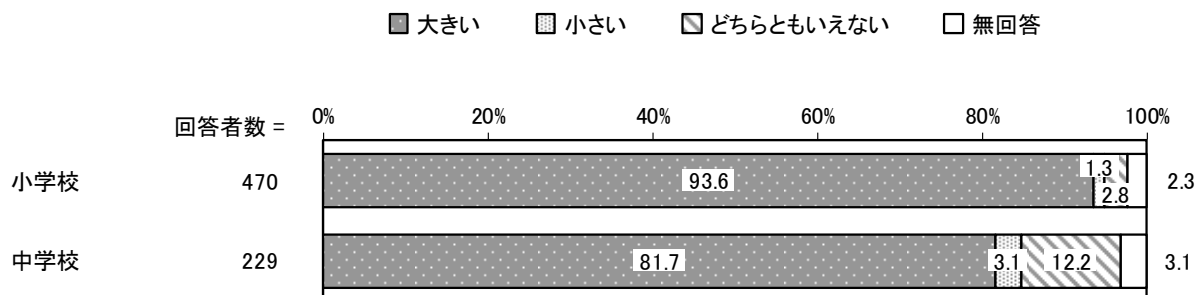
『学習補助員の配置』で「大きい」の割合が高くなっています。一方、『学校公開』で「小さい」の割合が高くなっています。



1 学習補助員の配置

【小中学校別】

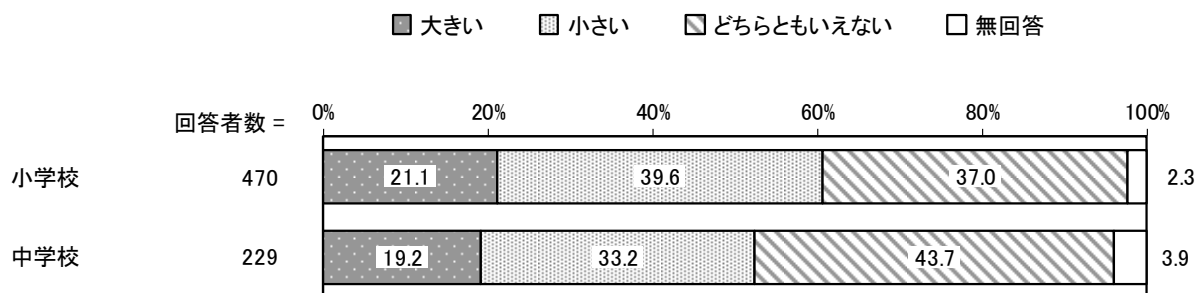
小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で「大きい」の割合が高くなっています。



2 学校公開

【小中学校別】

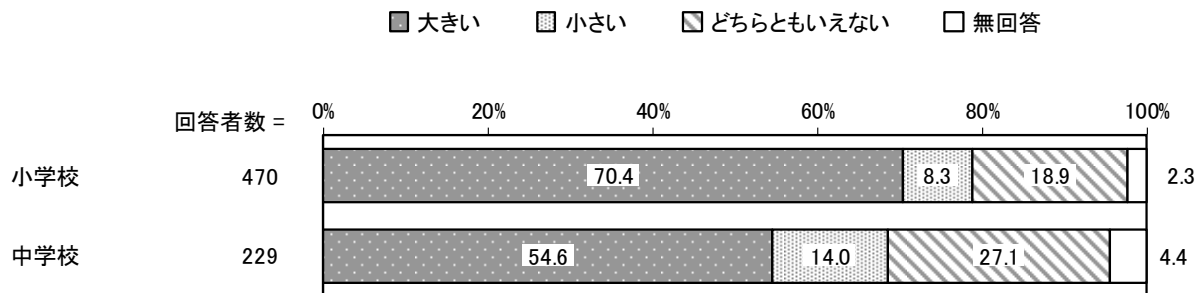
小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で「小さい」の割合が高くなっています。また、小学校に比べ、中学校で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



3 教員研修の充実

【小中学校別】

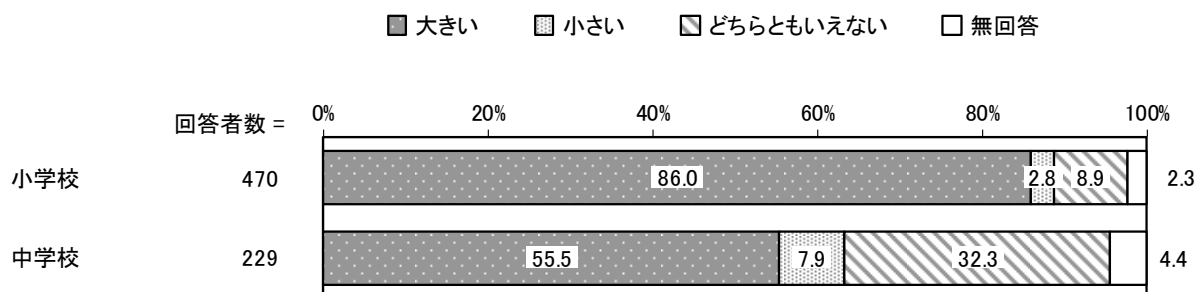
小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で「大きい」の割合が高くなっています。



4 外国語活動などにおけるALTの活用

【小中学校別】

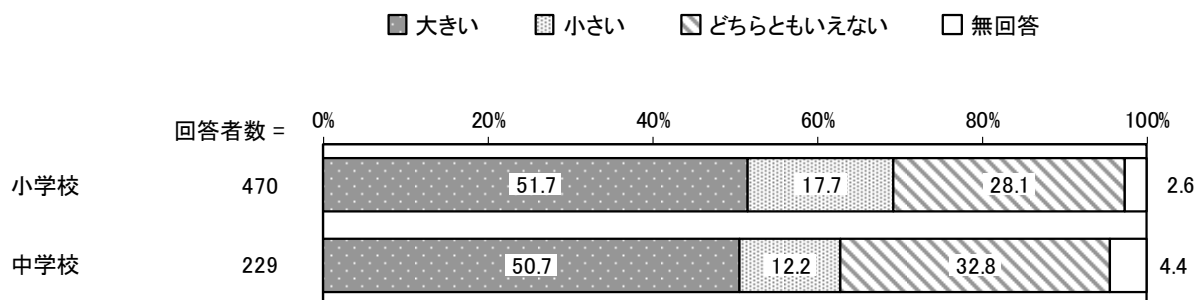
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で「大きい」の割合が高くなっています。



5 体験活動（移動教室、自然体験、スキー教室）

【小中学校別】

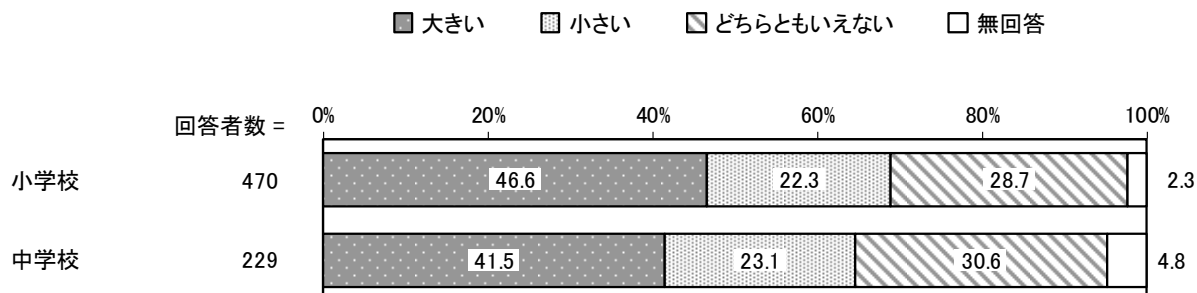
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で「小さい」の割合が高くなっています。



6 幼稚園・保育園、小学校、中学校の連携

【小中学校別】

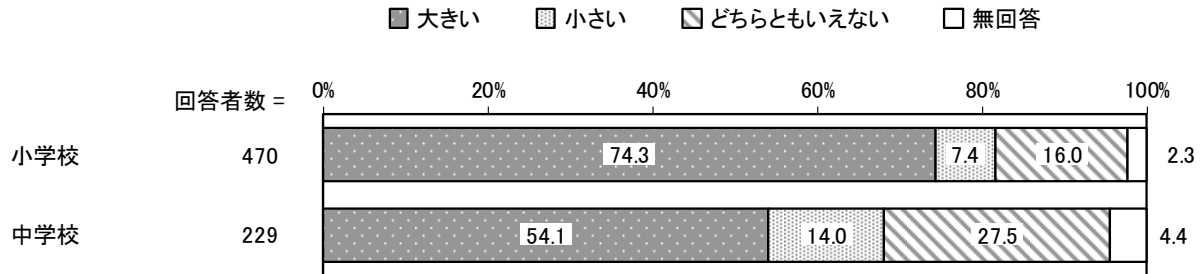
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で「大きい」の割合が高くなっています。



7 学校図書館の充実

【小中学校別】

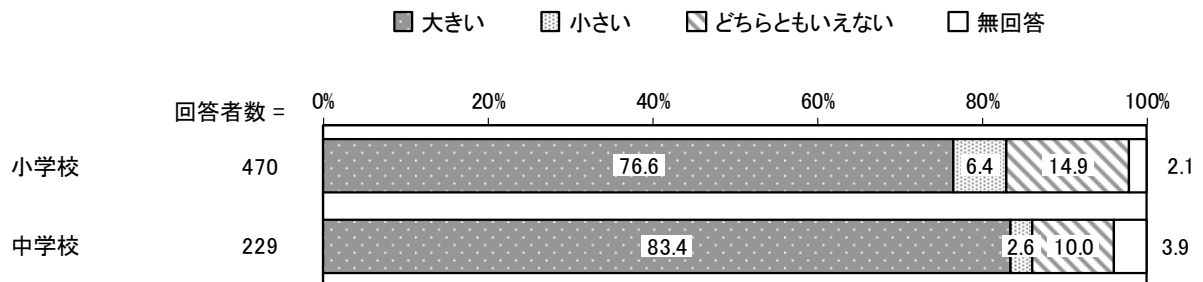
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で「大きい」の割合が高くなっています。



8 スクールソーシャルワーカーの配置

【小中学校別】

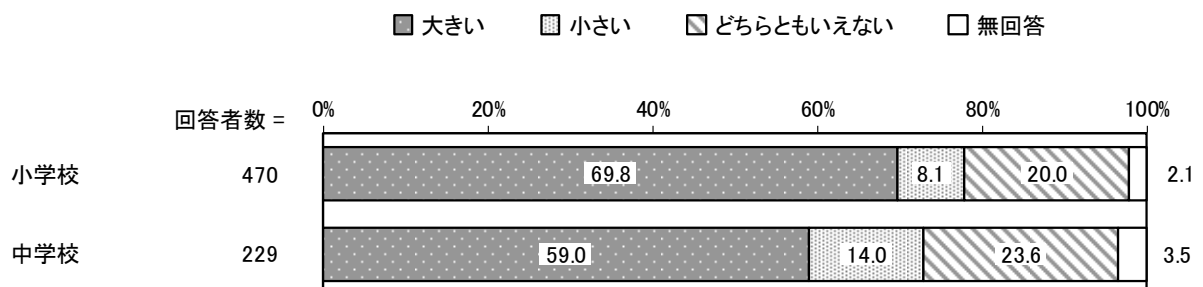
小中学校別で見ると、小学校に比べ、中学校で「大きい」の割合が高くなっています。



9 巡回相談員の派遣

【小中学校別】

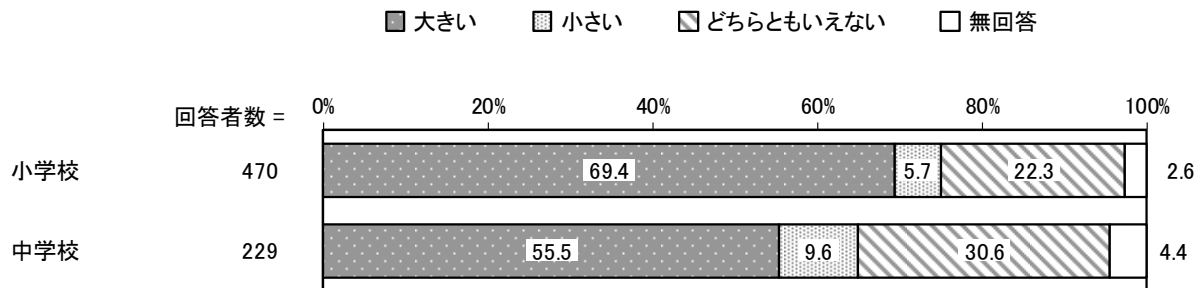
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で「大きい」の割合が高くなっています。



11 地域住民等のボランティアの活用

【小中学校別】

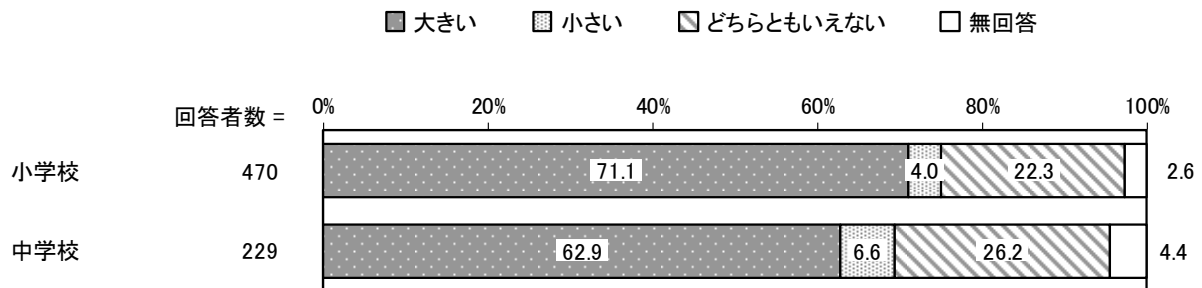
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で「大きい」の割合が高くなっています。



12 ICT機器を活用した教育

【小中学校別】

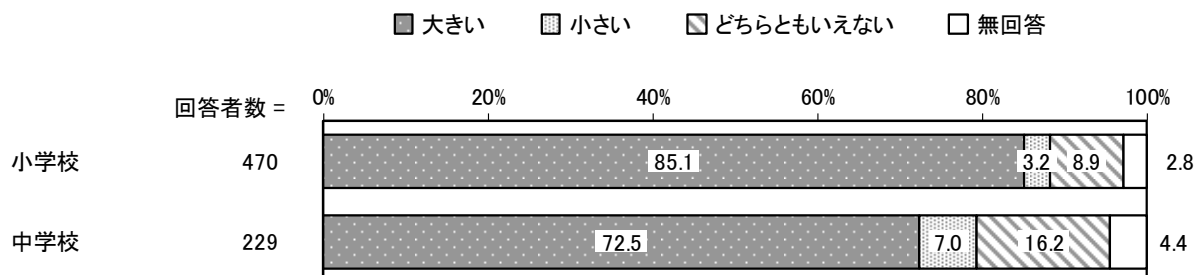
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で「大きい」の割合が高くなっています。



13 特別支援教育の推進

【小中学校別】

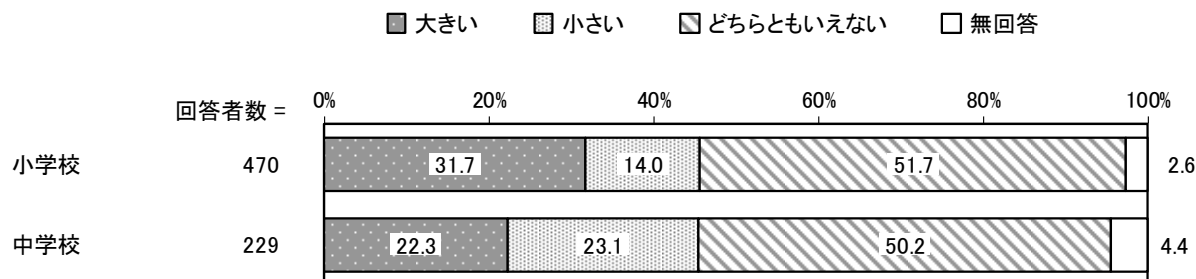
小中学校別で見ると、中学校に比べ、小学校で「大きい」の割合が高くなっています。



14 地域の施設との複合化

【小中学校別】

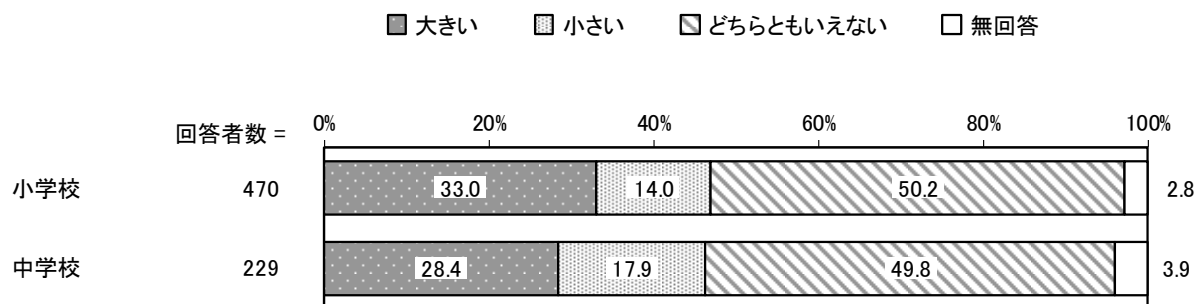
小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で「大きい」の割合が高くなっています。



16 学習履歴の活用

【小中学校別】

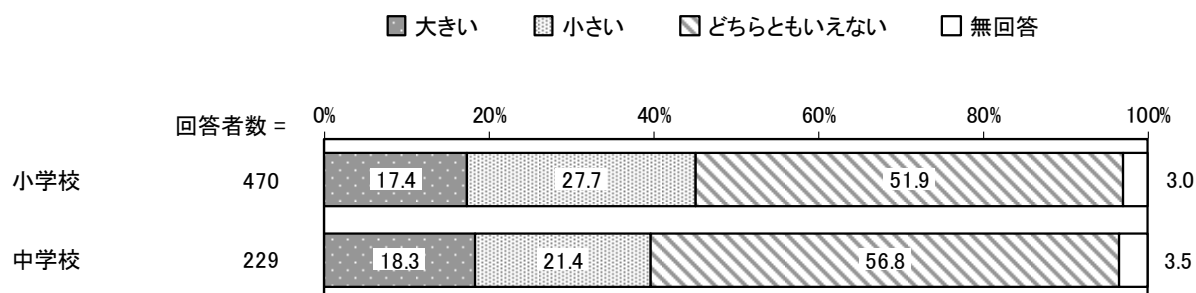
小中学校別でみると、大きな差異はみられません。



17 双方向型オンライン授業

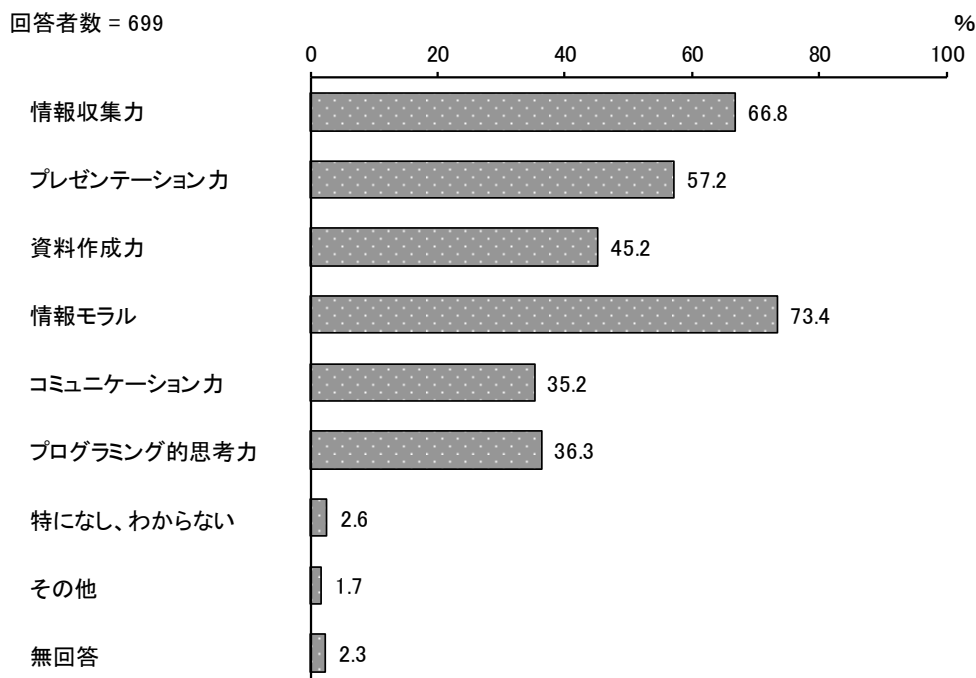
【小中学校別】

小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で「小さい」の割合が高くなっています。一方、小学校に比べ、中学校で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



問 24 子どもにICTの活用によって身に付けさせたい力は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「情報モラル」の割合が73.4%と最も高く、次いで「情報収集力」の割合が66.8%、「プレゼンテーション力」の割合が57.2%となっています。



【小中学校別】

小中学校別でみると、小学校に比べ、中学校で「プレゼンテーション力」の割合が高くなっています。一方、中学校に比べ、小学校で「情報収集力」「プログラミング的思考力」の割合が高くなっています。

単位：%

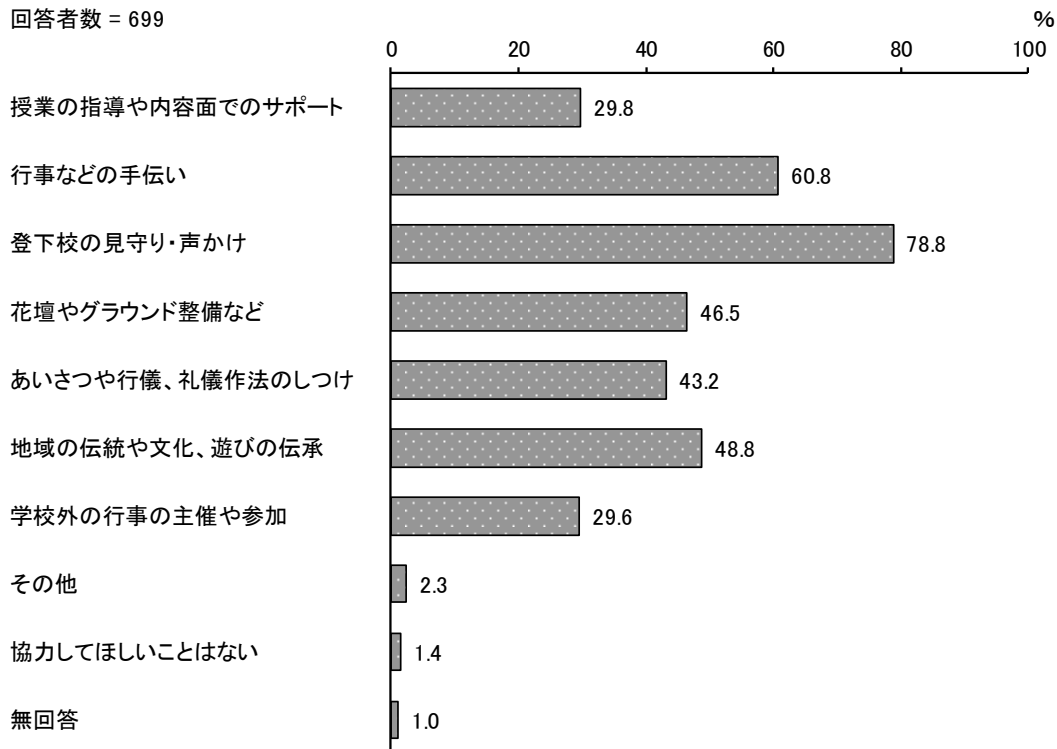
区分	回答者数(件)	情報収集力	プレゼンテーション力	資料作成力	情報モラル	コミュニケーション力	プログラミング的思考力	特になし、わからない	その他	無回答
小学校	470	71.5	55.5	44.0	73.2	34.9	44.9	2.6	1.5	1.3
中学校	229	57.2	60.7	47.6	73.8	35.8	18.8	2.6	2.2	4.4

(4) 学校教育と地域との連携について

問 25 地域に協力してほしいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

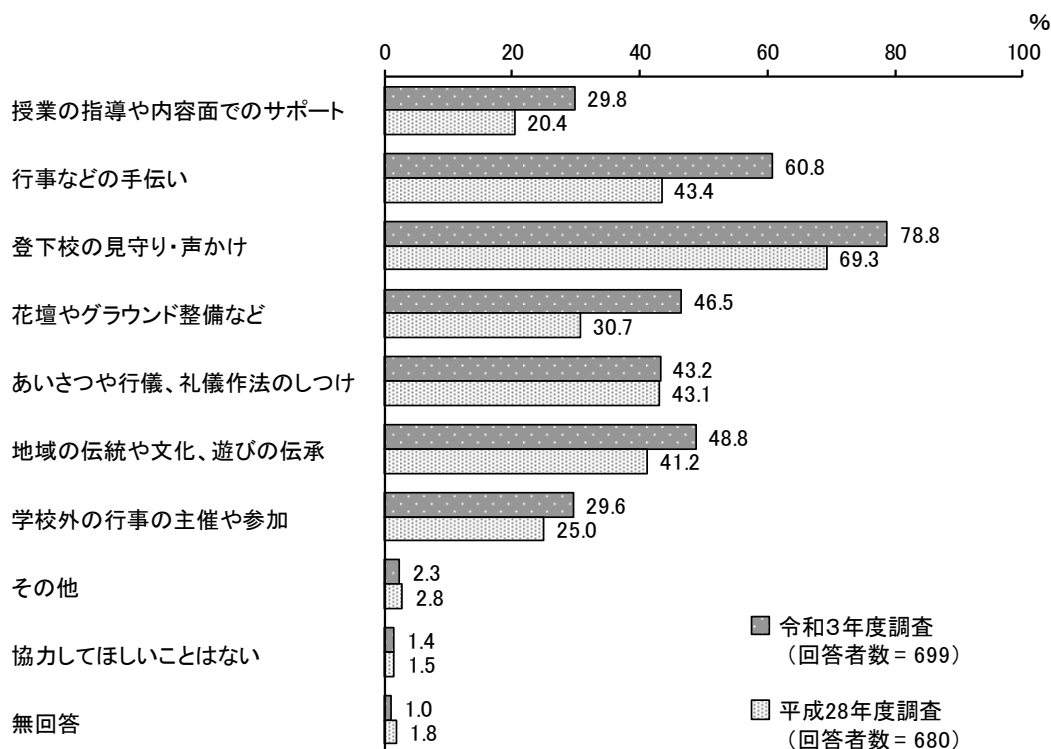
「登下校の見守り・声かけ」の割合が78.8%と最も高く、次いで「行事などの手伝い」の割合が60.8%、「地域の伝統や文化、遊びの伝承」の割合が48.8%となっています。

回答者数 = 699



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「授業の指導や内容面でのサポート」「行事などの手伝い」「登下校の見守り・声かけ」「花壇やグラウンド整備など」「地域の伝統や文化、遊びの伝承」の割合が増加しています。



【小中学校別】

小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で「行事などの手伝い」「登下校の見守り・声かけ」「花壇やグラウンド整備など」「あいさつや行儀、礼儀作法のしつけ」「地域の伝統や文化、遊びの伝承」「学校外の行事の主催や参加」の割合が高くなっています。

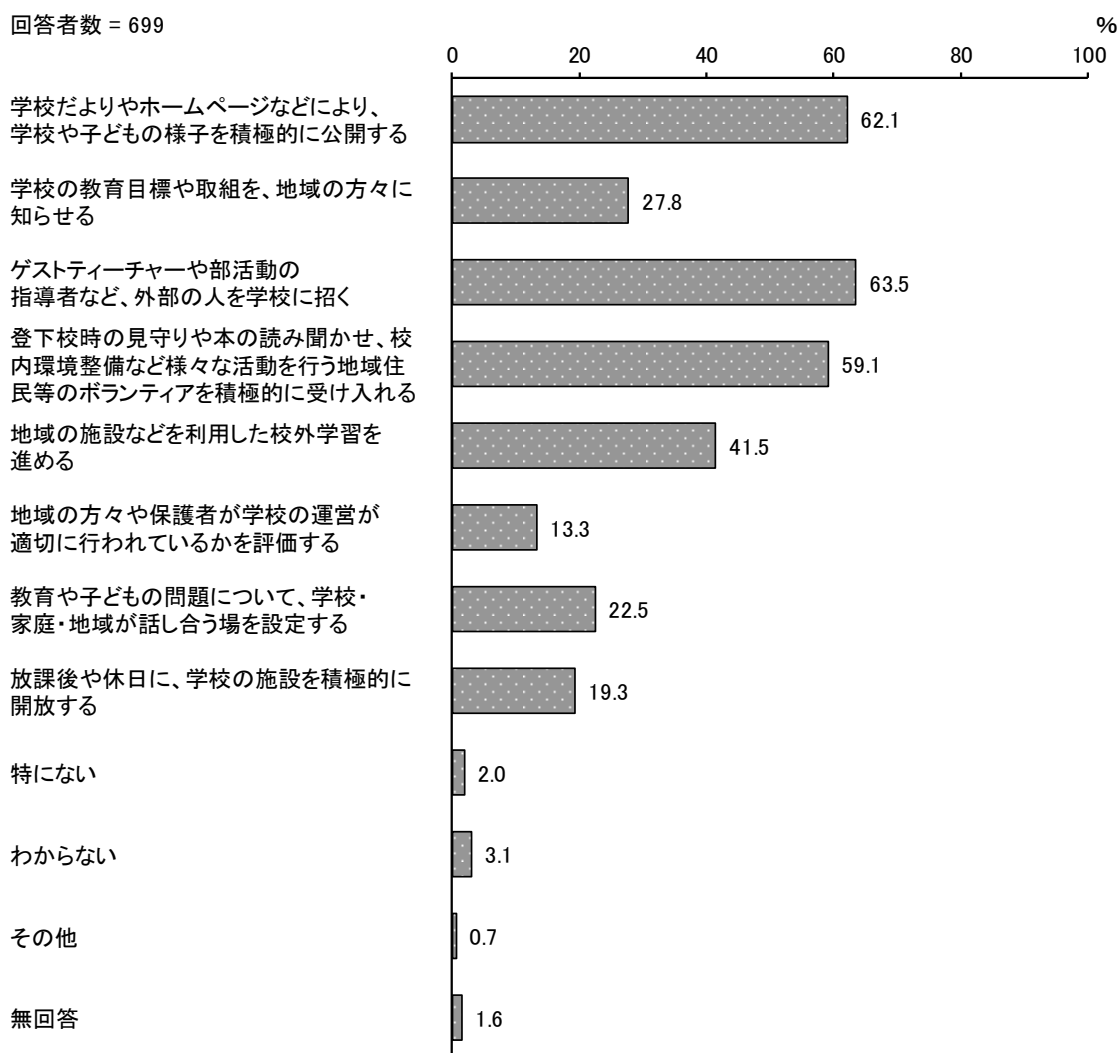
単位：%

区分	回答者数 (件)	授業の指導や内容面でのサポート	行事などの手伝い	登下校の見守り・声かけ	花壇やグラウンド整備など	あいさつや行儀、礼儀作法のしつけ	地域の伝統や文化、遊びの伝承	学校外の行事の主催や参加	その他	協力してほしいことはない	無回答
小学校	470	29.8	65.1	85.1	48.3	47.0	58.7	31.9	2.1	0.6	0.4
中学校	229	29.7	52.0	65.9	42.8	35.4	28.4	24.9	2.6	3.1	2.2

問 26 小平市では、「コミュニティ・スクール」の取組をはじめ、「地域に開かれた学校づくり」の実現に向けた取組が進められています。「地域に開かれた学校づくり」に向け、どのような取組が必要だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」の割合が63.5%と最も高く、次いで「学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する」の割合が62.1%、「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う地域住民等のボランティアを積極的に受け入れる」の割合が59.1%となっています。

回答者数 = 699



【小中学校別】

小中学校別でみると、中学校に比べ、小学校で「学校の教育目標や取組を、地域の方々に知らせる」「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う地域住民等のボランティアを積極的に受け入れる」「地域の施設などを利用した校外学習を進める」「教育や子どもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する」「放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する	学校の教育目標や取組を、地域の方々に知らせる	ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く	登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う地域住民等のボランティアを積極的に受け入れる	地域の施設などを利用した校外学習を進める	地域の方々や保護者が学校の運営が適切に行われているかを評価する	教育や子どもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する	放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する	特になし	わからない	その他	無回答
小学校	470	62.1	30.0	63.8	67.4	50.2	13.4	24.5	21.9	0.9	2.3	0.6	1.1
中学校	229	62.0	23.1	62.9	41.9	23.6	13.1	18.3	14.0	4.4	4.8	0.9	2.6

自由記述（小中学校の教員）

有効回答数 699 票中 194 票に回答がありました。

意見要望の多いものを以下に掲載します。（1 票の中に複数の項目にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 194 件より多くなっています）。

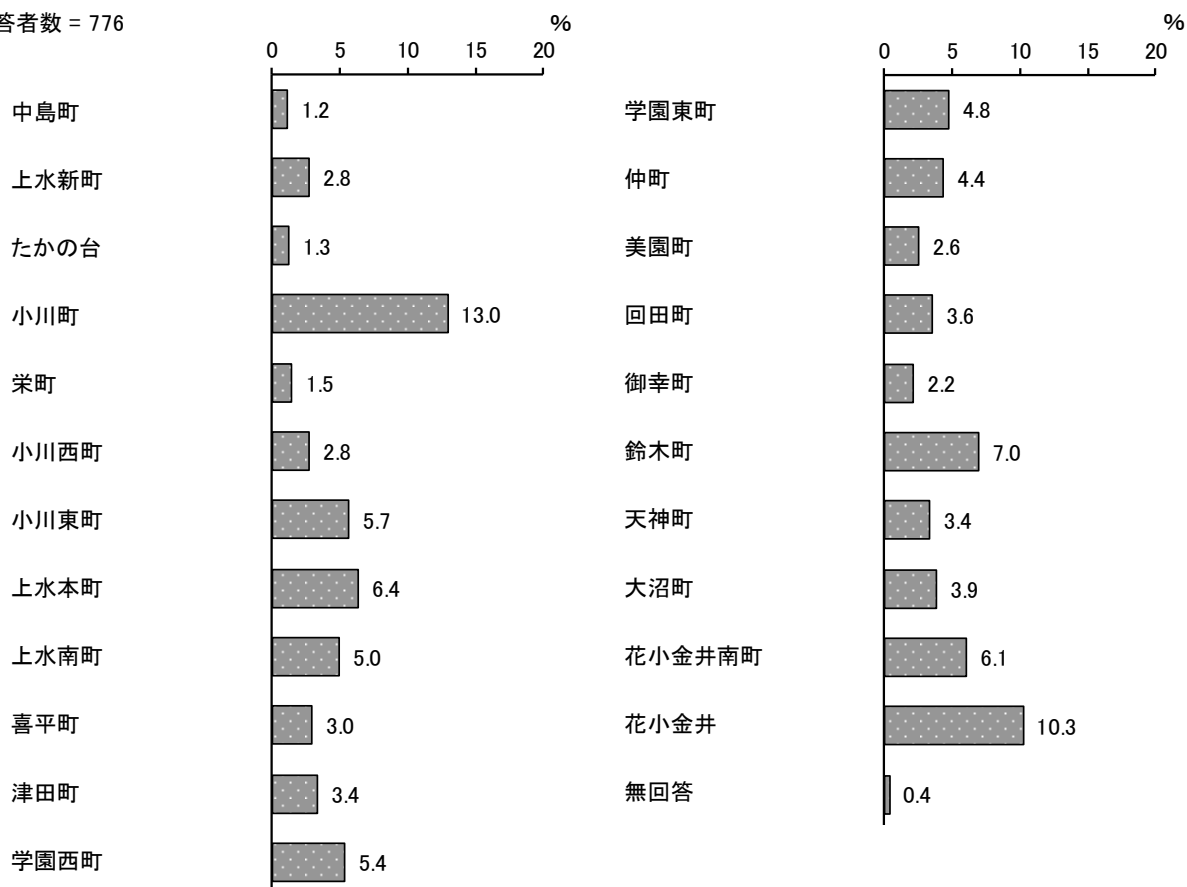
項目	件数
教員等について	
教員の多忙化の会社/業務のスリム化を望む	35
研修のあり方を見直すべき	8
教育行政について	
教育に予算をかけてほしい	18
その他（教育行政）	30
オンライン授業や I C T の活用について	38
施設・設備について	40
特別支援教育について	20
現状への感謝など	12
地域との連携について	5
感染症について	10
この調査について	14
その他	22
総数	252

5 市民

(1) 回答者属性

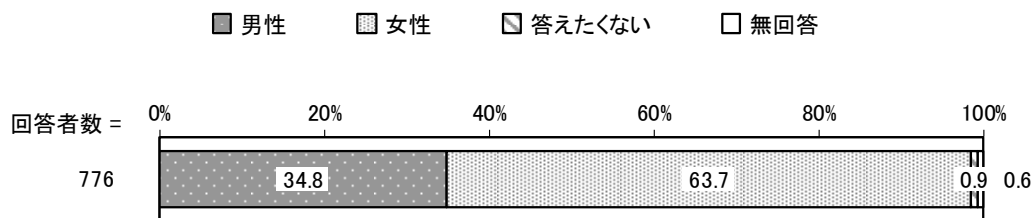
問1 あなたのお住まいはどちらですか。(1つに○)

回答者数 = 776



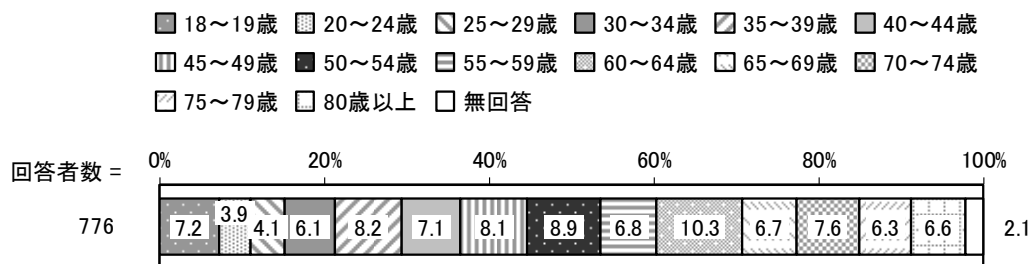
問2 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

「女性」の割合が63.7%と最も高く、次いで「男性」の割合が34.8%となっています。



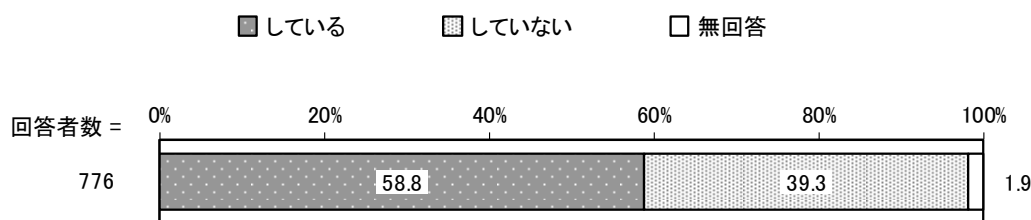
問3 あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

「60～64歳」の割合が10.3%と最も高くなっています。



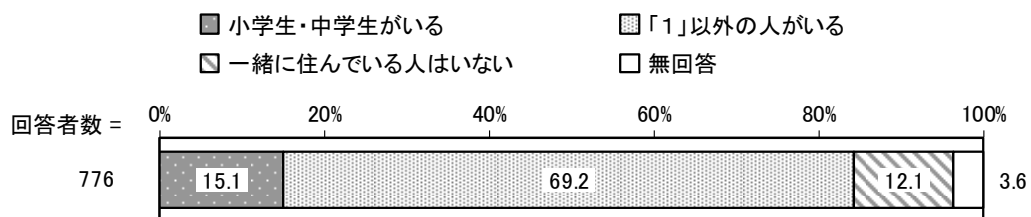
問4 現在、仕事をされていますか。(雇用形態は問いません)(1つに○)

「している」の割合が58.8%、「していない」の割合が39.3%となっています。



問5 一緒にお住まいの方についてお聞きします。(1つに○)

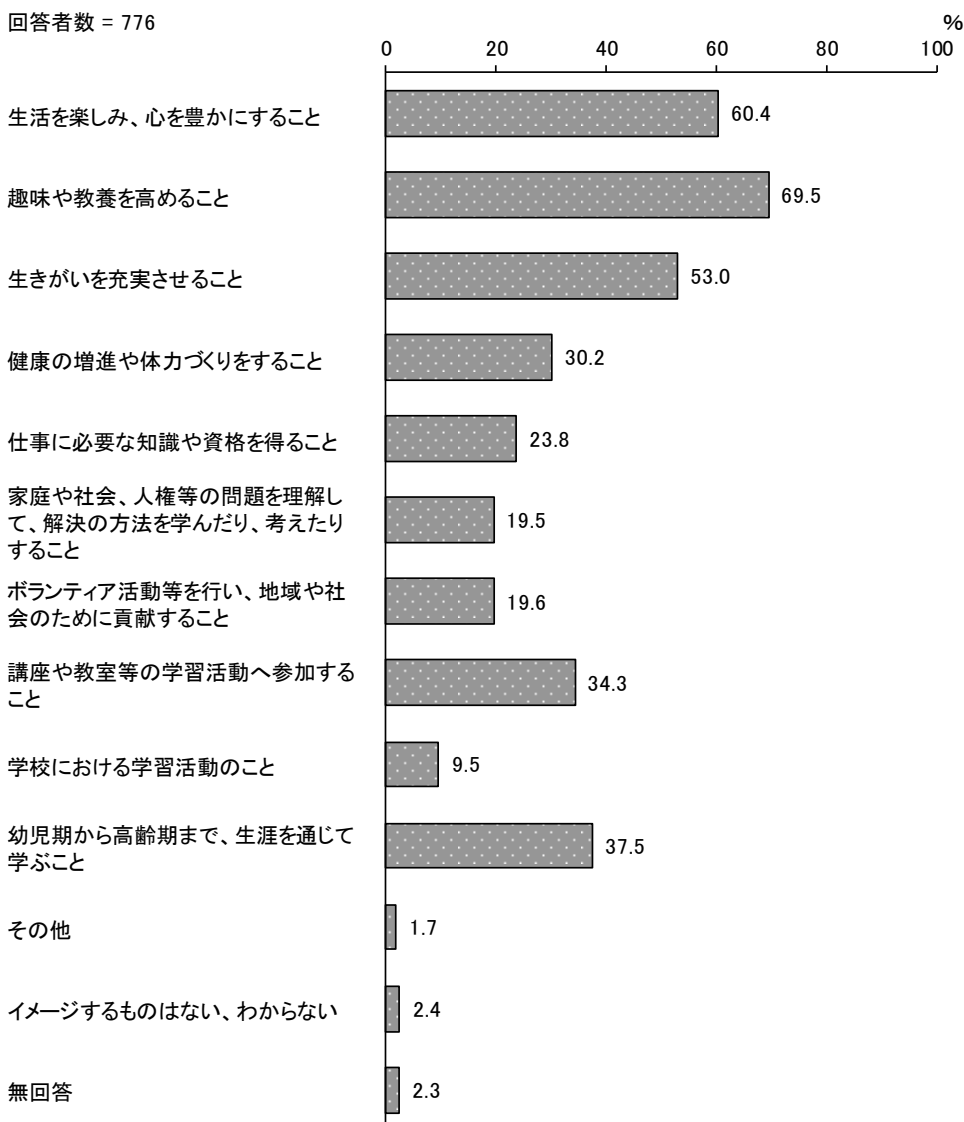
「「1」以外の人がいる」の割合が69.2%と最も高く、次いで「小学生・中学生がいる」の割合が15.1%、「一緒に住んでいる人はいない」の割合が12.1%となっています。



(2) 生涯学習（学習活動）や公民館・図書館の利用について

問6 あなたは、「生涯学習（学習活動）」ということばから、どのようなイメージを持ちますか。（あてはまるものすべてに○）

「趣味や教養を高めること」の割合が69.5%と最も高く、次いで「生活を楽しみ、心を豊かにすること」の割合が60.4%、「生きがいを充実させること」の割合が53.0%となっています。



【年齢別】

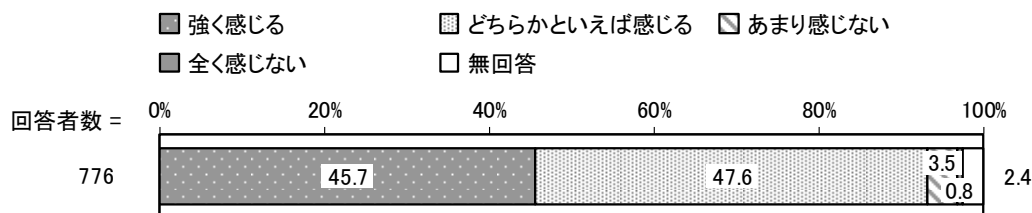
年齢別でみると、他に比べ、80歳以上で「健康の増進や体力づくりをすること」「生きがいを充実させること」の割合が、70～74歳で「生活を楽しみ、心を豊かにすること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	生活を楽しみ、心を豊かにすること	趣味や教養を高めること	生きがいを充実させること	健康の増進や体力づくりをすること	仕事に必要な知識や資格を得ること	家庭や社会、人権等の問題を理解して、解決の方法を学んだり、考えたりすること	ボランティア活動等を行い、地域や社会のために貢献すること	講座や教室等の学習活動へ参加すること	学校における学習活動のこと	幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと	その他	イメージするものはない、わからない	無回答
18～19歳	56	39.3	55.4	37.5	17.9	35.7	17.9	14.3	12.5	23.2	33.9	1.8	8.9	—
20～24歳	30	53.3	80.0	40.0	10.0	36.7	20.0	6.7	20.0	13.3	40.0	—	3.3	—
25～29歳	32	53.1	50.0	31.3	12.5	34.4	31.3	15.6	34.4	18.8	46.9	6.3	6.3	—
30～34歳	47	46.8	57.4	46.8	12.8	29.8	23.4	25.5	25.5	27.7	55.3	2.1	8.5	—
35～39歳	64	56.3	65.6	54.7	17.2	39.1	25.0	15.6	35.9	10.9	45.3	—	1.6	—
40～44歳	55	47.3	74.5	45.5	14.5	25.5	10.9	12.7	40.0	5.5	41.8	1.8	—	—
45～49歳	63	61.9	69.8	54.0	28.6	20.6	17.5	15.9	41.3	1.6	42.9	1.6	1.6	—
50～54歳	69	60.9	78.3	56.5	31.9	29.0	11.6	15.9	39.1	7.2	31.9	—	—	1.4
55～59歳	53	67.9	73.6	52.8	30.2	22.6	18.9	20.8	43.4	9.4	37.7	1.9	1.9	—
60～64歳	80	71.3	76.3	58.8	43.8	22.5	21.3	31.3	40.0	13.8	40.0	1.3	1.3	1.3
65～69歳	52	71.2	84.6	59.6	48.1	15.4	21.2	23.1	38.5	3.8	34.6	—	—	1.9
70～74歳	59	78.0	79.7	66.1	45.8	8.5	22.0	25.4	33.9	1.7	40.7	—	—	—
75～79歳	49	75.5	67.3	61.2	42.9	6.1	20.4	22.4	36.7	—	24.5	2.0	2.0	2.0
80歳以上	51	66.7	68.6	72.5	52.9	21.6	23.5	23.5	33.3	5.9	21.6	7.8	3.9	2.0

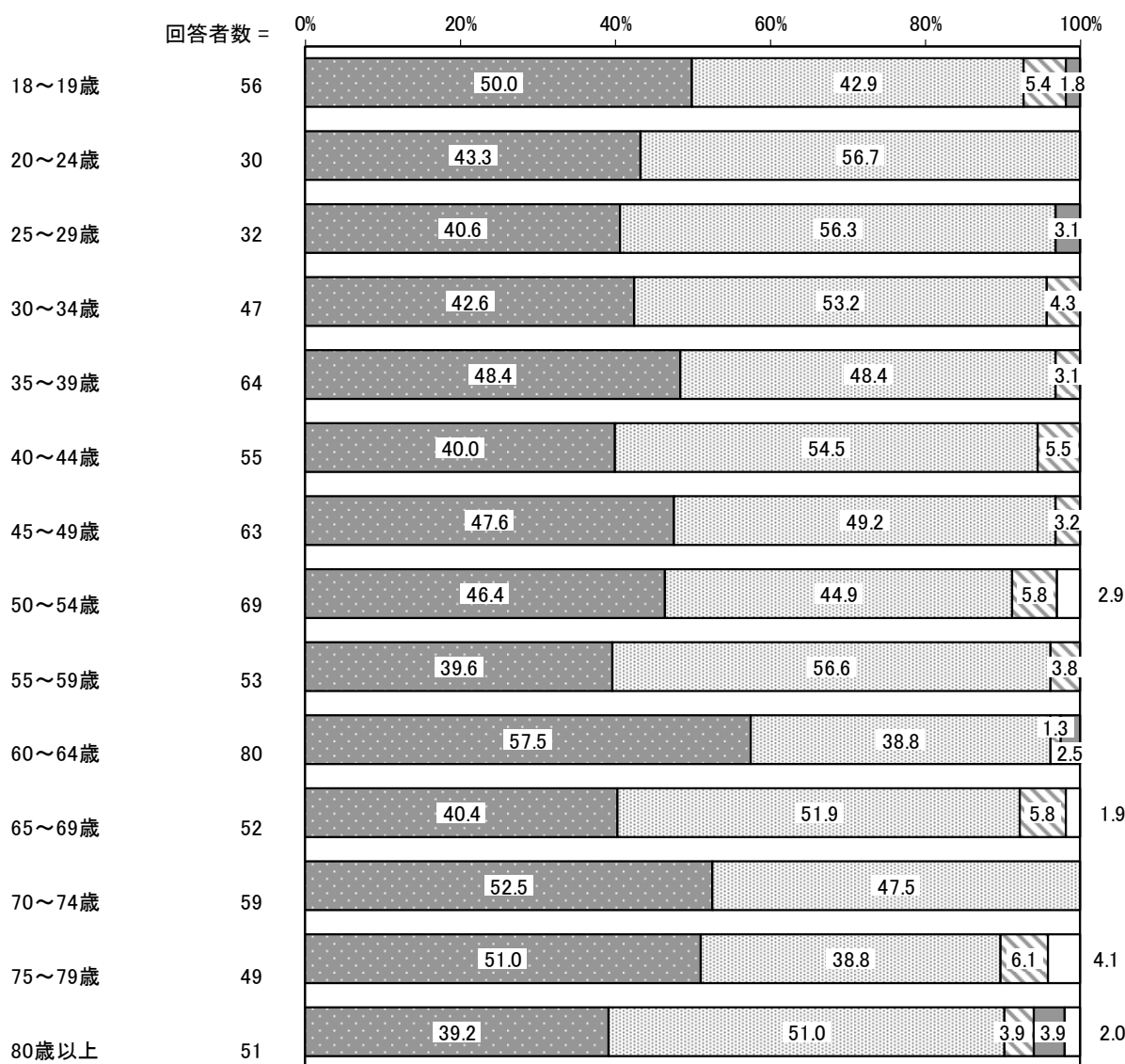
問7 「生涯学習（学習活動）」とは、人々が生涯のいつでも、どこでも、自分の意思で自由に行う学習活動のことで、学校教育や地域の図書館・公民館における講座等の学習機会に限らず、自分から進んで行う学習やスポーツ・文化活動・趣味・ボランティア活動などにおける、様々な学びのことを言います。あなたは、生涯学習の必要性を感じますか。（1つに○）

「強く感じる」と「どちらかといえば感じる」をあわせた“感じる”の割合が93.3%と最も高く、次いで「あまり感じない」と「全く感じない」をあわせた“感じない”の割合が4.3%となっています。



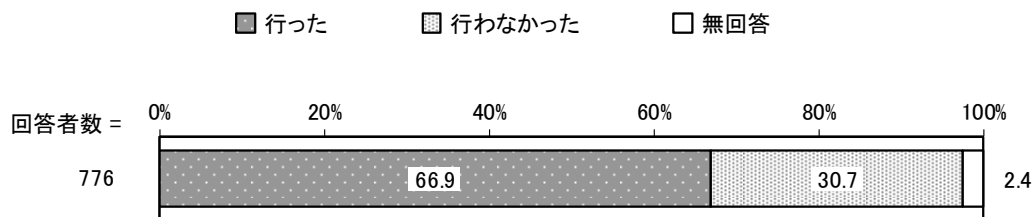
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、20～24歳、70～74歳で“感じる”の割合が高くなっています。



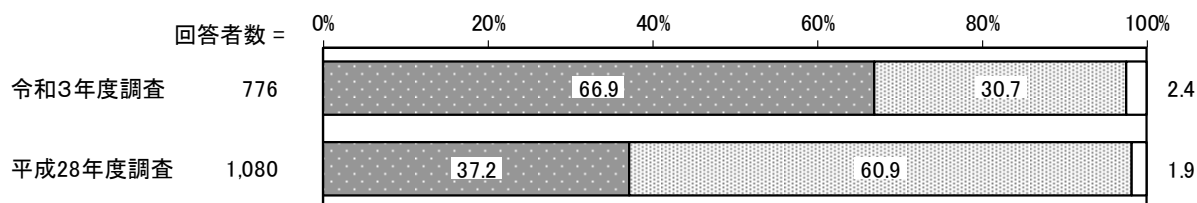
問 8- 1 この1年間に、生涯学習（学習活動）を行いましたか。（1つに○）

「行った」の割合が 66.9%、「行わなかった」の割合が 30.7%となっています。



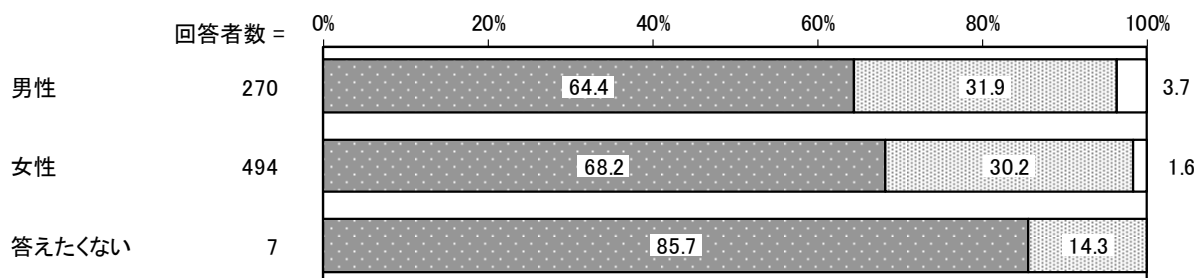
【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「行った」の割合が増加しています。



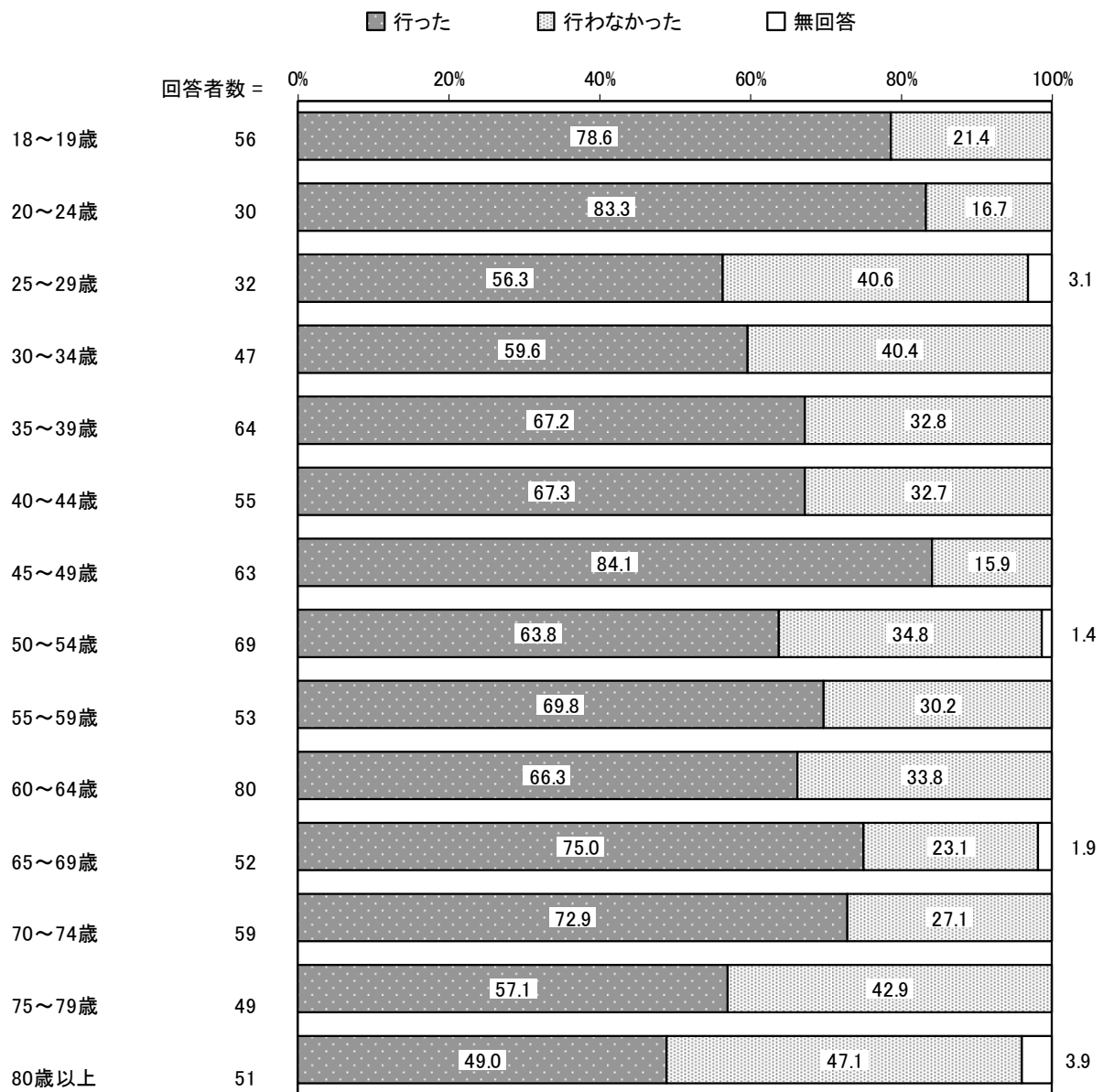
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



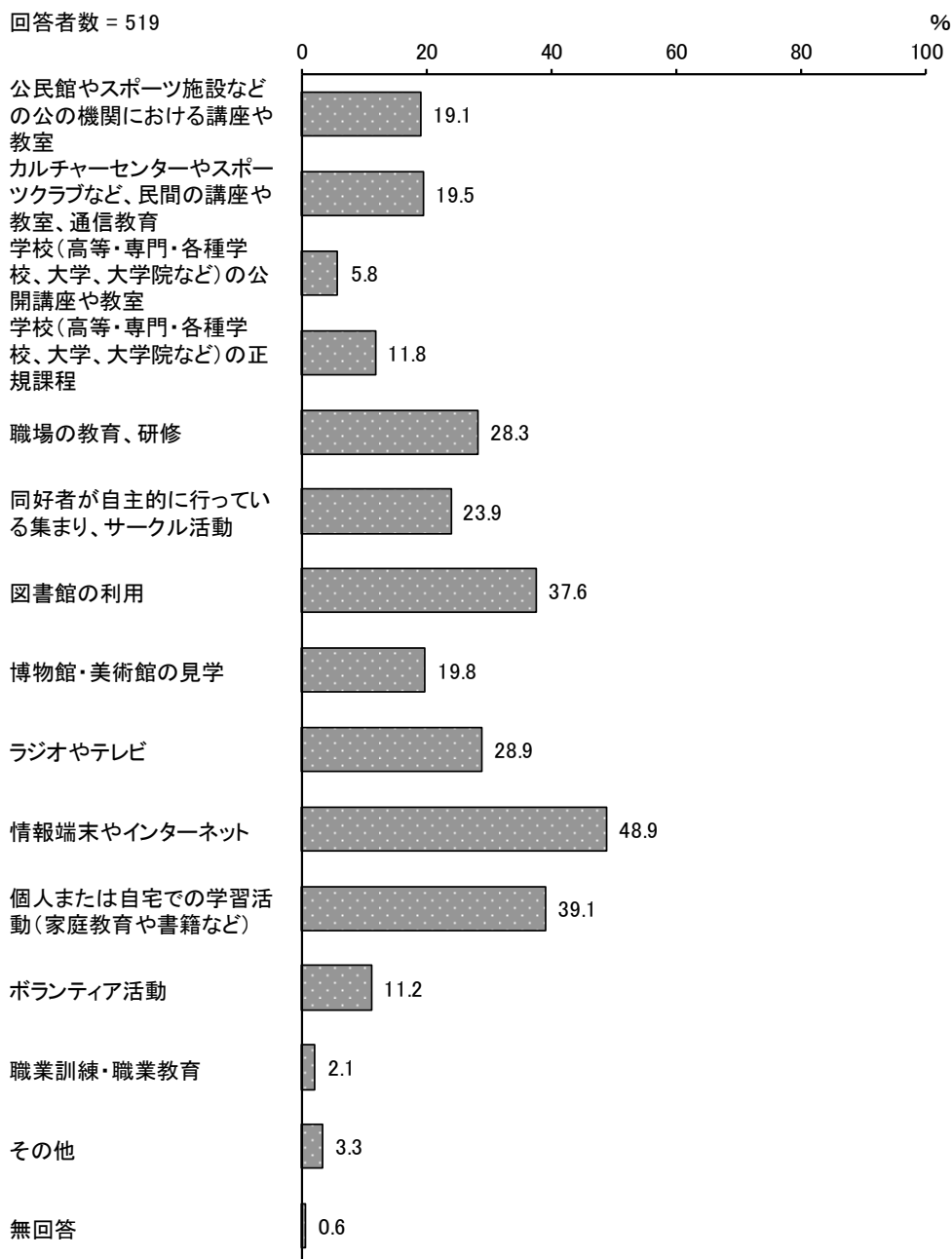
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、20～24歳、45～49歳で「行った」の割合が、80歳以上で「行かなかった」の割合が高くなっています。



問8-2 【問8-1で、「1」に○をつけたときに教えてください】
 どのような場所や形態で学習活動をしましたか。(あてはまるものすべてに○)

「情報端末やインターネット」の割合が48.9%と最も高く、次いで「個人または自宅での学習活動(家庭教育や書籍など)」の割合が39.1%、「図書館の利用」の割合が37.6%となっています。



【年齢別】

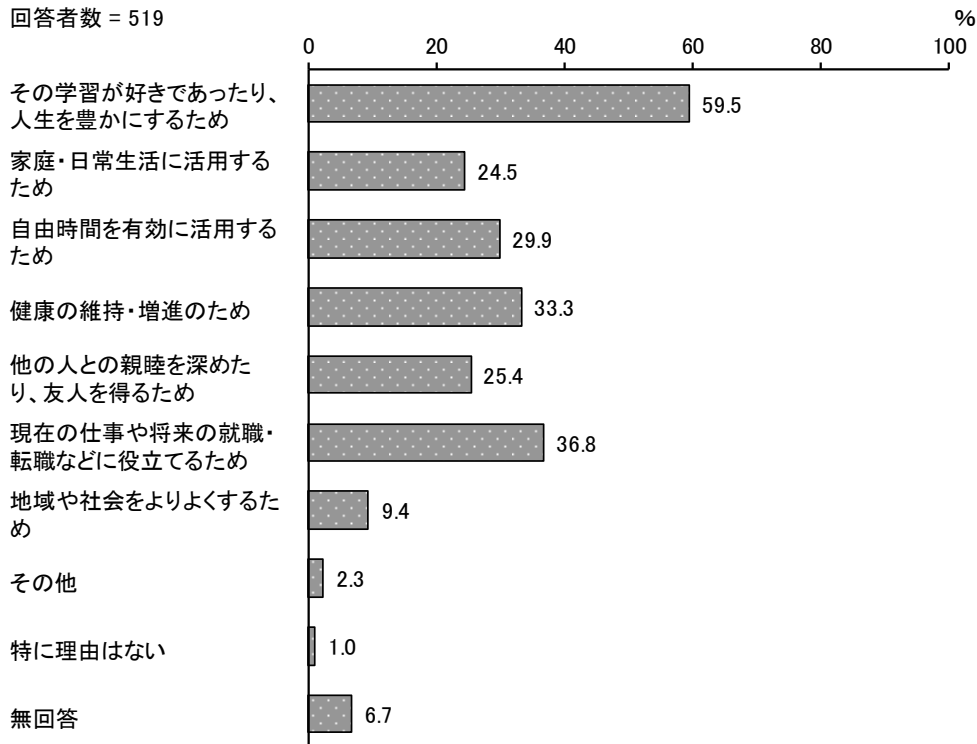
年齢別でみると、他に比べ、18～19歳で「学校（高等・専門・各種学校、大学、大学院など）の正規課程」の割合が、25～29歳で「職場の教育、研修」の割合が高くなっています。また、70～74歳、75～79歳で「公民館やスポーツ施設などの公の機関における講座や教室」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	公民館やスポーツ施設などの公の機関における講座や教室	カルチャーセンターやスポーツクラブなど、民間の講座や教室、通信教育	学校（高等・専門・各種学校、大学院など）の公開講座や教室	学校（高等・専門・各種学校、大学院など）の正規課程	職場の教育、研修	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動	図書館の利用	博物館・美術館の見学	ラジオやテレビ	情報端末やインターネット	個人または自宅での学習活動（家庭教育や書籍など）	ボランティア活動	職業訓練・職業教育	その他	無回答
18～19歳	44	9.1	6.8	27.3	79.5	13.6	15.9	36.4	20.5	29.5	54.5	43.2	6.8	2.3	4.5	—
20～24歳	25	12.0	24.0	28.0	64.0	20.0	12.0	20.0	16.0	20.0	52.0	36.0	12.0	4.0	—	—
25～29歳	18	—	11.1	11.1	22.2	66.7	27.8	27.8	22.2	22.2	66.7	61.1	5.6	5.6	—	—
30～34歳	28	7.1	7.1	—	—	57.1	7.1	32.1	21.4	7.1	60.7	67.9	—	3.6	3.6	—
35～39歳	43	16.3	11.6	—	—	39.5	20.9	44.2	20.9	37.2	60.5	62.8	4.7	4.7	7.0	—
40～44歳	37	2.7	21.6	2.7	5.4	35.1	2.7	48.6	16.2	8.1	51.4	43.2	16.2	2.7	—	—
45～49歳	53	13.2	20.8	1.9	—	35.8	15.1	34.0	11.3	20.8	50.9	30.2	7.5	3.8	—	1.9
50～54歳	44	4.5	20.5	4.5	—	40.9	15.9	29.5	22.7	27.3	45.5	27.3	2.3	—	2.3	—
55～59歳	37	13.5	27.0	2.7	5.4	37.8	24.3	32.4	18.9	27.0	62.2	48.6	16.2	5.4	5.4	—
60～64歳	53	20.8	32.1	—	—	30.2	28.3	32.1	15.1	30.2	54.7	37.7	9.4	—	5.7	—
65～69歳	39	20.5	15.4	—	2.6	17.9	35.9	48.7	23.1	33.3	48.7	30.8	12.8	—	2.6	—
70～74歳	43	55.8	23.3	4.7	—	9.3	37.2	44.2	32.6	46.5	34.9	25.6	27.9	—	4.7	—
75～79歳	28	53.6	28.6	3.6	—	—	50.0	46.4	14.3	39.3	14.3	21.4	17.9	—	7.1	—
80歳以上	25	40.0	12.0	4.0	4.0	—	52.0	44.0	24.0	52.0	20.0	28.0	12.0	—	—	8.0

問 8- 3 【問 8-1 で、「1」に○をつけたときに教えてください】
あなたは、何のために生涯学習（学習活動）をしていますか。
（あてはまるものすべてに○）

「その学習が好きであったり、人生を豊かにするため」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため」の割合が 36.8%、「健康の維持・増進のため」の割合が 33.3%となっています。



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、25～29歳で「現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため」の割合が、70～74歳、75～79歳で「健康の維持・増進のため」の割合が高くなっています。

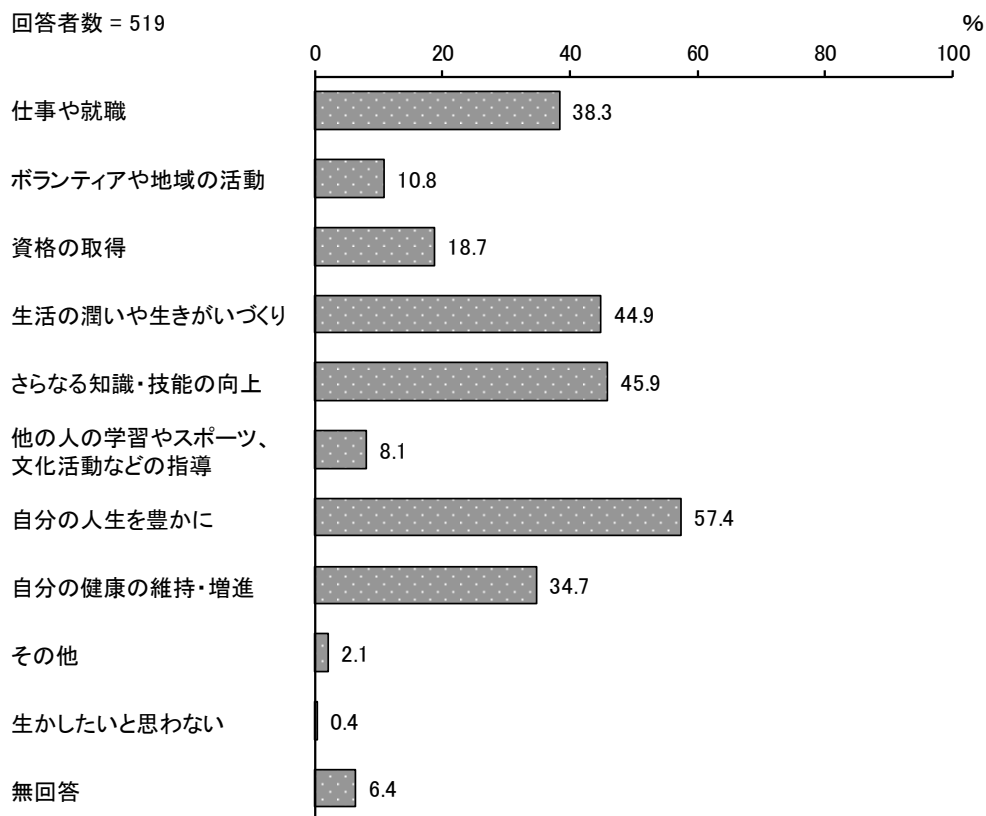
単位：%

区分	回答者数(件)	その学習が好きであったり、人生を豊かにするため	家庭・日常生活に活用するため	自由時間を有効に活用するため	健康の維持・増進のため	他の人との親睦を深めたり、友人を得るため	現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため	地域や社会をよりよくするため	その他	特に理由はない	無回答
18～19歳	44	61.4	27.3	34.1	9.1	22.7	59.1	2.3	6.8	4.5	4.5
20～24歳	25	60.0	12.0	12.0	4.0	20.0	60.0	12.0	4.0	—	8.0
25～29歳	18	66.7	11.1	16.7	16.7	16.7	77.8	11.1	5.6	—	11.1
30～34歳	28	46.4	28.6	25.0	10.7	7.1	67.9	3.6	3.6	—	7.1
35～39歳	43	53.5	32.6	32.6	25.6	23.3	48.8	9.3	2.3	—	11.6
40～44歳	37	62.2	37.8	27.0	10.8	10.8	48.6	8.1	—	2.7	5.4
45～49歳	53	60.4	30.2	24.5	26.4	13.2	41.5	9.4	—	1.9	5.7
50～54歳	44	47.7	22.7	13.6	27.3	11.4	47.7	4.5	2.3	—	6.8
55～59歳	37	51.4	16.2	13.5	32.4	24.3	40.5	13.5	5.4	2.7	8.1
60～64歳	53	66.0	24.5	34.0	41.5	37.7	18.9	9.4	1.9	—	11.3
65～69歳	39	66.7	20.5	41.0	53.8	30.8	17.9	2.6	—	—	2.6
70～74歳	43	67.4	23.3	51.2	72.1	41.9	7.0	23.3	—	—	—
75～79歳	28	64.3	10.7	46.4	71.4	50.0	—	10.7	3.6	—	—
80歳以上	25	56.0	32.0	36.0	52.0	44.0	—	16.0	—	—	16.0

問8-4 【問8-1で、「1」に○をつけたときに教えてください】

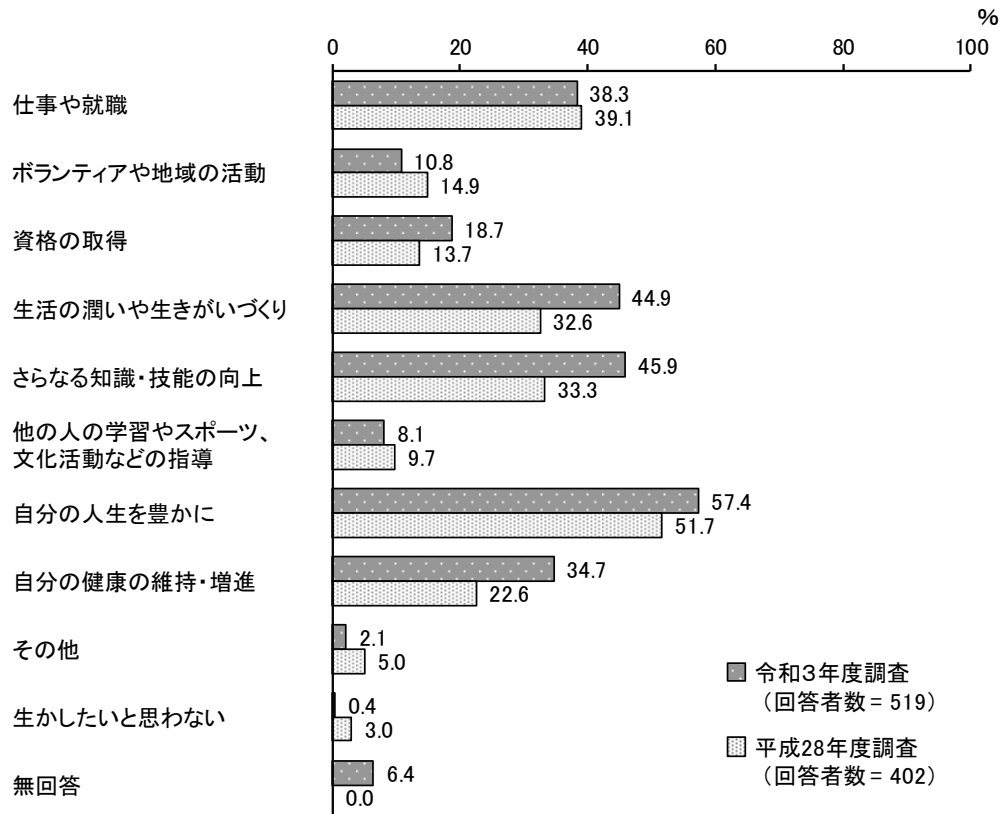
あなたは、生涯学習（学習活動）で得た知識・技能・経験をどのように生かしていますか。（あてはまるものすべてに○）

「自分の人生を豊かに」の割合が57.4%と最も高く、次いで「さらなる知識・技能の向上」の割合が45.9%、「生活の潤いや生きがいがづくり」の割合が44.9%となっています。



【平成 28 年度調査との比較】

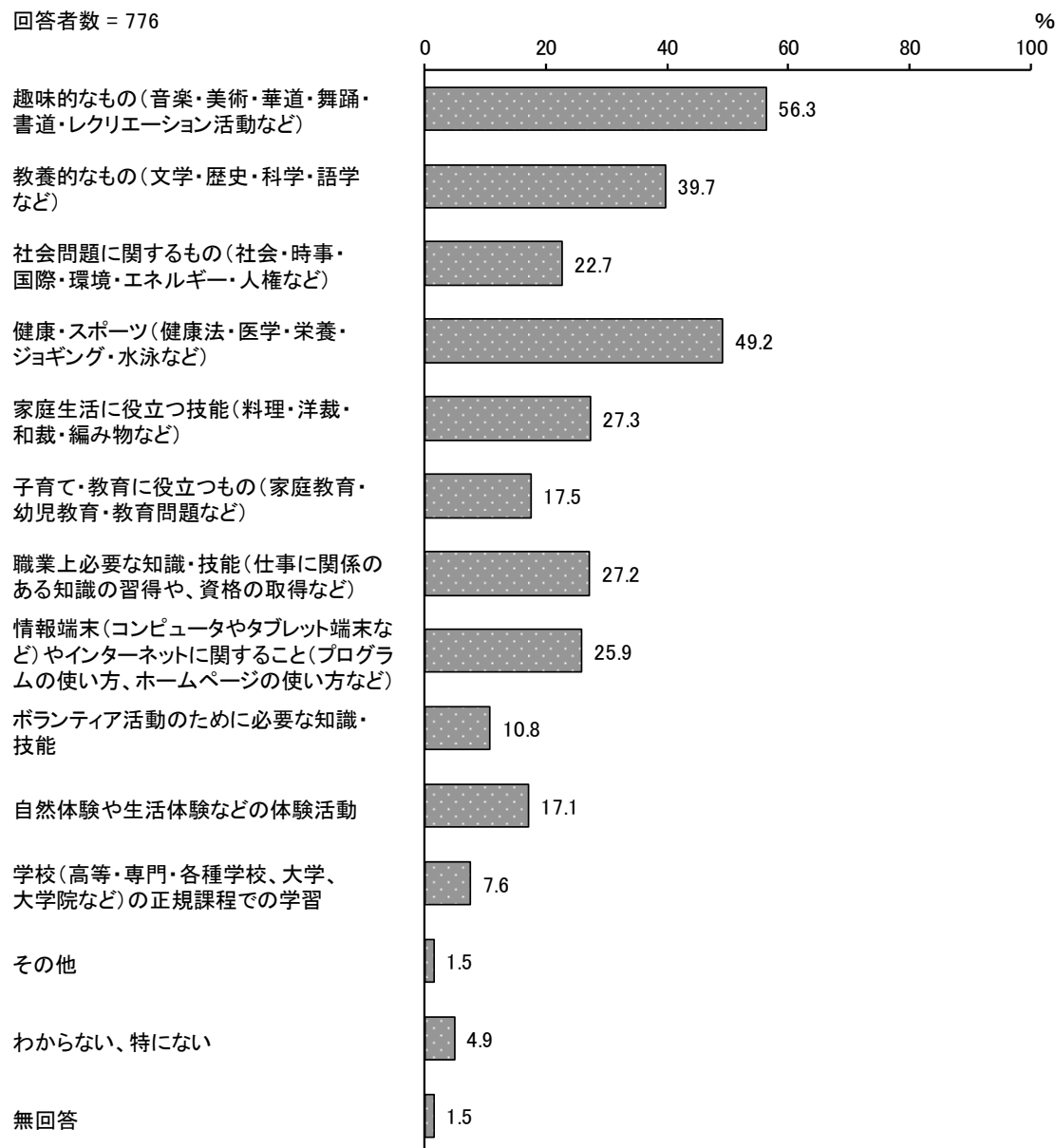
平成 28 年度調査と比較すると、「資格の取得」「生活の潤いや生きがいづくり」「さらなる知識・技能の向上」「自分の人生を豊かに」「自分の健康の維持・増進」の割合が増加しています。



問9 あなたが今後学習してみたいと思う分野は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「趣味的なもの(音楽・美術・華道・舞踊・書道・レクリエーション活動など)」の割合が56.3%と最も高く、次いで「健康・スポーツ(健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など)」の割合が49.2%、「教養的なもの(文学・歴史・科学・語学など)」の割合が39.7%となっています。

回答者数 = 776



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「趣味的なもの（音楽・美術・華道・舞踊・書道・レクリエーション活動など）」「家庭生活に役立つ技能（料理・洋裁・和裁・編み物など）」「子育て・教育に役立つもの（家庭教育・幼児教育・教育問題など）」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「社会問題に関するもの（社会・時事・国際・環境・エネルギー・人権など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	趣味的なもの(音楽・美術・華道・舞踊・書道・レクリエーション活動など)	教養的なもの(文学・歴史・科学・語学など)	社会問題に関するもの(社会・時事・国際・環境・エネルギー・人権など)	健康・スポーツ(健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など)	家庭生活に役立つ技能(料理・洋裁・和裁・編み物など)	子育て・教育に役立つもの(家庭教育・幼児教育・教育問題など)	職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や、資格の取得など)	情報端末(コンピュータやタブレット端末など)やインターネットに関すること(プログラムの使い方、ホームページの使い方など)	ボランティア活動のために必要な知識・技能	自然体験や生活体験などの体験活動	習 学校(高等・専門・各種学校、大学、大学院など)の正規課程での学	その他	わからない、特にない	無回答
男性	270	49.3	41.9	27.8	46.7	14.4	11.1	28.1	28.1	10.0	15.2	5.9	2.2	5.6	1.5
女性	494	60.1	38.9	19.8	50.8	34.6	20.6	25.9	23.9	11.1	17.8	8.7	1.2	4.7	1.6
答えたくない	7	71.4	42.9	28.6	42.9	—	28.6	71.4	57.1	14.3	28.6	—	—	—	—

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、25～29歳で「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や、資格の取得など）」の割合が、30～34歳で「子育て・教育に役立つもの（家庭教育・幼児教育・教育問題など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	趣味的なもの（音楽・美術・華道・舞踊・書道・レクリエーション活動など）	教養的なもの（文学・歴史・科学・語学など）	社会問題に関するもの（社会・時事・国際・環境・エネルギー・人権など）	健康・スポーツ（健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など）	家庭生活に役立つ技能（料理・洋裁・和裁・編み物など）	子育て・教育に役立つもの（家庭教育・幼児教育・教育問題など）	職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や、資格の取得など）	情報端末（コンピュータやタブレット端末など）やインターネットに関すること（プログラムの使い方、ホームページの使い方など）	ボランティア活動のために必要な知識・技能	自然体験や生活体験などの体験活動	学校（高等・専門・各種学校、大学、大学院など）の正規課程での学習	その他	わからない、特にない	無回答
18～19歳	56	53.6	41.1	30.4	39.3	35.7	23.2	50.0	39.3	10.7	21.4	33.9	—	5.4	—
20～24歳	30	56.7	43.3	33.3	23.3	30.0	20.0	53.3	30.0	10.0	10.0	13.3	—	3.3	—
25～29歳	32	43.8	46.9	18.8	46.9	37.5	31.3	59.4	31.3	3.1	9.4	12.5	—	3.1	3.1
30～34歳	47	51.1	38.3	23.4	44.7	40.4	57.4	40.4	23.4	4.3	19.1	6.4	—	6.4	—
35～39歳	64	60.9	48.4	25.0	50.0	40.6	48.4	45.3	21.9	3.1	26.6	7.8	3.1	3.1	1.6
40～44歳	55	63.6	29.1	20.0	47.3	25.5	29.1	32.7	18.2	9.1	20.0	3.6	—	3.6	3.6
45～49歳	63	58.7	46.0	19.0	50.8	30.2	17.5	42.9	23.8	7.9	17.5	3.2	—	1.6	1.6
50～54歳	69	63.8	42.0	24.6	59.4	21.7	7.2	29.0	23.2	18.8	24.6	8.7	—	1.4	—
55～59歳	53	64.2	41.5	26.4	56.6	30.2	7.5	18.9	17.0	15.1	15.1	7.5	—	5.7	—
60～64歳	80	60.0	45.0	26.3	58.8	27.5	7.5	20.0	31.3	16.3	21.3	1.3	1.3	5.0	1.3
65～69歳	52	59.6	34.6	11.5	51.9	17.3	3.8	11.5	34.6	7.7	5.8	5.8	3.8	3.8	—
70～74歳	59	59.3	44.1	22.0	57.6	18.6	5.1	—	25.4	18.6	16.9	1.7	—	1.7	—
75～79歳	49	36.7	24.5	18.4	44.9	18.4	—	—	28.6	8.2	8.2	—	8.2	10.2	4.1
80歳以上	51	45.1	29.4	21.6	37.3	15.7	2.0	2.0	19.6	7.8	9.8	7.8	3.9	13.7	7.8

【仕事の有無別】

仕事の有無別でみると、していないに比べ、しているで「健康・スポーツ（健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など）」「子育て・教育に役立つもの（家庭教育・幼児教育・教育問題など）」「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や、資格の取得など）」の割合が高くなっています。

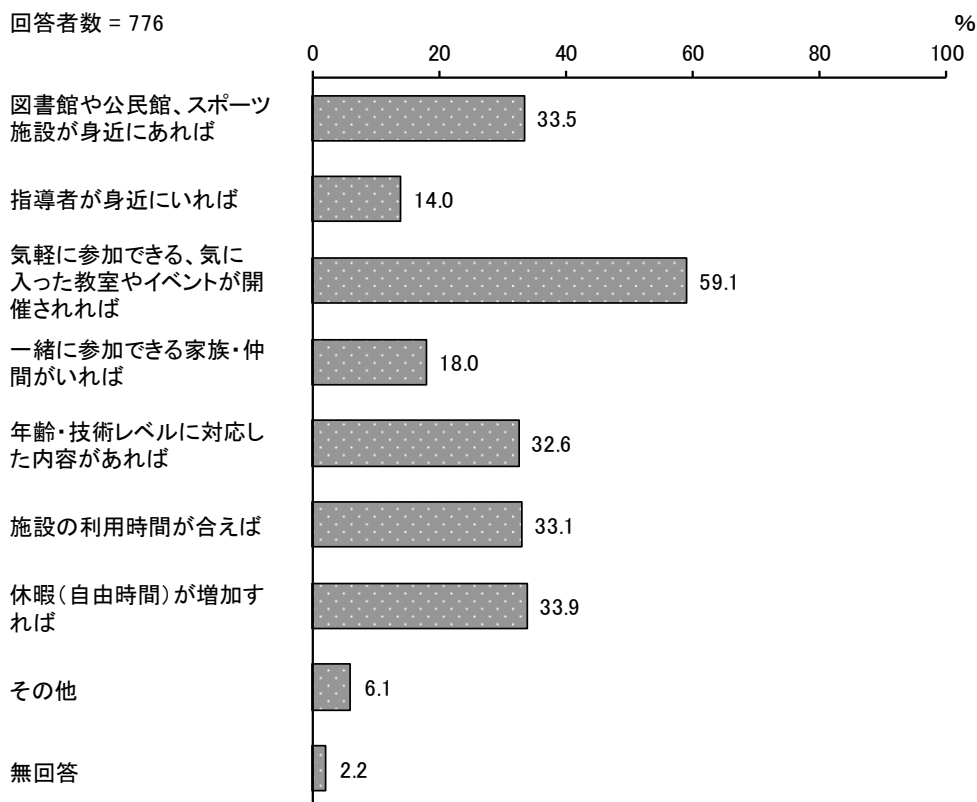
単位：％

区分	回答者数（件）	趣味的なもの（音楽・美術・華道・舞踊・書道・レクリエーション活動など）	教養的なもの（文学・歴史・科学・語学など）	社会問題に関するもの（社会・時事・国際・環境・エネルギー・人権など）	健康・スポーツ（健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など）	家庭生活に役立つ技能（料理・洋裁・和裁・編み物など）	子育て・教育に役立つもの（家庭教育・幼児教育・教育問題など）	職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や、資格の取得など）	情報端末（コンピュータやタブレット端末など）やインターネットに関すること（プログラムの使い方、ホームページの使い方など）	ボランティア活動のために必要な知識・技能	自然体験や生活体験などの体験活動	学校（高等・専門・各種学校、大学、大学院など）の正規課程での学習	その他	わからない、特にない	無回答
している	456	57.5	43.0	24.6	53.1	27.4	21.5	37.5	24.8	12.9	18.4	7.5	1.1	3.1	0.9
していない	305	54.4	34.8	20.3	44.6	27.2	12.1	12.5	27.9	7.5	15.1	7.9	2.0	7.2	2.6

問10 あなたは、どのような条件が整えば、生涯学習（学習活動）を行いますか。
（あてはまるものすべてに○）

「気軽に参加できる、気に入った教室やイベントが開催されれば」の割合が59.1%と最も高く、次いで「休暇（自由時間）が増加すれば」の割合が33.9%、「図書館や公民館、スポーツ施設が身近にあれば」の割合が33.5%となっています。

回答者数 = 776



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70～74歳で「気軽に参加できる、気に入った教室やイベントが開催されれば」の割合が、60～64歳、65～69歳で「年齢・技術レベルに対応した内容があれば」の割合が、25～29歳で「休暇（自由時間）が増加すれば」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	図書館や公民館、スポーツ施設が身近にあれば	指導者が身近にいれば	気軽に参加できる、気に入った教室やイベントが開催されれば	一緒に参加できる家族・仲間がいれば	年齢・技術レベルに対応した内容があれば	施設の利用時間が合えば	休暇（自由時間）が増加すれば	その他	無回答
18～19歳	56	16.1	14.3	25.0	39.3	26.8	17.9	48.2	5.4	—
20～24歳	30	20.0	10.0	50.0	30.0	30.0	26.7	40.0	10.0	—
25～29歳	32	25.0	9.4	50.0	28.1	28.1	15.6	56.3	6.3	6.3
30～34歳	47	44.7	17.0	61.7	31.9	21.3	44.7	51.1	8.5	—
35～39歳	64	32.8	12.5	59.4	23.4	21.9	45.3	53.1	9.4	—
40～44歳	55	34.5	12.7	56.4	9.1	21.8	34.5	43.6	7.3	—
45～49歳	63	31.7	15.9	54.0	17.5	27.0	46.0	44.4	6.3	1.6
50～54歳	69	34.8	14.5	59.4	10.1	23.2	40.6	46.4	7.2	—
55～59歳	53	30.2	11.3	62.3	17.0	28.3	35.8	39.6	7.5	—
60～64歳	80	38.8	22.5	71.3	16.3	52.5	42.5	22.5	3.8	1.3
65～69歳	52	40.4	15.4	71.2	7.7	50.0	26.9	15.4	13.5	—
70～74歳	59	40.7	10.2	81.4	6.8	39.0	23.7	13.6	1.7	5.1
75～79歳	49	32.7	12.2	65.3	6.1	36.7	24.5	2.0	—	12.2
80歳以上	51	41.2	15.7	47.1	23.5	41.2	17.6	5.9	2.0	7.8

【仕事の有無別】

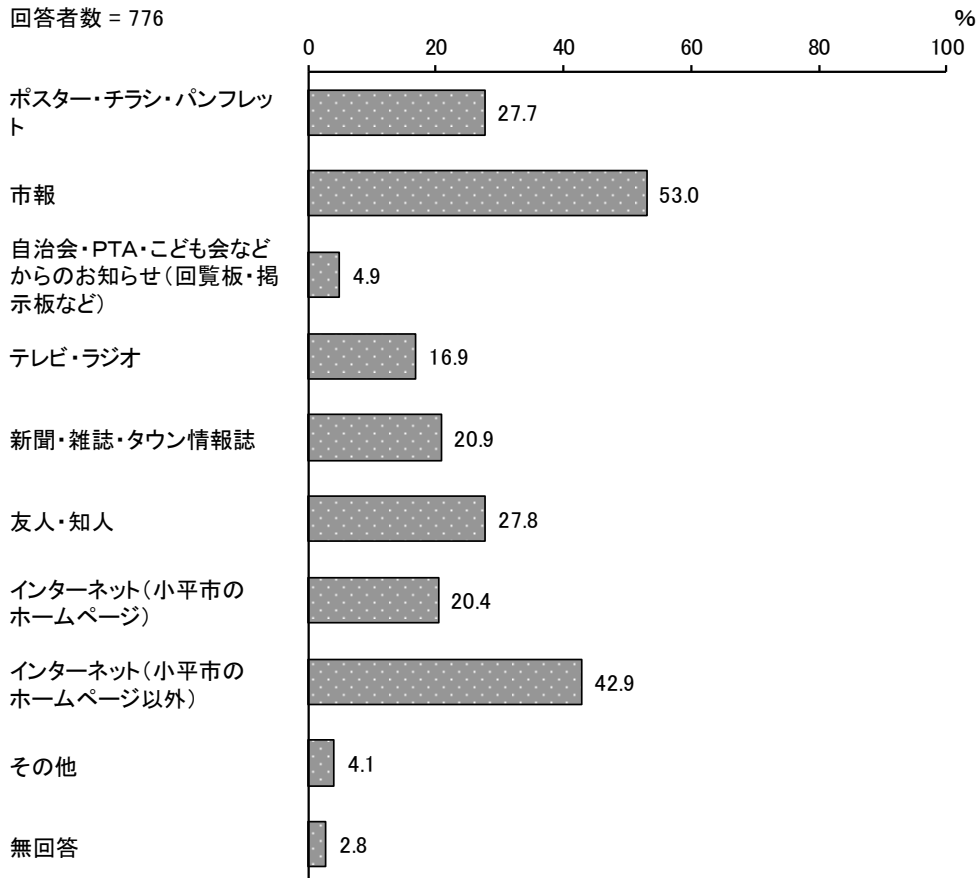
仕事の有無別でみると、していないに比べ、しているで「休暇（自由時間）が増加すれば」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	図書館や公民館、スポーツ施設が身近にあれば	指導者が身近にいれば	気軽に参加できる、気に入った教室やイベントが開催されれば	一緒に参加できる家族・仲間がいれば	年齢・技術レベルに対応した内容があれば	施設の利用時間が合えば	休暇（自由時間）が増加すれば	その他	無回答
している	456	34.2	13.4	57.5	18.9	29.2	38.6	46.5	6.8	0.9
していない	305	33.1	15.7	61.6	17.0	37.0	24.9	14.8	5.2	4.3

問 11 生涯学習（学習活動）についての情報をどのような手段で得ていますか。
（あてはまるものすべてに○）

「市報」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「インターネット（小平市のホームページ以外）」の割合が 42.9%、「友人・知人」の割合が 27.8%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70～74歳で「ポスター・チラシ・パンフレット」「市報」の割合が、30～34歳で「インターネット（小平市のホームページ以外）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ポスター・チラシ・パンフレット	市報	自治会・PTA・子ども会などからのお知らせ(回覧板・掲示板など)	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌・タウン情報誌	友人・知人	インターネット(小平市のホームページ)	インターネット(小平市のホームページ以外)	その他	無回答
18～19歳	56	12.5	14.3	3.6	23.2	5.4	32.1	12.5	50.0	8.9	1.8
20～24歳	30	23.3	16.7	—	10.0	10.0	40.0	20.0	60.0	3.3	—
25～29歳	32	21.9	37.5	3.1	6.3	3.1	15.6	15.6	46.9	9.4	6.3
30～34歳	47	29.8	38.3	6.4	12.8	17.0	31.9	23.4	63.8	—	6.4
35～39歳	64	31.3	43.8	4.7	20.3	12.5	23.4	32.8	60.9	1.6	—
40～44歳	55	29.1	43.6	5.5	9.1	5.5	27.3	18.2	40.0	9.1	5.5
45～49歳	63	30.2	49.2	4.8	12.7	11.1	22.2	28.6	55.6	—	3.2
50～54歳	69	17.4	59.4	7.2	10.1	26.1	30.4	21.7	52.2	5.8	1.4
55～59歳	53	37.7	50.9	—	15.1	28.3	28.3	22.6	54.7	1.9	1.9
60～64歳	80	25.0	65.0	3.8	15.0	23.8	26.3	26.3	43.8	5.0	2.5
65～69歳	52	32.7	65.4	1.9	21.2	30.8	25.0	19.2	38.5	3.8	3.8
70～74歳	59	42.4	81.4	6.8	20.3	33.9	27.1	13.6	20.3	5.1	1.7
75～79歳	49	22.4	69.4	6.1	22.4	34.7	40.8	10.2	6.1	2.0	6.1
80歳以上	51	35.3	72.5	11.8	33.3	43.1	27.5	7.8	9.8	2.0	2.0

【仕事の有無別】

仕事の有無別でみると、していないに比べ、しているで「インターネット（小平市のホームページ以外）」の割合が、していないで「市報」の割合が高くなっています。

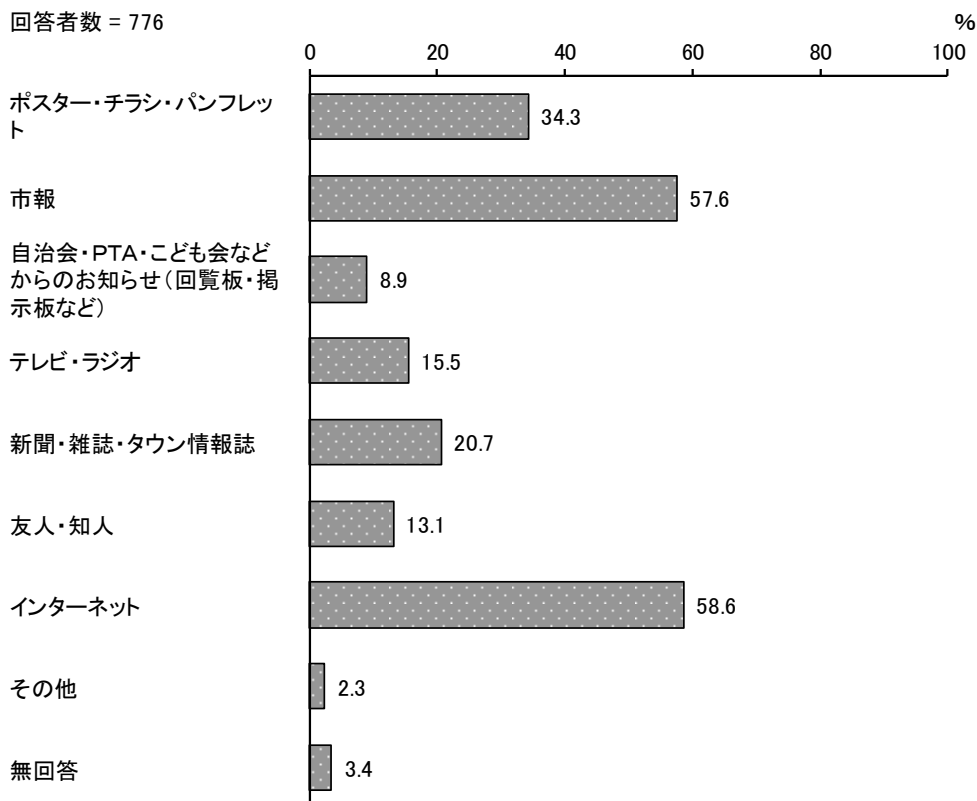
単位：％

区分	回答者数（件）	ポスター・チラシ・パンフレット	市報	自治会・PTA・子ども会などからのお知らせ（回覧板・掲示板など）	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌・タウン情報誌	友人・知人	インターネット（小平市のホームページ）	インターネット（小平市のホームページ以外）	その他	無回答
している	456	27.9	47.1	4.4	14.7	16.2	27.2	22.8	53.5	4.2	3.3
していない	305	27.9	61.3	5.6	20.3	28.2	29.2	16.7	26.9	3.9	2.3

問 12 生涯学習（学習活動）についてどのような情報発信を望んでいますか。 （あてはまるものすべてに○）

「インターネット」の割合が 58.6%と最も高く、次いで「市報」の割合が 57.6%、「ポスター・チラシ・パンフレット」の割合が 34.3%となっています。

回答者数 = 776



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、35～39歳で「インターネット」の割合が、70～74歳で「市報」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ポスター・チラシ・パンフレット	市報	自治会・PTA・子ども会などから のお知らせ(閲覧板・掲示板など)	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌・タウン情報誌	友人・知人	インターネット	その他	無回答
18～19歳	56	23.2	23.2	1.8	21.4	3.6	12.5	69.6	3.6	5.4
20～24歳	30	30.0	23.3	3.3	20.0	6.7	13.3	86.7	—	—
25～29歳	32	18.8	31.3	6.3	15.6	9.4	9.4	56.3	6.3	9.4
30～34歳	47	36.2	40.4	14.9	14.9	6.4	10.6	72.3	4.3	6.4
35～39歳	64	37.5	48.4	4.7	14.1	10.9	14.1	87.5	1.6	3.1
40～44歳	55	38.2	50.9	9.1	10.9	7.3	9.1	67.3	7.3	1.8
45～49歳	63	36.5	52.4	4.8	6.3	12.7	9.5	66.7	—	6.3
50～54歳	69	30.4	63.8	8.7	11.6	21.7	10.1	75.4	—	2.9
55～59歳	53	30.2	58.5	9.4	15.1	30.2	20.8	66.0	1.9	1.9
60～64歳	80	43.8	71.3	10.0	16.3	23.8	12.5	58.8	2.5	1.3
65～69歳	52	32.7	73.1	3.8	17.3	32.7	7.7	46.2	5.8	—
70～74歳	59	47.5	84.7	11.9	13.6	35.6	20.3	27.1	1.7	3.4
75～79歳	49	30.6	75.5	18.4	8.2	34.7	12.2	22.4	—	4.1
80歳以上	51	35.3	72.5	15.7	35.3	47.1	23.5	13.7	—	3.9

【仕事の有無別】

仕事の有無別でみると、していないに比べ、しているで「インターネット」の割合が、していないで「市報」の割合が高くなっています。

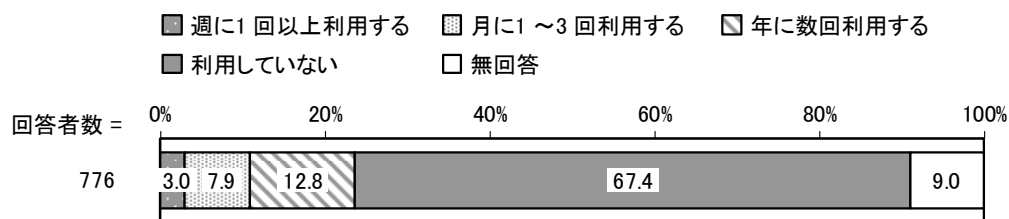
単位：％

区分	回答者数 (件)	ポスター・チラシ・パンフレット	市報	自治会・PTA・子ども会などから のお知らせ(閲覧板・掲示板など)	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌・タウン情報誌	友人・知人	インターネット	その他	無回答
している	456	33.6	52.4	7.7	13.6	17.1	12.3	69.1	2.0	3.5
していない	305	35.7	65.2	10.2	18.4	26.6	14.4	43.0	3.0	3.3

問 13 市が設置する次の施設の利用状況について、お聞きします。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

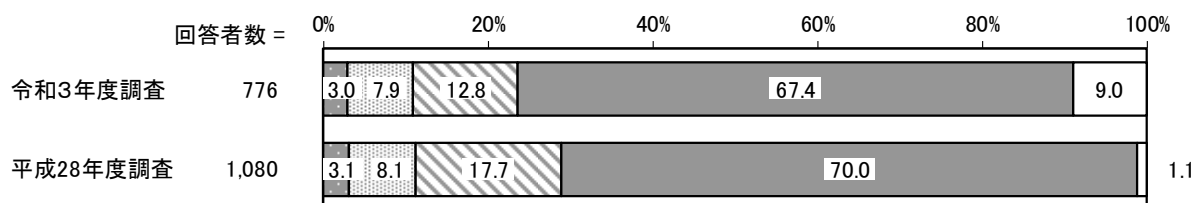
公民館

「利用していない」の割合が67.4%と最も高く、次いで「年に数回利用する」の割合が12.8%となっています。



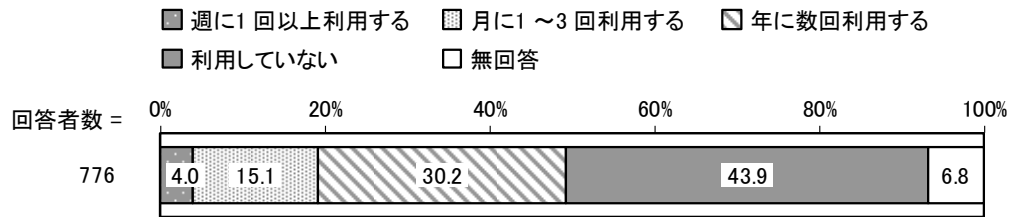
【平成28年度調査との比較】

平成28年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



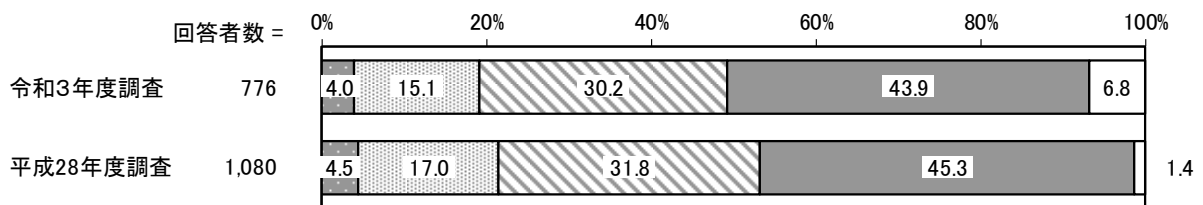
図書館

「利用していない」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「年に数回利用する」の割合が 30.2%、「月に1～3回利用する」の割合が 15.1%となっています。



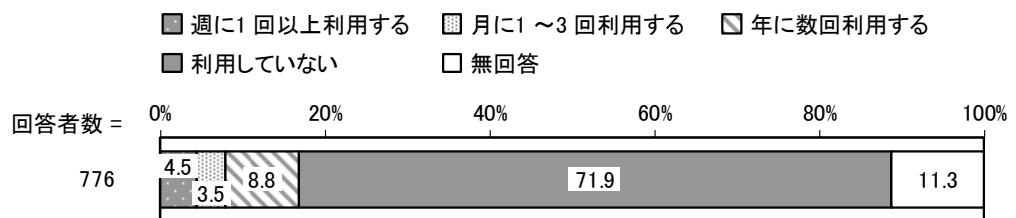
【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



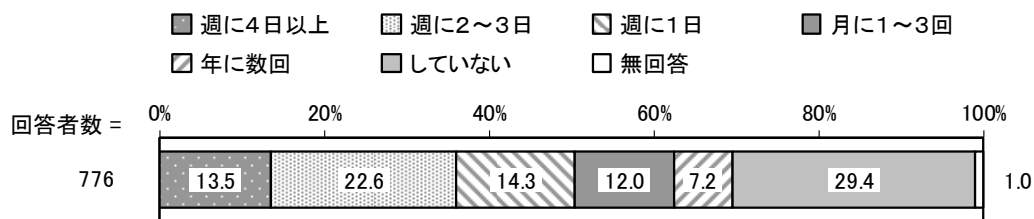
体育施設

「利用していない」の割合が 71.9%と最も高くなっています。



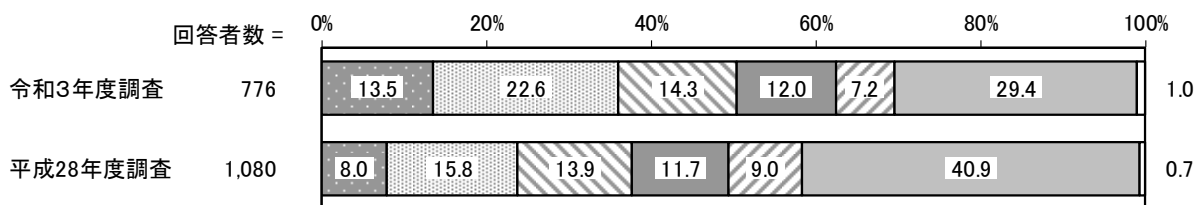
問 14 普段、どれくらい運動（スポーツ）をしていますか。（1つに○）

「していない」の割合が29.4%と最も高く、次いで「週に2～3日」の割合が22.6%、「週に1日」の割合が14.3%となっています。



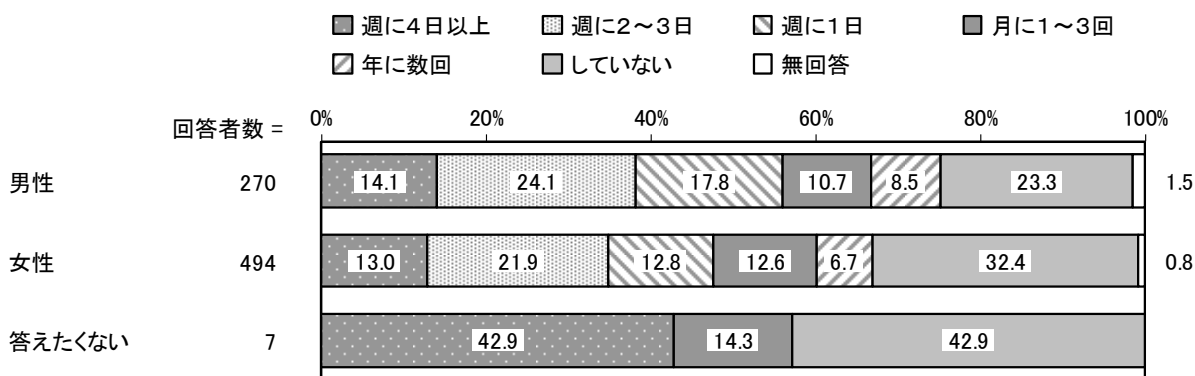
【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「週に 4 日以上」「週に 2～3 日」の割合が増加しています。一方、「していない」の割合が減少しています。



【性別】

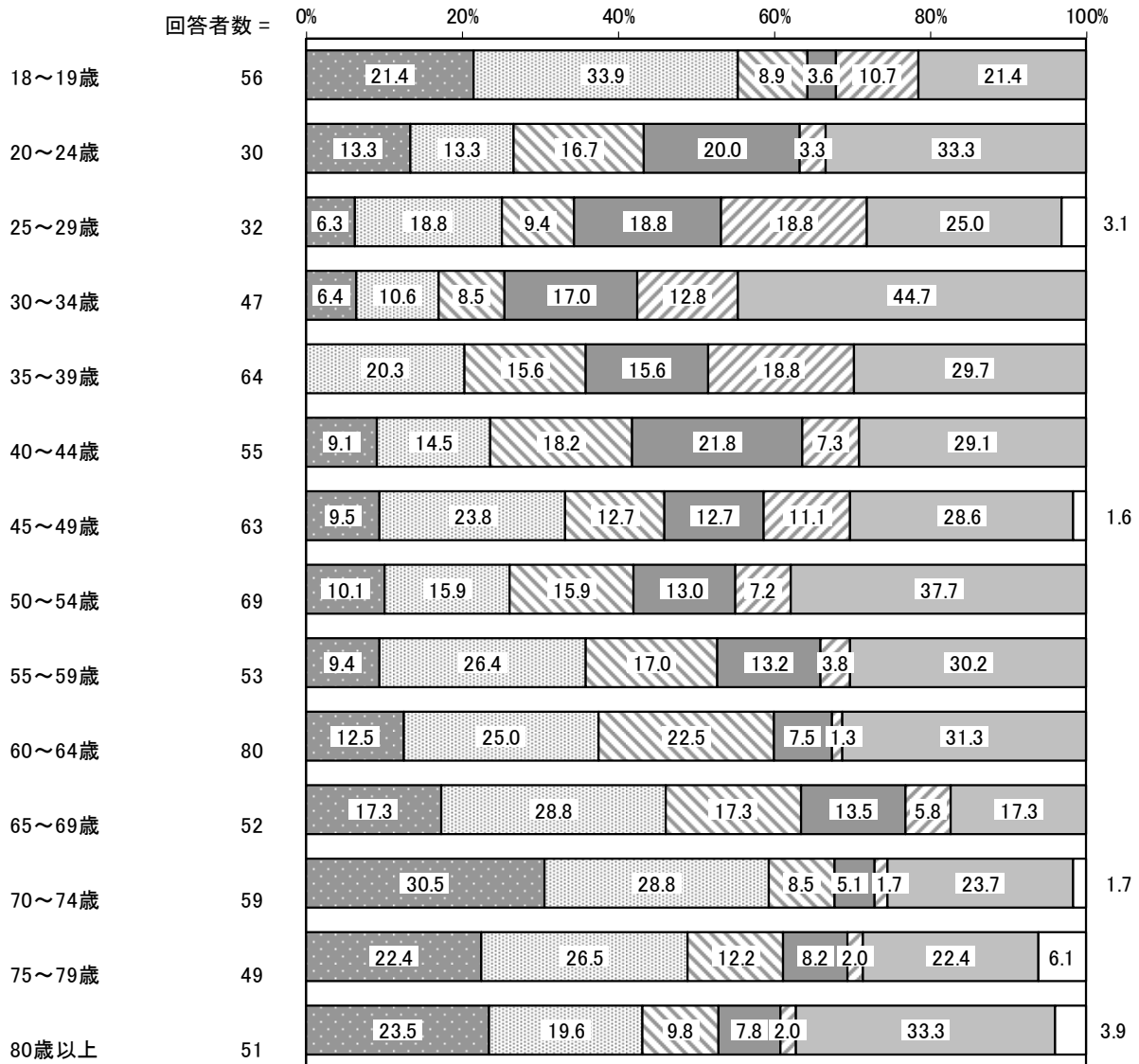
性別で見ると、男性に比べ、女性で「していない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

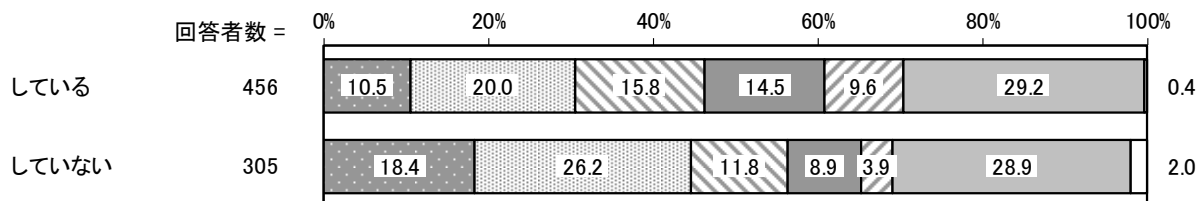
年齢別でみると、他に比べ、70～74歳で「週に4日以上」の割合が、18～19歳で「週に2～3日」の割合が高くなっています。また、30～34歳で「していない」の割合が高くなっています。

■ 週に4日以上 ▨ 週に2～3日 ▩ 週に1日 ■ 月に1～3回
 ▤ 年に数回 □ していない □ 無回答



【仕事の有無別】

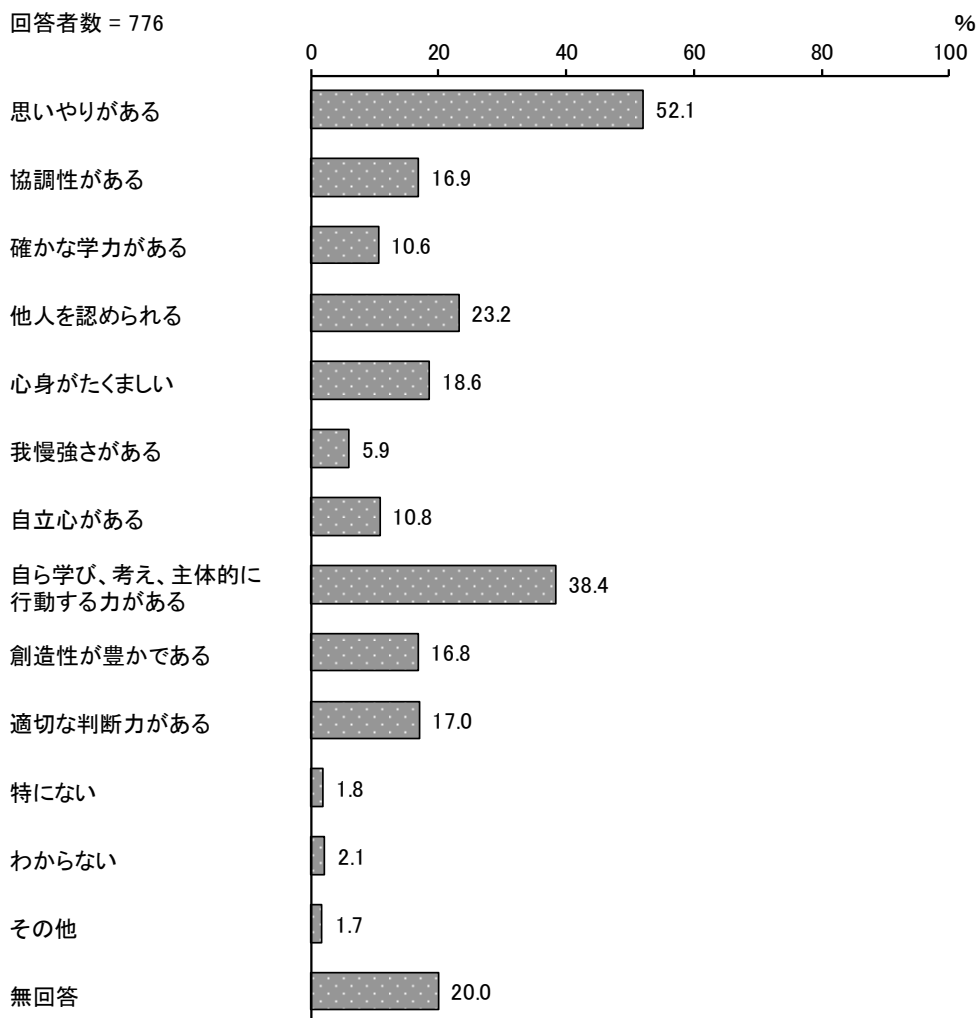
仕事の有無別でみると、しているに比べ、していないで「週に4日以上」「週に2～3日」の割合が、しているで「月に1～3回」「年に数回」の割合が高くなっています。



(3) 小平市の学校教育について

問 15 小平市の子どもに、どのような人になってほしいと思いますか。
(あてはまるもの3つまでに○)

「思いやりがある」の割合が52.1%と最も高く、次いで「自ら学び、考え、主体的に行動する力がある」の割合が38.4%、「他人を認められる」の割合が23.2%となっています。



【年齢別】

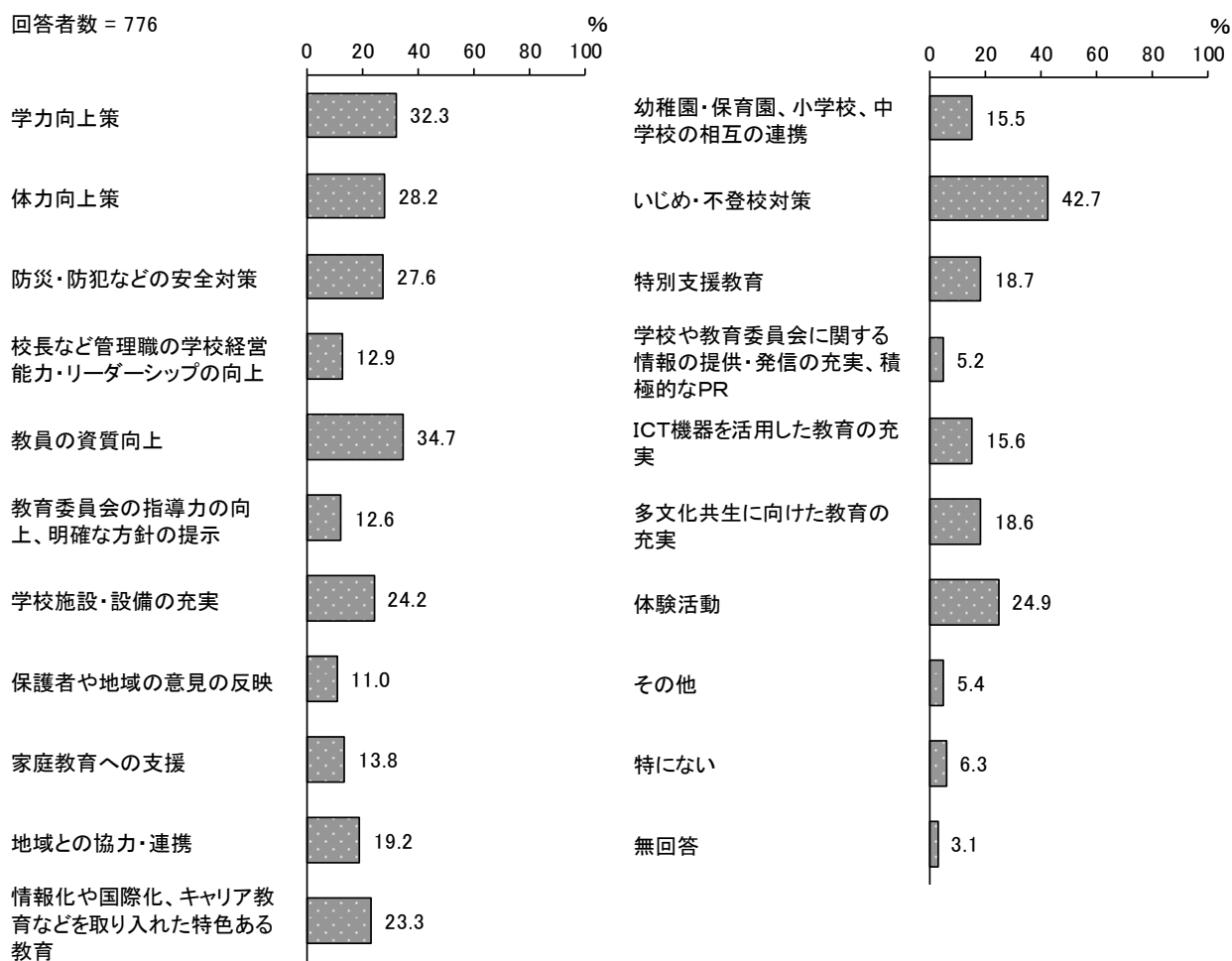
年齢別でみると、他に比べ、65～69歳で「思いやりがある」の割合が、55～59歳で「心身がたくましい」の割合が、45～49歳で「自ら学び、考え、主体的に行動する力がある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	思いやりがある	協調性がある	確かな学力がある	他人を認められる	心身がたくましい	我慢強さがある	自立心がある	自ら学び、考え、主体的に行動する力がある	創造性が豊かである	適切な判断力がある	特にない	わからない	その他	無回答
18～19歳	56	44.6	23.2	10.7	12.5	8.9	10.7	8.9	19.6	10.7	17.9	7.1	7.1	1.8	16.1
20～24歳	30	46.7	3.3	6.7	30.0	3.3	6.7	10.0	30.0	20.0	26.7	3.3	3.3	—	26.7
25～29歳	32	46.9	28.1	15.6	31.3	6.3	—	6.3	25.0	12.5	21.9	3.1	9.4	—	21.9
30～34歳	47	48.9	25.5	8.5	19.1	17.0	4.3	6.4	36.2	14.9	19.1	8.5	—	—	21.3
35～39歳	64	42.2	10.9	10.9	34.4	17.2	4.7	9.4	40.6	9.4	18.8	1.6	1.6	1.6	28.1
40～44歳	55	56.4	16.4	9.1	16.4	25.5	5.5	1.8	47.3	16.4	18.2	—	—	3.6	18.2
45～49歳	63	57.1	12.7	14.3	25.4	23.8	7.9	17.5	55.6	22.2	15.9	—	—	—	12.7
50～54歳	69	58.0	8.7	13.0	20.3	18.8	2.9	11.6	42.0	23.2	11.6	1.4	1.4	4.3	20.3
55～59歳	53	58.5	17.0	13.2	28.3	30.2	5.7	22.6	34.0	13.2	15.1	—	3.8	5.7	11.3
60～64歳	80	48.8	10.0	5.0	22.5	26.3	2.5	12.5	43.8	20.0	18.8	1.3	1.3	2.5	22.5
65～69歳	52	67.3	25.0	9.6	25.0	13.5	1.9	3.8	46.2	25.0	13.5	—	1.9	—	13.5
70～74歳	59	45.8	18.6	15.3	25.4	27.1	6.8	5.1	33.9	13.6	13.6	1.7	1.7	—	23.7
75～79歳	49	42.9	22.4	10.2	18.4	16.3	6.1	24.5	40.8	18.4	16.3	—	—	—	24.5
80歳以上	51	58.8	21.6	9.8	13.7	13.7	15.7	11.8	31.4	15.7	15.7	—	2.0	2.0	17.6

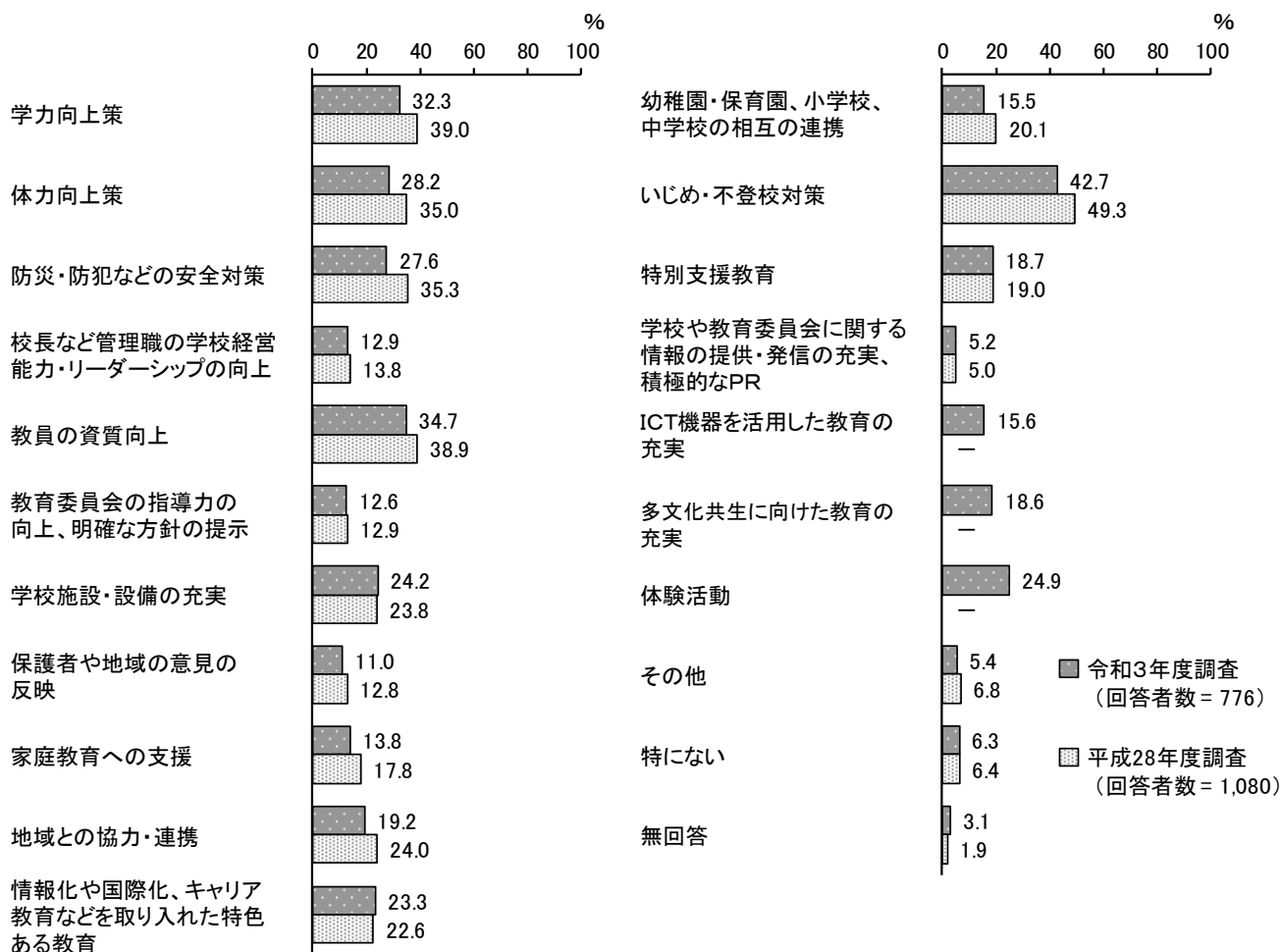
問 16 小平市の学校教育で特に力を入れる必要があると思うことは何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

「いじめ・不登校対策」の割合が42.7%と最も高く、次いで「教員の資質向上」の割合が34.7%、「学力向上策」の割合が32.3%となっています。



【平成 28 年度調査との比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「学力向上策」「体力向上策」「防災・防犯などの安全対策」「いじめ・不登校対策」の割合が減少しています。



※前回調査に「ICT機器を活用した教育の充実」「多文化共生に向けた教育の充実」「体験活動」の選択肢はありませんでした。

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30～34歳で「いじめ・不登校対策」の割合が、70～74歳で「地域との協力・連携」の割合が高くなっています。また、60～64歳で「教員の資質向上」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	学力向上策	体力向上策	防災・防犯などの 安全対策	校長など管理職の 学校経営能力・リーダー シップの向上	教員の資質向上	教育委員会の指導力の 向上、明確な方針の提示	学校施設・設備の 充実	保護者や地域の意見の 反映	家庭教育への支援	地域との協力・ 連携
18～19歳	56	23.2	26.8	23.2	14.3	33.9	12.5	25.0	7.1	12.5	21.4
20～24歳	30	23.3	16.7	23.3	6.7	20.0	3.3	26.7	6.7	6.7	16.7
25～29歳	32	31.3	18.8	34.4	9.4	31.3	12.5	34.4	9.4	28.1	18.8
30～34歳	47	21.3	21.3	46.8	14.9	31.9	12.8	34.0	19.1	31.9	21.3
35～39歳	64	37.5	34.4	32.8	9.4	34.4	4.7	28.1	9.4	10.9	21.9
40～44歳	55	34.5	25.5	25.5	14.5	27.3	7.3	29.1	12.7	7.3	3.6
45～49歳	63	44.4	34.9	20.6	6.3	31.7	11.1	22.2	11.1	17.5	14.3
50～54歳	69	31.9	26.1	26.1	14.5	37.7	14.5	24.6	10.1	8.7	14.5
55～59歳	53	37.7	35.8	39.6	13.2	34.0	15.1	20.8	7.5	20.8	18.9
60～64歳	80	27.5	25.0	21.3	13.8	47.5	15.0	27.5	16.3	11.3	23.8
65～69歳	52	34.6	26.9	25.0	19.2	32.7	15.4	11.5	13.5	11.5	23.1
70～74歳	59	32.2	35.6	25.4	13.6	37.3	16.9	18.6	11.9	13.6	35.6
75～79歳	49	38.8	26.5	22.4	12.2	36.7	18.4	22.4	10.2	6.1	16.3
80歳以上	51	39.2	37.3	29.4	17.6	39.2	13.7	21.6	5.9	13.7	19.6

次ページへつづく

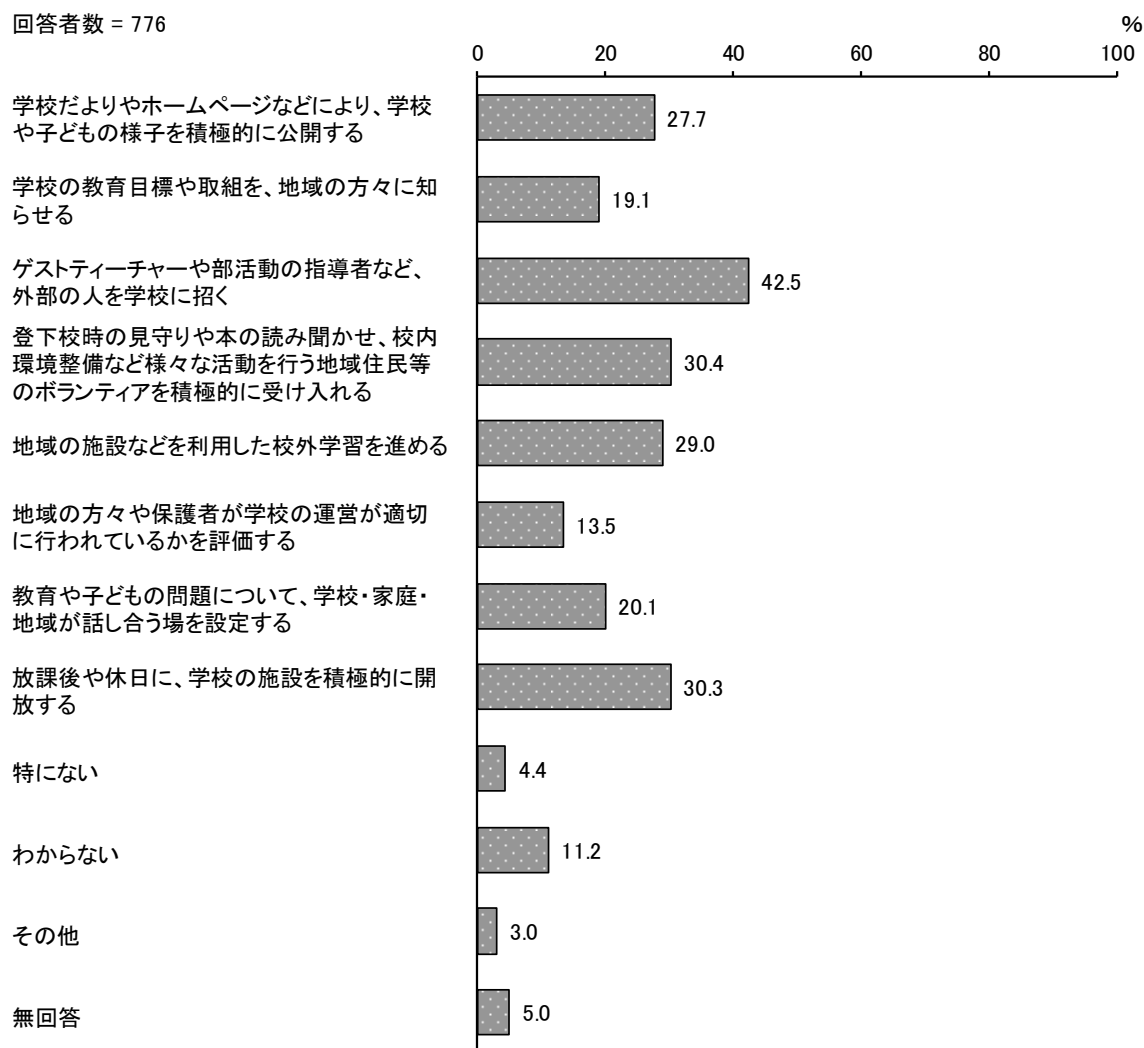
単位：%

区分	情報化や国際化、キャリア教育などを取り入れた特色ある教育	幼稚園・保育園、小学校、中学校の相互の連携	いじめ・不登校対策	特別支援教育	学校や教育委員会に関する情報の提供・発信の充実、積極的なPR	ICT機器を活用した教育の充実	多文化共生に向けた教育の充実	体験活動	その他	特になし	無回答
18～19歳	23.2	8.9	23.2	17.9	1.8	10.7	12.5	23.2	3.6	8.9	3.6
20～24歳	23.3	16.7	50.0	23.3	3.3	30.0	23.3	26.7	3.3	6.7	—
25～29歳	18.8	9.4	46.9	9.4	—	12.5	15.6	12.5	6.3	9.4	—
30～34歳	29.8	29.8	59.6	21.3	4.3	10.6	21.3	21.3	8.5	12.8	—
35～39歳	26.6	23.4	35.9	17.2	4.7	17.2	23.4	31.3	7.8	1.6	—
40～44歳	32.7	21.8	36.4	9.1	7.3	20.0	16.4	34.5	5.5	9.1	1.8
45～49歳	25.4	9.5	31.7	17.5	—	14.3	23.8	23.8	6.3	7.9	3.2
50～54歳	20.3	13.0	40.6	18.8	8.7	14.5	18.8	26.1	4.3	5.8	1.4
55～59歳	26.4	18.9	45.3	22.6	1.9	20.8	30.2	32.1	7.5	7.5	—
60～64歳	32.5	15.0	45.0	23.8	6.3	23.8	16.3	23.8	5.0	5.0	3.8
65～69歳	5.8	15.4	48.1	23.1	3.8	9.6	13.5	25.0	5.8	7.7	—
70～74歳	27.1	11.9	40.7	25.4	13.6	11.9	22.0	20.3	—	6.8	5.1
75～79歳	14.3	14.3	51.0	16.3	6.1	12.2	16.3	20.4	4.1	4.1	8.2
80歳以上	11.8	13.7	54.9	13.7	7.8	11.8	7.8	23.5	5.9	—	5.9

問 17 小平市では、「コミュニティ・スクール」の取組をはじめ、「地域に開かれた学校づくり」の実現に向けた取組が進められています。「地域に開かれた学校づくり」に向け、どのような取組が必要だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う地域住民等のボランティアを積極的に受け入れる」の割合が 30.4%、「放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する」の割合が 30.3%となっています。

回答者数 = 776



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40～44歳で「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」の割合が、55～59歳で「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う地域住民等のボランティアを積極的に受け入れる」の割合が、20～24歳で「地域の施設などを利用した校外学習を進める」の割合が、70～74歳で「放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する」の割合が高くなっています。

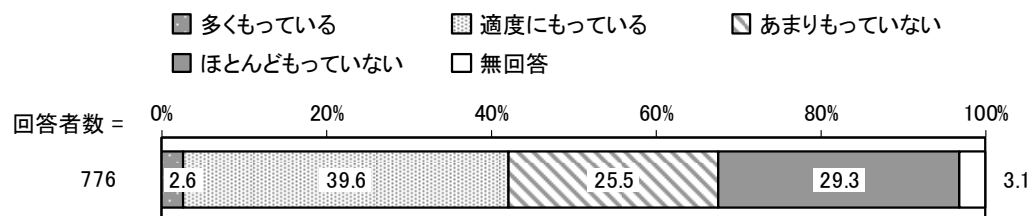
単位：％

区分	回答者数(件)	学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する	学校の教育目標や取組を、地域の方々に知らせる	ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く	登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う地域住民等のボランティアを積極的に受け入れる	地域の施設などを利用した校外学習を進める	地域の方々や保護者が学校の運営が適切に行われているかを評価する	教育や子どもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する	放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する	特になし	わからない	その他	無回答
18～19歳	56	23.2	14.3	41.1	23.2	28.6	5.4	10.7	39.3	1.8	14.3	3.6	1.8
20～24歳	30	36.7	23.3	33.3	33.3	46.7	10.0	23.3	36.7	3.3	10.0	6.7	—
25～29歳	32	18.8	9.4	34.4	34.4	21.9	31.3	31.3	21.9	6.3	15.6	—	—
30～34歳	47	38.3	21.3	46.8	38.3	36.2	29.8	25.5	34.0	6.4	17.0	4.3	—
35～39歳	64	29.7	26.6	48.4	32.8	37.5	15.6	14.1	43.8	—	10.9	3.1	1.6
40～44歳	55	27.3	16.4	65.5	27.3	41.8	10.9	20.0	34.5	3.6	9.1	3.6	1.8
45～49歳	63	19.0	19.0	57.1	31.7	30.2	12.7	19.0	28.6	7.9	4.8	1.6	6.3
50～54歳	69	21.7	17.4	56.5	29.0	23.2	15.9	17.4	29.0	5.8	2.9	4.3	2.9
55～59歳	53	35.8	13.2	41.5	43.4	24.5	17.0	15.1	20.8	1.9	17.0	5.7	—
60～64歳	80	28.8	22.5	40.0	35.0	25.0	13.8	27.5	22.5	3.8	8.8	1.3	5.0
65～69歳	52	19.2	21.2	34.6	23.1	21.2	11.5	21.2	11.5	7.7	17.3	—	—
70～74歳	59	35.6	20.3	35.6	30.5	30.5	8.5	25.4	47.5	1.7	10.2	3.4	5.1
75～79歳	49	34.7	18.4	24.5	22.4	24.5	10.2	24.5	32.7	8.2	14.3	—	14.3
80歳以上	51	31.4	23.5	23.5	25.5	21.6	3.9	15.7	23.5	3.9	13.7	3.9	21.6

(4) 地域のことについて

問18 地域の方とのつながりをどの程度もっていますか。(1つに○)

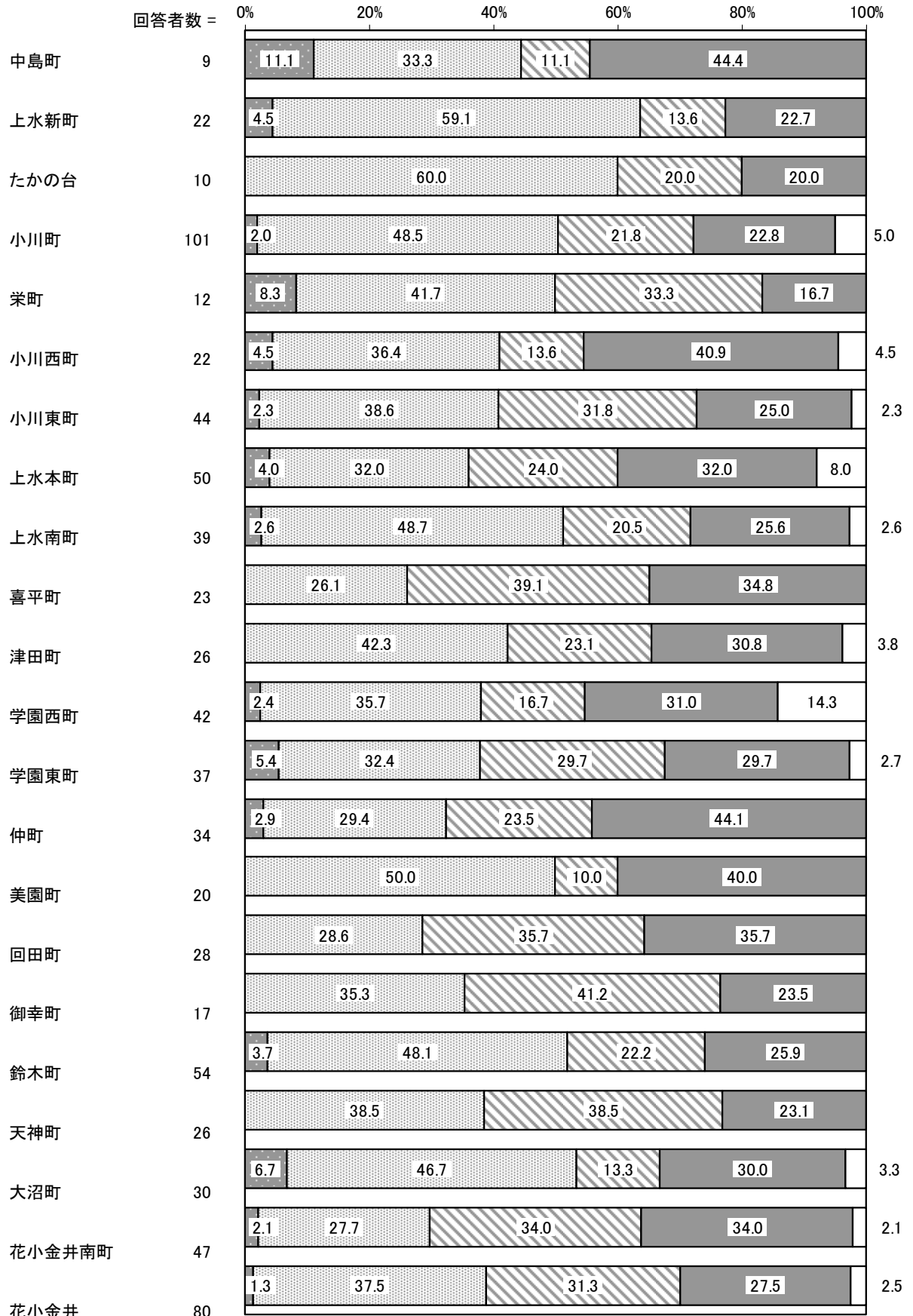
「多くもっている」と「適度にもっている」をあわせた“もっている”の割合が42.2%、「あまりもっていない」と「ほとんどもっていない」をあわせた“もっていない”の割合が54.8%となっています。



【居住区別】

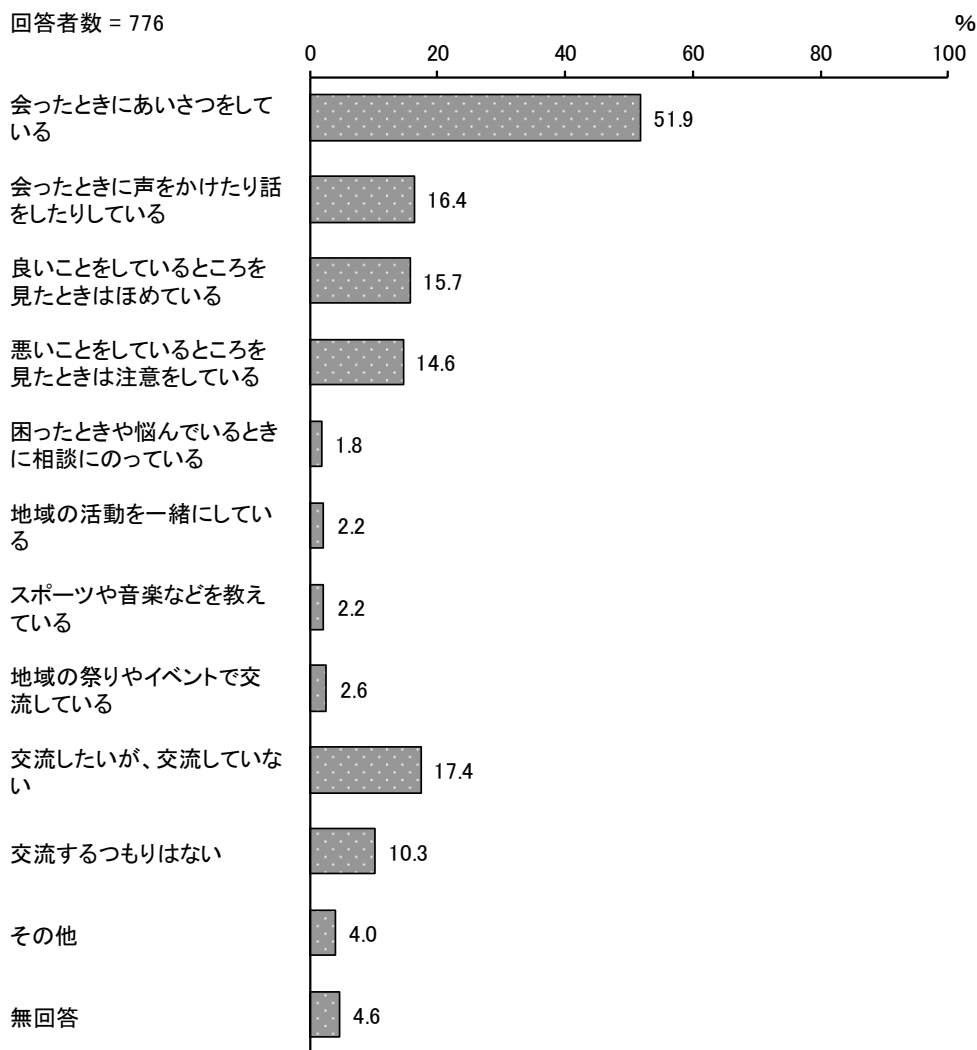
居住区別で見ると、他に比べ、上水新町で“もっている”の割合が、喜平町で“もっていない”の割合が高くなっています。

多くもっている
 適度にもっている
 あまりもっていない
 ほとんどもっていない
 無回答



問 19 普段、あなたは地域の子どもとどのように接していますか。
 (あてはまるすべてに○)

「会ったときにあいさつをしている」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「交流したいが、交流していない」の割合が 17.4%、「会ったときに声をかけたり話をしたりしている」の割合が 16.4%となっています。



【居住区別】

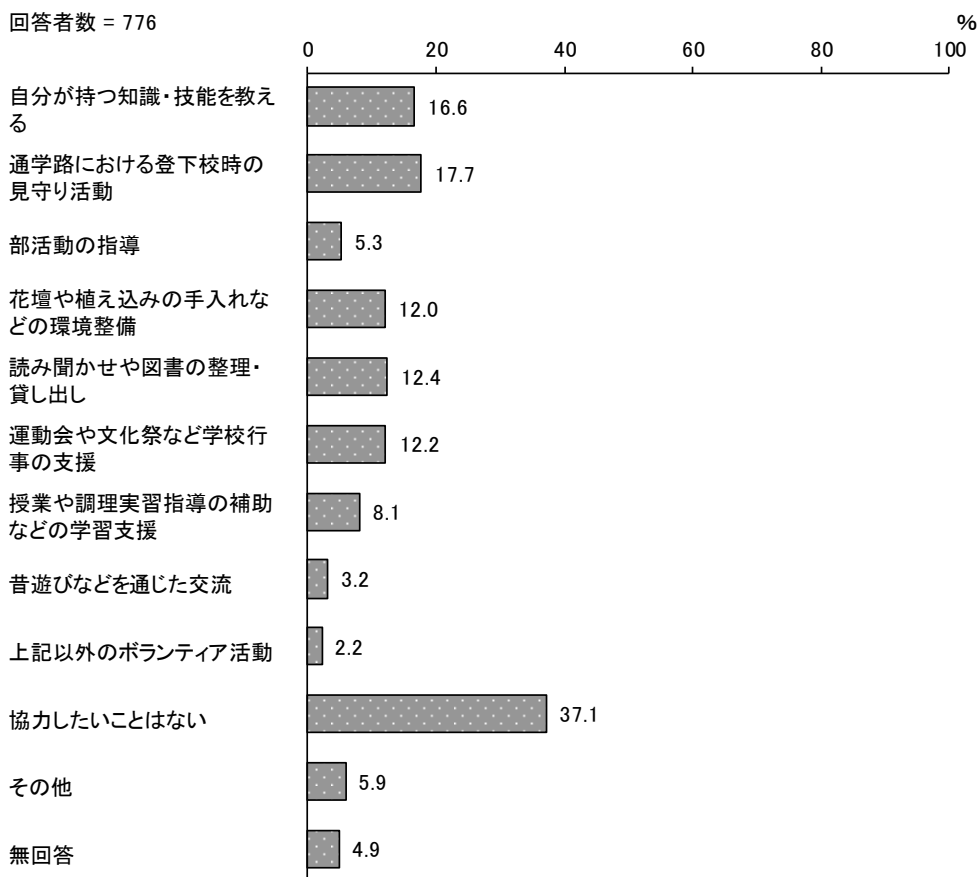
居住区別でみると、他に比べ、上水新町で「会ったときにあいさつをしている」「会ったときに声をかけたり話をしたりしている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	会ったときにあいさつをしている	会ったときに声をかけたり話をしたりしている	見たときはほめている	良いことをしているところを見たときは注意をしている	悪いことをしているところを見たときは注意をしている	困ったときや悩んでいるときに相談にのっている	地域の活動を一緒にしている	スポーツや音楽などを教えている	地域の祭りやイベントで交流している	交流したいが、交流していない	交流するつもりはない	その他	無回答
中島町	9	66.7	22.2	22.2	22.2	—	22.2	—	22.2	—	11.1	11.1	—	
上水新町	22	72.7	36.4	22.7	22.7	—	4.5	4.5	4.5	4.5	9.1	4.5	—	
たかの台	10	70.0	20.0	20.0	10.0	—	—	—	—	20.0	—	—	—	
小川町	101	51.5	16.8	10.9	11.9	2.0	2.0	1.0	2.0	16.8	8.9	5.0	7.9	
栄町	12	50.0	25.0	16.7	—	—	—	—	—	25.0	16.7	8.3	—	
小川西町	22	50.0	18.2	9.1	4.5	9.1	4.5	—	—	18.2	13.6	—	13.6	
小川東町	44	56.8	13.6	11.4	13.6	2.3	2.3	4.5	—	20.5	6.8	—	2.3	
上水本町	50	54.0	20.0	22.0	20.0	—	—	2.0	2.0	14.0	14.0	—	6.0	
上水南町	39	53.8	15.4	15.4	12.8	—	2.6	2.6	2.6	20.5	12.8	2.6	—	
喜平町	23	56.5	8.7	8.7	4.3	4.3	—	8.7	—	8.7	21.7	4.3	4.3	
津田町	26	30.8	15.4	19.2	23.1	—	3.8	3.8	3.8	7.7	19.2	3.8	7.7	
学園西町	42	45.2	16.7	14.3	11.9	—	—	—	2.4	16.7	2.4	4.8	14.3	
学園東町	37	37.8	13.5	13.5	10.8	—	—	—	2.7	27.0	21.6	2.7	2.7	
仲町	34	32.4	8.8	20.6	20.6	2.9	2.9	5.9	2.9	20.6	17.6	5.9	8.8	
美園町	20	45.0	10.0	15.0	25.0	—	—	—	5.0	25.0	5.0	—	5.0	
回田町	28	64.3	21.4	3.6	7.1	—	—	3.6	—	14.3	3.6	10.7	3.6	
御幸町	17	58.8	17.6	17.6	5.9	—	5.9	—	—	17.6	5.9	5.9	—	
鈴木町	54	57.4	13.0	20.4	20.4	5.6	3.7	5.6	3.7	18.5	5.6	5.6	—	
天神町	26	50.0	15.4	15.4	7.7	—	—	—	—	26.9	15.4	—	—	
大沼町	30	56.7	30.0	20.0	13.3	—	—	—	6.7	10.0	10.0	3.3	6.7	
花小金井南町	47	48.9	10.6	12.8	14.9	—	—	2.1	2.1	21.3	10.6	4.3	4.3	
花小金井	80	56.3	15.0	21.3	20.0	5.0	5.0	1.3	3.8	15.0	6.3	6.3	2.5	

問 20- 1 あなたが、今後、地域の学校に対して協力してみたいと思うことは何ですか。（あてはまるすべてに○）

「協力したいことはない」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「通学路における登下校時の見守り活動」の割合が 17.7%、「自分が持つ知識・技能を教える」の割合が 16.6%となっています。



【居住区別】

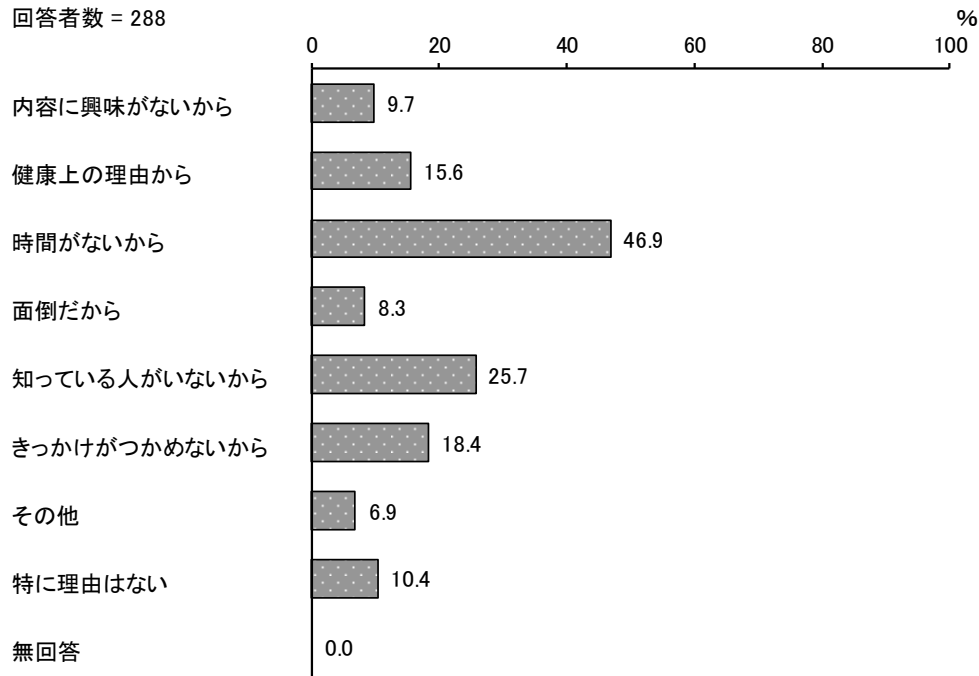
居住区別で見ると、他に比べ、美園町で「協力したいことはない」の割合が、中島町で「読み聞かせや図書の整理・貸し出し」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	自分が持つ知識・技能を教える	通学路における登下校時の見守り活動	部活動の指導	花壇や植え込みの手入れなどの環境整備	読み聞かせや図書の整理・貸し出し	運動会や文化祭など学校行事の支援	授業や調理実習指導の補助などの学習支援	流	昔遊びなどを通じた交流	上記以外のボランティア活動	協力したいことはない	その他	無回答
中島町	9	33.3	11.1	22.2	33.3	44.4	33.3	—	—	—	22.2	—	—	
上水新町	22	27.3	18.2	9.1	27.3	13.6	27.3	18.2	—	—	18.2	13.6	—	
たかの台	10	—	—	—	10.0	30.0	—	20.0	—	—	20.0	30.0	10.0	
小川町	101	12.9	21.8	6.9	14.9	17.8	12.9	6.9	5.0	1.0	34.7	5.0	6.9	
栄町	12	8.3	16.7	16.7	8.3	—	—	—	—	8.3	33.3	16.7	—	
小川西町	22	13.6	9.1	—	9.1	4.5	13.6	9.1	—	—	54.5	4.5	9.1	
小川東町	44	11.4	22.7	4.5	11.4	9.1	18.2	9.1	2.3	2.3	38.6	4.5	2.3	
上水本町	50	16.0	20.0	4.0	14.0	12.0	10.0	8.0	2.0	2.0	38.0	4.0	6.0	
上水南町	39	23.1	15.4	5.1	5.1	2.6	10.3	5.1	7.7	—	43.6	5.1	—	
喜平町	23	13.0	21.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	4.3	8.7	43.5	—	4.3	
津田町	26	11.5	11.5	7.7	11.5	7.7	3.8	3.8	3.8	7.7	46.2	3.8	7.7	
学園西町	42	23.8	7.1	4.8	7.1	14.3	26.2	9.5	4.8	—	28.6	2.4	16.7	
学園東町	37	32.4	16.2	2.7	18.9	5.4	—	8.1	10.8	—	35.1	2.7	5.4	
仲町	34	23.5	8.8	2.9	5.9	14.7	5.9	8.8	2.9	5.9	47.1	8.8	2.9	
美園町	20	10.0	5.0	5.0	5.0	—	—	5.0	—	5.0	65.0	5.0	5.0	
回田町	28	17.9	17.9	3.6	10.7	7.1	7.1	10.7	—	3.6	53.6	—	—	
御幸町	17	11.8	11.8	—	11.8	—	11.8	5.9	5.9	—	41.2	5.9	—	
鈴木町	54	18.5	16.7	3.7	18.5	16.7	13.0	11.1	1.9	3.7	29.6	5.6	3.7	
天神町	26	11.5	19.2	3.8	11.5	11.5	7.7	11.5	3.8	—	46.2	—	3.8	
大沼町	30	16.7	26.7	—	10.0	13.3	13.3	3.3	3.3	—	26.7	10.0	13.3	
花小金井南町	47	12.8	21.3	8.5	6.4	14.9	12.8	4.3	2.1	4.3	40.4	6.4	2.1	
花小金井	80	13.8	23.8	5.0	11.3	17.5	17.5	10.0	1.3	1.3	28.8	10.0	2.5	

問 20- 2 【問 20- 1 で、「10」に○をつけたときに教えてください】「協力したいことはない」理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「時間がないから」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「知っている人がいないから」の割合が 25.7%、「きっかけがつかめないから」の割合が 18.4%となっています。



【居住区別】

居住区別でみると、他に比べ、小川西町で「時間がないから」の割合が高くなっています。

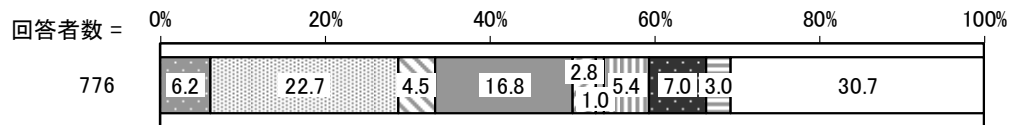
単位：%

区分	回答者数 (件)	内容に 興味がない から	健康上 の理由から	時間 がないから	面倒 だから	知っ ている人 がいない から	きつ かけが つかめ ないから	その他	特に 理由は ない	無 回答
中島町	2	50.0	—	—	—	—	—	50.0	—	—
上水新町	4	—	—	75.0	—	50.0	25.0	25.0	—	—
たかの台	2	—	—	50.0	—	—	50.0	—	—	—
小川町	35	11.4	8.6	42.9	8.6	20.0	22.9	5.7	11.4	—
栄町	4	—	—	25.0	—	25.0	25.0	—	50.0	—
小川西町	12	16.7	16.7	66.7	8.3	41.7	25.0	8.3	—	—
小川東町	17	11.8	17.6	52.9	5.9	17.6	—	—	5.9	—
上水本町	19	5.3	15.8	42.1	5.3	31.6	10.5	5.3	26.3	—
上水南町	17	5.9	11.8	47.1	—	17.6	23.5	5.9	17.6	—
喜平町	10	—	—	40.0	10.0	40.0	30.0	10.0	10.0	—
津田町	12	16.7	33.3	16.7	16.7	25.0	—	16.7	8.3	—
学園西町	12	—	25.0	33.3	8.3	16.7	25.0	16.7	8.3	—
学園東町	13	30.8	15.4	46.2	30.8	15.4	15.4	—	—	—
仲町	16	6.3	6.3	50.0	6.3	37.5	25.0	6.3	12.5	—
美園町	13	15.4	38.5	53.8	15.4	30.8	46.2	—	—	—
回田町	15	20.0	26.7	53.3	—	33.3	20.0	6.7	6.7	—
御幸町	7	—	14.3	28.6	—	—	28.6	—	42.9	—
鈴木町	16	12.5	6.3	43.8	6.3	43.8	12.5	6.3	—	—
天神町	12	8.3	8.3	50.0	—	8.3	8.3	8.3	25.0	—
大沼町	8	—	12.5	50.0	12.5	—	—	12.5	25.0	—
花小金井南町	19	5.3	26.3	52.6	21.1	26.3	10.5	10.5	5.3	—
花小金井	23	4.3	17.4	60.9	4.3	34.8	21.7	4.3	—	—

問 21 あなたは、学校、家庭、地域が連携・協力するためには何が重要だと思いますか。(最もあてはまるもの1つに○)

「それぞれの情報を共有すること」の割合が22.7%と最も高く、次いで「学校・家庭・地域をつなぐ人がいること」の割合が16.8%となっています。

- それぞれの役割分担を明らかにすること
- それぞれの情報を共有すること
- 定期的話し合う場を設けること
- 学校・家庭・地域をつなぐ人がいること
- コミュニティ・スクールを推進すること
- PTA活動を活性化すること
- 地域の人々が子どもの学習支援や子どもたちとの交流を行うこと
- 地域でのイベント等を学校や関係機関等と協力して行うこと
- その他
- 無回答



【居住区別】

居住区別でみると、他に比べ、学園東町で「それぞれの情報を共有すること」の割合が、仲町で「学校・家庭・地域をつなぐ人がいること」の割合が高くなっています。

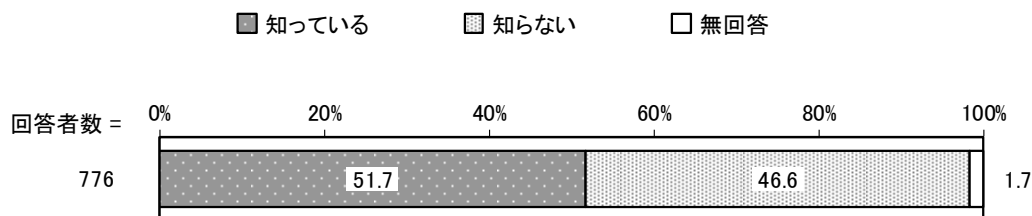
単位：％

区分	回答者数(件)	それぞれの役割分担を明らかにすること	それぞれの情報を共有すること	定期的に話し合う場を設けること	学校・家庭・地域をつなぐ人がいること	コミュニティ・スクールを推進すること	PTA活動を活性化すること	地域の人々が子どもの学習支援や子どもたちとの交流を行うこと	地域でのイベント等を学校や関係機関等と協力して行うこと	その他	無回答
中島町	9	—	22.2	11.1	22.2	—	—	11.1	11.1	11.1	11.1
上水新町	22	9.1	18.2	—	27.3	—	4.5	4.5	—	4.5	31.8
たかの台	10	—	30.0	10.0	10.0	10.0	—	10.0	—	—	30.0
小川町	101	8.9	18.8	5.9	9.9	5.9	—	7.9	3.0	1.0	38.6
栄町	12	8.3	8.3	—	25.0	—	—	—	8.3	8.3	41.7
小川西町	22	—	18.2	4.5	9.1	9.1	—	13.6	9.1	—	36.4
小川東町	44	9.1	20.5	4.5	20.5	—	—	4.5	13.6	—	27.3
上水本町	50	4.0	26.0	2.0	12.0	2.0	4.0	4.0	6.0	2.0	38.0
上水南町	39	7.7	17.9	7.7	30.8	2.6	—	2.6	10.3	5.1	15.4
喜平町	23	13.0	26.1	4.3	21.7	4.3	—	—	13.0	—	17.4
津田町	26	—	26.9	—	15.4	3.8	—	7.7	7.7	—	38.5
学園西町	42	7.1	23.8	4.8	14.3	—	4.8	2.4	7.1	4.8	31.0
学園東町	37	5.4	40.5	5.4	8.1	5.4	—	8.1	5.4	2.7	18.9
仲町	34	2.9	20.6	—	35.3	—	2.9	—	5.9	5.9	26.5
美園町	20	10.0	25.0	5.0	15.0	5.0	—	5.0	5.0	—	30.0
回田町	28	—	25.0	—	21.4	—	—	7.1	7.1	7.1	32.1
御幸町	17	—	29.4	5.9	5.9	—	5.9	11.8	5.9	—	35.3
鈴木町	54	5.6	25.9	1.9	7.4	1.9	—	13.0	5.6	5.6	33.3
天神町	26	7.7	30.8	3.8	15.4	—	3.8	—	3.8	3.8	30.8
大沼町	30	3.3	20.0	6.7	16.7	3.3	—	6.7	10.0	3.3	30.0
花小金井南町	47	6.4	19.1	4.3	14.9	2.1	—	2.1	8.5	6.4	36.2
花小金井	80	8.8	18.8	7.5	23.8	3.8	—	2.5	8.8	1.3	25.0

(5) 小平市の今後の生涯学習（学習活動）のあり方について

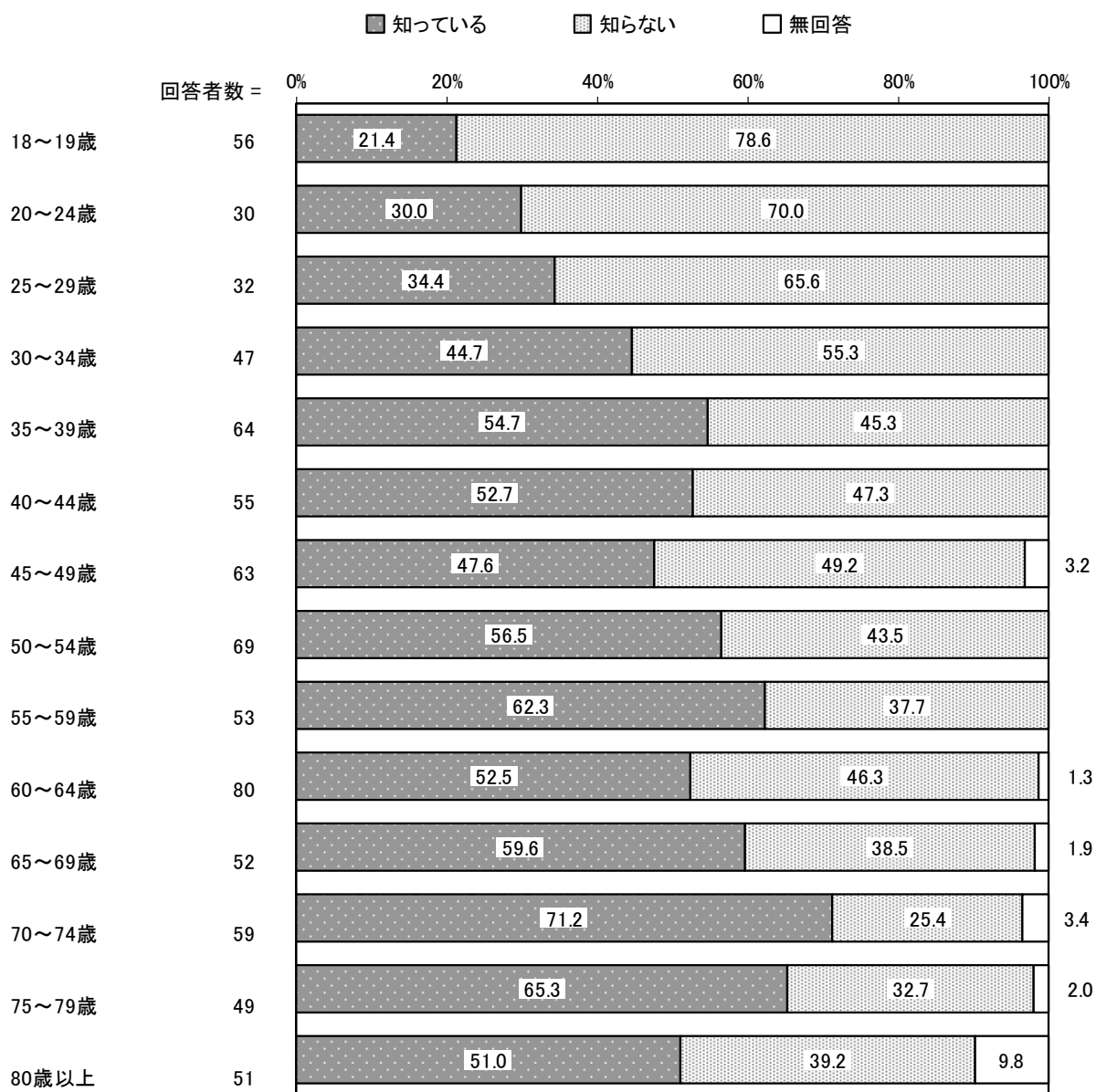
問 22 令和3年3月26日に国史跡に指定された鈴木遺跡を知っていますか。
（1つに○）

「知っている」の割合が51.7%、「知らない」の割合が46.6%となっています。



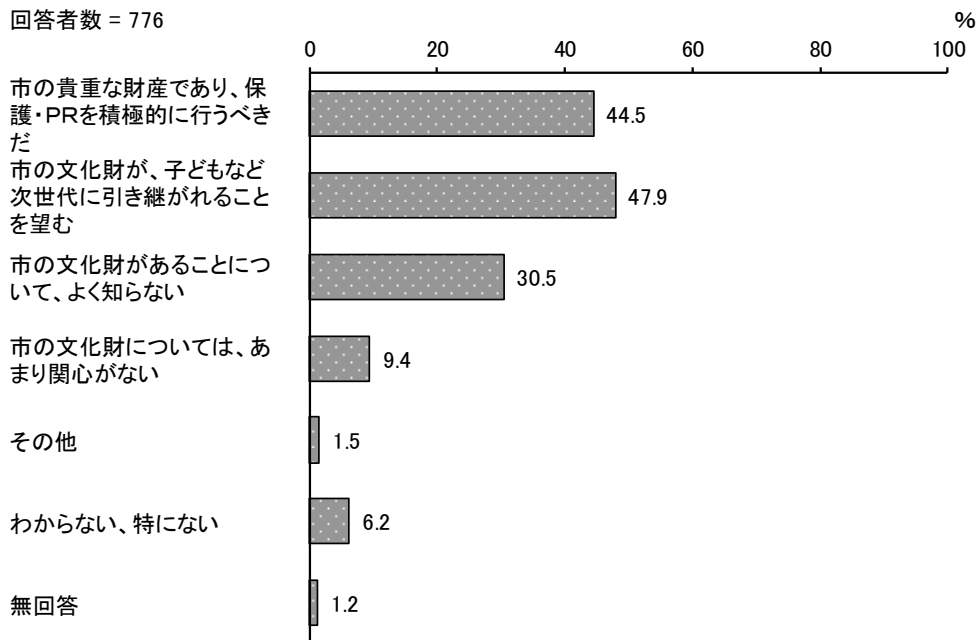
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、18～19歳で「知らない」の割合が、70～74歳で「知っている」の割合が高くなっています。



問 23 小平市の文化財について、どう思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「市の文化財が、子どもなど次世代に引き継がれることを望む」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「市の貴重な財産であり、保護・PRを積極的に行うべきだ」の割合が 44.5%、「市の文化財があることについて、よく知らない」の割合が 30.5%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70～74歳で「市の貴重な財産であり、保護・PRを積極的に行うべきだ」の割合が、25～29歳で「市の文化財があることについて、よく知らない」の割合が高くなっています。また、70～74歳、75～79歳で「市の文化財が、子どもなど次世代に引き継がれることを望む」の割合が高くなっています。

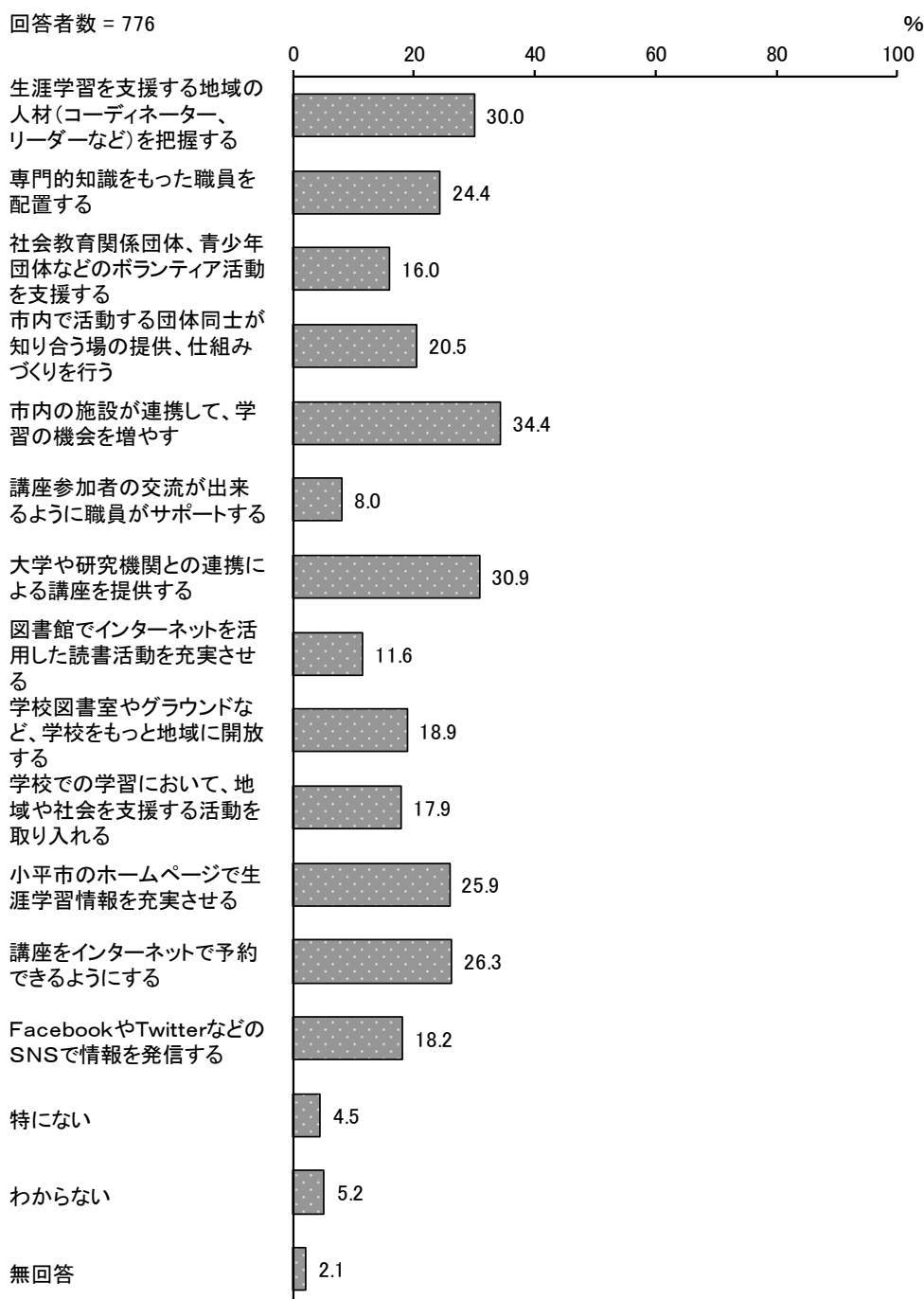
単位：％

区分	回答者数(件)	市の貴重な財産であり、保護・PRを積極的に行うべきだ	市の文化財が、子どもなど次世代に引き継がれることを望む	市の文化財があることについて、よく知らない	市の文化財については、あまり関心がない	その他	わからない、特にない	無回答
18～19歳	56	28.6	19.6	41.1	12.5	—	17.9	—
20～24歳	30	33.3	30.0	30.0	13.3	6.7	10.0	—
25～29歳	32	31.3	18.8	56.3	18.8	—	6.3	3.1
30～34歳	47	29.8	31.9	36.2	23.4	2.1	10.6	—
35～39歳	64	29.7	43.8	29.7	12.5	1.6	4.7	—
40～44歳	55	36.4	38.2	30.9	12.7	1.8	9.1	—
45～49歳	63	36.5	52.4	30.2	6.3	—	6.3	3.2
50～54歳	69	47.8	52.2	24.6	8.7	2.9	2.9	—
55～59歳	53	41.5	52.8	30.2	7.5	1.9	3.8	—
60～64歳	80	51.3	51.3	27.5	7.5	—	3.8	1.3
65～69歳	52	50.0	55.8	25.0	3.8	1.9	5.8	1.9
70～74歳	59	78.0	69.5	18.6	1.7	—	3.4	—
75～79歳	49	55.1	69.4	26.5	4.1	2.0	2.0	4.1
80歳以上	51	58.8	58.8	37.3	7.8	3.9	5.9	2.0

問 24 あなたは、人々の生涯学習（学習活動）をより盛んにしていくために、小平市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「市内の施設が連携して、学習の機会を増やす」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「大学や研究機関との連携による講座を提供する」の割合が 30.9%、「生涯学習を支援する地域の人材（コーディネーター、リーダーなど）を把握する」の割合が 30.0%となっています。

回答者数 = 776



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70～74歳で「市内の施設が連携して、学習の機会を増やす」の割合が、55～59歳で「大学や研究機関との連携による講座を提供する」の割合が、20～24歳で「FacebookやTwitterなどのSNSで情報を発信する」の割合が高くなっています。また、35～39歳、45～49歳で「講座をインターネットで予約できるようにする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	生涯学習を支援する地域の 人材（コーディネーター、リ ーダーなど）を把握する	専門的知識をもった職員を 配置する	社会教育関係団体、青少年 団体などのボランティア活 動を支援する	市内で活動する団体同士が 知り合う場の提供、仕組み づくりを行う	市内の施設が連携して、学 習の機会を増やす	講座参加者の交流が出来る ように職員がサポートする	大学や研究機関との連携に よる講座を提供する	図書館でインターネットを 活用した読書活動を充実さ せる
18～19歳	56	14.3	17.9	8.9	26.8	21.4	3.6	28.6	10.7
20～24歳	30	20.0	36.7	23.3	30.0	20.0	6.7	23.3	26.7
25～29歳	32	18.8	12.5	15.6	18.8	31.3	9.4	28.1	12.5
30～34歳	47	27.7	23.4	17.0	23.4	38.3	4.3	17.0	10.6
35～39歳	64	25.0	34.4	7.8	12.5	32.8	1.6	35.9	9.4
40～44歳	55	29.1	23.6	5.5	18.2	25.5	10.9	32.7	5.5
45～49歳	63	28.6	20.6	15.9	17.5	27.0	3.2	25.4	15.9
50～54歳	69	33.3	20.3	20.3	20.3	43.5	5.8	39.1	13.0
55～59歳	53	30.2	13.2	15.1	18.9	30.2	5.7	49.1	13.2
60～64歳	80	45.0	30.0	13.8	21.3	42.5	11.3	28.8	15.0
65～69歳	52	30.8	7.7	7.7	15.4	34.6	5.8	17.3	5.8
70～74歳	59	28.8	32.2	27.1	30.5	50.8	18.6	42.4	10.2
75～79歳	49	34.7	24.5	24.5	18.4	40.8	8.2	22.4	2.0
80歳以上	51	41.2	37.3	29.4	19.6	33.3	15.7	27.5	17.6

次ページへつづく

単位：%

区分	学校図書室やグラウンドなど、学校をもっと地域に開放する	学校での学習において、地域や社会を支援する活動を取り入れる	小平市のホームページで生涯学習情報を充実させる	講座をインターネットで予約できるようにする	FacebookやTwitterなどのSNSで情報を発信する	特になし	わからない	無回答
18～19 歳	23.2	16.1	8.9	8.9	28.6	5.4	8.9	—
20～24 歳	13.3	13.3	13.3	33.3	43.3	10.0	6.7	—
25～29 歳	6.3	9.4	12.5	34.4	34.4	9.4	3.1	—
30～34 歳	19.1	10.6	19.1	38.3	34.0	10.6	2.1	—
35～39 歳	29.7	25.0	23.4	45.3	32.8	1.6	3.1	—
40～44 歳	27.3	21.8	21.8	32.7	30.9	7.3	5.5	—
45～49 歳	25.4	12.7	33.3	42.9	27.0	1.6	3.2	3.2
50～54 歳	15.9	24.6	30.4	30.4	13.0	4.3	4.3	1.4
55～59 歳	13.2	24.5	34.0	30.2	11.3	5.7	5.7	3.8
60～64 歳	13.8	16.3	37.5	26.3	8.8	2.5	7.5	—
65～69 歳	5.8	13.5	26.9	19.2	7.7	—	11.5	3.8
70～74 歳	20.3	27.1	30.5	13.6	1.7	1.7	1.7	5.1
75～79 歳	22.4	14.3	28.6	4.1	—	6.1	2.0	6.1
80 歳以上	21.6	15.7	21.6	7.8	2.0	3.9	7.8	5.9

自由記述（市民）

有効回答数 776 票中 155 票に回答がありました。

意見要望の多いものを以下に掲載します。（1 票の中に複数の項目にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 155 件より多くなっています）。

項目	件数
学校教育について	
教員の多忙化の解消	8
学力以外の教育に力を入れて欲しい	8
教員の指導・育成、支援が必要である	10
特色ある学校・教育を推進してほしい	5
学力向上に力を入れてほしい	5
オンライン授業、ICTを活用してほしい	4
その他（教育行政）	13
市への要望	
情報が欲しい	10
その他（市への要望）	3
子どもに身に付けさせたい力について	
規範意識、マナー・ルールを守ることが必要である	5
公共施設の整備・利用について	
公共施設の設備・利用の充実	11
図書館の充実	6
学校設備の修繕	6
子どもの居場所の充実	3
遊び場を確保してほしい	2
子どもたちへの対応について	
いじめ・不登校対策をしっかりと行ってほしい	12
困っている家庭の支援（ネグレクトなど）を行う	6
生涯学習について	13
感染症について	6
家庭・地域との連携について	15
保護者と教員の連携（PTA 等）について	4
学校間の差をなくして欲しい	4
特別支援教育について	3
安全・安心に関することについて	3
現状への感謝など	2
調査について	8
その他	28
総数	203

Ⅲ 調査結果のまとめ

1 子どもの現状について

①学習に関すること

【小・中学生調査】

- ・ (問 13-2) 塾(家庭教師を含む)や通信教材、またインターネットで授業を受けるのはどうしてかについて、他に比べ、中学校1年生、中学校3年生で「学校の授業だけでは足りないから」の割合が、中学校3年生で「受験のため」の割合が高くなっています。
- ・ (問 14) 家でパソコンやタブレットなどを使って自分で学習をしているかについて、学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で「学習アプリを使って勉強する」の割合が、中学校3年生で「使っていない」の割合が高くなっており、小・中学生全体で見ても「使っていない」の割合が60%程度と高くなっています。
- ・ (問 21-1) 学校の授業がわかるかについて、平成28年度調査と比べると、大きな差異がみられませんが、その中でも、算数・数学については、中学生3年生で「よくわかる」の割合が、大きく増加しています。
- ・ (問 25) 学校に対して望むこととして、他に比べ、中学校1年生と中学校3年生で「わかりやすい授業をしてほしい」の割合が高くなっています。

【小・中学生の保護者調査】

- ・ (問 18) 小平市の学校教育で特に力を入れる必要があると思うことは、「学力向上策」の割合が40.3%と最も高くなっています。平成28年度調査と比較すると、「情報化や国際化、キャリア教育などを取り入れた特色ある教育」の割合が増加しています。

【5歳児童の保護者調査】

- ・ (問 4) お子さんに学校で身に付けてほしいと望むことは、「基礎的な学力」の割合が80.9%と最も高く、次いで「自分の考えを相手に伝える力」の割合が77.9%となっています。

【教員調査】

- ・ (問 7) 「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、『単元や授業の目標を明確にして、児童・生徒に見通しを持たせる』で「できている」と「どちらかというときている」をあわせた“できている”の割合が高くなっています。一方、『評価基準を具体化し、指導との一体化を図っている』『それぞれの教科等における「見方・考え方」を働かせて学習に取り組ませている』『多面的・多角的なものの見方に気付かせる工夫をしている』で「どちらかというときていない」と「できている」をあわせた“できている”の割合が高くなっています。
- ・ (問 9) どの程度できていると思うかについて、『熱意を持って取り組む』『子どもに愛情を持って接する』『倫理観・教員としての自覚を持って職務にあたる』で「できている」と「どちらかというときている」をあわせた“できている”の割合が高くなっています。

一方、『十分な授業準備をする』『ICT機器を活用した教育』で「どちらかというときできていない」と「できていない」をあわせた“できていない”の割合が高くなっています。

②体の育成に関すること

【小・中学生調査】

- ・（問6）学校に行く前に朝ご飯を食べるかについて、平成28年度調査と比較すると、小学校3年生で「毎日食べる」の割合が増加しています。一方、小学校6年生、中学校1年生で「毎日食べる」の割合が減少しています。
- ・（問15）学校の授業以外で運動するかについて、他に比べ、小学校3年生、中学校1年生で「毎日運動する」と「よく運動する」をあわせた“運動する”の割合が、中学校3年生で「あまり運動しない」と「ほとんど運動しない」をあわせた“運動しない”の割合が高くなっています。平成28年度調査と比較すると、小学校3年生、小学校6年生、中学校1年生で“運動する”の割合が減少しています。

【小・中学生の保護者調査】

- ・（問18）小平市の学校教育で特に力を入れる必要があると思うことについて、平成28年度調査と比較すると、「体力向上策」の割合が増加しています。

③心の育成に関すること

【小・中学生調査】

- ・（問26-1）小・中学生調査では、あなたが悩んでいることや、不安に思っていることは、他に比べ、中学校3年生で「学習のこと」「将来のこと」の割合が、小学校3年生で「悩みや不安はない」の割合が高くなっています。平成28年度調査と比較すると、小学校3年生で「悩みや不安はない」の割合が増加しています。一方、中学校3年生では「将来のこと」「悩みや不安はない」の割合が増加しています。
- ・（問27）自分についてどう思うかについて、『自分の意見を言える』については、平成28年度調査と比較すると、小学校3年生、中学校3年生で「そう思う」と「まあそう思う」をあわせた“思う”の割合が減少しています。一方、『努力している』については、小学校6年生、中学校1年生で“思う”の割合が減少しており、『我慢強い』については、中学校1年生、中学校3年生で“思う”の割合が減少しています。また、『自分を大切な存在だと思ふ』については、大きな差異はみられないものの、小学校3年生で“思う”の割合が、中学校3年生で“思わない”が高くなっています。
- ・（問28）小・中学生調査では、どんな人になりたいかについて、他に比べ、小学校3年生で「勉強ができる」「運動・スポーツができる」「友だちがたくさんいる」の割合が、中学校3年生で「自分の意見がはっきり言える」「最後まであきらめずに取り組むことができる（困難なことにもくじけない）」の割合が高くなっています。平成28年度調査と比較すると、すべての学年で「最後まであきらめずに取り組むことができる（困難なことにもくじけない）」の割合が増加しています。一方、すべての学年で「運動・スポーツができる」の

割合が減少しています。また、「ルールや決まりを守ることができる」の割合が中学3年生を除いた小・中学生で減少しています。

【小・中学生の保護者調査】

- ・（問 20）特別支援教育の充実のためにどのような取組が必要だと思うかについて、「一人一人の教育的ニーズに合った教育の場と機会の確保」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「障がいに対する理解を深めるための学習の充実」の割合が 39.6%、「子どもの実態に応じた相談体制の充実」の割合が 32.5%となっています。

【5歳児童の保護者調査】

- ・（問 4）お子さんに学校で身に付けてほしいと望むことは、平成 28 年度調査と比較すると、「自分を大切に作る心」の割合が増加しています。
- ・（問 5-1）お子さんが小学校に入学した後に、心配なことは、「友だちとの関係」の割合が 67.4%と最も高く、平成 28 年度調査と比較すると、「授業時間（授業を聞いていられるか）」の割合が増加しています。
- ・（問 5-2）心配でない理由は、「(お子さんの) 兄や姉が小学校に通っている・通っていたから」の割合が 67.4%と最も高く、次いで「子どもに十分な適応力があると思うから」の割合が 60.5%となっています。
- ・（問 7）小平市の学校教育で特に力を入れる必要があると思うことは、「いじめ・不登校対策」の割合が 46.2%と最も高くなっています。

【市民調査】

- ・（問 15）小平市の子どもに、どのような人になってほしいと思うかについて、「思いやりがある」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「自ら学び、考え、主体的に行動する力がある」の割合が 38.4%、「他人を認められる」の割合が 23.2%となっています。

2 学校・教員のあり方及び教育環境について

【小・中学生調査】

- ・（問 23）担任の先生についてどう思いますかについて、平成 28 年度調査と比べると、大きな差異がみられないものの、『相談に乗ってくれる』、『みんなに平等に接してくれる』は、中学校3年生で“思う”の割合が増加しています。

【小・中学生の保護者調査】

- ・（問 14）学校の先生について、何を重視するかについて、「授業力」「子どもへの愛情」「子どもを理解する力」「コミュニケーション能力」で「重視する」と「どちらかという重視する」をあわせた“重視する”の割合が高くなっています。
- ・（問 16）学校に対してどのようなことを望むかについて、「教育に対する責任感や子どもに対する愛情を持って接すること」の割合が 62.6%と最も高く、次いで「教職員がわかりやすい授業を工夫すること」の割合が 41.0%、「子どもに公平に接すること」の割合が 37.5%となっています。

- ・ (問 17) 学校の教育環境について、特に充実・改善してほしいものは、「主体的に学ぶための学習空間」の割合が 44.6%と最も高く、次いで「防災・防犯に優れた施設の整備」の割合が 43.2%、「ICT 機器を活用した教育を推進するための施設整備や情報機器の充実」の割合が 41.9%となっています。

【5歳児童の保護者調査】

- ・ (問 6) 学校に対してどのようなことを望むかについて、「教育に対する責任感や子どもに対する愛情を持って接すること」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「子どもに公平に接すること」の割合が 36.8%、「自尊心やコミュニケーション能力を高めるような支援を行うこと」の割合が 31.7%となっています。

【小・中学校の教員調査】

- ・ (問 6) 子どもたちや保護者が学校に対してどのようなことを望んでいると思うかについて、「教育に対する責任感や子どもに対する愛情を持って接すること」の割合が 69.8%と最も高く、次いで「教職員がわかりやすい授業を工夫すること」の割合が 67.5%、「子どもや保護者の相談に快く応じてくれること」の割合が 39.2%となっています。経験年数別でみると、他に比べ、教員経験 0～4 年で「生活習慣や社会規範の手本となり、指導すること」の割合が、教員経験 5～9 年で「教育に対する責任感や子どもに対する愛情を持って接すること」の割合が高くなっています。また、教員経験 20 年以上で「子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること」の割合が高くなっています。
- ・ (問 10) 教職員が授業以外で行っている指導などで、優先すべきものは何だと思うかについて、「校内での児童・生徒の安全確保に関する指導」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「基本的な生活習慣を確立するための指導」の割合が 49.2%、「礼儀やマナー等のしつけに関する指導」の割合が 45.1%となっています。
- ・ (問 13-2) 多忙感を解消するために有効だと思うことは、「調査や事務関係の提出書類の軽減」の割合が 66.1%と最も高く、次いで「校務分掌の見直しなど校務の効率化」の割合が 56.5%、「会議の効率化(回数を減らす、時間を短縮するなど)」の割合が 39.1%となっています。平成 28 年度調査と比較すると、「校務分掌の見直しなど校務の効率化」「ICT などを活用した業務の効率化」「苦情や要望のスムーズな処理」「会議の効率化(回数を減らす、時間を短縮するなど)」の割合が増加しています。
- ・ (問 14-1) 職務上、どのような悩みを持っているかについて、「児童・生徒への対応」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「保護者への対応」の割合が 34.3%、「授業」の割合が 32.3%となっています。平成 28 年度調査と比較すると、「職場の人間関係」の割合が増加しています。
- ・ (問 15) 学校では、問題や課題に対して、組織的な対応を行っていると思うかについて、「行っている」と「ある程度行っている」をあわせた“行っている”の割合が 84.5%、「あまり行っていない」と「行っていない」をあわせた“行っていない”の割合が 11.6%、「わからない」の割合が 2.9%となっています。平成 28 年度調査と比較すると、“行っている”の割合が減少しています。
- ・ (問 20) 学校では、教員としての資質向上のための OJT が十分行われているかについて、「十分行われている」と「ある程度行われている」をあわせた“行われている”の割合が

80.3%となっています。平成28年度調査と比較すると、“行われている”の割合が減少しています。

- ・ (問25) 地域に協力してほしいことは何ですかについて、「登下校の見守り・声かけ」の割合が78.8%と最も高く、次いで「行事などの手伝い」の割合が60.8%、「地域の伝統や文化、遊びの伝承」の割合が48.8%となっています。平成28年度調査と比較すると、「授業の指導や内容面でのサポート」「行事などの手伝い」「登下校の見守り・声かけ」「花壇やグラウンド整備など」「地域の伝統や文化、遊びの伝承」の割合が増加しています。

3 家庭・学校・地域のかかわり

【小・中学生調査】

- ・ (問12-1) 携帯電話やスマートフォンを所持している中で、使用するときのルールを家族と決めているかについて、他に比べ、中学校3年生で「決めていない」の割合が高くなっています。また、携帯電話やスマートフォンを使用するときのルールを守れているかについて、他に比べ、小学校3年生で「守ることができている」の割合が、中学校3年生で「守ることができないときがある」の割合が高くなっています。
- ・ (問30) 小・中学生調査では、ふだん、あなたは地域の人たちとどのように接しているかについて、学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で「会ったときに声をかけたり話をしたりする」「こまったときやなやんでいるときに相談にのってもらう」「スポーツや音楽などをおしえてもらう」の割合が、中学校3年生で「交流するつもりはない」の割合が高くなっています。

【小・中学生の保護者調査】

- ・ (問21) 小平市において、「地域に開かれた学校づくり」に向け、どのような取組が必要だと思うかについて、「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」の割合が50.0%と最も高く、次いで「学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する」の割合が38.4%、「地域の施設などを利用した校外学習を進める」の割合が37.8%となっています。
- ・ (問24) 普段、あなたは地域の子供とどのように接しているかについて、「会ったときにあいさつをしている」の割合が80.7%と最も高く、次いで「会ったときに声をかけたり話をしたりしている」の割合が36.1%、「悪いことをしているところを見たときは注意をしている」の割合が21.6%となっています。
- ・ (問25) 学校の教育活動や地域活動について、あなたが地域の方に協力してほしいことは、「登下校の見守り・声かけ」の割合が70.5%と最も高く、次いで「地域の伝統や文化、遊びの伝承」の割合が31.6%、「あいさつや行儀、礼儀作法のしつけ」の割合が21.6%となっています。
- ・ (問26-1) 家庭教育で重視していることは、「あいさつや行儀、礼儀作法」の割合が76.1%と最も高く、次いで「規則正しい生活習慣」の割合が74.5%、「健康管理」の割合が67.3%となっています。
- ・ (問27-2) 悩みや不安を誰に相談するかについて、「家族」の割合が77.2%と最も高く、

次いで「子どもと同じ学校の保護者」の割合が40.6%、と高く、また、「自分で解決する」の割合が9.8%となっています。

4 生涯学習に関すること

【小・中学校の教員調査】

- ・ (問 25) 地域に協力してほしいことは何ですかについて、「登下校の見守り・声かけ」の割合が78.8%と最も高く、次いで「行事などの手伝い」の割合が60.8%、「地域の伝統や文化、遊びの伝承」の割合が48.8%となっています。平成28年度調査と比較すると、「授業の指導や内容面でのサポート」「行事などの手伝い」「登下校の見守り・声かけ」「花壇やグラウンド整備など」「地域の伝統や文化、遊びの伝承」の割合が増加しています。

【市民調査】

- ・ (問 6) 「生涯学習(学習活動)」ということばから、どのようなイメージを持つかについて、「趣味や教養を高めること」の割合が69.5%と最も高く、次いで「生活を楽しむ、心を豊かにすること」の割合が60.4%、「生きがいを充実させること」の割合が53.0%となっています。
- ・ (問 7) 生涯学習の必要性を感じるかについて、「強く感じる」と「どちらかといえば感じる」をあわせた“感じる”の割合が93.3%と高く、一方「あまり感じない」と「全く感じない」をあわせた“感じない”の割合が4.3%となっています。
- ・ (問 8-1) この1年間に、生涯学習(学習活動)を行ったかについて、「行った」の割合が66.9%、「行わなかった」の割合が30.7%となっています。平成28年度調査と比較すると、「行った」の割合が増加しています。
- ・ (問 8-3) 何のために生涯学習(学習活動)をしているかについて、「その学習が好きであったり、人生を豊かにするため」の割合が59.5%と最も高く、次いで「現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため」の割合が36.8%、「健康の維持・増進のため」の割合が33.3%となっています。
- ・ (問 8-4) 生涯学習(学習活動)で得た知識・技能・経験をどのように生かしているかについて、「自分の人生を豊かに」の割合が57.4%と最も高く、次いで「さらなる知識・技能の向上」の割合が45.9%、「生活の潤いや生きがいがづくり」の割合が44.9%となっています。平成28年度調査と比較すると、「資格の取得」「生活の潤いや生きがいがづくり」「さらなる知識・技能の向上」「自分の人生を豊かに」「自分の健康の維持・増進」の割合が増加しています。
- ・ (問 9) 今後学習してみたいと思う分野は何ですかについては、「趣味的なもの(音楽・美術・華道・舞踊・書道・レクリエーション活動など)」の割合が56.3%と最も高く、次いで「健康・スポーツ(健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など)」の割合が49.2%、「教養的なもの(文学・歴史・科学・語学など)」の割合が39.7%となっています。
- ・ (問 10) どのような条件が整えば、生涯学習(学習活動)を行うかについて、「気軽に参加できる、気に入った教室やイベントが開催されれば」の割合が59.1%と最も高く、次いで「休暇(自由時間)が増加すれば」の割合が33.9%、「図書館や公民館、スポーツ施設

が身近にあれば」の割合が 33.5%となっています。

- ・ (問 11) 生涯学習(学習活動)についての情報をどのような手段で得ているかについて、「市報」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「インターネット(小平市のホームページ以外)」の割合が 42.9%、「友人・知人」の割合が 27.8%となっています。
- ・ (問 13) 図書館の利用状況について、「利用していない」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「年に数回利用する」の割合が 30.2%、「月に 1～3 回利用する」の割合が 15.1%となっています。
- ・ (問 14) 運動する頻度については、「していない」の割合が 29.4%と最も高く、次いで「週に 2～3 日」の割合が 22.6%、「週に 1 日」の割合が 14.3%となっています。平成 28 年度調査と比較すると、「週に 4 日以上」「週に 2～3 日」の割合が増加しており、一方、「していない」の割合が減少しています。
- ・ (問 22) 令和 3 年 3 月 26 日に国史跡に指定された鈴木遺跡を知っているかについて、「知っている」の割合が 51.7%、「知らない」の割合が 46.6%となっています。
- ・ (問 23) 小平市の文化財について、「市の文化財が、子どもなど次世代に引き継がれることを望む」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「市の貴重な財産であり、保護・PR を積極的に行うべきだ」の割合が 44.5%、「市の文化財があることについて、よく知らない」の割合が 30.5%となっています。
- ・ (問 24) 人々の生涯学習(学習活動)をより盛んにしていくために、小平市はどのようなことに力を入れるべきだと思うかについて、「市内の施設が連携して、学習の機会を増やす」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「大学や研究機関との連携による講座を提供する」の割合が 30.9%、「生涯学習を支援する地域の人材(コーディネーター、リーダーなど)を把握する」の割合が 30.0%となっています。

アンケート調査票

小平市の教育に関するアンケート調査

【おねがい】
 1 それぞれのしつ問では、あてはまる番号に○をつけてください。○をつける数は、しつ問のよきに書いてあります。
 2 お名前は書かないでください。

1 あなたと家庭について

問1 あなたの学校を教えてください。(1つに○)

- 1. 小平第一小学校
- 2. 小平第二小学校
- 3. 小平第三小学校
- 4. 小平第四小学校
- 5. 小平第五小学校
- 6. 小平第六小学校
- 7. 小平第七小学校
- 8. 小平第八小学校
- 9. 小平第九小学校
- 10. 小平第十小学校
- 11. 小平第十一小学校
- 12. 小平第十二小学校
- 13. 小平第十三小学校
- 14. 小平第十四小学校
- 15. 小平第十五小学校
- 16. 花小金井小学校
- 17. 鈴木小学校
- 18. 学園東小学校
- 19. 上宿小学校

問2 【答えられる方のみお答えください】あなたは、だれといっしょに住んでいますか。
 (あてはまるものすべてに○)

- 1. 父親
- 2. 母親
- 3. 兄弟姉妹
- 4. 祖父
- 5. 祖母
- 6. その他()

問3 親や祖父、祖母、兄弟姉妹などの身の回りのお世話や買い物、料理・そうじ・せんたくなどを大人に代わって行っていますか。(1つに○)

- 1. 大人が行う部分をいつもやっている
- 2. お手伝いをしている
- 3. していない

問4-1 あなたは、いつも何時ごろにおきていますか。平日と休日におきるじかんを、午前か午後に○をして書いてください。

平日 / 休日

午前 / 午後

午前 / 午後

時ごろ

問4-2 あなたは、いつも何時ごろにねていますか。平日と休日とにねるじかんを、午前か午後に○をして書いてください。

平日 / 休日

午前 / 午後

午前 / 午後

時ごろ

問5 学校に行く前に朝ごはんを食べますか。(1つに○)

- 1. 毎日食べる
- 2. ほとんど毎日食べる
- 3. 週に2～3回食べる
- 4. ほとんど食べない

問6 ひどりで夕ごはんを食べることがありますか。(1つに○)

- 1. (ひとりで食べるものが)毎日である
- 2. (ひとりで食べるものが)よくある
- 3. (ひとりで食べることは)あまりない
- 4. (ひとりで食べることは)ほとんどない

問7-1 あなたは、家にいると楽しいことが多いですか。それとも楽しくないことが多いですか。(1つに○)

- 1. 楽しいことが多い
- 2. 楽しくないことが多い
- 3. どちらともいえない
- 4. わからない

問7-2 上のしつ問のように答えたのは、どうしてですか。

(答えづらい場合は、問8に進んでください。)

問8 学校であったことや友だちのことなどを家族に話しますか。(1つに○)

- 1. 毎日話す
- 2. よく話す
- 3. あまり話さない
- 4. ほとんど話さない

問9 家族についてどう思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	思わない
よく話を聞いてくれる	1	2	3	4
いっしょに出かけたり遊んだりしてくれる	1	2	3	4
こまったときに助けてくれる	1	2	3	4
自分のことをわかってくれる	1	2	3	4
家族は自分を大切にしてくれる	1	2	3	4

問 12-1 学校がいじゆく(家庭きようしをふくむ)やつうしんきようざい、またインターネットなどでじゆきようを受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. じゆく(家庭きようしを含む)→問 12-2へ
2. インターネットでの動画のじゆきよう→問 12-2へ
3. つうしんきようざい→問 12-2へ
4. 受けていない→問 13へ

→問 12-2 【問 12-1で、「1」～「3」に○をつけたときに答えてください】

学校がいじゆく(家庭きようしをふくむ)やつうしんきようざい、またインターネットなどでじゆきようを受けるのはどうですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分がかつと勉強したいから
2. 学校のじゆきようだけでは足りないから
3. まわりの子も通っているから
4. いかないよ、いった方がいから
5. 家族に勉強をみてもらえないから
6. じゆけんのため
7. その他()
8. わからない

2 パソコンやタブレットなどを利用した学習について

問 13 あなたは、家でパソコンやタブレットなどを使って自分で学習をしていますか。(1つに○)

1. 学習アプリを使って勉強する
2. インターネットのじゆきよう(学校のぞく)へさんかする
3. インターネットを使って先生と会話する
4. その他()
5. 使っていない

3 ふだんの生活について

問 14 学校のじゆきようがいじゆく(運動)※しますか。(1つに○)

※習い事(スポーツクラブなど)、友だちとの遊びも入ります。

1. 毎日運動する
2. よく運動する
3. あまり運動しない
4. ほとんど運動しない

問 15 ほかかごや休みの日に友だちと遊びますか。(1つに○)

1. 毎日遊ぶ
2. よく遊ぶ
3. あまり遊ばない
4. ほとんど遊ばない

問 16 ふだん、好きなことをしたり、ゆつくり過ごしたりする時間がありますか。(1つに○)

1. たくさんある
2. まあまあある
3. あまりない
4. ほとんどない

問 10 あなたは、家族の人と、安全のためにどのようなことを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 出かけるときはどこへだれと行くのか話をする
2. 夜おそい時間に外に出ない
3. はんざいやじけんのニュースの話をする
4. 一人で行動しないようにする
5. 友だちと登校・下校するようになっている
6. ふしんじやじようほうなど、はんざいやじけんのじようほうをあつめる
7. ちいきや近所の人となかよくなり、あいさつをする
8. ぼうはんブザーをもつ
9. こども110番のいえの場所をかくにんしている
10. その他()
11. 何もしていない
12. わからない

問 11-1 けいたい電話やスマートフォンを使っていますか。(1つに○)

1. 使っている →問 11-2へ
2. 使っていない →問 12-1へ

→問 11-2 【問 11-1で、「1」に○をつけたときに答えてください】

けいたい電話やスマートフォンをつかっているあてはまることがあるのはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 使っていないと友だちと話が合わないと言われたり、なかまはずれにされたりした →問 11-3へ
2. 友だちとトラブルになったことがある →問 11-3へ
3. (使い方で)家族に注意されたりかられたりした →問 11-3へ
4. 勉強など、やらなければいけないことがあるときにも使いつづけてしまった →問 11-3へ
5. その他() →問 11-3へ
6. とくにない →問 11-3へ

→問 11-3 【問 11-1で、「1」に○をつけたときに答えてください】

あなたは、けいたい電話やスマートフォンを使うときのルールを家族と決めていますか。(1つに○)

1. 決めている →問 11-4へ
2. 決めていない →問 12-1へ

→問 11-4 【問 11-3で、「1」に○をつけたときに答えてください】

あなたは、けいたい電話やスマートフォンを使うときのルールを守っていますか。(1つに○)

1. 守ることができている
2. 守ることができないときがある
3. 守ることができない

問 17 学校いがいで本※を読みますか。(1つに○)

※教科書、さんこう書、マンガ、ざっしは入ります。

- 1. 毎日読む
- 2. よく読む
- 3. あまり読まない
- 4. ほとんど読まない

問 18 学校のじゆぎよう時間いがいに1日にどれくらい学習※しますか。(1つに○)

※宿題、じゆく、家庭きようしに教わっている時間も入ります。

- 1. 3時間より多い
- 2. 2時間より多く3時間より少ない
- 3. 1時間より多く2時間より少ない
- 4. 30分より多く1時間より少ない
- 5. ほとんどしない

4 学校生活について

問 19 学校生活について、どのように感じていますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

こころもく 項目	まんぞくど			
	まんぞく	ややまんぞく	ややまんぞく	まんぞく
じゆぎよう	1	2	3	4
休み時間	1	2	3	4
ちやうしょく 給食	1	2	3	4
うんどうかい 運動会などのイベント	1	2	3	4
たんごんの先生とのかんげい	1	2	3	4
友だちとのかんげい	1	2	3	4
クラスのように	1	2	3	4
学校や教室のきれいさ	1	2	3	4

問 20-1 学校のじゆぎようがわかりますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

教科	りかいど			
	よくわかる	どちらかといえはわかる	半分くらいわかる	ほとんどわからない
国語	1	2	3	4
社会	1	2	3	4
算数	1	2	3	4
理科	1	2	3	4
まんざいてき 全体的に	1	2	3	4

問 20-2 【問 20-1で、1つでも「どちらかといえはわからない」、「ほとんどわからない」に○があったら答えてください】

じゆぎようがわからない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. じゆぎようのすみ方がはやいから	2. じゆぎようがむずかしいから
3. 先生のせつめいがわかりにくいから	4. 宿題をしていないから
5. 家で勉強をしていないから	6. 勉強がにがてだから
7. 前の学年で学習したことがわかっていないから	8. その他()
9. 理由はない	

問 21 たんにんの先生についてどう思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	思わない
いっしょうけんめいである	1	2	3	4
そうだんの 相談に乗ってくれる	1	2	3	4
みんなに同じように話しかけてくれる	1	2	3	4
自分のことをわかってくれる	1	2	3	4

問 22 学校の友だちについてどう思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	思わない
よく話を聞いてくれる	1	2	3	4
いっしょに出かけたり遊んだりしてくれる	1	2	3	4
こまったときには助けてくれる	1	2	3	4
自分のことをわかってくれる	1	2	3	4
友だちは自分を大切にしてくれる	1	2	3	4

問 23 あなたは、学校にどのようなことをしてほしいですか。(おもなもの3つまで○)

1. やってはいけないことを、しっかり注意してほしい
2. わかりやすいじゆぎょうをしてほしい
3. モラルやマナーについて、手本となつてほしい
4. ゆめやもくひょうをもつための手つだいをし、それらをかええるためにたすけてほしい
5. なやみや意見をじっくり聞いてほしい
6. じゆぎょうをくわしく教えてほしい
7. みんなに公平にかかわってほしい
8. さいしんのじゆぎょうをしてほしい
9. けんこうな生活のすこし方を教えてほしい
10. わからない
11. その他()

5 あなたが考えていることについて

問 24-1 あなたがなやんでいることや、ふあんに思っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族のこと→問 24-2へ
2. 友だちのこと→問 24-2へ
3. 学校のこと→問 24-2へ
4. 学習のこと→問 24-2へ
5. じゆくや習い事のこと→問 24-2へ
6. しょうらいのこと→問 24-2へ
7. けんこうや体のこと→問 24-2へ
8. その他()→問 24-2へ
9. なやみやふあんはない→問 25へ

→問 24-2 【問 24-1 で、「1」～「8」に○をつけたときに答えてください】

あなたはなやみやふあんがあるとき、だれに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 親→問 24-3へ
2. 兄弟姉妹→問 24-3へ
3. 祖父や祖母、いとこなど→問 24-3へ
4. 友だち→問 24-3へ
5. 上級生・下級生→問 24-3へ
6. 学校の先生→問 24-3へ
7. 近所の人→問 24-3へ
8. じゆくや習い事ことの先生→問 24-3へ
9. 学校のスクールカウンセラー→問 24-3へ
10. 電話相談→問 24-3へ
11. インターネットやSNS(LINEなど)→問 24-3へ
12. 自分でかいつつする→問 24-3へ
13. その他()→問 24-3へ
14. 相談できる人がいない→問 24-3へ

→問 24-3 【問 24-1 で、「1」～「8」に○をつけたときに答えてください】

自分のなやみやみを相談するほうほうとして、一番よいと思うのは何ですか。(1つに○)

1. ちよくせつ会
2. 電話
3. けいたい電話・スマートフォンやパソコンのメール
4. インターネットやSNS(LINEなど)
5. その他()

問 25 自分についてどう思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	思わない
よいところやとくいなことがある	1	2	3	4
友だちなどほかの人にやさしくしている	1	2	3	4
しようらいのゆめやもくひうがある	1	2	3	4
どりよくしている	1	2	3	4
がまん強い	1	2	3	4
自分の考えたことを言える	1	2	3	4
やくそくや決まりを守る	1	2	3	4
自分でできることはしている	1	2	3	4
自分を大切だと思っ	1	2	3	4
自分のことがすぎだ	1	2	3	4
まわりの役に立っている	1	2	3	4

問 26 どんな人になりたいですか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 勉強ができる	2. 運動やスポーツができる
3. 友だちがたくさんいる	4. 自分の意見がはっきり言える
5. 最後まであきらめずに取り組むことができる (こんななことにもくじけない)	6. まわりの人にやさしくすることができる
7. ルールや決まりを守ることができる	8. 人や社会の役に立つことができる
9. その他()	10. わからない
11. とくにない	

問 27 あなたは、大人になったら、どのような仕事をやりたいですか。(あてはまるすべてに○)

1. 弁護士、裁判官、検察官	2. 医者、歯科医、薬剤師
3. 看護師、介護福祉士	4. カウンセラー、臨床心理士
5. 獣医、動物飼育、ペットショップ、トリマー	6. 警察官、消防士、自衛官
7. 幼稚園・保育園の先生	8. 学校の先生
9. 大学教授、科学者	10. パイロット、客室乗務員(フライトアテンダント)
11. コンピュータかんけい(システム・エンジニア、プログラマーなど)	12. 建築士、設計士
13. コック、調理師、栄養士	14. 理容師、美容師
15. 通訳、翻訳家	16. 会社の社長
17. 会社員	18. 公務員
19. 商店主など自営業者	20. バン屋、ケーキ屋(ケーキ職人、パティシエ)、花屋
21. 自動車整備士、自動車、電車などの運転士	22. 店員、販売員、ウエイター、ウエイレス
23. スポーツ選手	24. 歌手、ミュージシャン、俳優、タレント、パフォーマー、ダンサー
25. 画家、デザイナー、写真家	26. 音楽家、作曲家
27. 作家、アニメ作家、まんが家、映画監督	
28. 新聞記者、アナウンサー、キャスター、レポーター、テレビのディレクター	
29. 動画投稿者(You Tubeなど)	
30. その他()	
31. わからない	

6 ちいきとのつながりについて

問 28 ふだん、あなたはちいきの人たちどのようにしていますか。(あてはまるすべてに○)

1. 会ったときにあいさつをしている	2. 会ったときに声をかけたり話をしたりする
3. こまったときやなやんでいるときに相談のついでに	4. ちいきの活動をいっしょにする
5. スポーツや音楽などをあそんでもらう	6. ちいきの祭りやイベントで交流している
7. 交流したいが、交流していない	8. 交流するつもりはない
9. その他()	

問 29 次の中であてはまるものは何ですか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

	りようしたことがある	知っているが りようしたことはない	知らない
としようかん 図書館	1	2	3
こうみんかん 公民館	1	2	3
しあひんそごうたいいけん 市民総合体育館などの体育施設	1	2	3
じどうかん 児童館・子ども広場	1	2	3
ちいき 地域センター	1	2	3
ひらくしでんちゆうちゆうこくびじゅつかん 平瀬田中彫刻美術館	1	2	3
すずまいせきしりょうかん 鈴木遺跡資料館	1	2	3
こたいら 小平ふるさと村	1	2	3

これでおわりです。ごきょうりょくいただき、ありがとうございました。

小平市の教育に関するアンケート調査

【回答にあたってのお願い】

- それぞれの質問では、あてはまる番号に○をつけてください。○をつける数は、質問文の後に書いてあります。また、選択肢のうち「その他」を選んだ場合には、できるかぎり()内に記入をお願いします。
- 無記名でご回答ください。

1 あなたと家庭について

問1 あなたの学校を教えてください。(1つに○)

1. 小平第一小学校	2. 小平第二小学校	3. 小平第三小学校
4. 小平第四小学校	5. 小平第五小学校	6. 小平第六小学校
7. 小平第七小学校	8. 小平第八小学校	9. 小平第九小学校
10. 小平第十小学校	11. 小平第十一小学校	12. 小平第十二小学校
13. 小平第十三小学校	14. 小平第十四小学校	15. 小平第十五小学校
16. 花小金井小学校	17. 鈴木小学校	18. 学園東小学校
19. 上宿小学校	20. 小平第一中学校	21. 小平第二中学校
22. 小平第三中学校	23. 小平第四中学校	24. 小平第五中学校
25. 小平第六中学校	26. 上水中学校	27. 花小金井南中学校

問2 あなたの学年を教えてください。(1つに○)

1. 小学校6年生	2. 中学校1年生	3. 中学校3年生
-----------	-----------	-----------

問3 【答えられる方のみお答えください】あなたは、誰とだれ一緒にいっしょ住んでいますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 父親	2. 母親	3. 兄弟姉妹	4. 祖父
5. 祖母	6. その他()		

問4 親や祖父母、兄弟姉妹などの身の回りのお世話や買い物・料理・そうじ・せんたくなどを大人に代わって行っていますか。(1つに○)

1. 大人が行う部分をいつもやっている	2. お手伝いをしている
3. していない	

問5-1 あなたは、いつも何時ごろに起きていますか。それぞれ 24 時間表記で記入してください。

平日 時ごろ / 休日 時ごろ

問5-2 あなたは、いつも何時ごろに寝ていますか。それぞれ 24 時間表記で記入してください。

平日 時ごろ / 休日 時ごろ

問6 学校に行く前に朝ご飯を食べますか。(1つに○)

1. 毎日食べる	2. ほとんど毎日食べる	3. 週に2～3回食べる	4. ほとんど食べない
----------	--------------	--------------	-------------

問7 ひとりで夕ご飯を食べることがありますか。(1つに○)

1. (ひとりで食べる事が)毎日である	2. (ひとりで食べる事が)よくある
3. (ひとりで食べる事は)あまりない	4. (ひとりで食べる事は)ほとんどない

問8-1 あなたは、家にいると楽しいことが多いですか。それとも楽しくないことが多いですか。(1つに○)

1. 楽しいことが多い	2. 楽しくないことが多い
3. どちらともいえない	4. わからない

問8-2 上の質問のように答えたのは、なぜですか。(答えづらい場合は、問9に進んでください。)

問9 学校であったことや友だちのことなどを家族に話しますか。(1つに○)

1. 毎日話す	2. よく話す	3. あまり話さない	4. ほとんど話さない
---------	---------	------------	-------------

問10 家族についてどう思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

よく話を聞いてくれる	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	思わない
1	1	2	3	4
1	1	2	3	4
1	1	2	3	4
1	1	2	3	4
1	1	2	3	4

問 11 あなたは、家族の人と、防犯・安全のためにどのようなことを行っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 出かけるときはどこへ誰と行くのか話をする
2. 夜遅い時間に外に出ない
3. 犯罪や事件のニュースの話をする
4. 一人で行動しないようにする
5. 友だちと登校・下校するようになっている
6. 不審者情報など犯罪や事件の情報を収集する
7. 地域・近所の人と顔見知りになる、あいさつをする
8. 防犯ブザーをもつ
9. こども110番のいえの場所を確認している
10. その他()
11. 何もしていない
12. わからない

問 12-1 携帯電話やスマートフォンを使っていますか。(1つに○)

1. 使っている
2. 使っていない

問 12-2 【問 12-1で、「1」に○をつけたときに答えてください】

携帯電話やスマートフォンを使っていてあてはまるものすべてに○
(あてはまるものすべてに○)

1. 使っていないと友だちと話が合わないと言われたり仲間はずれにされたりした
2. 友だちとトラブルになったことがある
3. (使い方で)家族に注意されたりかられたりした
4. 勉強など、やらなければいけないことがあるときにも使いつづけてしまった
5. その他()
6. 特にない

問 12-3 【問 12-1で、「1」に○をつけたときに答えてください】

あなたは、携帯電話やスマートフォンを使用するときのルールを家族と決めていきますか。(1つに○)

1. 決めている
2. 決めていない

問 12-4 【問 12-3で、「1」に○をつけたときに答えてください】

あなたは、携帯電話やスマートフォンを使用するときのルールを守れていますか。(1つに○)

1. 守ることができている
2. 守ることができないときがある
3. 守ることができない

問 13-1 学校以外で塾(家庭教師を含む)や通信教材、またインターネットなどで授業を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 塾(家庭教師を含む)
2. インターネットでの動画の授業
3. 通信教材
4. 受けていない

問 13-2 【問 12-1で、「1」～「3」に○をつけたときに答えてください】

塾(家庭教師を含む)や通信教材、またインターネットで授業を受けるのはどうですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 自分がかもっと勉強したいから
2. 学校の授業だけでは足りないから
3. まわりの子も通っているから
4. 行かないより行った方がいいから
5. 家族に勉強をみてもらえないから
6. 受験のため
7. その他
8. わからない

2 パソコンやタブレットなどを利用した学習について

問 14 あなたは、家でパソコンやタブレットなどを使って自分で学習をしていますか。(1つに○)

1. 学習アプリを使って勉強する
2. インターネットの授業(学校を除く)へ参加する
3. インターネットを使って先生と会話する
4. その他()
5. 使っていない

3 日常生活(中学生は試験期間前を除く)について

問 15 学校の授業以外で運動※しますか。(1つに○)
※クラブ活動、習い事、友だちとの遊びも入ります。

1. 毎日運動する
2. よく運動する
3. あまり運動しない
4. ほとんど運動しない

問 16 放課後や休みの日に友だちと遊びますか。(1つに○)

1. 毎日遊ぶ
2. よく遊ぶ
3. あまり遊ばない
4. ほとんど遊ばない

問 17 ふだん、好きなことをしたり、ゆっくり過ごしたりする時間がありますか。(1つに○)

1. たくさんある
2. まあまあある
3. あまりない
4. ほとんどない

問 18 学校以外で本※を読みますか。(1つに○)

※教科書、参考書、マンガ、雑誌は入りません。

1. 毎日読む	2. よく読む
3. あまり読まない	4. ほとんど読まない

問 19 学校の授業時間以外に1日にどれくらい学習※しますか。(1つに○)

※宿題や塾、家庭教師に教わっている時間も入ります。

1. 3時間以上	2. 2時間～3時間未満	3. 1時間～2時間未満	4. 30分～1時間未満
5. ほとんどしない			

4 学校生活について

問 20 学校生活について、どのように感じていますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

こころもく 項目	満足度			
	満足	やや満足	やや不満	不満
授業	1	2	3	4
休み時間	1	2	3	4
給食	1	2	3	4
委員会活動	1	2	3	4
クラブ活動・部活動	1	2	3	4
運動会、文化祭などの行事	1	2	3	4
担任の先生との関係	1	2	3	4
友だちとの関係	1	2	3	4
クラスの雰囲気	1	2	3	4
校舎や教室のきれいさ	1	2	3	4

問 21-1 学校の授業がわかりますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

教科	理解度			
	よくわかる	どちらかといえはわかる	半分からいわかる	ほとんどわからぬ
国語	1	2	3	5
社会	1	2	3	5
算数・数学	1	2	3	5
理科	1	2	3	5
英語	1	2	3	5
全体的に	1	2	3	5

→問 21-2 【問 21-1で、表の中に1つでも「どちらかといえはわからない」、「ほとんどわからない」に○をつけたときに答えてください】

授業がわからない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 授業の進み方が速いから	2. 授業がむずかしいから
3. 先生の説明がわかりにくいから	4. 宿題をしていないから
5. 家で勉強をしていないから	6. 勉強が苦手だから
7. 前の学年で学習したことがわかっていないから	8. その他()
9. 理由はない	

問 22-1 【小学校6年生、または中学校1年生だけ、答えてください。】

【小学校6年生の場合】 中学校に入学した後に、心配なことは何ですか。

【中学校1年生の場合】 中学校に入学した後に、とまどったことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 授業の内容や進め方	2. 先生との関係	3. 定期試験
4. 学校の決まり	5. 部活動	6. 友だち関係
7. 先輩・後輩関係	8. その他()	
9. 特になし・なかった		

→問 22-2 【問 22-1で、「9」に○をつけたときに答えてください】

心配でない(なかった)理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 中学校に見学に行ったり、交流している(していた)から
2. 先生から中学校の話を聞いている(聞いていた)から
3. 兄や姉が中学校に通っている(通っていた)／兄や姉から中学校の話を聞いている(聞いていた)から
4. その他()
5. 理由はない

問 23 担任の先生についてどう思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

一生懸命である	1	2	3	4
相談に乗ってくれる	1	2	3	4
みんなに平等に接してくれる	1	2	3	4
自分のことをわかってくれる	1	2	3	4

問 24 学校の友だちについてどう思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

よく話を聞いてくれる	1	2	3	4
いっしょに出かけたり遊んだりしてくれる	1	2	3	4
こまったときには助けてくれる	1	2	3	4
自分のことをわかってくれる	1	2	3	4
友だちは自分を大切にしてくれる	1	2	3	4

問 25 あなたは、学校に対してどのようなことを望みますか。(主なもの3つまで○)

1. やってはいけないことを、しっかり注意してほしい	
2. わかりやすい授業をしてほしい	
3. モラルやマナーについて、手本となってほしい	
4. 夢や目標を持つための手伝いを行い、その実現の支援をしてほしい	
5. 悩みや意見をじっくり聞いてほしい	
6. 授業に関して専門的な知識を教えてほしい	
7. みんなに公平にかかわってほしい	
8. パソコン・タブレットを利用するなどこれからの社会に合わせた授業をしてほしい	
9. 健康な生活の過ごし方を教えてほしい	
10. わからない	
11. その他()	

5 あなた自身のお考えについて

問 26-1 あなたが悩んでいることや、不安に思っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族のこと	2. 友だちのこと	3. 学校のこと	4. 学習のこと
5. 塾や習い事のこと	6. 将来のこと	7. 健康や体のこと	8. その他()
9. 悩みや不安はない			

問 26-2 【問 26-1で、「1」～「8」に○をつけたときに答えてください】

あなたは悩みや不安があるとき、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 親	2. 兄弟姉妹
3. 祖父や祖母、いとこなど	4. 友だち
5. 先輩・後輩	6. 学校の先生
7. 近所の人	8. 塾や習い事の先生
9. 学校のスクールカウンセラー	10. 電話相談
11. インターネットやSNS(LINEなど)	12. 自分で解決する
13. その他()	14. 相談できる人がいない

問 26-3 【問 26-1で、「1」～「8」に○をつけたときに答えてください】

自分の悩みを相談する方法として、最もよいと思うのは何ですか。(1つに○)

1. 直接会う	2. 電話
3. 携帯電話・スマートフォンやパソコンのメール	4. インターネットやSNS(LINE など)
5. その他()	

問 27 自分についてどう思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	思わない
良いところや得意なことがある	1	2	3	4
友だちなど他の人にやさしくしている	1	2	3	4
将来の夢や目標がある	1	2	3	4
努力している	1	2	3	4
我慢強い	1	2	3	4
自分の意見を言える	1	2	3	4
約束や決まりを守る	1	2	3	4
自分でできることはしている	1	2	3	4
自分を大切な存在だと思う	1	2	3	4
自分のことが好きだ	1	2	3	4
周りの役に立っている	1	2	3	4

問 28 どんな人になりたいですか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 勉強ができる	2. 運動・スポーツができる
3. 友だちがたくさんいる	4. 自分の意見がはっきり言える
5. 最後まであきらめずに取り組むことができる (困難なことにもくじけない)	6. まわりの人にやさしくすることができる
7. ルールや決まりを守ることができる	8. 人や社会の役に立つことができる
9. その他()	10. わからない
11. 特にない	

問 29 あなたは、将来、どのような仕事(業種)に就きたいですか。(あてはまるすべてに○)

1. 弁護士、裁判官、検察官	2. 医者、歯科医、薬剤師
3. 看護師、介護福祉士	4. カウンセラー、臨床心理士
5. 獣医、動物飼育、ペットショップ、トリマー	6. 警察官、消防士、自衛官
7. 幼稚園・保育園の先生(保育士)	8. 学校の先生
9. 大学教授、科学者	10. パイロット、客室乗務員(フライトアテンダント)
11. コンピュータ関係(システムエンジニア、プログラマーなど)	12. 建築士、設計士
13. コック、調理師、栄養士	14. 理容師、美容師
15. 通訳、翻訳家	16. 会社の社長
17. 会社員	18. 公務員
19. 商店主など自営業者	20. パン屋、ケーキ屋(ケーキ職人、パティシエ)、花屋
21. 自動車整備士、自動車・電車などの運転士	22. 店員、販売員、ウエイター、ウエイトレス
23. スポーツ選手	24. 歌手、ミュージシャン、俳優、タレント、バンド、芸人、ダンサー
25. 画家、デザイナー、写真家	26. 音楽家、作曲家
27. 作家、アニメ作家、まんが家、映画監督	
28. 新聞記者、アナウンサー、キャスター、レポーター、テレビのディレクター	
29. 動画投稿者(You Tuber など)	
30. その他()	
31. わからない	

6 地域とのつながりについて

問 30 ふだん、あなたは地域の人たちどのように接していますか。(あてはまるすべてに○)

1. 会ったときにあいさつをしている	2. 会ったときに声をかけたり話をしたりする
3. こまったりときやなやんでいるときに相談のつてもらう	4. 地域の活動を一緒にする
5. スポーツや音楽などをおしえてもらう	6. 地域の祭りやイベントで交流している
7. 交流したいが、交流していない	8. 交流するつもりはない
9. その他()	

問 31 次の中であてはまるものは何ですか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

	利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない
図書館	1	2	3
公民館	1	2	3
市民総合体育館などの体育施設	1	2	3
児童館・子ども広場	1	2	3
地域センター	1	2	3
平瀬田中彫刻美術館	1	2	3
鈴木遺跡資料館	1	2	3
小平ふるさと村	1	2	3

問 32 【中学校1年生、または中学校3年生だけ、教えてください。】

あなたは、これから、若者(29歳ぐらいまでの人)のために小平市にどんなことをしてほしいと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. お金の心配をすることなく学べる(進学や塾に行ける)ように支援する
2. 就職に向けた相談やサポート体制を充実させる
3. イベントやボランティアなどの自主的な活動を支援する
4. 自由に過ごせる場を増やす
5. 自分の意見を発表できる機会を増やす
6. 悩みを相談できる場や機会を増やす
7. 参加したり過ごしたりできる場やイベントなどの情報を提供する
8. その他()
9. 特にない

アンケートは以上で終わります。ご協力いただき、ありがとうございました。

保護者調査

小平市の教育に関するアンケート調査

一ご協力をお願いー

皆様には日頃より、教育行政の推進につきましてご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

さて、小平市では、小平市の教育をよりよいものとするため、平成 24 年度に「小平市教育振興基本計画(計画期間平成 25 年度～令和4年度)」を策定いたしました。また、平成 29 年度に、平成 30 年度からの後半5年間で達成をめざす数値目標の設定や取組の検討を行い、改訂版小平市教育振興基本計画を策定し、現在、さまざまな施策に取り組んでいるところです。

このアンケート調査は、市内の小学校3年生、6年生、中学校1年生、3年生の中から、各学校1クラスを抽出し、その保護者の皆様を対象に、教育に関するお考えやご意見等をお伺いし、計画に掲げる数値目標の達成状況の確認及び令和4年度に策定する新しい小平市教育振興基本計画の基礎資料として活用させていただくことを目的に実施します。

ご回答いただいた内容は、計画の達成状況の確認及び新しい計画策定の検討にのみ利用させていただきます。また、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にももれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

つきましては、ご多用のことと存じますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年 10 月 小平市教育委員会

【回答にあたってのお願い】

- 1 ご家庭に複数のお子様がいらっしゃる場合でも、アンケート用紙を持ち帰ったお子様について、ご回答ください。なお、アンケート用紙が複数届いた場合には、ご負担のないよう、お1人についてご回答いただければ結構です。
- 2 各質問では、あてはまる番号に○をつけてください。○をつける数は、質問の最後に書いてあります。また、選択肢のうち「その他」を選んだ場合には、できるかぎり()内に記入をお願いします。
- 3 無記名でご回答ください。
- 4 アンケートが終了しましたら、この用紙を封筒に入れ、**令和3年 11 月 19 日(金)**までに学校に提出してください。
- 5 ご不明な点やアンケートに関するお問い合わせは、下記までお願いします。
小平市教育委員会 教育部 教育総務課 担当：山本
電話 042(346)9568(直通)

1 あなたのお子さんについて

問1 お子さんを通っている学校はどちらですか。(1つに○)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 小平第一小学校 | 2. 小平第二小学校 | 3. 小平第三小学校 | 4. 小平第四小学校 |
| 5. 小平第五小学校 | 6. 小平第六小学校 | 7. 小平第七小学校 | 8. 小平第八小学校 |
| 9. 小平第九小学校 | 10. 小平第十小学校 | 11. 小平第十一小学校 | 12. 小平第十二小学校 |
| 13. 小平第十三小学校 | 14. 小平第十四小学校 | 15. 小平第十五小学校 | 16. 花小金井小学校 |
| 17. 鈴木小学校 | 18. 学園東小学校 | 19. 上宿小学校 | |
| 20. 小平第一中学校 | 21. 小平第二中学校 | 22. 小平第三中学校 | 23. 小平第四中学校 |
| 24. 小平第五中学校 | 25. 小平第六中学校 | 26. 上水中学校 | 27. 花小金井南中学校 |

問2 お子さんの学年を教えてください。(1つに○)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 小学校3年生 | 2. 小学校6年生 | 3. 中学校1年生 | 4. 中学校3年生 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|

問3 お子さんとあなたの続柄(関係)を教えてください。(1つに○)

- | | | | |
|-------|-------|--------|-----------|
| 1. 父親 | 2. 母親 | 3. 祖父母 | 4. その他() |
|-------|-------|--------|-----------|

問4 お子さんと、学校や友人のことなどについて話しますか。(1つに○)

- | | | | |
|---------|---------|------------|-------------|
| 1. 毎日話す | 2. よく話す | 3. あまり話さない | 4. ほとんど話さない |
|---------|---------|------------|-------------|

問5-1 お子さんに携帯電話やスマートフォンを持たせていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 持たせている | 2. 持たせていない |
|-----------|------------|

問5-2 【問5-1で「1」に○をつけたときに答えてください】

お子さんに携帯電話やスマートフォン持たせている理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------------|---------------------------|
| 1. 家族との連絡のため | 2. (GPSなどで)子どもの居場所を確認するため |
| 3. 携帯電話がないことで友達から仲間はずれにならないようにするため | 4. 携帯電話の機能を使うようにするため |
| 5. 子どもの楽しみとして使わせても良いと考えるため | 6. 子どもが望んだため |
| 7. その他() | 8. 特に理由はない |

問5-3 【問5-1で「1」に○をつけたときに答えてください】

お子さんの携帯電話やスマートフォンに、フィルタリング機能*を付けていますか。(1つに○)

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. 付けている | 2. 付けていない | 3. わからない |
|----------|-----------|----------|

※1 フィルタリング機能…インターネット上の情報をあらかじめ設定した基準で閲覧できるかどうか振り分けるもの。

問5-4 【問5-1で「1」に○をつけたときに答えてください】

使用にあたって、お子さんのルールや約束を決めていますか。(1つに○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 決めている | 2. 決めていない |
|----------|-----------|

問5-5 【問5-4で「1」に○をつけたときに答えてください】

お子さんは、ルールや約束を守っていますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 守ることができている | 2. 守ることができないときがある |
| 3. 守ることができない | |

問6-1 お子さんは、学校以外で塾(家庭教師を含む)や通信教材、またオンラインなどで授業を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 塾(家庭教師を含む)	2. オンライン授業	3. 通信教材
4. 受けていない		

問6-2 【問6-1で、「1」と回答したときに答えてください】
それはどうですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもが望んだから	2. 学校の授業だけでは不十分だから
3. まわりの子も通っているから	4. 行かないより行った方がいいから
5. 家族が勉強をみることでできないから	6. 受験のため
7. その他()	8. わからない

問7 お子さんには、普段、好きなことをしたり、ゆっくり過ごしたりする時間がありますか。(1つに○)

1. 十分ある	2. まあまあある	3. あまりない	4. ほとんどない
---------	-----------	----------	-----------

問8 お子さんに学校で身に付けてほしいと望むことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 基礎的な学力	2. 高い学力
3. 基礎的な体力	4. 高い運動能力
5. 規則正しい生活習慣	6. 望ましい食生活
7. ルールや決まりを守る規範意識	8. あいさつや行儀、礼儀作法
9. 健全な心	10. 自分の考えをもつ力
11. 自分の考えを相手に伝える力	12. 課題を見出したり、解決したりする力
13. 自分のことは自分でする自立心	14. 協調性
15. 他者を尊重する心	16. 自分を大切にすること
17. 勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心	18. その他()
19. 特に身に付けてほしいことはない	

問9 お子さんは、家庭でパソコンやタブレットなどを使って自主学習[※]をしていますか。(1つに○)
※自主学習とは、自分で学習内容を決めて学習することを指します。

1. 学習アプリを使って勉強している
2. インターネットの授業(学校を除く)へ参加している
3. インターネットを使って先生と会話している
4. その他()
5. 使っていない

問10 お子さんがパソコンやタブレットなどを用いた学習を行う時にあなたが実施していることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 学習を始めるよう声かけするなど、生活リズムの管理をする
2. 子どもがICT機器で学習以外のこと(ゲームなど)をしていないか確認する
3. 子どもの学習の進捗状況を確認する
4. 子どもが学習内容を理解できるよう支援する
5. セットアップやメンテナンス等を紹介し、子どもの代わりに学校や学習塾側と連絡を取る
6. メールやオンラインシステム等を紹介し、子どもの代わりに学校や学習塾側と連絡を取る
7. メールやオンラインシステム等を紹介し、子どもが学校の友達と交流できるよう支援する

問11 お子さんにパソコンやタブレットなどを用いた学習によって身に付けさせたい力は何か。
(あてはまるものすべてに○)

1. 情報収集力	2. プレゼンテーション力	3. 資料作成力
4. 情報モラル	5. コミュニケーション力	6. プログラミング的思考力
7. 特になし、わからない	8. その他()	

問 12-1 次の活動のうち、あなたが参加や協力していることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 学校行事(運動会や文化祭) | 2. 学校公開 ^{※1} |
| 3. 保護者会の参加 | 4. PTA など役員の活動 |
| 5. ボランティア | 6. 部活動の手伝い |
| 7. 自分の特技や経験を生かして学校で教える | 8. 体験学習や総合的な学習の手伝い |
| 9. 子どもの職業体験などによるキャリア教育を支援 | 10. 学校運営(協議会など)に参加 |
| 11. 地域での子どものための行事(祭など)を企画 | 12. 地域のスポーツ活動や文化活動の指導や世話 |
| 13. 子どもの安全を守るための見守りなどの活動 | 14. 学校の環境づくり(校庭整備など) |
| 15. その他() | |
| 16. 参加・協力しているものはない | |

※1 学校公開…地域に開かれた学校づくりの推進のひととして、学校の教育活動への理解を促進するため、市立小・中学校全校で、保護者、地域住民などに授業を公開する。

問 12-2 【問 12-1 で、「16」に○をつけたときに答えてください】

あなたが、活動に参加できない、またはしない理由は何ですか。

(最もあてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 時間がないから | 2. 参加の仕方がわからないから |
| 3. 人間関係がわずらわしいから | 4. 活動が大変そうだから |
| 5. 活動に興味・関心がないから | 6. 活動内容がわからないから |
| 7. その他() | |

2 小平市の教育について

問 13 小平市では、小平市教育振興基本計画において、小平市の教育の課題を解決し、目標を達成するための方策を 15 の基本的施策にまとめています。次の教育施策や教育事業について、あなたは、現在の小平市の取組に満足していますか。

(1～15 の各項目について、あてはまるものに、それぞれ1つだけ○)

項目	満足している	満足しているかといえれば	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	わからない
1 確かな学力の向上	1	2	3	4	5	6
2 健やかな体の育成	1	2	3	4	5	6
3 豊かな心の育成	1	2	3	4	5	6
4 自立心の養成	1	2	3	4	5	6
5 共生と地域・社会貢献意識の醸成	1	2	3	4	5	6
6 教員の資質向上	1	2	3	4	5	6
7 学校の経営力向上	1	2	3	4	5	6
8 家庭教育への支援	1	2	3	4	5	6
9 地域教育の充実	1	2	3	4	5	6
10 教育環境の整備	1	2	3	4	5	6
11 生涯学習の推進	1	2	3	4	5	6
12 図書館の充実	1	2	3	4	5	6
13 生涯スポーツの推進	1	2	3	4	5	6
14 郷土愛と後継者の育成	1	2	3	4	5	6
15 多様な主体との連携と施設のあり方の検討	1	2	3	4	5	6

問 14 学校の先生について、何を重視しますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

	重視する	どちらかというと重視する	どちらかというと重視しない	重視しない
授業力	1	2	3	4
一生懸命さ、熱意	1	2	3	4
教員としての経験	1	2	3	4
子どもへの愛情	1	2	3	4
子どもを理解する力	1	2	3	4
人間的な魅力	1	2	3	4
学級経営などの指導力	1	2	3	4
コミュニケーション能力	1	2	3	4
倫理観、教員としての自覚	1	2	3	4
ICT機器を活用した教育	1	2	3	4
特別な配慮を必要とする子どもへの指導力	1	2	3	4

問 15 あなたは、お子さんに関する次のことで、学校の先生とコミュニケーションが取れていると思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

	そう思う	いまのままでよい	あまり思わない	思わない
学習や成績のこと	1	2	3	4
性格や情緒面に関すること	1	2	3	4
友人関係のこと	1	2	3	4
学校や先生との関係のこと	1	2	3	4
進路や進学先のこと	1	2	3	4
家庭での教育・しつけのこと	1	2	3	4

問 16 あなたは、学校に対してどのようなことを望みますか。(主なもの3つまで○)

1. 教育に対する責任感や子どもに対する愛情を持って接すること
2. 教職員がわかりやすい授業を工夫すること
3. 生活習慣や社会規範の手本となり、指導すること
4. 子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること
5. 子どもや保護者の相談に快く応じてくれること
6. 担当教科に関して専門的な知識を持っていること
7. 子どもに公平に接すること
8. 社会の要請や時代の変化に柔軟に対応する力を持っていること
9. 健康な生活の過ごし方を教えること
10. 自尊感情やコミュニケーション能力を高めるような支援を行うこと
11. わからない
12. その他()

問 17 学校の教育環境について、特に充実・改善してほしいものは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 学年・学級の垣根を超えた共有施設の整備	2. 主体的に学ぶための学習空間
3. 教科の充実を図るための機能的な教室の整備	
4. ICT機器を活用した教育を推進するための施設整備や情報機器の充実	
5. 心をいやし、心を育てるカウンセリング機能の充実	6. 快適な生活空間
7. 屋内・屋外運動施設の充実	8. 学校の歴史、思い出を伝える場所の整備
9. 環境に配慮した学校施設整備	10. 地域コミュニティの活動や交流の場の整備
11. 防災・防犯に優れた施設の整備	

問 18 小平市の学校教育で特に力を入れる必要があると思うことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 学力向上策	2. 体力向上策
3. 防災・防犯などの安全対策	4. 校長など管理職の学校経営能力・リーダーシップの向上
5. 教員の資質向上	6. 教育委員会の指導力の向上、明確な方針の提示
7. 学校施設・設備の充実	8. 保護者や地域の意見の反映
9. 家庭教育への支援	10. 地域との協力・連携
11. 情報化や国際化、キャリア教育※1 などを取り入れた特色ある教育	12. 幼稚園・保育園、小学校、中学校の相互の連携
13. いじめ・不登校対策	14. 特別支援教育※2
15. 学校や教育委員会に関する 情報の提供・発信の充実、積極的なPR	16. ICT 機器を活用した教育の充実
17. 多文化共生に向けた教育の充実	18. 体験活動
19. その他()	20. 特にない

※1 キャリア教育……社会的、職業的自立に向けた必要な能力や態度を育てる教育

※2 特別支援教育……学習面または生活面で特別な支援を必要とする児童・生徒の教育的ニーズを把握し、適切な指導と必要な支援を行う教育。

問 19 次の小平市の教育施策や事業について、力を入れる必要があるかと思いませんか。

((中学校のみ)中学生のお子さんがいる場合に、それぞれあてはまるもの1つに○)

小平市の教育施策や事業	そう思う	いまのままでよい	あまり思わない	思わない
1 学習補助員の配置	1	2	3	4
2 学校公開	1	2	3	4
3 体験活動(自然体験、スキー教室)	1	2	3	4
4 (中学校のみ)部活動	1	2	3	4
5 地域住民等のボランティアの活用	1	2	3	4
6 放課後子ども教室・放課後学習教室	1	2	3	4
7 学校施設の開放※1	1	2	3	4

※1 学校施設の開放……市民のスポーツ活動や、放課後の子どもの遊び場として、学校の校庭や体育館を利用してもらう。

問 20 あなたは、特別支援教育の充実のためにどのような取組が必要だと思いますか。

(主なもの3つまで○)

1. すべての子どもたちが共に学ぶことができる教育の場と機会の確保
2. 一人一人の教育的ニーズに合った教育の場と機会の確保
3. 乳幼児期からの支援体制の整備
4. 子どもの実態に応じた相談体制の充実
5. 特別支援学級等での専門的な教育の充実
6. 人的(人員)配置の充実
7. 学校環境のユニバーサルデザイン化※1
8. 障がいに対する理解を深めるための学習の充実
9. わからない
10. その他()

※1 ユニバーサルデザイン……年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが安全・安心に利用することができるようなデザイン。

問 21 小平市では、「コミュニティ・スクール※1」の取組をはじめ、「地域に開かれた学校づくり」の実現に向けた取組が進められています。「地域に開かれた学校づくり」に向け、どのような取組が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 学校よりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する
2. 学校の教育目標や取組を、地域の方々に知らせる
3. ゲストティーチャー※2や部活動の指導者など、外部の人を学校に招く
4. 登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う地域住民等のボランティアを積極的に受け入れる
5. 地域の施設などを利用した校外学習を進める
6. 地域の方々や保護者が学校の運営が適切に行われているかを評価する
7. 教育や子ども問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する
8. 放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する
9. 特にない
10. わからない
11. その他()

※1 コミュニティ・スクール……学校と地域住民などが協働しながら学校の運営に取り組みむ仕組み。

※2 ゲストティーチャー……小中学校、公民館などからの依頼に対し、ボランティア講師として活躍する制度。

《お子さんが小学校6年生、または中学校1年生の保護者の方にのみ、お聞きします。》

問 22-1 【小学校6年生の場合】中学校に入学した後、心に心配なことは何ですか。

【中学校1年生の場合】中学校に入学した後、とまどったことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 授業の内容や進め方	2. 子どもと先生との関係
3. 定期試験	4. 学校の決まり
5. 部活動	6. 友人関係
7. 先輩・後輩関係	8. あなた自身と先生との関係
9. その他()	
10. 特にない	

問 22-2 【問 22-1で、「10」に○をつけたときに答えてください】

心配なこと、またはとまどったことがなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 小学校と中学校の交流が行われているから(行われていたから)
2. 先生から中学校の話を聞いているから(聞いていたから)
3. (お子さんの)兄や姉が中学校に通っている、通っていたから
4. その他()
5. 理由はない

《全ての方にお聞きします。》

問 23 あなたは、小平市の教育や子育てに関する情報をどこで得ていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 家族	2. 友人・知人
3. 保育士・幼稚園や学校の先生	4. 市の広報誌
5. 市のホームページ	6. 園や学校、PTA等からのお知らせ
7. 園や学校のホームページ	8. 新聞・雑誌
9. テレビ・ラジオ	10. インターネット
11. 塾	12. 特にない
13. その他()	

3 地域のことについて

問 24 普段、あなたは地域の子どものように接していますか。(あてはまるすべてに○)

1. 会ったときにあいさつをしている	2. 会ったときに声をかけたり話をしたりしている
3. 良いことをしているところを見るときはほめている	4. 悪いことをしているところを見るときは注意をしている
5. 困ったときや悩んでいるときに相談にのっている	6. 地域の活動を一緒にしている
7. スポーツや音楽などを教えている	8. 地域の祭りやイベントで交流している
9. 交流したいが、交流していない	10. 交流するつもりはない
11. その他()	

問 25 学校の教育活動や地域活動について、あなたが地域の方に協力してほしいことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 授業の指導や内容面でのサポート	2. 行事などの手伝い
3. 登下校の見守り・声かけ	4. 花壇やグラウンド整備など
5. あいさつや行儀、礼儀作法のしつけ	6. 地域の伝統や文化、遊びの伝承
7. 学校外の行事の主催や参加	8. その他()
9. 協力してほしいことはない	

4 家庭教育について

問 26-1 家庭教育で重視していることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 規則正しい生活習慣	2. 健康管理
3. 食事や食生活	4. ルールや決まりを守らせること
5. あいさつや行儀、礼儀作法	6. 健全な心
7. 表現力や自己主張	8. 自分のことは自分でする自立心
9. 協調性	10. 個性の尊重
11. 学習など知的な成長	12. 運動など身体的な成長
13. その他()	
14. 特に重視していることはない	

問 26-2 【問 26-1で、「1」～「13」に○をつけたときに答えてください】

ご家庭でそれをできていると思いますか。(1つに○)

1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない	4. 思わない
5. わからない	

問 27-1 お子さんのことで、悩んでいることや不安に思っていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1. 生活態度や習慣、性格に関すること | 2. 友人関係 |
| 3. 学校、先生に関すること | 4. 学習のこと |
| 5. 進路・進学先のこと | 6. 健康や体のこと |
| 7. 体力・運動能力に関すること | 8. 非行 |
| 9. 防犯対策 | 10. 携帯電話やインターネットの利用に関すること |
| 11. しつけや教育に自信がない | 12. 教育費のこと |
| 13. その他() | |
| 14. 悩みや不安はない | |

問 27-2 【問 27-1で、「1」～「13」に○をつけたときに答えてください】

悩みや不安を誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 家族 | 2. 親戚 |
| 3. 子どもと同じ学校の保護者 | 4. (自分の)友人 |
| 5. 近所の人 | 6. 学校の先生 |
| 7. 塾や習い事の先生 | 8. 学校のスクールカウンセラー※1や教育相談室※2 |
| 9. 専門的な相談機関 | 10. インターネットやSNS(LINEなど) |
| 11. 自分で解決する | 12. その他() |
| 13. 相談したい・できる人がいない | |

※1 スクールカウンセラー…市立小・中学校全校に派遣されている心理の専門家である教育相談員のこと。児童・保護者・教員の相談に応じ、児童・生徒のさまざまな悩みなどに対応し、問題の早期解決を図るため支援する。

※2 教育相談室……小平元気村おがわ東に臨床心理士などの相談員を配置し、子どもの保育や教育上の問題について、保護者などからの相談を受けたり、プレイセラピーを行ったりしている。

最後に、小平市の教育に関してご意見などがあれば、ご記入ください。

以上で終了です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、封筒に入れて**11月19日(金)まで**に学校に提出してください。

5 歳児保護者調査

小平市の教育に関するアンケート調査

一ご協力をお願いー

皆様には日頃より、教育行政の推進につきましてご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

さて、小平市では、小平市の教育をよりよいものとするため、平成24年度に「小平市教育振興基本計画（計画期間平成25年度～令和4年度）」を策定いたしました。また、平成29年度に、平成30年度からの後半5年間で達成をめざす数値目標の設定や取組の検討を行い、改訂版小平市教育振興基本計画を策定し、現在、さまざまな施策に取り組んでいるところです。

このアンケート調査は、市内にお住まいの幼稚園・保育園に在園する5歳児（小学校入学前の児童）の保護者の皆様を対象に、教育に関するお考えやご意見等をお伺いし、計画に掲げる数値目標の達成状況の確認及び令和4年度に策定する新しい小平市教育振興基本計画の基礎資料として活用させていただくことを目的に実施します。

ご回答いただいた内容は、計画の達成状況の確認及び新しい計画策定の検討にのみ利用させていただきます。また、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

つきましては、ご多用のことと存じますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年10月 小平市教育委員会

【回答にあたってのお願い】

- 各質問では、あてはまる番号に○をつけてください。○をつける数は、質問文の後に書いてあります。また、選択肢のうち「その他」を選んだ場合には、できるかぎり()内に記入をお願いします。
- 無記名でご回答ください。
- アンケートが終了しましたら、**令和3年11月12日(金)**までに通園している幼稚園、保育園に備えて付けてある回収箱に直接入れていただくか、お子さんを通じて園に提出してください。
- ご不明な点やアンケートに関するお問い合わせは、下記までお願いします。

小平市教育委員会 教育部 教育総務課 担当：山本
電話 042(346)9568(直通)

1 お子さんやあなた自身について

問1 あなたのお住まいはどちらですか。(1つに○)

- | | | | | | |
|----------|---------|------------|----------|---------|----------|
| 1. 中島町 | 2. 上水新町 | 3. たかの台 | 4. 小川町 | 5. 栄町 | 6. 小川西町 |
| 7. 小川東町 | 8. 上水本町 | 9. 上水南町 | 10. 喜平町 | 11. 津田町 | 12. 学園西町 |
| 13. 学園東町 | 14. 仲町 | 15. 美園町 | 16. 回田町 | 17. 御幸町 | 18. 鈴木町 |
| 19. 天神町 | 20. 大沼町 | 21. 花小金井南町 | 22. 花小金井 | | |

問2 お子さんを通っているのは幼稚園・保育園のどちらですか。(1つに○)

- | | |
|--------|--------|
| 1. 幼稚園 | 2. 保育園 |
|--------|--------|

問3 お子さんとあなたの続柄(関係)を教えてください。(1つに○)

- | | | | |
|-------|-------|--------|-----------|
| 1. 父親 | 2. 母親 | 3. 祖父母 | 4. その他() |
|-------|-------|--------|-----------|

2 お子さんの教育について

問4 お子さんに学校で身に付けてほしいと望むことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 基礎的な学力 | 2. 高い学力 |
| 3. 基礎的な体力 | 4. 高い運動能力 |
| 5. 規則正しい生活習慣 | 6. 望ましい食生活 |
| 7. ルールや決まりを守る規範意識 | 8. あいさつや行儀、礼儀作法 |
| 9. 健全な心 | 10. 自分の考えをもつ力 |
| 11. 自分の考えを相手に伝える力 | 12. 課題を見出したり、解決したりする力 |
| 13. 自分のことは自分でする自立心 | 14. 協調性 |
| 15. 他者を尊重する心 | 16. 自分を大切にすること |
| 17. 勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心 | 18. その他() |
| 19. 特に身に付けてほしいことはない | |

問5-1 お子さんが小学校に入学した後、心配なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 勉強(ついていけない) | 2. 運動(ついていけない) |
| 3. 授業時間(授業を聞いていられない) | 4. 学校のルールや生活指導 |
| 5. 集団への適応 | 6. 子どもと先生との関係 |
| 7. 友だちとの関係 | 8. 登下校の安全 |
| 9. 学校の防犯や防災対策 | 10. あなた自身と先生・学校との関係 |
| 11. その他() | |
| 12. 特にない | |

問5-2 【問5-1で「12」に○をつけたときに答えてください】心配でない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 幼稚園・保育園と小学校との交流が行われているから |
| 2. 幼稚園・保育園で小学校の話を聞いているから |
| 3. 幼稚園・保育園で小学校入学にあたっての準備や練習を行っているから |
| 4. (お子さんの)兄や姉が小学校に通っている・通っていたから |
| 5. 子どもに十分な適応力があると思うから |
| 6. その他() |
| 7. わからない |
| 8. 理由はない |

問6 あなたは、学校に対してどのようなことを望みますか。(主なもの3つまで○)

1. 教育に対する責任感や子どもに対する愛情を持って接すること
2. 教職員がわかりやすい授業を工夫すること
3. 生活習慣や社会規範の手本となり、指導すること
4. 子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること
5. 子どもや保護者の相談に快く応じてくれること
6. 担当教科に関して専門的な知識を持っていること
7. 子どもに公平に接すること
8. 社会の要請や時代の変化に柔軟に対応する力を持っていること
9. 健康な生活の過ごし方を教えること
10. 自尊感情やコミュニケーション能力を高めるような支援を行うこと
11. わからない
12. その他()

問7 小平市の学校教育で特に力を入れる必要があると思うことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 学力向上策
2. 体力向上策
3. 防災・防犯などの安全対策
4. 校長など管理職の学校経営能力・リーダーシップの向上
5. 教員の資質向上
6. 教育委員会の指導力の向上、明確な方針の提示
7. 学校施設・設備の充実
8. 保護者や地域の意見の反映
9. 家庭教育への支援
10. 地域との協力・連携
11. 情報化や国際化、キャリア教育※1などを取り入れた特色ある教育
12. 幼稚園・保育園、小学校、中学校の相互の連携
13. いじめ・不登校対策
14. 特別支援教育※2
15. 学校や教育委員会に関する情報の提供・発信の充実、積極的なPR
16. ICT機器を活用した教育
17. 多文化共生に向けた教育の充実
18. 体験活動
19. その他()
20. 特にない

※1 キャリア教育……社会的、職業的自立に向けた必要な能力や態度を育てる教育。

※2 特別支援教育……学習面または生活面で特別な支援を必要とする児童・生徒に、適切な指導と必要な支援を行う教育。

問8 あなたが、幼稚園・保育園と小学校との交流で必要と感ずることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 幼児・児童の交流活動(行事やイベントの合同開催)
2. 保育士・幼稚園教諭と学校の教員の合同研修
3. 保育士・幼稚園教諭による授業参観
4. 小学校の教員による保育園・幼稚園参観
5. 保育園・幼稚園での指導記録の小学校への引継ぎ
6. 保護者の情報交換会
7. 入学前の授業参観
8. 子どもについての情報交換
9. 合同の保育や授業
10. 幼稚園・保育園と小学校が、年長児の指導計画とスタートカリキュラムについて話し合い、内容を共有
11. その他()
12. 特にない

問9 あなたは、小平市の教育や子育てに関する情報をどこで得ていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 家族
2. 友人・知人
3. 保育士・幼稚園や学校の先生
4. 市の広報誌
5. 市のホームページ
6. 園や学校、PTA等からのお知らせ
7. 園や学校のホームページ
8. 新聞・雑誌
9. テレビ・ラジオ
10. インターネット
11. 特にない
12. その他()

3 地域のことについて

問 10 普段、あなたは地域の子どものように接していますか。(あてはまるすべてに○)

1. 会ったときにあいさつをしている
2. 会ったときに声をかけたり話をしたりしている
3. 良いことをしているところを見たときほほめている
4. 悪いことをしているところを見たときは注意をしている
5. 困ったときや悩んでいるときに相談のついでに
6. 地域の活動を一緒にしている
7. スポーツや音楽などを教えている
8. 地域の祭りやイベントで交流している
9. 交流したいが、交流していない
10. 交流するつもりはない
11. その他()

問 11 学校の教育活動や地域活動について地域に協力してほしいことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 授業の指導や内容面でのサポート
2. 行事などの手伝い
3. 登下校の見守り・声かけ
4. 花壇やグラウンド整備など
5. あいさつや行儀、礼儀作法のしつけ
6. 地域の伝統や文化、遊びの伝承
7. 学校外の行事の主権や参加
8. その他()
9. 協力してほしいことはない

問 12 あなたが、学校・家庭・地域の連携のために必要だと思われることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. それぞれの役割分担を明らかにすること
2. 情報交換をスムーズに行うこと
3. 定期的に話し合う場を設けること
4. コミュニティ・スクール^{※1}を推進すること
5. 地域の人々が子どもたちの学習支援や子どもたちの交流を行うこと
6. PTA活動を活性化すること
7. 地域でのイベント等を学校や関係機関等と協力して行うこと
8. その他()
9. 特にない
10. わからない

※1 コミュニティ・スクール…学校と地域住民などが協働しながら学校の運営に取り組む仕組み。

4 家庭教育について

問 13-1 家庭教育で重視していることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 規則正しい生活習慣
2. 健康管理
3. 食事や食生活
4. ルールや決まりを守らせること
5. あいさつや行儀、礼儀作法
6. 健全な心
7. 表現力や自己主張
8. 自分のことは自分でする自立心
9. 協調性
10. 個性の尊重
11. 学習など知的な成長
12. 運動など身体的な成長
13. その他()
14. 特に重視していることはない

問 13-2 【問 13-1で「1」～「13」に○をつけたときに答えてください】

ご家庭でそれをできていると思いますか。(1つに○)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. 思わない
5. わからない

最後に、小平市の教育に関してご意見などがあれば、ご記入ください。

以上で終了です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、**11月12日(金)まで**に通園している幼稚園、または保育園にご提出ください。

小平市の教育に関するアンケート調査

一ご協力をお願いー

小平市では、小平市の教育をよりよいものとするため、平成24年度に「小平市教育振興基本計画（計画期間平成25年度～令和4年度）」を策定いたしました。また、平成29年度に、平成30年度からの後半5年間で達成をめざす数値目標の設定や取組の検討を行い、改訂版小平市教育振興基本計画を策定し、現在、さまざまな施策に取り組んでいるところです。

このアンケート調査は、小平市立小・中学校に勤務する教員の皆様の教育に関するお考えやご意見等をお伺いし、計画の達成状況の確認及び令和4年度に策定する新しい小平市教育振興基本計画の基礎資料として活用させていただくことを目的に実施します。

ご回答いただいた内容は、計画の達成状況の確認及び新しい計画策定の検討にのみ利用させていただきます。回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

つきましては、ご多用のことと存じますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年10月 小平市教育委員会

【回答にあたってのお願い】

- 各質問では、あてはまる番号に○をつけてください。○をつける数は、質問文の後に書いてあります。また、選択肢のうち「その他」を選んだ場合には、できるかぎり()内に記入をお願いします。
- 無記名でご回答ください。
- アンケートが終了しましたら、この用紙を封筒に入れ、**令和3年11月19日(金)**までに副校長へご提出ください。
- ご不明な点やアンケートに関するお問い合わせは、下記までお願いします。

小平市教育委員会 教育部 教育総務課 担当：山本
電話 042(346)9568(直通)

1 ご自身について

問1 あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

1. 20～24 歳	2. 25～29 歳	3. 30～34 歳	4. 35～39 歳
5. 40～44 歳	6. 45～49 歳	7. 50～54 歳	8. 55～59 歳
9. 60～65 歳			

問2 教員としての経験年数を教えてください。(1つに○)

1. 0～4年	2. 5～9年	3. 10～19年	4. 20年以上
---------	---------	-----------	----------

問3 勤務している学校はどちらですか。(1つに○)

- | | |
|--------|--------|
| 1. 小学校 | 2. 中学校 |
|--------|--------|

問4-1 現在、担任をしていますか。(1つに○)

- | | |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

問4-2 【問4-1で、「(担任を)している」に○をつけたときに答えてください】

学年は何年生ですか。

小学校 ・ 中学校 (1つに○)

年生 (数字を記入してください)

2 小平市の教育について

問5 あなたの学校で、あなたが子どもに特に身に付けさせたい必要があると思うことはなんですか。(あてはまるもの3つに○)

1. 基礎的な学力	2. 高い学力
3. 基礎的な体力	4. 高い運動能力
5. 規則正しい生活習慣	6. 望ましい食生活
7. ルールや決まりを守る規範意識	8. あいさつや行儀、礼儀作法
9. 健全な心	10. 自分の考えをもつ力
11. 自分の考えを相手に伝える力	12. 課題を見出したり、解決したりする力
13. 自分のことは自分でする自立心	14. 協調性
15. 他者を尊重する心	16. 自分を大切にすること
17. 勤労意欲や社会の役に立ちたいと思う心	18. その他()

問6 あなたは、子どもたちや保護者が学校に対してどのようなことを望んでいると思いますか。(主なもの3つまで○)

1. 教育に対する責任感や子どもに対する愛情を持って接すること
2. 教職員がわかりやすい授業を工夫すること
3. 生活習慣や社会規範の手本となり、指導すること
4. 子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること
5. 子どもや保護者の相談に快く応じてくれること
6. 担当教科に関して専門的な知識を持っていること
7. 子どもに公平に接すること
8. 社会の要請や時代の変化に柔軟に対応する力を持っていること
9. 健康な生活のすこし方を教えること
10. わからない
11. その他()

問7 「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、次のことについて、どの程度実践していますか。(1～10の各項目について、あてはまるものに、それぞれ1つだけ○)

項目	できている	どちらかという とできている	どちらかという とできていない	できて いない
1 単元や授業の目標を明確にして、児童・生徒に見通しを持たせる	1	2	3	4
2 学習内容等に児童・生徒自らが課題をもって取り組ませる	1	2	3	4
3 児童・生徒の思考を促す発問を工夫する	1	2	3	4
4 資料と向き合い自分の考えを構築する時間の確保をしている	1	2	3	4
5 学習内容や身についたことなどを振り返らせ、次の学びや生活とのつながりを意識させる	1	2	3	4
6 評価規準を具体化し、指導との一体化を図っている	1	2	3	4
7 自分の考えを基に周りととの交流を通して、自分の考えを深めたり広げたりしている	1	2	3	4
8 それぞれの教科等における「見方・考え方」を働かせて学習に取り組ませている	1	2	3	4
9 多面的・多角的なものの見方に気付かせる工夫をしている	1	2	3	4
10 学習や活動等に最後まで粘り強く取り組ませるよう工夫している	1	2	3	4

問8 上記の他に「主体的・対話的で深い学び」を実現するために実践していることがありましたらお答えください。

問9 あなたは、次のことについて、どの程度できていると思いますか。

(それぞれあてはまるもの1つに○)

項目	できている	どちらかという とできている	どちらかという とできていない	できていない
1 十分な授業準備をする	1	2	3	4
2 熱意を持って取り組む	1	2	3	4
3 教員として必要な経験を積む	1	2	3	4
4 子どもに愛情を持って接する	1	2	3	4
5 子どもをよく理解する	1	2	3	4
6 学級・学校を円滑に運営する	1	2	3	4
7 保護者と良好な関係を築く	1	2	3	4
8 職場で良好な関係を築く	1	2	3	4
9 倫理観・教員としての自覚を持つて職務にあたる	1	2	3	4
10 ICT機器を活用した教育	1	2	3	4
11 特別な配慮を必要とする児童及び生徒への指導	1	2	3	4

問10 あなたは、教職員が授業以外で行っている指導などで、優先すべきものは何だと思えますか。(主なもの3つまで○)

1. 礼儀やマナー等のしつけに関する指導
2. 基本的な生活習慣を確立するための指導
3. 校内での児童・生徒の安全確保に関する指導
4. 教職員の資質・能力向上のための研修・研究
5. 保護者との連絡や、保護者会、保護者面談など
6. 進路に応じた課外授業や補習、個別指導など
7. 学校行事(運動会、遠足、文化祭等)に関する指導
8. 部活動に関する指導
9. 地域行事への参加、地域との連携に関すること
10. 登下校や放課後における対応
11. わからない
12. その他()

問 11 仕事をすうえで時間をかけている業務は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 授業の準備 | 2. 各種行事 |
| 3. 学級経営・学年経営 | 4. 校務分掌 |
| 5. 会議・打合せ | 6. 事務処理 |
| 7. 調査・報告書作成 | 8. 研究・研修 |
| 9. 保護者・PTA対応 | 10. 地域・行政・関係団体対応 |
| 11. 授業以外の学習指導 | 12. 生活指導 |
| 13. 部活動指導 | 14. 登下校指導 |
| 15. その他() | |

問 12 負担感を感じている業務は、どのような業務ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 授業の準備 | 2. 各種行事 |
| 3. 学級経営・学年経営 | 4. 校務分掌 |
| 5. 会議・打合せ | 6. 事務処理 |
| 7. 調査・報告書作成 | 8. 研究・研修 |
| 9. 保護者・PTA対応 | 10. 地域・行政・関係団体対応 |
| 11. 授業以外の学習指導 | 12. 生活指導 |
| 13. 部活動指導 | 14. 登下校指導 |
| 15. その他() | |

問 13-1 この1年間で、多忙感を感じましたか。(1つに○)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. とても感じた | 2. ある程度感じた |
| 3. あまり感じなかった | 4. 感じなかった |

問 13-2 【問 13-1で、「1」、「2」に○をつけたときに答えてください】

多忙感を解消するために有効だと思っことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 校務分掌の見直しなど校務の効率化 | 2. ICTなどを活用した業務の効率化 |
| 3. 調査や事務関係の提出書類の軽減 | 4. 教員間の連携・協力体制の構築 |
| 5. 苦情や要望のスムーズな処理 | 6. 会議の効率化(回数を減らす、時間を短縮するなど) |
| 7. 研修の改善(内容ややり方を見直すなど) | 8. ノー残業デーなどの実施 |
| 9. クラブ・部活動の軽減 | 10. 給食費や教材費などの私費の徴収事務の軽減 |
| 11. 教員の職務上、多忙感の解消は期待できない | 12. その他() |
| 13. わからない | |

問 14-1 職務上、どのような悩みを持っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 授業 | 2. 授業以外の校務 |
| 3. 児童・生徒への対応 | 4. 保護者への対応 |
| 5. 学校経営、学級経営 | 6. クラブ活動・部活動 |
| 7. 職場の人間関係 | 8. 自分の健康 |
| 9. 教員として自信がない | 10. その他() |
| 11. 特になし | |

問 14-2 【上の質問で、「1」～「10」に○をつけたときに答えてください】

悩みを誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 同じ学校の管理職 | 2. 同じ学校の教職員 |
| 3. 他の学校の管理職 | 4. 他の学校の教職員 |
| 5. 教育委員会 | 6. 自主的な研究会などの仲間 |
| 7. 家族 | 8. 友人 |
| 9. 専門的な相談機関 | 10. インターネットやSNS(LINEなど) |
| 11. 自分で解決する | 12. その他() |
| 13. 相談したい、できる人がいない | |

問 15 あなたの学校では、問題や課題に対して、組織的な対応を行っていると思いますか。

(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 行っている | 2. ある程度行っている |
| 3. あまり行っていない | 4. 行っていない |
| 5. わからない | |

問 16 入学時の児童・生徒の問題について、あてはまるものは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 学齢に応じた学力が身に付いていない | 2. 学齢に応じた体力・運動能力が身に付いていない |
| 3. 基本的な生活習慣やしつけができていない | 4. コミュニケーション力が不十分である |
| 5. 落ち着きがない | 6. 意欲的でない |
| 7. その他() | 8. 特にならない |

問 17 入学時の児童・生徒の問題に対する有効な対策について、あてはまるものは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 園児と児童・生徒との交流の機会の充実 | 2. 教師と保育士・幼稚園教諭の交流を深める |
| 3. 幼稚園・保育園と小学校、中学校間の情報交換 | 4. 幼少期からの一貫したカリキュラムの作成 |
| 5. 幼小接続期カリキュラムの作成 | 6. 特にならない |
| 7. その他() | |

問 18 小平市の教育環境について、特に充実・改善してほしいものは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------|
| 1. 学年・学級の垣根を超えた共有施設の整備 | 2. 主体的に学ぶための学習空間 |
| 3. 教科の充実を図るための機能的な教室の整備 | |
| 4. ICT機器を活用した教育を推進するための施設整備や情報機器の充実 | |
| 5. 心をいやし、心を育てるカウンセリング機能の充実 | 6. 快適な生活空間 |
| 7. 屋内・屋外運動施設の充実 | 8. 学校の歴史、思い出を伝える場所の整備 |
| 9. 環境に配慮した学校施設整備 | 11. 地域コミュニティの活動や交流の場の整備 |
| 12. 防災・防犯に優れた施設の整備 | |

3 小平市の教育施策や教育事業について

問 19 次の教育施策や教育事業について、あなたは、現在の小平市の取組に満足していますか【満足度】。また、今後小平市で力を入れて行う必要があると思いますか【重要度】。
(1～15 の各項目について、【満足度】と【重要度】に、それぞれ1つだけ○)

小平市の教育施策や事業	満足度			重要度				
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	充実していくべき	充実していく方がよい	どちらともいえない	あまり充実していく必要がない
1 確かな学力の向上	1	2	3	4	1	2	3	4
2 健やかな体の育成	1	2	3	4	1	2	3	4
3 豊かな心の育成	1	2	3	4	1	2	3	4
4 自立心の養成	1	2	3	4	1	2	3	4
5 共生と地域・社会貢献意識の醸成	1	2	3	4	1	2	3	4
6 教員の資質向上	1	2	3	4	1	2	3	4
7 学校の経営力向上	1	2	3	4	1	2	3	4
8 家庭教育への支援	1	2	3	4	1	2	3	4
9 地域教育の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
10 教育環境の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
11 生涯学習の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
12 図書館の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
13 生涯スポーツの推進	1	2	3	4	1	2	3	4
14 郷土愛と後継者の育成	1	2	3	4	1	2	3	4
15 多様な主体との連携と施設のあり方の検討	1	2	3	4	1	2	3	4

問 20 あなたの学校では、教員としての資質向上のためのOJTが十分行われていますか。(1つに○)

1. 十分行われている	2. ある程度行われている
3. あまり行われていない	4. 行われていない
5. わからない	

問 21 次の研修について、あてはまるものは何ですか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

研修内容	必要だと思う	どちらかという と必要だと思う	どちらかという 必要だと思うと 必要だと思わない
1 教科指導に関するもの	1	2	3
2 子ども理解・生活指導・教育相談に関するもの	1	2	3
3 学級経営に関するもの	1	2	3
4 職層に応じたもの	1	2	3
5 個別の教育課題に関するもの	1	2	3
6 安全教育に関するもの	1	2	3
7 特別支援教育に関するもの	1	2	3
8 情報教育に関するもの	1	2	3
9 教員の倫理観を高めるもの	1	2	3
10 社会体験・企業体験	1	2	3
11 先進自治体・学校への視察	1	2	3
12 総合的な学習の時間の指導方法	1	2	3
13 カウンセリング(メンタルヘルスも含む)	1	2	3
14 円滑な人間関係を築く能力を高める研修	1	2	3
15 海外研修	1	2	3

問 22 前設問の各種研修の実施について、現在コロナ禍の中、リモート研修が行われていますが、あなたは、リモートで行う研修内容について満足していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 満足している	2. どちらかといえば満足している
3. どちらともいえない	4. あまり満足していない
5. 満足していない	

問 23 次の教育施策や事業について、あてはまるものは何ですか。(「小のみ」は小学校の教員のみ、(中のみ)は中学校の教員のみ、それぞれあてはまるもの1つに○)

教育施策や事業	子どもへの効果		教員へのメリット			
	大きい	小さい	どちらとも いえない	大きい	小さい	どちらとも いえない
1 学習補助員の配置	1	2	3	1	2	3
2 学校公開	1	2	3	1	2	3
3 教員研修の充実	1	2	3	1	2	3
4 外国語活動などにおけるALTの活用	1	2	3	1	2	3
5 体験活動(移動教室、自然体験、スキ一教室)	1	2	3	1	2	3
6 幼稚園・保育園、小学校、中学校の連携	1	2	3	1	2	3
7 学校図書館の充実	1	2	3	1	2	3
8 スクールソーシャルワーカーの配置	1	2	3	1	2	3
9 巡回相談員の派遣	1	2	3	1	2	3
10 (中のみ)部活動の充実	1	2	3	1	2	3
11 地域住民等のボランティアの活用	1	2	3	1	2	3
12 ICT機器を活用した教育	1	2	3	1	2	3
13 特別支援教育の推進	1	2	3	1	2	3
14 地域の施設との複合化	1	2	3	1	2	3
15 (小のみ)小学校(高学年)における教科担任制	1	2	3	1	2	3
16 学習履歴の活用	1	2	3	1	2	3
17 双方向型オンライン授業	1	2	3	1	2	3

問 24 子どもにICTの活用によって身に付けさせたい力は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. 情報収集力	2. プレゼンテーション力	3. 資料作成力
4. 情報モラル	5. コミュニケーション力	6. プログラミング的思考力
7. 特になし、わからない	8. その他()	

4 学校教育と地域との連携について

問 25 地域に協力してほしいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 授業の指導や内容面でのサポート	2. 行事などの手伝い
3. 登下校の見守り・声かけ	4. 花壇やグラウンド整備など
5. あいさつや行儀、礼儀作法のしつけ	6. 地域の伝統や文化、遊びの伝承
7. 学校外の行事の主催や参加	8. その他()
9. 協力してほしいことはない	

問 26 小平市では、「コミュニティ・スクール」の取組をはじめ、「地域に開かれた学校づくり」の実現に向けた取組が進められています。「地域に開かれた学校づくり」に向け、どのような取組が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する
2. 学校の教育目標や取組を、地域の方々に知らせる
3. ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く
4. 登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う地域住民等のボランティアを積極的に受け入れる
5. 地域の施設などを利用した校外学習を進める
6. 地域の方々や保護者が学校の運営が適切に行われているかを評価する
7. 教育や子どもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する
8. 放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する
9. 特にない
10. わからない
11. その他()

最後に、小平市の教育や教育委員会に関してご意見などがあれば、ご記入ください。

--

以上で終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。

ご記入いただきました調査票を封筒に入れ、**11月19日(金)まで**に副校長に提出してください。

小平市の教育に関するアンケート調査

一ご協力をお願いー

皆様には日頃より、教育行政の推進につきましてご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。さて、小平市では、小平市の教育をよりよいものとするため、平成 24 年度に「小平市教育振興基本計画(計画期間平成 25 年度～令和4年度)」を策定いたしました。また、平成 29 年度に、平成 30 年度からの後半5年間で達成をめざす数値目標の設定や取組の検討を行い、改訂版小平市教育振興基本計画を策定し、現在、さまざまな施策に取り組んでいるところです。

このアンケート調査は、市民の皆様様の教育に関するお考えやご意見等を伺いし、計画に掲げる数値目標の達成状況の確認及び令和4年度に策定する新しい小平市教育振興基本計画の基礎資料として活用させていただくことを目的に実施するもので、住民基本台帳に登録されている18歳以上の市民の方から、2千人を無作為に選ばせていただき、ご協力をお願いしております。

ご回答いただいた内容は、計画の達成状況の確認及び新しい計画策定の検討にのみ利用させていただきますものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

つきましては、ご多用のことと存じますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年 10 月 小平市教育委員会

【回答にあたってのお願い】

- 各質問では、あてはまる番号に○をつけてください。○をつける数は、質問文の後に書いてあります。また、選択肢のうち「その他」を選んだ場合には、できるかぎり()内に記入をお願いします。
- 無記名でご回答ください。
- アンケートが終了しましたら、この用紙を同封の返信用封筒にて、**令和3年 11 月 19 日(金)**までにご投函ください(切手不要)。
- ご不明な点やアンケートに関するお問い合わせは、下記までお願いします。

小平市教育委員会 教育部 教育総務課 担当:山本
電話 042(346)9568(直通)

1 ご自身について

問1 あなたのお住まいはどちらですか。(1つに○)

1. 中島町	2. 上水新町	3. たかの台	4. 小川町	5. 柴町	6. 小川西町
7. 小川東町	8. 上水本町	9. 上水南町	10. 喜平町	11. 津田町	12. 学園西町
13. 学園東町	14. 仲町	15. 美園町	16. 回田町	17. 御幸町	18. 鈴木町
19. 天神町	20. 大沼町	21. 花小金井南町	22. 花小金井		

問2 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

1. 男性	2. 女性	3. 答えたくない
-------	-------	-----------

問3 あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

1. 18～19 歳	2. 20～24 歳	3. 25～29 歳	4. 30～34 歳
5. 35～39 歳	6. 40～44 歳	7. 45～49 歳	8. 50～54 歳
9. 55～59 歳	10. 60～64 歳	11. 65～69 歳	12. 70～74 歳
13. 75～79 歳	14. 80 歳以上		

問4 現在、仕事をされていますか。(雇用形態は問いません)(1つに○)

1. している	2. していない
---------	----------

問5 一緒にお住まいの方についてお聞きます。(1つに○)

1. 小学生・中学生がいる	2. 「1」以外の人がいる	3. 一緒に住んでいる人はいない
---------------	---------------	------------------

2 生涯学習(学習活動)や公民館・図書館の利用について

問6 あなたは、「生涯学習(学習活動)」ということばかり、どのようなイメージを持ちますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 生活を楽しみ、心を豊かにすること	7. ボランティア活動等を行い、地域や社会のために貢献すること
2. 趣味や教養を高めること	8. 講座や教室等の学習活動へ参加すること
3. 生きがいを充実させること	9. 学校における学習活動のこと
4. 健康の増進や体力づくりをすること	10. 幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと
5. 仕事に必要な知識や資格を得ること	11. その他()
6. 家庭や社会、人権等の問題を理解して、解決の方法を学んだり、考えたりすること	12. イメージするものはない、わからない

問7 「生涯学習(学習活動)」とは、人々が生涯のいつでも、どこでも、自分の意思で自由に行う学習活動のことで、学校教育や地域の図書館・公民館における講座等の学習機会に限らず、自分から進んで行う学習やスポーツ・文化活動・趣味・ボランティア活動などにおける、様々な学びのことを言います。あなたは、生涯学習の必要性を感じますか。(1つに○)

1. 強く感じる	2. どちらかといえば感じる
3. あまり感じない	4. 全く感じない

問8-1 この1年間に、生涯学習(学習活動*)を行いましたか。(1つに○)

※学習活動…ここでは、「趣味や教養、仕事などのために知識や技能を習得するための活動」をいいます。

1. 行った _____ 2. 行わなかった _____

問8-2 【問8-1で、「1」に○をつけたときに答えてください】
どのような場所や形態で学習活動をしましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 公民館やスポーツ施設などの公の機関における講座や教室
2. カルチャーセンターやスポーツクラブなど、民間の講座や教室、通信教育
3. 学校(高等・専門・各種学校、大学、大学院など)の公開講座や教室
4. 学校(高等・専門・各種学校、大学、大学院など)の正規課程
5. 職場の教育、研修
6. 同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動
7. 図書館の利用
8. 博物館・美術館の見学
9. ラジオやテレビ
10. 情報端末やインターネット
11. 個人または自宅での学習活動(家庭教育や書籍など)
12. ボランティア活動
13. 職業訓練・職業教育
14. その他()

問8-3 【問8-1で、「1」に○をつけたときに答えてください】
あなたは、何のために生涯学習(学習活動)をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. その学習が好きであったり、人生を豊かにするため
2. 家庭・日常生活に活用するため
3. 自由時間を有効に活用するため
4. 健康の維持・増進のため
5. 他の人との親睦を深めたり、友人を得るため
6. 現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため
7. 地域や社会をよりよくするため
8. その他()
9. 特に理由はない

問8-4 【問8-1で、「1」に○をつけたときに答えてください】
あなたは、生涯学習(学習活動)で得た知識・技能・経験をどのように生かしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事や就職
2. ボランティアや地域の活動
3. 資格の取得
4. 生活の潤いや生きがいづくり
5. さらなる知識・技能の向上
6. 他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導
7. 自分の人生を豊かに
8. 自分の健康の維持・増進
9. その他()
10. 生かしたいと思わない

問9 あなたが今後学習してみたいと思う分野は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味的なもの(音楽・美術・華道・舞踊・書道・舞踊・書道・レクリエーション活動など)
2. 教養的なもの(文学・歴史・科学・語学など)
3. 社会問題に関するもの(社会・時事・国際・環境・エネルギー・人権など)
4. 健康・スポーツ(健康法・医学・栄養・ヨガ・ジギング・水泳など)
5. 家庭生活に役立つ技能(料理・洋裁・和裁・編み物など)
6. 子育て・教育に役立つもの(家庭教育・幼児教育・教育問題など)
7. 職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や、資格の取得など)
8. 情報端末(コンピュータやタブレット端末など)やインターネットに関すること(プログラムの使い方、ホームページの使い方など)
9. ボランティア活動のために必要な知識・技能
10. 自然体験や生活体験などの体験活動
11. 学校(高等・専門・各種学校、大学、大学院など)の正規課程での学習
12. その他()
13. わからない、特になし

問10 あなたは、どのような条件を整えば、生涯学習(学習活動)を行いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 図書館や公民館、スポーツ施設が身近にあれば
2. 指導者が身近にいれば
3. 気軽に参加できる、気軽に入った教室やイベントが開催されれば
4. 一緒に参加できる家族・仲間がいれば
5. 年齢・技術レベルに対応した内容があれば
6. 施設の利用時間が合えば
7. 休暇(自由時間)が増加すれば
8. その他()

問11 生涯学習(学習活動)についての情報をどのような手段で得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. ポスター・チラシ・パンフレット
2. 市報
3. 自治会・PTA・子ども会などからのお知らせ(回覧板・掲示板など)
4. テレビ・ラジオ
5. 新聞・雑誌・タウン情報誌
6. 友人・知人
7. インターネット(小平市のホームページ)
8. インターネット(小平市のホームページ以外)
9. その他()

問 12 生涯学習(学習活動)についてどのような情報発信を望んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ポスター・チラシ・パンフレット	2. 市報
3. 自治会・PTA・子ども会などからのお知らせ(回覧板・掲示板など)	
4. テレビ・ラジオ	5. 新聞・雑誌・タウン情報誌
6. 友人・知人	7. インターネット
8. その他()	

問 13 市が設置する次の施設の利用状況について、お聞きます。

(それぞれあてはまるもの1つに○)

施設名	利用状況		
	週に1回以上 利用する	月に1～3回 利用する	年に数回 利用する
公民館	1	2	3
図書館	1	2	3
体育施設	1	2	3

問 14 普段、どれくらい運動(スポーツ)[※]をしていますか。(1つに○)

※運動(スポーツ)…ここでは、競技スポーツだけでなく、健康づくりなど、目的を持った身体活動の全てをいいます。

1. 週に4日以上	2. 週に2～3日
3. 週に1日	4. 月に1～3回
5. 年に数回	6. していない

3 小平市の学校教育について

問 15 小平市の子どもに、どのような人になってほしいと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 思いやりがある	2. 協調性がある
3. 確かな学力がある	4. 他人を認められる
5. 心身がたくましい	6. 我慢強さがある
7. 自立心がある	8. 自ら学び、考え、主体的に行動する力がある
9. 創造性が豊かである	10. 適切な判断力がある
11. 特にならない	12. わからない
13. その他()	

問 16 小平市の学校教育で特に力を入れる必要があるかと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 学力向上策	2. 体力向上策
3. 防災・防犯などの安全対策	4. 校長など管理職の学校経営能力・リーダーシップの向上
5. 教員の資質向上	6. 教育委員会の指導力の向上、明確な方針の提示
7. 学校施設・設備の充実	8. 保護者や地域の意見の反映
9. 家庭教育への支援	10. 地域との協力・連携
11. 情報化や国際化、キャリア教育 ^{※1} などを取り入れた特色ある教育	12. 幼稚園・保育園、小学校、中学校の相互の連携
13. いじめ・不登校対策	14. 特別支援教育 ^{※2}
15. 学校や教育委員会に関する情報の提供・発信の充実、積極的なPR	16. ICT機器を活用した教育の充実
17. 多文化共生教育に向けたの充実	18. 体験活動
19. その他()	20. 特にならない

※1 キャリア教育…社会的、職業的自立に向けた必要な能力や態度を育てる教育。

※2 特別支援教育…学習面または生活面で特別な支援を必要とする児童・生徒の教育的ニーズを把握し、適切な指導と必要な支援を行う教育。

問 17 小平市では、「コミュニティ・スクール^{※1}」の取組をはじめ、「地域に開かれた学校づくり」の実現に向けた取組が進められています。「地域に開かれた学校づくり」に向け、どのような取組が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する
2. 学校の教育目標や取組を、地域の方々に知らせる
3. ゲストティーチャー ^{※2} や部活動の指導者など、外部の人を学校に招く
4. 登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行い地域住民等のボランティアを積極的に受け入れる
5. 地域の施設などを利用した校外学習を進める
6. 地域の方々や保護者が学校の運営が適切に行われているかを評価する
7. 教育や子どもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する
8. 放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する
9. 特にならない
10. わからない
11. その他()

※1 コミュニティスクール…学校と地域住民などが協働しながら学校の運営に取り組む仕組み。

※2 ゲストティーチャー…大学や高等専門学校などで、外部から招かれ、教授に相当する待遇を受ける教育者のこと。

4 地域のことについて

問 18 地域の方とのつながりがりをどの程度もっていますか。(1つに○)

1. 多くもっている
2. 適度にもっている
3. あまりもっていない
4. ほとんどもっていない

問 19 普段、あなたは地域の子どものように接していますか。(あてはまるすべてに○)

1. 会ったときにあいさつをしている
2. 会ったときに声をかけたり話をしたりしている
3. 良いことをしているところを見たときほほめている
4. 悪いことをしているところを見たときは注意をしている
5. 困ったときや悩んでいるときに相談にのっている
6. 地域の活動を一緒にしている
7. スポーツや音楽などを教えている
8. 地域の祭りやイベントで交流している
9. 交流したいが、交流していない
10. 交流するつもりはない
11. その他()

問 20-1 あなたが、今後、地域の学校に対して協力してみたいと思うことは何ですか。

(あてはまるすべてに○)

1. 自分が持つ知識・技能を教える
2. 通学路における登下校時の見守り活動
3. 部活動の指導
4. 花壇や植え込みの手入れなどの環境整備
5. 読み聞かせや図書の整理・貸し出し
6. 運動会や文化祭など学校行事の支援
7. 授業や調理実習指導の補助などの学習支援
8. 昔遊びなどを通じた交流
9. 上記以外のボランティア活動()
10. 協力したいことはない
11. その他()

→問 20-2 【問 20-1 で、「10」に○をつけたときに答えてください】

「協力したいことはない」理由は、何ですか。(あてはまるすべてに○)

1. 内容に興味がないから
2. 健康上の理由から
3. 時間がないから
4. 面倒だから
5. 知っている人がいないから
6. きっかけがつかめなから
7. その他()
8. 特に理由はない

問 21 あなたは、学校、家庭、地域が連携・協力するためには何が必要だと思いますか。

(最もあてはまるもの1つに○)

1. それぞれの役割分担を明らかにすること
2. それぞれの情報を共有すること
3. 定期的に話し合う場を設けること
4. 学校・家庭・地域をつなぐ人がいること
5. コミュニティ・スクールを推進すること
6. PTA活動を活性化すること
7. 地域の人々が子どもの学習支援や子どもたちの交流を行うこと
8. 地域でのイベント等を学校や関係機関等と協力して行うこと
9. その他()

5 小平市の今後の生涯学習(学習活動)のあり方について

問 22 令和3年3月 26 日に国史跡に指定された鈴木遺跡を知っていますか。(1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

問 23 小平市の文化財について、どう思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市の貴重な財産であり、保護・PRを積極的に行うべきだ
2. 市の文化財が、子どもなど次世代に引き継がれることを望む
3. 市の文化財があることについて、よく知らない
4. 市の文化財については、あまり関心がない
5. その他()
6. わからない、特になし

問 24 あなたは、人々の生涯学習(学習活動)をより盛んにしていくために、小平市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 生涯学習を支援する地域の人材(コーディネーター、リーダーなど)を把握する
2. 専門的知識をもった職員を配置する
3. 社会教育関係団体、青少年団体などのボランティア活動を支援する
4. 市内で活動する団体同士が知り合う場の提供、仕組みづくりを行う
5. 市内の施設が連携して、学習の機会を増やす
6. 講座参加者の交流が出来るように職員がサポートする
7. 大学や研究機関との連携による講座を提供する
8. 図書館でインターネットを活用した読書活動を充実させる
9. 学校図書室やグラウンドなど、学校をもっと地域に開放する
10. 学校での学習において、地域や社会を支援する活動を取り入れる
11. 小平市のホームページで生涯学習情報を充実させる
12. 講座をインターネットで予約できるようにする
13. FacebookやTwitterなどのSNSで情報を発信する
14. 特にない
15. わからない

最後に、小平市の教育に関してご意見などがあれば、ご記入ください。

以上で終了です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、11月19日(金)までに投函ください。

小平市の
教育に関するアンケート調査
調査結果報告書

編集・発行：小平市教育委員会 教育部 教育総務課

発行年月：令和4年3月

〒187-8701

東京都小平市小川町 2-1333

電話：042-346-9568

F A X：042-346-9578

Eメール：kyoikusomu@city.kodaira.lg.jp

¥1,500